上智大学大学院

履 修 要 綱

2019年度

2019年度　大学院行事予定表（法科大学院は除く）

カレンダー ■：休日・祝日・祝日以外の休業日 ◯：祝日の授業実施日	大学院年間予定	
２０１９年 ４月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 ※4/12～7/26：春学期科目授業期間 ※4/12～6/6：1Q科目授業期間	1日(月) 2日(火) 2日(火) 2日(火)～ 5日(金) 1日(月)～11日(木) 4日(木)～11日(木) 12日(金) 13日(土)～18日(木) 30日(火)	春学期・1Q開始 入学式 〈新入生〉ガイダンス 〈在校生〉専攻別ガイダンス 春学期・1Q・2Q履修登録期間 健康診断（＊詳細は掲示参照） 春学期・1Q・2Q科目履修登録確認期間 春学期・1Q・2Q科目履修登録修正期間 1Q休学願提出期限
５月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 ※6日：振替休日は授業実施日	6日(月)～8日(水) 6日(月) 18日(土) 26日(日)	1Q科目履修中止申請期間（Loyola） 授業実施日（振替休日） 補講日 オールソフィアンの集い
６月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 ※6/7～7/26：2Q科目授業期間	1日(土),8日(土) 7日(金)～13日(木) 24日(月)～28日(金) 28日(金) 30日(日) 30日(日)	1Q科目試験日 2Q科目追加履修登録期間 春学期・2Q科目履修中止申請期間（Loyola） 9月修了願提出期限 補講日 2Q休学願提出期限
７月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 ⑮ 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 ※5日：上南戦（全学休講） ※15日：海の日は授業実施日	5日(金) 13日(土),20日(土) 15日(月) 26日(金) 27日(土)～8月3日(土)	授業休業日（上南戦） 補講日 授業実施日（海の日） 春学期・2Q科目授業最終日 春学期・2Q科目試験期間（8月3日は予備日）
８月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 ※8/4～9/26：夏期休業	4日(日)～9月26日(木) 5日(月)～9月20日(金) 27日(火)	夏期休業 集中科目開講期間 春学期・1Q・2Q科目成績公開（Loyola） 〈修士２年次生〉〈早期修了予定者〉
９月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 ※9/27～1/21：秋学期科目授業期間 （12/24～1/5は除く） ※9/27～11/18：3Q科目授業期間	10日(火) 10日(火) 20日(金) 20日(金) 21日(土) 21日(土) 21日(土) 21日(土)～29日(日) 30日(月)	9月修了者発表 春学期・1Q・2Q科目成績公開（Loyola） 学位授与式（9月期） 成績評価確認願提出期限（2019年度春学期・1Q・2Q開講科目） 秋学期・3Q開始 入学式 〈新入生〉ガイダンス 秋学期・3Q・4Q科目履修登録期間 秋学期・3Q・4Q科目履修登録確認期間

※Qはクォーターのことを指します。

カレンダー ■：休日・祝日・祝日以外の休業日 ◯：祝日の授業実施日	大学院年間予定	
10月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 ※14日：体育の日は授業実施日 ※22日：即位礼は授業実施日	1日(火)～3日(木) 14日(月) 14日(月)～16日(水) 22日(火) 26日(土) 31日(木)	秋学期・3Q・4Q科目履修登録修正期間 授業実施日（体育の日） 3Q科目履修中止申請期間（Loyola） 授業実施日 補講日 3Q休学願提出期限
11月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 ※1日：創立記念日・先哲祭 ※2日：全学休講 ※23日：勤労感謝の日は授業実施日 ※11/19～1/21：4Q科目授業期間 （12/24～1/5は除く）	1日(金) 2日(土)～4日(月) 2日(土) 16日(土),23日(土) 19日(火)～25日(月) 23日(土)	創立記念日・先哲祭（全学休講） ソフィア祭 全学休講 3Q科目試験日 4Q科目追加履修登録期間 授業実施日（勤労感謝の日）
12月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 ※3日：ザビエル祭（全学休講） ※12/24～1/5：冬期休業	3日(火) 2日(月)～6日(金) 14日(土) 20日(金) 24日(火)～1月5日(日)	ザビエル祭（全学休講） 秋学期・4Q科目履修中止申請期間（Loyola） 補講日 4Q休学願提出期限 冬期休業
２０２０年 1月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 ※1/30～3/31：春期休業	11日(土),18日(土) 21日(火) 22日(水)～29日(水) 30日(木)～3月31日(火)	補講日 秋学期・4Q科目授業最終日 秋学期・4Q科目試験期間（1月29日は予備日） 春期休業
2月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	21日(金)	秋学期・3Q・4Q 科目成績公開（Loyola） 〈修士２年次生〉〈早期修了予定者〉
3月 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	16日(月) 16日(月) 24日(火) 31日(火)	修了者発表 秋学期・3Q・4Q科目成績公開（Loyola） 学位授与式 成績評価確認願提出期限 (2019年度秋学期・3Q・4Q開講科目)

※Qはクォーターのことを指します。

上智大学ホームページ　https://www.sophia.ac.jp/

目　次

2019年度　大学院行事予定表

1．ガイドページ ……… 1
注意事項 ……… 2
1）授業 ……… 4
2）履修登録 ……… 5
3）履修中止 ……… 14
4）修了必要単位の自己判定 ……… 14
5）学力の評価 ……… 15
6）学術研究倫理 ……… 17
7）研究指導 ……… 18
8）学位論文 ……… 18
9）修了 ……… 21
10）学籍 ……… 21
11）証明書 ……… 27
12）教職課程 ……… 28
13）委託聴講生制度 ……… 31
14）学生生活の手引き ……… 32
2．神学研究科 ……… 37
神学専攻 ……… 40
組織神学専攻 ……… 48
3．哲学研究科 ……… 53
哲学専攻 ……… 55
4．文学研究科 ……… 61
哲学専攻 ……… 71
史学専攻 ……… 78
国文学専攻 ……… 84
英米文学専攻 ……… 90
ドイツ文学専攻 ……… 97
フランス文学専攻 ……… 103
新聞学専攻 ……… 108
文化交渉学専攻 ……… 115
5．実践宗教学研究科 ……… 121
死生学専攻 ……… 124
6．総合人間科学研究科 ……… 131
教育学専攻 ……… 138
心理学専攻 ……… 146
社会学専攻 ……… 168
社会福祉学専攻 ……… 176
看護学専攻 ……… 185
7．法学研究科 ……… 189
法律学専攻 ……… 191
8．経済学研究科 ……… 205
経済学専攻 ……… 209
経営学専攻 ……… 216
9．言語科学研究科 ……… 225
言語学専攻 ……… 228
〔言語聴覚研究コース〕 ……… 235
〔TESOL コース〕 ……… 240
〔日本語教育学コース〕 ……… 245
10. グローバル・スタディーズ研究科 ……… 253
国際関係論専攻 ……… 258
地域研究専攻 ……… 272
11. 理工学研究科 ……… 285
理工学専攻 ……… 298
12. 地球環境学研究科 ……… 343
地球環境学専攻 ……… 346
13. 年譜 ……… 363
14. 本学の施設 ……… 367
15. 資料
教員研究室・専攻事務室および
オフィスアワー一覧 ……… 385
16. 上智大学大学院学則 ……… 402
17. 上智大学大学院国外留学に関する細則（抄） ……… 413
18. 上智大学大学院研究指導に関する細則 ……… 415
19. 上智大学学位規程（抄） ……… 416
20. 課程博士の学位申請に関する特例（内規） ……… 422
21. 上智大学学則（抄） ……… 423

ガ イ ド ペ ー ジ

各科目の曜日時限，教室等を確認したい場合には，Loyola ー［カリキュラム履修登録関係］ー［時間割］を参照してください。

本学では Web による教学支援システム「Loyola（ロヨラ）」により，履修や成績にかかわる手続きやお知らせを行っています。
「Loyola」では以下のようなことが可能です。
・Web 上での履修登録や履修中止の申請（窓口で手続きをするものもあります）
・現在の登録状況や過去の成績，単位修得情報等の確認
・休講・補講情報をはじめ，学内掲示板で告知している情報の閲覧

学生本人および保証人の住所変更，利用方法，操作手順等の詳細については，Loyola －［Home］－「Loyola Handbook（学生）」を参照してください。

注意事項

窓口時間

① 学事センターの事務取扱い時間は下記の通りです。時間外の取り扱いはできません。

学期	期間	窓口取扱時間
春	4月 1日～8月 3日 *授業期間（試験期間含む）	10：30～11：30，12：30～15：30
	8月 4日～9月26日 *授業期間外	12：30～15：30
秋	9月27日～1月29日 *授業期間（試験期間含む）	10：30～11：30，12：30～15：30
	1月30日～3月31日 *授業期間外	12：30～15：30

※土曜・日曜・祝日は休業です（授業日を除く）。
※夏期・冬期の休業中や特別な場合の取扱い時間については，その都度掲示します。

② **証明書自動発行機の稼働時間は９：００～１７：００です。**
自動発行機で発行可能な証明書については，p.27を参照してください。

③ 学事センターは，下記の事務を取り扱っています。
「教務」…履修相談，授業，試験，成績に係る事務
「学籍・証明書」…学籍異動（留学・休学・退学），各種変更，在留資格に係る事務
「大学院」…修士・博士論文など学位に関する事務および委託聴講手続き
「学費」…学費全般に係る事務
また，留学についての問い合わせはグローバル教育センター，奨学金についての相談・課外活動についての申し込みなどは学生センター，教職・学芸員課程に関する問い合わせは課程センターで受け付けています。
その他の事務部署については，場所，電話番号および事務取扱い内容の一覧をp.369に掲載してあります。

掲示

大学から学生へのお知らせはWebによる教学支援システム「Loyola（ロヨラ）」の掲示によって行います。この掲示を見なかったために生じる不利益は学生本人の責任となります。
授業に関する情報（休講，補講，教室，臨時の教室変更，試験やレポートの告知など）や，緊急を要する重要な掲示等もLoyolaで行います。大学が発信する最新の情報を得るためにも，毎日必ずLoyola掲示板を見るように習慣づけてください。また，紙による掲示を併用する場合もあります。掲示板の位置については，p.372を参照してください。
Loyola URL ： https://scs.cl.sophia.ac.jp/campusweb/campusportal.do

問い合わせ

授業についての情報や履修に関する相談は，窓口で問い合わせてください。間違いや誤解が生じるおそれがあるため，電話では受け付けできません。また，家族等からの連絡についても，非常時以外は取りつぎを行いません。

公共交通機関運行停止時の授業の取扱いについて

台風・大雨など各種の自然災害や事故・ストライキなどによる電車運行停止のため，授業や定期試験を平常通り行うことができないと判断された場合は，休講または試験日の振替などの特別措置をとることがあります。特別措置の内容については，大学ホームページ，Loyola，公式フェイスブックもしくは公式ツイッターでお知らせしますので各自で確認してください。

個人情報の取扱い

■個人情報保護について

上智学院個人情報保護への取組みについては下記 URL を参照してください。

https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/index.html

感染症に罹患した場合

学校保健安全法に定められた感染症に学生が罹患した場合は，感染拡大を防ぐために所定の期間，登校禁止となります。もし罹患した場合は，下記のとおり対応してください。

なお，新型インフルエンザなど新しい感染症の場合は，特別な措置がとられることがあります。Loyola及びホームページの掲示に注意してください。

１．医師の指示に従い，感染の危険がなくなるまで自宅療養する。保健センターに FAX（用紙は大学ホームページからダウンロード）,Loyola,電話のいずれかで罹患を報告する。

２．大学ホームページ上から「感染症治癒後登校許可証明書」をダウンロードし，登校が許可されたことを医師に記入してもらう。（登校禁止期間が記載されていれば医療機関発行の様式でも可）

※ダウンロードできない場合は，保健センターへ用紙を請求してください。

３．登校時，上記証明書原本を保健センターに提出する。各担当教員には証明書の写しを提出する。

裁判員選任等に伴う授業等の出欠の取扱いについて

「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づいて，裁判員制度のもとでは，学生は裁判員の辞退等が認められていますが，裁判員になることを希望する学生の意思を尊重するため，学生が裁判員に選任された場合（その選任手続を含む）の授業等の出欠について，下記のとおり取り扱うものといたします。

１．対象となる学生

本学に在籍する学部・大学院の正規生および科目等履修生。（聴講生は含まない）

２．対象となる事由

①裁判員候補として裁判員選任手続のために裁判所へ出向くとき。

②裁判員として裁判に参加するとき。

③補充裁判員として裁判に立会い等をおこなうとき。

３．手続き

学生は，原則として事前に学事センターに申し出て，裁判員選任用所定の欠席届用紙を受取り，その欠席届とともに，裁判所から送達された文書（「選任手続期日のお知らせ（呼出状）」）の写しを担当教員に提出し，当該授業を欠席することについて申し出る。また，事後には裁判所が発行する証明書類を提示して同教員に報告する。

４．出欠の取り扱い

上記所定の文書による申し出および報告があった場合，本人の不利益とならないよう，教員側で次のように配慮する。

①授　　業：「欠席」扱いとしない。代替措置については担当教員の判断による。

②授業内試験：「欠席」扱いとしない。代替措置については担当教員の判断による。

③定 期 試 験：追試験の対象とする。通常の追試験願を期限までに提出する。

＊参考

学生も裁判員候補者として選ばれるものの，法律により裁判員の辞退を申し出ることができる事由に該当するので，出廷の対応例は次のようになります。

（学生の対応例）

ａ）裁判員の選任手続や裁判員として裁判に参加する。

ｂ）学生という身分で，一般的に辞退する。

ｃ）定期試験時など特定の月や日は辞退する。

（辞退を申し出ることができる主な事由）
・１年間を通じて辞退することができる一般的事由がある…「学生」という身分
・裁判員になることが特に難しい特定の月がある…定期試験時など
・他の期日に行うことができない社会生活上の重要な用務がある場合

1）授業

授業期間

授業の開始日・終了日等については巻頭の「2019 年度　大学院行事予定表」で確認してください。

学期期間

2019 年度の学期の期間は下記のとおりです。

春学期：４月 １ 日 ～ ９月２０日
第１クォーター　４月 １ 日 ～　６月　６ 日
第２クォーター　６月 ７ 日 ～　９月２０ 日
秋学期：９月２１日 ～ ３月３１日
第３クォーター　９月２１日 ～ １１月１８日
第４クォーター　１１月１９日 ～　３月３１ 日
※各クォーターの始期および終期は，年度によって異なります。

授業時間

時限	時　間
１	９：００ ～ １０：４０
２	１０：５５ ～ １２：３５
３	１３：３０ ～ １５：１０
４	１５：２５ ～ １７：０５
５	１７：２０ ～ １９：００
６	１９：１０ ～ ２０：５０

※この他に，通常の授業日時・時間帯とは異なる形式で，土日や補講期間などに集中的に授業を行う「集中講義科目」もあります。この場合の授業日時・教室については別途掲示します。（時間割上では「集中講義」として記載されています）

みなし曜日

授業が行われる月曜から金曜のうち，祝祭日が集中するために十分な授業日数を確保できない曜日が発生することがあります。この際，ある曜日を異なる曜日とみなして授業を行うことがあります。

2019年度については，みなし曜日の設定はありません。

祝日の授業日

授業日数を確保するため特定の祝日にも授業を行うことがあります。

2019年度の該当日は以下のとおりです。

５月　６日（月）振替休日
７月１５日（月）海の日
１０月１４日（月）体育の日
１０月２２日（火）即位礼の日
１１月２３日（土）勤労感謝の日

休　　講

授業は大学院行事予定表に示された授業期間に行われますが，公務，出張，学会，病気などによって担当教員が授業できなくなり，休講となる場合もあります。休講は担当教員からの連絡によりLoyolaに掲示しますが，当日になって連絡を受けてお知らせする場合もありますので，授業前にLoyolaを確認する習慣をつけてください。授業開始時間から 30 分経過しても担当教員が入室しない場合は，学事センターに連絡し，その指示に従ってください。

補　　講

補講は，春学期と秋学期にそれぞれ設けられている補講日に原則として行いますが，このほかにも別日程で行う場合もあります。いずれの場合もLoyolaに掲示をしますので，教室や日時を確かめて出席してください。

春学期補講日	５月１８日（土），　６月３０日（日）， ７月１３日（土），　７月２０日（土）
秋学期補講日	１０月２６日（土），１２月１４日（土）， １月１１日（土），　１月１８日（土）

教　　室

授業は，基本的に Loyola に登録されている教室で行われます。しかし，開講後の受講者の人数等によって，教室が変更となる場合があります。教室変更については，Loyola の教室一覧表で確認できます。開講後しばらくは教室の変更が多くありますので，特に注意してください。

また，設備の都合などにより，臨時で教室が変更となる場合もあります。この場合も，Loyola に掲示します。

2）履修登録

授業を履修するためには，所定の期間内にLoyolaで履修登録手続をする必要があります。

履修登録の際のLoyolaの操作手順などはLoyola（Home）に掲載されている「Loyola Handbook（学生)」の該当部分を参照し，間違いのないよう手続してください。

■春学期・1Q・2Q 登録日程

＊Qはクォーターのことを指します。

項　目	期　間	備　　考
春学期・1Q・2Q科目履修登録	4月 1日(月)10：00～ 11日(木)21：00まで	春学期，第 1Q，第 2Q 開講科目を履修する場合は，原則として，この期間内にLoyolaで履修登録を行うこと。 なお，春学期に修士論文を提出予定の者（2019年9月修了希望の者）は，修士論文登録手続について学事センターに問い合わせること。 ※「研究指導」登録については，専攻からの届出に基づき学事センターにて一括して登録します。(学生自身での登録は不要です)
春学期・1Q・2Q科目履修登録確認	4月12日(金)	Loyolaで，履修登録した結果を確認することができます。
春学期・1Q・2Q科目履修登録修正期間	4月13日(土)10：00～ 18日(木)21：00まで	Loyolaで，履修登録した結果を修正することができます。
春学期・1Q・2Q科目履修登録結果確認(最終)	4月22日(月)13：00～	Loyolaで，修正登録した結果を確認することができます。

2Q科目 追加履修登録期間	6月 7日(金)10：00～ 13日(木)21：00まで	2Q 科目のみ履修登録できます。 ※主に，留学もしくは休学により「春学期・1Q・2Q 科目履修登録」の期間に手続きができない学生を対象とする。これに該当しない学生は，2Q 科目についてはできる限り「春学期・1Q・2Q 科目履修登録」の期間に履修登録すること。

■秋学期・3Q・4Q 登録日程

＊Q はクォーターのことを指します。

項　目	期　間	備　　考
秋学期・3Q・4Q科目 履修登録	9月21日(土)10：00～ 29日(日)21：00まで	秋学期，第 3Q，第 4Q 開講科目を履修する場合は，原則として，この期間内に Loyola で履修登録を行うこと。 なお，秋学期に修士論文を提出予定の者（2020年3月修了希望の者）は，履修登録とあわせて Loyolaで修士論文登録をおこなうこと。 ※「研究指導」登録については，専攻からの届出に基づき学事センターにて一括して登録します。(学生自身での登録は不要です)
秋学期・3Q・4Q科目 履修登録確認	9月30日(月)	Loyolaで，履修登録した結果を確認することができます。
秋学期・3Q・4Q科目 履修登録修正期間	10月 1日(火)10：00～ 3日(木)21：00まで	Loyolaで，履修登録した結果を修正することができます。
秋学期・3Q・4Q科目 履修登録結果確認 (最終)	10月 7日(月)13：00～	Loyolaで，修正登録した結果を確認することができます。
4Q科目 追加履修登録期間	11月19日(火)10：00～ 25日(月)21：00まで	4Q 科目のみ履修登録できます。 ※主に，留学もしくは休学により「秋学期・3Q・4Q 科目履修登録」の期間に手続きができない学生を対象とする。これに該当しない学生は，4Q 科目についてはできる限り「秋学期・3Q・4Q 科目履修登録」の期間に履修登録すること。

履　修　登　録

■履修計画

履修要綱，シラバスを参考に，必ず指導教員と相談の上，決定してください。シラバスはLoyolaで確認できます。(カリキュラム履修関係-シラバス参照)

■Loyola の利用について

Web ブラウザを起動し，以下の URL にアクセスしてください。

URL：https://scs.cl.sophia.ac.jp/campusweb/campusportal.do

(本学公式 HP トップページにリンクがあります。)

学内・学外のインターネットに接続可能なコンピュータから利用できます。(プロバイダやブラウザの設定によって閲覧できない場合があります。その場合は学内コンピュータルームを利用してください)

学内コンピュータルームを利用する場合は，各教室の利用時間を守ってください。

■履修登録の手順

必ず履修登録期間に Loyola より手続きを行ってください。履修登録は，学則に定めるとおり，所定の期間以外に行うことはできません。(上智大学学則第 50 条「履修しようとする授業科目は所定の期間に登録しなければならない。」)

Loyola による履修登録では，登録最終日の最終時刻までに登録を完了している必要があります（「履修登録・登録状況照会」画面にて，「登録完了」ボタンをクリックすることで完了します）。登録期間内にログインしていても，最終時刻までに「登録完了」ボタンをクリックしていないと履修登録は完了したことにはならないので，注意してください。登録最終日にコンピュータ，通信環境のトラブルで登録できなかった場合でも，特例の措置はとりません。余裕をもって登録を行ってください。

履修登録の最終日は，大変混雑が予想されるため，できれば前日を目処に早めに登録を完了するよう心がけてください。期間中であれば，「登録完了」ボタンを押した後でも，繰り返し修正（追加・削除）することが可能です。

履修登録完了後は，登録されている科目に誤りがないかを期間中に必ず確認してください。最終時刻までの間に，「登録完了」ボタンを押した最後の状況が登録されます。

質問等は，事務取扱い時間内に，学事センター（教務）窓口へ学生証持参の上，問い合わせてください。なお，電話・メールでの相談は行っておりません。加えて，電話での Loyola パスワードの問い合わせは本人確認が困難なため，受付できません。学生証持参の上，必ず学事センターに来室してください。

■修士論文登録

修士論文登録は，論文を提出する学期（最終学期）の履修登録期間内に行ってください。2020 年 3 月修了予定の場合は秋学期に登録をしてください。2019 年 9 月修了予定の場合は，学事センター（教務）窓口に申し出てください。

■履修登録の確認

履修登録後は随時，Loyolaで履修登録の結果が確認できます。

履修登録ミスを防ぐため，履修登録手続完了後，履修登録確認期間及び修正登録期間内に再度，Loyolaで履修科目を確認してください。

ナンバリング

2016 年度より，全研究科でナンバリングを導入し，2019 年度より付番ルールを改めました。

ナンバリングとは，授業科目に適切な番号を付けて分類することで，学修の段階や順序を表し，カリキュラムの体系性を明示する仕組みです。

ナンバリングによって科目の分類やレベル設定，履修順序などを読み取ることができます。

1）ナンバリング対象科目

全研究科開講科目が対象です。

2）ナンバリングの見方

ＡＡＡ① ５１１②−４５③j④６７⑤

①学問分野を表す（任意のアルファベット３文字）。

学問分野とアルファベットの対応表は，p. 9「学問分野対照表」を参照。

②100 の位で科目のレベルを表す。

【100 の位のレベル分類】

レベル	内容
500	博士前期（修士）課程１年次レベル科目
600	博士前期（修士）課程２年次レベル科目
700	専門職大学院課程科目
800	博士後期課程レベル専門科目及び論文指導

③開講元を表す。

p. 12「研究科専攻番号表」を参照。

④授業で使用する言語を表す。

アルファベット表記	言語	アルファベット表記	言語
j	日本語	p	ポルトガル語
e	英語	c	中国語
g	ドイツ語	k	コリア語
f	フランス語	i	イタリア語
h	イスパニア語	o	その他言語
r	ロシア語	m	複数言語

⑤科目ごとに付番される固有の番号。

3）ナンバリング掲載箇所

開講科目一覧表の科目名の隣の列に記載があります。

※例

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MTTH7011	春	キリスト教学専門研究Ⅰ	THE510-91j00	2	上　智　太　郎		
MTTH7012	秋	キリスト教学専門研究Ⅱ	THE511-91j00	2	上　智　花　子	○	隔年開講

【学問分野対照表】

No.	分野	分科	分野名略称	分野名（英語）	分野名（日本語）
1	人文学	神学	THE	Theology	神学
2		宗教学	RES	Religious Studies	宗教学
3		哲学	PHL	Philosophy	哲学
4		美術史	ART	Art History/Visual Culture	美術史
5		文化	CUL	Culture	文化
6		文学	LIT	Literature	文学
7		文学	JLT	Japanese Literature	国文学
8		文学	JAL	Japanese Language Studies	国語学
9		文学	CLT	Chinese literature	漢文学
10		文学	ELT	English Literature	英文学
11		文学	GLT	German Literature	ドイツ文学
12		文学	FLT	French Literature	フランス文学
13		言語学	LNG	Linguistics	言語学
14		言語学	LGG	Linguistics (German)	言語学（ドイツ語）
15		言語学	LGF	Linguistics (French)	言語学（フランス語）
16		言語学	LGH	Linguistics (Hispanic)	言語学（イスパニア語）
17		言語学	LGR	Linguistics (Russian)	言語学（ロシア語）
18		言語学	LGP	Linguistics (Portuguese)	言語学（ポルトガル語）
19		言語学	LGC	Linguistics (Communication Disorders)	言語聴覚障害学
20		言語学	LGE	Linguistics (TESOL)	言語学（英語教授法）
21		言語学	LGJ	Linguistics (TJFL)	言語学（日本語教授法）
22		語学	ENG	English	英語
23		語学	GMN	German	ドイツ語
24		語学	FRN	French	フランス語
25		語学	HSP	Hispanic	イスパニア語
26		語学	CHN	Chinese	中国語
27		語学	KOR	Korean	コリア語
28		語学	RUS	Russian	ロシア語
29		語学	POR	Portuguese	(ブラジル)ポルトガル語
30		語学	ITL	Italian	イタリア語
31		語学	IND	Indonesia	インドネシア語
32		語学	TGL	Filipino	フィリピン語
33		語学	ARA	Arabic	アラビア語
34		語学	THA	Thai	タイ語
35		語学	PER	Persian	ペルシア語
36		語学	CAM	Combodian	カンボジア語
37		語学	BUR	Burmese	ビルマ語

No.	分野	分科	分野名略称	分野名（英語）	分野名（日本語）
38	人文学	語学	TUR	Turkish	トルコ語
39		語学	VIE	Vietnamese	ベトナム語
40		語学	HIN	Hindi	ヒンディー語
41		語学	SWA	Swahili	スワヒリ語
42		語学	JPN	Japanese	日本語
43		語学	LAT	Latin	ラテン語
44		史学	HST	History	歴史
45		史学	GEO	Geography	地理
46		文化人類学	ANT	Anthropology	文化人類学
47		新聞学	JRN	Journalism	ジャーナリズム
48		文化交渉学	CUI	Cultural Interaction	文化交渉学
49		人文学	HUM	Humanities	人文学
50	社会科学	法学	LAW	Law in general	法律一般
51		法学	JUR	Jurisprudence	基礎法
52		法学	PBL	Public Law	公法
53		法学	CVL	Civil Law	民事法
54		法学	CML	Commercial Law	商法
55		法学	CPL	Civil Procedural Law	民事訴訟法
56		法学	CRL	Criminal Law	刑事法
57		法学	SCL	Social Law	社会法・経済法
58		法学	INL	International Law	国際法
59		法学	PIL	Private International Law	国際私法・取引法
60		法学	ENL	Environmental Law	環境法
61		政治学	POL	Political Science	政治学
62		経済学	ECN	Economics	経済学
63		経営学	MAN	Management	経営学
64		経営学	ACC	Accounting	会計学
65		経営学	MRK	Marketing	マーケティング
66		経営学	MMI	Miscellaneous	経営学専攻共通
67		社会学	SOC	Sociology	社会学
68		社会学	SSV	Social Service	社会福祉学
69		心理学	PSY	Psychology	心理学
70		教育学	EDU	Education	教育学
71		ビジネスと経済	IBE	International Business and Economics	ビジネスと経済
72		ビジネスと開発	IBD	International Business and Development Studies	ビジネスと開発

No.	分野	分科	分野名略称	分野名（英語）	分野名（日本語）
73	総合人文社会	グローバル・スタディーズ	GST	Global Studies	グローバル・スタディーズ
74		国際関係論	IRS	International Relations	国際関係論
75		地域研究	ARS	Area Studies	地域研究
76		地域研究	ASA	Area Studies (Asia)	地域研究（アジア）
77		地域研究	AME	Area Studies (Middle East)	地域研究（中東）
78		地域研究	AAF	Area Studies (Africa)	地域研究（アフリカ）
79		地域研究	ANA	Area Studies (North America)	地域研究（北米）
80		地域研究	ALA	Area Studies (Latin America)	地域研究（ラテンアメリカ）
81		地域研究	AEU	Area Studies (Europe)	地域研究（ヨーロッパ）
82		地域研究	ARE	Area Studies (Russia and Eurasia)	地域研究（ロシア・ユーラシア）
83		日本研究	JST	Japanese Studies	日本研究
84	理工学	理工学	SCT	Science and Technology	理工学
85		理工学	MLS	Materials and Life Sciences	物質生命理工
86		理工学	EAS	Engineering and Applied Sciences	機能創造理工
87		理工学	ICS	Information and Communication Sciences	情報理工
88		理工学	MEC	Mechanical Engineering	機械工学
89		理工学	EEE	Electrical and Electronics Engineering	電気電子工学
90		理工学	ACH	Applied Chemistry	応用化学
91		理工学	CHM	Chemistry	化学
92		理工学	MTH	Mathematics	数学
93		理工学	PHY	Physics	物理学
94		理工学	BIO	Biology	生物科学
95		理工学	INF	Informatics	情報学
96		理工学	GRS	Green Science	グリーンサイエンス
97		理工学	GRE	Green Engineering	グリーンエンジニアリング
98		理工学	GSE	Green Science and Engineering	グリーンサイエンス・エンジニアリング
99	情報処理	情報処理	COM	Computer Studies	情報処理
100	看護学	看護学	NRS	Nursing	看護学
101	環境学	環境学	ENV	Environmental Studies	環境学
102	保健体育	保健体育	HPE	Health and Physical Education	保健体育
103	宗教・哲学	宗教・哲学	RPH	Religion/Philosophy	宗教・哲学
104	思考法	思考法	THP	Thinking Processes	思考法
105	複合領域	複合領域	CMF	Composite Fields Studies	複合領域

No.	分野	分科	分野名略称	分野名（英語）	分野名（日本語）
106	教職科目	教職科目	TCP	Teacher-training Course Program	教職科目
107	学芸員科目	学芸員科目	CCP	Curator Course Program	学芸員科目
108	実践科目	実践科目	SEP	Social Engagement Program	実践科目
109	卒業論文	卒業論文	GRP	Graduation Project	卒業論文
110	自主研究	自主研究	IDR	Independent Research	自主研究
111	留学	留学	SAC	Study Abroad Courses	留学

【研究科専攻番号表】

■博士前期課程（修士課程含む）/博士後期課程

研究科	専攻	専攻 CD
神学	神学	91
	組織神学	92
文学	哲学	21
	史学	23
	国文学	24
	英米文学	25
	ドイツ文学	26
	フランス文学	27
	新聞学	28
	文化交渉学	30
実践宗教学	死生学	35
総合人間科学	教育学	81
	心理学	82
	社会学	83
	社会福祉学	84
	看護学（修士課程）	85
法学	法律学	41
経済学	経済学	55
	経営学	56
言語科学	言語学	61
グローバル・スタディーズ	国際関係論	66
グローバル・スタディーズ	地域研究	67
	グローバル社会	65
理工学	理工学	75
地球環境学	地球環境学	94

■専門職学位課程

研究科	専攻	専攻 CD
法学	法曹養成	10

開講科目一覧表の見方

4．開講科目一覧表

*は非常勤教員を示す

○：外国語による授業科目

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MMMM1000	春	哲学総合研究A	AAA5**-21j00	2	上　智　太　郎	○	後期課程「哲学総合講義A」と合併
MMMM2000	春	古代哲学文献特論Ⅰ	BBB5**-21j00	2	紀尾井　花　子		夏期集中
MMMM1100	秋	美学芸術学特講Ⅰ	CCC5**-21j00	2	*市　谷　良　子		17年次生以降対象科目
MMMM2100	秋	宗教思想特論	CCC5**-21j00	2	(他)目　白　　肇		
MMMM3000	休講	美学芸術学特論Ⅱ	DDD5**-21j00	2			隔年開講
MMMM3100	休講	日本思想特論	EEE5**-21j00	2			隔年開講

今年度休講の科目

他専攻教員

備考欄には重要な注意が書かれているので見落とさないこと

他研究科開講科目の修了単位への算入（認定手続）

大学院学則第17条に定められているとおり，指導教員，専攻主任の許可により，他の研究科の授業科目を履修し，その単位を自専攻の修了に必要な単位として算入すること（修了単位への認定）が可能です。

修了単位への認定には，Loyolaでの履修登録手続に加え，所定の手続が必要となります。認定手続を希望する学生は，学事センター（教務）窓口で手続書類を受け取り，当該科目を履修登録する学期の履修登録期間及び修正登録期間の事務取扱時間内（10：00～11：30，12：30～15：30）に学事センター（教務）窓口で手続をすること。

（参考：大学院学則第 17 条）
各研究科において，指導教員が教育研究上有益と認めたときは，他の研究科又は学部の授業科目を履修させることができる。
２　前項の規程により修得した単位は，学部の授業科目を除き，8単位を超えない範囲で，当該研究科において修得したものとみなすことができる。

学部科目の履修

大学院学則第 17 条に定められているとおり，指導教員，専攻主任の許可により，学部の授業科目を履修することができます。

学部の授業科目は Loyola では履修登録手続はできません。履修登録を希望する学生は，Loyola 掲示板に掲載される手続きにしたがって，履修登録期間内に学事センター（教務）窓口で手続きすること。

ただし，履修した単位を修了に必要な単位として算入することはできないので注意すること。

また，大学院生は，学部の抽選科目については原則として登録の対象外です。研究上，履修の必要があるなどの事情がある場合は，履修登録期間内に学事センター窓口に問い合わせること。

3）履修中止

履修中止申請

履修中止制度は，授業に出席してみたものの，①授業の内容が自分が勉強したいものと違っていた，②授業のスピードについていけるだけの知識が不足していることに気が付いた，③健康上の理由から履修科目数を減らしたい，といった理由から履修を中止するものです。

履修中止申請はLoyola上で行います。操作手順については，必ずLoyolaのHomeメニューにある「Loyola Handbook（学生）」を参照してください。

履修中止を希望する場合は，必ず所定の期間中に申請を行ってください。

申請後は，随時Loyolaで履修中止の結果が確認できます。申請ミスを防ぐため，履修中止の手続完了後，履修中止申請期間内に再度，Loyolaで確認してください。

■春学期申請期間

日　　時	対　象　科　目
5月 6日（月）10：00 ～ 8日（水）18：00まで	第1クォーター科目
6月24日（月）10：00 ～ 28日（金）18：00まで	春学期科目・第2クォーター科目

■秋学期申請期間

日　　時	対　象　科　目
10月14日（月）10：00 ～ 16日（水）18：00まで	第3クォーター科目
12月 2日（月）10：00 ～ 6日（金）18：00まで	秋学期科目・第4クォーター科目

■注意事項

1）<u>必修科目については，履修中止は認められません。</u>
2）修了予定者は，履修登録単位の合計が修了に必要な単位数・要件を満たしているかを各自で十分に確認した上で履修中止を行ってください。
3）修士論文の履修中止（取り下げ）についてはp. 20を参照してください。
4）履修中止申請期間内であればLoyola上での履修中止取消は可能ですが，期間終了後の取消は 一切認められません。ただし，履修中止した科目を翌年度以降に履修登録することは可能です。
5）一部の専攻において，履修中止にあたり学事センター（教務）窓口に願書を提出する必要があります。詳細は各専攻の頁にある履修上の注意を参照してください。

4）修了必要単位の自己判定

修了必要単位の自己判定

Loyola上で，履修中単位数と修得済単位数を合計した累積単位数から不足単位数を参照し，修了の合否および修了要件の各区分ごとの合否を参照することができます。

履修登録や履修中止申請を行う前に，各自確認のうえ，履修計画を立ててください。

ただし，専攻によっては，カリキュラムが複雑なため，正しく計算されない場合もあります。修了の可否についての最終確認は，必ず各専攻の頁を参照し，各自で確認を行ってください。

※自己判定画面に反映されないものについては，Loyola掲示板に注意書きを掲示していますので，あわせて確認してください。

5）学力の評価

評 価 基 準

学力の評価は，担当教員の授業方針によって，試験（筆記・口頭・実技など），レポート，授業参加の状況その他に基づいて行われます。 成績評価と判定基準は次のとおりです。

		評価	評点	QPI	内容
判定	合格	A	100～90 点	4.0	特に優れた成績を示したもの
		B	89～80 点	3.0	優れた成績を示したもの
		C	79～70 点	2.0	妥当と認められる成績を示したもの
		D	69～60 点	1.0	合格と認められるための最低限度の成績を示したもの
		P	―――		合格と認められる成績を示したもの
	不合格	F	59 点以下	0	合格を「A，B，C，D」とする科目において，合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
		X	―――		合格を「P」とする科目において，合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
履修中止		W	―――		所定の期日までに履修中止の手続きをしたもの
認定科目		N	―――		修得単位として認定されたもの

なお，2015 年度より，上智大学では「成績評価のガイドライン」が制定されました。
各科目の成績評価は本ガイドラインに則って行われます。

【成績評価のガイドライン】
A 評価を付与する割合は 2 割以内を目安とし，最大で 3 割までとする。
ただし，演習科目，指導科目，30 人以下の講義科目等は除く。

各科目の成績は，担当教員がシラバスで明示した成績評価基準に照らして計算された素点に基づき「A」～「F」に評価されますが，本ガイドラインに則り，素点が 90 点以上となった学生が全体の 3 割を超えた場合，全体的に調整を行い，上位 3 割以内のものを「A」評価とし，以下は順次「B」「C」「D」「F」の評価を付すことになります。
したがって，素点が 90 点以上となっても，「A」評価とならない場合があります。

G.P.A.（Grade Point Average）

各評価の Quality Point Index（=QPI：上表参照）と呼ばれる値に各科目の単位数をかけたものが Quality Point となり，Quality Point の総合計を履修登録科目の総単位数で割ったものが GPA となります。P（合格=Pass），X（不合格=Not Pass），W（履修中止=Withdrawal），N（認定科目）は計算式に含まれません。

【GPA の計算式】

$$\frac{4.0 \times \text{A の修得単位数} + 3.0 \times \text{B の修得単位数} + 2.0 \times \text{C の修得単位数} + 1.0 \times \text{D の修得単位数}}{\text{履修登録科目の総単位数（W，N，P，X として表記された科目を除く）}}$$

成績の確認

＊Q はクォーターのことを指します。

＜修士２年次生＞＜早期修了予定者＞ 春学期・1Q・2Q 科目を含んだ累積の成績	８月２７日（火）～ Loyola にて公開
＜全学生＞ 春学期・1Q・2Q 科目を含んだ累積の成績	９月１０日（火）～ Loyola にて公開
＜修士２年次生＞＜博士３年次生＞＜早期修了予定者＞ 秋学期・3Q・4Q 科目を含んだ累積の成績	２月２１日（金）～ Loyola にて公開
＜全学生＞ 秋学期・3Q・4Q 科目を含んだ累積の成績	３月１６日（月）～ Loyola にて公開

成績評価確認願

成績評価について疑問のある場合は，「成績評価確認願」（所定用紙・Loyola 掲示板よりダウンロードまたは学事センターで受け取り）を下記の提出締切日までに学事センターへ提出してください。その際，必ず成績が確認できるもの（Loyola の履修成績照会画面の印刷等）を持参してください。期日を過ぎた場合の願い出は一切受け付けられません。なお，修士２年次生（早期修了予定者を含む）については，各学期別途受付期間を設けます。Loyola で日程の確認をしてください。

2019年度春学期・1Q・2Q科目	2019年9月20日（金）まで
2019年度秋学期・3Q・4Q科目	2020年3月31日（火）まで

提出にあたっては，当該科目に自分が臨んだ状況を充分吟味し，A～F の成績評価基準を理解したうえで，学事センターで配布される記入上の注意をよく読み提出してください。なお，以下のような理由による提出は受け付けられません。

① 単に再評価・再検討を願い出るもの。
② 担当教員に情状を求めること（修了や教職免許等の取得に関わる等）。
③ 他の学生との対比上の不満を訴えるもの（友人はB評価だが，なぜ自分はC評価になったのか等）。
④ 評価に疑問がなく，その評価になった理由のみを問い合わせるもの（教員からの講評，解説がほしい等）。
⑤ 「出席はしました」「試験は受けました」等具体的な内容の記載がないもの。

単位認定

入学前に他の大学の大学院で修得した単位は，入学前単位認定の手続きにより，本学の修得単位に相当するものとして認定することができます。また，先取り履修（本学学部卒業生で大学院入学前科目履修制度を利用して単位を修得）により，本学において修得した単位も入学前単位認定に含まれます。

留学による修得単位（p. 22 参照），委託聴講による修得単位（p. 31 参照）についても所定の手続きをすれば，本学修得単位に相当するものとして認定をすることができます。

なお，大学院学則第 18 条により，入学前単位認定（先取り履修を含む），委託聴講による修得単位，留学による修得単位認定で修了単位に算入できるものは合計 10 単位が上限となります。

6）学術研究倫理

本学では健全な学術研究の発展と社会との共生のため，「上智大学学術研究倫理に関するガイドライン」や，「上智大学における研究活動上の不正行為の防止等に関するガイドライン」，「上智大学『人を対象とする研究』に関するガイドライン」を定め，研究活動を行うすべての構成員にその遵守を求めています。

ガイドラインの対象者は，教員，研究員のみならず，大学で研究活動に従事する学生も含みます。大学院生諸君も学問の自由の下に研究活動における自主性が尊重され，真理を探究する権利を有していますが，同時に研究活動における高い倫理性も求められています。本学では，学術研究倫理に対する理解を深めるため，大学院生諸君へも研究倫理教育の受講を求めていますので，必ず受講してください。

研究活動のあらゆる局面において捏造，改ざん，盗用等の不正行為を行わないこと，加担しないことはもちろんですが，論文作成時の引用への認識不足から，剽窃や盗用とみなされる方法をとることがないよう，日ごろから文献の引用方法やデータの取り扱い方法等について正しい知識を身につけるとともに，研究・調査データの適切な記録保存により不正の発生防止のための取り組みを行う等，研究者としての自覚を持ち，ふさわしい対応を心掛けてください。

「上智大学学術研究倫理に関するガイドライン」，「上智大学『人を対象とする研究』に関するガイドライン」は本学公式 HP からも参照できます。必ず一読の上，十分理解したうえで研究活動を行うよう留意してください。
＞研究活動＞研究活動・研究支援＞学術研究倫理
https://www.sophia.ac.jp/jpn/research/sunivrsc/kenkyurinri.html

7）研究指導

研究指導とは，大学院学則第14条第1項（p. 405）に規定する研究指導（学位論文の作成等に対する指導）のことをいい，指導内容は以下の通りです。

イ）学位論文の構想，準備，執筆などの学位論文作成に関する指導
ロ）専攻ごとの学位論文提出資格要件を満たすための指導
ハ）学会報告や学会誌投稿に関する指導
ニ）その他，学位論文などの作成に関連する指導

11年次生以降

■研究指導登録

「研究指導」登録については専攻からの届出に基づき，学事センターにて一括して登録します。（学生自身での登録は不要です）

春学期は5月下旬，秋学期は11月下旬に登録されますので，各自確認してください。

なお，2017 年度以降に入学した学生には，修了に必要な合格科目数が定められましたが，合格科目数を修得後も，在学中は毎学期自動登録され，成績が付与されます。

■方法

研究指導の曜日及び時限等については，研究指導を行う教員と個別に相談のうえ，決定してください。交換留学，一般留学時は，研究指導登録を免除とします。詳細については，学事センター（教務）窓口に問い合わせてください。

■その他

研究指導については，上智大学大学院研究指導に関する細則（p. 415）を参照してください。

10年次生以前

在籍する専攻の修了要件（入学年次）に従って履修を行ってください。詳細は各専攻のページを参照してください。

8）学位論文

博 士 論 文

論文の申請資格，申請方法，論文審査，試験等については学位規程（p. 416～）を参照してください。博士論文の提出については，学事センター（学籍）窓口に問い合わせてください。

*2014 年度博士後期課程入学者から「課程博士の学位申請に関する特例内規」（p. 422）は，適用外となりましたが，新たに論文再入学制度が整備されました。詳細は p. 24 を参照してください。

*2013 年度より，インターネットを利用して博士論文の全文を公表することが義務づけられました。やむを得ない事由により全文公表ができない場合には，上智大学の審査・承認をうけて，学位授与から 1 年以内に 2 万字以上の要約を公表する必要があります。

修 士 論 文

■提出資格

本大学院博士前期課程の在学生で，休学期間を除き２年以上在学し，すでに所定の単位を修得した者，または当該年度で在学期間が２年になり，論文審査終了までに所定の単位を修得見込みの者。

■修士論文の履修登録

提出予定者は，**修士論文を提出する学期の履修登録期間中**に授業科目と合わせて修士論文の履修登録を必ず行ってください。

■提出期限・規格・部数

論文の提出期限・規格・提出部数は次の通りです。

研究科	専攻	提出期限	提出場所	規格	部数
神　学	神学	1月 9日	専攻事務	Ａ４横書	3
哲　学	哲学	1月16日	専攻事務	Ａ４横書	3
文　学	哲学	1月16日	専攻事務	Ａ４横書	3
	史学	1月16日	学事センター	Ａ４横書または縦書（詳細は指導教員の指示を受けること）。	3
	国文学	1月16日	学事センター	Ａ４縦書，４０字×３０行。特に必要と認められた者については許可を得て横書可。	3
	英米文学	1月10日	学事センター	Ａ４横書（専攻内規の定めるところに従う）	3
	ドイツ文学	1月16日	学事センター	Ａ４横書（専攻内規の定めるところに従う）	3
	フランス文学	1月16日	学事センター	Ａ４横書（専攻内規の定めるところに従う）	3
	新聞学	1月16日	学事センター	Ａ４横書＋概要書（専攻内規の定めるところに従う）	3
	文化交渉学	1月16日	学事センター	Ａ４横書（専攻内規の定めるところに従う）	3
実践宗教学	死生学	1月16日	専攻事務	Ａ４横書＋論文要旨（概要書）	3
総合人間科学	教育学	1月16日	専攻事務	Ａ４横書，４０字×３０行で作成する。	3
	心理学	1月16日	学事センター	Ａ４横書，左余白４cm。４０字×３０行を目安とする。	4
	社会学	1月16日	専攻事務	Ａ４横書，４０字×３０行を目安とする。	3
	社会福祉学	1月16日	専攻事務	Ａ４横書，左余白４cm。４０字×３０行を目安とする。４頁分の要約を目次の次に付ける。	3
	看護学	1月16日	学事センター	Ａ４横書，左余白４cm，４０字×３０行を目安，フォント１１ポイント，要旨３頁程度を表紙の次に添付する。	4
法　学	法律学	1月 7日	専攻事務	Ａ４横書または縦書	3
経済学	経済学	1月16日	専攻事務	Ａ４横書	4
	経営学	1月16日	専攻事務	Ａ４横書	4
言語科学	言語学	1月15日	専攻事務	Ａ４横書（詳細は専攻のスタイル・マニュアルを参照のこと）	3
グローバル・スタディーズ	国際関係論	1月10日	専攻事務	Ａ４横書（１部ずつクリップで留め，専攻指定の封筒に入れること）	4
	地域研究	1月24日	学事センター	Ａ４横書（１部ずつクリップで留め，専攻指定の封筒に入れること）	3
	グローバル社会	7月 3日 1月 8日	専攻事務	Ａ４横書	4
理工学	理工学	1月31日	指導教員	Ａ４横書	3
地球環境学	地球環境学	7月 3日 1月17日	学事センター	Ａ４横書	3

■提出方法

① 提出論文には必ず下記の内容を明記したタイトルページをつけてください。

2019年度 学位論文 論文題目（副題） 研究科・専攻名 博士前期課程 氏　　名

＊ 左記の内容は必ず記載する。
＊ 記載順序，その他追記事項など専攻で定める形式があれば，それに従う。
＊ オリジナル論文の表紙には左記のタイトルページのコピーを貼り付ける。

② 論文は，移管や審査中にバラバラにならないよう，2穴バインダー・ファイル等で仮綴してください。なお，専攻により提出の際の様式が指定されている場合があります。詳細については専攻主任や指導教員に確認してください。

③ 論文の提出前に指導教員の承認が必要な場合がありますので，専攻主任や指導教員に確認してください。

■学事センターに修士論文・提出票を提出する際の留意事項

① タイトルページのないものなど，上記に従わない論文は受け付けません。また，パンチ等の事務用品は一切貸し出しをしないので，内容を十分に確認し，完全に論文提出できる状態で持参してください。

② 受付時間外，提出期限後は一切受け付けません。

③ 学事センターに修士論文を提出する場合，修士論文提出票（学事センター（学籍）窓口にて配付）を同時に提出してください。

■提出後

修士論文の審査・試験の日時・場所については，専攻より別途指定されます。

提出した論文のうち，オリジナル論文１部は，後日，専攻事務室より一括して学事センターに提出され，製本後，本学中央図書館の閉架書庫に保管されます。保管された論文は，利用者からの求めに応じて閲覧に供されるのと同時に，論文の情報（論題，著者名，学位授与年度，所属研究科・専攻（領域））がデータベース化され，学内外に公開されます。

また，学位を授与された論文全文を上智大学学術情報リポジトリ（Sophia-R）に登録し，公開することができます。

■修士論文の履修中止（取り下げ）について

① 履修中止申請期間に，専攻主任の許可の上，履修中止願（学事センター所定用紙）を学事センター（教務）窓口に提出してください。

② 履修中止申請期間以降から論文提出期限までの期間に事情により本年度論文提出を取り止めることを希望する場合は，専攻主任および指導教員の許可の上，履修中止願（書式自由）を学事センター（教務）に提出してください。

③ 履修中止申請期間以降から論文提出期限までの間であり，論文提出後に，論文提出を取り下げたい場合は，専攻主任および指導教員の許可の上，履修中止願（書式自由）を学事センター（教務）に提出してください。

④ 論文提出期限後は，履修中止（取り下げ）は認められません。ただし，論文を提出したものに限り，修士論文の審査・試験前であり，特段の事情がある時は，専攻主任および指導教員の許可の上，履修中止願（書式自由）を学事センター（教務）に提出することができる場合があります。その際，願書には履修中止（取り下げ）理由を明記してください。

［注意］・修士論文を履修中止した場合，成績は「W」と記載されます。
・履修中止の手続を行わないと，成績は「F」となり，成績証明書に記載されます。

9）修了

修了要件

修了要件は次のとおりです。（詳細は大学院学則 21 条（p. 406）を参照してください）

【博士前期課程（修士課程）】

①修業年限を満たす。（休学期間を除く2年間在学する）
②修了に必要な所定の単位を修得する。（各専攻の定めに従って 30 単位以上修得する）
③必要な研究指導を受けた上で，修士論文の審査及び試験に合格する。

【博士後期課程】

①修業年限を満たす。（休学期間を除く3年間在学する）
②修了に必要な所定の単位を修得する。
③必要な研究指導を受けた上で，博士論文の審査及び試験に合格する。

■修了要件をみたすには

修了要件の確認は，学生個人の責任で行われるべきものです。以下を参照し，各自で修了に必要な科目・単位に不足がないか確認してください。

①履修要綱の所属専攻のページを熟読する。
②正しく履修登録し，単位を修得する。
③Loyola を参照し，修得科目・単位数及び不足単位を確認する。

9 月 修 了

春学期をもって修了要件を満たす者は9月修了が可能です。

2019年9月に修了を希望する博士前期課程（修士課程）の学生は，2019年6月28日（金）までに学事センター（教務）窓口へ所定用紙での申請が必要です。詳細については，掲示で確認してください。なお，博士後期課程の学生については，論文提出前に学事センター（学籍）窓口に相談してください。

10）学籍

学 生 証

学生証は上智大学の学生であることを証明するものです。学生生活を送る上で，学内・学外を問わず提示が必要な場合がありますので，常に携帯してください。

学生証は，いかなる理由があっても他人に貸与，譲渡することはできません。また，退学等により学籍を失った場合は，速やかに本学に返却してください。

■在籍確認シールの貼り替え

学生証は，裏面に在籍確認シールを貼った状態で，はじめて学生証として機能します。在籍確認シールの有効期限は１年間ですので，年度はじめに必ず貼り替えてください。住所を変更して通学区間が変更になった場合や，定期券の発行控欄が足りなくなった場合は，学事センター（学籍・証明書）窓口に申し出てください。

■記載事項に変更がある場合

学生証の記載事項（氏名や生年月日等）に誤りや変更がある場合は，学事センター（学籍・証明書）窓口に申し出てください。

■磁気データ不良が原因で読取ができなくなった場合

磁気データ不良により図書館入館，証明書自動発行機の利用ができなくなる事象が発生しております。本事象が発生した場合は，学事センター（学籍・証明書）窓口に申し出てください。

＜お願い＞

スマートフォンの金具，バッグの留め具等の磁石等の磁気を帯びたものに学生証を近づけた

際，磁気データが破損する場合がありますので，一緒に保管等しないようにしてください。

■紛失・汚損・破損してしまった場合

再発行となりますので，「学生証再発行願」（所定用紙）に手数料分の証紙（1,000円）を購入・ 貼付の上，学事センター（学籍・証明書）窓口に申し込んでください。

在学期間

博士課程の修業年限は5年です。博士課程は，前期2年及び後期3年の課程に区分され，前期2年の課程を博士前期課程，後期3年の課程を博士後期課程といいます（大学院学則第3条）。

大学院の在学可能な期間は休学期間を除き9年を限度とし，前期課程においては4年，後期課程においては5年の期間を，それぞれ超えることはできません（大学院学則第3条の2）。

標準修業年限を超えて在学し，条件に該当する場合，学費が減額（論文減額）となることがあります。詳細は学事センター（学費）窓口に問い合わせてください。

留学

本学における「留学」には，「交換留学」と「一般留学」があります。所定の「留学願」を期日までに提出しなくてはなりません。学籍上「留学」の扱いにはなりませんが，休学して海外勉学したり，長期休暇中に短期のプログラムに参加するなどの方法もあります。

留学の種類や期間によって，学費，願出書類，修業年限への算入や単位換算の可否などが異なります。留学を希望する学生は，グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』を熟読し，指導教員と相談の上，計画を立てて手続きを行ってください。

履修や単位換算に関する問い合わせは学事センター（教務）窓口で受け付けているので，手続等について留学前によく確認してください。

【交換留学出願前の留意事項】

協定校によっては大学院生の受入を行わない大学や，大学院生を学部生扱いでしか受け入れないところもあります。大学院生派遣の可否についてはグローバル教育センターから事前に問い合わせる必要があるため，希望者は学内願書受付期間の1ヶ月前までに，①留学希望大学名，②受入希望研究科・専攻，③履修希望科目などを具体的に調べた上で，グローバル教育センターまで問い合わせてください。

なお，協定校から出願が認められた場合でも，学内選考合格後，留学先大学の審査で受入が不可になる場合や，学部レベルでの受入を提案されることもあります。

■留学の資格

交換留学または一般留学の場合，留学を開始する学期までに本学大学院に少なくとも1年以上在学し，博士前期課程の場合には，本学において修得すべき授業科目 10 単位以上を修得していることが必要です。ただし，指導教員および専攻主任が，研究指導上，留学することにより研究または学修効果があがるものと判断し，許可した場合は，本学大学院に1学期在学しており，10単位以上履修登録することで基準を満たすこととします。

■期間

「留学」できる期間は，交換留学は1学期または2学期（1年）で，一般留学では1クォーターを単位とし，最大2年間まで可能です。ただし修業年限に含まれるのは，そのうち1年間までです。

■提出期限

交換留学の場合は，グローバル教育センターの指定した期日までに「留学願」を提出してください。一般留学の場合は，留学開始の1ヶ月前かつ留学を希望するクォーターの前日までに「留学願」を学事センター（学籍・証明書）窓口に提出してください。

■帰国届

帰国後は１ヶ月以内に「帰国届」を学事センター（学籍・証明書）窓口に提出してください。交換留学の場合は，交換留学レポートをグローバル教育センターに提出して確認印を受けてから提出してください。

■単位換算

留学中に修得した科目の単位は，最高 10 単位まで本学の単位に換算することができます（ただし休学による海外勉学の場合を除く）。詳しくは p. 16「単位認定」，および『留学ハンドブック』を参照してください。

■保険の加入

大学が関知するすべての海外渡航プログラムに参加する学生には，大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することを義務付けています。これは，一般留学や休学による海外勉学も含まれます。詳細はグローバル教育センターに問い合わせてください。

休　　学

病気，その他のやむを得ない理由で休学しようとする場合は，指導教員または専攻主任と相談のうえ，所定の「休学願」に必要事項を記入して学事センター（学籍・証明書）窓口に提出してください。病気により休学する場合は，医師の診断書を添付する必要があります。

また，休学して海外勉学をする場合は，大学の指定する保険および危機管理サービスに加入することが義務付けられています。詳細はグローバル教育センターに問い合わせてください。

なお，休学期間は修業年限に含まれないので，休学期間分は修了が延期されます。また，修了要件を満たしていても，休学している学期は修了することができません。

■期間

休学期間は **1 クォーター単位**（第 1 クォーター・第 2 クォーター・第 3 クォーター・第 4 クォーター）です。休学期間は，博士課程通算 5 年を超えることはできません。ただし，看護学専攻および専門職学位課程は通算 2 年を超えることはできません。（大学院学則第 28 条）

■提出期限

休学期間（クォーター）	提出期限
4月 1日～ 6月 6日（第1クォーター）	4月30日（火）
6月 7日～ 9月 20日（第2クォーター）	6月30日（日）
9月21日～11月18日（第3クォーター）	10月31日（木）
11月19日～3月31日（第4クォーター）	12月20日（金）

前もって休学の計画がある場合は，休学をする年度またはクォーターが始まる１ヶ月前までに「休学願」を提出してください。提出期限を過ぎた場合は，どのような理由であっても受理できませんので注意してください。郵送による提出の場合，提出期限当日の消印有効です。連続 2 年分まで一括して受け付けることができます。

■休学中の学費

休学期間中の授業料等学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口に問い合わせてください。

復　　学

休学期間が満了した場合は，自動的に復学となるので復学の届出は必要ありません。ただし下記の場合は，復学を希望する学期（またはクォーター）が始まる前日までに所定の「復学届」を提出してください。

① 病気により休学した場合。（「医師の診断書」を添付してください）

② 2 クォーター以上の休学について許可が下りている場合で一部のクォーターで休学の事由が終了したため，休学期間を短縮して復学する場合。（1 クォーター以下に短縮することはできません）

退　　学

退学には自主退学と退学を命ぜられるものと 2 種類あります。

■期日

退学の期日は学期末日（9 月 20 日または 3 月 31 日）に限ります。

■自主退学

事情により退学しようとする場合は，指導教員または専攻主任と相談のうえ，所定の「退学願」に必要事項を記入し，原則として希望する退学の期日までに学事センター（学籍・証明書）窓口に学生証を添付して提出してください。退学を願い出る者はその時期までの授業料等学費を納入済みでなければなりません。

なお，春学期末日を退学日とする「退学願」を春学期末までに提出し，許可された場合，学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口に問い合わせてください。

■満期退学

博士後期課程の学生が，学位論文を除く全ての課程修了要件を満たして退学する場合，これを「満期退学」と呼んでいます。課程博士として論文審査を受けるための特例の適用や論文再入学制度，就職時の条件等の関係から，一般の退学と区別しています。

・ 特例制度

2013 年度までに上智大学の博士後期課程に入学した学生が，満期退学し，特例の適用を希望する場合，退学願と課程博士学位論文提出申請書を学事センター（学籍）窓口に提出しなければなりません。特例の適用申請が受理された場合，3 年以内に博士論文を提出する権利を有します。詳細は学事センター（学籍）窓口にお問い合わせください。

・ 論文再入学制度

博士論文を除く全ての課程を修了した学生が満期退学をした場合，満期退学後 3 年以内であれば，論文再入学の制度を利用することができます。この場合，1 学期（2 クォーター）以上の在学期間を残して満期退学をしなければなりません。

■退学を命ぜられるもの

下記の者は退学を命じられます。（大学院学則第 29 条）

① 在学期間（休学期間は含まない）を満たした者。

② 定められた授業料等学費を期限までに納付しない者。

③ 成業の見込みがないと認められる者。

④ 懲戒処分として退学事由のある者。（大学院学則第 29 条の 2）

再　入　学

本学大学院を退学した者が，以前在籍していた研究科・専攻に再び入学することを再入学といいます。大学院の再入学には，「再入学」と「論文再入学」があります。詳細については，学事センター（学籍）窓口にお問い合わせください。

■再入学

出願できることができる年度

① 学則第 28 条適用退学者（自主退学）
退学日から 1 学期以降であって退学した年度の翌年度より数えて 3 年を経過していない者

② 学則第 29 条第 1 号適用退学者（学費未納退学）
退学日から 1 学期以降であって退学した年度の翌年度より数えて 3 年を経過していない者

③ 学則第 29 条第 3 号適用退学者（成業無見込退学）
退学日から 2 学期以降であって退学した年度の翌年度より数えて 3 年を経過していない者

④ 学則第 29 条の 2 適用退学者（在学不適四項目処分）
退学日から 2 学期以降であって退学した年度の翌年度より数えて 3 年を経過していない者

※2014 年 3 月 31 日以前に退学した者については，学事センターにお問い合わせください

ただし，以下の者は出願できません。

① 残余在学期間が 6 ヶ月未満の者

② 以前において再入学し，再度退学した者

■論文再入学（博士後期課程のみ）

出願できることができる年度

① 満期退学者であって，退学した年度の翌年度より数えて 3 年を経過しておらず，以前において再入学したことがない者で，残余在学期間が 6 ヶ月以上あること

② 論文再入学を願い出る時点で博士論文が完成していること

個人情報の変更

■住所・電話番号の変更

本人または保証人の住所や電話番号に変更があった場合は，Loyola の「学生住所変更」メニューから変更してください。国外に居住する保証人の住所変更は Loyola からできないため，学事センター（学籍・証明書）窓口備付けの「住所変更届」を提出してください。

本人の住所変更の場合は，Loyola で変更した後に，学事センター（学籍・証明書）窓口で学生証裏面の「在籍確認シール」を受け取り，貼り替えてください。

■本人氏名の変更

本人氏名の変更があった場合は，「住民票の写し」（本人氏名・性別・生年月日が記載されたもの。本籍・続柄・マイナンバーは不要）を添付して，学事センター(学籍・証明書)窓口備付けの「氏名変更届」を提出してください。

■保証人の変更

保証人を変更する場合は，学事センター(学籍・証明書)窓口備付けの「保証人変更届」を提出してください。

※保証人とは

日本国内に居住し，一家計を立てる成年者で，本人の学費と一身上に関する一切の責任を負うことのできる者で，原則として父母です。ただし，外国籍の者については，国外に居住する者も可とします。保証人には，学費請求書類，学事上の重要事項通知，大学の広報紙等の郵送，緊急事態について電話連絡をする場合があります。また，休学・留学・退学等の申請には保証人自筆の署名と捺印が必要です。

■国籍の変更

学生本人の国籍の変更があった場合は，「住民票の写し」（本人氏名・性別・生年月日・国籍・在留資格・在留期間・在留カード番号が記載されたもの）を学事センター（学籍・証明書）に提出してください。

在留資格
（外国籍の学生のみ）

■在留資格・期間の報告

外国籍の者は全員，在留資格と在留期間について，大学に報告する必要があります。入学時に提出した住民票の写しに書かれた在留期間を更新したり，在留資格を変更したときは，**速やかに在留カードのコピーを学事センター（学籍・証明書）窓口に提出してください。**提出がない場合，Loyola の ID 使用停止，奨学金受給資格の喪失，その他在学する上で不利となる扱いを受けることがあります。

「留学」の在留資格の在籍者については，入学，卒業，退学時および所在不明となった場合に入国管理局に報告します。

■在留資格「留学」

在留資格とは，外国籍の者が入国・在留して従事することができる活動について明らかにしたものです。在留カードは在留資格を証明するもので，常に携帯しなくてはなりません。

大学で学修するための在留資格が「留学」です。在留資格に該当する活動を行うことなく，日本に 3 ヶ月以上滞在すると在留資格が取消の対象となります。「留学」の場合，休学や退学がこれに該当しますので，休学，退学する場合は速やかに出国するか，在留資格を変更する必要があります。

■「留学」の在留期間更新

外国籍の者で「留学」の在留期間の更新を希望する場合は，在留期間更新許可申請書の「申請人等作成用 1〜3」を記入し，「所属機関 1〜2」の作成を学事センター（学籍・証明書）で申し込んでください。手数料は 200 円，所要日数は 4〜5 日です。

在留資格の有効期限については，学生自身で意識しなくてはなりません。有効期限の 3 ヶ月前から前日まで，入国管理局で在留資格の延長申請ができますので，延長の必要がある場合は早めに申請の準備を進めてください。在留期間を過ぎて更新の手続きをしていない場合は不法滞在となり，処罰の対象となる可能性がありますので，注意してください。

在留期間更新が許可され，新たな在留カードが発行された時は，**速やかに在留カードのコピーを学事センター（学籍・証明書）窓口に提出してください。**

■在留資格変更

外国籍の者で，他の在留資格から「留学」に変更を希望する場合は，在留資格変更許可申請書の「申請人等作成用 1〜3」を記入し，「所属機関 1〜2」の作成を学事センター（学籍・証明書）で申し込んでください。手数料は 200 円，所要日数は 4〜5 日です。

11）証明書

証明書自動発行機による発行のもの

各種証明書は，証明書自動発行機によるものと，窓口申込によるものがあります。証明書の種類を確認のうえ，申し込みを行ってください。それぞれの発行手順等は下記のとおりです。

学生証がないと発行できません。証明書自動発行機は在学生のみ利用可能です。

※　すでに卒業・修了した身分の証明書については，学事センター（学籍・証明書）窓口での申し込みとなります。

（例えば，博士前期課程在籍中の学生は，博士前期課程の証明書は証明書自動発行機で発行できますが，学部の証明書は窓口での申し込みとなります）

証明書種類	発行手数料	所要日数	備考
在学証明書(和文・英文)	200円	即日	証明書自動発行機の設置場所 2号館4F 取扱い時間 平日　9：00 ～ 17：00 ＊行事等で変更する場合は掲示します。
成績証明書(和文・英文)	200円		
修了見込証明書(和文･英文)	200円		
学割証（年間10枚）	無料		
健康診断証明書 （本学所定用紙・和文）	300円		
臨時学生証 （定期試験期間中のみ発行可）	500円		

証明書自動発行機のアナウンスに従って操作してください。

＊　修了見込証明書は，最終学年の授業開始日以降に発行します。

＊　健康診断証明書の発行には，保健センターの健康診断を受診している必要があります。

＊　10枚を超えて学割証を発行する場合は，学生センターにお問い合わせください。

窓口申込による発行のもの

証明書種類	発行手数料	備考
教員免許状取得見込証明書	400円	3業務日後発行
卒業・修了・学位取得証明書 （和文・英文）	300円	月・火申込→同週の金曜日発行 水・木申込→次週の月曜日発行 金　申込→次週の水曜日発行
授業料等納付金納入証明書		
在留資格変更及び 在留期間更新許可申請に係る証明書	200円	
学生証再発行	1,000円	即日発行（所要時間：1時間）

取扱い窓口：2号館1F学事センター（学籍･証明書）

＜手順＞

①　窓口に備付けの申込票に必要事項を記入します。

②　発行手数料分の証紙を証紙販売機で購入し，所定欄に貼付します。

③　申込票に学生証を添えて窓口に提出してください。申込者には領収票が渡されます。

④　所要日数経過後，窓口に領収票を提示し，証明書を受け取ります。

12）教職課程

★専修免許状を取得するためには...

・指定科目を必要単位数取得して，一括申請を行うこと。
詳細は下記を熟読すること。

教育職員専修免許状とは

中学校・高等学校教諭１種の教育職員免許状取得済みで，博士前期課程で定められた科目を修得し，修了することにより，本人の申請に基づいて修得できる上位免許です。ただし１種免許状と同種・同教科に限ります。

本学大学院において取得できる教育職員専修免許状は，「別表」のとおりです。

教育職員専修免許状取得要件

所要資格 ＼ 免許状の種類	基　礎　資　格	教科に関する最低修得単位数
専修免許状	修士の学位を有すること。	24単位
	研究科に１年以上在学し，30単位以上修得すること。（免許法第５条別表第１備考第２号）	30単位

① 専修免許を取得するための科目は，各研究科・専攻の教科免許状ごとに指定されており，その科目一覧から24単位（免許法第5条別表第1備考第2号で取得する場合30単位）以上修得してください。科目一覧に掲載されていない科目を修得し，修了の単位として認定されても専修免許取得のための単位には含まれません。

② 研究科・専攻によっては，指定する科目が30単位に満たない場合があることから１年で修得できないことがあります。

③ 学部，他専攻，他大学，外国の大学で修得した科目は，修了の単位として認定されても専修免許取得のための単位に含まれません。

専修免許状取得上の注意

① １種免許状を取得していない場合

科目等履修生（教職課程履修コース）として大学院生とは別な身分で在籍することによって１種免許に必要な単位を修得し，かつ大学院生として上記教育職員専修免許状取得要件を満たした場合に専修免許状を取得することができます（大学院生として学部科目を履修しても１種免許に必要な単位としては認められないので注意すること）。

② 既に教員免許状を有し，中学・高校等の教員として３年以上実務経験がある場合

教育職員免許法第6条（教育職員検定）の規定により，本学で必要単位数（原則15単位以上）を修得し，各都道府県が主催する「教育職員検定」を受けることにより，専修免許状を取得することができます。この場合，実務経験年数により修得単位数は変わるため，詳細は各都道府県教育委員会に問い合わせの上，履修してください。

教育職員専修免許状取得申請

本学では，東京都に教育職員免許状一括申請をしています。

① 一括申請について

中学校・高等学校１種免許状取得済み，または１種免許に必要な単位を修得する見込みがあり，博士課程前期（修士課程）修了と同時に専修免許状の資格を得る見込みの者は一括申請することができます。

修了時に免許状を取得するためには，博士前期課程２年次の７月に一括申請の申し込みをする必要があります。ただし，その年度に修了しない場合には，次年度以降に申請してください。

② 個人申請について

上記一括申請対象者以外は，すべて個人申請となります。個人申請の場合は，「申請者の居住地」の都道府県教育委員会に，申請者個人が申請します。

※ 個人申請の詳細は各都道府県の教育委員会に問い合わせてください。

「別表」

■取得できる教育職員専修免許状の種類

研究科	専攻	教員免許状の種類	免許教科
神学	神学	中学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	宗教 社会　注1 宗教 公民　注1
哲学	哲学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 公民
文学	哲学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 公民
	史学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 地理歴史
	国文学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	国語 国語
	英米文学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	英語 英語
	ドイツ文学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	ドイツ語 ドイツ語
	フランス文学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	フランス語 フランス語
	新聞学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会　注2 公民
総合人間科学	教育学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 地理歴史 公民
	心理学	高等学校教諭専修免許状	公民
	社会学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会　注2 公民
	社会福祉学	高等学校教諭専修免許状	福祉
法学	法律学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会　注2 公民　注2
経済学	経済学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会　注2 公民 商業
	経営学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会　注2 公民　注2 商業

注1　神学専攻の「社会」「公民」は，平成21年4月から開設のため，09年次生以降が適用される。

注2　2016年度入学生から取得はできない。

研究科	専攻		教員免許状の種類	免許教科
言語科学	言語学（言語聴覚研究コースを除く）	(英語免許)	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	英語 英語
		(ドイツ語免許)	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	ドイツ語 ドイツ語
		(フランス語免許)	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	フランス語 フランス語
		(イスパニア語免許)	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	イスパニア語 イスパニア語
		(ロシア語免許)	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	ロシア語 ロシア語
		(ポルトガル語免許)	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	ポルトガル語 ポルトガル語
グローバル・スタディーズ	国際関係論		中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	社会 公民
理工学	理工学		中学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	数学 理科 数学 理科 工業 情報

※　上記一覧にない研究科・専攻には教職課程の設置許可を受けていないため，本学において専修免許取得はできない。

13）委託聴講生制度

大学院委託聴講生制度は，各大学間の学術的提携，交流を促進するために設けられたもので，大学院間の協定にもとづき，互いに聴講生を委託する制度です。大学院生が研究上の必要から他の大学院の授業の聴講を希望するとき，この制度を利用することができます。

委託聴講で修得した単位の修了要件としての取り扱いについては，各専攻により異なります。「修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照してください。なお，認定単位の上限については，p. 16「単位認定」をあわせて確認してください。

他大学での委託聴講を希望する場合は，学事センター（学籍）窓口で手続した上で，受入先の大学でも所定の期間内に手続する必要があります。受入先の大学の手続期間など委託聴講の手続等詳細は，学事センター（学籍）窓口に問い合わせてください。

［注意］

＊登録は原則年１回です。他大学の秋学期（後期）開講科目も春学期（前期）の手続期間に手続してください。

＊地球環境学専攻および一部の協定校は，春・秋各学期始めに登録手続きを行う必要があります。秋学期科目の履修希望者は，秋学期履修登録期間前に必ず学事センターに申し出てください。

＊履修中止はできません。

＊受入先の大学で評価を受けなかった場合，成績は「F」となり，成績証明書に記載されます。

現在本大学院で上記制度を実施している研究科，専攻，協力校は次のとおりです。

専　　攻	協　　定　　校
哲学	慶應義塾大学・東洋大学・東京女子大学(注) （注）本学博士前期課程の学生のみ聴講できる。
史学	青山学院大学・中央大学・國學院大学・国士舘大学・明治大学・立教大学・専修大学・駒澤大学・東海大学・東洋大学
国文学	青山学院大学・中央大学・東京女子大学
英米文学	青山学院大学・法政大学・明治大学・明治学院大学・日本女子大学・立教大学・聖心女子大学・東北学院大学・東京女子大学・東洋大学・津田塾大学
ドイツ文学	早稲田大学
フランス文学	青山学院大学・学習院大学・白百合女子大学・獨協大学・武蔵大学・明治学院大学・明治大学
新聞学専攻	茨城大学・大妻女子大学・駒澤大学・埼玉大学・成蹊大学・専修大学・創価大学・大正大学・千葉大学・中央大学・都留文科大学・東洋大学・常磐大学・日本女子大学・法政大学・武蔵大学・明治学院大学・明治大学・立教大学・立正大学・流通経済大学
心理学	白百合女子大学
社会福祉学専攻	明治学院大学・日本女子大学・日本社会事業大学・関東学院大学・淑徳大学・大正大学・東洋大学・立正大学・ルーテル学院大学・立教大学・法政大学・日本大学
経済学	学習院大学・武蔵大学・成城大学・成蹊大学
経営学	
理工学 （数学領域）	中央大学・学習院大学・国際基督教大学・立教大学・東京女子大学・津田塾大学・日本大学・日本女子大学・明治大学・東京理科大学
地球環境学	東京農工大学
全専攻	国連大学

＊国連大学と本学の所定の科目を修得した学生に対し，プログラムの修了証書（学位ではありません）を発行する，ジョイント・ディプロマ・プログラムを実施しています。詳細については，Loyola掲示板に掲載しているハンドブック，または学事センター（学籍）窓口にて確認してください。

14）学生生活の手引き

学生教育研究災害傷害保険

この保険は，国内外における教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合の補償救済措置として適用されるもので，本学学生は入学時に全員加入することになっています。

教育研究活動中の事故とは，正課中，学校行事中，課外活動中（大学に事前に届出のあるもの），通学中，その他学校施設内にいる間に起ったものです。

なお，事故が発生した時は速やかに学生センターまで報告してください。詳しくは「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を参照するか，学生センターに問い合わせてください。

奨学金制度

奨学金制度は，一定の金額を給付または貸与することによって，学業に専念できる条件を整えることを目的としています。上智大学で扱っているものには，給付・貸与の別，金額，出願資格などが異なった次のような奨学金があります。

なお，学生センターでは奨学金制度について説明した「奨学金案内」を別途発行していますので，参照してください。

■上智大学学内奨学金

本学が独自に設ける奨学金制度を「学内奨学金」と呼び，大学院生を対象としたものは主に下記の5種類があります。原則すべて，返還不要の給付型となります。なお，一部の種類を除き，日本学生支援機構，または地方公共・民間団体などの学外奨学金 との併給が可能です。

①上智大学大学院新入生奨学金

上智大学大学院への入学を第一志望としながらも，経済的理由により入学が困難で，かつ本学に入学する以前の学校の成績が優秀な方を対象に，入学初年度授業料の全額，半額，3分の1相当額を減免する奨学金です（入学初年度１年間のみ）。出願書類をもとに，学業成績と経済状況等を総合的に判断して採用額を決定します。

②上智大学修学奨励奨学金

学業への意欲があるにもかかわらず，経済的理由により学業の継続が困難と認められる学生に，授業料の一部または全額が給付される返還不要の奨学金です。各年度で募集を行いますが，採用期間は１年間のみのため，希望する場合は毎年出願することが必要です。

③上智大学篤志家奨学金

国内外の篤志家から提供され，それぞれの篤志家の意向に適合すると認められる学生に給付される奨学金で，それぞれ募集対象や採用人数，給付額が異なります。

④その他の奨学金

利子補給奨学金

上智大学が提携する金融機関のローン利息分を給付する奨学金です。

⑤大規模災害被災学生対象の経済支援特別措置

大規模災害被災学生を対象に特別措置を行っています。2019 年度新入生，在学継続生および 2018 年度秋学期休学または留学していた在学生対象の特別措置については，2019 年 4 月上旬に Loyola 掲示板及び大学ホームページに掲示します。

ご不明点は，学生センターにお問い合わせください。

■日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金は，採用された月から修了までの毎月貸与され，本学では約190人の大学院生が奨学生となっています。

この奨学金は，修了（退学）後返還しなければなりません。

種　類	募集時期	貸　与　額
第一種 （無利子）	4月	博士前期（修士）課程 法科大学院 博士後期課程 } 50,000/88,000円から選択 80,000/122,000円から選択
第二種 （有利子）	4月	50,000/80,000/100,000/130,000/150,000円から選択， 法科大学院のみ 190,000/220,000円からも選択可

■学外奨学金（地方公共・民間団体）

上記以外の奨学金として，地方公共団体（県・市），民間団体・企業が事業主体となっている奨学金があり，それぞれ出願資格・出願方法等が異なります。

【奨学金の出願手順】

奨学金の出願から採用までの流れは，奨学金の種類によって異なりますが，およそ以下のとおりです。出願の際は，学生センターで確認してください。

なお，**各種奨学金の募集やガイダンス等は，すべて Loyola の学生センター掲示板を通して随時告知しますので，必ず掲示板で確認してください。**また，詳細や不明な点がありましたら学生センター経済支援担当窓口へご相談ください。

募集の掲示板を見る	奨学金の募集・連絡はすべて Loyola 掲示板を通じて行われます。
↓	
書類を提出する	奨学金の種類によって提出する種類は異なりますが次の提出書類は共通です。（願書・成績証明書・所得に関する証明書・誓約書等） 願書は Loyola 掲示板からダウンロードしてください。
↓	
面接を受ける	奨学金によって，面接選考がある場合があります。面接の日程は Loyola 掲示板でお知らせします。 ※日本学生支援機構奨学金の定期採用および修学奨励奨学金は，原則として面接を行いません。
↓	
大学の推薦・採否通知を受ける	推薦・採否の結果を通知します。奨学金は，本人の銀行口座に振り込まれる場合と，学費からあらかじめ減額される場合があります。

学　生　金　庫

学生金庫は本学学生の一時的な緊急出費を支援するための貸付金制度です。最高10,000円の貸付を1ヶ月を期限に無利子で受けられます。

取扱窓口は学生センターで，本人・連帯保証人（本学学生）とも学生証・印鑑を持参してください。

※ただし，2・3月は新規貸付を行いません。

アルバイトの紹介

以下の職種に限って，学生センターで紹介しています。

①家庭教師

②官公庁からの求人

③上智大学を勤務先とする求人

なお，他に㈱ナジック・アイ・サポートが運営する「上智大学学生アルバイト紹介システム」でアルバイト情報を閲覧できます。

https：//www.aines.net/sophia/

アパート・マンションの紹介

アパート・マンションの紹介を希望される方は，下記の業務委託会社６社に直接連絡をしてください。物件情報の検索や資料請求のお問合せは，各社の Web サイトでも行えます。

また，各社の店舗でも物件の受付，紹介，相談を随時行っております。来店の際は，事前に営業日程･時間をご確認の上，「合格通知書」の写しをご持参ください。

なお，業務委託会社６社については，株式会社ソフィアキャンパスサポートの Web サイトでも公開しておりますので，ご覧ください。（URL：http://www.sophia-cs.co.jp/post/2018/0525-01.html）

◇お問い合わせ先【業務委託会社　６社】

⑴株式会社共立メンテナンス　学生寮事務局

フリーダイヤル　0120-88-1030　　TEL：03-5295-7791　　FAX：03-5295-5906

〒101-8621 東京都千代田区外神田 2-18-8

URL：http://www.gakuseikaikan.com

⑵株式会社学生情報センター　新宿店　ひとり暮らし相談窓口

フリーダイヤル　0120-749-070　　TEL：03-5909-5749　　FAX：03-5909-5790

〒160-0023　東京都新宿区西新宿 1-22-15　グラフィオ西新宿 7 階

URL：https://749.jp/store/shinjyuku

⑶株式会社毎日コムネット　学生マンション総合案内センター　東京駅前センター

「上智大学アパート・マンション相談係」

フリーダイヤル　0120-964-067　　TEL：03-5204-8501　　FAX：03-5204-8503

〒103-0028　東京都中央区八重洲 1 丁目 3-22　八重洲龍名館ビル 4 階

URL：http://www.gakuman-tokyo.com/

⑷株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク　Unilife 新宿店

フリーダイヤル　0120-964-142　　TEL：03-3344-3222　　FAX：03-3344-3666

〒163-1516　東京都新宿区西新宿 1-6-1　新宿エルタワー16 階

URL：http://unilife.co.jp/search/school/pref_id:13/school_id:10490/

⑸伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社

フリーダイヤル　0120-936-799　　TEL：03-3662-5805　　FAX：0120-981-859

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 2-7-1　4 階

URL：https://www.itochu-gakuseikaikan.com/

⑹株式会社フジランド　東京女子学生会館

フリーダイヤル　0120-270-310　　TEL：03-6382-4561　　FAX：03-3381-0158

〒166-0012　東京都杉並区和田 1 丁目 9 番 19 号

URL：http://joshikaikan.jp

遺　失　物

管財グループ（2 号館 1 階）で保管しています。遺失物を受け取る際には学生証の提示が必要です。なお，1 ヶ月間引き取りのないものは処分します。電話での問い合わせ・照会には対応しておりません。Loyola や電話で該当者へ通知する場合もあります。

保健センター

ホフマン・ホールにあります。内科医・精神科医による健康相談・専門医療機関への紹介，看護師による応急処置などを行っています。夜間（月～金 17:00～21:00）の応急処置は，夜間救護室（1 号館 1 階）で行っています。

カウンセリングセンター

学生生活の中で出会うさまざまな問題を，専門のカウンセラーと相談できるところです。場所は10号館 3Ｆです。相談希望の方は予約してください。

キャリアセンター

学生の進路（就職）に関するガイダンスを開催しているほか，個別相談も行っています。その他就職に関する様々な情報をキャリアセンターで閲覧できます。
場　　所：2 号館 1 階

進路の届出：進路（就職，進学，それ以外等）が決定したら，必ず Loyola から届出を行ってください。

Loyola＞キャリア・就職支援＞進路決定入力

情報を配信：Twitter にてガイダンス日程等の情報配信を行っています。

上智大学キャリアセンター @Sophia_Career

厚生施設の利用

以下の厚生施設の利用については，ソフィア･キャンパス･サポート（13 号館 2Ｆ，03-3238-4259）まで問い合わせてください。

1）秦野セミナーハウス
　秦野キャンパス内にある教育研修施設で，教員の引率が必要です。
2）河口湖ハイム
　河口湖にある自炊の施設で，教員が引率するゼミの利用に限ります。
3）八ヶ岳ヒュッテ
　北八ヶ岳の山中にある自炊の山小屋です。
4）宝台樹ヒュッテ
　群馬県宝台樹山の一角にある自炊の山小屋です。

複写機の利用

コピーカードは図書館1Ｆ，図書館5Ｆ複写室，2号館2Ｆ，2号館4Ｆ，ホフマン・ホール3Ｆで販売していますので，各自購入してください。図書館5Ｆの複写室では複写代行サービスや製本，大判プリントも行っています。また，2号館4F，6号館4F，図書館 B1F・5F 複写室，9号館 B1F にて USB メモリが使用できます。

＊オーエーリックス（複写室）図書館 5F　　TEL/FAX　03-3238-3083

設置場所	台数	備考
中央図書館Ｂ2Ｆ～9Ｆ	15	カードコイン併用式，カード式 （5Ｆ複写室にカード・コイン併用式あり）
2号館Ｂ2Ｆ・Ｂ1Ｆ・2Ｆ・4Ｆ	8	カード・コイン併用式 （4Ｆに ICカード併用式あり）
3号館 2Ｆ～3Ｆ	2	カード・コイン併用式
6号館3Ｆ，4Ｆ	2	カード・コイン併用式
9号館B1F	1	ICカード・コイン併用式
11号館 2，3Ｆ	2	カード・コイン併用式
ホフマン・ホール 3Ｆ	2 2	カード・コイン併用式 カード式印刷機（カード販売機併設）
図書館石神井分館	1	カード・コイン併用式

関係部署問い合わせ先

内容により，担当部署が異なります。p.369 を参照し，各部署へ問い合わせてください。

教員連絡先

授業担当教員は，本学に籍を置いている教員（専任教員）と本学に籍がなく担当授業時に来校し講義を行う兼任講師（非常勤教員）がいます。教員と連絡を取りたい場合，専任教員か非常勤教員かによって連絡を取る方法が異なります。

■専任教員の場合

学内に研究室があり，学生との相談時間（オフィスアワー）が設けられているので，その時間であれば面会が可能です。また，オフィスアワー以外の曜日や時間に面会を希望する場合は，教員が所属する専攻の事務室へ相談し，教員と連絡を取ってください。

※教員の研究室やオフィスアワー，各専攻の事務室はp. 386 参照のこと。

■非常勤教員の場合

学内に個人の研究室はありませんので，担当する授業の前後で連絡を取ってください。また，教員によっては学生に対してメールアドレスなどの連絡先を公開している場合があります。

学生に対して連絡先を公開しているかどうか，またその連絡先については学事センター（教務）の窓口で問い合わせることができますので，希望する場合は学生証を持って窓口にきてください。

なお，個人情報保護の観点から電話での連絡先照会は受け付けできません。

また，学事センターが教員へ連絡を取り次ぐことは行っていません。

神　学　研　究　科

神学専攻

組織神学専攻

1．神学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

前期課程には，修士に加えてカトリック教会の教授資格（STL）を与える組織神学コース，聖書研究の方法論を身につける聖書神学コース（M.Bib を授与），宣教や司牧の実践について学ぶキリスト教教育コース（M.Div を授与）及び教会での奉仕の現場にたずさわる人々を養成する宣教実務者コースを設けるが，いずれも神学全般についての知識と理解を重視する。また研究者養成を主目的とする後期課程（条件を満たせばカトリック教会の学位 STD を授与）においては，研究のみでなく教育訓練を課程に組み込む。

カトリック司祭・修道者とカトリック学校での宗教科教員の養成，及び自己のキリスト教信仰を客観的・批判的に省察することにより教会に貢献できる人材養成を主目的とする。

2．各専攻のディプロマ・ポリシー

神学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

神学を基礎的・中心的研究対象とし，世界的視野の下で，他の思想・文化・宗教との対話の重要性にも注意することができる力

各コースごとには次の力を身につけた者とする

a. 組織神学コースでは，カトリック教会における司祭の養成をはじめ，体系的なカトリック神学を研究する能力
b. 聖書神学コースでは，聖書研究の方法論を研究する能力
c. キリスト教教育コースでは，基礎的な神学理論を踏まえながら，実践的な司牧のあり方について研究する能力
d. 宣教実務者コースでは，教会における奉仕の現場に携わる人材としての能力

組織神学専攻

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。なお，必要要件を満たしている場合には，教皇庁立学位 STD（Sacrae Theologiae Doctor）の学位も授与することができます。

1. カトリック神学の基礎を踏まえながら，自らの研究テーマを独創的な観点から取り上げ，それを論理的・発展的に提示することができる力
2. 西洋において発展したカトリック神学の研究とともに，日本の思想・文化との対話を通して，独自の神学の樹立を目指すことができる力

3．各専攻のカリキュラム・ポリシー

神学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. カトリック神学の伝統に基づいて，キリスト教に関する専門科目を，包括的・展開的に開設する。
2. 教義神学，教会史，キリスト教教育，キリスト教文学，聖書神学，聖書釈義，倫理神学，教会法，典礼神学，霊性神学，ギリシア語・ヒブル語などの古典文献学の科目を開設する。
3. 基礎的学習の専門性を深めるために，組織神学コース，聖書神学コース，キリスト教教育コース，宣教実務者コースの 4 コースを設置する。

組織神学専攻

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 研究指導と教育訓練からなる。研究指導では，指導教員の下で博士論文の作成，および学会等での研究発表を指導する。教育訓練は，指導教員，あるいは研究科委員長が適切だと認めた研究科教員の講義・演習科目における，講義実習や演習指導実習によって行う。
2. 組織神学，聖書学，実践神学，キリスト教文化の各分野の科目を開設する。

神学専攻　博士前期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択科目	30		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4 科目以上合格すること ただし，早期修了者については，在学しない学期分は免除される
修士論文			必要な研究指導を受け，修士論文の審査および最終試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に，必ず「修士論文」を登録すること）

【16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択科目	30		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受け，修士論文の審査および最終試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に，必ず「修士論文」を登録すること）

【修士論文審査基準】

当該分野・領域における研究課題に自立的に取り組むことによって，カトリック教会と世界の課題解決のために相応しい方法論と論述を遂行する能力が認められること。

1）問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
2）先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
3）研究方法：研究目的に対して，研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
4）論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性・一貫性があること。
5）研究の位置づけ：当該分野・領域において，学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
6）形式面：以下の形式面が整っていること。
　①序論，本論（章・節），結論にわたって，構成が適切であり，目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
　②文章が明快で，論旨が明晰判明に理解可能であること。
　③引用の方法・内容が適切で，引用文献表が簡潔に整えられていること。

【課題研究報告書審査基準】

1）問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
2）先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討していること。
3）研究方法：研究目的に対して，適切な研究計画・研究方法を採っていること。
4）論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性・一貫性があること。
5）形式面：以下の形式面が整っていること。
　①序論，本論（章・節），結論にわたって，構成が適切であり，目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
　②文章が明快で，論旨が明晰判明に理解可能であること。
　③引用の方法・内容が適切で，引用文献表が簡潔に整えられていること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜教義学＞			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学Ⅰ			2
基礎神学Ⅱ			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズムⅠ			2
エキュメニズムⅡ			2
＜教会史＞			
日本キリスト教史			2
教父学（旧：教父たちの思想特講）			2
東方キリスト教学			2
教理史Ⅰ			2
教理史Ⅱ			2
＜組織神学：演習＞			
現代カトリック教義学Ⅰ			2
現代カトリック教義学Ⅱ			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
＜キリスト教教育：演習＞			
キリスト教教育ゼミナールⅠ			2
キリスト教教育ゼミナールⅡ			2
キリスト教教育ゼミナールⅢ			2
キリスト教教育ゼミナールⅣ			2
＜人間学＞			
キリスト教教育Ⅰ			2
キリスト教教育Ⅱ			2
キリスト教文学特講Ⅰ			2
キリスト教文学特講Ⅱ			2
宗教倫理思想Ⅰ			2
宗教倫理思想Ⅱ			2
社会正義論（2017年度まで開講）			2
平和学特講			2
キリスト教音楽美学研究Ⅰ			2
キリスト教音楽美学研究Ⅱ			2

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜聖書神学：演習＞			
聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史)			2
聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判)			2
聖書神学研究ゼミナールⅢ			2
聖書神学研究ゼミナールⅣ			2
＜聖書釈義＞			
モーセ五書特講			2
詩編と知恵特講			2
預言者特講			2
パウロ特講			2
新約文献特講			2
＜倫理神学＞			
倫理神学特講Ⅰ（良心と自然法）			2
倫理神学特講Ⅱ（いのちと性）			2
倫理神学特講Ⅲ（聖書と霊性）			2
倫理神学特講Ⅳ（徳と人格）			2
社会倫理特講			2
Conscience, Catholicism and Politics ※2016年度のみ開講			2
＜教　会　法＞			
教会法Ⅰ（秘跡法の入門と実践）			2
教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)			2
婚姻法・婚姻訴訟法			2
ゆるしの秘跡の司牧			2
＜典　礼＞			
宣教学特講Ⅰ			2
宣教学特講Ⅱ			2
典礼神学Ⅰ			2
典礼神学Ⅱ			2
典礼神学特講Ⅰ（実践基礎論）			2
典礼神学特講Ⅱ（原典研究）			2
典礼と霊性Ⅰ			2
典礼と霊性Ⅱ			2
＜霊　性＞			
現代の霊性Ⅰ（祈りの現代的意義）			2
現代の霊性Ⅱ（キリスト教的霊性の現代的展開）			2
現代司牧の諸問題Ⅰ(現代的カテキズム)			2
現代司牧の諸問題Ⅱ(日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
パストラル・ケア特講			2

３．履修上の注意

1）　「研究計画書」,「修士論文作成スケジュール(テーマの設定，中間発表，提出時の注意事項等)」，および研究指導を受けるにあたっての注意事項については，初年度初めの新入生・在校生ガイダンスで配付する資料を参照すること。

2）　入学後指定の期日までに，「指導教員登録票」および「コース登録票」を研究科事務室に提出する。

3）　基本的には，選択科目を 30 単位以上履修し，必要な「研究指導」を受け，修士論文の審査および最終試験に合格すれば，修士（神学）の学位を取得することができる。

上記以外に，組織神学コース，キリスト教教育コース（旧「キリスト教倫理・文化コース」「実践神学コース」），聖書神学コース，宣教実務者コースのいずれかに属し，それぞれの要件を満たせば，上記の修士（神学）の学位に加えて，各コースの修了証を受領することができる。

コースに所属するか否かに関わらず，履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため，あらかじめ研究科委員長の指導を受け，所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。

なお,「研究指導」を在学中毎学期受けること。2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。また,「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること。

4）　ローマ数字（Ⅰ，Ⅱ，…）が付与された科目：括弧（　）による副題の記載のあるものは，それぞれ単独で履修することができる。副題が記載されていないⅠおよびⅡの科目は，両方の履修が前提として授業が組み立てられている。

科目名に「特講」とある科目は，それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。

5）　担当教員の許可を得れば，神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し，これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。また，指導教員と相談の上，論文指導の便宜のために重複履修した科目を修了単位として数えることができる。博士後期課程開講科目については，p. 51 以降の博士後期課程の頁を参照のこと。

【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには，神学部の組織神学副専攻または神学系の修了，もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。そのうえで，規定の教義神学科目（16 単位以上）と選択科目（14 単位以上〔聖書神学 4 単位と実践神学〈倫理神学・教会法・典礼・霊性〉6 単位を含む〕），および「研究指導」を履修し，最終試験と論文審査に合格すれば，修士（神学）の学位が取得できる。全世界のカトリック教会において共通な，教会法上の学位 STB（*Sacrae Theologiae Baccalaureatus*），および STL（*Sacrae Theologiae Licentiatus*）の学位取得を目指す者は，教皇庁神学部長に相談すること。

教義神学選択必修（１６）	キリスト論特講（キリスト論と三位一体論）(2)	聖餐の秘跡(2)
	教会論特講(2)	ゆるしと叙階の秘跡(2)
	入信の秘跡(2)	結婚の秘跡(2)
	基礎神学Ⅰ／Ⅱ(4)	現代カトリック教義学Ⅰ／Ⅱ(4)
	恩恵論(2)	
	マリア論(2)	
選択(14) 【但し,聖書神学(4),倫理神学・教会法・典礼・霊性より(6)を含む】	教父学(2) または　教父たちの思想特講(2)	日本キリスト教史(2)
	エキュメニズムⅠ／Ⅱ(4)	東方キリスト教学(2)
	キリスト教ラテン語原典研究(2)	教理史Ⅰ／Ⅱ(4)

【キリスト教教育コース】

キリスト教教育コース（旧「キリスト教倫理・文化コース」・「実践神学コース」）に所属する者は，必修科目「キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ」を 8 単位，選択必修科目を 10 単位以上，自由選択科目を 12 単位以上履修し，論文審査と最終試験に合格すれば，修士（神学）の学位に加えて，M. Div（Master of Divinity）の学位が取得できる。自由選択科目は，神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

演習　必修(8)	キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ(8)	
人間学　選択必修(10)	キリスト教教育Ⅰ(2) キリスト教教育Ⅱ(2) キリスト教文学特講Ⅰ(2) キリスト教文学特講Ⅱ(2) 宗教倫理思想Ⅰ(2) 宗教倫理思想Ⅱ(2)	社会正義論(2)(2017 年度まで開講) 平和学特講(2) キリスト教音楽美学研究Ⅰ(2) キリスト教音楽美学研究Ⅱ(2)
自由選択(12)		

【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は，必修科目「聖書神学研究ゼミナールⅠ～Ⅳ」（重複履修不可）を 8 単位，聖書釈義選択必修科目を 10 単位（2 回まで同一科目の重複履修を認める），自由選択科目を 12 単位以上履修し，論文審査と最終試験に合格すれば，修士（神学）の学位に加えて，M. Bib（Master of Biblical Studies）の学位が取得できる。自由選択科目は，神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

演習　必修（8） ※重複履修は認めない	聖書神学研究ゼミナールⅠ（古代イスラエル史）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅡ（旧約聖書原典批判）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅢ(2) 聖書神学研究ゼミナールⅣ(2)
聖書釈義　選択必修（10） ※2 回まで同一科目の重複履修を認める	モーセ五書特講(2) 詩編と知恵特講(2) 預言者特講(2) パウロ特講(2) 新約文献特講(2)
自由選択(12)	

【宣教実務者コース】

宣教実務者コースの出願資格および修了要件は，以下のとおりである。

【出願資格】以下の条項のいずれかに該当すること。

① カトリック教会における教会法上の学位（STB，STL，STD）を有する者。

② キリスト教会において，司祭・牧師として正式に選任された聖職者。

③ 上智大学神学部「宣教実務系」を修了した者。

【修了要件】

① 本コースに属する学生は，指導教員のもとで各人のニーズに応じた履修計画を立て，博士前期課程の開講科目から 30 単位以上を履修する。

② 在学期間は，通常 2 年以上であるが，優れた業績を上げた者は，1 年間の在学で足りるものとする(早期修了)。

③ その場合は指導教員のもとで，修士論文の代わりに「課題研究報告書」を作成し提出する。

④ 本コースに属する学生が，上智大学神学研究科後期課程に進学を希望する場合は，修了要件②は適用されず，在学期間は 2 年以上とし，さらに修士論文を完成させなければならない。

【早期修了の要件】

早期修了の認定を受けることができる者は，本専攻会議が成績優秀（GPA3.0 以上）と判定する者で，かつ次に掲げる要件をすべて満たしていなければならない。

① 本人が早期修了を希望していること。

② 30 単位以上を修得済みであること。

③ 修士論文に代える「課題研究報告書」についての審査に合格していること。

【早期修了の申請】

早期修了を希望する者は，指導教員の合意を得た上で，本専攻が別に定める早期修了申請書を，修了年度の春学期終了日（9 月 20 日）までに，専攻主任に提出しなければならない。

【早期修了申請の取消】

早期修了の申請が許可された者が，特別な理由により申請を取り消したい場合には，指導教員の合意を得た上で，本専攻が別に定める早期修了申請取消願を専攻主任に提出し，専攻主任の承認を受けなければならない。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MTTH7041	春	聖餐の秘跡	THE504-91j00	2	具　正　謨		隔年開講
MTTH7061	春	結婚の秘跡	THE506-91j00	2	＊菅　原　裕　二		隔年開講，集中講義
MTTH7081	春	基礎神学Ⅱ	THE508-91j00	2	川　中　仁		隔年開講
MTTH7101	春	マリア論	THE510-91j00	2	光　延　一　郎		隔年開講
MTTH7111	春	エキュメニズムⅠ	THE511-91j00	2	角　田　佑　一		隔年開講 前期課程死生学専攻「実践宗教学研究Ⅰ」と合併科目
MTTH7161	春	東方キリスト教学	THE514-91j00	2	＊中　西　裕　一		
MTTH7171	春	教理史Ⅰ	THE515-91j00	2	角　田　佑　一		隔年開講
MTTH7241	春	倫理神学特講Ⅰ（良心と自然法）	THE520-91j00	2	竹　内　修　一		隔年開講
MTTH7321	春	ゆるしの秘跡の司牧	THE527-91j00	2	＊菅　原　裕　二		隔年開講，集中講義
MTTH7371	春	典礼神学特講Ⅱ（原典研究）	THE531-91j00	2	＊石　井　祥　裕		隔年開講
MTTH7421	春	現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)	THE535-91j00	2	＊阿　部　仲麻呂		隔年開講
MTTH7441	春	パストラル・ケア特講	THE537-91j00	2	(他)武　田　なほみ		隔年開講， 前期課程死生学専攻「生涯発達論研究Ⅱ」 後期課程死生学専攻「生涯発達論特殊研究Ⅲ」 と合併科目
MTTH7502	春	キリスト教教育ゼミナールⅣ	THE542-91j00	2	小　山　英　之		隔年開講
MTTH7542	春	キリスト教教育ゼミナールⅢ	THE545-91j00	2	HAIDAR Juan		隔年開講
MTTH7562	春	モーセ五書特講	THE546-91j00	2	佐久間　勤		隔年開講
MTTH7733	春	聖書神学研究ゼミナールⅣ	THE555-91j00	2	＊廣　石　望		隔年開講，2019年度に限り，教職課程の単位としては認められないので注意すること。
MTTH7751	春	キリスト教音楽美学研究Ⅰ	THE557-91j00	2	森　裕　子		
MTTH7755	春	宣教学特講Ⅰ	THE561-91j00	2	原　敬　子		
MTTH7021	秋	教会論特講	THE502-91j00	2	川　中　仁		隔年開講
MTTH7131	秋	日本キリスト教史	THE513-91j00	2	(他)川　村　信　三		隔年開講
MTTH7211	秋	現代カトリック教義学Ⅰ	THE517-91j00	2	光　延　一　郎		隔年開講
MTTH7341	秋	典礼神学Ⅰ	THE528-91j00	2	具　正　謨		隔年開講
MTTH7391	秋	現代の霊性Ⅱ (キリスト教的霊性の現代的展開)	THE533-91j00	2	＊小　暮　康　久		隔年開講，集中講義
MTTH7771	秋	婚姻法・婚姻訴訟法	THE534-91j00	2	＊田　中　昇		
MTTH7432	秋	キリスト教文学特講Ⅰ	THE536-91j00	2	片　山　はるひ		隔年開講
MTTH7453	秋	キリスト教教育Ⅱ	THE539-91j00	2	瀬　本　正　之		隔年開講
MTTH7602	秋	預言者特講	THE548-91j00	2	月　本　昭　男		隔年開講
MTTH7622	秋	パウロ特講	THE549-91j00	2	＊朴　憲　郁		
MTTH7633	秋	新約文献特講	THE550-91j00	2	＊廣　石　望		隔年開講，2019年度に限り，教職課程の単位としては認められないので注意すること。
MTTH7642	秋	宗教倫理思想Ⅰ	THE551-91j00	2	(他)髙　山　貞　美		隔年開講 前期課程死生学専攻「宗教学研究」と合併科目
MTTH7712	秋	聖書神学研究ゼミナールⅡ (旧約聖書原典批判)	THE553-91j00	2	佐久間　勤		隔年開講
MTTH7752	秋	キリスト教音楽美学研究Ⅱ	THE558-91j00	2	森　裕　子		
MTTH7753	秋	典礼と霊性Ⅰ	THE559-91j00	2	FIRMANSYAH Antonius		隔年開講

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MTTH7756	秋	宣教学特講Ⅱ	THE562-91j00	2	原　敬子		
MTTH9010	秋	修士論文	THE699-91j00	0	神学専攻各指導教員		M2対象
MTTH9000	秋	課題研究報告書	THE689-91j00	0	神学専攻各指導教員		宣教実務者コース早期修了者対象
MTTH7011	休講	キリスト論特講 （キリスト論と三位一体論）	THE501-91j00	2			隔年開講
MTTH7031	休講	入信の秘跡	THE503-91j00	2			隔年開講
MTTH7051	休講	ゆるしと叙階の秘跡	THE505-91j00	2			隔年開講
MTTH7071	休講	基礎神学Ⅰ	THE507-91j00	2			隔年開講
MTTH7091	休講	恩恵論	THE509-91j00	2			隔年開講
MTTH7121	休講	エキュメニズムⅡ	THE512-91j00	2			隔年開講 前期課程死生学専攻「実践宗教学研究Ⅱ」と合併科目
MTTH7181	休講	教理史Ⅱ	THE516-91j00	2			隔年開講
MTTH7221	休講	現代カトリック教義学Ⅱ	THE518-91j00	2			隔年開講
MTTH7231	休講	キリスト教ラテン語原典研究	THE519-91o00	2			
MTTH7251	休講	倫理神学特講Ⅱ（いのちと性）	THE521-91j00	2			隔年開講
MTTH7261	休講	倫理神学特講Ⅲ（聖書と霊性）	THE522-91j00	2			隔年開講
MTTH7271	休講	倫理神学特講Ⅳ（徳と人格）	THE523-91j00	2			隔年開講
MTTH7281	休講	社会倫理特講	THE564-91j00	2			隔年開講
MTTH7291	休講	平和学特講	THE524-91j00	2			隔年開講
MTTH7301	休講	教会法Ⅰ（秘跡法の入門と実践）	THE525-91j00	2			隔年開講，集中講義
MTTH7311	休講	教会法Ⅱ （教会生活における法規と運用）	THE526-91j00	2			隔年開講，集中講義
MTTH7351	休講	典礼神学Ⅱ	THE529-91j00	2			隔年開講
MTTH7361	休講	典礼神学特講Ⅰ（実践基礎論）	THE530-91j00	2			隔年開講
MTTH7381	休講	現代の霊性Ⅰ（祈りの現代的意義）	THE532-91j00	2			隔年開講，集中講義
MTTH7452	休講	キリスト教教育Ⅰ	THE538-91j00	2			隔年開講 前期課程死生学専攻「生涯発達論研究Ⅰ」 後期課程死生学専攻「生涯発達論特殊研究Ⅱ」と合併科目
MTTH7472	休講	宗教倫理思想Ⅱ	THE540-91j00	2			隔年開講
MTTH7482	休講	キリスト教教育ゼミナールⅠ	THE541-91j00	2			隔年開講
MTTH7522	休講	キリスト教文学特講Ⅱ	THE543-91j00	2			隔年開講
MTTH7532	休講	キリスト教教育ゼミナールⅡ	THE544-91j00	2			隔年開講 前期課程死生学専攻「宗教学演習」と合併科目
MTTH7582	休講	詩編と知恵特講	THE547-91j00	2			隔年開講
MTTH7632	休講	新約文献特講	THE550-91j00	2			隔年開講
MTTH7702	休講	聖書神学研究ゼミナールⅠ （古代イスラエル史）	THE552-91j00	2			隔年開講
MTTH7722	休講	聖書神学研究ゼミナールⅢ	THE554-91j00	2			隔年開講
MTTH7732	休講	聖書神学研究ゼミナールⅣ	THE555-91j00	2			隔年開講
MTTH7741	休講	現代司牧の諸問題Ⅰ （現代的カテキズム）	THE556-91j00	2			隔年開講
MTTH7754	休講	典礼と霊性Ⅱ	THE560-91j00	2			隔年開講
MTTH7757	休講	教父学	THE563-91j00	2			

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
THE599-91j00	佐久間　　勤	
	光　延　一　郎	
	瀬　本　正　之	
	片　山　はるひ	
	竹　内　修　一	
	具　　正　謨	
	HAIDAR Juan	
	川　中　　仁	
	小　山　英　之	
	森　　裕　子	
	原　　敬　子	

組織神学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
授業科目			
‣選択必修科目	6		
自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6 科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【17 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6 科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【11～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【10年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

自立した研究者として，当該分野・領域における独創的研究をとおして，カトリックの教会と世界に貢献できる能力が認められること。

1）問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。

2）先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。

3）研究方法：研究目的に対して，研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。

4）論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性・一貫性があること。

5）研究の位置づけ：当該分野・領域において，学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。

6）独創性：全体を通して，学術的独創性が認められること。

7）形式面：以下の形式面が整っていること。

①序論，本論（章・節），結論にわたって，構成が適切であり，目次によって全体の論旨・展開が概観できること。

②文章が明快で，論旨が明晰判明に理解可能であること。

③引用の方法・内容が適切で，引用文献表が簡潔に整えられていること。

2．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜組織神学研究＞			
組織神学研究Ⅰ		2	
組織神学研究Ⅱ		2	
組織神学研究Ⅲ		2	
組織神学研究Ⅳ		2	
＜聖書学研究＞			
旧約聖書研究Ⅰ		2	
旧約聖書研究Ⅱ		2	
新約聖書研究Ⅰ		2	
新約聖書研究Ⅱ		2	
＜実践神学研究＞			
倫理神学研究Ⅰ		2	
倫理神学研究Ⅱ		2	
実践神学研究Ⅰ		2	
実践神学研究Ⅱ		2	
霊性神学研究Ⅰ		2	
霊性神学研究Ⅱ		2	
＜キリスト教文化研究＞			
教会史研究Ⅰ		2	
教会史研究Ⅱ		2	
キリスト教思想研究Ⅰ		2	
キリスト教思想研究Ⅱ		2	
キリスト教人間学研究Ⅰ		2	
キリスト教人間学研究Ⅱ		2	

3．履修上の注意

1．「研究計画書」,「博士論文作成スケジュール(テーマの設定，提出時の注意事項等)」，および研究指導を受けるにあたっての注意事項については，初年度初めの新入生ガイダンスで配付する資料を参照すること。

2．入学後一ヶ月以内に，学位（博士）論文のテーマと研究指導者を研究科事務室にて登録する。

3．修了要件は，(a)研究指導および(b)教育訓練からなる。また，博士論文の執筆条件として，(c)博士論文執筆資格試験（コンプリヘンシヴ）の合格が前提となる。

(a)　研究指導は，上記開講科目および前期課程開講科目の受講，博士論文作成の指導を受けることによって行われる。さらに，学会での研究発表（学会誌等論文掲載を含む）が義務づけられる。なお，2017年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

(b)　教育訓練は，研究科教員の講義・演習科目において授業指導を行うことによって充当される。その際，同訓練は，研究指導者ないし研究科委員長が適当と認める方法によって行われる。

(c)　博士論文執筆資格試験は，適当な時期に公開口述試験の形で行われる。同試験は，①組織神学全般に関する総合的な試問，および②博士論文のテーマに関わる研究分野の専門的知識を問う試問からなる。そのために，①には「選択書籍表」，②には「論文の計画素案（proposal)」の事前提出が求められる。本試験に合格した時点で，学位（博士）論文のテーマがリザーブされ，博士論文の執筆が承認される。

なお，上記の①もしくは②の公開口述試験に二度不合格となった場合は，上智大学大学院学則第29条(3)によって中途退学となる。

(d)　2018年度入学者から，上記(a)～(c)の修了要件に加え，博士後期課程開講科目の中から，6単位以上の単位修得が必須となる。

4．博士課程修了，満期退学等には，上記の修了要件を満たす必要がある。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DTTH7210	春	組織神学研究Ⅰ	THE801-92j00	2	光　延　一　郎		
DTTH7230	春	組織神学研究Ⅲ	THE803-92j00	2	川　中　　仁		
DTTH7250	春	旧約聖書研究Ⅰ	THE805-92j00	2	月　本　昭　男		
DTTH7270	春	新約聖書研究Ⅰ	THE807-92j00	2	川　中　　仁		
DTTH7290	春	倫理神学研究Ⅰ	THE809-92j00	2	竹　内　修　一		
DTTH7310	春	実践神学研究Ⅰ	THE811-92j00	2	具　　正　謨		
DTTH7350	春	教会史研究Ⅰ	THE815-92j00	2	(他)川　村　信　三		
DTTH7370	春	キリスト教思想研究Ⅰ	THE817-92j00	2	HAIDAR Juan		
DTTH7220	秋	組織神学研究Ⅱ	THE802-92j00	2	光　延　一　郎		
DTTH7240	秋	組織神学研究Ⅳ	THE804-92j00	2	川　中　　仁		
DTTH7260	秋	旧約聖書研究Ⅱ	THE806-92j00	2	佐久間　　勤		
DTTH7280	秋	新約聖書研究Ⅱ	THE808-92j00	2	川　中　　仁		
DTTH7320	秋	実践神学研究Ⅱ	THE812-92j00	2	具　　正　謨		
DTTH7360	秋	教会史研究Ⅱ	THE816-92j00	2	(他)川　村　信　三		
DTTH7380	秋	キリスト教思想研究Ⅱ	THE818-92j00	2	HAIDAR Juan		
DTTH7400	秋	キリスト教人間学研究Ⅱ	THE820-92j00	2	片　山　はるひ		
DTTH7300	休講	倫理神学研究Ⅱ	THE810-92j00	2			
DTTH7330	休講	霊性神学研究Ⅰ	THE813-92j00	2			
DTTH7340	休講	霊性神学研究Ⅱ	THE814-92j00	2			
DTTH7390	休講	キリスト教人間学研究Ⅰ	THE819-92j00	2			

５．研究指導一覧表

2011年次生以降対象科目であることに注意すること。

ナンバリング	担当教員名	備考
THE899-92j00	佐久間　　勤	
	光　延　一　郎	
	瀬　本　正　之	
	片　山　はるひ	
	竹　内　修　一	
	具　　正　謨	
	HAIDAR Juan	
	川　中　　仁	
	小　山　英　之	
	森　　裕　子	
	原　　敬　子	

哲　学　研　究　科

哲学専攻

１．哲学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

古代から中世を経て現代へ至る西洋哲学の伝統を研究する。また芸術・文化・宗教のあり方を根本から考え，現代社会が直面する多様な倫理的問題に対して，原理的な仕方で掘り下げる。

前期課程では，原典テクストの読解を中心に思想史研究の基本を学ぶ。後期課程は主として専門研究者の育成を目標とする。

２．各専攻のディプロマ・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程では，所定の科目を履修し，指導教員のもとで，修士論文のテーマを決め，研究指導により特別な指導を受け，論文の審査に合格した学生に修士（哲学）の学位を授与します。

【博士後期課程】

本課程では，以下の要件を満たしたうえで，博士論文が正式に受理され，審査に合格した学生に博士（哲学）の学位を授与します。

1. 本課程において，研究指導教員に 1 年間以上にわたり研究指導を受けたのちに研究企画書を研究科委員会に提出し，博士論文提出に関してあらかじめ研究科委員会の承認を得ていること。
2. 研究発表：上智大学哲学会での研究発表・全国規模の専門学会での複数の研究発表。
3. 刊行論文：3 点以上の刊行論文。

３．各専攻のカリキュラム・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程は，哲学専修コースおよび現代思想コースの 2 つのコースを設置しています。哲学専修コースでは，古代から中世を経て近代へ至る西洋哲学の長い歴史をふまえて，科学，芸術，文化，宗教のあり方を根本から考えるとともに，哲学の文献研究の基礎を学びます。現代思想コースでは，現代的な視座から哲学の根本問題を考察し，環境，生命，医療など現代社会が直面する多様な倫理的問題をとりあげます。

【博士後期課程】

本課程では，高度な専門的研究者の養成，すなわち，大学や短大などでの哲学教育の担当者のみならず，国際的な場においても活躍できるような哲学研究者の養成をめざします。

哲学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【14～15年次生　哲学専修コース（Ａコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学総合演習Ａ	2		
┗哲学総合演習Ｂ	2		
‣ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
‣ 選択科目	16		
┗自専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【14～15年次生　現代思想コース（Ｂコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学総合演習Ａ	2		
┗哲学総合演習Ｂ	2		
‣ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
‣ 選択科目	16		
┗自専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1）　問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
2）　研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
3）　論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
4）　研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
5）　独創性：哲学研究への何らかの積極的な貢献を果たす意義を持っていること。
6）　論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
7）　研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
8）　指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。

２．授業科目の編成・単位

哲学専修コース（Ａコース）・現代思想コース（Ｂコース）

科　目　名	単位数				
	必修	Ａコース		Ｂコース	
		選必	選択	選必	選択
＜文献研究科目群＞					
古代哲学文献研究ⅠＡ		2		2	
古代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究ⅠＡ		2		2	
中世哲学文献研究ⅠＢ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究ⅠＡ		2		2	
近代哲学文献研究ⅠＢ		2		2	
近代哲学文献研究ⅡＡ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究ⅣＢ		2		2	

科　目　名	単位数				
	必修	Ａコース		Ｂコース	
		選必	選択	選必	選択
＜研究科目群＞					
現代哲学研究ⅠＡ			2	2	
現代哲学研究ⅠＢ			2	2	
現代倫理学研究ⅡＡ			2	2	
現代倫理学研究ⅡＢ			2	2	
美学芸術学研究Ⅰ			2	2	
美学芸術学研究Ⅱ			2	2	
日本思想研究			2	2	
東洋思想研究			2	2	
宗教思想研究			2		2
哲学総合演習Ａ　※注１	2				
哲学総合演習Ｂ　※注１	2				

哲学専修コース（Ａコース）の選択必修は
＜文献研究科目群＞より10単位
現代思想コース（Ｂコース）の選択必修は
＜文献研究科目群＞より4単位
＜研究科目群＞より6単位
それ以上の単位は選択科目として扱う
※注１：哲学総合演習（4 単位）は 2015 年度よりＡ（春学期 2 単位），Ｂ（秋学期 2 単位）に分割された。

３．履修上の注意

１）前期課程において必要な履修単位は 30 単位とする。

２）「研究指導(必修)」を，在学中毎学期受けること。

３）前期課程の学生は入学後一年以内に，修士論文のテーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。

４）前期課程において学生の研究上必要と認められるときは，協定他大学および本学の他の研究科の開講科目を履修させ，これを委員会が計 8 単位まで必要単位として認定する。

５）哲学総合演習 AB（合計 4 単位）は前期課程 1 年次生用の必修である。それ以外に 2 年次以降，継続して履修を希望する場合は，選択科目として扱う。

６）毎年度初めの在校生・新入生ガイダンスの席で，指導教員の選定，研究計画，修士論文作成などについて詳細な説明を行う。

４．開講科目一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 74）の開講科目一覧を参照すること。

なお，文学研究科哲学専攻の設置に伴い，科目名が変更となっているものの対応については，以下の表による。対応する科目は同一科目とみなす。

2015 年度以前の開講科目	2016 年度以降の開講科目
古代哲学文献研究ⅠA	古代哲学文献研究Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠA	中世哲学文献研究Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠB	中世哲学文献研究Ⅱ
近代哲学文献研究ⅠA	近代哲学文献研究Ⅰ
近代哲学文献研究ⅠB	近代哲学文献研究Ⅱ
近代哲学文献研究ⅡA	近代哲学文献研究Ⅲ
近代哲学文献研究Ⅲ	近代哲学文献研究Ⅳ
近代哲学文献研究ⅣB	近代哲学文献研究Ⅴ
現代哲学研究ⅠA	現代哲学研究Ⅰ
現代哲学研究ⅠB	現代哲学研究Ⅱ
現代倫理学研究ⅡA	現代倫理学研究Ⅰ
現代倫理学研究ⅡB	現代倫理学研究Ⅱ

５．研究指導一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 74）の研究指導一覧を参照すること。

哲学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【15年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学特殊研究Ａ	2		
┗哲学特殊研究Ｂ	2		
‣ 選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【13年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学特殊研究	4		
‣ 選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）　問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
2）　研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
3）　論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
4）　研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
5）　独創性：従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていること。
6）　論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
7）　研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
8）　指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。
9）　学会発表：論文を書くにあたって，それを構成する部分が，複数の専門学会での口頭発表，投稿論文などによる研究成果をふまえていること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
古代哲学文献研究ⅠA			2
古代哲学文献研究Ⅱ			2
中世哲学文献研究ⅠA			2
中世哲学文献研究ⅠB			2
中世哲学文献研究ⅡA			2
近代哲学文献研究ⅠA			2
近代哲学文献研究ⅠB			2
近代哲学文献研究ⅡA			2
近代哲学文献研究Ⅲ			2
近代哲学文献研究ⅣB			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
現代哲学研究ⅠA			2
現代哲学研究ⅠB			2
現代倫理学研究ⅡA			2
現代倫理学研究ⅡB			2
美学芸術学研究Ⅰ			2
美学芸術学研究Ⅱ			2
日本思想研究			2
東洋思想研究			2
哲学特殊研究A　※注1	2		
哲学特殊研究B　※注1	2		

※注1：　2015年度よりA（春学期2単位）B（秋学期2単位）に分割された。

３．履修上の注意

1）後期課程において必要な履修単位数は 20 単位とする。

2）「研究指導（必修）」を，在学中毎学期受けること。

3）後期課程の学生は入学当初に，研究テーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。

4）後期課程の学生は毎学期指導教員の授業に出席し，その指示に従って研究し，研究状況を指導教員に報告し，その成果を毎年発表しなくてはならない。

5）後期課程に入学した学生で，前期課程必修科目の「哲学総合演習」の未履修者は，指導教員と専攻主任の許可を受けた上で，この科目 4 単位を後期課程の選択科目として履修し，必要単位に充当することができる。

6）後期課程において学生は研究の必要上，協定他大学および本学の他の研究科の授業を履修することはできるが，それによって必要単位に充当することはできない。

7）12 年次生以降の学生は「哲学特殊研究」4 単位必修。15 年次生の学生は「哲学特殊研究A」2 単位「哲学特殊研究B」2 単位の合計 4 単位必修。それ以外に 2 年次以降，継続して履修を希望する場合は，この両科目とも選択科目として扱う。

8）毎年度初めの在校生・新入生ガイダンスの席で，指導教員の選定，研究計画，修士・博士論文作成などについて詳細な説明を行う。

４．開講科目一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 77）の開講科目一覧を参照すること。

なお，文学研究科哲学専攻の設置に伴い，科目名が変更となっているものの対応については，以下の表による。対応する科目は同一科目とみなす。

2015 年度以前の開講科目	2016 年度以降の開講科目
古代哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・古代Ⅰ
古代哲学文献研究Ⅱ	哲学特殊研究・古代Ⅱ
中世哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・中世Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠB	哲学特殊研究・中世Ⅱ
中世哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・中世Ⅲ
近代哲学文献研究ⅠA （旧）近世哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・近代Ⅰ
近代哲学文献研究ⅠB （旧）近世哲学文献研究ⅠB	哲学特殊研究・近代Ⅱ
近代哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・近代Ⅲ
近代哲学文献研究Ⅲ （旧）近世哲学文献研究ⅢA	哲学特殊研究・近代Ⅳ
近代哲学文献研究ⅣB	哲学特殊研究・近代Ⅴ
現代哲学研究ⅠA （旧）現代哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・現代Ⅰ
現代哲学研究ⅠB （旧）現代哲学文献研究ⅡB）	哲学特殊研究・現代Ⅱ
現代倫理学研究ⅡA （旧）倫理学特殊問題Ⅲ	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ
現代倫理学研究ⅡB （旧）倫理学特殊問題Ⅳ	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ
美学芸術学研究Ⅰ （旧）美学芸術学Ⅰ	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ
美学芸術学研究Ⅱ （旧）美学芸術学Ⅱ	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ
日本思想研究 （旧）日本思想文献研究	哲学特殊研究・日本思想
東洋思想研究 （旧）東洋思想文献研究	哲学特殊研究・東洋思想

５．研究指導一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 77）の研究指導一覧を参照すること。

文　学　研　究　科

哲学専攻

史学専攻

国文学専攻

英米文学専攻

ドイツ文学専攻

フランス文学専攻

新聞学専攻

文化交渉学専攻

１．文学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

幅広い教養と柔軟な思考力を持ち，世界と未来に開かれた新しい知を創造する力を伸ばすために，文化の総体の探究，現代社会との連結，語学能力の重視に重点を置いた実践教育を行い，社会，文化の発展に貢献しうる人材を養成する。

前期課程では，研究者の養成を目指すとともに，高度な専門知識によって職業的能力を向上させる。後期課程では，国際的な水準で広く活躍し，将来，各々の分野で研究・教育に携わる人材の育成を期する。

２．各専攻のディプロマ・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 西洋哲学史全般に関する基礎知識をもとに，各自の研究テーマを掘り下げて，じっくり考える力と，時流に流されない深い学識
2. 現代社会のグローバルな危機に対して，対症療法に終わらない深い次元から解決の方向を見出す洞察力と賢慮
3. 複数の外国語（英・独・仏・ギリシア・ラテン）を読む力と難解な古典文献の読解力
4. 書き言葉と話し言葉の両面にわたる適切な表現の能力，および文化的に異なる背景をもった人々を説得できる力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 論文の個人指導や国内外の研究者との交流を通して得た知識により，学会での発表ができる能力
2. 複数の外国語（英・独・仏・ギリシア・ラテン）を読む力と難解な古典文献の読解力
3. 書き言葉と話し言葉の両面にわたる適切な表現の能力，および文化的に異なる背景をもった人々を説得できる力
4. 専門研究者として，大学等の高等教育機関において教育・指導にあたる能力

史学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。所定の単位を修得し，研究指導を受けたうえで修士論文を提出し，その審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 明確な問題意識に基づいてテーマ設定ができ，歴史研究の知識向上に寄与できる力
2. 先行研究を十分に検討・吟味し，出典の記載や引用を適切に行うことができる力
3. 史・資料に基づいた実証研究を行うことができる力
4. 論文作成において，的確な論文構成や整合性のある論理構成をとることができる力
5. 適切な言語表現ができ，論文全体を整った体裁にまとめることができる力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。所定の単位を修得し，かつ研究指導を受けたうえで，博士論文を提出し，その審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 明確な問題意識に基づいてテーマ設定ができ，対象分野に関する新しい史実の発見，ないしは既知の史実に対す

る新しい解釈の提示ができる力
2. 先行研究を網羅的に検討・吟味し，出典の記載や引用を適切に行うことができる力
3. 史・資料に基づく実証研究を行うことができる力
4. 論文作成において，的確な論文構成や整合性のある論理構成をとることができる力
5. 適切な言語表現ができ，論文全体を整った体裁にまとめることができる力
6. 独創的かつ先端的な研究を行い，自立的研究者として研究を遂行できる力

国文学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 国語学･古典文学･近代文学･漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力と教育実践能力を有し，広く社会，世界に貢献することができる能力
2. 国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力また教育実践能力に基づいた，教育者としての能力を養成することができる能力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 博士前期課程に修得した能力をさらに伸張し，国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力また教育実践能力に基づいた，教育ができる能力
2. 博士前期課程に修得した能力をさらに伸張し，国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力と教育実践能力を有し，広く社会，世界に貢献することができる能力
3. 博士前期課程に修得した能力をさらに伸張し，国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力また教育実践能力に基づき，国文学の伝統を継承し，発展させる意欲を持ち，自立した研究活動を展開する，研究者として自立できる能力

英米文学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。キリスト教的ヒューマニズムに基づき，英米文学を西欧文明という大きな全体の一環をなす試みとして理解し研究した学位論文を提出し，その審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め学位を授与します。

1. 人文学的な教養を基礎とし，英米文学を歴史，宗教，思想，文化の諸領域との広範なつながりを射程に入れて理解することができる力
2. 研究や教育を遂行するための高度な英語能力と基礎からの研究能力
3. 英米の文学・思想・文化，英語学・英語教育について体系的かつ専門的な知識
4. 専門研究者として大学等の高等教育研究機関において教育や研究に当たるにふさわしい能力（A コース）
5. 英語教育を行なう中高教員，その他の職業に従事するための能力（B コース）

【博士後期課程】

本課程では，英米文学・英語学・文化研究の専門研究者として学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。学位論文を提出し，その審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 人文学としての文学研究という視点から，専門的知識と共に広い分野における知識
2. 指導教授（メンター）による研究指導を受け，英米の文学・思想・文化，英語学・英語教育についての専門研究

にたずさわることができる力
3. 独自の研究テーマを探求する技能
4. 大学，その他の研究機関における教育研究職に従事するための英語力と技能

ドイツ文学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。ドイツ語圏文学・文化に関する専門的な知見と研究に必要な能力を修得の上，研究成果として学位論文を提出し，その審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 専門的な研究を行うのに十分なドイツ語運用能力を修得し，原典や参考文献などのテキストを的確に理解し，ドイツ語で論理的な文章を書き，学問的な議論を行うことができる力
2. ドイツ語圏のさまざまな地域や時代の文化現象に対する知識と理解を深め，それを多様な視点から考察し，研究するに値するテーマを自分で設定することができる力
3. 適切な構成，緻密な分析，明快な論理展開，豊かな言語表現を備えた説得力のある学術論文を書くことができる力
4. ドイツ語圏の文化や社会に対する強い関心と深い知見に基づき，自国の文化や社会を世界との関連において俯瞰する視座を獲得し，他国との相互理解，文化交流に貢献できる力
5. 自国とは異なる文化や思想をその歴史的背景とともに理解することによって，世界の多様さと豊かさを認識し，他者に対する想像力と開かれた精神をもって，現代世界のさまざまな問題と向き合うことができる力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。ドイツ語圏文学・文化に関する高度の研究能力を修得し，その分野における研究者として活躍できるようになることを目指して学位論文を提出し，その審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 専門的な研究に必要な高度のドイツ語運用能力を修得し，原典や参考文献などのテキストを的確に理解し，ドイツ語で論理的な文章を書き，学問的な議論を行うことができる力
2. ドイツ語圏文学・文化をヨーロッパの歴史的文脈のなかで理解し，専門領域への洞察を深めると同時に，広い視野と複眼的な視点によって研究対象，研究方法を見定めることができる力
3. 自分の研究が，研究史においてどのように位置づけられるかを把握し，新たな知見をもたらすテーマを自分で設定することができる力
4. 適切な構成，緻密な分析，明快な論理展開，豊かな言語表現を備えた説得力のある学術論文を書くことができる力
5. ドイツ語圏の文化や社会に対する強い関心と専門的な知識に基づき，自国の文化や社会を世界との関連において俯瞰する視野を獲得し，諸外国との文化交流に貢献できる力

フランス文学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。複眼的視点と問題意識をもって専門的な知識と深い教養を獲得した上で，研究の成果として優れた学位論文を提出し，その審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関する高水準の専門的研究をすることができる能力
2. 専門的な研究を遂行しうる高度なフランス語運用能力
3. フランスおよびフランス語圏の文化・芸術に関する深い教養
4. さまざまな分野で職業人として活躍しうる能力・適性

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。各人の専門において先端的な知識と高度な幅広い教養を獲得した上で，研究の成果として優れた学位論文を提出し，その審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して，国際的な水準で通用しうる高度な専門的研究をすることができる能力
2. 国際的な学的交流を可能にする高度なフランス語運用能力
3. フランスおよびフランス語圏の文化・芸術についての極めて深い見識
4. 専門的な知識やフランス語運用能力を教育の現場に生かすことのできる能力・適性

新聞学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。幅広くマス・コミュニケーションとジャーナリズムを学習して所定の単位を修得し，学位論文を提出しその審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. カリキュラム・ポリシーが示す３分野の基礎知識を修得し，及びそれらを現前するメディアやジャーナリズムに関する諸問題の解決に応用できるだけの力
2. 幅広い関心領域を有し，情報化社会において今後新たに次々と生起する諸問題にその都度関心を払い，それらに対して独自の洗練された問題意識を持って臨むことができる力
3. 問題意識と方法論をもって，修士論文を完成させ，一定程度以上の評価を得ることができる力
4. 学外の情報にも広くアンテナを張って，情報収集を行い，自己の研究に有益な情報を修得すべく自ら努力できる力
5. 一定の様式を備えたレポートや口頭発表によって，自己の研究成果や思想を効果的に伝達する力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。所定の単位取得および学位論文を提出しその審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 研究領域における学問的方法論および高度な専門知識を有し，ジャーナリズム論，メディア論，情報社会論などを中心に自己のテーマ領域を確立する力
2. 自己のテーマ領域に関して，過去の諸研究を広くレビューしており，他者に対して適宜要点を伝える能力を有する力
3. 国際的な視野に立った討論や分析を行う能力を持ち，国内外の学会等で最先端の研究成果を発表できる力
4. 独自の研究テーマを持ち，今後，研究者として自立して研究を遂行していくための計画を立てる力
5. 自己の研究テーマの研鑽を通じて培った高度な専門知識や倫理感を以て，国際社会に広く貢献できる力

文化交渉学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格した学生には，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 修士論文の作成にあたって，先行研究を十分にふまえ，既存の学問領域の枠にとらわれずに，適切なテーマを設定する力
2. テーマ設定に基づき，その解決のために必要な資料を読解し分析する能力
3. 緻密な分析，論旨の整備等がそなわった明快な論文を作成する力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格した学生には，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 博士論文において，先行研究を十分にふまえ，緻密な分析にもとづき，独自に新しい学説を打ち出す力
2. 博士論文の核になる論文を，学会における発表や，雑誌論文への投稿によって，積極的に世に問う力
3. 修了後も，研究者としての自覚をもって，必要に応じて海外で活動するなど，研究を深化させる力

３．各専攻のカリキュラム・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，哲学専修コースおよび現代思想コースの２つのコースを設置し，以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 哲学専修コースでは，古代から中世を経て近・現代へ至る西洋哲学の歴史をふまえて，科学，芸術，文化，宗教のあり方を根本から考えるとともに，哲学の文献研究の基礎を学ばせる。
2. 古代から近代まで哲学の古典的著作を原典（英・独・仏・ラテン・ギリシア）で精読する文献研究を開設する。
3. 現代思想コースでは，現代的な視座から哲学の根本問題を考察し，環境，生命，医療など現代社会が直面する多様な倫理的問題をとりあげる。文献研究以外に現代倫理学，美学・芸術学，東洋思想，日本思想，宗教思想などの科目を開設する。
4. 両コースに共通の必修科目「哲学総合演習 A，B」によって，各自が自分の研究を発表し，討論する機会を設ける。関心の枠を拡げ，質疑応答や意見交換によって哲学的思索を深め，共同研究のやり方を幅広く学ぶ。また授業の一部を英語で行うなど，国際的な研究水準を意識させる。
5. 入学後に各自の希望によって指導教員を決定し，個別の研究指導を通じて自分の勉学を深め，最終的には修士論文へと結実させる。
6. 後期課程進学を希望する者は，大学院生の編集する『上智哲学誌』への投稿，上智哲学会での研究発表，『哲学論集』への投稿，などを通じて，学会発表を経験させる。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，専門的哲学研究者（大学・短大・高専の教員）の養成を主眼とし，また国際的な舞台で活躍できる人材を育成するよう以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 哲学の歴史研究においては文献講読を中心とし，古代から現代までを扱う「哲学特殊研究」を開設する。
2. 文献研究以外に，現代倫理学，美学・芸術学，東洋思想，日本思想，宗教思想などを開設する。
3. 各自が自分の研究を発表し討論する必修科目「哲学特殊研究 A，B」を開設する。
4. 後期課程進学後に各自の希望によって指導教員を決定し，個別の研究指導を通じて自分の勉学を深め，口頭発表や論文投稿など学会活動を通じて研究成果を発表しつつ，最終的には博士論文へと結実させる。
5. 大学院生の編集する『上智哲学誌』への投稿，上智哲学会での研究発表，『哲学論集』への投稿などを通じて，学会発表を経験させる。
6. 本学の恵まれた条件を活かして海外留学を推奨する。また授業の一部を英語で行うなど，国際的な研究水準を意識させる。

史学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，歴史学の幅広くかつ深い知識を極め，鋭い分析・批判能力を培うよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 地域的（日本史・東洋史・西洋史），時代的（古代史・中世史・近世史・近現代史）に細分化された領域に配置された教員が，テーマに最も近い学生を「研究指導」する。
2. 学生が，上記の特定領域の史料読解力を磨き，研究史を学ぶ「演習」を開設する。
3. 地域・時代を超えた学生が集まり，歴史学の比較研究や幅広い論を行い，自分の専門領域をより客観的に見る姿勢を養う「特研」を開設する。
4. 学生が，修士論文完成まで数度経過報告を行い，論文のまとめ方を修得する「修士論文演習」を開設する。
5. 学生の専門領域を深めるために，指導教員の承認を得たうえで，他専攻の科目や，他研究科の科目，ならびに協定を結んだ他大学大学院の科目を，一定の条件の下で履修させることがある。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 自分のテーマに最も近い教員を指導教員として学生が選ぶ「研究指導」を開設する。
2. 自分のテーマでの史料講読や研究史を教員の指導下で学びつつ，論文執筆の途中経過を報告して論文作成を進める「博士論文演習」を開設する。
3. 本専攻課程の授業以外に，学生は，指導教員の承認を得たうえで，海外留学や学会・研究会報告を行い，研究者としての研鑽を積む。

国文学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，古典学を研究・教育の根幹に置いた「国文学」を総合的に追究するために，本課程において開設する特殊講義・演習の科目，及び世界から見た日本文学の科目を学生が履修するよう，以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 古典学を研究・教育の根幹に置いた国語学を追究するために，国語学特殊講義・演習の科目を開設する。
2. 古典学を研究・教育の根幹に置いた古典文学を追究するために，古典文学特殊講義・演習の科目を開設する。
3. 古典学を研究・教育の根幹に置いた近代文学を追究するために，近代文学特殊講義・演習の科目を開設する。
4. 古典学を研究・教育の根幹に置いた漢文学を追究するために，漢文学特殊講義・演習の科目を開設する。
5. 「国文学」の総合的な知見に基づいた修士論文を執筆するために，研究指導をする。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，古典学を研究・教育の根幹に置いた「国文学」を総合的に追究するために，本課程において開設する特殊研究の科目，及び世界から見た日本文学の科目を履修するよう，以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 古典学を研究・教育の根幹に置いた国語学を追究するために，国語学特殊研究の科目を開設する。
2. 古典学を研究・教育の根幹に置いた古典文学を追究するために，古典文学特殊研究の科目を開設する。
3. 古典学を研究・教育の根幹に置いた近代文学を追究するために，近代文学特殊研究の科目を開設する。
4. 古典学を研究・教育の根幹に置いた漢文学を追究するために，漢文学特殊研究の科目を開設する。
5. 「国文学」の総合的な知見に基づいた学位論文を執筆するために，研究指導をする。

英米文学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，高度な英語能力と英米文学・思想・文化，英語学・英語教育についての知識が獲得できるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 特別講義・演習をバランス良く受講し，体系的かつ専門的な知識を身につけるように指導する。１年次はアドヴァイザーによる研究指導を受け，２年次は専門分野の指導教員（メンター）のもとで研究を進める。
2. 修士１年で「文学研究法 I」（日本語）と「文学研究法 II」（英語）を必修として開設し，リサーチ，研究発表，論文執筆を英語と日本語で行えるようになることを目指して基礎力を養う。
3. 大学教員，中高教員，あるいは英語英文学における知識や技能を生かした進路に進むための訓練をする。
4. A コース（後期課程進学コース）の学生は，２年次にメンターによる研究指導を受けながら修士論文（英語）を作成し，後期課程に進み専門研究者となることを目指す。
5. B コース（前期課程完結コース）の学生は，２年次にメンターによる研究指導を受けながら修士論文（英語・日本語）あるいはリサーチ・ペーパーを作成し，研究の基礎を学ぶ。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，専門研究者となるための研究方法を修得し，専門テーマに関する研究を行うことができるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. リーディング・コースを毎年履修し，専門的知識を獲得すると共に，幅広い視野を身につけるように指導する。
2. リサーチを進め，学内外で研究発表を行い，研究論文を公表するように指導する。
3. 博士予備論文作成を指導する。
4. 英語運用能力の向上を図り，英語圏の大学や研究機関に長期あるいは短期留学できるよう指導する。
5. 博士論文のテーマを定め，博士予備論文を執筆し，博士号取得に向けた研究を進めるように指導する。

ドイツ文学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，ドイツ語圏の文学・文化をヨーロッパの歴史的文脈のなかで理解し，自分で研究テーマを見つけ，その成果を学術論文にまとめることができるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. すべての授業において，専門的な研究を行うのに必要なドイツ語運用能力を身につけることを目指し，ドイツ語で行う授業を複数用意する。
2. ドイツ語圏の文学・文化をヨーロッパの歴史的文脈のなかで理解し，その多様性と豊かさに触れるために，さまざまな時代や地域に関する授業を開設する。
3. 各授業や文学研究の方法論に関する授業を通して，問題意識を深め，自分でテーマを設定できる力を養う。またレポート作成を通して，分析能力，論理的思考力，言語表現力を身につけさせる。
4. 授業での討論，修論中間発表会などを通して，自分の見解を論理的に説得力をもって伝える力を培うと同時に，他者の見解を理解し，そこから新たな視点を獲得する能力を養う。
5. 教員の個別指導の下，研究テーマを決定し，日本語（要ドイツ語レジュメ）ないしはドイツ語で修士論文を書くことを課す。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，ドイツ語圏の文学・文化についての専門的な理解と考察を深め，専門領域において新たな知見をもたらす博士論文を提出できるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. すべての授業において，専門的な研究を行うのに必要な高度なドイツ語運用能力を向上させることを目指しドイツ語で行う授業を複数用意する。

2. ドイツ語圏文学・文化をヨーロッパの歴史的文脈のなかで理解し，多角的な視点と問題意識をもてるよう，さまざまな時代や地域に関する授業を開設する。
3. 各授業や文学研究の方法論に関する授業を通して問題意識を深め，自分でテーマを設定できる力を養う。またレポート作成を通して，分析能力，論理的思考力，言語表現力を身につけさせる。
4. 授業での討論，論文発表会などを通して，自分の見解を論理的に説得力をもって伝える力を培うと同時に，学問的な議論を行う能力を養成する。
5. 指導教員の個別指導の下，まずは院生の雑誌に学術論文を執筆し，論文の書き方を具体的に徹底して身につけ，それをさらに発展させて，博士論文を執筆する。

フランス文学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，フランスおよびフランス語圏の文学・芸術の研究に関して，方法論を深化させ，多様な興味・関心を抱くことのできるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して，研究方法の修得・深化に役立つ専門的教育を行う。
2. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して，多様な興味・関心を喚起しうる専門的教育を行う。
3. 高度なフランス語運用能力を養成するための実践的な語学的訓練を行う。
4. 修士論文作成のために，テーマの掘り下げ，プランの策定，論述の整備など，きめ細かい指導をする。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，フランスおよびフランス語圏の文学・芸術の研究に関して，国際的なレベルでのテーマと方法論の基準と選択について意識を高めるよう，以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関する「特殊研究」を複数開設する。
2. 博士論文作成のために，テーマの掘り下げ，プランの策定，論述の整備など，きめ細かい指導を行う。
3. 給費留学や研究集会での発表など，研究者としての国際的な活動に道を開くための手助けをする。

新聞学専攻

【博士前期課程】

本課程では，効率的な学習によって，ディプロマ・ポリシーに示す目標を達成できるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. マス・コミュニケーション理論，ジャーナリズム論，メディア分析の３分野を基本に据えたカリキュラムを構成し，その上で演習を配置し院生が主体的に学問に取り組める体制とする。
2. メディア・ジャーナリズムをとりまく今日の諸問題を扱う科目をその都度設置して，院生の関心に応じて時代の潮流に沿った柔軟な研究が可能となる体制とする。
3. 修士論文を完成させるため，指導教員の指導のもと，各自の研究を推進させる体制を整えている。中間発表会を設置することで，修士論文の進捗状況をすべての教員が把握できる仕組みとする。
4. 大学院の社会学分野単位相互互換制度により，他大学大学院の開設科目の履修を認める。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，研究者として自己のテーマ領域を打ち立てるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 在学期間内に博士論文を完成することを目指し，指導教員のもと入学後 3 か年内に 12 単位の演習および在学中研究指導を受けさせる。
2. 学位申請論文については，入学後１年を経て論文提出資格を得る試験に合格した者に対して執筆を許可する。

3. 論文執筆前に，自己の研究テーマに関して，日本マス・コミュニケーション学会他，国内外の関連学会において積極的に発表を行うことを推奨し，指導をする。
4. 論文執筆の途中段階において随時，指導教員および当該テーマを専門とする教員による助言と評価を仰ぐことができる体制とする。
5. 論文審査は学外の審査委員（副査）を含む審査委員会によって行われ，公開試験後の審査委員会において合格判定を得られた場合に，学位を授与する。

文化交渉学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーの達成を目的として，多元文化相互の接触や交渉に，幅広い観点から目を向けるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 異文化をどのように捉えるのかをテーマに，さまざまな文化の特質，文化形成の歴史的経緯などを検討する。
2. 文化交渉の手段の一つであり，新しい文化創造の契機にもなる翻訳について，文学と芸術の関わりを含めて検討する。
3. 諸文化が出会うときに生じる軋轢や，受けとめる様相などを見つめ，新しい文化創造に向かう過程に着目して検討する。
4. 研究，論文作成の基本に習熟するために，「論文作成法」を履修し，修士論文作成にそなえる。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーの達成を目的として，本専攻の特色を生かした博士論文作成に向けて，資料の読解，テーマの深化，論文作成の要諦などを教授するよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 前期課程で積み上げた基礎知識や修士論文の成果をふまえて，さらに高度な研究を行う。
2. 開講科目の履修と個別指導を通じ，研究者としての自覚をもって，文化創造の基盤となる資料の取り扱いに，さらにみがきをかける。

哲学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降　哲学専修コース（Ａコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学総合演習Ａ	2		
┗哲学総合演習Ｂ	2		
‣ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
‣ 選択科目	16		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			19年次生以降は4単位まで修了に必要な単位として認められる。
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【17年次生以降　現代思想コース（Ｂコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学総合演習Ａ	2		
┗哲学総合演習Ｂ	2		
‣ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
‣ 選択科目	16		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			19年次生以降は4単位まで修了に必要な単位として認められる。
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16年次生　哲学専修コース（Ａコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学総合演習Ａ	2		
┗哲学総合演習Ｂ	2		
‣ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
‣ 選択科目	16		
┗自専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16年次生　現代思想コース（Ｂコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学総合演習Ａ	2		
┗哲学総合演習Ｂ	2		
‣ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
‣ 選択科目	16		
┗自専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1）　問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
2）　研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
3）　論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
4）　研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
5）　独創性：哲学研究への何らかの積極的な貢献を果たす意義を持っていること。
6）　論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
7）　研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
8）　指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。

２．授業科目の編成・単位

哲学専修コース（Ａコース）・現代思想コース（Ｂコース）

科　目　名	単位数				
	必修	Ａコース		Ｂコース	
		選必	選択	選必	選択
＜文献研究科目群＞					
古代哲学文献研究Ⅰ		2		2	
古代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅰ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅰ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅳ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅴ		2		2	

科　目　名	単位数				
	必修	Ａコース		Ｂコース	
		選必	選択	選必	選択
＜研究科目群＞					
現代哲学研究Ⅰ			2	2	
現代哲学研究Ⅱ			2	2	
現代倫理学研究Ⅰ			2	2	
現代倫理学研究Ⅱ			2	2	
美学芸術学研究Ⅰ			2	2	
美学芸術学研究Ⅱ			2	2	
日本思想研究			2	2	
東洋思想研究			2	2	
宗教思想研究			2		2
哲学総合演習Ａ	2				
哲学総合演習Ｂ	2				

哲学専修コース（Ａコース）の選択必修は
＜文献研究科目群＞より10単位
現代思想コース（Ｂコース）の選択必修は
＜文献研究科目群＞より4単位
＜研究科目群＞より6単位
それ以上の単位は選択科目として扱う

３．履修上の注意

1）前期課程において必要な履修単位は 30 単位とする。

2）「研究指導(必修)」を，毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

3）前期課程の学生は入学後一年以内に，修士論文のテーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。専攻会議はそれを考慮して指導教員を指定する。

4）前期課程において学生の研究上必要と認められるときは，協定他大学および本学の他の研究科・専攻の開講科目を履修させ，これを委員会が計 8 単位まで必要単位として認定する。

5）哲学総合演習 AB（合計 4 単位）は前期課程 1 年次生用の必修である。それ以外に 2 年次以降，継続して履修を希望する場合は，選択科目として扱う。

6）毎年度初めの在校生・新入生ガイダンスの席で，指導教員の選定，研究計画，修士論文作成などについて詳細な説明を行う。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MPPH1331	春	哲学総合演習Ａ	PHL517-21m00	2	荻　野　弘　之	○	
MPPH7010	春	古代哲学文献研究Ⅰ	PHL505-21j00	2	荻　野　弘　之		（旧）古代哲学文献研究ⅠＡ
MPPH7210	春	中世哲学文献研究Ⅰ	PHL507-21j00	2	佐　藤　直　子		（旧）中世哲学文献研究ⅠＡ
MPPH7230	春	中世哲学文献研究Ⅲ	PHL509-21j00	2	長　町　裕　司		
MPPH7310	春	近代哲学文献研究Ⅰ	PHL510-21j00	2	鈴　木　伸　国		（旧）近代哲学文献研究ⅠＡ
MPPH7330	春	近代哲学文献研究Ⅲ	PHL512-21j00	2	＊馬　場　　朗		（旧）近代哲学文献研究ⅡＡ
MPPH7410	春	現代哲学研究Ⅰ	PHL515-21j00	2	長　町　裕　司		（旧）現代哲学研究ⅠＡ
MPPH1332	秋	哲学総合演習Ｂ	PHL518-21m00	2	鈴　木　伸　国	○	
MPPH7020	秋	古代哲学文献研究Ⅱ	PHL506-21j00	2	荻　野　弘　之		
MPPH7220	秋	中世哲学文献研究Ⅱ	PHL508-21j00	2	佐　藤　直　子		（旧）中世哲学文献研究ⅠＢ
MPPH7320	秋	近代哲学文献研究Ⅱ	PHL511-21j00	2	鈴　木　伸　国		（旧）近代哲学文献研究ⅠＢ
MPPH7340	秋	近代哲学文献研究Ⅳ	PHL513-21j00	2	長　町　裕　司		（旧）近代哲学文献研究Ⅲ
MPPH7420	秋	現代哲学研究Ⅱ	PHL516-21j00	2	長　町　裕　司		（旧）現代哲学研究ⅠＢ
MPPH7530	秋	美学芸術学研究Ⅰ	PHL520-21j00	2	＊高　橋　陽一郎		隔年開講
MPPH7570	秋	宗教思想研究	PHL502-21j00	2	(他)島　薗　　進		隔年開講
MPPH9340	秋	修士論文	PHL699-21j00	0	哲学専攻各指導教員		
MPPH7350	休講	近代哲学文献研究Ⅴ	PHL514-21j00	2			（旧）近代哲学文献研究ⅣＢ
MPPH7510	休講	現代倫理学研究Ⅰ	PHL503-21j00	2			（旧）現代倫理学研究ⅡＡ
MPPH7520	休講	現代倫理学研究Ⅱ	PHL504-21j00	2			（旧）現代倫理学研究ⅡＢ
MPPH7540	休講	美学芸術学研究Ⅱ	PHL521-21j00	2			隔年開講
MPPH7550	休講	日本思想研究	PHL519-21j00	2			隔年開講
MPPH7560	休講	東洋思想研究	PHL501-21j00	2			隔年開講

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PHL599-21j00	荻　野　弘　之	
	長　町　裕　司	
	佐　藤　直　子	
	寺　田　俊　郎	
	鈴　木　伸　国	

哲学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学特殊研究Ａ	2		
┗哲学特殊研究Ｂ	2		
‣ 選択科目	16		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗哲学特殊研究Ａ	2		
┗哲学特殊研究Ｂ	2		
‣ 選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）　問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
2）　研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
3）　論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
4）　研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
5）　独創性：従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていること。
6）　論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
7）　研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
8）　指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。
9）　学会発表：論文を書くにあたって，それを構成する部分が，複数の専門学会での口頭発表，投稿論文などによる研究成果をふまえていること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
哲学特殊研究・古代Ⅰ			2
哲学特殊研究・古代Ⅱ			2
哲学特殊研究・中世Ⅰ			2
哲学特殊研究・中世Ⅱ			2
哲学特殊研究・中世Ⅲ			2
哲学特殊研究・近代Ⅰ			2
哲学特殊研究・近代Ⅱ			2
哲学特殊研究・近代Ⅲ			2
哲学特殊研究・近代Ⅳ			2
哲学特殊研究・近代Ⅴ			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
哲学特殊研究・現代Ⅰ			2
哲学特殊研究・現代Ⅱ			2
哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ			2
哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ			2
哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ			2
哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ			2
哲学特殊研究・日本思想			2
哲学特殊研究・東洋思想			2
哲学特殊研究Ａ	2		
哲学特殊研究Ｂ	2		

３．履修上の注意

1）後期課程において必要な履修単位数は 20 単位とする。

2）「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

3）後期課程の学生は入学当初に，研究テーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。専攻会議はそれを考慮して指導教員を指定する。

4）後期課程の学生は毎週指導教員の授業に出席し，その指示に従って研究し，研究状況を指導教員に報告し，その成果を毎年発表しなくてはならない。

5）後期課程から入学した学生で，前期課程必修科目の「哲学総合演習」を未履修者は，指導教員と専攻主任の許可を受けた上で，この科目 4 単位を後期課程の選択科目として履修し，必要単位に充当することができる。

6）後期課程において学生は研究の必要上，協定他大学および本学の他の研究科・専攻の授業を履修することはできるが，それによって必要単位に充当することはできない。

7）哲学特殊研究 A・B（合計 4 単位）は後期課程 1 年次生用の必修である。それ以外に 2 年次以降，継続して履修を希望する場合は，この両科目とも選択科目として扱う。

8）毎年度初めの在校生・新入生ガイダンスの席で，指導教員の選定，研究計画，修士・博士論文作成などについて詳細な説明を行う。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DPPH3021	春	哲学特殊研究Ａ	PHL819-21m00	2	長　町　裕　司	○	
DPPH3111	春	哲学特殊研究・古代Ⅰ	PHL801-21j00	2	荻　野　弘　之		（旧）古代哲学文献研究ⅠＡ
DPPH3221	春	哲学特殊研究・中世Ⅰ	PHL803-21j00	2	佐　藤　直　子		（旧）中世哲学文献研究ⅠＡ
DPPH3223	春	哲学特殊研究・中世Ⅲ	PHL805-21j00	2	長　町　裕　司		（旧）中世哲学文献研究Ⅲ
DPPH3231	春	哲学特殊研究・近代Ⅰ	PHL806-21j00	2	鈴　木　伸　国		（旧）近代哲学文献研究ⅠＡ
DPPH3233	春	哲学特殊研究・近代Ⅲ	PHL808-21j00	2	＊馬　場　　朗		（旧）近代哲学文献研究ⅡＡ
DPPH3241	春	哲学特殊研究・現代Ⅰ	PHL811-21j00	2	長　町　裕　司		（旧）現代哲学文献研究ⅡＡ
DPPH3022	秋	哲学特殊研究Ｂ	PHL820-21m00	2	佐　藤　直　子	○	
DPPH3112	秋	哲学特殊研究・古代Ⅱ	PHL802-21j00	2	荻　野　弘　之		（旧）古代哲学文献研究Ⅱ
DPPH3222	秋	哲学特殊研究・中世Ⅱ	PHL804-21j00	2	佐　藤　直　子		（旧）中世哲学文献研究ⅠＢ
DPPH3232	秋	哲学特殊研究・近代Ⅱ	PHL807-21j00	2	鈴　木　伸　国		（旧）近代哲学文献研究ⅠＢ
DPPH3234	秋	哲学特殊研究・近代Ⅳ	PHL809-21j00	2	長　町　裕　司		（旧）近代哲学文献研究Ⅲ
DPPH3242	秋	哲学特殊研究・現代Ⅱ	PHL812-21j00	2	長　町　裕　司		（旧）現代哲学文献研究ⅡＢ
DPPH3253	秋	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ	PHL815-21j00	2	＊高　橋　陽一郎		隔年開講（旧）美学芸術学研究Ⅰ
DPPH3235	休講	哲学特殊研究・近代Ⅴ	PHL810-21j00	2			（旧）近代哲学文献研究ⅣＢ
DPPH3251	休講	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ	PHL813-21j00	2			（旧）現代倫理学研究ⅡＡ
DPPH3252	休講	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ	PHL814-21j00	2			（旧）現代倫理学研究ⅡＢ
DPPH3254	休講	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ	PHL816-21j00	2			隔年開講（旧）美学芸術学研究Ⅱ
DPPH3255	休講	哲学特殊研究・日本思想	PHL817-21j00	2			隔年開講（旧）日本思想研究
DPPH3256	休講	哲学特殊研究・東洋思想	PHL818-21j00	2			隔年開講（旧）東洋思想研究

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PHL899-21j00	荻　野　弘　之	
	長　町　裕　司	
	佐　藤　直　子	
	寺　田　俊　郎	
	鈴　木　伸　国	
	大　橋　容一郎	

史学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・選択必修科目	4		4単位を超えて修得した場合，その超過分は選択科目の単位数に算入される
・選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【11～16 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・選択必修科目	4		4単位を超えて修得した場合，その超過分は選択科目の単位数に算入される
・選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

１）　問題意識が明確で，テーマ設定が適切であり，歴史研究の知識の向上に寄与していること。
２）　先行研究が十分に検討・吟味されており，出典記載や引用が適切になされていること。
３）　史・資料に基づいた実証研究であること。
４）　論文構成が的確で，論理展開に整合性と一貫性があること。
５）　論文の言語表現が的確であり，目次・註・付録（図表・史料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。

2．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜日本史学＞			
古代演習Ⅰ			2
古代演習Ⅱ			2
古代特研			2
中世演習Ⅰ			2
中世演習Ⅱ			2
中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2
史料学研究			4
＜東洋史学＞			
古代・中世演習Ⅰ　※注1			2
古代・中世演習Ⅱ　※注1			2
古代・中世特研　※注2			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜西洋史学＞			
古代演習Ⅰ			2
古代演習Ⅱ			2
古代特研			2
中世演習Ⅰ			2
中世演習Ⅱ			2
中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2
（他）聖書神学研究ゼミナールⅠ（古代イスラエル史）　※注3			2
（他）ヨーロッパ政治文化研究1　※注4			2
（他）ヨーロッパ政治文化研究2　※注4			2
（他）ヨーロッパ政治社会研究1　※注4			2
（他）ヨーロッパ政治社会研究2　※注4			2
＜修士論文演習＞			
修士論文演習Ⅰａ		2	
修士論文演習Ⅰｂ		2	
修士論文演習Ⅱａ		2	
修士論文演習Ⅱｂ		2	

※注1　2018年度まで開講

※注2　2017年度まで開講

※注3　神学研究科開講科目（詳細はp. 45参照）

※注4　グローバルスタディーズ研究科地域研究専攻開講科目（詳細はp. 275参照）

3．履修上の注意

1）「史学専攻履修上の注意」（4月専攻別院生ガイダンスで配付）に従って履修すること。

2）前期課程生は，専任教員1名を指導教員として定め，所定の科目を履修するとともに，指導教員と密接に連絡し，学位論文や研究報告の作成を行うこと。

3）毎年度，4月に専攻の定める「研究計画書」を，2月に「研究報告書」を提出すること。

4）前期課程生は，「修士論文演習」4 単位を選択必修とする。この科目は，修士論文を作成・提出するまで，引き続き受講することが望ましい（4単位を超える単位は選択科目の単位数に算入される）。

5）その年度の修士論文提出予定者は，専攻の定める「提出予定書」（通常6月中），および「題目届」（通常11月後半）を提出すること。

6）「研究指導」を在学中に毎学期受けること。なお，2017 年次以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHHT6240	春	修士論文演習Ⅰａ	HST501-23j00	2	北條勝貴 中澤克昭 中川亜希 藤崎衛		
MHHT6260	春	修士論文演習Ⅱａ	HST502-23j00	2	川村信三 長田彰文 坂野正則		
MHHT7060	春	＜日本史学＞近世特研	HST512-23m00	2	川村信三		
MHHT7080	春	＜日本史学＞近・現代特研	HST513-23m00	2	長田彰文		
MHHT7170	春	＜西洋史学＞古代特研	HST516-23m00	2	中川亜希		
MHHT7190	春	＜西洋史学＞中世特研	HST517-23m00	2	藤崎衛		
MHHT7210	春	＜西洋史学＞近世特研	HST518-23m00	2	坂野正則		
MHHT7240	春	＜日本史学＞古代演習Ⅰ	HST520-23j00	2	北條勝貴		
MHHT7260	春	＜日本史学＞中世演習Ⅰ	HST521-23j00	2	中澤克昭		
MHHT7280	春	＜日本史学＞近世演習Ⅰ	HST522-23m00	2	川村信三		
MHHT7300	春	＜日本史学＞近・現代演習Ⅰ	HST523-23m00	2	長田彰文		
MHHT7340	春	＜東洋史学＞近世演習Ⅰ	HST524-23m00	2	山内弘一		
MHHT7360	休講	＜東洋史学＞近・現代演習Ⅰ	HST525-23m00	2			
MHHT7380	春	＜西洋史学＞古代演習Ⅰ	HST526-23m00	2	中川亜希		
MHHT7400	春	＜西洋史学＞中世演習Ⅰ	HST527-23m00	2	藤崎衛		
MHHT7420	春	＜西洋史学＞近世演習Ⅰ	HST528-23m00	2	坂野正則		
MHHT7440	春	＜西洋史学＞近・現代演習Ⅰ	HST529-23m00	2	井上茂子		
MFAS7000	春	（他）ヨーロッパ政治文化研究1	AEU503-67j00	2	(他)高橋暁夫		（他）グローバルスタディーズ研究科地域研究専攻　※注2
MFAS7020	春	（他）ヨーロッパ政治社会研究1	AEU501-67j00	2	(他)内村俊太		（他）グローバルスタディーズ研究科地域研究専攻　※注2
MHHT7090	集中	史料学研究	HST590-23j00	4	中澤克昭		春学期4月に申込み，夏休みに授業。履修登録と成績評価は秋学期。
MHHT6250	秋	修士論文演習Ⅰｂ	HST551-23j00	2	北條勝貴 中澤克昭 中川亜希 藤崎衛		
MHHT6270	秋	修士論文演習Ⅱｂ	HST552-23j00	2	川村信三 長田彰文 坂野正則		
MHHT7020	秋	＜日本史学＞古代特研	HST510-23j00	2	北條勝貴		
MHHT7040	秋	＜日本史学＞中世特研	HST511-23j00	2	中澤克昭		
MHHT7130	休講	＜東洋史学＞近世特研	HST514-23m00	2			
MHHT7150	休講	＜東洋史学＞近・現代特研	HST515-23m00	2			
MHHT7230	休講	＜西洋史学＞近・現代特研	HST519-23m00	2			
MHHT7250	秋	＜日本史学＞古代演習Ⅱ	HST530-23j00	2	北條勝貴		
MHHT7270	秋	＜日本史学＞中世演習Ⅱ	HST531-23j00	2	中澤克昭		
MHHT7290	秋	＜日本史学＞近世演習Ⅱ	HST532-23m00	2	川村信三		
MHHT7310	秋	＜日本史学＞近・現代演習Ⅱ	HST533-23m00	2	長田彰文		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHHT7350	秋	＜東洋史学＞近世演習Ⅱ	HST534-23m00	2	山内弘一		
MHHT7370	休講	＜東洋史学＞近・現代演習Ⅱ	HST535-23m00	2			
MHHT7390	秋	＜西洋史学＞古代演習Ⅱ	HST536-23m00	2	中川亜希		
MHHT7410	秋	＜西洋史学＞中世演習Ⅱ	HST537-23m00	2	藤崎衛		
MHHT7430	秋	＜西洋史学＞近世演習Ⅱ	HST538-23m00	2	坂野正則		
MHHT7450	秋	＜西洋史学＞近・現代演習Ⅱ	HST539-23m00	2	井上茂子		
MHHT9280	秋	修士論文	HST699-23m00	0	史学専攻各指導教員		M2 対象
MTTH7702	休講	(他) 聖書神学研究ゼミナールⅠ (古代イスラエル史)	THE552-91j00	2			(他) 神学研究科神学専攻，隔年開講 ※ 注1
MFAS7010	秋	(他) ヨーロッパ政治文化研究2	AEU504-67j00	2	(他)高橋暁夫		(他) グローバルスタディーズ研究科地域研究専攻 ※注2
MFAS7030	秋	(他) ヨーロッパ政治社会研究2	AEU502-67j00	2	(他)内村俊太		(他) グローバルスタディーズ研究科地域研究専攻 ※注2

※注1 神学研究科開講科目（詳細はp. 45参照）

※注2 グローバルスタディーズ研究科地域研究専攻開講科目（詳細はp. 275参照）

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HST599-23j00	中澤克昭	
	井上茂子	
	川村信三	
	長田彰文	
	北條勝貴	
	坂野正則	
	笹川裕史	休講
	中川亜希	
	藤崎衛	

史学専攻　博士後期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗博士論文演習Ⅰ・Ⅱ	12		６学期（６回）で合計12単位分履修すること
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗博士論文演習Ⅰ・Ⅱ	12		６学期（６回）で合計12単位分履修すること
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）　問題意識が明確で，テーマ設定が適切であり，対象分野に関する新しい史実の発見，ないしは既知の史実に対する新しい解釈の提示をしていること。
2）　先行研究が網羅的に検討・吟味されており，出典記載や引用が適切になされていること。
3）　史・資料に基づいた実証研究であること。
4）　論文構成が的確で，論理展開に整合性と一貫性があること。
5）　論文の言語表現が的確であり，目次・注・付録（図表・史料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。
6）　当該分野における独創的かつ先端的な研究であり，執筆者が自立的研究者として研究を遂行する能力があることを証明する研究であること。
　　なお，博士論文の提出については，「博士の学位授与に関する史学専攻内規」を参照すること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
博士論文演習Ⅰ	2		
博士論文演習Ⅱ	2		

３．履修上の注意

1）「史学専攻履修上の注意」（4 月専攻別院生ガイダンスで配付）に従って履修すること。

2）後期課程生は，専任教員 1 名を指導教員として定め，所定の科目を履修するとともに，指導教員と密接に連絡し，学位論文や研究報告の作成を行うこと。

3）毎年度，4 月に専攻の定める「研究計画書」を，2 月に「研究報告書」を提出すること。

4）指導教員の開講する「博士論文演習Ⅰ」「同Ⅱ」を合計で 12 単位修得すること（ただし，大学の交換留学制度で指定された外国の大学にて勉学する場合は，その限りではない）。

5）「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に関する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

6）後期課程生は，指導教員の開講する博士前期課程の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を履修することが望ましい。なお，これは後期課程の修了要件とはならない。

7）博士論文の提出者は，審査願提出時に，2 本以上の研究論文が学術誌に掲載もしくは掲載決定していること。博士論文の提出に関しては，「博士の学位授与に関する史学専攻内規」に従って，所定の手続きをとること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHHT3041	春	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2	長田彰文		
DHHT3081	春	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2	川村信三	○	英語による授業
DHHT3091	休講	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2			
DHHT3101	休講	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2			
DHHT3201	春	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2	北條勝貴		
DHHT3231	春	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2	中澤克昭		
DHHT3042	秋	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2	長田彰文		
DHHT3082	秋	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2	川村信三	○	英語による授業
DHHT3092	休講	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2			
DHHT3102	休講	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2			
DHHT3202	秋	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2	北條勝貴		
DHHT3232	秋	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2	中澤克昭		

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HST899-23j00	井上茂子	
	川村信三	
	長田彰文	
	笹川裕史	休講
	中澤克昭	
	北條勝貴	

国文学専攻　博士前期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣選択科目	30		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1）　明確な問題意識に基づき，統一されたテーマを有し，統一された形式で書き下ろされたもの。刊行された書物，抜刷の集合は認めない。
2）　先行研究を的確に踏まえた上で，出典記載・引用が適切になされていること。
3）　独創的知見を有する研究であること。
4）　論理展開に整合性を有し，言語表現が適切であること。
5）　全国レベルの学会で発表された研究論文，または発表しうる水準の論文の内容を含んでいること。
6）　四百字詰め原稿用紙 200 枚以上に相当する分量を有すること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
古典文学特殊講義・演習ＩＡ			2
古典文学特殊講義・演習ＩＢ			2
古典文学特殊講義・演習ⅡＡ			2
古典文学特殊講義・演習ⅡＢ			2
古典文学特殊講義・演習ⅢＡ			2
古典文学特殊講義・演習ⅢＢ			2
古典文学特殊講義・演習ⅣＡ			2
古典文学特殊講義・演習ⅣＢ			2
近代文学特殊講義・演習ＩＡ			2
近代文学特殊講義・演習ＩＢ			2
近代文学特殊講義・演習ⅡＡ			2
近代文学特殊講義・演習ⅡＢ			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
国語学特殊講義・演習ＩＡ			2
国語学特殊講義・演習ＩＢ			2
国語学特殊講義・演習ⅡＡ			2
国語学特殊講義・演習ⅡＢ			2
国語学特殊講義・演習ⅢＡ			2
国語学特殊講義・演習ⅢＢ			2
漢文学特殊講義・演習ＩＡ			2
漢文学特殊講義・演習ＩＢ			2
漢文学特殊講義・演習ⅡＡ			2
漢文学特殊講義・演習ⅡＢ			2
(他) COMPARATIVE LITERATURE 1			2
(他) COMPARATIVE LITERATURE 2			2

３．履修上の注意

1）国文学専攻に所属する学生は,「大学院国文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。

2）「大学院国文学専攻院生の指導について」に従って，各自専任教員一名を指導教員，一名を副指導教員として定め，その指導のもとに所定の科目を履修し，かつ論文を作成すること。

3）毎年度４月に専攻の定める「研究計画書」を，２月に「研究報告書」を提出すること。

4）博士後期課程科目「特殊研究」を履修登録して受講することができるが，修了要件の単位としては認定されない。

5）修士論文提出予定者は専攻の定める「提出予定書」及び「題目届」を提出すること。

6）「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお,「研究指導」については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHJL7010	春	古典文学特殊講義・演習ＩＡ	JLT501-24j00	2	瀬間正之		
MHJL7030	春	古典文学特殊講義・演習ⅡＡ	JLT503-24j00	2	本廣陽子		後期課程「古典文学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7050	春	古典文学特殊講義・演習ⅢＡ	JLT505-24j00	2	西澤美仁		後期課程「古典文学特殊研究ⅢA」と合併
MHJL7070	春	古典文学特殊講義・演習ⅣＡ	JLT507-24j00	2	*髙木元		後期課程「古典文学特殊研究ⅣA」と合併
MHJL7090	春	近代文学特殊講義・演習ＩＡ	JLT509-24j00	2	(他)小林幸夫		後期課程「近代文学特殊研究ＩA」と合併
MHJL7110	春	近代文学特殊講義・演習ⅡＡ	JLT511-24j00	2	木村洋		後期課程「近代文学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7130	春	国語学特殊講義・演習ＩＡ	JAL501-24j00	2	豊島正之		
MHJL7150	春	国語学特殊講義・演習ⅡＡ	JAL503-24j00	2	服部隆		後期課程「国語学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7170	春	国語学特殊講義・演習ⅢＡ	JAL505-24j00	2	*坂本清恵		後期課程「国語学特殊研究ⅢA」と合併
MHJL7190	春	漢文学特殊講義・演習ＩＡ	CLT501-24j00	2	長尾直茂		
MHJL7210	春	漢文学特殊講義・演習ⅡＡ	CLT503-24j00	2	福井辰彦		後期課程「漢文学特殊研究ⅡA」と合併
MZJS5180	春	COMPARATIVE LITERATURE1	JST608-65e00	2	(他)河野至恩	○	(他) グローバル社会専攻
MHJL7020	秋	古典文学特殊講義・演習ＩＢ	JLT502-24j00	2	瀬間正之		
MHJL7040	秋	古典文学特殊講義・演習ⅡＢ	JLT504-24j00	2	本廣陽子		後期課程「古典文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7060	秋	古典文学特殊講義・演習ⅢＢ	JLT506-24j00	2	西澤美仁		後期課程「古典文学特殊研究ⅢB」と合併
MHJL7080	秋	古典文学特殊講義・演習ⅣＢ	JLT508-24j00	2	*髙木元		後期課程「古典文学特殊研究ⅣB」と合併
MHJL7100	秋	近代文学特殊講義・演習ＩＢ	JLT510-24j00	2	(他)小林幸夫		後期課程「近代文学特殊研究ＩB」と合併
MHJL7120	秋	近代文学特殊講義・演習ⅡＢ	JLT512-24j00	2	木村洋		後期課程「近代文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7140	秋	国語学特殊講義・演習ＩＢ	JAL502-24j00	2	豊島正之		
MHJL7160	秋	国語学特殊講義・演習ⅡＢ	JAL504-24j00	2	服部隆		後期課程「国語学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7180	秋	国語学特殊講義・演習ⅢＢ	JAL506-24j00	2	未定		後期課程「国語学特殊研究ⅢB」と合併
MHJL7200	秋	漢文学特殊講義・演習ＩＢ	CLT502-24j00	2	長尾直茂		
MHJL7220	秋	漢文学特殊講義・演習ⅡＢ	CLT504-24j00	2	福井辰彦		後期課程「漢文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL9240	秋	修士論文	HUM699-24j00	0	国文学専攻各指導教員		M2対象
MZJS5190	休講	COMPARATIVE LITERATURE2	JST609-65e00	2		○	(他) グローバル社会専攻

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HUM599-24j00	西澤美仁	
	長尾直茂	
	本廣陽子	
	瀬間正之	
	服部隆	
	豊島正之	
	福井辰彦	
	木村洋	

国文学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣選択科目	12		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【17 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【15・16 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
‣選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）　明確な問題意識に基づき，統一されたテーマを有し，統一された形式で書き下ろされたもの。刊行された書物，抜刷の集合は認めない。
2）　先行研究を的確に踏まえた上で，出典記載・引用が適切になされていること。
3）　独創的知見を有する研究であること。
4）　論理展開に整合性を有し，言語表現が適切であること。
5）　全国レベルの学会で発表された研究論文を，2 本以上含んでいること。
6）　四百字詰め原稿用紙 300 枚以上に相当する分量を有すること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
古典文学特殊研究ⅠA			2
古典文学特殊研究ⅠB			2
古典文学特殊研究ⅡA			2
古典文学特殊研究ⅡB			2
古典文学特殊研究ⅢA			2
古典文学特殊研究ⅢB			2
古典文学特殊研究ⅣA			2
古典文学特殊研究ⅣB			2
近代文学特殊研究ⅠA			2
近代文学特殊研究ⅠB			2
近代文学特殊研究ⅡA			2
近代文学特殊研究ⅡB			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
国語学特殊研究ⅠA			2
国語学特殊研究ⅠB			2
国語学特殊研究ⅡA			2
国語学特殊研究ⅡB			2
国語学特殊研究ⅢA			2
国語学特殊研究ⅢB			2
漢文学特殊研究ⅠA			2
漢文学特殊研究ⅠB			2
漢文学特殊研究ⅡA			2
漢文学特殊研究ⅡB			2

３．履修上の注意

1）国文学専攻に所属する学生は,「大学院国文学専攻履修上の注意」に従って年間 4 単位ずつを目安に履修すること。

2）「大学院国文学専攻院生の指導について」に従って，各自専任教員一名を指導教員，一名を副指導教員として定め，その指導のもとに所定の科目を履修し，かつ論文を作成すること。

3）毎年度 4 月に専攻の定める「研究計画書」を，2 月に「研究報告書」を提出すること。

4）指導教員及び副指導教員の科目を，毎年必ず受講することが望ましい。

5）「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

6）博士論文審査願提出以前に 2 本以上の研究論文を学術誌に発表すること。

7）博士論文を作成し，提出したい者は,「国文学専攻博士学位授与に関する内規」に従って，所定の手続きをとること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHJL7010	春	古典文学特殊研究ＩＡ	JLT801-24j00	2	瀬間正之		
DHJL7030	春	古典文学特殊研究ⅡＡ	JLT803-24j00	2	本廣陽子		前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅡＡ」と合併
DHJL7220	春	古典文学特殊研究ⅢＡ	JLT809-24j00	2	西澤美仁		前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅢＡ」と合併
DHJL7060	春	古典文学特殊研究ⅣＡ	JLT805-24j00	2	＊髙木元		前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅣＡ」と合併
DHJL7240	春	近代文学特殊研究ＩＡ	JLT811-24j00	2	(他)小林幸夫		前期課程「近代文学特殊講義・演習ＩＡ」と合併
DHJL7090	春	近代文学特殊研究ⅡＡ	JLT807-24j00	2	木村洋		前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅡＡ」と合併
DHJL7210	春	国語学特殊研究ＩＡ	JAL805-24j00	2	豊島正之		
DHJL7120	春	国語学特殊研究ⅡＡ	CLT801-24j00	2	服部隆		前期課程「国語学特殊講義・演習ⅡＡ」と合併
DHJL7140	春	国語学特殊研究ⅢＡ	JAL803-24j00	2	＊坂本清恵		前期課程「国語学特殊講義・演習ⅢＡ」と合併
DHJL7260	春	漢文学特殊研究ＩＡ	CLT803-24j00	2	長尾直茂		
DHJL7170	春	漢文学特殊研究ⅡＡ	CLT801-24j00	2	福井辰彦		前期課程「漢文学特殊講義・演習ⅡＡ」と合併
DHJL7020	秋	古典文学特殊研究ＩＢ	JLT802-24j00	2	瀬間正之		
DHJL7040	秋	古典文学特殊研究ⅡＢ	JLT804-24j00	2	本廣陽子		前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅡＢ」と合併
DHJL7230	秋	古典文学特殊研究ⅢＢ	JLT810-24j00	2	西澤美仁		前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅢB」と合併
DHJL7070	秋	古典文学特殊研究ⅣＢ	JLT806-24j00	2	＊髙木元		前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅣＢ」と合併
DHJL7250	秋	近代文学特殊研究ＩＢ	JLT812-24j00	2	(他)小林幸夫		前期課程「近代文学特殊講義・演習ＩＢ」と合併
DHJL7100	秋	近代文学特殊研究ⅡＢ	JLT808-24j00	2	木村洋		前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅡＢ」と合併
DHJL7200	秋	国語学特殊研究ＩＢ	JAL806-24j00	2	豊島正之		
DHJL7130	秋	国語学特殊研究ⅡＢ	JAL802-24j00	2	服部隆		前期課程「国語学特殊講義・演習ⅡB」と合併
DHJL7150	秋	国語学特殊研究ⅢＢ	JAL804-24j00	2	未定		前期課程「国語学特殊講義・演習ⅢＢ」と合併
DHJL7270	秋	漢文学特殊研究ＩＢ	CLT804-24j00	2	長尾直茂		
DHJL7180	秋	漢文学特殊研究ⅡＢ	CLT802-24j00	2	福井辰彦		前期課程「漢文学特殊講義・演習ⅡＢ」と合併

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HUM899-24j00	西澤美仁	
	長尾直茂	
	瀬間正之	
	服部隆	
	豊島正之	

英米文学専攻　博士前期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降 Aコース（後期課程進学）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗文学研究法Ⅰ	2		
┗文学研究法Ⅱ	2		
‣選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【17年次生以降 Bコース（前期課程完結）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30 または 38		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗文学研究法Ⅰ	2		
┗文学研究法Ⅱ	2		
‣選択科目	26 または 34		修士論文を執筆する者は26単位 修士論文を執筆しない者は34単位を習得し，リサーチ・ペーパーを提出すること
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文 またはリサーチ・ペーパー			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文またはリサーチ・ペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文，リサーチ・ペーパーの登録をすること）

【15～16年次生　Aコース（後期課程進学）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗文学研究法Ⅰ	2		
┗文学研究法Ⅱ	2		
‣選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【15～16年次生　Bコース（前期課程完結）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30 または 38		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗文学研究法Ⅰ	2		
┗文学研究法Ⅱ	2		
‣選択科目	26 または 34		修士論文を執筆する者は26単位 修士論文を執筆しない者は34単位を習得し，リサーチ・ペーパーを提出すること
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文 またはリサーチ・ペーパー			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文またはリサーチ・ペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文，リサーチ・ペーパーの登録をすること）

【修士論文審査基準】

1）　テーマ設定が明確であること。
2）　研究対象分野における過去の研究史を理解し，これを踏まえたうえで発見された研究課題であること。
3）　独自の知見を提示する研究であること。
4）　論文構成が的確で，論理展開が明確であること。
5）　言語表現が的確であり，形式と体裁に関する規定が守られていること。

【リサーチ・ペーパー審査基準】

1）　テーマ設定が明確であること。
2）　研究対象分野における過去の研究史について一定の理解を示していること。
3）　構成が的確で，論理展開が明確であること。
4）　言語表現が的確であり，形式と体裁に関する規定が守られていること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
文学研究法Ⅰ　＊	2		
文学研究法Ⅱ　＊	2		
英文学特講・演習A 1			2
英文学特講・演習A 2			2
英文学特講・演習B 1			2
英文学特講・演習B 2			2
英文学特講・演習C 1			2
英文学特講・演習C 2			2
英文学特講・演習D 1			2
英文学特講・演習D 2			2
英文学特講・演習E 1（2017年度まで開講）			2
英文学特講・演習E 2（2017年度まで開講）			2
イギリス文化研究特講・演習 1			2
イギリス文化研究特講・演習 2			2

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
アメリカ文学特講・演習A 1			2
アメリカ文学特講・演習A 2			2
アメリカ文学特講・演習B 1			2
アメリカ文学特講・演習B 2			2
アメリカ文学特講・演習C 1			2
アメリカ文学特講・演習C 2			2
英語学英語教育特講・演習A 1			2
英語学英語教育特講・演習A 2			2
英語学英語教育特講・演習B 1			2
英語学英語教育特講・演習B 2			2
文化研究特講・演習A 1（2017年度まで開講）			2
文化研究特講・演習A 2（2017年度まで開講）			2
アメリカ文化研究特講・演習 1			2
アメリカ文化研究特講・演習 2			2

＊　M 1 対象

３．履修上の注意

1）英米文学専攻に所属する学生は，「大学院英米文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
2）「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。
3）年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」の説明を行うので，必ず出席のこと。
4）毎年度 4 月に専攻の定める「研究計画書」を提出すること。
5）「文学研究法Ⅰ（必修）」，「文学研究法Ⅱ（必修）」を一年次に履修すること。なお，2019 年度開講の「文学研究法Ⅱ」に限っては，中学・高校専修免許（英語）教科に関する科目に含まれないので，注意すること。
6）B コース（前期課程完結）の学生の必要単位数は，修士論文を執筆する場合，30 単位。修士論文を執筆しない場合は 38 単位を修得のうえ，リサーチ・ペーパーを提出する。詳細は専攻の規定に従うこと。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHEL1003	春	文学研究法Ⅱ	ELT502-25e00	2	LOCKE Brian	○	2019年度開講科目は教職課程の単位対象外
MHEL7201	春	英文学特講・演習A１	ELT601-25j00	2	西　能　史		
MHEL7211	春	英文学特講・演習B１	ELT603-25j00	2	永　冨　友　海		
MHEL7231	春	英文学特講・演習D１	ELT607-25j00	2	舟　川　一　彦		
MHEL7311	春	イギリス文化研究特講・演習１	CUL601-25j00	2	(他)CHEETHAM Dominic	○	
MHEL7271	春	アメリカ文学特講・演習C１	ELT613-25j00	2	飯　野　友　幸		
MHEL7321	春	アメリカ文化研究特講・演習 １	CUL603-25j00	2	山　口　和　彦		
MHEL7281	春	英語学英語教育特講・演習A１	LGE601-25e00	2	池　田　真	○	
MHEL7291	春	英語学英語教育特講・演習B１	LGE603-25j00	2	*織　田　哲　司		
MHEL1001	秋	文学研究法Ⅰ	ELT501-25j00	2	松　本　朗		
MHEL7252	秋	アメリカ文学特講・演習A２	ELT610-25j00	2	増　井　志津代		
MHEL7272	秋	アメリカ文学特講・演習C２	ELT614-25j00	2	飯　野　友　幸		
MHEL7282	秋	英語学英語教育特講・演習A２	LGE602-25e00	2	池　田　真	○	
MHEL7292	秋	英語学英語教育特講・演習B２	LGE604-25j00	2	*織　田　哲　司		
MHEL7312	秋	イギリス文化研究特講・演習２	CUL602-25e00	2	*新　井　潤　美		
MHEL9120	秋	修士論文	ELT699-25j00	0	英米文学専攻 各指導教員		M2対象
MHEL9130	秋	リサーチ・ペーパー	ELT689-25j00	0	英米文学専攻 各指導教員		M2対象 (Bコース選択者のみ)
MHEL1002	休講	文学研究法Ⅱ	ELT502-25e00	2		○	
MHEL7202	休講	英文学特講・演習A２	ELT602-25j00	2			
MHEL7212	休講	英文学特講・演習B２	ELT604-25j00	2			
MHEL7221	休講	英文学特講・演習C１	ELT605-25j00	2			
MHEL7222	休講	英文学特講・演習C２	ELT606-25j00	2			
MHEL7232	休講	英文学特講・演習D２	ELT608-25j00	2			
MHEL7251	休講	アメリカ文学特講・演習A１	ELT609-25j00	2			
MHEL7261	休講	アメリカ文学特講・演習B１	ELT611-25j00	2			
MHEL7262	休講	アメリカ文学特講・演習B２	ELT612-25j00	2			
MHEL7322	休講	アメリカ文化研究特講・演習2	CUL604-25j00	2			

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ELT599-25j00	舟　川　一　彦	
	飯　野　友　幸	
	大　塚　寿　郎	
	増　井　志津代	休講（春）
	永　冨　友　海	
	池　田　真	
	松　本　朗	
	西　能　史	
	山　口　和　彦	

英米文学専攻　博士後期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗リーディング・コース	12		３年間で合計12単位
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士予備論文，博士論文の審査および試験に合格すること

【11～15 年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗リーディング・コース	12		３年間で合計12単位
‣選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，修了論文あるいは博士予備論文，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

１）　テーマ設定が明確であること。
２）　研究対象分野における過去の研究史を理解し，これを踏まえた上で発見された研究課題であること。
３）　顕著な独創性を持った知見を提示し，これにより学界に何らかの貢献をなすものであること。
４）　論文構成が的確で，論理展開が明確であること。
５）　言語表現が的確であり，形式と体裁に関する規定が守られていること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
リーディング・コース1 A	2		
リーディング・コース1 B	2		
リーディング・コース2 A	2		
リーディング・コース2 B	2		
リーディング・コース3 A	2		
リーディング・コース3 B	2		
リーディング・コース4 A	2		
リーディング・コース4 B	2		
リーディング・コース5 A	2		
リーディング・コース5 B	2		
リーディング・コース6 A	2		
リーディング・コース6 B	2		
リーディング・コース7 A	2		
リーディング・コース7 B	2		
リーディング・コース8 A	2		
リーディング・コース8 B	2		
リーディング・コース9 A	2		
リーディング・コース9 B	2		

注）2015 年度より通年から学期開講に分割された。

３．履修上の注意

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」の説明を行うので，必ず出席すること。また専攻の定める「研究計画書」を提出すること。

後期課程の学生は，3 年間に，指導教員を含めて 3 名の教員によるリーディング・コースを 1 名につき 2 学期分ずつ履修することにより 12 単位を与えられる。コースは英文学，アメリカ文学，英語学の 3 分野からできるだけ万遍なく選択するように心がけるべきである。すべてが同じ分野のものであってはいけない。また，同じ教員のコースを，2 学期を超えて履修することはできない。将来,課程博士論文を提出して学位を得ようとする者は，リーディング・コースの履修に加えて，自分の専門分野における 3 年間の研究成果を修了論文あるいは博士予備論文として提出し，専攻所属教員による審査を受ける。修了論文あるいは博士予備論文については，英米文学専攻内規に詳細を定める。

なお,「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHEL3411	春	リーディング・コース1 A	ELT801-25j00	2	松本　朗		
DHEL3421	春	リーディング・コース2 A	ELT803-25j00	2	舟川一彦		
DHEL3431	春	リーディング・コース3 A	ELT805-25j00	2	飯野友幸		
DHEL3441	春	リーディング・コース4 A	ELT807-25j00	2	大塚寿郎		
DHEL3461	春	リーディング・コース6 A	ELT811-25j00	2	永富友海		
DHEL3471	春	リーディング・コース7 A	ELT813-25j00	2	池田　真		
DHEL3481	春	リーディング・コース8 A	ELT815-25j00	2	山口和彦		
DHEL3491	春	リーディング・コース9 A	ELT817-25j00	2	西　能史		
DHEL3412	秋	リーディング・コース1 B	ELT802-25j00	2	松本　朗		
DHEL3422	秋	リーディング・コース2 B	ELT804-25j00	2	舟川一彦		
DHEL3432	秋	リーディング・コース3 B	ELT806-25j00	2	飯野友幸		
DHEL3442	秋	リーディング・コース4 B	ELT808-25j00	2	大塚寿郎		
DHEL3452	秋	リーディング・コース5 B	ELT810-25j00	2	増井志津代		
DHEL3462	秋	リーディング・コース6 B	ELT812-25j00	2	永富友海		
DHEL3472	秋	リーディング・コース7 B	ELT814-25j00	2	池田　真		
DHEL3482	秋	リーディング・コース8 B	ELT816-25j00	2	山口和彦		
DHEL3492	秋	リーディング・コース9 B	ELT818-25j00	2	西　能史		
DHEL3451	休講	リーディング・コース5 A	ELT809-25j00	2			

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ELT899-25j00	舟川一彦	
	飯野友幸	
	大塚寿郎	
	増井志津代	休講（春）
	永富友海	
	池田　真	
	松本　朗	
	西　能史	
	山口和彦	

ドイツ文学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣選択科目	30		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16 年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣選択科目	30		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

自立した研究者に必要な資質と能力を示す論文であること。
1）　テーマ設定が的確であること。
2）　関連する先行研究を踏まえ，論文の位置づけが明確にされていること。
3）　論文の構成が適切であり，論理展開が明快であること。
4）　伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
5）　引用などに関する規定が守られていること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜文学研究系列＞			
ドイツ文学研究Ⅰa			2
ドイツ文学研究Ⅰb			2
ドイツ文学研究Ⅱa			2
ドイツ文学研究Ⅱb			2
ドイツ文学研究Ⅲa			2
ドイツ文学研究Ⅲb			2
ドイツ文学研究Ⅳa			2
ドイツ文学研究Ⅳb			2
ドイツ文学研究Ⅴa			2
ドイツ文学研究Ⅴb			2
ドイツ文学研究Ⅵa			2
ドイツ文学研究Ⅵb			2

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜文化研究系列＞			
ドイツ文化研究Ⅰa			2
ドイツ文化研究Ⅰb			2
ドイツ文化研究Ⅱa			2
ドイツ文化研究Ⅱb			2
ドイツ文化研究Ⅲa			2
ドイツ文化研究Ⅲb			2
＜言語研究系列＞			
（他）ドイツ語統語論１　※注１			2
（他）ドイツ語統語論２　※注１			2
（他）ドイツ語文体論１　※注１			2
（他）ドイツ語文体論２　※注１			2
（他）ドイツ語音声学・音韻論１　※注１,注２			2
（他）ドイツ語音声学・音韻論２　※注１,注２			2
（他）ドイツ語教育１　※注１			2
（他）ドイツ語教育２　※注１			2
（他）ドイツ語意味論１　※注１			2
（他）ドイツ語意味論２　※注１			2

※注１　言語学専攻開講科目。詳細はp. 232～p. 233参照。
※注２　2018年度に「ドイツ語音韻論１」「ドイツ語音韻論２」から科目名変更

３．履修上の注意

前期課程の学生は，指導教員の指導のもとに修士論文を作成すること。

また，「研究指導」を在学中毎学期受けること。研究指導の具体的な内容については，学年始めのガイダンスにおいて資料を配付の上，説明を行う。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHGL7310	春	ドイツ文学研究Ⅰa	GLT501-26j00	2	中　井　真　之		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅰa」と合併
MHGL7320	秋	ドイツ文学研究Ⅰb	GLT601-26j00	2	中　井　真　之		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅰb」と合併
MHGL7330	春	ドイツ文学研究Ⅱa	GLT502-26g00	2	ZEMSAUER Christian	○	博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅱa」と合併
MHGL7340	秋	ドイツ文学研究Ⅱb	GLT602-26g00	2	ZEMSAUER Christian	○	博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅱb」と合併
MHGL7350	春	ドイツ文学研究Ⅲa	GLT503-26j00	2	佐　藤　朋　之		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅲa」と合併
MHGL7360	秋	ドイツ文学研究Ⅲb	GLT603-26j00	2	佐　藤　朋　之		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅲb」と合併
MHGL7370	春	ドイツ文学研究Ⅳa	GLT504-26j00	2	＊初　見　　基		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅳa」と合併
MHGL7380	秋	ドイツ文学研究Ⅳb	GLT604-26g00	2	＊PEKAR Thomas	○	博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅳb」と合併
MHGL7390	春	ドイツ文学研究Ⅴa	GLT505-26j00	2	髙　橋　明　彦		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅴa」と合併
MHGL7400	秋	ドイツ文学研究Ⅴb	GLT605-26j00	2	＊北　島　玲　子		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅴb」と合併
MHGL7410	春	ドイツ文学研究Ⅵa	GLT506-26j00	2	中　村　朝　子		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅵa」と合併
MHGL7420	秋	ドイツ文学研究Ⅵb	GLT606-26j00	2	中　村　朝　子		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅵb」と合併
MHGL7610	休講	ドイツ文化研究Ⅰa	GLT507-26j00	2			
MHGL7620	休講	ドイツ文化研究Ⅰb	GLT607-26j00	2			
MHGL7630	春	ドイツ文化研究Ⅱa	GLT508-26g00	2	DUPPEL Mechthild	○	博士後期課程「ドイツ文化特殊研究Ⅱa」と合併
MHGL7640	休講	ドイツ文化研究Ⅱb	GLT608-26g00	2			
MHGL7650	休講	ドイツ文化研究Ⅲa	GLT509-26j00	2			
MHGL7660	秋	ドイツ文化研究Ⅲb	GLT609-26j00	2	＊光　野　正　幸		博士後期課程「ドイツ文化特殊研究Ⅲb」と合併
MHGL9280	秋	修士論文	GLT699-26m00	0	ドイツ文学専攻 各指導教員		M2対象

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
GLT599-26m00	髙　橋　明　彦	
	中　村　朝　子	
	佐　藤　朋　之	
	DUPPEL Mechthild	
	中　井　真　之	
	ZEMSAUER Chiristian	

ドイツ文学専攻　博士後期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	14		
授業科目			
‣選択科目	14		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【13～16 年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	14		
授業科目			
‣選択科目	14		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

自立した研究者として，専門分野において独自な貢献を行うことができる能力を示す論文であること。
1）　テーマ設定が的確であり，専門分野に新たな知見をもたらすものであること。
2）　関連する先行研究を踏まえ，論文の位置づけが明確にされていること。
3）　論文の構成が適切であり，論理展開が明快であること。
4）　伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
5）　引用などに関する規定が守られていること。
なお，博士論文を提出するための前提条件等に関しては，ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規を参照のこと。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜文学研究系列＞			
ドイツ文学特殊研究Ⅰa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅰb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅱa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅱb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅲa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅲb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅳa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅳb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅴa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅴb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅵa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅵb			2
＜文化研究系列＞			
ドイツ文化特殊研究Ⅰa			2
ドイツ文化特殊研究Ⅰb			2
ドイツ文化特殊研究Ⅱa			2
ドイツ文化特殊研究Ⅱb			2
ドイツ文化特殊研究Ⅲa			2
ドイツ文化特殊研究Ⅲb			2

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜言語研究系列＞			
（他）ドイツ語統語論１　※注１			2
（他）ドイツ語統語論２　※注１			2
（他）ドイツ語文体論１　※注１			2
（他）ドイツ語文体論２　※注１			2
（他）ドイツ語音声学・音韻論１　※注１,注２			2
（他）ドイツ語音声学・音韻論２　※注１,注２			2
（他）ドイツ語教育１　※注１			2
（他）ドイツ語教育２　※注１			2
（他）ドイツ語意味論１　※注１			2
（他）ドイツ語意味論２　※注１			2

※注１　言語学専攻開講科目。詳細はp. 232～p. 233参照。
※注２　2018年度に「ドイツ語音韻論１」「ドイツ語音韻論２」から科目名変更

３．履修上の注意

１）後期課程の学生は，指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。研究指導の具体的な内容については，学年始めのガイダンスにおいて資料を配付の上，説明を行う。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。
２）指導教員開講科目は必ず履修すること。
３）指導教員以外の開講科目より４科目８単位は履修すること。
４）博士論文を作成し，提出したい者は，「ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規」に従って所定の手続きをとること。
５）博士論文を提出せずに満期退学する場合も，在籍中の研究成果を論文，もしくは論文に準ずる形で提出しなければならない。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHGL7500	春	ドイツ文学特殊研究Ⅰa	GLT801-26j00	2	中　井　真　之		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅰa」と合併
DHGL7501	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅰb	GLT802-26j00	2	中　井　真　之		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅰb」と合併
DHGL7502	春	ドイツ文学特殊研究Ⅱa	GLT803-26g00	2	ZEMSAUER Chiristian	○	博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅱa」と合併
DHGL7503	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅱb	GLT804-26g00	2	ZEMSAUER Chiristian	○	博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅱb」と合併
DHGL7504	春	ドイツ文学特殊研究Ⅲa	GLT805-26j00	2	佐　藤　朋　之		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅲa」と合併
DHGL7505	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅲb	GLT806-26j00	2	佐　藤　朋　之		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅲb」と合併
DHGL7506	春	ドイツ文学特殊研究Ⅳa	GLT807-26j00	2	＊初　見　　基		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅳa」と合併
DHGL7507	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅳb	GLT808-26g00	2	＊PEKAR Thomas	○	博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅳb」と合併
DHGL7508	春	ドイツ文学特殊研究Ⅴa	GLT809-26j00	2	髙　橋　明　彦		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅴa」と合併
DHGL7509	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅴb	GLT810-26j00	2	＊北　島　玲　子		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅴb」と合併
DHGL7510	春	ドイツ文学特殊研究Ⅵa	GLT811-26j00	2	中　村　朝　子		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅵa」と合併
DHGL7511	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅵb	GLT812-26j00	2	中　村　朝　子		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅵb」と合併
DHGL7700	休講	ドイツ文化特殊研究Ⅰa	GLT813-26j00	2			
DHGL7701	休講	ドイツ文化特殊研究Ⅰb	GLT814-26j00	2			
DHGL7702	春	ドイツ文化特殊研究Ⅱa	GLT815-26g00	2	DUPPEL Mechthild	○	博士前期課程「ドイツ文化研究Ⅱa」と合併
DHGL7703	休講	ドイツ文化特殊研究Ⅱb	GLT816-26g00	2			
DHGL7704	休講	ドイツ文化特殊研究Ⅲa	GLT817-26j00	2			
DHGL7705	秋	ドイツ文化特殊研究Ⅲb	GLT818-26j00	2	＊光　野　正　幸		博士前期課程「ドイツ文化研究Ⅲb」と合併

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
GLT899-26m00	髙　橋　明　彦	
	中　村　朝　子	
	佐　藤　朋　之	
	DUPPEL Mechthild	
	中　井　真　之	
	ZEMSAUER Chiristian	

フランス文学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣選択科目	30		
┗自専攻科目			
┗Ａ群	24		
┗Ｂ群			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣選択科目	30		
┗自専攻科目			
┗Ａ群	24		
┗Ｂ群			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

１）　研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
２）　研究テーマが明確で，問題設定が適切なものであること。
３）　先行研究が十分に参照され，引用が適切に明記されていること。
４）　論文の構成が的確になされ，論理の展開が明晰であること。
５）　論文の言語表現が正しく，目次と本文に整合性があること。
　　（論文のあり方全般や規格については，ガイダンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。）

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
＜Ａ群＞			
19世紀小説研究Ⅰ			2
19世紀小説研究Ⅱ			2
モデルニテ研究Ⅰ			2
モデルニテ研究Ⅱ			2
20世紀文学研究Ⅰ			2
20世紀文学研究Ⅱ			2
古典主義文学研究Ⅰ			2
古典主義文学研究Ⅱ			2
キリスト教文学研究Ⅰ			2
キリスト教文学研究Ⅱ			2
自伝文学研究Ⅰ			2
自伝文学研究Ⅱ			2
アンシャン・レジーム文学研究Ⅰ			2
アンシャン・レジーム文学研究Ⅱ			2
専門文献研究ＡⅠ			2
専門文献研究ＡⅡ			2
専門文献研究ＢⅠ			2
専門文献研究ＢⅡ			2

科　目　名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数 必修	選必	選択
専門文献研究ＣⅠ			2
専門文献研究ＣⅡ			2
専門文献研究ＤⅠ			2
専門文献研究ＤⅡ			2
（他）翻訳文化研究ⅡＡ〔17年次生以前〕 ※注1			2
（他）翻訳文化研究ⅡＢ〔17年次生以前〕 ※注1			2
＜Ｂ群＞			
フランス語小論文作成法			2
（他）フランス語文体論1　※注2			2
（他）フランス語文体論2　※注2			2
（他）フランス語文法論1　※注2			2
（他）フランス語文法論2　※注2			2
（他）フランス語通訳論1　※注2			2
（他）フランス語通訳論2　※注2			2

※注1：文化交渉学専攻開講科目。詳細はp. 117参照。
18年次生より借り入れを中止する。
※注2：言語学専攻開講科目。詳細はp. 232～p. 233参照。

３．履修上の注意

1）指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

2）A 群より 24 単位履修すること。

3）A 群・B 群いずれの科目も，繰り返し履修することが可能である。

4）委託聴講科目の単位はＡ群科目として認定する。

5）4 月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHFL7090	春	古典主義文学研究Ⅰ	FLT501-27m00	2	小　倉　博　孝		
MHFL7160	春	アンシャン・レジーム文学研究Ⅱ	FLT506-27f00	2	DESPREZ Michaël	○	
MHFL7320	春	19世紀小説研究Ⅰ	FLT507-27m00	2	(他)博　多　かおる		
MHFL7340	春	モデルニテ研究Ⅰ	FLT509-27m00	2	吉　村　和　明		
MHFL7410	春	専門文献研究ＢⅡ	FLT516-27m00	2	*月　村　辰　雄		
MHFL7420	春	専門文献研究ＣⅠ	FLT517-27m00	2	*澤　田　　肇		
MHFL7440	春	専門文献研究ＤⅠ	FLT519-27m00	2	*大　森　晋　輔		
MHFL7480	春	キリスト教文学研究Ⅰ	FLT522-27m00	2	福　田　耕　介		
MHFL7100	秋	古典主義文学研究Ⅱ	FLT502-27m00	2	小　倉　博　孝		
MHFL7120	秋	自伝文学研究Ⅱ	FLT504-27f00	2	PEYRON Bruno	○	
MHFL7360	秋	20世紀文学研究Ⅰ	FLT511-27m00	2	永　井　敦　子		
MHFL7390	秋	専門文献研究ＡⅡ	FLT514-27m00	2	*赤　羽　研　三		
MHFL7400	秋	専門文献研究ＢⅠ	FLT515-27m00	2	*小　黒　昌　文		
MHFL7490	秋	キリスト教文学研究Ⅱ	FLT523-27m00	2	福　田　耕　介		
MHFL9300	秋	修士論文	FLT699-27m00	0	フランス文学専攻各指導教員		M2対象
MHFL7350	休講	モデルニテ研究Ⅱ	FLT510-27m00	2			
MHFL7110	休講	自伝文学研究Ⅰ	FLT503-27f00	2		○	
MHFL7150	休講	アンシャン・レジーム文学研究Ⅰ	FLT505-27f00	2		○	
MHFL7330	休講	19世紀小説研究Ⅱ	FLT508-27m00	2			
MHFL7370	休講	20世紀文学研究Ⅱ	FLT512-27m00	2			
MHFL7380	休講	専門文献研究ＡⅠ	FLT513-27m00	2			
MHFL7430	休講	専門文献研究ＣⅡ	FLT518-27m00	2			
MHFL7450	休講	専門文献研究ＤⅡ	FLT520-27m00	2			
MHFL7460	休講	フランス語小論文作成法	FLT521-27f00	2		○	

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
FLT599-27m00	吉　村　和　明	
	永　井　敦　子	
	小　倉　博　孝	
	福　田　耕　介	
	DESPREZ Michaël	
	PEYRON Bruno	

フランス文学専攻　博士後期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
‣選択科目	6		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【12～14年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）　研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
2）　研究テーマが明確で，問題設定が適切なものであること。
3）　先行研究が十分に参照され，引用が適切に明記されていること。
4）　論文の構成が的確になされ，論理の展開が明晰であること。
5）　論文の言語表現が正しく，目次と本文に整合性があること。
6）　研究分野における先端的成果とみなされるものであること。
　　（論文のあり方全般や規格については，ガイダンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。）

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
19世紀小説特殊研究Ⅰ			2
19世紀小説特殊研究Ⅱ			2
モデルニテ特殊研究Ⅰ			2
モデルニテ特殊研究Ⅱ			2
20世紀文学特殊研究Ⅰ			2
20世紀文学特殊研究Ⅱ			2
古典主義文学特殊研究Ⅰ			2

科　目　名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
古典主義文学特殊研究Ⅱ			2
キリスト教文学特殊研究Ⅰ			2
キリスト教文学特殊研究Ⅱ			2
自伝文学特殊研究Ⅰ			2
自伝文学特殊研究Ⅱ			2
アンシャン・レジーム文学特殊研究Ⅰ			2
アンシャン・レジーム文学特殊研究Ⅱ			2

３．履修上の注意

１）17 年次生以降の学生は，後期課程在籍中に開講科目の中から最低 6 単位を修得すること。

２）「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

３）4 月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHFL7010	春	古典主義文学特殊研究Ⅰ	FLT801-27m00	2	小　倉　博　孝		
DHFL7060	春	アンシャン・レジーム文学特殊研究Ⅱ	FLT806-27f00	2	DESPREZ Michaël	○	
DHFL7070	春	19世紀小説特殊研究Ⅰ	FLT807-27m00	2	(他)博　多　かおる		
DHFL7090	春	モデルニテ特殊研究Ⅰ	FLT809-27m00	2	吉　村　和　明		
DHFL7130	春	キリスト教文学特殊研究Ⅰ	FLT813-27m00	2	福　田　耕　介		
DHFL7020	秋	古典主義文学特殊研究Ⅱ	FLT802-27m00	2	小　倉　博　孝		
DHFL7040	秋	自伝文学特殊研究Ⅱ	FLT804-27f00	2	PEYRON Bruno	○	
DHFL7110	秋	20世紀文学特殊研究Ⅰ	FLT811-27m00	2	永　井　敦　子		
DHFL7140	秋	キリスト教文学特殊研究Ⅱ	FLT814-27m00	2	福　田　耕　介		
DHFL7030	休講	自伝文学特殊研究Ⅰ	FLT803-27f00	2		○	
DHFL7050	休講	アンシャン・レジーム文学特殊研究Ⅰ	FLT805-27f00	2		○	
DHFL7080	休講	19世紀小説特殊研究Ⅱ	FLT808-27m00	2			
DHFL7100	休講	モデルニテ特殊研究Ⅱ	FLT810-27m00	2			
DHFL7120	休講	20世紀文学特殊研究Ⅱ	FLT812-27m00	2			

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
FLT899-27m00	吉　村　和　明	
	永　井　敦　子	
	小　倉　博　孝	
	福　田　耕　介	
	DESPREZ Michaël	
	PEYRON Bruno	

新聞学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	20		
┗コミュニケーション論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
┗ジャーナリズム史特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
┗マス・メディア論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
┗論文演習Ⅰa	2		
┗論文演習Ⅰb	2		
┗論文演習Ⅱa	2		
┗論文演習Ⅱb	2		
‣選択科目	10		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる（P.31参照）
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	20		
┗コミュニケーション論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
┗ジャーナリズム史特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
┗マス・メディア論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
┗論文演習Ⅰa	2		
┗論文演習Ⅰb	2		
┗論文演習Ⅱa	2		
┗論文演習Ⅱb	2		
‣選択科目	10		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる（P.31参照）
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1）　問題意識が明確で，テーマが十分に絞り込まれていること。
2）　先行研究が十分に参照され，引用が的確になされていること。
3）　研究目的に照らして，研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
4）　論文構成が的確で，論理展開に整合性・一貫性があること。
5）　論文の言語表現が的確で正しく，目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
6）　得られた知見にオリジナリティがあり，新聞学の研究に寄与するものであること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション論特講Ⅰ	2		
コミュニケーション論特講Ⅱ	2		
コミュニケーション論演習			2
ジャーナリズム史特講Ⅰ	2		
ジャーナリズム史特講Ⅱ	2		
ジャーナリズム史演習			2
マス・メディア論特講Ⅰ	2		
マス・メディア論特講Ⅱ	2		
マス・メディア論演習			2
新聞論特講Ⅰ			2
新聞論特講Ⅱ			2
放送論特講Ⅰ			2
放送論特講Ⅱ			2
広告論特講Ⅰ			2
広告論特講Ⅱ			2
広報論特講Ⅰ			2
広報論特講Ⅱ			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ			2
マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ			2
米州のマス・メディア論特講Ⅰ			2
米州のマス・メディア論特講Ⅱ			2
国際コミュニケーション論特講Ⅰ			2
国際コミュニケーション論特講Ⅱ			2
情報科学論特講Ⅰ			2
情報科学論特講Ⅱ			2
マス・コミュニケーション調査特講Ⅰ			2
マス・コミュニケーション調査特講Ⅱ			2
論文演習Ⅰa	2		
論文演習Ⅰb	2		
論文演習Ⅱa	2		
論文演習Ⅱb	2		

３．履修上の注意

1）指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

2）前期課程において修士論文を提出するに際しては，その概要書（A4 横書・40 字・35 行で 4 枚程度）も併せて提出すること。

3）必修及び選択科目「Ⅱ」の科目については，原則同一科目名の「Ⅰ」を履修していなければならない。

4．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHJN1000	春	コミュニケーション論特講Ⅰ	JRN520-28j00	2	渡　邊　久　哲		後期課程「コミュニケーション論特殊研究Ⅰa」と合併
MHJN1040	春	ジャーナリズム史特講Ⅰ	JRN522-28j00	2	鈴　木　雄　雅		後期課程「ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ」と合併
MHJN1070	春	マス・メディア論特講Ⅰ	JRN524-28j00	2	音　　好　宏		
MHJN1271	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	音　　好　宏		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1291	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	碓　井　広　義		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1301	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	渡　邊　久　哲		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1311	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	阿　部　る　り		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1321	休講	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2			M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1341	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	水　島　宏　明		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1351	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	国　枝　智　樹		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN2031	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	音　　好　宏		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2051	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	碓　井　広　義		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2061	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	渡　邊　久　哲		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2071	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	阿　部　る　り		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2081	休講	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2			M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2101	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	水　島　宏　明		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2111	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	国　枝　智　樹		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN7020	春	コミュニケーション論演習	JRN501-28e00	2	国　枝　智　樹	○	
MHJN7101	春	マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ	JRN526-28j00	2	＊濱　田　純　一		後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱa」と合併
MHJN7111	休講	米州のマス・メディア論特講Ⅰ	JRN514-28j00	2			
MHJN7150	休講	新聞論特講Ⅰ	JRN504-28j00	2			後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅰa」と合併
MHJN7170	春	放送論特講Ⅰ	JRN506-28j00	2	水　島　宏　明		
MHJN7190	春	国際コミュニケーション論特講Ⅰ	JRN508-28j00	2	阿　部　る　り		
MHJN7210	春	情報科学論特講Ⅰ	JRN510-28j00	2	音　　好　宏		
MHJN7230	春	マス・コミュニケーション調査特講Ⅰ	JRN512-28j00	2	渡　邊　久　哲		
MHJN7250	春	広報論特講Ⅰ	JRN528-28j00	2	国　枝　智　樹		
MHJN9211	春	修士論文	JRN699-28j00	0	新聞学専攻各指導教員		M2 対象　※9月修了希望者のみ登録可
MHJN1020	秋	コミュニケーション論特講Ⅱ	JRN521-28j00	2	渡　邊　久　哲		後期課程「コミュニケーション論特殊研究Ⅰb」と合併
MHJN1060	秋	ジャーナリズム史特講Ⅱ	JRN523-28j00	2	鈴　木　雄　雅		後期課程「ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ」と合併
MHJN1080	秋	マス・メディア論特講Ⅱ	JRN525-28j00	2	音　　好　宏		
MHJN1272	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	音　　好　宏		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1292	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	碓　井　広　義		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1302	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	渡　邊　久　哲		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1312	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	阿　部　る　り		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1322	休講	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2			M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1342	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	水　島　宏　明		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN1352	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	国　枝　智　樹		M1(19年次生)対象,注1参照
MHJN2032	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	音　　好　宏		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2052	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	碓　井　広　義		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2062	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	渡　邊　久　哲		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2072	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	阿　部　る　り		M2(18年次生)対象,注1参照
MHJN2082	休講	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2			M2(18年次生)対象,注1参照

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHJN2102	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	水　島　宏　明		M2(18年次生)対象,注１参照
MHJN2112	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	国　枝　智　樹		M2(18年次生)対象,注１参照
MHJN7060	休講	マス・メディア論演習	JRN503-28j00	2			
MHJN7102	秋	マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ	JRN527-28j00	2	＊濱　田　純　一		後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱb」と合併
MHJN7112	秋	米州のマス・メディア論特講Ⅱ	JRN515-28j00	2	＊会　田　弘　継		
MHJN7160	休講	新聞論特講Ⅱ	JRN505-28j00	2			後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅰb」と合併
MHJN7180	秋	放送論特講Ⅱ	JRN507-28j00	2	水　島　宏　明		
MHJN7200	秋	国際コミュニケーション論特講Ⅱ	JRN509-28j00	2	阿　部　る　り		
MHJN7220	秋	情報科学論特講Ⅱ	JRN511-28j00	2	音　　好　宏		
MHJN7240	秋	マス・コミュニケーション調査特講Ⅱ	JRN513-28j00	2	渡　邊　久　哲		
MHJN7260	秋	広報論特講Ⅱ	JRN529-28e00	2	国　枝　智　樹	○	
MHJN9210	秋	修士論文	JRN699-28j00	0	新聞学専攻各指導教員		M2 対象
MHJN7040	休講	ジャーナリズム史演習	JRN502-28j00	2			
MHJN7050	休講	広告論特講Ⅰ	JRN518-28j00	2			
MHJN7070	休講	広告論特講Ⅱ	JRN519-28j00	2			

注1：論文演習については以下の通り合同で行う(合併科目)

前期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」／後期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」,「論文演習Ⅲa」

前期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」／後期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」,「論文演習Ⅲb」

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
JRN599-28j00	音　　好　宏	
	碓　井　広　義	
	渡　邊　久　哲	
	水　島　宏　明	
	阿　部　る　り	
	柴　野　京　子	
	国　枝　智　樹	

新聞学専攻　博士後期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗論文演習Ⅰa	2		
┗論文演習Ⅰb	2		
┗論文演習Ⅱa	2		
┗論文演習Ⅱb	2		
┗論文演習Ⅲa	2		
┗論文演習Ⅲb	2		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【14～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗論文演習Ⅰa	2		
┗論文演習Ⅰb	2		
┗論文演習Ⅱa	2		
┗論文演習Ⅱb	2		
┗論文演習Ⅲa	2		
┗論文演習Ⅲb	2		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）　問題意識が明確で，テーマが十分に絞り込まれていること。
2）　先行研究を十分に検討・吟味し，引用が的確になされていること。
3）　研究目的に照らして，研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
4）　論文構成が的確で，論理展開に整合性・一貫性があること。
5）　論文の言語表現が的確で正しく，目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
6）　得られた知見にオリジナリティがあり，新聞学の研究に寄与するものであること。
7）　執筆者に今後研究者として自立して研究を遂行していく能力があることを示すものであること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション論特殊研究Ⅰa			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅰb			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅱa			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅱb			2
コミュニケーション論特殊研究演習Ⅰ			2
コミュニケーション論特殊研究演習Ⅱ			2
ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ			2
ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ			2
ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰa			2
ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰb			2
マス・メディア論特殊研究Ⅰa			2
マス・メディア論特殊研究Ⅰb			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
マス・メディア論特殊研究Ⅱa			2
マス・メディア論特殊研究Ⅱb			2
マス・メディア論特殊研究演習Ⅰ			2
マス・メディア論特殊研究演習Ⅱ			2
論文演習Ⅰa	2		
論文演習Ⅰb	2		
論文演習Ⅱa	2		
論文演習Ⅱb	2		
論文演習Ⅲa	2		
論文演習Ⅲb	2		

３．履修上の注意

1）後期課程論文演習は半期ごとに 2 単位，3 年間で計 12 単位を履修すること。

2）指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

3）博士論文執筆にあたっては専攻規定（2011 年 4 月 1 日改訂）を参照のこと。なお，学位論文未提出にて満期退学する場合も，研究成果（修士論文レベル）を提出し，指導教員ならびに専攻の承認を得なければならない。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHJN3010	春	コミュニケーション論特殊研究Ⅰa	JRN807-28j00	2	渡　邊　久　哲		前期課程「コミュニケーション論特講Ⅰ」と合併
DHJN3231	春	論文演習Ⅰa	JRN801-28j00	2	音　　好　宏		D1(19年次生)対象,注１参照
DHJN3251	春	論文演習Ⅰa	JRN801-28j00	2	碓　井　広　義		D1(19年次生)対象,注１参照
DHJN3261	春	論文演習Ⅰa	JRN801-28j00	2	渡　邊　久　哲		D1(19年次生)対象,注１参照
DHJN3271	春	論文演習Ⅰa	JRN801-28j00	2	水　島　宏　明		D1(19年次生)対象,注１参照
DHJN4031	春	論文演習Ⅱa	JRN803-28j00	2	音　　好　宏		D2(18年次生)対象,注１参照
DHJN4051	春	論文演習Ⅱa	JRN803-28j00	2	碓　井　広　義		D2(18年次生)対象,注１参照
DHJN4061	春	論文演習Ⅱa	JRN803-28j00	2	渡　邊　久　哲		D2(18年次生)対象,注１参照
DHJN4071	春	論文演習Ⅱa	JRN803-28j00	2	水　島　宏　明		D2(18年次生)対象,注１参照
DHJN5031	春	論文演習Ⅲa	JRN805-28j00	2	音　　好　宏		D3(17年次生)対象,注１参照
DHJN5051	春	論文演習Ⅲa	JRN805-28j00	2	碓　井　広　義		D3(17年次生)対象,注１参照
DHJN5061	春	論文演習Ⅲa	JRN805-28j00	2	渡　邊　久　哲		D3(17年次生)対象,注１参照
DHJN5071	春	論文演習Ⅲa	JRN805-28j00	2	水　島　宏　明		D3(17年次生)対象,注１参照
DHJN7020	春	コミュニケーション論特殊研究Ⅱa	JRN809-28j00	2	渡　邊　久　哲		
DHJN7030	春	コミュニケーション論特殊研究演習Ⅰ	JRN811-28j00	2	音　　好　宏		
DHJN7040	春	ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ	JRN813-28j00	2	鈴　木　雄　雅		前期課程「ジャーナリズム史特講Ⅰ」と合併
DHJN7060	休講	マス・メディア論特殊研究Ⅰa	JRN817-28j00	2			前期課程「新聞論特講Ⅰ」と合併
DHJN7070	春	マス・メディア論特殊研究Ⅱa	JRN819-28j00	2	＊濱　田　純　一		前期課程「マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHJN7080	春	マス・メディア論特殊研究演習Ⅰ	JRN821-28j00	2	碓井広義		
DHJN3011	秋	コミュニケーション論特殊研究Ⅰb	JRN808-28j00	2	渡邊久哲		前期課程「コミュニケーション論特講Ⅱ」と合併
DHJN3232	秋	論文演習Ⅰb	JRN802-28j00	2	音好宏		D1(19年次生)対象,注1参照
DHJN3252	秋	論文演習Ⅰb	JRN802-28j00	2	碓井広義		D1(19年次生)対象,注1参照
DHJN3262	秋	論文演習Ⅰb	JRN802-28j00	2	渡邊久哲		D1(19年次生)対象,注1参照
DHJN3272	秋	論文演習Ⅰb	JRN802-28j00	2	水島宏明		D1(19年次生)対象,注1参照
DHJN4032	秋	論文演習Ⅱb	JRN804-28j00	2	音好宏		D2(18年次生)対象,注1参照
DHJN4052	秋	論文演習Ⅱb	JRN804-28j00	2	碓井広義		D2(18年次生)対象,注1参照
DHJN4062	秋	論文演習Ⅱb	JRN804-28j00	2	渡邊久哲		D2(18年次生)対象,注1参照
DHJN4072	秋	論文演習Ⅱb	JRN804-28j00	2	水島宏明		D2(18年次生)対象,注1参照
DHJN5032	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	音好宏		D3(17年次生)対象,注1参照
DHJN5052	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	碓井広義		D3(17年次生)対象,注1参照
DHJN5062	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	渡邊久哲		D3(17年次生)対象,注1参照
DHJN5072	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	水島宏明		D3(17年次生)対象,注1参照
DHJN7021	秋	コミュニケーション論特殊研究Ⅱb	JRN810-28j00	2	渡邊久哲		
DHJN7031	秋	コミュニケーション論特殊研究演習Ⅱ	JRN812-28j00	2	音好宏		
DHJN7041	秋	ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ	JRN814-28j00	2	鈴木雄雅		前期課程「ジャーナリズム史特講Ⅱ」と合併
DHJN7061	休講	マス・メディア論特殊研究Ⅰb	JRN818-28j00	2			前期課程「新聞論特講Ⅱ」と合併
DHJN7071	秋	マス・メディア論特殊研究Ⅱb	JRN820-28j00	2	＊濱田純一		前期課程「マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ」と合併
DHJN7081	秋	マス・メディア論特殊研究演習Ⅱ	JRN822-28j00	2	碓井広義		
DHJN7050	休講	ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰa	JRN815-28j00	2			
DHJN7051	休講	ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰb	JRN816-28j00	2			

注1：論文演習については以下の通り合同で行う(合併科目)

前期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」／後期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」,「論文演習Ⅲa」

前期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」／後期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」,「論文演習Ⅲb」

5．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
JRN899-28j00	音好宏	
	碓井広義	
	渡邊久哲	
	水島宏明	

文化交渉学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗論文作成法ＩＡ	2		
┗論文作成法ＩＢ	2		
‣選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【15～16 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗論文作成法ＩＡ	2		
┗論文作成法ＩＢ	2		
‣選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

１）明確な問題意識により課題設定がなされ，それにふさわしい方法論がとられていること。

２）既存の研究成果を適確にふまえ，批判的に継承されていること。

３）論文構成が適切で，論理展開に整合性と一貫性があること。

４）考察および結論に独創性があり，専攻分野に対して，何らかの貢献が行われていること。

５）全体として，専攻分野に関して，執筆者が十分な研究能力を有していることを証する論文であること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
論文作成法ＩＡ	2		
論文作成法ＩＢ	2		
異文化研究特講ＩＡ			2
異文化研究特講ＩＢ			2
異文化研究特講ⅡＡ			2
異文化研究特講ⅡＢ			2
文化交渉学特講ＩＡ			2
文化交渉学特講ＩＢ			2
文化交渉学特講ⅡＡ			2
文化交渉学特講ⅡＢ			2
文化交渉学特講ⅢＡ			2
文化交渉学特講ⅢＢ			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
翻訳文化研究ＩＡ			2
翻訳文化研究ＩＢ			2
翻訳文化研究ⅡＡ			2
翻訳文化研究ⅡＢ			2
翻訳文化研究ⅢＡ			2
翻訳文化研究ⅢＢ			2
芸術文化研究ＩＡ			2
芸術文化研究ＩＢ			2
芸術文化研究ⅡＡ			2
芸術文化研究ⅡＢ			2
芸術文化研究ⅢＡ			2
芸術文化研究ⅢＢ			2

３．履修上の注意

１）「論文作成法ＩA」および「論文作成法ＩB」は必修科目なので，１年次に必ず履修すること。

２）「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

３）学位規程，博士前期課程の研究スケジュール（4月初旬の専攻別ガイダンスで配布）に従って，修士論文を作成すること。また，毎年度4月に提出する研究計画書に基づき，各指導教員から個別に指導を受けること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHCU1010	春	論文作成法ＩＡ	CUI501-30j00	2	山内弘一		M1対象。自専攻のみ履修可
MHCU7030	春	異文化研究特講ⅡＡ	CUI505-30j00	2	＊佐藤光		
MHCU7050	春	文化交渉学特講ＩＡ	CUI507-30j00	2	(他)大橋容一郎		後期課程「文化交渉学特殊研究ＩA」と合併
MHCU7070	春	文化交渉学特講ⅡＡ	CUI509-30j00	2	(他)原敬子		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅡA」と合併
MHCU7090	春	文化交渉学特講ⅢＡ	CUI511-30j00	2	(他)碓井広義		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅢA」と合併
MHCU7110	春	翻訳文化研究ＩＡ	CUI513-30j00	2	三輪玲子		
MHCU7130	春	翻訳文化研究ⅡＡ	CUI515-30j00	2	(他)永井敦子		
MHCU7150	春	翻訳文化研究ⅢＡ	CUI517-30j00	2	(他)豊島正之		
MHCU7170	春	芸術文化研究ＩＡ	CUI519-30j00	2	小林幸夫		
MHCU7190	春	芸術文化研究ⅡＡ	CUI521-30j00	2	＊齊藤貴子		
MHCU7210	春	芸術文化研究ⅢＡ	CUI523-30j00	2	＊川瀬佑介		
MHCU1020	秋	論文作成法ＩＢ	CUI502-30j00	2	小林幸夫		M1対象。自専攻のみ履修可
MHCU7020	秋	異文化研究特講ＩＢ	CUI504-30m00	2	CHEETHAM Dominic		
MHCU7040	秋	異文化研究特講ⅡＢ	CUI506-30j00	2	＊佐藤光		
MHCU7060	秋	文化交渉学特講ＩＢ	CUI508-30j00	2	(他)大橋容一郎		後期課程「文化交渉学特殊研究ＩB」と合併
MHCU7080	秋	文化交渉学特講ⅡＢ	CUI510-30j00	2	(他)原敬子		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅡB」と合併
MHCU7100	秋	文化交渉学特講ⅢＢ	CUI512-30j00	2	(他)長田彰文		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅢB」と合併
MHCU7160	秋	翻訳文化研究ⅢＢ	CUI518-30j00	2	三輪玲子		
MHCU7180	秋	芸術文化研究ＩＢ	CUI520-30j00	2	博多かおる		
MHCU7200	秋	芸術文化研究ⅡＢ	CUI522-30j00	2	＊齊藤貴子		
MHCU7220	秋	芸術文化研究ⅢＢ	CUI524-30j00	2	＊鈴木啓子		
MHCU9010	秋	修士論文	CUI699-30j00	0	文化交渉学専攻各指導教員		M2対象
MHCU7010	休講	異文化研究特講ＩＡ	CUI503-30m00	2			
MHCU7120	休講	翻訳文化研究ＩＢ	CUI514-30j00	2			
MHCU7140	休講	翻訳文化研究ⅡＢ	CUI516-30j00	2			

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
CUI599-30j00	三輪玲子	
	山内弘一	
	小林幸夫	
	CHEETHAM Dominic	
	博多かおる	

文化交渉学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
‣選択科目	6		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【17 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【11～16 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）明確な問題意識により課題設定がなされ，それにふさわしい方法論がとられていること。
2）既存の研究成果を適確にふまえ，批判的に継承されていること。
3）論文構成が適切で，論理展開に整合性と一貫性があること。
4）独創的知見を有し，専攻分野の学術的発展におおいに寄与するものであること。
5）全体として，専攻分野に関して，執筆者が研究者として自立して研究活動を継続することのできる高度の研究能力，およびその基礎となる十分な学識を有することを証する内容の論文であること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単　位　数		
	必修	選必	選択
文化交渉学特殊研究ⅠA			2
文化交渉学特殊研究ⅠB			2
文化交渉学特殊研究ⅡA			2
文化交渉学特殊研究ⅡB			2
文化交渉学特殊研究ⅢA			2
文化交渉学特殊研究ⅢB			2

３．履修上の注意

１）2018 年次生以降は，後期課程在籍中に開講科目の中から最低 6 単位を修得すること。

２）「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

３）学位規程，博士後期課程の研究スケジュール（4 月初旬の専攻別ガイダンスで配布）に従って，研究に従事し，博士号の取得をめざすこと。また，毎年度 4 月に提出する研究計画書に基づき，各指導教員から個別に指導を受けること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHCU7010	春	文化交渉学特殊研究ⅠA	CUI801-30j00	2	(他)大　橋　容一郎		前期課程「文化交渉学特講ⅠA」と合併
DHCU7030	春	文化交渉学特殊研究ⅡA	CUI803-30j00	2	(他)原　　敬　子		前期課程「文化交渉学特講ⅡA」と合併
DHCU7050	春	文化交渉学特殊研究ⅢA	CUI805-30j00	2	(他)碓　井　広　義		前期課程「文化交渉学特講ⅢA」と合併
DHCU7020	秋	文化交渉学特殊研究ⅠB	CUI802-30j00	2	(他)大　橋　容一郎		前期課程「文化交渉学特講ⅠB」と合併
DHCU7040	秋	文化交渉学特殊研究ⅡB	CUI804-30j00	2	(他)原　　敬　子		前期課程「文化交渉学特講ⅡB」と合併
DHCU7060	秋	文化交渉学特殊研究ⅢB	CUI806-30j00	2	(他)長　田　彰　文		前期課程「文化交渉学特講ⅢB」と合併

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
CUI899-30j00	三　輪　玲　子	
	山　内　弘　一	
	小　林　幸　夫	
	CHEETHAM Dominic	
	博　多　かおる	

実践宗教学研究科

死生学専攻

１．実践宗教学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

現代社会の宗教的思想的基盤を研究するとともに，新たな取り組みが求められる現代の死生学的課題について，価値多元化社会における宗教の社会的役割，死生観及び生命倫理，臨床スピリチュアルケアの三視点から研究・教育を行う。また，スピリチュアリティを基盤にしたケアの実践的対応能力の修得を目指す。これらを通じて実践力のある研究者，臨床家，コミュニティケア人材，ケア指導者等を養成する。

２．各専攻のディプロマ・ポリシー

死生学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 「宗教の公共性」「死生観・生命倫理」「臨床スピリチュアルケア」のいずれかの学問分野における研究課題を理解することができ，基礎的研究に主体的に取り組む力
2. 現場における研究の実践的な意味や役割を理解する力
3. 論理的かつ学術的に構成された修士論文をとおして，実践的課題探求並び学術に貢献する力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 宗教学を核とする人文学の高度な専門知識もしくは学際的知識を基礎に，実践宗教学における独立した研究者として学術に貢献できる力
2. 研究対象となる実践現場の思想的宗教的基盤および社会背景に深い理解を持ち，実践的課題探求や後進の育成に教育者・実践者として貢献できる力
3. 高度な実践的課題探求並びに学術に貢献できる高い水準と独創性を備えた博士論文の完成

３．各専攻のカリキュラム・ポリシー

死生学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 必修科目「死生学研究法Ⅰ」「死生学研究法Ⅱ」を通して研究の基礎となる方法論や研究倫理を修得する。「宗教の公共性」「死生観・生命倫理」「臨床スピリチュアルケア」の３学群から，演習科目３科目（６単位）を選択必修科目として履修し，研究学問分野について研鑽を深める。さらに，選択科目を通して関連領域の学際的知識を深める。
2. 宗教・伝統・歴史・思想にかかわる人文社会科学の高度な学際的・専門的知識を深めると同時に，インターンシップ科目や実習科目の履修で死生学的課題の現場に直接参与する経験を通し，死生学的課題について実践的な問題理解力を修得させる。
3. 入学直後に指定される指導教員による，毎学期の「研究指導」科目における密接な研究指導のもと，適切な課題理解と研究方法に基づく修士論文を作成させる。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 「実践宗教学コロキウムⅠ」「実践宗教学コロキウムⅡ」を必修科目として配置し，学術研究に不可欠な建設的批判を行う能力と研究倫理を身につけ，研究基礎力を養う。
2. 学生の多様な目的意識と学問的関心に対応するため，複数の領域から自己選択できる特殊研究科目群を配置し，その履修を通じて研究分野について研鑽を深め，高度な死生学的課題に係る知識を身につける。ケア実践力強化を必要とする学生は，現場実習を含む科目の履修を通じて，臨床実践力・指導力を養う。
3. 個別の課題に応じた研究指導により研究応用力ならびに表現力を身に付け，研究計画審査を経て，研究者として求められる高度な専門性と独創性のある研究力ならびに教育者として求められる確かな教育能力を身につける。
4. 科目履修および研究指導をふまえ，予備論文の審査を経て，実践的視野を備えた独創的で主体的な研究計画のもと，博士論文の執筆をさせる。

死生学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗死生学研究法Ⅰ	2		
┗死生学研究法Ⅱ	2		
‣選択必修科目	6		19年次生以降 選択した１つの群から4単位および他の群から2単位修得することが望ましい 17・18年次生 選択した１つの群から4単位および他の群から2単位修得すること
┗第１群			
┗第２群			
┗第３群			
‣選択科目	20		
┗自専攻科目			
┗委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗死生学研究法Ⅰ	2		
┗死生学研究法Ⅱ	2		
‣選択必修科目	6		選択した１つの群から4単位および他の群から2単位修得すること
┗第１群			
┗第２群			
┗第３群			
‣選択科目	20		
┗自専攻科目			
┗委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1）論文の課題設定の適切性
論文の課題の設定が明確であり，かつ，当該領域の研究に学術的に寄与し得る独創性を有していること。

2）専門的知識の理解
当該領域にかかる専門的知識が十分に理解，修得されていること。

3）先行研究の理解
当該領域にかかる先行研究を理解し，かつ，先行研究が十分に参照・明記され，引用が正確になされていること。

4）研究方法の適切性
研究テーマ及び研究目的に対して，研究方法・分析方法が適切であること。

5）論文構成の適切性
論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。また，論理展開に無駄や矛盾がないこと。

6）倫理的配慮
研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。また，本学が定める研究倫理基準を満たしたものであること。

7）論文としての体裁，形式上の適切性
章・節の構成が適切であり，目次を見ることで全体の論旨が予想できること，文章が明解で，論旨が明確に理解可能であること。文献等の引用が適切であること。注記が適切であること。誤字や脱字が散見されないこと。

2．授業科目の編成・単位

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
死生学研究法Ⅰ	2		
死生学研究法Ⅱ	2		
＜第１群＞			
宗教学演習		2	
宗教史演習		2	
宗教と社会演習		2	
＜第２群＞			
死生学演習		2	
生命倫理学演習		2	
医療人文学演習		2	
＜第３群＞			
臨床スピリチュアルケア演習		2	
生涯発達論演習		2	
＜選択科目＞			
宗教学研究			2
比較宗教学			2
宗教史研究Ⅰ			2
宗教史研究Ⅱ			2
宗教と社会研究			2

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
死生学研究			2
生命倫理学研究			2
臨床倫理学原論			2
臨床倫理学特論			2
実践宗教学研究Ⅰ			2
実践宗教学研究Ⅱ			2
臨床スピリチュアルケア研究			2
生涯発達論研究Ⅰ			2
生涯発達論研究Ⅱ			2
宗教と平和研究－実践宗教学の一課題			2
宗教と身体性			2
実践宗教学インターンシップAⅠ			1
実践宗教学インターンシップAⅡ			1
実践宗教学インターンシップBⅠ			1
実践宗教学インターンシップBⅡ			1
臨床スピリチュアルケア実習AⅠ			2
臨床スピリチュアルケア実習AⅡ			2
臨床スピリチュアルケア実習BⅠ			2
臨床スピリチュアルケア実習BⅡ			2

3．履修上の注意

1）博士前期課程の修了要件は，必修科目 4 単位を含む 30 単位以上を修得し，指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

2）指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

3）19 年次生
選択必修科目の必要単位数 6 単位については，3 つの群のうち選択した 1 つの群から 4 単位およびその他の群から 2 単位を修得することが望ましい。なお，選択必修科目を必要単位数を超えて修得した場合，選択科目の単位に充当することができる。
16・17・18 年次生
選択必修科目の必要単位数 6 単位については，3 つの群のうち選択した 1 つの群から 4 単位およびその他の群から

2 単位を修得すること。なお，選択必修科目を必要単位数を超えて修得した場合，選択科目の単位に充当することができる。

4）博士前期課程の学生は，専任教員１名を指導教員として定め，所定の科目を履修するとともに，指導教員と密接に連絡し，修士論文や研究報告の作成を行うこと。

5）博士前期課程の学生は，1 年次の 10 月までに，研究計画概要書を提出しなければならない。
また，2 年次の 5 月までに，修士論文作成計画書を提出しなければならない。

4．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MARL1010	春	死生学研究法Ⅰ	RES501-35j00	2	島　薗　　進 伊　藤　高　章		輪講
MARL6010	春	宗教学演習	RES503-35j00	2	髙　山　貞　美		神学専攻「キリスト教教育ゼミナールⅡ」と合併
MARL6030	春	宗教と社会演習	RES505-35j00	2	寺　尾　寿　芳		後期課程「宗教と社会特殊研究Ⅰ」と合併
MARL6110	春	死生学演習	RES506-35j00	2	島　薗　　進		後期課程「死生学特殊研究Ⅰ」と合併
MARL6130	春	医療人文学演習	RES508-35j00	2	*加　藤　眞　三		
MARL6210	春	臨床スピリチュアルケア演習	RES509-35j00	2	伊　藤　高　章		後期課程「臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅰ」と合併
MARL7131	春	宗教史研究Ⅰ	RES524-35e00	2	(他)DROTT Edward	○	隔年開講 前期課程グローバル社会専攻「RELIGION AND JAPANESE SOCIETY1」 後期課程グローバル社会専攻「ADVANCED STUDIES IN RELIGION AND JAPANESE SOCIETY1」と合併
MARL7060	春	生命倫理学研究	RES515-35j00	2	浅　見　昇　吾		後期課程「生命倫理学特殊研究Ⅱ」と合併
MARL7090	春	実践宗教学研究Ⅰ	RES518-35j00	2	(他)角　田　佑　一		隔年開講，神学専攻「エキュメニズムⅠ」と合併
MARL7130	春	生涯発達論研究Ⅱ	RES522-35j00	2	武　田　なほみ		隔年開講，神学専攻「パストラル・ケア特講」及び後期課程「生涯発達論特殊研究Ⅲ」と合併
MARL7140	春	宗教と平和研究－実践宗教学の一課題	RES523-35j00	2	(他)鎌　田　東　二		
MARL7400	春	実践宗教学インターンシップＡⅠ	RES527-35j00	1	伊　藤　高　章 島　薗　　進 浅　見　昇　吾 武　田　なほみ		春学期集中，M1対象
MARL7420	春	実践宗教学インターンシップＢⅠ	RES601-35j00	1	伊　藤　高　章 島　薗　　進 浅　見　昇　吾 武　田　なほみ		春学期集中，M2対象
MARL7540	集中	臨床スピリチュアルケア実習Ａⅰ	RES529-35j00	2	伊　藤　高　章		春学期集中，M1対象
MARL7560	集中	臨床スピリチュアルケア実習Ｂⅰ	RES603-35j00	2	伊　藤　高　章		春学期集中，M2対象
MARL1020	秋	死生学研究法Ⅱ	RES502-35j00	2	島　薗　　進 伊　藤　高　章		輪講
MARL6020	秋	宗教史演習	RES504-35j00	2	(他)村　上　辰　雄		
MARL6120	秋	生命倫理学演習	RES507-35j00	2	浅　見　昇　吾		後期課程「生命倫理学特殊研究Ⅰ」と合併
MARL6220	秋	生涯発達論演習	RES510-35j00	2	武　田　なほみ		後期課程「生涯発達論特殊研究Ⅰ」と合併
MARL7010	秋	宗教学研究	RES511-35j00	2	髙　山　貞　美		神学専攻「宗教倫理思想Ⅰ」と合併
MARL7020	秋	比較宗教学	RES512-35j00	2	島　薗　　進		隔年開講，哲学専攻「宗教思想研究」及び後期課程「実践宗教学特殊研究」と合併
MARL7040	秋	宗教と社会研究	RES513-35j00	2	寺　尾　寿　芳		後期課程「宗教と社会特殊研究Ⅱ」と合併
MARL7050	秋	死生学研究	RES514-35j00	2	島　薗　　進		後期課程「死生学特殊研究Ⅱ」と合併
MARL7110	秋	臨床スピリチュアルケア研究	RES520-35j00	2	伊　藤　高　章		後期課程「臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅱ」と合併
MARL7150	秋	宗教と身体性	RES526-35j00	2	吉　田　美和子		
MARL7410	秋	実践宗教学インターンシップＡⅡ	RES528-35j00	1	伊　藤　高　章 島　薗　　進 浅　見　昇　吾 武　田　なほみ		秋学期集中，M1対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MARL7430	秋	実践宗教学インターンシップBⅡ	RES602-35j00	1	伊藤高章 島薗進 浅見昇吾 武田なほみ		秋学期集中，M2対象
MARL7550	集中	臨床スピリチュアルケア実習AⅡ	RES530-35j00	2	伊藤高章		秋学期集中，M1対象
MARL7570	集中	臨床スピリチュアルケア実習BⅡ	RES604-35j00	2	伊藤高章		秋学期集中，M2対象
MARL7070	休講	臨床倫理学原論	RES516-35j00	2			前期課程哲学専攻「現代倫理学研究Ⅰ」及び後期課程哲学専攻「哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ」と合併
MARL7080	休講	臨床倫理学特論	RES517-35j00	2			前期課程哲学専攻「現代倫理学研究Ⅱ」及び後期課程哲学専攻「哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ」と合併
MARL7132	休講	宗教史研究Ⅱ	RES525-35e00	2		○	隔年開講 前期課程グローバル社会専攻「RELIGION AND JAPANESE SOCIETY2」及び後期課程グローバル社会専攻「ADVANCED STUDIES IN RELIGION AND JAPANESE SOCIETY 2」と合併
MARL7100	休講	実践宗教学研究Ⅱ	RES519-35j00	2			隔年開講，神学専攻「エキュメニズムⅡ」と合併
MARL7120	休講	生涯発達論研究Ⅰ	RES521-35j00	2			隔年開講，神学専攻「キリスト教教育Ⅰ」及び後期課程「生涯発達論特殊研究Ⅱ」と合併
MARL9010	秋	修士論文	RES699-35j00	0	死生学専攻各指導教員		M2対象

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
RES599-35j00	島薗進	
	伊藤高章	
	浅見昇吾	
	髙山貞美	
	武田なほみ	
	寺尾寿芳	
	吉田美和子	

死生学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
授業科目			
‣必修科目	2		
┗実践宗教学コロキウムⅠ	1		
┗実践宗教学コロキウムⅡ	1		
‣選択科目	4		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【博士論文審査基準】

1）論文の課題設定の適切性
　論文の課題の設定が明確であり，かつ，当該領域の研究に学術的に寄与し得る独創性並びに先端性を有していること。
2）専門的知識の理解
　当該領域にかかる専門的知識が十分に理解，修得されていること。
3）先行研究の理解
　当該領域にかかる先行研究を広範囲に把握，かつ理解し，かつ，先行研究が十分に参照・明記され，引用が正確になされていること。
4）研究方法の適切性
　研究テーマ及び研究目的に対して，研究方法・分析方法が適切であること。
5）論文構成の適切性
　論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。また，論理展開に無駄や矛盾がないこと。
6）倫理的配慮
　研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。また，本学が定める研究倫理基準を満たしたものであること。
7）論文としての体裁，形式上の適切性
　章・節の構成が適切であり，目次を見ることで全体の論旨が予想できること，文章が明解で，論旨が明確に理解可能であること。文献等の引用が適切であること。注記が適切であること。誤字や脱字が散見されないこと。
8）学会での発表等
　論文を構成する部分が，専門学会での発表，または，投稿論文などによる研究成果を踏まえていること。

2．授業科目の編成・単位

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
実践宗教学コロキウムⅠ	1		
実践宗教学コロキウムⅡ	1		
＜選択科目＞			
死生学特殊研究Ⅰ			2
死生学特殊研究Ⅱ			2
宗教と社会特殊研究Ⅰ			2
宗教と社会特殊研究Ⅱ			2

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
生命倫理学特殊研究Ⅰ			2
生命倫理学特殊研究Ⅱ			2
臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅰ			2
臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅱ			2
生涯発達論特殊研究Ⅰ			2
生涯発達論特殊研究Ⅱ			2
生涯発達論特殊研究Ⅲ			2
実践宗教学特殊研究			2

３．履修上の注意

１）博士後期課程の修了要件は，必修科目 2 単位を含む 6 単位以上を修得し，指導教員の指導のもとに博士論文を作成・提出することが必要である。

２）指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。必要な合格科目数も定められているので，１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

３）博士後期課程の学生は，専任教員１名を指導教員として定め，所定の科目を履修するとともに，指導教員と密接に連絡し，博士論文や研究報告の作成を行うこと。

４）博士後期課程の学生は，1 年次の 10 月までに，論文計画概要書を提出しなければならない。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DARL1010	春	実践宗教学コロキウムⅠ	RES801-35j00	1	島　薗　　進 伊　藤　高　章		輪講
DARL7010	春	死生学特殊研究Ⅰ	RES803-35j00	2	島　薗　　進		前期課程「死生学演習」と合併
DARL7030	春	宗教と社会特殊研究Ⅰ	RES805-35j00	2	寺　尾　寿　芳		前期課程「宗教と社会演習」と合併
DARL7060	春	生命倫理学特殊研究Ⅱ	RES808-35j00	2	浅　見　昇　吾		前期課程「生命倫理学研究」と合併
DARL7070	春	臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅰ	RES809-35j00	2	伊　藤　高　章		前期課程「臨床スピリチュアルケア演習」と合併
DARL7110	春	生涯発達論特殊研究Ⅲ	RES813-35j00	2	武　田　なほみ		隔年開講，前期課程「生涯発達論研究Ⅱ」及び前期課程神学専攻「パストラル・ケア特講」と合併
DARL1020	秋	実践宗教学コロキウムⅡ	RES802-35j00	1	島　薗　　進 伊　藤　高　章		輪講
DARL7020	秋	死生学特殊研究Ⅱ	RES804-35j00	2	島　薗　　進		前期課程「死生学研究」と合併
DARL7040	秋	宗教と社会特殊研究Ⅱ	RES806-35j00	2	寺　尾　寿　芳		前期課程「宗教と社会研究」と合併
DARL7050	秋	生命倫理学特殊研究Ⅰ	RES807-35j00	2	浅　見　昇　吾		前期課程「生命倫理学演習」と合併
DARL7080	秋	臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅱ	RES810-35j00	2	伊　藤　高　章		前期課程「臨床スピリチュアルケア研究」と合併
DARL7090	秋	生涯発達論特殊研究Ⅰ	RES811-35j00	2	武　田　なほみ		前期課程「生涯発達論演習」と合併
DARL7120	秋	実践宗教学特殊研究	RES814-35j00	2	島　薗　　進		隔年開講，前期課程「比較宗教学」及び前期課程哲学専攻「宗教思想研究」と合併
DARL7100	休講	生涯発達論特殊研究Ⅱ	RES812-35j00	2			隔年開講，前期課程「生涯発達論研究Ⅰ」及び前期課程神学専攻「キリスト教教育Ⅰ」と合併

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
RES899-35j00	島　薗　　進	
	伊　藤　高　章	
	浅　見　昇　吾	
	武　田　なほみ	
	寺　尾　寿　芳	
	塚　本　尚　子	

総合人間科学研究科

教育学専攻

心理学専攻

社会学専攻

社会福祉学専攻

看護学専攻

１．総合人間科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

人間の尊厳を基盤とし，科学の知，臨床の知，政策・運営の知にかかわる学際的教育・研究を行い，理論と実践・臨床を両輪として社会に貢献しうる人材を育成する。前期課程では，実践・臨床の場で活躍できる高度専門職業人及びこれらの場を視野にいれた研究者の養成を目指し，後期課程では，実践・臨床的知見を踏まえ学問的に貢献しうる人材育成を目指す。

２．各専攻のディプロマ・ポリシー

教育学専攻

【博士前期課程】

本課程では，教育学の領域における幅広い学識と基礎的研究スキルを身につけ，人間の尊厳を守りつつ，教育を通じて現代社会の課題解決に取り組むことができる人材の養成を目的として，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

１．社会の様々な事象についての情報収集力
２．柔軟で多角的な思考力・分析力
３．他者への共感と多様な集団との協働によって生み出す創造力
４．問題解決のための実行力
５．研究を適切に実行し，その成果を学術論文としてまとめる力

【博士後期課程】

本課程では，研究者として教育学の領域における幅広い学識と高度な研究スキルを身につけ，人間の尊厳を守りつつ，教育を通じて現代社会の課題解決にリーダーシップを発揮して取り組むことができる人材の養成を目的として，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

１．社会の様々な事象についての情報収集力
２．柔軟で多角的な思考力・分析力
３．他者への共感と多様な集団との協働によって生み出す創造力
４．問題解決にリーダーシップを発揮して取り組む実行力
５．自立的に研究を遂行し，新たな知見を学術と政策・実践にもたらす力
６．研究成果を適切にまとめ広く社会に発信する力

心理学専攻

【博士前期課程】

本課程では，キリスト教ヒューマニズムに基づく人間の尊厳を守る社会を実現するために，心理学の知識の理解，研究方法の修得や実践を通し，学修の成果を研究活動として結実させ，心理学の専門家・専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的として，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

１．基礎心理学コース，臨床心理学コースの両コース共に，心の働きの実証的理解，心と行動の普遍性およびその多様性と可塑性の理解，心理学の社会的役割の理解
２．心を生み出す仕組み（機構）と心理学の諸理論の正確な理解を踏まえて，人間についてより深く理解する力
３．専門職業人として，本学の建学の理念である「隣人性」「国際性」を達成するために，基礎分野および臨床分野

（医療，教育，福祉等）で活かすことのできる知識や技術，それを的確に伝える力
４．多様な他分野，多職種との連携が可能となる広い知見

【博士後期課程】

本課程では，キリスト教ヒューマニズムに基づく人間の尊厳を守る社会を実現するために，心理学の知識の理解，研究方法の修得や実践を通し，学修の成果を研究活動として結実させ，論文の形で問うことができるようにします。「心」を探求する専門的な知識と経験を，総合的視野に立って駆使し，研究者・教育者として社会に貢献できる人材の養成を目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

１．心理学の多様な分野での知見を深め，臨床的視点をもつ研究者，研究者の視点をもつ実践家となる力
２．科学的視点を基盤にし，様々な場で対人支援を実践できる専門家としての能力
３．自身の専門領域を深め，学会誌，国際学会などでの発表を踏まえ，博士論文としてその成果をまとめるとともに，広く発信する力
４．多職種連携を必要とするがん医療の分野をはじめとする喫緊の課題解決に資する能力

社会学専攻

【博士前期課程】

本課程では，人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて，社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し，冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備えた人材の養成を目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

１．専門分野における高度な理論的及び経験的知識を理解する力
２．社会変動や社会問題について社会学的な研究課題を設定する力
３．社会学的な研究課題に対して適切な研究方法及び分析手法を提案する力
４．自らの主張を論理的に記述し，口頭で伝達する力
５．研究課題の達成を通じて現代世界における多様な価値の共生に資する力

【博士後期課程】

本課程では，人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて，社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し，研究者としての冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備え，また，高度な理論的知識や方法論的技術を駆使して研究論文をまとめる力量を備えた人材の養成を目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

１．専門分野における高度な理論的及び経験的知識を独自に整理し運用する力
２．社会変動や社会問題について独創性を有する社会学的な研究課題を設定する力
３．社会学的な研究課題に対して適切な研究方法及び分析手法を提案し，高度な水準でそれを実施する力
４．一つ以上の外国語を含めて，自らの主張を論理的に記述し，口頭で伝達する力
５．研究を通じて現代世界の福祉と創造的進歩に資するような結論の提示または政策を提言する力

社会福祉学専攻

【博士前期課程】

本課程では，人間の尊厳を尊重し，福祉社会の実現と創造的進歩に貢献できる人材の養成を目的として，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1．社会福祉における基本的理念，高度な専門知識と実践能力，研究能力
2．福祉政策・運営管理と福祉臨床の両領域についての幅広い知識を修得し，福祉社会を構築するうえでの実践能力
3．理論と実践・臨床を統合することによって，現代社会における課題解決に向けた多角的な分析能力
4．「研究者養成プログラム」では，福祉社会をデザインし作り出す実証研究能力を身につけ，学術雑誌や国際学会等で研究成果を発信する能力
5．「高度福祉専門職養成プログラム」では，福祉臨床の知識・技術を身につけ，政策立案や臨床の現場で指導的役割を果たせる実践能力

【博士後期課程】

本課程では，人間の尊厳を尊重し，福祉社会の実現と創造的進歩に，自立した研究者として貢献できる人材の養成を目的として，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1．（博士前期課程で身につけた）社会福祉における基本的理念，高度な専門知識と実践能力，研究能力をより高め，独創的な知見を生み出すことができる力
2．福祉政策・運営管理と福祉臨床の両領域についての幅広い知識をさらに深め，福祉社会を構築するうえで必要となる高度な分析能力，実証研究能力
3．学術雑誌への投稿，国際学会等での報告において研究成果を発信し，議論する能力

看護学専攻

【修士課程】

本課程では，人間に対するケアリングをディシプリンとして捉えるとともに，実践に生かせる研究力ならびに指導力を兼ね備えた人材の養成を目的として，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1．人々の発達・健康レベルに応じた最善の健康支援をめざした実践能力と研究能力
2．臨床現場で指導的役割を果たすことのできる実践能力
3．学際的，総合的な視野をもって国内外で活動する力

3．各専攻のカリキュラム・ポリシー

教育学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1．博士前期課程では，講義・演習・研究指導を組み合わせたカリキュラムを作成している。「講義」では，教育学の当該領域（教育哲学，教育史，教育社会学，国際教育学など）における主要テーマについて理解する。「演習」では，特定トピックについての議論による理解の深化や，調査研究スキルの獲得を目指す。また，自研究科内の他専攻開設科目や，8単位まで他研究科開設の科目を履修することも出来る。これらの科目を受講することにより，社会の様々な事象に関する情報収集力，そして幅広い学識と柔軟かつ多角的な思考力・分析力を身につける。
2．本課程では，英語による科目を開設し，他研究科とのクロス・リスティング，国連大学の委託聴講制度等を活用することで，学びの場における多様性を確保する。さらに，国内外でフィールド体験・研修を実施する。留学で卒業のための単位を一定数取得することもできる。これらにより，他者への共感力と創造性，そして問題解決のための実行力を磨く。
3．課程履修期間中は，指導教員および必要に応じて複数の教員から個別に指導を受けることで，研究能力を向上さ

せる。学生は，2年次の春学期に研究概要を提出し，中間発表会において口頭で説明する。教育学専攻の所属教員および他の大学院生から研究内容についてのフィードバックを得ることで，研究論文の質を高める。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1．本博士後期課程では，関連領域の講義・演習科目を開設する。これらの科目では，領域における基礎的事項を確認すると同時に，特定のトピックについて少人数クラスで議論を行い，その理解を深める。また，これらの科目履修により，研究実践スキルの向上，および自身の研究計画の精緻化を図る。

2．これらの科目に加えて，学生は，博士論文作成のための論文演習・研究指導科目を履修させる。課程履修期間を通じて，指導教員から博士論文執筆や研究成果の発信（学術誌への投稿，学会での口頭発表など）についての個別指導を受けさせる。

3．さらに，専任教員3名からなる指導委員会が設置され，修学期間中の研究指導を受けることが出来る。指導委員会のメンバーは，学生の研究課題や調査研究手法を考慮して構成される。この体制により，学生は，多様な角度から指導を受けながら，研究と博士論文の執筆を進めることが出来る。講義・演習科目の履修と研究指導を有機的に結び付けたこれらの学びにより，専門分野における情報収集・分析能力，および研究能力を獲得し，自立した研究者としての能力を身につけさせる。

心理学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，心と行動の仕組みとその働きを理解し，心理学の専門的知識と技能を用いて，広く社会に貢献できる人を育てるために，臨床心理学コース，基礎心理学コースの2つのコースを設け，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1．心理学の専門家としての基盤を作るために，1年次，2年次に，研究法に関する科目，各心理学の専門領域に関する科目を開設する。

2．学修の成果を研究活動として結実させるために，1年次，2年次の2年間を通して，論文演習を開設する。

3．臨床心理学コースにおいては，臨床心理士として必要とされるさまざまな知識や技能を具体的な臨床事例に即して得，実習や実践を通してより一層深められるよう必修科目を開設する。

4．学部生の指導やチューターをする中で，自分自身の学びを深めることができる実習科目を開設する。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，「心」を探求する専門的な知識と経験を，総合的視野に立って駆使し，研究者・教育者・臨床家として社会に貢献できるよう，心理学の基礎から応用にわたる研究法，高度な先端的知識を身につけるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1．心理学の研究者・教育者・臨床家として必要な先端的知識，専門的技能を修得し，それを様々な場で発信することができるように，1年次から3年次にかけて，講義科目と演習形式による論文演習を開設する。

2．博士論文の構想発表までに，査読論文2本を書く。このためには，学会などの様々な機会を通して，自らの研究を発表し，他の研究者との研鑽をしていく。

3．学部生，博士前期課程の学生に対する心理学研究法などのチューターを通して，心理学の知識や技能をより深めるとともに，研究者・教育者・臨床家として，それを他者に伝えるための技能を得させる。

4．がん医療関連科目として4大学院連携（上智大学，東京慈恵会医科大学，昭和大学，星薬科大学）の連携授業を履修することを認める。

社会学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，社会現象のメカニズムを分析・理解する能力を獲得するために，社会学理論と社会調査法の基礎科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を配置して，以下のようにカリキュラムを編成しています。

1．理論的及び経験的知識の修得のため必修科目である社会学理論及び専門科目を１年次春学期から配置する。
2．社会学的研究課題を設定する能力の修得のため必修科目である社会学方法論及び関連専門科目を１年次春学期から配置する。
3．社会調査法の知識と運用能力の修得のため必修科目である社会学方法論及び専門社会調査士科目を１年次秋学期から配置する。
4．修士論文執筆と口頭報告の能力の修得のため１年次春学期から指導教員による論文演習及び合同研究報告会を配置する。
5．研究を現実の社会問題に応用する能力を修得するため専門科目においてディスカッションや実習を実施するとともに，関連学会への参加を促進する。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，社会現象のメカニズムを高度な水準で分析・理解し研究論文を執筆する能力を獲得するために，社会学理論と社会調査法の科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を配置し，以下のようにカリキュラムを編成しています。

1．博士論文執筆に必要となる高度な理論的及び経験的知識の修得のため専門科目を配置する。
2．専門的研究課題を設定する能力の修得のため専門科目を配置する。
3．高度な社会調査を自ら実施する能力の修得のため専門社会調査士科目及び関連専門科目を配置する。
4．博士論文執筆と内外の学会での口頭報告の能力の修得のため指導教員による研究指導及び合同研究報告会を配置するとともに，関連学会での報告や学会誌への投稿を促進する。
5．研究を政策的提言に応用する能力を高めるため学際的研究と関連学会での研究発表を促進する。

社会福祉学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，狭義の社会福祉を超えた新しい福祉社会の実現に貢献する人材育成のために，「研究者養成プログラム」と「高度福祉専門職養成プログラム」を用意し，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1．コアカリキュラムの「社会福祉研究法基礎」,「福祉政策運営管理研究法基礎」,「福祉臨床研究法基礎」を通して，社会福祉学で求められる多角的な研究法を学ぶ。
2．「福祉政策・運営管理系科目」と「福祉臨床系科目」を通して，社会福祉学で必要とされる幅広い領域を学ぶ。
3．「社会福祉フィールドワーク」と「援助事例分析」「社会政策・経営事例分析」を通して，理論と実践の統合を行い，現状や課題を多角的に分析する力をつける。
4．「研究者養成プログラム」では，コアカリキュラムにより研究法を深めるとともに，英語開設科目を通して英語による研究発信の方法・技術を学ぶ。
5．「高度福祉専門職養成プログラム」では，おもに臨床や福祉各分野・課題に関する科目を通して福祉臨床の知識・技術を実践的に学ぶ。
6．上記のカリキュラムおよび研究指導を通して修士論文をまとめ，その審査および最終試験に備える。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，新しい福祉社会の実現に向けて国際的にも貢献できる人材育成のために，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1．指導教員による研究指導のもと，国内外の先行研究レビューや調査実施等により，研究のテーマ・方法を絞り込み研究を進めていく。
2．福祉政策・運営管理系および福祉臨床系のコースワークを通して，社会福祉学の研究を進めるうえで求められる多角的な視点や研究方法を学ぶ。
3．英語開設科目を通して英語による研究の発信や議論についての方法・技術を学ぶ。
4．上記の研究指導およびカリキュラム，さらにコースワークの研究法特殊講義を通して博士学位申請論文をまとめ，その審査および最終試験に備える。

看護学専攻

【修士課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，国内外の医療健康問題の動向における重要課題に鑑み，「共生支援」のキーワードにもとづいて，良質のケアリングにかかわる発展的かつ実践的な研究を行うために，以下のようにカリキュラムを編成しています。

1．看護研究に関する基礎力を充実させる科目を開設する。
2．ケアリングについて考究する科目を開設する。
3．自己が研究を通して深めたい専門看護学に関する科目を開設する。
4．自己が研究を通して深めたい専門看護学を支持する科目を開設する。
5．修士論文執筆とプレゼンテーション能力の修得のため１年次春学期から指導教員による演習を行い，研究計画検討会，修士論文発表会を配置する。

教育学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗論文演習Ⅰ	2		
┗論文演習Ⅱ	2		
‣ 選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣ 必修科目	4		
┗論文演習Ⅰ	2		
┗論文演習Ⅱ	2		
‣ 選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1）　研究の内容が教育研究に寄与し，オリジナリティを有すること。
2）　研究テーマが十分に絞り込まれた明確なものであること。
3）　先行研究が十分に参照され，明記されていること。引用が正確になされていること。
　　データが適切に処理されていること。
4）　論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。
5）　論文の言語表現が的確で正しいこと。また，目次，註などに関する体裁が整っていること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
教育哲学講義			2
教育哲学演習			2
教育哲学特殊講義Ⅰ			2
教育哲学特殊講義Ⅱ			2
日本教育史講義			2
日本教育史演習			2
日本教育史特殊講義Ⅰ			2
日本教育史特殊講義Ⅱ			2
教育方法学講義			2
教育方法学演習			2
教育方法学特殊講義Ⅰ			2
教育方法学特殊講義Ⅱ			2
外国教育史講義 ※1			2
外国教育史演習 ※1			2
外国教育史特殊講義Ⅰ ※1			2
外国教育史特殊講義Ⅱ ※1			2
生涯教育学講義 ※2			2
生涯教育学演習 ※2			2
生涯教育学特殊講義Ⅰ ※2			2
生涯教育学特殊講義Ⅱ ※2			2
学校臨床社会学講義			2
学校臨床社会学演習			2
学校臨床社会学特殊講義Ⅰ			2
学校臨床社会学特殊講義Ⅱ			2

※1：2017 年度まで開講　※2：2018 年度まで開講

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
学校教育学講義			2
学校教育学演習			2
学校教育学特殊講義Ⅰ			2
学校教育学特殊講義Ⅱ			2
教育社会学講義			2
教育社会学演習			2
教育社会学特殊講義Ⅰ			2
教育社会学特殊講義Ⅱ			2
国際教育学講義			2
国際教育学演習			2
国際教育学特殊講義Ⅰ			2
国際教育学特殊講義Ⅱ			2
国際教育開発学講義			2
国際教育開発学演習			2
国際教育開発学特殊講義Ⅰ			2
国際教育開発学特殊講義Ⅱ			2
SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION			2
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
（他）開発経済学研究１ ※3			2
（他）COMPARATIVE POLITICS ※4			2
（他）GLOBAL MIGRATION ※4			2
（他）HUMAN RIGHTS ※4			4

※3:国際関係論専攻開講科目

※4:グローバル社会専攻開講科目

３．履修上の注意

1）「博士前期課程の研究スケジュール（指針）」（4 月実施の教育学専攻ガイダンスで配布）に従って研究を進めること。
2）4 月の教育学専攻ガイダンスで，専攻主任から研究スケジュールの説明を受けること。その際に，希望する指導教員の名前を届け出ること。決まっていない場合は，専攻主任と相談すること。
3）担当教員の「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお，2017 年次生以降の学生については，4 科目以上合格すること。
4）同一名の授業であっても，年度によって授業内容の変わるものは，重複して履修することができ，単位として認定される。
5）1 年次の 1 月末までに，指導教員の指導の下に「博士前期課程学位論文（修士論文）作成計画書」を作成し，教育学専攻事務担当者を通じて教育学専攻主任に提出すること。
6）2 年次に指導教員の「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を必ず受講すること。
7）修士論文提出予定者は，修士論文を提出する学期の履修登録期間中に，必ず「修士論文」を登録すること。
8）2 年次の 7 月に開催される修士論文中間発表会に出席し，それまでの研究成果を発表すること。
9）2 年次の 1 月中旬の期日までに修士論文，および修士論文の要旨を教育学専攻事務担当者に提出すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHED2731	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	加藤守通		M2対象
MHED2741	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	湯川嘉津美		M2対象
MHED2751	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	上野正道		M2対象
MHED2761	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	相澤真一		M2対象
MHED2771	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	奈須正裕		M2対象
MHED2791	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	酒井朗		M2対象
MHED2801	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	杉村美紀		M2対象
MHED2811	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	小松太郎		M2対象
MHED7010	春	教育哲学講義	EDU504-81j00	2	加藤守通		後期課程科目「教育哲学上級講義」との合併科目
MHED7030	休講	教育哲学特殊講義Ⅰ	EDU505-81j00	2			
MHED7070	春	日本教育史講義	EDU507-81j00	2	湯川嘉津美		後期課程科目「日本教育史上級講義」との合併科目
MHED7090	春	日本教育史特殊講義Ⅰ	EDU508-81j00	2	*米田俊彦		
MHED7130	春	教育方法学講義	EDU522-81j00	2	奈須正裕		後期課程科目「教育方法学上級講義」との合併科目
MHED7150	春	教育方法学特殊講義Ⅰ	EDU523-81j00	2	*平野朝久		
MHED7190	春	学校臨床社会学講義	EDU501-81j00	2	酒井朗		後期課程科目「学校臨床社会学上級講義」との合併科目
MHED7210	春	学校臨床社会学特殊講義Ⅰ	EDU502-81j00	2	*田中治彦		
MHED7250	春	学校教育学講義	EDU510-81j00	2	上野正道		後期課程科目「学校教育学上級講義」との合併科目
MHED7270	春	学校教育学特殊講義Ⅰ	EDU511-81j00	2	*藤井佳世		
MHED7310	春	教育社会学講義	EDU513-81j00	2	相澤真一		後期課程科目「教育社会学上級講義」との合併科目 2019年度「教育社会学講義」は教職課程の単位対象外
MHED7510	休講	教育社会学講義	EDU513-81j00	2			
MHED7330	休講	教育社会学特殊講義Ⅰ	EDU514-81j00	2			
MHED7430	春	国際教育学講義	EDU516-81e00	2	杉村美紀	○	後期課程科目「国際教育学上級講義」との合併科目
MHED7450	集中	国際教育学特殊講義Ⅰ	EDU517-81j00	2	*趙貴花		2Q集中
MHED7490	春	国際教育開発学講義	EDU519-81e00	2	小松太郎	○	後期課程科目「国際教育開発学上級講義」との合併科目
MHED7470	休講	国際教育開発学特殊講義Ⅰ	EDU520-81j00	2			
MHED2732	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	加藤守通		M2対象
MHED2742	春	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	湯川嘉津美		M2対象
MHED2752	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	上野正道		M2対象
MHED2762	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	相澤真一		M2対象
MHED2772	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	奈須正裕		M2対象
MHED2792	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	酒井朗		M2対象
MHED2802	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	杉村美紀		M2対象
MHED2812	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	小松太郎		M2対象
MHED7020	秋	教育哲学演習	EDU602-81j00	2	加藤守通		後期課程科目「教育哲学上級演習」との合併科目
MHED7040	秋	教育哲学特殊講義Ⅱ	EDU506-81j00	2	*佐藤邦政		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHED7080	春	日本教育史演習	EDU603-81j00	2	湯　川　嘉津美		後期課程科目「日本教育史上級演習」との合併科目
MHED7100	秋	日本教育史特殊講義Ⅱ	EDU509-81j00	2	*米　田　俊　彦		
MHED7140	秋	教育方法学演習	EDU610-81j00	2	奈　須　正　裕		後期課程科目「教育方法学上級演習」との合併科目
MHED7160	秋	教育方法学特殊講義Ⅱ	EDU524-81j00	2	*佐久間　亜　紀		
MHED7200	秋	学校臨床社会学演習	EDU601-81j00	2	酒　井　　朗		後期課程科目「学校臨床社会学上級演習」との合併科目
MHED7220	休講	学校臨床社会学特殊講義Ⅱ	EDU503-81j00	2			
MHED7260	秋	学校教育学演習	EDU604-81j00	2	上　野　正　道		後期課程科目「学校教育学上級演習」との合併科目
MHED7280	秋	学校教育学特殊講義Ⅱ	EDU512-81j00	2	*黒　田　友　紀		
MHED7320	秋	教育社会学演習	EDU605-81j00	2	相　澤　真　一		後期課程科目「教育社会学上級演習」との合併科目 2019年度「教育社会学演習」は教職課程の単位対象外
MHED7520	休講	教育社会学演習	EDU605-81j00	2			
MHED7340	休講	教育社会学特殊講義Ⅱ	EDU515-81j00	2			
MHED7440	秋	国際教育学演習	EDU606-81e00	2	杉　村　美　紀	○	後期課程科目「国際教育学上級演習」との合併科目
MHED7460	休講	国際教育学特殊講義Ⅱ	EDU518-81j00	2			
MHED7500	秋	国際教育開発学演習	EDU609-81e00	2	小　松　太　郎	○	後期課程科目「国際教育開発学上級演習」との合併科目
MHED7480	秋	国際教育開発学特殊講義Ⅱ	EDU521-81e00	2	*林　　真樹子	○	
MHED7530	秋	SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU525-81e00	2	MANZON Maria	○	後期課程「ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目
MHED9491	春	修士論文	EDU699-81j00	0	教育学専攻各指導教員		M2対象，9月修了者対象
MHED9490	秋	修士論文	EDU699-81j00	0	教育学専攻各指導教員		M2対象

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
EDU599-81j00	加　藤　守　通	
	湯　川　嘉津美	
	上　野　正　道	
	相　澤　真　一	
	奈　須　正　裕	
	酒　井　　朗	
	杉　村　美　紀	
	小　松　太　郎	

教育学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	18		
授業科目			
‣ 必修科目	12		
┗論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
‣ 選択科目	6	3	
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【17 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣ 必修科目	12		
┗論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
‣ 選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣ 必修科目	12		
┗論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
‣ 選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【博士論文審査基準】

1）　研究の内容が教育研究に寄与し，オリジナリティを有すること。
2）　研究テーマが絞り込まれた明確なものであること。
3）　国内外の先行研究が網羅的に参照され，明記されていること。引用が正確になされていること。

データが適切に処理されていること。
4） 論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。
5） 論文の言語表現が的確で正しいこと。また，目次，註などに関する体裁が整っていること。
6） 当該分野における先端的研究として位置づけられ，執筆者が自立的な研究者として研究を遂行する能力を証するものであること。

2．授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育哲学上級講義			2
日本教育史上級講義			2
教育方法学上級講義			2
生涯教育学上級講義 ※1			2
学校臨床社会学上級講義			2
学校教育学上級講義			2
教育社会学上級講義			2
国際教育学上級講義			2
国際教育開発学上級講義			2

※1：2018 年度まで開講

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育哲学上級演習			2
日本教育史上級演習			2
教育方法学上級演習			2
生涯教育学上級演習 ※1			2
学校臨床社会学上級演習			2
学校教育学上級演習			2
教育社会学上級演習			2
国際教育学上級演習			2
国際教育開発学上級演習			2
ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION			2
論文演習Ⅰ（後期）	2		
論文演習Ⅱ（後期）	2		

※「論文演習Ⅰ・Ⅱ（後期）」については，毎年4単位，3年間で合計12単位を履修する。
※教育学専攻博士前期課程の選択科目は履修することができ，修得単位として認める。（p. 140～141参照のこと）

3．履修上の注意

1）「博士後期課程の研究スケジュール（指針）」（4月実施の教育学専攻ガイダンスで配布）に従って研究を進めること。
2）4 月の教育学専攻ガイダンスで，専攻主任から研究スケジュールの説明を受けること。その際に，希望する指導教授の名前を届け出ること。
3）指導教授の「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を，毎年必ず受講すること。12 単位（4 単位×3 年）を必修とする。
4）「研究指導」（必修）は，在学中毎学期登録される。なお，2017 年次生以降の学生については，6 科目以上合格すること。
5）2018 年次生以降の学生は，「上級講義」「上級演習」の各科目の中から選択科目として 3 科目 6 単位履修すること。同一名の授業であっても，年度によって授業内容の変わるものは，重複して履修することができ，単位として認定される。
6）指導教授の指導の下に，1 年次 10 月までに研究計画を立案すること。指導教授は他に 2 名の指導委員を依頼し，「指導委員会」を構成するものとする。
7）立案した研究計画をもとに，指導委員会の第一次審査を受けること。
8）第一次審査に合格した者で，2 つ以上の論文を学術雑誌に掲載又は採諾されている者は，指導教授の指示により第二次審査を申請することができる。
9）第二次審査を希望する者は，研究計画書（A4 判，枚数任意），研究業績目録（学会発表を含む），公表論文の抜き刷り 1 部を指導教授に提出すること。
10）博士論文の提出に関しては，「上智大学学位規程教育学専攻内規（課程博士）」に従って，所定の手続きをとること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DHED3011	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	加藤守通		
DHED3021	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	湯川嘉津美		
DHED3031	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	上野正道		
DHED3051	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	奈須正裕		
DHED3071	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	酒井朗		
DHED3081	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	杉村美紀		
DHED3091	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	小松太郎		
DHED7011	春	教育哲学上級講義	EDU803-81j00	2	加藤守通		前期課程科目「教育哲学講義」との合併科目
DHED7021	春	日本教育史上級講義	EDU805-81j00	2	湯川嘉津美		前期課程科目「日本教育史講義」との合併科目
DHED7031	春	教育方法学上級講義	EDU807-81j00	2	奈須正裕		前期課程科目「教育方法学講義」との合併科目
DHED7041	春	学校臨床社会学上級講義	EDU817-81j00	2	酒井朗		前期課程科目「学校臨床社会学講義」との合併科目
DHED7051	春	学校教育学上級講義	EDU809-81j00	2	上野正道		前期課程科目「学校教育学講義」との合併科目
DHED7061	春	教育社会学上級講義	EDU811-81j00	2	相澤真一		前期課程科目「教育社会学講義」との合併科目
DHED7071	春	国際教育学上級講義	EDU813-81e00	2	杉村美紀	○	前期課程科目「国際教育学講義」との合併科目
DHED7081	春	国際教育開発学上級講義	EDU815-81e00	2	小松太郎	○	前期課程科目「国際教育開発学講義」との合併科目
DHED3012	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	加藤守通		
DHED3022	春	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	湯川嘉津美		
DHED3032	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	上野正道		
DHED3052	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	奈須正裕		
DHED3072	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	酒井朗		
DHED3082	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	杉村美紀		
DHED3092	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	小松太郎		
DHED7012	秋	教育哲学上級演習	EDU804-81j00	2	加藤守通		前期課程科目「教育哲学演習」との合併科目
DHED7022	春	日本教育史上級演習	EDU806-81j00	2	湯川嘉津美		前期課程科目「日本教育史演習」との合併科目
DHED7032	秋	教育方法学上級演習	EDU808-81j00	2	奈須正裕		前期課程科目「教育方法学演習」との合併科目
DHED7042	秋	学校臨床社会学上級演習	EDU818-81j00	2	酒井朗		前期課程科目「学校臨床社会学演習」との合併科目
DHED7052	秋	学校教育学上級演習	EDU810-81j00	2	上野正道		前期課程科目「学校教育学演習」との合併科目
DHED7062	秋	教育社会学上級演習	EDU812-81j00	2	相澤真一		前期課程科目「教育社会学演習」との合併科目
DHED7072	秋	国際教育学上級演習	EDU814-81e00	2	杉村美紀	○	前期課程科目「国際教育学演習」との合併科目
DHED7082	秋	国際教育開発学上級演習	EDU816-81e00	2	小松太郎	○	前期課程科目「国際教育開発学演習」との合併科目
DHED7092	秋	ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU819-81e00	2	MANZON Maria	○	前期課程科目「SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
EDU899-81j00	加　藤　守　通	
	湯　川　嘉津美	
	上　野　正　道	
	奈　須　正　裕	
	酒　井　　朗	
	杉　村　美　紀	
	小　松　太　郎	

心理学専攻　博士前期課程　基礎心理学コース

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
‣必修科目	8		
┗論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
‣選択必修科目	8		
‣選択科目	18		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
‣必修科目	8		
┗論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
‣選択必修科目	8		
‣選択科目	18		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1）　問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
2）　先行研究の理解：先行研究を適切に検討，吟味していること。
3）　研究方法・分析方法：研究目的に対し，研究方法等が適切であること。
4）　論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。
5）　研究の位置づけ：当該分野，領域における社会的・学術的な意義が認められること。

6）　倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会，大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
7）　形式面：以下の形式面が整っていること。
　1．章・節の構成が適切であり，目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
　2．文章が明快で，論旨が明確に理解可能であること。
　3．引用が適切で，引用文献表がきちんと整えられていること。
　4．論文，引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

2．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
人間関係特論 ※注3		2	
人間関係特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）		2	
福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）			2
司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）			2

※注1：言語学専攻開講科目
※注2：社会福祉学専攻開講科目
※注3：2017年度まで開講

科　目　名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
心理学研究法演習			2
心理学各論特殊研究 ※注3		2	
心理統計法特論			2
グループ・アプローチ特論			2
教育臨床特論 ※注3			2
教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）			2
産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）			2
心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
（他）失語・高次脳機能障害学特論Ａ※注1		2	
（他）失語・高次脳機能障害学特論Ｂ※注1		2	
（他）言語障害研究特殊講義Ｆ（学習障害）※注1		2	
（他）臨床医学特論Ｄ（神経系の基礎と病態・内科学）※注1			2
（他）臨床医学特論Ｅ（発達障害医学・脳性麻痺）※注1			2
（他）言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）※注1			2
（他）児童福祉学 ※注2		2	
（他）精神保健福祉研究 ※注2		2	
（他）コミュニティーオーガニゼーション研究 ※注2		2	

3．履修上の注意

下記に従って合計34単位以上を修得し，指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
○　全ての科目は繰り返し履修することが可能であり，修了に必要な単位として認められる。
1）必修8単位：「論文演習Ⅰ（前期）」及び「論文演習Ⅱ（前期）」をそれぞれ2年間履修する。
2）「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお，2017年次生以降の学生については，4科目以上合格すること。
3）選択必修8単位：指導教員の指定する科目を履修する（選択必修科目の余剰単位は，選択科目の単位に充当することができる）。
4）選択18単位
5）在学中，臨床心理学コースへのコース変更は認められない。また，以下の科目は臨床心理学コース対象科目のため，履修できない。

【臨床心理学コース対象科目】

臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ，臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践），臨床心理面接特論Ⅱ，臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践），臨床心理査定演習Ⅱ，臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ，臨床心理実習Ⅰ，臨床心理実習Ⅱ，臨床心理学研究法演習，精神医学特殊研究（保健医療分野に関する理論と支援の展開），認知行動療法特殊研究，精神分析特殊研究，臨床人格心理学特殊研究，臨床心理学特殊実習Ⅰ・Ⅱ（心理実践実習）

6）「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は，各学期初めに専攻主任に届出し，承認を得た後に履修することができる。

7）「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は，あらかじめ指導教員と相談すること。

8）学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明，およびガイダンス資料に十分留意し，ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進めること。

9）不明な点は指導教員と相談の上，履修を行うこと。

10）前期課程在籍者で，やむをえず 9 月修了を希望する者は，修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書（書式は自由）を専攻主任に提出し，専攻会議の承認を受けること。

11）修士論文提出予定者は，2 年次に，4 月に開催される修士論文中間発表会に出席し，それまでの研究成果と今後の計画を発表すること。

12）毎年度末に，専攻の定める「研究報告書」を提出すること。

【同一科目対照表】

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後		
科目名	開講年度	科目名	開講年度	備考
人間関係特論	～2017	人間関係特論 （家族関係・集団･地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2018～	選択必修
教育臨床特論	～2017	教育臨床特論 （教育分野に関する理論と支援の展開）	2018～	選択

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MHPS1311	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	岡田　隆		
MHPS1321	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	毛利伊吹		
MHPS1331	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	齋藤慈子		
MHPS1341	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	吾妻　壮		
MHPS1351	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	道又　爾		
MHPS1361	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	松田　修		
MHPS1371	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	久田　満		
MHPS1381	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	横山恭子		
MHPS1391	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	廣瀬英子		
MHPS1401	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	吉村　聡		
MHPS1421	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	樋口匡貴		
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究Ⅰ	PSY523-82j00	2	廣瀬英子		後期課程「心理測定学上級研究」との合併科目
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究Ⅰ	PSY525-82j00	2	道又　爾		後期課程「認知心理学上級研究」との合併科目
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究Ⅰ	PSY529-82j00	2	岡田　隆		
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究Ⅰ	PSY531-82j00	2	齋藤慈子		
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究Ⅰ	PSY533-82j00	2	樋口匡貴		後期課程「社会心理学上級研究」との合併科目
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY536-82j00	2	久田　満		後期課程「コミュニティ心理学上級研究」との合併科目
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY553-82j00	2	岡田　隆 樋口匡貴 齋藤慈子		後期課程「心理学研究法上級研究」との合併科目
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY541-82j00	2	＊萩生田伸子		
MHPS7420	春	グループ・アプローチ特論	PSY542-82j00	2	＊大沼幸子		
MHPS7430	春	心理学基礎実習Ⅰ	PSY551-82j00	1	久田　満		
MHPS7450	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	岡田　隆		
MHPS7510	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	齋藤慈子		
MHPS7550	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	道又　爾		
MHPS7630	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	廣瀬英子		
MHPS7700	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	樋口匡貴		
MHPS7810	春	教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	PSY545-82j00	2	＊伊東孝郎		
MHPS7830	集中	産業心理学特論（産業･労働分野に関する理論と支援の展開）	PSY593-82j00	2	＊大塚泰正他		輪講，2Q集中
MHPS7840	集中	心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）	PSY591-82j00	2	＊飯田敏晴		2Q集中
MHPS9830	春	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	岡田　隆		
MHPS1322	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	毛利伊吹		
MHPS1332	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	齋藤慈子		
MHPS1342	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吾妻　壮		
MHPS1352	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	道又　爾		
MHPS1362	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	松田　修		
MHPS1372	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	久田　満		
MHPS1382	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	横山恭子		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	廣　瀬　英　子		
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吉　村　　聡		
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	樋　口　匡　貴		
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY524-82j00	2	廣　瀬　英　子		「心理測定学特殊研究Ⅰ」を履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究Ⅱ	PSY526-82j00	2	道　又　　爾		
MHPS6300	秋	生理心理学特殊研究Ⅱ	PSY530-82e00	2	岡　田　　隆	○	後期課程「生理心理学上級研究」との合併科目
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY532-82j00	2	齋　藤　慈　子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6340	秋	社会心理学特殊研究Ⅱ	PSY534-82e00	2	樋　口　匡　貴	○	
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY535-82j00	2	松　田　　修		後期課程「老年心理学上級研究」との合併科目
MHPS6380	秋	人間関係特論(家族関係･集団･地域社会における心理支援に関する理論と実践)	PSY538-82j00	2	＊黒　沢　幸　子		
MHPS6390	秋	福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	PSY592-82j00	2	＊河　合　美　子		
MHPS6400	秋	司法･犯罪心理学特論（司法･犯罪分野に関する理論と支援の展開）	PSY594-82j00	2	＊室　城　隆　之		
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY552-82j00	1	廣　瀬　英　子		
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	岡　田　　隆		
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	齋　藤　慈　子		
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	道　又　　爾		
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	廣　瀬　英　子		
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	樋　口　匡　貴		
MHPS9820	秋	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY599-82j00	岡　田　　隆	
	毛　利　伊　吹	
	齋　藤　慈　子	
	吾　妻　　壮	
	道　又　　爾	
	松　田　　修	
	久　田　　満	
	横　山　恭　子	
	廣　瀬　英　子	
	吉　村　　聡	
	樋　口　匡　貴	

心理学専攻　博士前期課程　臨床心理学コース

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【19 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
‣必修科目	24		
┗論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗臨床心理学特論Ⅰ	2		
┗臨床心理学特論Ⅱ	2		
┗臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2		
┗臨床心理面接特論Ⅱ	2		
┗臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2		
┗臨床心理査定演習Ⅱ	2		
┗臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
┗臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
┗臨床心理実習Ⅰ	1		
┗臨床心理実習Ⅱ	1		
‣選択必修科目	10		
┗Ａ群	2		
┗Ｂ群	2		
┗Ｃ群	2		
┗Ｄ群	2		
┗Ｅ群	2		
‣選択科目			
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【18 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
‣必修科目	24		
┗論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗臨床心理学特論Ⅰ	2		
┗臨床心理学特論Ⅱ	2		
┗臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2		
┗臨床心理面接特論Ⅱ	2		
┗臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2		
┗臨床心理査定演習Ⅱ	2		
┗臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
┗臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
┗臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	1		
┗臨床心理実習Ⅱ	1		
‣選択必修科目	10		
┗Ａ群	2		
┗Ｂ群	2		
┗Ｃ群	2		
┗Ｄ群	2		
┗Ｅ群	2		
‣選択科目			
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【17 年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
‣必修科目	24		
┗論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗臨床心理学特論Ⅰ	2		
┗臨床心理学特論Ⅱ	2		
┗臨床心理面接特論Ⅰ	2		
┗臨床心理面接特論Ⅱ	2		
┗臨床心理査定演習Ⅰ	2		
┗臨床心理査定演習Ⅱ	2		
┗臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
┗臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
┗臨床心理実習Ⅰ	1		
┗臨床心理実習Ⅱ	1		
‣選択必修科目	10		
┗Ａ群	2		
┗Ｂ群	2		
┗Ｃ群	2		
┗Ｄ群	2		
┗Ｅ群	2		
‣選択科目			
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16 年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
‣必修科目	24		
┗論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
┗臨床心理学特論Ⅰ	2		
┗臨床心理学特論Ⅱ	2		
┗臨床心理面接特論Ⅰ	2		
┗臨床心理面接特論Ⅱ	2		
┗臨床心理査定演習Ⅰ	2		
┗臨床心理査定演習Ⅱ	2		
┗臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
┗臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
┗臨床心理実習Ⅰ	1		
┗臨床心理実習Ⅱ	1		
‣選択必修科目	10		
┗Ａ群	2		
┗Ｂ群	2		
┗Ｃ群	2		
┗Ｄ群	2		
┗Ｅ群	2		
‣選択科目			
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1） 問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
2） 先行研究の理解：先行研究を適切に検討，吟味していること。
3） 研究方法：研究目的に対し，研究方法等が適切であること。
4） 論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。
5） 研究の位置づけ：当該分野，領域における社会的・学術的な意義が認められること。
6） 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会，大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
7） 形式面：以下の形式面が整っていること。
　1）章・節の構成が適切であり，目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
　2）文章が明快で，論旨が明確に理解可能であること。
　3）引用が適切で，引用文献表がきちんと整えられていること。
　4）論文，引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

2．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
臨床心理学特論Ⅰ　※注5	2		
臨床心理学特論Ⅱ　※注5	2		
臨床心理面接特論Ⅰ　※注3, 5	2		
臨床心理面接特論Ⅰ （心理支援に関する理論と実践）　※注5	2		
臨床心理面接特論Ⅱ　※注5	2		
臨床心理査定演習Ⅰ　※注3, 5	2		
臨床心理査定演習Ⅰ （心理的アセスメントに関する理論と実践）※注5	2		
臨床心理査定演習Ⅱ　※注5	2		
臨床心理基礎実習Ⅰ　※注5	1		
臨床心理基礎実習Ⅱ　※注5	1		
臨床心理実習Ⅰ　※注5	1		
臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習） ※注4, 5	1		
臨床心理実習Ⅱ　※注5	1		
＜Ａ群＞			
心理学研究法演習		2	
臨床心理学研究法演習　※注5		2	
＜Ｂ群＞			
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
＜Ｃ群＞			
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
人間関係特論　※注3		2	
人間関係特論（家族関係・集団･地域社会における心理支援に関する理論と実践）		2	
福祉心理学特論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）		2	
司法･犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）		2	
（他）精神保健福祉研究　※注2		2	

科　目　名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜Ｄ群＞			
精神医学特殊研究　※注3, 5		2	
精神医学特殊研究（保健医療分野に関する理論と支援の展開）　※注5		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
（他）失語・高次脳機能障害学特論Ａ　※注1		2	
（他）失語・高次脳機能障害学特論Ｂ　※注1		2	
（他）言語障害研究特殊講義Ｆ（学習障害）※注1		2	
＜Ｅ群＞			
臨床心理学特殊研究　※注3, 5		2	
認知行動療法特殊研究　※注5		2	
精神分析特殊研究　※注5		2	
グループ・アプローチ特論		2	
臨床人格心理学特殊研究　※注5		2	
＜選択科目＞			
心理学各論特殊研究　※注3			2
心理統計法特論			2
教育臨床特論　※注3			2
教育臨床特論 （教育分野に関する理論と支援の展開）			2
産業心理学特論 （産業・労働分野に関する理論と支援の展開）			2
心の健康教育特論 （心の健康教育に関する理論と実践）			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
臨床心理学特殊実習Ⅰ（心理実践実習）※注5			1
臨床心理学特殊実習Ⅱ（心理実践実習）※注5			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
（他）臨床医学特論Ｄ（神経系の基礎と病態・内科学）※注1			2
（他）臨床医学特論Ｅ（発達障害医学・脳性麻痺）※注1			2
（他）言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）※注1			2
（他）児童福祉学　※注2			2
（他）コミュニティーオーガニゼーション研究　※注2			2

※注１：言語学専攻開講科目
※注２：社会福祉学専攻開講科目
※注３：2017 年度まで開講
※注４：2018 年度のみ開講
※注５：臨床心理学コースに在籍していない学生の履修は認められない

３．履修上の注意

下記に従って合計 34 単位以上を修得し，指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○　全ての科目は繰り返し履修することが可能であり，修了に必要な単位として認められる。

１）必修 24 単位：「論文演習Ⅰ（前期）」及び「論文演習Ⅱ（前期）」はそれぞれ 2 年間履修する。(8 単位)

２）「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお，2017 年次生以降の学生については，4 科目以上合格すること。

３）選択必修科目 10 単位：A～E の各群からそれぞれ 2 単位以上ずつ履修する。

４）「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は，学年初めに専攻主任に届出し，承認を得た後に履修することができる。

５）「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は，あらかじめ指導教員と相談すること。

６）学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明，およびガイダンス資料に十分留意し，ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進めること。

７）不明な点等は指導教員と相談の上，履修を行うこと。

８）前期課程在籍者で，やむをえず 9 月修了を希望する者は，修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書（書式は自由）を専攻主任に提出し，専攻会議の承認を受けること。特に臨床心理学コースの場合は臨床実習等において実務上の問題を引き起こす可能性があるため，事前に相談室長の了解を得ておくこと。

９）他専攻や他コースに在学中の者が，臨床心理学コースに編入することは認められない。

10）在学中，基礎心理学コースへのコース変更は認められない。

11）修士論文提出予定者は，2 年次に，4 月に開催される修士論文中間発表会に出席し，それまでの研究成果と今後の計画を発表すること。

12）毎年度末に，専攻の定める「研究報告書」を提出すること。

【同一科目対照表】

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後		
科目名	開講年度	科目名	開講年度	備考
臨床心理面接特論Ⅰ	～2017	臨床心理面接特論Ⅰ （心理支援に関する理論と実践）	2018～	必修
臨床心理査定演習Ⅰ	～2017	臨床心理査定演習Ⅰ （心理的アセスメントに関する理論と実践）	2018～	必修
臨床心理実習（心理実践実習）	～2018	臨床心理実習Ⅰ	2019～	必修
人間関係特論	～2017	人間関係特論 （家族関係・集団･地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2018～	選択必修
精神医学特殊研究	～2017	精神医学特殊研究 （保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2018～	選択必修
教育臨床特論	～2017	教育臨床特論 （教育分野に関する理論と支援の展開）	2018～	選択

【公認心理師の受験に必要な科目について】

18年次生以降

公認心理師試験を受験するには，次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は下欄の通りである。

	公認心理師指定科目	左記に対応する本学授業科目	備考
①	保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特殊研究(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	
②	福祉分野に関する理論と支援の展開	福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	
③	教育分野に関する理論と支援の展開	教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	
④	司法･犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法･犯罪心理学特論（司法･犯罪分野に関する理論と支援の展開）	
⑤	産業･労働分野に関する理論と支援の展開	産業心理学特論（産業･労働分野に関する理論と支援の展開）	
⑥	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	
⑦	心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	
⑧	家族関係･集団･地域社会における心理支援に関する理論と実践	人間関係特論（家族関係・集団･地域社会における心理支援に関する理論と実践）	
⑨	心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）	
⑩	心理実践実習	臨床心理学特殊実習Ⅰ，Ⅱ（心理実践実習）	

17年次生以前

公認心理師試験を受験するには，次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は下欄の通りである。

分類		公認心理師科目	左記に対応する本学授業科目	備考
Ⅰ	①	保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特殊研究 （保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2018 年度開講
			精神医学特殊研究	2017 年度開講分まで
			生理心理学特殊研究Ⅰ	2017 年度開講分まで
			生理心理学特殊研究Ⅱ	2017 年度開講分まで
			失語・高次脳機能障害特論 A	言語学専攻 2017 年度開講分まで
			失語・高次脳機能障害特論 B	言語学専攻 2017 年度開講分まで
			臨床医学特論 D（神経系の基礎と病態・内科学）	言語学専攻 2017 年度開講分まで
			臨床医学特論 E（発達障害医学・脳性麻痺）	言語学専攻 2017 年度開講分まで
			言語聴覚病理学特論 （医学概論・解剖学・生理学・病理学）	言語学専攻 2017 年度開講分まで

分類		公認心理師科目	左記に対応する本学授業科目	備考
Ⅰ	②	福祉分野に関する理論と支援の展開	福祉心理学特論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）	2018 年度開講
			老年心理学特殊研究	2017 年度開講分まで
			コミュニティ心理学特殊研究	2017 年度開講分まで
			発達心理学特殊研究Ⅱ	2017 年度開講分まで
			精神保健福祉研究	社会福祉学専攻 2017 年度開講分まで
			児童福祉学	社会福祉学専攻 2017 年度開講分まで
	③	教育分野に関する理論と支援の展開	教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2018 年度開講
			教育臨床特論	2017 年度開講分まで
			発達心理学特殊研究Ⅰ	2017 年度開講分まで
			言語障害研究特殊講義Ｆ（学習障害）	言語学専攻 2017 年度開講分まで
	④	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法・犯罪心理学特論 （司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2018 年度開講
	⑤	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業心理学特論 （産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2018 年度開講
Ⅱ	⑥	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ （心理的アセスメントに関する理論と実践）	2018 年度開講
			臨床心理査定演習Ⅰ	2017 年度開講分まで
			臨床心理査定演習Ⅱ	2017 年度開講分まで
			臨床人格心理学特殊研究	2017 年度開講分まで
	⑦	心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2018 年度開講
			臨床心理面接特論Ⅰ	2017 年度開講分まで
			臨床心理面接特論Ⅱ	2017 年度開講分まで
			臨床心理学特殊研究	2017 年度開講分まで
			精神分析特殊研究	2017 年度開講分まで
			認知行動療法特殊研究	2017 年度開講分まで
	⑧	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	人間関係特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2018 年度開講
			人間関係特論	2017 年度開講分まで
			グループ・アプローチ特論	2017 年度開講分まで
	⑨	心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育特論 （心の健康教育に関する理論と実践）	2018 年度開講
Ⅲ	⑩	心理実践実習	臨床心理学特殊実習Ⅰ（心理実践実習）	2019 年度開講
			臨床心理学特殊実習Ⅱ（心理実践実習）	2019 年度開講
			臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	2018 年度開講分まで
			臨床心理実習Ⅰ	2017 年度開講分まで
			臨床心理実習Ⅱ	2017 年度開講分まで

2017 年次生以前は経過措置として公認心理師受験資格が認められる。
その際に必要な科目数は以下の通り。
・分類Ⅰ： ①を含め，①～⑤から３科目以上を修める
・分類Ⅱ： ⑥～⑨から，２科目以上を修める
・分類Ⅲ： ⑩を修める（実習の時間数は問わない）

※注意
例えば，②の「精神保健福祉研究」と「老年心理学特殊研究」の両方を修めても２科目とは数えず，「②福祉分野に関する理論と支援の展開」１科目と数える。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHPS1311	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	岡田　隆		
MHPS1321	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	毛利伊吹		
MHPS1331	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	齋藤慈子		
MHPS1341	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	吾妻　壮		
MHPS1351	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	道又　爾		
MHPS1361	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	松田　修		
MHPS1371	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	久田　満		
MHPS1381	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	横山恭子		
MHPS1391	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	廣瀬英子		
MHPS1401	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	吉村　聡		
MHPS1421	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	樋口匡貴		
MHPS1810	秋	臨床心理学特論Ⅰ	PSY511-82j00	2	毛利伊吹		
MHPS1820	春	臨床心理学特論Ⅱ	PSY512-82j00	2	松田　修		
MHPS1830	春	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	PSY513-82j00	2	毛利伊吹		
MHPS1840	春	臨床心理面接特論Ⅱ	PSY514-82j00	2	吉村　聡		
MHPS1850	春	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	PSY515-82j00	2	吉村　聡 松田　修		輪講
MHPS1870	春	臨床心理基礎実習Ⅰ	PSY517-82j00	1	毛利伊吹 松田　修 *藤山直樹		複数同時担当
MHPS2770	春	臨床心理実習Ⅰ	PSY619-82j00	1	横山恭子 吾妻　壮 吉村　聡		複数同時担当
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究Ⅰ	PSY523-82j00	2	廣瀬英子		後期課程「心理測定学上級研究」との合併科目
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究Ⅰ	PSY525-82j00	2	道又　爾		後期課程「認知心理学上級研究」との合併科目
MHPS6270	春	精神医学特殊研究（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	PSY527-82j00	2	吾妻　壮		
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究Ⅰ	PSY529-82j00	2	岡田　隆		
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究Ⅰ	PSY531-82j00	2	齋藤慈子		
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究Ⅰ	PSY533-82j00	2	樋口匡貴		後期課程「社会心理学上級研究」との合併科目
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY536-82j00	2	久田　満		後期課程「コミュニティ心理学上級研究」との合併科目
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY553-82j00	2	岡田　隆 樋口匡貴 齋藤慈子		後期課程「心理学研究法上級研究」との合併科目
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY541-82j00	2	＊萩生田伸子		
MHPS7420	春	グループ・アプローチ特論	PSY542-82j00	2	＊大沼幸子		
MHPS7430	春	心理学基礎実習Ⅰ	PSY551-82j00	1	久田　満		
MHPS7450	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	岡田　隆		
MHPS7510	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	齋藤慈子		
MHPS7550	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	道又　爾		
MHPS7630	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	廣瀬英子		
MHPS7700	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	樋口匡貴		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHPS7720	春	臨床心理学特殊実習Ⅰ （心理実践実習）	PSY595-82j00	1	毛利伊吹他		
MHPS7810	春	教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	PSY545-82j00	2	＊伊東孝郎		
MHPS7830	集中	産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	PSY593-82j00	2	＊大塚泰正他		輪講，2Q集中
MHPS7840	集中	心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）	PSY591-82j00	2	＊飯田敏晴		2Q集中
MHPS9830	春	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	岡田　隆		
MHPS1322	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	毛利伊吹		
MHPS1332	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	齋藤慈子		
MHPS1342	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吾妻　壮		
MHPS1352	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	道又　爾		
MHPS1362	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	松田　修		
MHPS1372	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	久田　満		
MHPS1382	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	横山恭子		
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	廣瀬英子		
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吉村　聡		
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	樋口匡貴		
MHPS1860	秋	臨床心理査定演習Ⅱ	PSY516-82j00	2	吉村　聡		
MHPS1880	秋	臨床心理基礎実習Ⅱ	PSY518-82j00	1	毛利伊吹 松田　修 ＊藤山直樹		複数同時担当
MHPS2780	秋	臨床心理実習Ⅱ	PSY620-82j00	1	吉村　聡 横山恭子 吾妻　壮		複数同時担当
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY524-82j00	2	廣瀬英子		「心理測定学特殊研究Ⅰ」を履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究Ⅱ	PSY526-82j00	2	道又　爾		
MHPS6300	秋	生理心理学特殊研究Ⅱ	PSY530-82e00	2	岡田　隆	○	後期課程「生理心理学上級研究」との合併科目
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY532-82j00	2	齋藤慈子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6340	秋	社会心理学特殊研究Ⅱ	PSY534-82e00	2	樋口匡貴	○	
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY535-82j00	2	松田　修		後期課程「老年心理学上級研究」との合併科目
MHPS6370	秋	臨床人格心理学特殊研究	PSY537-82j00	2	吉村　聡		後期課程「臨床人格心理学上級研究」との合併科目
MHPS6380	秋	人間関係特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	PSY538-82j00	2	＊黒沢幸子		
MHPS6390	秋	福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	PSY592-82j00	2	＊河合美子		
MHPS6400	秋	司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	PSY594-82j00	2	＊室城隆之		
MHPS6790	秋	臨床心理学研究法演習	PSY554-82j00	2	吉村　聡		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHPS6810	秋	認知行動療法特殊研究	PSY543-82j00	2	毛利伊吹		後期課程「認知行動療法上級研究」との合併科目
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY552-82j00	1	廣瀬英子		
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	岡田隆		
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	齋藤慈子		
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	道又爾		
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	廣瀬英子		
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	樋口匡貴		
MHPS7730	秋	臨床心理学特殊実習Ⅱ （心理実践実習）	PSY596-82j00	1	吉村聡 他		
MHPS6280	秋	精神分析特殊研究	PSY544-82j00	2	吾妻壮		後期課程「精神分析上級研究」との合併科目
MHPS9820	秋	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY599-82j00	岡田隆	
	毛利伊吹	
	齋藤慈子	
	吾妻壮	
	道又爾	
	松田修	
	久田満	
	横山恭子	
	廣瀬英子	
	吉村聡	
	樋口匡貴	

心理学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	18		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
‣選択科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【17年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【11～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
┗論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
‣選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【10年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
‣必修科目	12		
┗論文指導演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
┗論文指導演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
‣選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として研究を継続遂行し，当該分野・領域の研究において，将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有することが認められること。

1） 問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
2） 先行研究の理解：先行研究を適切に検討，吟味していること。
3） 研究方法・分析方法：研究目的に対し，研究方法等が適切であること。
4） 論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。
5） 研究の位置づけ：当該分野，領域における社会的・学術的な意義が認められること。
6） 独創性：全体を通して学術的独創性が認められること。
7） 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会，大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
8） 形式面：以下の形式面が整っていること。
　1）章・節の構成が適切であり，目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
　2）文章が明快で，論旨が明確に理解可能であること。
　3）引用が適切で，引用文献表がきちんと整えられていること。
　4）論文，引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

なお，博士論文に関しては，心理学専攻博士論文内規に基づき，専攻における構想発表会を経たものであること（心理学専攻内規を参照）。

２．授業科目の編成・単位

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
論文指導演習Ⅰ（後期）※注1	2		
論文指導演習Ⅱ（後期）※注1	2		
論文演習Ⅰ（後期）※注2	2		
論文演習Ⅱ（後期）※注2	2		
認知心理学上級研究			2
社会心理学上級研究			2
コミュニティ心理学上級研究			2
心理測定学上級研究			2
心理学研究法上級研究			2
発達心理学上級研究			2
老年心理学上級研究			2
認知行動療法上級研究			2
精神分析上級研究			2
生理心理学上級研究			2
臨床人格心理学上級研究			2

※注1：10年次生以前対象
※注2：11年次生以降対象

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
がん医療心理学演習Ⅰ			1
がんチーム医療演習Ⅰ			1
がん医療心理学特殊講義Ⅰ			1
がん医療心理学実習Ⅰ			1
がん医療心理学演習Ⅱ			1
がんチーム医療演習Ⅱ			1
がん医療心理学特殊講義Ⅱ			1
がん医療心理学実習Ⅱ			1

３．履修上の注意

下記に従って 12 単位以上（18 年次生以降は 18 単位以上）を修得し，指導教員の指導のもとに博士論文を作成・提出することが必要である。

必修 12 単位：11 年次生以降は「論文演習Ⅰ（後期）」及び「論文演習Ⅱ（後期）」を，10 年次生以前は「論文指導演習Ⅰ（後期）」及び「論文指導演習Ⅱ（後期）」を 3 年間履修する。

選択 6 単位：18 年次生以降は，選択科目群の中から，6 単位以上の履修が求められる。なお，履修にあたっては，あらかじめ指導教員と相談すること。

○　全ての科目は繰り返し履修することが可能であり，修了に必要な単位として認められる。

１）11 年次生以降の学生については，「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお，2017 年次生以降の学生については，6 科目以上合格すること。

２）博士前期課程開講の「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は，学年初めに専攻主任に届出し，承認を得た後に履修することができる。

３）博士前期課程開講の「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は，あらかじめ指導教員と相談すること。

４）博士後期課程にあって博士論文未提出に終わる場合には，3 年次の大学院（満期）修了時に，後期課程における研究報告書を専攻に提出すること。報告書は，心理学専攻修了者研究報告集の書式に従い（4000 字程度，報告書 2 ページ分），在籍中の研究成果（学会発表の内容等）を具体的に盛り込むこと。なお，学会誌発表あるいはそれに準ずる論文がある場合は，業績一覧（2000 字程度，報告書 1 ページ分）をもって研究報告書に代えることができる。業績一覧の書式，内容については，専攻に問い合わせること。

５）年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明，およびガイダンス資料に十分留意し，ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進め，博士号の取得を目指すこと。

６）不明な点は指導教員と相談の上，履修を行うこと。

７）毎年度末に，専攻の定める「研究報告書」を提出すること。

８）博士論文提出者は，審査願提出時に 2 編以上の研究論文が学術誌に掲載されていること（掲載決定を含む）。提出に際しては，心理学専攻の定める「学位（博士）論文の審査手続きに関する内規」に従って，所定の手続きをとること。

〔がん医療心理学関連科目〕

2013 年度より開設された 4 大学院の連携授業（「がん医療心理学演習Ⅰ」，「がん医療心理学特殊講義Ⅰ」など）について，8 単位以上を取得したときに，修了認定証が与えられる。なお，履修に際しては，講義，演習，実習，ワークショップの異なる種別の科目を履修することが望ましい。詳細は専攻主任に確認すること。また，これらの科目の履修にあたっては，あらかじめ専攻主任に相談すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHPS3010	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	岡田　隆		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3030	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	毛利伊吹		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3070	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	齋藤慈子		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3090	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	吾妻　壮		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3110	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	道又　爾		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3130	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	松田　修		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3150	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	久田　満		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3170	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	横山恭子		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3190	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	廣瀬英子		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3210	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	吉村　聡		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3250	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY801-82j00	2	樋口匡貴		10年次生以前対象,「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3311	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	岡田　隆		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3321	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	毛利伊吹		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3331	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	齋藤慈子		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3341	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	吾妻　壮		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3351	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	道又　爾		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3361	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	松田　修		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3371	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	久田　満		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3381	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	横山恭子		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3391	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	廣瀬英子		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3401	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	吉村　聡		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3421	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	樋口匡貴		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS7000	春	認知心理学上級研究	PSY833-82j00	2	道又　爾		コースワーク対象科目,前期課程「認知心理学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7010	春	社会心理学上級研究	PSY838-82j00	2	樋口匡貴		コースワーク対象科目,前期課程「社会心理学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7020	春	コミュニティ心理学上級研究	PSY835-82j00	2	久田　満		コースワーク対象科目,前期課程「コミュニティ心理学特殊研究」と合併
DHPS7030	春	心理測定学上級研究	PSY836-82j00	2	廣瀬英子		コースワーク対象科目,前期課程「心理測定学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7040	春	心理学研究法上級研究	PSY840-82j00	2	岡田　隆 樋口匡貴 齋藤慈子		コースワーク対象科目,前期課程「心理学研究法演習」と合併
DHPS3510	集中	がん医療心理学演習Ⅰ	PSY821-82j00	1	心理学専攻教員 他		輪講，コースワーク対象科目，4大学院の連携授業,春学期集中
DHPS3530	春	がん医療心理学特殊講義Ⅰ	PSY825-82j00	1	心理学専攻教員 他		輪講，コースワーク対象科目，4大学院の連携授業
DHPS3520	春	がんチーム医療演習Ⅰ	PSY823-82j00	1	心理学専攻教員 他		輪講，コースワーク対象科目，4大学院の連携授業
DHPS3540	春	がん医療心理学実習Ⅰ	PSY827-82j00	1	心理学専攻教員 他		輪講，コースワーク対象科目，4大学院の連携授業
DHPS3020	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	岡田　隆		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3040	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	毛利伊吹		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3080	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	齋藤慈子		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3100	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	吾妻　壮		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3120	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	道又　爾		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3140	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	松田　修		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
DHPS3160	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	久田　満		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3180	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	横山恭子		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3200	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	廣瀬英子		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3220	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	吉村　聡		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3260	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY802-82j00	2	樋口匡貴		10年次生以前対象,「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3312	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	岡田　隆		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3322	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	毛利伊吹		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3332	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	齋藤慈子		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3342	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	吾妻　壮		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3352	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	道又　爾		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3362	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	松田　修		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3372	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	久田　満		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3382	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	横山恭子		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3392	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	廣瀬英子		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3402	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	吉村　聡		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3422	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	樋口匡貴		11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS7050	秋	発達心理学上級研究	PSY839-82j00	2	齋藤慈子		コースワーク対象科目,前期課程「発達心理学特殊研究Ⅱ」と合併
DHPS7060	秋	老年心理学上級研究	PSY834-82j00	2	松田　修		コースワーク対象科目,前期課程「老年心理学特殊研究」と合併
DHPS7070	秋	認知行動療法上級研究	PSY831-82j00	2	毛利伊吹		コースワーク対象科目,前期課程「認知行動療法特殊研究」と合併
DHPS7080	秋	精神分析上級研究	PSY832-82j00	2	吾妻　壮		コースワーク対象科目,前期課程「精神分析特殊研究」と合併
DHPS7090	秋	生理心理学上級研究	PSY830-82e00	2	岡田　隆	○	コースワーク対象科目,前期課程「生理心理学特殊研究Ⅱ」と合併
DHPS7100	秋	臨床人格心理学上級研究	PSY837-82j00	2	吉村　聡		コースワーク対象科目,前期課程「臨床人格心理学特殊研究」と合併
DHPS3511	集中	がん医療心理学演習Ⅱ	PSY822-82j00	1	心理学専攻教員 他		輪講，コースワーク対象科目，4大学院の連携授業,秋学期集中
DHPS3531	秋	がん医療心理学特殊講義Ⅱ	PSY826-82j00	1	心理学専攻教員 他		輪講，コースワーク対象科目，4大学院の連携授業
DHPS3521	秋	がんチーム医療演習Ⅱ	PSY824-82j00	1	心理学専攻教員 他		輪講，コースワーク対象科目，4大学院の連携授業
DHPS3541	秋	がん医療心理学実習Ⅱ	PSY828-82j00	1	心理学専攻教員 他		輪講，コースワーク対象科目，4大学院の連携授業

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY899-82j00	岡　田　　隆	
	毛　利　伊　吹	
	齋　藤　慈　子	
	吾　妻　　壮	
	道　又　　爾	
	松　田　　修	
	久　田　　満	
	横　山　恭　子	
	廣　瀬　英　子	
	吉　村　　聡	
	樋　口　匡　貴	

社会学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	8		
┗社会学理論	2		
┗社会学方法論	2		
┗論文演習Ⅰ	2		
┗論文演習Ⅱ	2		
‣選択科目	22		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること） 修士論文の審査基準は別に定める

【修士論文審査基準】

１）　明確な問題意識により課題設定がなされていること。
２）　論文全体が的確に構成され，整合的で一貫した論理展開がなされていること。
３）　研究対象分野における既存の研究成果が適切に検討・理解されていること。
４）　当該分野に関する知識の向上に対して何らかの貢献が行われていること。
５）　文章表現が明快であること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
社会学理論	2		
社会学方法論	2		
比較雇用関係論Ⅰ			2
比較雇用関係論Ⅱ			2
地域社会論特講Ⅰ			2
地域社会論特講Ⅱ			2
SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS			2
歴史社会学特講			2
宗教社会学特講Ⅰ			2
宗教社会学特講Ⅱ			2
経済と組織の社会学Ⅰ			2
経済と組織の社会学Ⅱ			2
ライフスタイルと社会政策Ⅰ			2
ライフスタイルと社会政策Ⅱ			2
グローバル化と国際移動と人権			2
SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS			2

科　目　名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ライフコース研究Ⅰ			2
ライフコース研究Ⅱ			2
SEMINAR ON SOCIAL CHANGE			2
現代社会理論特講			2
社会学研究法Ⅰ			2
社会学研究法Ⅱ			2
（他）グローバル市民社会論研究1（基礎）※注1			2
（他）グローバル市民社会論研究2（応用）※注1			2
（他）国際社会学研究1（基礎）※注1			2
（他）国際社会学研究2（応用）※注1			2
論文演習Ⅰ（M2）	2		
論文演習Ⅱ（M2）	2		

※注1：国際関係論専攻開講科目

３．履修上の注意

1）本専攻では前期課程2年間において，30単位以上（「論文演習Ⅰ・Ⅱ」4単位を含む）を履修し，修士論文を提出することを修了の必須要件とする。

2）毎年度4月に開催される専攻ガイダンスにおける指示に従って，各自専任教員一名を指導教員として定め，その指導のもとに所定の科目を履修し，かつ論文を作成すること。

3）「論文演習Ⅰ・Ⅱ」は，原則として指導教員による科目のみを履修することとし，同一学期に複数の科目を履修することはできない。

4）「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお，2017年次生以降の学生については，4科目以上合格すること。

5）毎年度，専攻の定める「研究計画書」を4月末までに，及び「研究報告書」を2月末までに提出すること。

6）修士論文提出予定者は「提出予定書」を7月末までに，及び「題目届」を11月末までに提出すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MHSC1110	春	社会学理論	SOC504-83j00	2	渡　辺　　深		
MHSC1120	春	社会学方法論	SOC505-83j00	2	今　井　　順		
MHSC2431	春	論文演習Ⅰ	SOC601-83j00	2	芳　賀　　学		M2対象
MHSC2461	春	論文演習Ⅰ	SOC601-83j00	2	田　渕　六　郎		M2対象
MHSC2441	春	論文演習Ⅰ	SOC601-83j00	2	藤　村　正　之		M2対象
MHSC2481	春	論文演習Ⅰ	SOC601-83j00	2	植　田　今日子		M2対象
MHSC2491	春	論文演習Ⅰ	SOC601-83j00	2	今　井　　順		M2対象
MHSC7130	春	宗教社会学特講Ⅰ	SOC511-83j00	2	芳　賀　　学		後期課程「宗教社会学応用研究Ⅰ」との合併科目
MHSC7170	春	ライフスタイルと社会政策Ⅰ	SOC513-83j00	2	藤　村　正　之		後期課程「ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅰ」との合併科目
MHSC7210	春	ライフコース研究Ⅰ	SOC508-83j00	2	田　渕　六　郎		後期課程「ライフコース応用研究Ⅰ」との合併科目
MHSC7150	春	経済と組織の社会学Ⅰ	SOC506-83j00	2	渡　辺　　深		後期課程「経済・組織応用研究Ⅰ」との合併科目
MHSC7320	春	比較雇用関係論Ⅰ	SOC521-83j00	2	今　井　　順		後期課程「比較雇用関係論応用研究Ⅰ」との合併科目
MHSC7300	春	地域社会論特講Ⅰ	SOC519-83j00	2	植　田　今日子		後期課程「地域社会論応用研究Ⅰ」との合併科目
MHSC7230	春	グローバル化と国際移動と人権	SOC502-83j00	2	細木 一十稔 ラルフ		後期課程「グローバル化と国際移動と人権応用研究」との合併科目
MHSC7250	春	現代社会理論特講	SOC510-83j00	2	*園　部　雅　久		隔週
MHSC2432	秋	論文演習Ⅱ	SOC602-83j00	2	芳　賀　　学		M2対象
MHSC2462	秋	論文演習Ⅱ	SOC602-83j00	2	田　渕　六　郎		M2対象
MHSC2442	秋	論文演習Ⅱ	SOC602-83j00	2	藤　村　正　之		M2対象
MHSC2482	秋	論文演習Ⅱ	SOC602-83j00	2	植　田　今日子		M2対象
MHSC2492	秋	論文演習Ⅱ	SOC602-83j00	2	今　井　　順		M2対象
MHSC7140	秋	宗教社会学特講Ⅱ	SOC512-83j00	2	芳　賀　　学		後期課程「宗教社会学応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7180	秋	ライフスタイルと社会政策Ⅱ	SOC514-83j00	2	藤　村　正　之		後期課程「ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7220	秋	ライフコース研究Ⅱ	SOC509-83j00	2	田　渕　六　郎		後期課程「ライフコース応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7160	秋	経済と組織の社会学Ⅱ	SOC507-83j00	2	渡　辺　　深		後期課程「経済・組織応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7310	秋	地域社会論特講Ⅱ	SOC520-83j00	2	植　田　今日子		後期課程「地域社会論応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7330	秋	比較雇用関係論Ⅱ	SOC522-83j00	2	今　井　　順		後期課程「比較雇用関係論応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7240	秋	SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS	SOC503-83e00	2	細木 一十稔 ラルフ	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS」との合併科目
MHSC7340	秋	SEMINAR ON SOCIAL CHANGE	SOC501-83e00	2	HOMMERICH, Carola	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CNANGE」との合併科目
MHSC7270	秋	社会学研究法Ⅱ	SOC516-83j00	2	*苫米地　　伸		隔年開講
MHSC9360	秋	修士論文	SOC699-83j00	0	社会学専攻各指導教員		M2対象
MHSC9361	春	修士論文	SOC699-83j00	0	社会学専攻各指導教員		M2対象，9月修了者用

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MHSC7290	休講	歴史社会学特講	SOC517-83j00	2			後期課程「歴史社会学応用研究」との合併科目
MHSC7280	休講	SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS	SOC518-83e00	2		○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS」との合併科目
MHSC7260	休講	社会学研究法Ⅰ	SOC515-83j00	2			隔年開講
MHSC2471	休講	論文演習Ⅰ	SOC601-83j00	2			M2対象
MHSC2472	休講	論文演習Ⅱ	SOC602-83j00	2			M2対象

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SOC599-83j00	植田　今日子	
	渡辺　　深	
	芳賀　　学	
	藤村　正之	
	田渕　六郎	
	猿谷　弘江	
	今井　　順	

社会学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
授業科目			
‣選択科目	6	3	
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること 博士論文の審査基準は別に定める

【17年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること 博士論文の審査基準は別に定める

【12～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
‣選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること 博士論文の審査基準は別に定める

【博士論文審査基準】

1）　明確な問題意識により課題設定がなされていること。
2）　論文全体が的確に構成され，整合的で一貫した論理展開がなされていること。
3）　研究対象分野における既存の研究成果が網羅的に検討され，十分に理解されていること。
4）　当該分野に関する知識に対して独自の貢献が行われていること。具体的には，新たな事実の発見や自立した批判的思考を通して独創性が示されていること。
5）　文章表現が明快であること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
比較雇用関係論応用研究Ⅰ			2
比較雇用関係論応用研究Ⅱ			2
地域社会論応用研究Ⅰ			2
地域社会論応用研究Ⅱ			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS			2
歴史社会学応用研究			2
宗教社会学応用研究Ⅰ			2
宗教社会学応用研究Ⅱ			2
経済・組織応用研究Ⅰ			2
経済・組織応用研究Ⅱ			2
ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅰ			2
ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅱ			2
グローバル化と国際移動と人権応用研究			2
ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS			2
ライフコース応用研究Ⅰ			2
ライフコース応用研究Ⅱ			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE			2

※社会学専攻博士前期課程の選択科目も履修することが出来る。

３．履修上の注意

【全学年共通】

毎年度専攻の定める「研究計画書」を４月末までに，及び「研究報告書」を２月末までに提出すること。

【18年次生以降】

後期課程を修了するためには３年以上在学し，「研究指導」を毎学期履修すること（在学中，毎学期登録される。）。また，後期課程選択科目（前期課程との合併科目）を 6 単位以上修得することと，「研究指導」6 科目以上合格することを修了の要件とする。

【12年次生～17年次生】

後期課程を修了するためには 3 年以上在学し，「研究指導」を毎学期履修すること（在学中，毎学期登録される。）。なお，2017 年次生については，6 科目以上合格すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
DHSC7030	春	宗教社会学応用研究Ⅰ	SOC803-83j00	2	芳賀　学		前期課程「宗教社会学特講Ⅰ」との合併科目
DHSC7110	春	ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅰ	SOC809-83j00	2	藤村正之		前期課程「ライフスタイルと社会政策Ⅰ」との合併科目
DHSC7050	春	ライフコース応用研究Ⅰ	SOC805-83j00	2	田渕六郎		前期課程「ライフコース研究Ⅰ」との合併科目
DHSC7150	春	経済・組織応用研究Ⅰ	SOC813-83j00	2	渡辺　深		前期課程「経済と組織の社会学Ⅰ」との合併科目
DHSC7130	春	比較雇用関係論応用研究Ⅰ	SOC811-83j00	2	今井　順		前期課程「比較雇用関係論Ⅰ」との合併科目
DHSC7090	春	地域社会論応用研究Ⅰ	SOC807-83j00	2	植田今日子		前期課程「地域社会論特講Ⅰ」との合併科目
DHSC7070	春	グローバル化と国際移動と人権応用研究	SOC815-83j00	2	細木一十稔ラルフ		前期課程「グローバル化と国際移動と人権」との合併科目
DHSC7040	秋	宗教社会学応用研究Ⅱ	SOC804-83j00	2	芳賀　学		前期課程「宗教社会学特講Ⅱ」との合併科目
DHSC7120	秋	ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅱ	SOC810-83j00	2	藤村正之		前期課程「ライフスタイルと社会政策Ⅱ」との合併科目
DHSC7060	秋	ライフコース応用研究Ⅱ	SOC806-83j00	2	田渕六郎		前期課程「ライフコース研究Ⅱ」との合併科目
DHSC7160	秋	経済・組織応用研究Ⅱ	SOC814-83j00	2	渡辺　深		前期課程「経済と組織の社会学Ⅱ」との合併科目
DHSC7100	秋	地域社会論応用研究Ⅱ	SOC808-83j00	2	植田今日子		前期課程「地域社会論特講Ⅱ」との合併科目
DHSC7140	秋	比較雇用関係論応用研究Ⅱ	SOC812-83j00	2	今井　順		前期課程「比較雇用関係論Ⅱ」との合併科目
DHSC7080	秋	ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS	SOC816-83e00	2	細木一十稔ラルフ	○	前期課程「SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS」との合併科目
DHSC7170	秋	ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE	SOC817-83e00	2	HOMMERICH, Carola	○	前期課程「SEMINAR ON SOCIAL CHANGE」との合併科目
DHSC7010	休講	歴史社会学応用研究	SOC801-83j00	2			前期課程「歴史社会学特講」との合併科目
DHSC7020	休講	ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS	SOC802-83e00	2		○	前期課程「SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS」との合併科目

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
S0C899-83j00	植　田　今日子	
	渡　辺　　深	
	芳　賀　　学	
	藤　村　正　之	
	田　渕　六　郎	
	猿　谷　弘　江	
	今　井　　順	

社会福祉学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗社会福祉研究法基礎	4		
‣選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
指導科目			
研究指導（必修）		4 (6)	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【17年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗社会福祉研究法基礎演習	4		
‣選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
指導科目			
研究指導（必修）		4 (6)	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【13～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗社会福祉研究法基礎演習	4		
‣選択科目	26		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【11･12年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	2		
┗社会福祉研究法基礎演習	2		
‣選択科目	28		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1） 研究テーマの設定が適切であり，社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
2） 先行研究を的確に踏まえ，レビューが十分になされていること。
3） 研究目的に照らして研究方法が妥当であり，明確な結果が導き出されていること。
4） 論文構成が明快であり，論理の展開に一貫性があること。
5） 考察および結論に新たな知見が含まれていること。
6） 研究倫理上の問題がないこと。
7） 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており，学術論文としての体裁が整っていること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
社会福祉研究法基礎演習　※注1，注2	4		
社会福祉研究法基礎	4		
福祉政策運営管理研究法基礎演習※注2			2
福祉政策運営管理研究法基礎			2
福祉臨床研究法基礎演習　※注2			2
福祉臨床研究法基礎			2
QUALITATIVE SOCIAL WORK RESEARCH			1
SOCIAL WORK WITH SELF-HELP GROUPS			1
社会福祉政策学　※注2			2
社会福祉政策学Ⅰ			1
社会福祉政策学Ⅱ			1
社会福祉運営計画論Ⅰ			2
社会福祉経営学			2
福祉サービス経営管理論　※注2			2
福祉サービス経営管理論Ⅰ			1
福祉サービス経営管理論Ⅱ			1
社会保障特殊講義			2
ソーシャルワーク実践理論研究			2
ソーシャルケースワーク研究			2
コミュニティーオーガニゼーション研究			2
当事者福祉研究			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
知的障害者福祉学			2
児童福祉学			2
精神保健福祉研究			2
精神科ソーシャルワーク研究			2
医療ソーシャルワーク研究　※注2			2
医療ソーシャルワーク研究Ⅰ			1
医療ソーシャルワーク研究Ⅱ			1
司法福祉研究			2
権利擁護関係法制論			2
リスクマネージメント事例研究			2
生活構造論研究			2
SOCIAL WORK RESEARCH			2
SOCIAL WORK THEORIES			2
社会福祉フィールドワークＡ			0
社会福祉フィールドワークＢ			2
援助事例分析Ａ			0
援助事例分析Ｂ			2
地域事例分析Ａ　※注2			0
地域事例分析Ｂ　※注2			2
社会政策・経営事例分析Ａ			0
社会政策・経営事例分析Ｂ			2

※注1　12年次生以前は2単位
※注2　2017年度まで開講

３．履修上の注意

1）4 月専攻別ガイダンスで配布した「社会福祉学専攻履修上の注意」に従って履修すること。

2）専任教員 1 名を指導教員として定め，その教員の研究指導計画のもとで研究計画を練り，研究の報告や修士論文の作成を行うこと。

3）当該年度に修士論文を提出する予定の者は，10 月初旬の研究進捗報告会において研究内容を発表して指導を受けること。

4）すべての科目は繰り返し履修することが可能であり，修了に必要な単位として認められる。
必修科目「社会福祉研究法基礎演習」及び「社会福祉研究法基礎」を重複して履修した場合の超過単位数は，選択科目に充当する。

5）前期課程において 30 単位以上を修得するとともに，「研究指導」（単位なし）を毎学期履修し，修士論文を提出すること。

6）「研究指導」は在学中毎学期登録される。なお，2017 年次生以降の学生は，4 科目以上（長期履修学生は 6 科目以上）合格すること。

7）1 年間に複数教員の「社会福祉フィールドワーク」を受講することはできない。

8）「援助事例分析」と「社会政策・経営事例分析」は，合わせて 1 年間 2 教員まで履修することができる。また 1 年間に，「援助事例分析」の中の 2 教員までの科目，「社会政策・経営事例分析」の中の 2 教員までの科目を履修することができる。

9）「社会福祉フィールドワーク」，「援助事例分析」，「社会政策・経営事例分析」は，原則として春学期にＡ，秋学期にＢを登録することとする。ただし，留学等やむを得ない事情がある場合は，事前に専攻主任に相談すること。

また，各科目はA，Bとも同一の教員が開講しているものを登録しなければならない。

10)「社会福祉フィールドワークA」,「援助事例分析A」,「社会政策・経営事例分析A」の評価には，P（合格），X（不合格）を使用する。

11)「社会福祉政策学Ⅰ・Ⅱ」,「福祉サービス経営管理論Ⅰ・Ⅱ」,「医療ソーシャルワーク研究Ⅰ・Ⅱ」は，原則としてⅠとⅡを両科目とも履修することが望ましい。

【カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について】

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは，以下の表により，対応する科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後	
科目名	開講年度	科目名	開講年度
社会福祉フィールドワーク（2）	～2014	社会福祉フィールドワークA（0） 社会福祉フィールドワークB（2）	2015～
援助事例分析（2）	～2014	援助事例分析A（0） 援助事例分析B（2）	2015～
地域事例分析（2）	～2014	社会政策・経営事例分析A（0） 社会政策・経営事例分析B（2）	2018～
地域事例分析A（0） 地域事例分析B（2）	～2017		
社会福祉研究法基礎演習（4）	～2017	社会福祉研究法基礎（4）	2018～
福祉政策運営管理研究法基礎演習（2）	～2017	福祉政策運営管理研究法基礎（2）	2018～
福祉臨床研究法基礎演習（2）	～2017	福祉臨床研究法基礎（2）	2018～
社会福祉政策学（2）	～2017	社会福祉政策学Ⅰ（1）	2018～
		社会福祉政策学Ⅱ（1）	
医療ソーシャルワーク研究（2）	～2017	医療ソーシャルワーク研究Ⅰ（1）	2018～
		医療ソーシャルワーク研究Ⅱ（1）	
福祉サービス経営管理論（2）	～2017	福祉サービス経営管理論Ⅰ（1）	2018～
		福祉サービス経営管理論Ⅱ（1）	

（ ）は単位数

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MHSV1020	春	社会福祉研究法基礎	SSV501-84j00	4	コーディネータ 岡　知　史		輪講　M1必修 後期課程科目「研究法特殊講義」との合併科目 2017年度以前開講「社会福祉研究法基礎演習」と同一科目
MHSV7070	春	社会福祉経営学	SSV604-84j00	2	藤　井　賢一郎		
MHSV7140	春	権利擁護関係法制論	SSV605-84j00	2	＊佐　藤　彰　一		
MHSV7250	春	ソーシャルケースワーク研究	SSV513-84j00	2	髙　山　惠理子		
MHSV7510	春	知的障害者福祉学	SSV510-84j00	2	笠　原　千　絵		
MHSV7470	春	社会保障特殊講義	SSV604-84j00	2	＊矢　野　　聡		
MHSV7450	1Q	QUALITATIVE SOCIAL WORK RESEARCH	SSV508-84e00	1	岡　知　史	○	
MHSV7480	2Q	SOCIAL WORK WITH SELF-HELP GROUPS	SSV509-84e00	1	岡　知　史	○	
MHSV7020	秋	福祉政策運営管理研究法基礎	SSV502-84j00	2	コーディネータ 栃　本　一三郎		輪講 2017年度以前開講「福祉政策運営管理研究法基礎演習」と同一科目
MHSV7030	秋	福祉臨床研究法基礎	SSV503-84j00	2	コーディネータ 伊　藤　冨士江		輪講 2017年度以前開講「福祉臨床研究法基礎演習」と同一科目
MHSV7040	3Q	社会福祉政策学Ⅰ	SSV610-84j00	1	栃　本　一三郎		後期課程科目「社会福祉政策学特殊研究Ⅰ」との合併科目
MHSV7060	4Q	社会福祉政策学Ⅱ	SSV611-84j00	1	栃　本　一三郎		後期課程科目「社会福祉政策学特殊研究Ⅱ」との合併科目
MHSV7160	秋	生活構造論研究	SSV606-84j00	2	*山　田　知　子		
MHSV7180	秋	精神保健福祉研究	SSV601-84j00	2	*藤　井　達　也		
MHSV7230	秋	司法福祉研究	SSV608-84j00	2	伊　藤　冨士江		
MHSV7240	3Q	医療ソーシャルワーク研究Ⅰ	SSV612-84j00	1	髙　山　惠理子		
MHSV7260	3Q	医療ソーシャルワーク研究Ⅱ	SSV613-84j00	1	髙　山　惠理子		
MHSV7170	秋	児童福祉学	SSV504-84j00	2	新　藤　こずえ		
MHSV7490	秋	SOCIAL WORK RESEARCH	SSV609-84e00	2	BABA Bin Ismail	○	
MHSV7520	秋	SOCIAL WORK THEORIES	SSV507-84e00	2	BABA Bin Ismail	○	
MHSV7290	春	社会福祉フィールドワークＡ	SSV514-84j00	0	栃　本　一三郎		
MHSV7300	春	社会福祉フィールドワークＡ	SSV514-84j00	0	岡　知　史		
MHSV7320	春	社会福祉フィールドワークＡ	SSV514-84j00	0	伊　藤　冨士江		
MHSV7340	春	社会福祉フィールドワークＡ	SSV514-84j00	0	髙　山　惠理子		
MHSV7291	秋	社会福祉フィールドワークＢ	SSV515-84j00	2	栃　本　一三郎		
MHSV7301	秋	社会福祉フィールドワークＢ	SSV515-84j00	2	岡　知　史		
MHSV7321	秋	社会福祉フィールドワークＢ	SSV515-84j00	2	伊　藤　冨士江		
MHSV7341	秋	社会福祉フィールドワークＢ	SSV515-84j00	2	髙　山　惠理子		
	春	社会福祉フィールドワークＢ	SSV515-84j00	2	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ，専攻の許可のもと履修可能
	秋	社会福祉フィールドワークＡ	SSV514-84j00	0	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ，専攻の許可のもと履修可能
MHSV7350	春	援助事例分析Ａ	SSV516-84j00	0	岡　知　史		
MHSV7370	春	援助事例分析Ａ	SSV516-84j00	0	伊　藤　冨士江		
MHSV7380	春	援助事例分析Ａ	SSV516-84j00	0	髙　山　惠理子		
MHSV7351	秋	援助事例分析Ｂ	SSV517-84j00	2	岡　知　史		
MHSV7371	秋	援助事例分析Ｂ	SSV517-84j00	2	伊　藤　冨士江		
MHSV7381	秋	援助事例分析Ｂ	SSV517-84j00	2	髙　山　惠理子		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
	春	援助事例分析Ｂ	SSV517-84j00	2	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ，専攻の許可のもと履修可能
	秋	援助事例分析Ａ	SSV516-84j00	0	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ，専攻の許可のもと履修可能
MHSV7410	春	社会政策・経営事例分析Ａ	SSV518-84j00	0	栃　本　一三郎		
MHSV7411	秋	社会政策・経営事例分析Ｂ	SSV519-84j00	2	栃　本　一三郎		
	春	社会政策・経営事例分析Ｂ	SSV519-84j00	2	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ，専攻の許可のもと履修可能
	秋	社会政策・経営事例分析Ａ	SSV518-84j00	0	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ，専攻の許可のもと履修可能
MHSV9530	春	修士論文	SSV699-84j00	0	社会福祉学専攻 各指導教員		Ｍ2対象，9月修了者用
MHSV9520	秋	修士論文	SSV699-84j00	0	社会福祉学専攻 各指導教員		Ｍ2対象
MHSV7220	休講	ソーシャルワーク実践理論研究	SSV506-84j00	2			後期課程科目「ソーシャルワーク理論特殊研究」との合併科目，隔年開講
MHSV7150	休講	リスクマネージメント事例研究	SSV511-84j00	2			
MHSV7210	休講	コミュニティーオーガニゼーション研究	SSV505-84j00	2			隔年開講
MHSV7440	休講	福祉サービス経営管理論Ⅰ	SSV614-84j00	1			
MHSV7500	休講	福祉サービス経営管理論Ⅱ	SSV615-84j00	1			
MHSV7050	休講	社会福祉運営計画論Ⅰ	SSV607-84j00	2			
MHSV7460	休講	当事者福祉研究	SSV602-84j00	2			後期課程科目「質的研究法特殊研究」との合併科目，隔年開講
MHSV7190	休講	精神科ソーシャルワーク研究	SSV512-84j00	2			隔年開講
MHSV7430	休講	社会福祉フィールドワークＡ	SSV514-84j00	0			
MHSV7270	休講	社会福祉フィールドワークＡ	SSV514-84j00	0			
MHSV7280	休講	社会福祉フィールドワークＡ	SSV514-84j00	0			
MHSV7431	休講	社会福祉フィールドワークＢ	SSV515-84j00	2			
MHSV7271	休講	社会福祉フィールドワークＢ	SSV515-84j00	2			
MHSV7281	休講	社会福祉フィールドワークＢ	SSV515-84j00	2			
MHSV7360	休講	援助事例分析Ａ	SSV516-84j00	0			
MHSV7361	休講	援助事例分析Ｂ	SSV517-84j00	2			
MHSV7390	休講	社会政策・経営事例分析Ａ	SSV518-84j00	0			
MHSV7420	休講	社会政策・経営事例分析Ａ	SSV518-84j00	0			
MHSV7391	休講	社会政策・経営事例分析Ｂ	SSV519-84j00	2			
MHSV7421	休講	社会政策・経営事例分析Ｂ	SSV519-84j00	2			

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV599-84ｊ00	栃　本　一三郎	
	岡　　知　史	
	伊　藤　冨士江	
	髙　山　惠理子	
	藤　井　賢一郎	

社会福祉学専攻　博士後期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
授業科目			
・選択科目	6		
指導科目			
研究指導(必修)		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【14～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
指導科目			
研究指導(必修)			単位なし，在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【博士論文審査基準】

1）　研究テーマの設定が適切であり，社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
2）　先行研究を的確に踏まえ，レビューが十分になされていること。
3）　研究目的に照らして研究方法が妥当であり，明確な研究成果が導き出されていること。
4）　論文構成が明快であり，論理の展開に一貫性があること。
5）　社会福祉学領域に新たな知見を提示し，当該領域の理論および実践の進展に寄与するものであること。
6）　自立した研究者としての資質と能力を証明するものであること。
7）　研究倫理上の問題がないこと。
8）　日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており，学術論文としての体裁が整っていること。

なお，博士論文の提出については，社会福祉学専攻「博士学位論文の審査手続きに関する内規」を参照すること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
研究法特殊講義			4
ソーシャルワーク理論特殊研究			2
社会福祉政策学特殊研究 ※注1			2
社会福祉政策学特殊研究Ⅰ			1
社会福祉政策学特殊研究Ⅱ			1
質的研究法特殊研究			2

※注1　2017年度まで開講

３．履修上の注意

1）4月専攻別ガイダンスで配布した「社会福祉学専攻履修上の注意」に従って履修すること。

2）専任教員1名を指導教員として定め，その教員の研究指導計画のもとで研究計画を練り，研究の報告や博士論文の作成を行うこと。

3）博士論文提出予定者は，本専攻の「学位請求論文の審査手順（概要）」に従って，指導教員の承諾を得て，博士論文計画書を定められた期日までに本専攻主任に提出する。提出予定者は研究業績として，学術雑誌に掲載または採択された，申請者を第一著者とする論文，またはそれと同等であると本専攻が認めた論文が2篇以上必要である。

4）後期課程を修了するためには3年以上在学し，「研究指導」（単位なし）を毎学期履修すること（在学中毎学期登録する）。なお，2017年次生以降は，6科目合格すること。

5）2017年次生以降は，博士論文の審査および試験に合格することに加え，後期課程選択科目（前期課程との合併科目）6単位の取得が修了要件である。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DHSV7040	春	研究法特殊講義	SSV803-84j00	4	コーディネータ 岡　知　史	輪講 前期課程科目「社会福祉研究法基礎」との合併科目
DHSV7000	休講	ソーシャルワーク理論特殊研究	SSV801-84j00	2		前期課程科目「ソーシャルワーク実践理論研究」との合併科目，隔年開講
DHSV7050	3Q	社会福祉政策学特殊研究Ⅰ	SSV804-84j00	1	栃　本　一三郎	前期課程科目「社会福祉政策学Ⅰ」との合併科目
DHSV7060	4Q	社会福祉政策学特殊研究Ⅱ	SSV805-84j00	1	栃　本　一三郎	前期課程科目「社会福祉政策学Ⅱ」との合併科目
DHSV7030	休講	質的研究法特殊研究	SSV802-84j00	2		前期課程科目「当事者福祉研究」との合併科目，隔年開講

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV899-84ｊ00	福祉政策運営管理研究グループ （栃本・藤井）	
	福祉臨床研究グループ （伊藤・岡・髙山）	

看護学専攻　修士課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	10		
┗キリスト教と人間論特論	2		
┗看護研究法ⅠA	2		
┗看護研究法ⅠB	2		
┗看護学特別研究演習Ⅰ	2		
┗看護学特別研究演習Ⅱ	2		
‣選択科目	20		自専門分野指定科目を6単位以上履修すること
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる（P.29参照）
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

修士論文審査にあたっては，以下の視点で評価報告を行う。

1．表題の明確性と内容との一貫性
2．研究の意義，着眼点（文献レビューに基いているか）
3．研究目的の明確性
4．倫理的配慮を含む研究方法の適切性（目的との関連性）
5．データ収集・分析の適切性
6．結果の提示の十分性
7．考察の妥当性（結果をもとに考察し，論理の矛盾や飛躍がないか）
8．論旨の一貫性
9．図表の不備・不足ないしは不要の有無
10．文献の偏りおよび不備

2．授業科目の編成・単位

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜共通科目＞			
キリスト教と人間論特論	2		
看護研究法ⅠA	2		
看護研究法ⅠB	2		
看護研究法Ⅱ（質的研究）			2
看護研究法Ⅲ（量的研究）			2
看護理論			2
ケアリング特論			2
ヘルスケア哲学			2
倫理学特論			2
看護管理学特論			2
看護教育学特論			2
医療政策特講			2
国際比較文化論			2
生涯発達学特論			2
家族社会学			2

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜専門（領域）科目＞			
専門看護学特論			2
専門看護学ゼミ			2
専門看護学演習			2
フィールドワーク			2
看護学特別研究演習Ⅰ	2		
看護学特別研究演習Ⅱ	2		

３．履修上の注意

１）看護学専攻の修了要件は 30 単位以上を履修し，自専門分野指導教員のもと修士論文を作成・提出することとする。なお，学生の研究関心分野に応じて，関連した他専門分野の教員からも研究指導を適宜受けることができる。

２）「研究指導」（必修）は，在学中毎学期登録される。4 科目以上（長期履修学生は 6 科目以上）合格すること。

３）学生は本専攻入学時に，それぞれの分野に対応する「専門看護学特論」（2 単位），「専門看護学ゼミ」（2 単位）及び「専門看護学演習」（2 単位）を履修すること。詳細については，ガイダンスで説明する。

４）本専攻では，教育・実践力ならびに研究に必要なセンスを磨くための教育方法として，「フィールドワーク」（2 年次選択科目）を重視している。内容については，ガイダンスで説明する。

５）長期履修のモデルについては，ガイダンスで配布し説明を行うが，履修登録前に自専門分野指導教員と相談すること。

６）論文の作成については，ガイダンス資料にあるスケジュール・提出物・提出先を参照して進める。M1 の 4Q にて研究計画の発表，M2 の 4Q にて修士論文の発表を行う。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHNU7370	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	吉野八重	○	
MHNU7300	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	塚本尚子 舩木由香		輪講
MHNU7310	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	石川ふみよ 渡邊知映		輪講
MHNU7320	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	小長谷百絵		
MHNU7330	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	島田真理恵 礒山あけみ		輪講
MHNU7340	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	草柳浩子		
MHNU7350	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	小髙恵実		
MHNU7360	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	西山悦子		
MHNU7010	春	フィールドワーク	NRS603-85j00	2	石川ふみよ		M2 対象
MHNU2031	春	看護学特別研究演習Ⅰ	NRS601-85j00	2	石川ふみよ		M2 対象
MHNU2071	春	看護学特別研究演習Ⅰ	NRS601-85j00	2	小長谷百絵		M2 対象
MHNU2041	春	看護学特別研究演習Ⅰ	NRS601-85j00	2	島田真理恵		M2 対象
MHNU2021	春	看護学特別研究演習Ⅰ	NRS601-85j00	2	塚本尚子		M2 対象
MHNU2011	春	看護学特別研究演習Ⅰ	NRS601-85j00	2	草柳浩子		M2 対象
MHNU2051	春	看護学特別研究演習Ⅰ	NRS601-85j00	2	西山悦子		M2 対象
MHNU1010	春	キリスト教と人間論特論	NRS501-85j00	2	(他)瀬本正之		
MHNU1020	1Q	看護研究法ⅠA	NRS502-85j00	2	小長谷百絵 草柳浩子 西山悦子 渡邊知映		輪講
MHNU1030	2Q	看護研究法ⅠB	NRS503-85j00	2	島田真理恵 石川ふみよ 塚本尚子		輪講
MHNU7240	秋	看護理論	NRS512-85j00	2	草柳浩子 小長谷百絵 小髙恵実 舩木由香		輪講
MHNU7120	春	ヘルスケア哲学	NRS505-85j00	2	*丹木博一		
MHNU7110	春	倫理学特論	NRS504-85j00	2	*有江文栄		
MHNU7210	1Q	医療政策特講	NRS509-85j00	2	(他)藤井賢一郎 (他)本田文子		輪講

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MHNU7130	4Q	生涯発達学特論	NRS506-85j00	2	*深　瀬　裕　子		隔年開講
MHNU7160	春	ケアリング特論	NRS508-85j00	2	(他)大　橋　容一郎		
MHNU7400	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	塚　本　尚　子 舩　木　由　香		輪講
MHNU7410	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	石　川　ふみよ 渡　邊　知　映		輪講
MHNU7420	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	小長谷　百　絵		
MHNU7430	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	島　田　真理恵 礒　山　あけみ		輪講
MHNU7440	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	草　柳　浩　子		
MHNU7450	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	西　山　悦　子		
MHNU7500	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	塚　本　尚　子 舩　木　由　香		輪講
MHNU7510	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	石　川　ふみよ 渡　邊　知　映		輪講
MHNU7520	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	小長谷　百　絵		
MHNU7530	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	島　田　真理恵 礒　山　あけみ		輪講
MHNU7540	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	草　柳　浩　子		
MHNU7550	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	西　山　悦　子		
MHNU2032	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2	石　川　ふみよ		M2 対象
MHNU2072	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2	小長谷　百　絵		M2 対象
MHNU2042	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2	島　田　真理恵		M2 対象
MHNU2022	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2	塚　本　尚　子		M2 対象
MHNU2012	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2	草　柳　浩　子		M2 対象
MHNU2052	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2	西　山　悦　子		M2 対象
MHNU7220	秋	看護研究法Ⅱ（質的研究）	NRS510-85j00	2	*森　岡　　崇		
MHNU7230	集中	看護研究法Ⅲ（量的研究）	NRS511-85j00	2	*猫　田　泰　敏		2Q 集中
MHNU7250	休講	看護管理学特論	NRS513-85j00	2			隔年開講
MHNU7260	秋	看護教育学特論	NRS514-85j00	2	*菊　田　文　夫		
MHNU7140	休講	国際比較文化論	NRS507-85j00	2			隔年開講
MHNU7270	春	家族社会学	NRS515-85j00	2	(他)田　渕　六　郎		隔年開講
MHNU9010	秋	修士論文	NRS699-85j00	0	看護学専攻教員		

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
NRS599-85j00	石　川　ふみよ	
	小長谷　百　絵	
	島　田　真理恵	
	塚　本　尚　子	
	草　柳　浩　子	
	西　山　悦　子	

法　学　研　究　科

法律学専攻

1．法学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

法律学専攻

本専攻は法学・政治学の研究者の養成，並びに，この素養を身につけた社会人を送り出すことを目的とする。

現代社会では，研究者は自分の専門領域に特化しているだけで足りるものでなく，社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し，より高度な問題を処理できる実務能力を身につけていなければならない。社会人を積極的に受け入れ，研究者養成とともに，法学・政治学の素養を身につけた人材の養成を目指す。

2．各専攻のディプロマ・ポリシー

法律学専攻

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。法学・政治学研究者の養成と高度の専門的能力を有する職業人および人間性豊かな法律家を養成し，社会に送り出すために，修了要件を満たし論文審査に合格した学生には，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

【博士前期課程】

専攻分野に関する高度な専門知識を修得し，使いこなす能力

【博士後期課程】

専攻分野に関する深い学識と高度な分析力を備え，その学識と分析力を基盤として独創的な課題を設定し，自らそれを解決・展開する能力

3．各専攻のカリキュラム・ポリシー

法律学専攻

本課程では，ディプロマ・ポリシーの方針に沿って，法律学の諸分野における実定法の研究教育や基礎法・国際法・政治学・比較法などや，グローバル化や環境問題についても研究教育をおこなうよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

【博士前期課程】

学部で修得した法学・政治学全般の基礎知識の深化を図り，専攻科目の研究への移行を助け，高度な法的能力および政治の分析力の涵養を目指し，また，社会人については，社会で身につけた知識・経験を専攻科目と関連づけて，専門的視点および分析力の深化を目指す専門科目を置く。

【博士後期課程】

研究者養成を主な目的としながら，既存の法秩序や政治の伜を超えて生起する現代の諸問題の処理能力を養うことに重点を置き，また，社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し，より高度な問題を処理できる実務能力を涵養する専門科目を置く。

法律学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】
（標準修業年限（2年）修了予定者）

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗前期研究演習Ⅱ	2		Ｍ１対象
┗前期研究演習Ⅲ	2		Ｍ２対象
‣選択必修科目	2		Ｍ２対象，指導教員と協議の上，「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修すること
‣選択科目	24		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）		4	Ｍ１・Ｍ２対象，単位なし，在学中毎学期履修登録される4科目以上合格すること
修士論文／リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること） ※ただし，リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp. 195履修上の注意を参照。

（早期修了予定者）

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗前期研究演習Ⅰ	2		Ｍ１対象
┗前期研究演習Ⅱ	2		Ｍ１対象
‣選択科目	26		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）		4	Ｍ１対象，単位なし，在学中毎学期履修登録される4科目以上合格すること ただし，早期修了者については，在学しない学期分は免除される
修士論文／リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること） ※ただし，リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp. 196履修上の注意を参照。

【16 年次生以前】

（標準修業年限（2年）修了予定者）

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗前期研究演習Ⅱ	2		Ｍ１対象
┗前期研究演習Ⅲ	2		Ｍ２対象
‣選択必修科目	2		Ｍ２対象，指導教員と協議の上，「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修すること
‣選択科目	24		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）			Ｍ１・Ｍ２対象，単位なし，在学中毎学期履修登録される
修士論文／リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること） ※ただし，リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細については p. 195 履修上の注意を参照。

（早期修了予定者）

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
┗前期研究演習Ⅰ	2		Ｍ１対象
┗前期研究演習Ⅱ	2		Ｍ１対象
‣選択科目	26		
┗自専攻科目			
研究指導（必修）			Ｍ１対象，単位なし，在学中毎学期履修登録される
修士論文／リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること） ※ただし，リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細については p. 196 履修上の注意を参照。

【修士論文審査基準】

修士学位論文の位置づけと評価基準

1）修士の学位は，博士前期課程における履修と研鑽を通じて，専門的研究者としての能力水準をある程度具え，それが提出論文に充分反映されている場合に，これを授与するものとする（課程「修了」の証明）。また，この学位は，爾後，学界において研究者としての活動を継続・発展させていくに必要な能力をある程度具えていると思科される場合に，これを授与するものとする。

2）修士の学位論文は，主題に関する学界での到達点を適切に理解し，かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法をある程度提示していること，論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ，構成力と表現力において優れていること等が必要である。

【リサーチ・ペーパーの提出要件および審査基準】

提出要件

博士前期課程の学生は，指導教授の承諾を得た上で，修士論文に代えてリサーチ・ペーパーを提出することができる。

リサーチ・ペーパーとして受理されるためには下記の要件を充足する必要があり，その審査も下記の要件を踏まえた観点から実施される。

また，リサーチ・ペーパー提出にかかる一連の取扱いは，「法学研究科法律学専攻博士前期課程の履修等に関する申し合わせ」の関連規定によるものとする。

なお，リサーチ・ペーパーを提出した者は，本研究科博士後期課程入試において，筆記試験の免除を受けることはできない。

審査基準

1．特定の研究課題に沿った問題の所在が明確にされ，学説，判例，実務ないし実例等の検討がなされ，十分ではないものの自説の展開がなされていること。
2．特定の研究課題を論じるにあたって必須と思われる基本的な文献が引照されていること。
3．外国語文献を参照することが望ましいが，比較法的な検討は必ずしも要しないこと。
4．形式的には，一般的な論文の体裁により作成され，少なくとも１万字を超えていること。

2．授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
前期研究演習Ⅰ ※注1	2		
前期研究演習Ⅱ	2		
前期研究演習Ⅲ	2		
前期研究演習Ⅳ		2	
前期論文演習		2	
課題研究			1
法哲学研究Ⅰ			2
法哲学研究Ⅱ			2
西洋法制史研究Ⅰ			2
西洋法制史研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅲ			2
比較法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅰ			2
憲法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅲ			2
憲法研究Ⅳ			2
憲法研究Ⅴ			2
憲法研究Ⅵ			2
行政法研究Ⅰ			2
行政法研究Ⅱ			2
行政法研究Ⅲ			2
行政法研究Ⅳ			2
政治学研究Ⅰ			2
政治学研究Ⅱ			2
政治学研究Ⅲ			2
政治学研究Ⅳ			2
政治学研究Ⅴ			2
政治学研究Ⅵ			2
民法研究Ⅰ			2
民法研究Ⅱ			2
民法研究Ⅲ			2
民法研究Ⅳ			2
民法研究Ⅴ			2
民法研究Ⅵ			2
民法研究Ⅶ			2
民法研究Ⅷ			2
民法研究Ⅸ			2
民法研究Ⅹ			2
商法研究Ⅰ			2
商法研究Ⅱ			2
商法研究Ⅲ			2
商法研究Ⅳ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
商法研究Ⅴ			2
商法研究Ⅵ			2
商法研究Ⅶ			2
民事訴訟法研究Ⅰ			2
民事訴訟法研究Ⅱ			2
民事訴訟法研究Ⅲ			2
刑法研究Ⅰ			2
刑法研究Ⅱ			2
刑法研究Ⅲ			2
刑法研究Ⅳ			2
刑法研究Ⅴ			2
刑法研究Ⅵ			2
刑事訴訟法研究Ⅰ			2
刑事訴訟法研究Ⅱ			2
労働法研究Ⅰ			2
労働法研究Ⅱ			2
経済法研究Ⅰ			2
経済法研究Ⅱ			2
知的財産権法研究Ⅰ			2
知的財産権法研究Ⅱ			2
社会保障法研究Ⅰ			2
社会保障法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅰ			2
国際法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅲ			2
国際法研究Ⅳ			2
国際法研究Ⅴ			2
国際法研究Ⅵ			2
国際経済法研究Ⅰ			2
国際経済法研究Ⅱ			2
国際私法研究Ⅰ			2
国際私法研究Ⅱ			2
国際取引法研究Ⅰ			2
国際取引法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅰ			2
環境法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅲ			2
環境法研究Ⅳ			2
環境法研究Ⅴ			2
環境法研究Ⅵ			2
環境法研究Ⅶ			2
環境法研究Ⅷ			2

科　目　名 ※(他)：他専攻開講科目	単　位　数		
	必修	選必	選択
(他)特殊講義（警察活動と法実務） ※注2			1
(他)LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS　※注2			1
(他)国際経済学研究１　※注3			2
(他)国際経済学研究２　※注3			2
(他)国際政治経済論研究１　※注3			2
(他)国際政治経済論研究２　※注3			2
(他)対外政策研究１　※注3			2
(他)対外政策研究２　※注3			2
(他)比較政治学研究１　※注3			2
(他)比較政治学研究２　※注3			2

科　目　名 ※(他)：他専攻開講科目	単　位　数		
	必修	選必	選択
(他)国際関係論 INTERNATIONAL RELATIONS THEORY ※注4			2
(他)主権，国家，自由主義 SOVEREIGNTY,NATIONHOOD,LIBERALISM ※注4			2
(他)比較政治学Ⅰ COMPARATIVE POLITICS ※注4			2
(他)比較政治学Ⅱ DEMOCRACY IN GLOBALIZATION ※注4			2
(他)グローバル政治学Ⅲ GLOBAL POLITICS ※注4			4

※注1：早期修了予定者のみ対象
※注2：法曹養成専攻開講科目（時間割は法科大学院履修要綱参照）
※注3：国際関係論専攻開講科目（詳細はp.258～p.264参照）
※注4：グローバル社会専攻開講科目（詳細はEnglish-taught GRADUATE PROGRAMS「BULLETIN OF INFORMATION 2019-2020」参照）

３．履修上の注意

（標準修業年限（2年）修了予定者）

（９月修了予定者は４月第２月曜日までに法律学専攻事務室に申し出ること。）

１）「前期研究演習Ⅱ」及び「前期研究演習Ⅲ」の履修登録を行い，学期末に研究報告書を提出すること。

２）2 年次の秋学期においては，指導教員と協議の上，「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修登録すること。

３）「前期論文演習」の履修登録を予定する者は，2 年次春学期末に開催する「研究報告会」において報告すること。

４）「前期論文演習」を履修登録した者は修士論文を提出し，「前期研究演習Ⅳ」を履修登録した者はリサーチ・ペーパーを提出すること。ただし，「前期論文演習」履修登録者であっても，指導教員の承認を得て，リサーチ・ペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。

５）リサーチ・ペーパーは，上智大学大学院学則第 21 条に規定する修士論文とみなす。

６）修士論文，又はリサーチ・ペーパーを提出した者は，2 年次秋学期末に法学会が開催する「研究報告会」で報告すること。

７）「前期研究演習Ⅱ～Ⅳ」，又は「前期研究演習Ⅱ～Ⅲ」及び「前期論文演習」の 6 単位を含めて，合計 30 単位以上を履修すること。

８）「研究指導・課題研究・前期研究演習・前期論文演習」は，指導教員の科目を履修すること。

９）「研究指導」を在籍中（標準修業年限を超えて在籍する者も含む）毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

10)「課題研究」とは，①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ，②博士前期課程在籍中に 2 単位（1 学期 1 単位）まで取得することができ，③履修登録に際しては，あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て，その了解を得ること。

　なお，「課題研究」の履修登録を予定する者は，履修登録期間前までに法律学専攻事務室に＊所定用紙を提出すること。

11）４月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される「法学研究科（博士前期課程）における履修の流れ等（２年修了予定者）」を参照のこと。

＊上記所定用紙は，法律学専攻事務室にて配付。

（早期修了予定者）

1）上智大学大学院学則第 21 条第１項ただし書に規定する 1 年間の在学期間（早期修了）を希望する者は，指導教員の承認を得て，1 年次４月第２月曜日までに，「早期修了申請書」（＊所定用紙）を法学研究科委員長（法律学専攻事務室）に届け出ること。なお，本学の法律学専攻博士後期課程進学希望者は，早期修了を希望することができない。同項ただし書に規定する「優れた業績を上げた者」とは，修了に必要な修得単位の成績評価の GPA が 3.4 以上であり，修士論文又はリサーチ・ペーパーが審査委員会によってＢ以上と評価された者とする。

2）「前期研究演習Ⅰ」，「前期研究演習Ⅱ」の履修登録を行うこと。

3）1 年次春学期末に研究報告書を提出し，1 年次秋学期末に修士論文又はリサーチ・ペーパーを提出すること。

4）リサーチ・ペーパーは，上智大学大学院学則第 21 条に規定する修士論文とみなすこと。

5）修士論文又はリサーチ・ペーパーを提出した者は，1 年次秋学期末に法学会が主催する「研究報告会」で報告すること。

6）「前期研究演習Ⅰ」，「前期研究演習Ⅱ」の 4 単位を含めて，合計 30 単位以上を履修すること。

7）「研究指導」を在籍中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

8）早期修了の予定を取り消す者については，指導教員の承認を得て，2019 年 11 月 18 日～11 月 29 日の期間（修士論文題目提出期間）に，「早期修了取消届出書」（＊所定用紙）を，法学研究科委員長（法律学専攻事務室）に届け出ること。その者の履修は，上記の標準修業年限（2 年）修了予定者に準ずる。

9）「課題研究」とは，①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ，②博士前期課程在籍中に 2 単位（1 学期 1 単位）まで取得することができ，③履修登録に際しては，あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て，その了解を得ること。

　なお，「課題研究」の履修登録を予定する者は，履修登録期間前までに法律学専攻事務室に＊所定用紙を提出すること。

10）４月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される「法学研究科（博士前期課程）における履修の流れ等（早期修了予定者）」を参照のこと。

＊上記所定用紙は，法律学専攻事務室にて配付。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員＊：非常勤教員	外国語	備考
＜必修科目＞							
MLLW1125	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	桑　原　勇　進		M1早期修了予定者対象
MLLW1114	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	安　西　明　子		M1早期修了予定者対象
MLLW1135	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501-41m00	2	梅　村　　悠		M1早期修了予定者対象
MLLW1325	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	桑　原　勇　進		M1対象
MLLW1314	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	安　西　明　子		M1対象
MLLW1335	春	前期研究演習Ⅱ	LAW502-41m00	2	梅　村　　悠		M1対象
MLLW1430	春	前期研究演習Ⅲ	LAW503-41m00	2	梅　村　　悠		M2対象(前期研究演習Ⅱを修得済みであること)
MLLW1406	春	前期研究演習Ⅲ	LAW503-41m00	2	出　口　耕　自		M2対象(前期研究演習Ⅱを修得済みであること)
＜選択必修科目＞							
MLLW1530	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW504-41m00	2	梅　村　　悠		M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済みであること)
MLLW1506	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW504-41m00	2	出　口　耕　自		M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済みであること)
MLLW1630	秋	前期論文演習	LAW505-41m00	2	梅　村　　悠		M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済みであること)

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員＊：非常勤教員	外国語	備考
MLLW1606	秋	前期論文演習	LAW505-41m00	2	出　口　耕　自		M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済みであること)
＜選択科目＞※重複履修可（他専攻開講科目を除く）							
MLLW7740	休講△	課題研究	LAW506-41m00	1	法律学専攻各指導教員		M1・M2対象，△履修登録希望者がいる場合，春学期開講
MLLW7750	休講△	課題研究	LAW506-41m00	1	法律学専攻各指導教員		M1・M2対象，△履修登録希望者がいる場合，秋学期開講
MLLW7010	休講	法哲学研究Ⅰ(法哲学文献講読)	JUR501-41j00	2			隔年開講
MLLW7020	春	法哲学研究Ⅱ(正義論文献講読)	JUR502-41j00	2	奥　田　純一郎		隔年開講
MLLW7030	休講	西洋法制史研究Ⅰ (ヨーロッパ近世・近代史)	JUR503-41m00	2			隔年開講
MLLW7040	秋	西洋法制史研究Ⅱ (ヨーロッパ現代史)	JUR504-41m00	2	松　本　尚　子		隔年開講
MLLW7060	春	外国法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR505-41m00	2	岩　田　　太		
MLLW7070	秋	外国法研究Ⅲ (ドイツ法文献講読)	JUR506-41m00	2	松　本　尚　子		
MLLW7090	春	比較法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR507-41m00	2	岩　田　　太		
MLLW7100	春	憲法研究Ⅰ(憲法判例研究)	PBL501-41m00	2	江　藤　祥　平		
MLLW7110	春	憲法研究Ⅱ(憲法解釈理論)	PBL502-41m00	2	江　藤　祥　平		
MLLW7790	春	憲法研究Ⅲ(憲法判例研究)	PBL503-41j00	2	巻　　美矢紀		
MLLW7120	秋	憲法研究Ⅳ（憲法理論研究）	PBL504-41j00	2	巻　　美矢紀		
MLLW7130	休講	憲法研究Ⅴ(憲法理論研究)	PBL505-41j00	2			
MLLW7140	休講	憲法研究Ⅵ(憲法判例研究)	PBL506-41j00	2			
MLLW7150	休講	行政法研究Ⅰ(行政法判例研究)	PBL507-41m00	2			
MLLW7160	春	行政法研究Ⅱ(行政法判例研究)	PBL508-41m00	2	大　橋　真由美		
MLLW7170	休講	行政法研究Ⅲ(行政法判例研究)	PBL509-41j00	2			
MLLW7180	春	行政法研究Ⅳ(行政法判例研究)	PBL510-41j00	2	小　幡　純　子		
MLLW7190	春	政治学研究Ⅰ (政治経済文献講読)	POL501-41m00	2	加　藤　浩　三		
MLLW7200	秋	政治学研究Ⅱ (リサーチデザイン)	POL502-41m00	2	加　藤　浩　三		
MLLW7210	春	政治学研究Ⅲ (ジェンダーと政治１) GENDER AND POLITICS1	POL503-41e00	2	三　浦　ま　り	○	
MLLW7220	休講	政治学研究Ⅳ (ジェンダーと政治２) GENDER AND POLITICS2	POL504-41e00	2		○	
MLLW7230	春	政治学研究Ⅴ(国際政治の諸理論) INTERNATIONAL RELATIONS THEORY	POL505-41e00	2	岡　部　みどり	○	
MLLW7240	秋	政治学研究Ⅵ(人の国際移動) INTERNATIONAL MIGRATION	POL506-41e00	2	岡　部　みどり	○	
MLLW7250	春	民法研究Ⅰ(債権法の諸問題)	CVL501-41j00	2	奥　冨　　晃		
MLLW7260	秋	民法研究Ⅱ（ドイツ民法文献講読）	CVL502-41m00	2	大　塚　智　見		
MLLW7270	春	民法研究Ⅲ(英米契約法・信託法の検討)	CVL503-41m00	2	小　山　泰　史		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員＊：非常勤教員	外国語	備考
MLLW7280	春	民法研究Ⅳ（フランス民法文献講読）	CVL504-41m00	2	大塚智見		
MLLW7290	春	民法研究Ⅴ（債権法改正の諸問題（共同担保法に関する諸問題その１））	CVL505-41m00	2	佐藤岩昭		
MLLW7300	秋	民法研究Ⅵ（債権法改正の諸問題（共同担保法に関する諸問題その２））	CVL506-41m00	2	佐藤岩昭		
MLLW7310	春	民法研究Ⅶ（物権法の諸問題）	CVL507-41j00	2	伊藤栄寿		
MLLW7320	秋	民法研究Ⅷ（決済法の研究）	CVL508-41j00	2	伊藤栄寿		
MLLW7330	春	民法研究Ⅸ（親族法の諸問題）	CVL509-41j00	2	羽生香織		
MLLW7340	春	民法研究Ⅹ（相続法の諸問題）	CVL510-41j00	2	羽生香織		
MLLW7350	春	商法研究Ⅰ（英米保険法研究）	CML501-41j00	2	甘利公人		
MLLW7360	秋	商法研究Ⅱ（商事判例研究）	CML502-41j00	2	甘利公人		
MLLW7370	春	商法研究Ⅲ（外国語文献講読・ウィーン売買条約）	CML503-41m00	2	松井智予		
MLLW7380	春	商法研究Ⅳ（ドイツ会社法判例講読）	CML504-41m00	2	伊藤雄司		
MLLW7820	秋	商法研究Ⅴ（ドイツ会社法文献講読）	CML505-41m00	2	伊藤雄司		
MLLW7830	春	商法研究Ⅵ（英米商事法研究Ⅰ）	CML506-41m00	2	梅村悠		
MLLW7381	秋	商法研究Ⅶ（英米商事法研究Ⅱ）	CML507-41m00	2	梅村悠		
MLLW7390	秋	民事訴訟法研究Ⅰ（民事手続法の理論研究）	CPL501-41j00	2	原強		
MLLW7400	秋	民事訴訟法研究Ⅱ（民事訴訟法の判例研究）	CPL502-41j00	2	田頭章一		
MLLW7410	秋	民事訴訟法研究Ⅲ（民事執行法の理論研究）	CPL503-41m00	2	安西明子		
MLLW7920	春	刑法研究Ⅰ（刑法における重要判例の検討①）	CRL501-41j00	2	佐藤結美		
MLLW7930	秋	刑法研究Ⅱ（刑法における重要判例の検討②）	CRL502-41j00	2	佐藤結美		
MLLW7940	春	刑法研究Ⅲ（刑法理論の検討）	CRL503-41j00	2	伊藤渉		
MLLW7950	秋	刑法研究Ⅳ（現代社会における刑法の機能）	CRL504-41j00	2	伊藤渉		
MLLW7960	春	刑法研究Ⅴ（重要論点の検討①）	CRL505-41j00	2	照沼亮介		
MLLW7970	秋	刑法研究Ⅵ（重要論点の検討②）	CRL506-41j00	2	照沼亮介		
MLLW7980	春	刑事訴訟法研究Ⅰ（アメリカ刑事手続法入門①）	CRL507-41m00	2	長沼範良		
MLLW7990	秋	刑事訴訟法研究Ⅱ（アメリカ刑事手続法入門②）	CRL508-41m00	2	長沼範良		
MLLW7440	春	労働法研究Ⅰ（雇用関係法）	SCL501-41m00	2	富永晃一		
MLLW7450	秋	労働法研究Ⅱ（労使関係法）	SCL502-41m00	2	富永晃一		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員＊：非常勤教員	外国語	備考
MLLW7460	春	経済法研究Ⅰ(独占禁止法)	SCL503-41m00	2	楠　茂　樹		
MLLW7470	秋	経済法研究Ⅱ(公共調達と法)	SCL504-41m00	2	楠　茂　樹		
MLLW7480	春	知的財産権法研究Ⅰ(著作権法)	SCL505-41m00	2	駒　田　泰　土		
MLLW7490	秋	知的財産権法研究Ⅱ (特許・商標法)	SCL506-41m00	2	駒　田　泰　土		
MLLW7660	休講	社会保障法研究Ⅰ (社会保障法政策研究)	SCL507-41m00	2			
MLLW7670	休講	社会保障法研究Ⅱ (社会保障法判例研究)	SCL508-41m00	2			
MLLW7500	春	国際法研究Ⅰ(国際法総論)	INL501-41m00	2	江　藤　淳　一		
MLLW7510	春	国際法研究Ⅱ(国際紛争処理)	INL502-41m00	2	川　瀬　剛　志		
MLLW7520	休講	国際法研究Ⅲ(判例研究)	INL503-41m00	2			
MLLW7530	春	国際法研究Ⅳ(文献講読)	INL504-41m00	2	兼　原　敦　子		
MLLW7780	休講	国際法研究Ⅴ(海洋法研究)	INL507-41j00	2			
MLLW7800	春	国際法研究Ⅵ(国際環境法研究)	INL508-41j00	2	堀　口　健　夫		
MLLW7560	休講	国際経済法研究Ⅰ (ＷＴＯ判例研究１)	INL505-41m00	2			
MLLW7570	秋	国際経済法研究Ⅱ (ＷＴＯ判例研究２)	INL506-41m00	2	川　瀬　剛　志		
MLLW7600	春	国際私法研究Ⅰ(比較国際私法)	PIL501-41m00	2	出　口　耕　自		
MLLW7610	休講	国際私法研究Ⅱ(比較国際民事訴訟法)	PIL502-41m00	2			
MLLW7630	春	国際取引法研究Ⅰ (国際取引法文献講読１)	PIL503-41m00	2	森　下　哲　朗		
MLLW7640	秋	国際取引法研究Ⅱ (国際取引法文献講読２)	PIL504-41m00	2	森　下　哲　朗		
MLLW7680	春	環境法研究Ⅰ (住生活環境法研究)	ENL501-41j00	2	北　村　喜　宣		
MLLW7690	休講	環境法研究Ⅱ(環境法理論研究)	ENL502-41j00	2			
MLLW7700	休講	環境法研究Ⅲ(環境法の基礎理論)	ENL503-41j00	2			
MLLW7710	春	環境法研究Ⅳ(環境法の基本原則)	ENL504-41j00	2	桑　原　勇　進		
MLLW7720	秋	環境法研究Ⅴ (まちづくり，観光と法)	ENL505-41j00	2	越　智　敏　裕		
MLLW7730	休講	環境法研究Ⅵ(環境判例研究)	ENL506-41j00	2			
MLLW7890	秋	環境法研究Ⅶ(環境法事例研究)	ENL507-41m00	2	筑　紫　圭　一		
MLLW7891	休講	環境法研究Ⅷ(環境法文献講読)	ENL508-41m00	2			
LWS61500	秋	特殊講義（警察活動と法実務）	LAW701-10j00	1	＊金　山　泰　介		(他)法曹養成専攻，学期前半，授業日程・履修中止期間が異なるので，開講学期の履修登録期間が始まる前に法律学専攻事務室に確認すること
LWS60600	秋	LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	PIL706-10e00	1	コーディネータ 森　下　哲　朗	○	(他)法曹養成専攻，学期前半，輪講，授業日程・履修中止期間が異なるので，開講学期の履修登録期間が始まる前に法律学専攻事務室に確認すること
MFIR6120	休講	国際経済学研究１	IRS553-66j00	2			(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6130	休講	国際経済学研究２	IRS554-66j00	2			(他)国際関係論専攻，隔年開講

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員＊：非常勤教員	外国語	備考
MFIR6140	春	国際政治経済論研究１ (経済学的アプローチ)	IRS547-66j00	2	(他)下川　雅嗣		(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6150	休講	国際政治経済論研究２ (経済学的アプローチ)	IRS548-66j00	2			(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6200	春	対外政策研究１	IRS503-66j00	2	(他)樋渡　由美		(他)国際関係論専攻，M1対象
MFIR6220	秋	対外政策研究２	IRS504-66j00	2	(他)樋渡　由美		(他)国際関係論専攻，M1対象
MFIR6300	春	比較政治学研究１	IRS505-66j00	2	(他)岸川　　毅		(他)国際関係論専攻
MFIR6310	休講	比較政治学研究２	IRS506-66j00	2			(他)国際関係論専攻
MZAG5380	春	国際関係論 INTERNATIONAL RELATIONS THEORY	GST619-65e00	2	(他)安野　正士	○	(他)グローバル社会専攻
MZAG5410	秋	主権，国家，自由主義 SOVEREIGNTY,NATIONHOOD,LIBERALISM	GST620-65e00	2	(他)安野　正士	○	(他)グローバル社会専攻
MZAG5020	春	比較政治学Ⅰ COMPARATIVE POLITICS	GST601-65e00	2	(他)中野　晃一	○	(他)グローバル社会専攻
MZAG5040	秋	比較政治学Ⅱ DEMOCRACY IN GLOBALIZATION	GST602-65e00	2	(他)中野　晃一	○	(他)グローバル社会専攻
MZAG5310	休講	グローバル政治学Ⅲ GLOBAL POLITICS	GST614-65e00	4		○	(他)グローバル社会専攻
＜修士論文＞							
MLLW9020	秋	修士論文／リサーチペーパー	LAW6699-41m00	0	法律学専攻各指導教員		M2(M1早期修了予定者含む)対象
MLLW9021	春	修士論文／リサーチペーパー	LAW6699-41m00	0	法律学専攻各指導教員		M2(9月修了予定者)対象

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW5599-41m00	出　口　耕　自	
	梅　村　　悠	
	桑　原　勇　進	
	安　西　明　子	

法律学専攻　博士後期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗後期論文演習Ⅰ－Ａ	2		Ｄ１対象
┗後期論文演習Ⅰ－Ｂ	2		Ｄ１対象
┗後期論文演習Ⅱ－Ａ	2		Ｄ２対象
┗後期論文演習Ⅱ－Ｂ	2		Ｄ２対象
┗後期論文演習Ⅲ―Ａ	2		Ｄ３対象
┗後期論文演習Ⅲ―Ｂ	2		Ｄ３対象
‣選択科目	8		
研究指導（必修）		6	Ｄ１・Ｄ２・Ｄ３対象，単位なし，在学中毎学期履修登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
‣必修科目	12		
┗後期論文演習Ⅰ－Ａ	2		Ｄ１対象
┗後期論文演習Ⅰ－Ｂ	2		Ｄ１対象
┗後期論文演習Ⅱ－Ａ	2		Ｄ２対象
┗後期論文演習Ⅱ－Ｂ	2		Ｄ２対象
┗後期論文演習Ⅲ―Ａ	2		Ｄ３対象
┗後期論文演習Ⅲ―Ｂ	2		Ｄ３対象
‣選択科目	8		
研究指導（必修）			Ｄ１・Ｄ２・Ｄ３対象，単位なし，在学中毎学期履修登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

博士学位論文の位置づけと評価基準

１）博士の学位は，博士後期課程において履修と研鑽を通じて，専門的研究者としての能力水準を十分に具え，それが提出論文に充分反映されている場合に，これを授与するものとする（課程「修了」の証明）。また，この学位は，爾後，学界において研究者としての活動を継続・発展させていくに必要な能力を十分に具えていると思料される場合に，これを授与するものとする。

2）博士の学位論文は，主題に関する学界での到達点を適切に理解し，かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法を十分に提示していること，論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ，構成力と表現力において優れていること等が必要である。

2．授業科目の編成・単位

科　目　名 ※(他)：他専攻開講科目	単　位　数		
	必修	選必	選択
＜必修科目＞			
後期論文演習Ⅰ－A	2		
後期論文演習Ⅰ－B	2		
後期論文演習Ⅱ－A	2		
後期論文演習Ⅱ－B	2		
後期論文演習Ⅲ－A	2		
後期論文演習Ⅲ－B	2		
＜選択科目＞			
法律学政治学特殊研究Ⅰ			2
法律学政治学特殊研究Ⅱ			2
法律学政治学特殊研究Ⅲ			2
法律学政治学特殊研究Ⅳ			2
選択科目は上記４科目および法律学専攻前期課程の選択科目（【課題研究】除く）から履修すること（p. 197～p. 200参照）※重複履修可（他専攻開講科目を除く）			

3．履修上の注意

1）「後期論文演習Ⅰ-A」，「後期論文演習Ⅰ-B」，「後期論文演習Ⅱ-A」，「後期論文演習Ⅱ-B」，「後期論文演習Ⅲ-A」，「後期論文演習Ⅲ-B」の履修登録を行い，かつ各年度末には研究報告書を提出すること。

2）「後期論文演習Ⅰ-A」，「後期論文演習Ⅰ-B」，「後期論文演習Ⅱ-A」，「後期論文演習Ⅱ-B」，「後期論文演習Ⅲ-A」，「後期論文演習Ⅲ-B」（12 単位）を含めて 20 単位以上を履修すること。

3）「研究指導・後期論文演習」は，指導教員の科目を履修すること。

4）「研究指導」を在籍中（標準修業年限を超えて在籍する者も含む）毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

5）後期課程の単位を取得したが学位論文を提出することなくその課程を満期退学しようとする者は，それまでの研究成果をまとめて論文として提出し，研究科委員会の承認を受けること。

6）４月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される①「法学研究科（博士後期課程）における履修の流れ等」，②「博士論文（課程博士）の作成・提出要領」を参照のこと（①については，2019 年度入学生から適用）。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
＜必修科目＞							
	休講	後期論文演習Ⅰ－Ａ	LAW801-41m00	2			D1対象
DLLW3434	秋	後期論文演習Ⅰ－Ｂ	LAW802-41m00	2	出　口　耕　自		D1対象(後期論文演習Ⅰ－Ａを修得済みであること)
	休講	後期論文演習Ⅱ－Ａ	LAW803-41m00	2			D2対象(後期論文演習Ⅰ－Ｂを修得済みであること)
	休講	後期論文演習Ⅱ－Ｂ	LAW804-41m00	2			D2対象(後期論文演習Ⅱ－Ａを修得済みであること)
DLLW3901	春	後期論文演習Ⅲ－Ａ	LAW805-41m00	2	奥　田　純一郎		D3対象(後期論文演習Ⅱ－Ｂを修得済みであること)
DLLW3910	春	後期論文演習Ⅲ－Ａ	LAW805-41m00	2	三　浦　ま　り		D3対象(後期論文演習Ⅱ－Ｂを修得済みであること)
DLLW4001	秋	後期論文演習Ⅲ－Ｂ	LAW806-41m00	2	奥　田　純一郎		D3対象(後期論文演習Ⅲ－Ａを修得済みであること)
DLLW4010	秋	後期論文演習Ⅲ－Ｂ	LAW806-41m00	2	三　浦　ま　り		D3対象(後期論文演習Ⅲ－Ａを修得済みであること)
＜選択科目＞							
DLLW7000	春	法律学政治学特殊研究Ⅰ (ＥＵ国際私法)	LAW807-41m00	2	出　口　耕　自		D1・D2・D3対象
DLLW7010	春	法律学政治学特殊研究Ⅱ (アメリカ環境法研究)	LAW808-41j00	2	北　村　喜　宣		D1・D2・D3対象
DLLW7020	秋	法律学政治学特殊研究Ⅲ (比較環境法研究)	LAW809-41j00	2	北　村　喜　宣		D1・D2・D3対象
DLLW7030	春	法律学政治学特殊研究Ⅳ (ジェンダー政治学における方法論)	LAW810-41m00	2	三　浦　ま　り		D1・D2・D3対象
選択科目は上記４科目および法律学専攻前期課程の選択科目（【課題研究】除く）から履修すること（p.197～p.200参照）※重複履修可（他専攻開講科目を除く）							

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW8899-41m00	奥　田　純一郎	
	北　村　喜　宣	
	三　浦　ま　り	
	出　口　耕　自	

経 済 学 研 究 科

経済学専攻

経営学専攻

1．経済学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

経済学・経営学に関する深い学識を基礎に，実際的な応用能力を有する職業専門家，深い洞察力を備えた高い水準の研究者を育成する。

前期課程修了者には，専門知識を活かして，研究やコンサルティングに従事したり，企業実務の第一線で活躍する高度専門職業人となることが期待される。

後期課程修了者には，学術・研究機関において教育・研究に従事することが期待される。

2．各専攻のディプロマ・ポリシー

経済学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 経済を，理論的，実証的，歴史的に分析する力
2. 現代社会が直面する事象や問題について経済学の知識を活用し論理的に思考する力
3. データ処理・分析を通じてデータに潜む情報を表現する力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自ら選んだ専攻分野で専門家としての能力を深め，高める能力
2. 学術性の高い研究課題を設定し，経済学の適切な枠組みを用いて考察・分析を行う力
3. 自立した研究者として独自の研究を遂行し，研究で得た知見や洞察を用いて世界や社会の発展に貢献する力

経営学専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 経営学，マーケティング論，会計学あるいはこれらの周辺領域から選択された少なくとも一つの専門分野を深く理解する力
2. 本学の精神に基づき，世界の人々の生活向上や世界の企業のさらなる繁栄に寄与する独創的，先進的研究を行う力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 学術性の高い研究課題を設定し，経営学，マーケティング論，会計学の適切な枠組みを用いて考察・分析を行う力
2. 自立した研究者として独自の研究を遂行し，研究で得た知見や洞察を用いて世界や社会の発展に貢献する力

３．各専攻のカリキュラム・ポリシー

経済学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，1 年次のコースワークで経済学の理論や分析手法を修得し，2 年次では指導・審査グループの助言のもとでテーマを設定し学位論文を作成するよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 1 年次コースワークでは，基礎科目である「ミクロ経済学特講Ⅰ」「マクロ経済学特講Ⅰ」「計量経済学特講Ⅰ」および，「論文演習Ⅰ（基礎）」を必修科目とし，選択科目では各自の研究関心に応じて応用経済学の科目を開設する。
2. 「ミクロ経済学特講Ⅰ」「マクロ経済学特講Ⅰ」では，経済学の理論や分析手法を学び，「計量経済学特講Ⅰ」では，数量的分析手法を修得する。また，「論文演習Ⅰ（基礎）」や「選択科目」では，最新の研究動向を参考にしながら，現代社会が直面する事象や課題をどのような経済学的視点から分析できるのかを学ばせる。
3. 2 年次では，論文テーマの設定や考察・分析枠組みの選択等について，指導教員を中心とした 3 人の教員から構成される審査・指導グループにより学位論文作成を指導する。
4. 学位論文審査では，研究課題を経済学の適切な枠組みにより分析し，学術的な位置づけを明確にしながら論理的に記述できているかを問う。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーの達成を目的として，コースワークで経済学の高度な理論や分析手法を修得し，「研究指導」により博士論文作成の指導を受け，学内セミナーでの研究報告により学位論文の完成度を高めるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 「研究指導」を必修科目とし，博士論文のテーマ設定や分析手法の選択等について指導を行う。
2. コースワークとして理論経済学，応用経済学，経済統計の分野の科目を選択必修科目として開講する。
3. 学内セミナーで研究報告し，指導教員をはじめ他の教員からも助言を受け，論文の完成度を高める。
4. 研究成果の一部が査読付き専門雑誌へ掲載されるように指導を行う。
5. 学位論文審査では，独自の学術的価値を有するか，自立した研究者として研究遂行能力があるか等を問う。

経営学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，本学の精神を基礎として個々人の能力に沿い，個性を活かした成長を目指すよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 経営学，マーケティング論，会計学の各分野における標準的科目を配置する。
2. 少人数クラスにおいて，履修している学生の研究テーマや理解度を勘案しながら講義する。
3. 基礎と応用のバランス講義内容は，理論構築の基礎となる調査研究方法論（統計や社会調査技法）から，基礎的理論，現実の経営現象への応用まで広範囲にわたり，基礎と応用のバランスを考慮する。
4. 伝統的・標準的な文献講読タイプだけでなく，現実の事例に基づくケース・ディスカッション，データ分析の実習など多様な講義形式を科目特性や講義内容に応じて開設する。
5. 論文テーマの設定，その分析枠組みの選択，分析・考察および論文作成の各段階において，指導教員を中心とした 3 人の教員から構成される審査・指導グループが指導する。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，経営学，マーケティング論，会計学あるいはこれらの周辺領域から選択された研究課題に対する知見の深まりとその分析能力の高度化を目指すよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員による研究指導を通じて，理論を基礎とする現象分析や理論の現実への応用を可能とする高度な研究能力を涵養する。
2. 会計学，マーケティング論，経営学の分野の科目を開設する。
3. 国内あるいは海外の学会での発表，国内外の学術雑誌への論文投稿を推奨する。

経済学専攻　博士前期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣必修科目	8		
┗ミクロ経済学特講Ⅰ	2		
┗マクロ経済学特講Ⅰ	2		
┗計量経済学特講Ⅰ	2		
┗論文演習Ⅰ（基礎）	2		
‣選択科目	22		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。 ただし，早期修了者については，在学しない学期分は免除される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。）

【修士論文審査基準】

1）　指導・審査グループと協議の上，研究課題が明確に設定されていること。
2）　研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
3）　先行研究が適切に引用され，研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
4）　研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
5）　経済学の当該専門分野に関する深い理解に基づき，社会で生じる事象や問題を考察・分析したものであること。

2．授業科目の編成・単位

科　目　名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ミクロ経済学特講Ⅰ	2		
ミクロ経済学特講Ⅱ			2
マクロ経済学特講Ⅰ	2		
マクロ経済学特講Ⅱ			2
計量経済学特講Ⅰ	2		
計量経済学特講Ⅱ			2
論文演習Ⅰ（基礎）	2		
論文演習Ⅱ（応用）			2
プレゼンテーションの技術Ⅰ			2
プレゼンテーションの技術Ⅱ			2
公共経済学特講Ⅰ			2
公共経済学特講Ⅱ			2
国際貿易論特講Ⅰ			2
国際貿易論特講Ⅱ			2
財政学特講Ⅰ			2
財政学特講Ⅱ			2
産業組織論特講Ⅰ			2
産業組織論特講Ⅱ			2
環境経済学特講Ⅰ			2
環境経済学特講Ⅱ			2
金融論特講			4
貨幣とマクロ経済特講Ⅰ			2
貨幣とマクロ経済特講Ⅱ			2

科　目　名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
労働経済学特講Ⅰ			2
労働経済学特講Ⅱ			2
統計学特講Ⅰ			2
統計学特講Ⅱ			2
国際経済史特講			2
農業経済学特講			2
金融工学特講Ⅰ			2
金融工学特講Ⅱ			2
厚生経済学特講Ⅰ			2
厚生経済学特講Ⅱ			2
開発経済学特講Ⅰ			2
開発経済学特講Ⅱ			2
日本経済論特講Ⅰ			2
日本経済論特講Ⅱ			2
HEALTH ECONOMICS Ⅰ			2
HEALTH ECONOMICS Ⅱ			2
MONETARY ECONOMICS Ⅰ			2
MONETARY ECONOMICS Ⅱ			2
(他) 途上国の環境と開発			2

3．履修上の注意

1）修了要件に必要な必修科目 8 単位を含む 30 単位以上を修得し，指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

2）同一名の授業科目の単位を重複して取得しても，修了に必要な単位として算入できるのは，1 科目分のみである。

3）「研究指導（必修)」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

4）修士論文の履修登録については，論文を提出する学期の履修登録期間に必ず登録をすること。

5）年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文作成について」説明をおこなうので，必ず出席のこと。

(早期修了希望者)

上智大学大学院学則第 21 条に基づいて，経済学研究科経済学専攻および経営学専攻の博士前期課程における早期修了について，以下のように定められている。

1）早期修了とは，経済学研究科博士前期課程に 1 年在学した者のうち，所定の手続を経て，1 年次終了時をもって修了することである。

2）早期修了の認定を受けるには，次に掲げる要件を満たしていること。

（ア）本人が早期修了を希望すること。

（イ）早期修了時において，修了に必要な履修上の要件をすべて満たし，所定の授業科目の単位をすべて取得し，かつ，その成績評価が GPA3.8 以上であること。

（ウ）修了論文の評価が A であること。

3）早期修了を希望する者は，早期修了申請書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて，これを所属専攻主任・経済

学研究科委員長宛に提出すること。なお，早期修了申請書の提出は，１年次春学期の履修登録前までに行うこと。

４）申請取り消しを希望する場合は，１年次秋学期の履修中止期間中に，早期修了申請取消願書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて，これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MEEC1010	春	ミクロ経済学特講Ⅰ	ECN501-55j00	2	堀　江　哲　也		
MEEC1020	春	マクロ経済学特講Ⅰ	ECN503-55j00	2	近　藤　広　紀		
MEEC1030	春	計量経済学特講Ⅰ	ECN513-55j00	2	出　島　敬　久		
MEEC7150	春	国際貿易論特講Ⅰ	ECN511-55j00	2	蓬　田　守　弘		
MEEC7170	春	財政学特講Ⅰ	ECN509-55j00	2	中　里　　透		
MEEC7220	春	貨幣とマクロ経済特講Ⅰ	ECN505-55j00	2	竹　田　陽　介		
MEEC7280	春	統計学特講Ⅰ	ECN515-55j00	2	來　島　愛　子		
MEEC7360	春	産業組織論特講Ⅰ	ECN519-55j00	2	青　木　　研		
MEEC7460	春	国際経済史特講	ECN527-55j00	2	倉　田　正　充		
MEEC7500	春	日本経済論特講Ⅰ	ECN529-55j00	2	南　橋　尚　明		
MEEC7520	春	HEALTH ECONOMICS Ⅰ	ECN533-55e00	2	本　田　文　子	○	2018医療経済学特講Ⅰと同一科目。
MEEC7561	春	MONETARY ECONOMICS Ⅰ	ECN535-55e00	2	SCHLEGL Matthias	○	
P.212参照	春	論文演習Ⅰ（基礎）	ECN538-55j00	2	経済学専攻各指導教員		Ｍ１対象
P.212参照	春	プレゼンテーションの技術Ⅰ	ECN601-55j00	2	経済学専攻各指導教員		Ｍ２対象
MEEC7010	秋	ミクロ経済学特講Ⅱ	ECN502-55j00	2	釜　賀　浩　平		
MEEC7020	秋	マクロ経済学特講Ⅱ	ECN504-55j00	2	竹　田　陽　介		
MEEC7140	秋	公共経済学特講Ⅱ	ECN508-55j00	2	近　藤　広　紀		
MEEC7160	秋	国際貿易論特講Ⅱ	ECN512-55j00	2	蓬　田　守　弘		
MEEC7180	秋	財政学特講Ⅱ	ECN510-55j00	2	中　里　　透		
MEEC7400	秋	環境経済学特講Ⅰ	ECN523-55j00	2	堀　江　哲　也		
MEEC7190	秋	金融論特講	ECN537-55e00	4	川　西　　諭	○	
MEEC7240	秋	労働経済学特講Ⅰ	ECN517-55j00	2	出　島　敬　久		
MEEC7290	秋	統計学特講Ⅱ	ECN516-55j00	2	竹　内　明　香		
MEEC7420	秋	金融工学特講Ⅰ	ECN525-55j00	2	來　島　愛　子		
MEEC7470	秋	農業経済学特講	ECN528-55j00	2	倉　田　正　充		
MEEC7510	秋	日本経済論特講Ⅱ	ECN530-55j00	2	南　橋　尚　明		
MEEC7530	秋	HEALTH ECONOMICS Ⅱ	ECN534-55e00	2	本　田　文　子	○	2018医療経済学特講Ⅱと同一科目。
MEEC7562	秋	MONETARY ECONOMICS Ⅱ	ECN536-55e00	2	SCHLEGL Matthias	○	
P.212参照	秋	論文演習Ⅱ（応用）	ECN539-55j00	2	経済学専攻各指導教員		Ｍ１対象
P.212参照	秋	プレゼンテーションの技術Ⅱ	ECN602-55j00	2	経済学専攻各指導教員		Ｍ２対象
MEEC9010	秋	修士論文	ECN699-55j00	0	経済学専攻各指導教員		
MEEC7030	休	計量経済学特講Ⅱ	ECN514-55j00	2			
MEEC7130	休	公共経済学特講Ⅰ	ECN507-55j00	2			
MEEC7230	休	貨幣とマクロ経済特講Ⅱ	ECN506-55j00	2			
MEEC7250	休	労働経済学特講Ⅱ	ECN518-55j00	2			
MEEC7370	休	産業組織論特講Ⅱ	ECN520-55j00	2			
MEEC7380	休	厚生経済学特講Ⅰ	ECN521-55j00	2			
MEEC7390	休	厚生経済学特講Ⅱ	ECN522-55j00	2			
MEEC7410	休	環境経済学特講Ⅱ	ECN524-55j00	2			
MEEC7430	休	金融工学特講Ⅱ	ECN526-55j00	2			
MEEC7480	未定	開発経済学特講Ⅰ	ECN531-55j00	2			
MEEC7490	未定	開発経済学特講Ⅱ	ECN532-55j00	2			
MGGE7200	休	途上国の環境と開発	ENV609-94j00	2			（他）地球環境学研究科，隔年開講

論文演習（Ⅰ・Ⅱ），プレゼンテーションの技術（Ⅰ・Ⅱ）　登録コード一覧

科目名・対象／開講期 ＼ 指導教員	論文演習Ⅰ（基礎）Ｍ１／春	論文演習Ⅱ（応用）Ｍ１／秋	プレゼンテーションの技術Ⅰ Ｍ２／春	プレゼンテーションの技術Ⅱ Ｍ２／秋
	登録コード	登録コード	登録コード	登録コード
竹田　陽介	MEEC1101	MEEC7701	MEEC7801	MEEC7901
出島　敬久	MEEC1102	MEEC7702	MEEC7802	MEEC7902
青木　　研	MEEC1104	MEEC7704	MEEC7804	MEEC7904
中里　　透	MEEC1105	MEEC7705	MEEC7805	MEEC7905
川西　　諭	MEEC1106	MEEC7706	MEEC7806	MEEC7906
蓬田　守弘	MEEC1107	MEEC7707	MEEC7807	MEEC7907
近藤　広紀	MEEC1108	MEEC7708	MEEC7808	MEEC7908
來島　愛子	MEEC1109	MEEC7709	MEEC7809	MEEC7909
竹内　明香	MEEC1110（休講）	MEEC7710	MEEC7810（休講）	MEEC7910
釜賀　浩平	MEEC1112（休講）	MEEC7712	MEEC7812（休講）	MEEC7912
倉田　正充	MEEC1114	MEEC7714	MEEC7814	MEEC7914
堀江　哲也	MEEC1116	MEEC7716	MEEC7816	MEEC7916
南橋　尚明	MEEC1117	MEEC7717	MEEC7817	MEEC7917
本田　文子	MEEC1118	MEEC7718	MEEC7818	MEEC7918

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ECN599-55j00	出　島　敬　久	
	竹　田　陽　介	
	青　木　　研	
	中　里　　透	
	川　西　　諭	
	蓬　田　守　弘	
	近　藤　広　紀	
	來　島　愛　子	
	竹　内　明　香	休講（春）
	釜　賀　浩　平	休講（春）
	堀　江　哲　也	
	南　橋　尚　明	
	本　田　文　子	
	倉　田　正　充	

経済学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
・必修科目			
・選択必修科目	6		理論経済学・応用経済学・経済統計の3コースの中から1コースを選択する。
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。

【17 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。

【16 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，修業年数にかかわらず，在学中は毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。

【博士論文審査基準】

1）　学術性の高い研究課題が設定されていること。
2）　研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
3）　先行研究が適切に引用され，研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
4）　研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
5）　経済学の当該専門分野において，独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
6）　執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
【理論経済学コース】			
理論経済学特講Ⅰ		2	
理論経済学特講Ⅱ		2	
理論経済学特講Ⅲ		2	
【応用経済学コース】			
応用経済学特講Ⅰ		2	
応用経済学特講Ⅱ		2	
応用経済学特講Ⅲ		2	
【経済統計コース】			
経済統計特講Ⅰ		2	
経済統計特講Ⅱ		2	
経済統計特講Ⅲ		2	

３．履修上の注意

指導教員の研究指導を受け，博士論文を作成・提出することが必要である。
2018 年度以降に入学した者には，コースワークが設定されている。
選択必修科目のうち，各コースの特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に履修すること。

研究指導について
【14～16 年次生】在学期間中は研究指導が毎学期履修登録される。
【17 年次生以降】在学中毎学期受けること。なお，必要な合格科目数も定められているので，１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。
年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明をおこなうので，必ず出席のこと。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
	春	理論経済学特講Ⅰ	ECN801-55j00	2	指導教員		Ｄ１対象
	春	応用経済学特講Ⅰ	ECN804-55j00	2	指導教員		Ｄ１対象
	春	経済統計特講Ⅰ	ECN807-55j00	2	指導教員		Ｄ１対象
	休講	理論経済学特講Ⅱ	ECN802-55j00	2	指導教員		Ｄ２対象
	休講	応用経済学特講Ⅱ	ECN805-55j00	2	指導教員		Ｄ２対象
	休講	経済統計特講Ⅱ	ECN808-55j00	2	指導教員		Ｄ２対象
	休講	理論経済学特講Ⅲ	ECN803-55j00	2	指導教員		Ｄ３対象
	休講	応用経済学特講Ⅲ	ECN806-55j00	2	指導教員		Ｄ３対象
	休講	経済統計特講Ⅲ	ECN809-55j00	2	指導教員		Ｄ３対象

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ECN899-55j00	出　島　敬　久	
	青　木　　研	
	川　西　　諭	
	近　藤　広　紀	
	來　島　愛　子	
	中　里　　透	
	竹　田　陽　介	
	蓬　田　守　弘	
	竹　内　明　香	休講（春）
	釜　賀　浩　平	休講（春）
	堀　江　哲　也	
	南　橋　尚　明	
	本　田　文　子	
	倉　田　正　充	

経営学専攻　博士前期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣必修科目			
┗論文演習Ⅰ	2		
‣選択科目	28		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。 ただし，早期修了者については，在学しない学期分は免除される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。）

【16 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣必修科目			
┗論文演習Ⅰ	2		
‣選択科目	28		
┗自専攻科目			
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。）

【修士論文審査基準】

1）　指導・審査グループと協議の上，研究課題が明確に設定されていること。
2）　研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
3）　先行研究が適切に引用され，研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
4）　研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
5）　経営学の当該専門分野に関する深い理解に基づき，社会で生じる事象や問題を考慮・分析したものであること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ	2		
論文演習Ⅱ			2
論文演習Ⅲ			2
論文演習Ⅳ			2
財務会計論特講Ⅰ			2
財務会計論特講Ⅱ			2
財務会計論研究Ⅰ			2
財務会計論研究Ⅱ			2
公会計特講Ⅰ			2
公会計特講Ⅱ			2
公会計研究Ⅰ			2
公会計研究Ⅱ			2
管理会計論特講Ⅰ			2
管理会計論特講Ⅱ			2
管理会計論研究Ⅰ			2
管理会計論研究Ⅱ			2
経営財務論特講Ⅰ			2
経営財務論特講Ⅱ			2
経営財務論研究Ⅰ			2
経営財務論研究Ⅱ			2
経営管理論特講Ⅰ			2
経営管理論特講Ⅱ			2
経営管理論研究Ⅰ			2
経営管理論研究Ⅱ			2
経営戦略論特講Ⅰ			2
経営戦略論特講Ⅱ			2
経営戦略論研究Ⅰ			2
経営戦略論研究Ⅱ			2
人事管理論特講Ⅰ			2
人事管理論特講Ⅱ			2
人事管理論研究Ⅰ			2
人事管理論研究Ⅱ			2
経営組織論特講Ⅰ			2
経営組織論特講Ⅱ			2

科　目　名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
経営組織論研究Ⅰ			2
経営組織論研究Ⅱ			2
マーケティング戦略論特講Ⅰ			2
マーケティング戦略論特講Ⅱ			2
マーケティング戦略論研究Ⅰ			2
マーケティング戦略論研究Ⅱ			2
国際経営論特講Ⅰ			2
国際経営論特講Ⅱ			2
国際経営論研究Ⅰ			2
国際経営論研究Ⅱ			2
SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅠ			2
SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅡ			2
RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅠ			2
RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅡ			2
消費者行動論特講Ⅰ			2
消費者行動論特講Ⅱ			2
消費者行動論研究Ⅰ			2
消費者行動論研究Ⅱ			2
マーケティング・コミュニケーション特講Ⅰ			2
マーケティング・コミュニケーション特講Ⅱ			2
マーケティング・コミュニケーション研究Ⅰ			2
マーケティング・コミュニケーション研究Ⅱ			2
製品開発論特講Ⅰ			2
製品開発論特講Ⅱ			2
製品開発論研究Ⅰ			2
製品開発論研究Ⅱ			2

３．履修上の注意

1）修了要件に必要な 30 単位以上を修得し，指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

2）同一名の授業科目の単位を重複して取得しても，修了に必要な単位として算入できるのは，1 科目分のみである。

3）各教員が特講と研究を開講しているが，研究は特講を修得した者が履修できることとする。

4）研究指導を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

5）年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文作成について」説明を行うので，必ず出席のこと。

（早期修了希望者）

上智大学大学院学則第21条に基づいて，経済学研究科経済学専攻および経営学専攻の博士前期課程における早期修了について，以下のように定められている。

1）早期修了とは，経済学研究科博士前期課程に1年在学した者のうち，所定の手続を経て，1年次終了時をもって修了することである。

2）早期修了の認定を受けるには，次に掲げる要件を満たしていること。

（ア）本人が早期修了を希望すること。

（イ）早期修了時において，修了に必要な履修上の要件をすべて満たし，所定の授業科目の単位をすべて取得し，かつ，その成績評価がGPA3.8以上であること。

（ウ）修了論文の評価がAであること。

3）早期修了を希望する者は，早期修了申請書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて，これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。なお，早期修了申請書の提出は，1年次春学期の履修登録前までに行うこと。

4）申請取り消しを希望する場合は，1年次秋学期の履修中止期間中に，早期修了申請取消願書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて，これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。

4．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
P.220参照	春	論文演習Ⅰ	MMI501-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M1対象
P.220参照	秋	論文演習Ⅱ	MMI502-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M1対象
P.220参照	春	論文演習Ⅲ	MMI603-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M2対象
P.220参照	秋	論文演習Ⅳ	MMI604-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M2対象
MEMG7010	春	財務会計論特講Ⅰ	ACC501-56j00	2	西澤　茂		「財務会計論研究Ⅰ」と合併
MEMG7030	春	財務会計論研究Ⅰ	ACC601-56j00	2	西澤　茂		M2対象，「財務会計論特講Ⅰ」と合併
MEMG7786	春	公会計特講Ⅰ	ACC503-56j00	2	若林利明		「公会計研究Ⅰ」と合併
MEMG7788	春	公会計研究Ⅰ	ACC606-56j00	2	若林利明		M2対象，「公会計特講Ⅰ」と合併
MEMG7170	春	経営財務論特講Ⅰ	MAN501-56j00	2	石井昌宏		「経営財務論研究Ⅰ」と合併
MEMG7190	春	経営財務論研究Ⅰ	MAN601-56j00	2	石井昌宏		M2対象，「経営財務論特講Ⅰ」と合併
MEMG7210	春	経営管理論特講Ⅰ	MAN503-56j00	2	山田幸三		「経営管理論研究Ⅰ」と合併
MEMG7230	春	経営管理論研究Ⅰ	MAN603-56j00	2	山田幸三		M2対象，「経営管理論特講Ⅰ」と合併
MEMG7290	春	人事管理論特講Ⅰ	MAN507-56j00	2	細萱伸子		「人事管理論研究Ⅰ」と合併
MEMG7310	春	人事管理論研究Ⅰ	MAN607-56j00	2	細萱伸子		M2対象，「人事管理論特講Ⅰ」と合併
MEMG7330	春	経営組織論特講Ⅰ	MAN509-56j00	2	関　廷媛		「経営組織論研究Ⅰ」と合併
MEMG7350	春	経営組織論研究Ⅰ	MAN609-56j00	2	関　廷媛		M2対象，「経営組織論特講Ⅰ」と合併
MEMG7410	春	国際経営論特講Ⅰ	MAN511-56j00	2	竹之内秀行		「国際経営論研究Ⅰ」と合併
MEMG7430	春	国際経営論研究Ⅰ	MAN611-56j00	2	竹之内秀行		M2対象，「国際経営論特講Ⅰ」と合併
MEMG7782	春	SEMINAR IN GLOBAL MARKETING Ⅰ	MRK507-56e00	2	JOHNS Adam	○	「RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅠ」と合併
MEMG7780	春	RESEARCH IN GLOBAL MARKETING Ⅰ	MRK607-56e00	2	JOHNS Adam	○	M2対象，「SEMINAR IN GLOBAL MARKETING Ⅰ」と合併
MEMG7530	休講	消費者行動論特講Ⅰ	MRK501-56j00	2			「消費者行動論研究Ⅰ」と合併
MEMG7550	休講	消費者行動論研究Ⅰ	MRK601-56j00	2			M2対象，「消費者行動論特講Ⅰ」と合併
MEMG7610	春	マーケティング戦略論特講Ⅰ	MRK503-56j00	2	杉谷陽子		「マーケティング戦略論研究Ⅰ」と合併
MEMG7630	春	マーケティング戦略論研究Ⅰ	MRK603-56j00	2	杉谷陽子		M2対象，「マーケティング戦略論特講Ⅰ」と合併
MEMG7690	春	マーケティング・コミュニケーション特講Ⅰ	MRK505-56j00	2	新井範子		「マーケティング・コミュニケーション研究Ⅰ」と合併
MEMG7710	春	マーケティング・コミュニケーション研究Ⅰ	MRK605-56j00	2	新井範子		M2対象，「マーケティング・コミュニケーション特講Ⅰ」と合併
MEMG7740	春	製品開発論特講Ⅰ	MAN513-56j00	2	小阪玄次郎		「製品開発論研究Ⅰ」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MEMG7760	春	製品開発論研究Ⅰ	MAN613-56j00	2	小　阪　玄次郎		M2対象，「製品開発論特講Ⅰ」と合併
MEMG7250	春	経営戦略論特講Ⅰ	MAN505-56j00	2	網　倉　久　永		「経営戦略論研究Ⅰ」と合併
MEMG7270	春	経営戦略論研究Ⅰ	MAN605-56j00	2	網　倉　久　永		M2対象，「経営戦略論特講Ⅰ」と合併
MEMG7090	春	管理会計論特講Ⅰ	ACC506-56j00	2	王　　志		「管理会計論研究Ⅰ」と合併
MEMG7110	春	管理会計論研究Ⅰ	ACC604-56j00	2	王　　志		M2対象，「管理会計論特講Ⅰ」と合併
MEMG7020	春	財務会計論特講Ⅱ	ACC502-56j00	2	西　澤　　茂		「財務会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7040	春	財務会計論研究Ⅱ	ACC602-56j00	2	西　澤　　茂		M2対象，「財務会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7787	秋	公会計特講Ⅱ	ACC504-56j00	2	若　林　利　明		「公会計研究Ⅱ」と合併
MEMG7789	秋	公会計研究Ⅱ	ACC607-56j00	2	若　林　利　明		M2対象，「公会計特講Ⅱ」と合併
MEMG7180	秋	経営財務論特講Ⅱ	MAN502-56j00	2	石　井　昌　宏		「経営財務論研究Ⅱ」と合併
MEMG7200	秋	経営財務論研究Ⅱ	MAN602-56j00	2	石　井　昌　宏		M2対象，「経営財務論特講Ⅱ」と合併
MEMG7220	秋	経営管理論特講Ⅱ	MAN504-56j00	2	山　田　幸　三		「経営管理論研究Ⅱ」と合併
MEMG7240	秋	経営管理論研究Ⅱ	MAN604-56j00	2	山　田　幸　三		M2対象，「経営管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7300	秋	人事管理論特講Ⅱ	MAN508-56j00	2	細　萱　伸　子		「人事管理論研究Ⅱ」と合併
MEMG7320	秋	人事管理論研究Ⅱ	MAN608-56j00	2	細　萱　伸　子		M2対象，「人事管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7340	秋	経営組織論特講Ⅱ	MAN510-56j00	2	関　　廷　媛		「経営組織論研究Ⅱ」と合併
MEMG7360	秋	経営組織論研究Ⅱ	MAN610-56j00	2	関　　廷　媛		M2対象，「経営組織論特講Ⅱ」と合併
MEMG7783	秋	SEMINAR IN GLOBAL MARKETING　Ⅱ	MRK508-56e00	2	JOHNS　Adam	○	「RESEARCH IN GLOBAL MARKETING　Ⅱ」と合併
MEMG7781	秋	RESEARCH IN GLOBAL MARKETING　Ⅱ	MRK608-56e00	2	JOHNS　Adam	○	M2対象，「SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅡ」と合併
MEMG7540	秋	消費者行動論特講Ⅱ	MRK502-56j00	2	杉　本　徹　雄		「消費者行動論研究Ⅱ」と合併
MEMG7560	秋	消費者行動論研究Ⅱ	MRK602-56j00	2	杉　本　徹　雄		M2対象，「消費者行動論特講Ⅱ」と合併
MEMG7620	秋	マーケティング戦略論特講Ⅱ	MRK504-56j00	2	杉　谷　陽　子		「マーケティング戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7640	秋	マーケティング戦略論研究Ⅱ	MRK604-56j00	2	杉　谷　陽　子		M2対象， 「マーケティング戦略論特講Ⅱ」と合併
MEMG7700	秋	マーケティング・コミュニケーション特講Ⅱ	MRK506-56j00	2	新　井　範　子		「マーケティング・コミュニケーション研究Ⅱ」と合併
MEMG7720	秋	マーケティング・コミュニケーション研究Ⅱ	MRK606-56j00	2	新　井　範　子		M2対象， 「マーケティング・コミュニケーション特講Ⅱ」と合併
MEMG7750	秋	製品開発論特講Ⅱ	MAN514-56j00	2	小　阪　玄次郎		「製品開発論研究Ⅱ」と合併
MEMG7770	秋	製品開発論研究Ⅱ	MAN614-56j00	2	小　阪　玄次郎		M2対象，「製品開発論特講Ⅱ」と合併
MEMG9010	秋	修士論文	MMI699-56m00	0	経営学専攻各指導教員		
MEMG7100	秋	管理会計論特講Ⅱ	ACC507-56j00	2	王　　志		「管理会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7120	秋	管理会計論研究Ⅱ	ACC605-56j00	2	王　　志		M2対象，「管理会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7420	秋	国際経営論特講Ⅱ	MAN512-56j00	2	竹之内　秀　行		「国際経営論研究Ⅱ」と合併
MEMG7440	秋	国際経営論研究Ⅱ	MAN612-56j00	2	竹之内　秀　行		M2対象，「国際経営論特講Ⅱ」と合併
MEMG7260	秋	経営戦略論特講Ⅱ	MAN506-56j00	2	網　倉　久　永		「経営戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7280	秋	経営戦略論研究Ⅱ	MAN606-56j00	2	網　倉　久　永		M2対象，「経営戦略論特講Ⅱ」と合併

論文演習（Ⅰ～Ⅳ）　登録コード一覧

科目名・対象／開講期 ＼ 指導教員	論文演習Ⅰ M１／春	論文演習Ⅱ M１／秋	論文演習Ⅲ M２／春	論文演習Ⅳ M２／秋
	登録コード	登録コード	登録コード	登録コード
網倉久永	MEMG1100	MEMG7850	MEMG7890	MEMG7930
新井範子	MEMG1101	MEMG7851	MEMG7891	MEMG7931
細萱伸子	MEMG1103	MEMG7853	MEMG7893	MEMG7933
石井昌宏	MEMG1104(休講)	MEMG7854(休講)	MEMG7894(休講)	MEMG7934(休講)
関　廷媛	MEMG1105	MEMG7855	MEMG7895	MEMG7935
西澤　茂	MEMG1108	MEMG7858(休講)	MEMG7898	MEMG7938(休講)
杉本徹雄	MEMG1109	MEMG7859	MEMG7899	MEMG7939
杉谷陽子	MEMG1110	MEMG7860	MEMG7900	MEMG7940
竹之内秀行	MEMG1111	MEMG7861	MEMG7901	MEMG7941
山田幸三	MEMG1112	MEMG7862	MEMG7902	MEMG7942
小阪玄次郎	MEMG1113	MEMG7863	MEMG7903	MEMG7943
王　志	MEMG1114	MEMG7864	MEMG7904	MEMG7944
JOHNS Adam	MEMG1115	MEMG7865	MEMG7905	MEMG7945
若林利明	MEMG1116	MEMG7866	MEMG7906	MEMG7946
河合憲史	MEMG1117	MEMG7867	MEMG7907	MEMG7947

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
MMI599-56m00	網倉久永	
	新井範子	
	細萱伸子	
	石井昌宏	休講
	関　廷媛	
	西澤　茂	
	杉本徹雄	
	杉谷陽子	
	竹之内秀行	
	山田幸三	
	小阪玄次郎	
	王　志	
	JOHNS Adam	
	河合憲史	

経営学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
‣必修科目			
‣選択必修科目	6		会計学・マーケティング・経営学の3コースの中から1コースを選択する。
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣必修科目			
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。

【16 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣必修科目			
‣選択科目			
研究指導（必修）			【10年次生以前】単位なし，修業年限3年を満たすまでは，毎学期履修すること。 【11年次生以降】単位なし，修業年限にかかわらず，在学中は毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。

【博士論文審査基準】

1）　学術性の高い研究課題が設定されていること。
2）　研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
3）　先行研究が適切に引用され，研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
4）　研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
5）　経営学の当該専門分野において，独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
6）　執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

2．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
会計学特講Ⅰ		2	
会計学特講Ⅱ		2	
会計学特講Ⅲ		2	
マーケティング論特講Ⅰ		2	
マーケティング論特講Ⅱ		2	
マーケティング論特講Ⅲ		2	
経営学特講Ⅰ		2	
経営学特講Ⅱ		2	
経営学特講Ⅲ		2	

3．履修上の注意

指導教員の研究指導を受け，博士論文を作成・提出することが必要である。

2018 年度以降に入学した者には，コースワークが設定されている。

選択必修科目のうち，各コースの特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に履修すること。

研究指導について

【10 年次生以前】修業年限 3 年を満たすまでは毎学期（春・秋）履修登録すること。なお 2010 年度以前開講の研究指導については，毎年（通年）履修登録すること。

【11～16 年次生】在学期間中は研究指導が毎学期登録される。

【17 年次生以降】在学中毎学期受けること。なお，必要な合格科目数も定められているので，１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明を行うので，必ず出席のこと。

4．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DEMG2000	春	会計学特講Ⅰ	ACC801-56j00	2	経営学専攻各指導教員		
DEMG2010	休講	会計学特講Ⅱ	ACC802-56j00	2			
DEMG2020	休講	会計学特講Ⅲ	ACC803-56j00	2			
DEMG2030	春	マーケティング論特講Ⅰ	MRK801-56j00	2	経営学専攻各指導教員		
DEMG2040	休講	マーケティング論特講Ⅱ	MRK802-56j00	2			
DEMG2050	休講	マーケティング論特講Ⅲ	MRK803-56j00	2			
DEMG2060	春	経営学特講Ⅰ	MAN801-56j00	2	経営学専攻各指導教員		
DEMG2070	休講	経営学特講Ⅱ	MAN802-56j00	2			
DEMG2080	休講	経営学特講Ⅲ	MAN803-56j00	2			

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
MMI899-56j00	網　倉　久　永	
	新　井　範　子	
	細　萱　伸　子	
	石　井　昌　宏	
	JOHNS　Adam	
	関　　廷　媛	
	西　澤　　茂	
	杉　本　徹　雄	
	杉　谷　陽　子	
	竹之内　秀　行	
	山　田　幸　三	
	小　阪　玄次郎	
	王　　志	

言語科学研究科

言語学専攻

１．言語科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

理論言語学，個別言語学，及び応用言語学に関して国際的視野で独創的研究を行える研究者を養成する。また，言語聴覚障害学の基礎および臨床における研究者を養成し，さらに，英語による授業を通じて，英語教育に携わる教師を養成する。理論と実践が伴った国内外で活躍できる日本語教師も養成する。

２．各専攻のディプロマ・ポリシー

言語学専攻

【博士前期課程】

本課程では，言語という人間の最も根本を成す能力を探求することにより，本学の設立目的及び使命を果たそうとする人材の養成を目的として，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 幅広い言語学の分野から自らの専門領域を確立させるため，初年度より各々の分野で所定の科目履修をすることにより得た，言語研究の現状理解と方法論
2. 解決すべき問題を研究課題という適切な形式で問う力
3. 問題解決のために最も適切なデータ収集，および分析を行い，意味のある解を見つけ出す力
4. 言語学の基礎概念と方法論を広い視野に立って身につけ，学究的な思考方法を学び，特定の専門領域を究明する力
5. 結果の意味づけができ，専門性を活かして社会に貢献する力

【博士後期課程】

本課程では，言語という人間の最も根本を成す能力を深くかつ広く探求することにより，本学の設立目的及び使命を果たそうとする人材の養成を目的として，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 博士前期課程で身につけた専門領域での方法論と知識をもとに，オリジナリティのある研究を行い論文にまとめる力
2. 独力で高度の研究を遂行することができる学究的能力
3. 言語学および関連諸科学に関する高度に専門的な理論および方法論に熟達した自立した研究者として，国際的なレベルで認められるような学術論文を完成させる力

３．各専攻のカリキュラム・ポリシー

言語学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，言語を学術的に深く考察するよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 専門の如何にかかわらず言語に関する基礎的な知識を修得する。そのために各コースにおいては以下の科目を必修科目と指定しており，できる限り１年目で履修させる。１）言語学一般ー音声学・音韻論基礎，統辞論基礎，２）言語聴覚研究ー言語聴覚障害学特論，言語聴覚障害研究法Ｂ（実験計画法），言語聴覚障害研究法 D（文献講読），３）英語教授法ーIntroduction to TEFL in Japan, Second Language Acquisition, Introduction to Linguistics，４）日本語教育学ー日本語教育文法Ｉ，第二言語習得Ｉ，言語・文化・社会，日本語教授法概論。

2. 英語，ドイツ語，フランス語，イスパニア語，ロシア語，ポルトガル語の６学科に合致させた形で各言語に関する音声，音韻，統辞法，意味，文体，歴史に関する科目を開設する。
3. 上記の必修科目および他選択科目を履修することにより，各コースにおいて専門的なテーマを追求するために必須となる理論的知識，理論を応用する能力，問題解決能力，批判的思考能力，適切なデータを収集分析解釈する能力，個々のデータから一般化し理論を構築する能力を修得させる。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，言語を学術的に深く考察するよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 音声学・音韻論を含む理論言語学，言語聴覚障害学，応用言語学のうちから特定のテーマを選び，それについて特定の教授の個別面談に基づいた論文指導を受けさせる。
2. 各自の専門分野の研究を深化させると同時に，関連分野の知見も取り入れ，専門的教養・学識を高めて独創的な研究を行わせる。
3. 入学後２年次に資格試験を受け合格し，さらに２編の論文を査読付きの学術雑誌に掲載することを必須とする。
4. 主として指導教員から研究指導を受け，必要とされた言語学専攻で開設されている科目を履修させる。

言語学専攻　博士前期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択必修科目	8		
┗統辞論基礎	4		
┗音声学・音韻論基礎	4		
‣選択科目	22		
┗意味論基礎			選択科目だが，理論言語学を専攻する者は必ず履修すること
┗自専攻自コース科目			
┗自専攻他コース科目			
研究指導(必修)		2	単位なし，2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【16 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択必修科目	8		
┗統辞論基礎	4		
┗音声学・音韻論基礎	4		
‣選択科目	22		
┗意味論基礎			選択科目だが，理論言語学を専攻する者は必ず履修すること
┗自専攻自コース科目			
┗自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし，2年次以降に毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【15 年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択必修科目	12		
┗統辞論基礎	4		
┗音声学・音韻論基礎	4		
┗意味論基礎	4		
‣選択科目	18		
┗自専攻自コース科目			
┗自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし，2年次以降に毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

1）　研究の内容が言語研究に寄与し，独創性を有すること。
2）　研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
3）　先行研究を踏まえ，十分な論証がなされていること。
4）　論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜一般言語学＞			
統辞論基礎		4	
音声学・音韻論基礎		4	
意味論基礎			4
理論言語学Ａ－１			2
理論言語学Ａ－２			2
理論言語学Ｂ			4
理論言語学Ｃ			4
実験音声学特講・演習Ⅰ－Ａ			2
実験音声学特講・演習Ⅰ－Ｂ			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－Ａ			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－Ｂ			2
文法理論			4
意味論1			2
意味論2			2
Psycholinguistics ※注1			4
コーパス言語学1			2
コーパス言語学2			2
Sociolinguistics ※注1			2
日本語言語学Ａ（現代日本語構造論）			4
言語学特殊講義Ａ（GB概説）			4
言語学特殊講義Ｂ－1（音韻論と言語障害）			2
言語学特殊講義Ｂ－2（音韻論と言語障害）			2
言語学特殊講義Ｃ（言語の認知神経科学）			4
現代言語学諸問題Ａ（音韻論）			4
現代言語学諸問題Ｂ（文法理論）			4
現代言語学諸問題Ｃ（日本語言語学）			4
現代言語学諸問題Ｄ（比較文法）			4
＜応用言語学＞			
実験統計法1			2
実験統計法2			2
Second Language Acquisition (English) ※注1			4
言語テスティング1			2
言語テスティング2			2
TEFL Methodology ※注1			4
Applied Linguistics (Focus on Form) ※注1			4
Bilingual Education ※注1			4
フランス語教授法1			2
フランス語教授法2			2
Affective Factors in TESOL ※注1			2
Sociocultural Theory & SLA ※注1			2
Qualitative Research Methods ※注1			2
Language and Power ※注1			2
World Englishes ※注1			2
Thesis Writing ※注1			2
Classroom Discourse ※注1			2

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
Intercultural Interaction ※注1			2
Analyzing Spoken Data ※注1			2
＜個別外国語研究＞			
ドイツ語意味論1			2
ドイツ語意味論2			2
ドイツ語統語論1			2
ドイツ語統語論2			2
ドイツ語文体論1			2
ドイツ語文体論2			2
ドイツ語教育1			2
ドイツ語教育2			2
ドイツ語音声学・音韻論1			2
ドイツ語音声学・音韻論2			2
フランス語文法論1			2
フランス語文法論2			2
フランス語文体論1			2
フランス語文体論2			2
フランス語通訳論1			2
フランス語通訳論2			2
フランス語音声学1			2
フランス語音声学2			2
イスパニア語文法論1			2
イスパニア語文法論2			2
イスパニア語のバリエーション1（言語データ処理の技法）			2
イスパニア語のバリエーション2（言語データ処理の技法）			2
イスパニア語研究1			2
イスパニア語研究2			2
イスパニア語応用言語学1			2
イスパニア語応用言語学2			2
イスパニア語教授法1			2
イスパニア語教授法2			2
ロシア語史1			2
ロシア語史2			2
ロシア語文法論1			2
ロシア語文法論2			2
ロシア語翻訳論1			2
ロシア語翻訳論2			2
ロシア語文体論1			2
ロシア語文体論2			2
ロシア語統語論1			2
ロシア語統語論2			2
ポルトガル語の拡がりと変異1			2
ポルトガル語の拡がりと変異2			2
ポルトガル語文法論1			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
ポルトガル語文法論2			2
ポルトガル語比較文体論1			2
ポルトガル語比較文体論2			2
ポルトガル語翻訳論1			2
ポルトガル語翻訳論2			2
ポルトガル語史1			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
ポルトガル語史2			2
＜個別言語学特殊講義＞			
音韻論特講1			2
音韻論特講2			2
文法理論演習			4

※注1：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

３．履修上の注意

1）15 年次生以前：選択必修の 3 科目を含め，30 単位以上を履修すること。選択必修科目（「統辞論基礎」「意味論基礎」「音声学・音韻論基礎」）は，修了要件上の必修科目であり，入学 1 年次に履修することが望ましい。

16 年次生以降：選択必修の 2 科目を含め，30 単位以上を履修すること。選択必修科目（「統辞論基礎」「音声学・音韻論基礎」）は，修了要件上の必修科目であり，入学 1 年次に履修することが望ましい。また，「意味論基礎」は選択科目であるが，理論言語学を専攻する者は必ず履修すること。

2）1 年次終了までに指導教員を決め，履修計画および修士論文の作成に対する指導を受けること。

3）「研究指導」を 2 年次以降に毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

4）2 年次春学期に「修士論文計画案」を提出し，論文審査委員（主査1名，副査2名以上）による面接を受けること。その結果を受けて，論文の作成にかかり，所定の期限に提出後，学位論文審査を受けること。

■学部開講関連科目一覧（参考）

	授　業　科　目　名	担　当　者 ＊：非常勤教員	開講学科等
休	言語処理入門	未　　定	外国語学部
休	日本語史1	未　　定	外国語学部
休	日本語史2	未　　定	外国語学部
	言語学特殊講義1（ロマンス語研究）	＊小　川　定　義	外国語学部
	言語学特殊講義2（ロマンス語研究）	＊小　川　定　義	外国語学部
	ヨーロッパの社会と言語A	木村 護郎クリストフ	外国語学部
	ヨーロッパの社会と言語B	＊佐　野　　彩	外国語学部
休	ヨーロッパ言語社会論	木村 護郎クリストフ	外国語学部
	フランス語圏の社会と言語	＊佐　野　　彩	外国語学部

※科目の詳細（開講期，曜日，時限等）については，学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。
※上記の科目は，履修することは可能だが，修了要件に算入することは出来ない。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MFLG6040	春	統辞論基礎	LNG515-61j00	4	福　井　直　樹		前期課程対象
MFLG6030	春	音声学・音韻論基礎	LNG501-61j00	4	北　原　真　冬		前期課程対象
MFLG7060	春	実験音声学特講・演習Ⅱ-Ａ	LNG528-61j00	2	*藤　本　雅　子		
MFLG7170	春	言語学特殊講義Ｂ-1 (音韻論と言語障害)	LNG506-61j00	2	*都　田　青　子		前期課程対象
MFLG7160	春	言語学特殊講義Ｃ (言語の認知神経科学)	LNG516-61j00	4	*酒　井　　弘		隔年開講
MFLG7250	春	現代言語学諸問題Ｄ（比較文法）	LNG520-61m00	4	大　塚　祐　子		隔年開講
MFLG7280	春	実験統計法2	LNG503-61m00	2	渡　部　良　典		
MFLG7320	春	フランス語教授法1	LGF501-61f00	2	原　田　早　苗	○	隔年開講
MFLG7440	春	ドイツ語統語論1	LGG503-61j00	2	高　橋　亮　介		
MFLG7460	春	ドイツ語文体論1	LGG505-61g00	2	髙　橋　由美子	○	隔年開講
MFLG7491	春	ドイツ語教育1	LGG507-61g00	2	LIPSKY Angela	○	
MFLG7542	春	フランス語通訳論1	LGF509-61f00	2	福　崎　裕　子	○	隔年開講
MFLG7600	春	イスパニア語のバリエーション1 (言語データ処理の技法)	LGH501-61j00	2	*上　田　博　人		隔年開講，旧「イスパニア語のバリエーション１」
MFLG7620	春	イスパニア語研究1	LGH505-61m00	2	西　村　君　代		隔年開講
MFLG7740	春	ロシア語文体論1	LGR507-61j00	2	村　田　真　一		隔年開講,前期課程対象
MFLG7780	春	ポルトガル語翻訳論1	LGP509-61m00	2	TOIDA Helena		隔年開講
MFLG7800	春	ポルトガル語文法論1	LGP507-61j00	2	市之瀬　　敦		隔年開講
MFLG7791	春	ポルトガル語史1	LGP501-61j00	2	*黒　澤　直　俊		
MFLG7820	春	ポルトガル語比較文体論1	LGP503-61p00	2	NEVES Mauro	○	隔年開講
MFLG7900	春	音韻論特講1	LNG513-61j00	2	*深　澤　はるか		
MFLG9311	春	修士論文	LNG601-61m00	0	言語学専攻各指導教員		M2対象,注1
MFLG7070	秋	実験音声学特講・演習Ⅱ-Ｂ	LNG530-61j00	2	*藤　本　雅　子		
MFLG7080	秋	文法理論	LNG529-61j00	4	福　井　直　樹		
MFLG7140	秋	言語学特殊講義Ａ（ＧＢ概説）	LNG525-61j00	4	*石　井　　透		旧「言語学特殊講義A(GB概論)」
MFLG7180	秋	言語学特殊講義Ｂ-2 (音韻論と言語障害)	LNG507-61j00	2	*都　田　青　子		前期課程対象
MFLG7210	秋	現代言語学諸問題Ａ（音韻論）	LNG521-61j00	4	北　原　真　冬		
MFLG7300	秋	言語テスティング2	LNG505-61e00	2	渡　部　良　典	○	
MFLG7330	秋	フランス語教授法2	LGF502-61f00	2	原　田　早　苗	○	隔年開講
MFLG7450	秋	ドイツ語統語論2	LGG504-61j00	2	高　橋　亮　介		
MFLG7470	秋	ドイツ語文体論2	LGG506-61g00	2	髙　橋　由美子	○	隔年開講
MFLG7492	秋	ドイツ語教育2	LGG508-61g00	2	LIPSKY Angela	○	
MFLG7543	秋	フランス語通訳論2	LGF510-61f00	2	福　崎　裕　子	○	隔年開講
MFLG7610	秋	イスパニア語のバリエーション2 (言語データ処理の技法)	LGH502-61j00	2	*上　田　博　人		隔年開講，旧「イスパニア語のバリエーション２」
MFLG7630	秋	イスパニア語研究2	LGH506-61m00	2	西　村　君　代		隔年開講
MFLG7750	秋	ロシア語文体論2	LGR508-61j00	2	村　田　真　一		隔年開講,前期課程対象
MFLG7790	秋	ポルトガル語翻訳論2	LGP510-61m00	2	TOIDA Helena		隔年開講
MFLG7810	秋	ポルトガル語文法論2	LGP508-61j00	2	市之瀬　　敦		隔年開講
MFLG7792	秋	ポルトガル語史２	LGP502-61j00	2	*黒　澤　直　俊		
MFLG7830	秋	ポルトガル語比較文体論2	LGP504-61p00	2	NEVES Mauro	○	隔年開講
MFLG7910	秋	音韻論特講2	LNG514-61j00	2	*吉　田　夏　也		
MFLG9310	秋	修士論文	LNG601-61m00	0	言語学専攻各指導教員		M2対象
MFLG6020	休講	意味論基礎	LNG511-61j00	4			隔年開講,前期課程対象,注2
MFLG7010	休講	理論言語学Ａ-1	LNG517-61m00	2			隔年開講,旧「理論言語学Ａ」

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MFLG7020	休講	理論言語学Ａ-2	LNG518-61m00	2			隔年開講，旧「理論言語学Ａ」
MFLG7040	休講	実験音声学特講・演習Ｉ-Ａ	LNG526-61j00	2			
MFLG7050	休講	実験音声学特講・演習Ｉ-Ｂ	LNG527-61j00	2			
MFLG7310	休講	理論言語学Ｂ	LNG519-61j00	4			旧「理論言語学Ｂ-1」「理論言語学Ｂ-2」
MFLG7030	休講	理論言語学Ｃ	LNG512-61j00	4			
MFLG7100	休講	コーパス言語学1	LNG509-61j00	2			隔年開講
MFLG7110	休講	コーパス言語学2	LNG510-61j00	2			隔年開講
MFLG7120	休講	日本語言語学Ａ （現代日本語構造論）	LNG508-61j00	4			
MFLG7190	休講	意味論1	LNG531-61j00	2			隔年開講
MFLG7200	休講	意味論2	LNG532-61j00	2			隔年開講
MFLG7220	休講	現代言語学諸問題Ｂ（文法理論）	LNG522-61j00	4			
MFLG7230	休講	現代言語学諸問題Ｃ（日本語言語学）	LNG523-61j00	4			
MFLG7270	休講	実験統計法1	LNG502-61m00	2			
MFLG7290	休講	言語テスティング1	LNG504-61e00	2		○	
MFLG7420	休講	ドイツ語意味論1	LGG501-61g00	2		○	隔年開講
MFLG7430	休講	ドイツ語意味論2	LGG502-61g00	2		○	隔年開講
MFLG7480	休講	ドイツ語音声学・音韻論1	LGG509-61m00	2			隔年開講
MFLG7490	休講	ドイツ語音声学・音韻論2	LGG510-61m00	2			隔年開講
MFLG7500	休講	フランス語文法論1	LGF503-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7510	休講	フランス語文法論2	LGF504-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7520	休講	フランス語文体論1	LGF505-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7530	休講	フランス語文体論2	LGF506-61f00	2		○	隔年開講
MFLG7840	休講	フランス語音声学1	LGF507-61j00	2			隔年開講
MFLG7850	休講	フランス語音声学2	LGF508-61j00	2			隔年開講
MFLG7580	休講	イスパニア語文法論1	LGH503-61h00	2		○	前期課程対象
MFLG7590	休講	イスパニア語文法論2	LGH504-61h00	2		○	前期課程対象
MFLG7640	休講	イスパニア語応用言語学1	LGH507-61j00	2			隔年開講
MFLG7650	休講	イスパニア語応用言語学2	LGH508-61j00	2			隔年開講
MFLG7860	休講	イスパニア語教授法1	LGH509-61h00	2		○	隔年開講
MFLG7870	休講	イスパニア語教授法2	LGH510-61h00	2		○	隔年開講
MFLG7660	休講	ロシア語史1	LGR501-61j00	2			隔年開講
MFLG7670	休講	ロシア語史2	LGR502-61j00	2			隔年開講
MFLG7680	休講	ロシア語文法論1	LGR503-61j00	2			隔年開講
MFLG7690	休講	ロシア語文法論2	LGR504-61j00	2			隔年開講
MFLG7700	休講	ロシア語翻訳論1	LGR505-61m00	2			隔年開講
MFLG7710	休講	ロシア語翻訳論2	LGR506-61m00	2			隔年開講
MFLG7720	休講	ロシア語統語論1	LGR509-61j00	2			隔年開講
MFLG7730	休講	ロシア語統語論2	LGR510-61j00	2			隔年開講
MFLG7760	休講	ポルトガル語の拡がりと変異1	LGP505-61j00	2			隔年開講，前期課程対象
MFLG7770	休講	ポルトガル語の拡がりと変異2	LGP506-61j00	2			隔年開講，前期課程対象
MFLG7940	休講	文法理論演習	LNG524-61j00	4			

注1：Loyolaで登録することはできないので，登録に際しては学事センターで手続きすること。
注2：履修に際しては，P.231の「３．履修上の注意」の１）を参照すること。

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LNG533-61m00	吉　田　研　作	
	髙　橋　由美子	
	福　井　直　樹	
	渡　部　良　典	
	市之瀬　　敦	
	原　田　早　苗	
	和　泉　伸　一	
	小　柳　かおる	
	NEVES Mauro	
	西　村　君　代	
	坂　本　光　代	
	清　水　崇　文	
	TOIDA Helena	
	村　田　真　一	
	COUCHOT Hervé	
	FAIRBROTHER Lisa	
	TUCHAIS Simon	
	LIPSKY Angela	
	原　　惠　子	
	原　　求　作	
	福　崎　裕　子	
	高　橋　亮　介	
	吉　畑　博　代	
	加　藤　孝　臣	
	峯　　布由紀	
	秋　山　真　一	
	北　原　真　冬	
	AROZ Aingeru	

言語学専攻　博士前期課程　言語聴覚研究コース

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・選択必修科目（必修）	6		
└言語聴覚障害学特論	2		
└言語聴覚障害研究法Ｂ（実験計画法）	2		
└言語聴覚障害研究法Ｄ（文献講読）	2		
・選択必修科目	2		「コミュニケーション科学研究法Ａ」「同Ｂ」のうち，1科目は必ず履修すること
・選択科目	22		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)		2	単位なし，2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【16 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・選択必修科目（必修）	6		
└言語聴覚障害学特論	2		
└言語聴覚障害研究法Ｂ（実験計画法）	2		
└言語聴覚障害研究法Ｄ（文献講読）	2		
・選択必修科目	2		「コミュニケーション科学研究法Ａ」「同Ｂ」のうち，1科目は必ず履修すること
・選択科目	22		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし，2年次以降に毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

1）　研究の内容が言語研究に寄与し，独創性を有すること。
2）　研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
3）　先行研究を踏まえ，十分な論証がなされていること。
4）　論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
言語聴覚障害学特論	2		
失語・高次脳機能障害学特論Ａ			2
失語・高次脳機能障害学特論Ｂ			2
聴覚障害学特論Ａ			2
聴覚障害学特論Ｂ			2
聴覚障害学特論Ｃ（補聴器）			2
聴覚障害学特論Ｄ（人工内耳）			2
小児言語発達学特論			2
言語聴覚学特論Ａ（成人のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚学特論Ｂ（小児のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚障害研究法Ａ（心理統計）			2
言語聴覚障害研究法Ｂ（実験計画法）	2		
言語聴覚障害研究法Ｃ（データ分析）			2
言語聴覚障害研究法Ｄ（文献講読）	2		
コミュニケーション障害分析法Ａ（治療診断学・成人）			2
コミュニケーション障害分析法Ｂ（治療診断学・小児）			2
言語障害研究特殊講義Ａ（機能性構音障害）			2
言語障害研究特殊講義Ｂ（器質性構音障害）			2
言語障害研究特殊講義Ｃ（発声発語の生理学）			2
言語障害研究特殊講義Ｄ（音声障害）			2
言語障害研究特殊講義Ｅ（吃音）			2
言語障害研究特殊講義Ｆ（学習障害）			2
言語障害研究特殊講義Ｇ（成人の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
言語障害研究特殊講義Ｈ（小児の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
臨床医学特論Ａ（神経内科学）			2
臨床医学特論Ｂ（精神医学・リハビリテーション医学・コミュニケーション障害と心理臨床）			2
臨床医学特論Ｃ（耳科学・形成外科学・歯科口腔外科学）			2
臨床医学特論Ｄ（神経系の基礎と病態・内科学）			2
臨床医学特論Ｅ（発達障害医学・脳性麻痺）			2

※注1：心理学専攻開講科目。
※注2：言語学専攻開講科目。
※注3：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）			2
高次脳機能障害学演習Ａ			2
高次脳機能障害学演習Ｂ			2
言語発達障害学演習Ａ			2
言語発達障害学演習Ｂ			2
聴覚障害学演習Ａ			2
聴覚障害学演習Ｂ			2
発声発語障害学演習Ａ			2
発声発語障害学演習Ｂ			2
発声発語障害学演習Ｃ			2
発声発語障害学演習Ｄ			2
コミュニケーション科学研究法Ａ		2	
コミュニケーション科学研究法Ｂ		2	
統辞論基礎 ※注2			4
意味論基礎 ※注2			4
音声学・音韻論基礎 ※注2			4
実験音声学特講・演習Ⅰ－Ａ ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅰ－Ｂ ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－Ａ ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－Ｂ ※注2			2
Psycholinguistics ※注3			4
Second Language Acquisition (English) ※注3			4
（他）心理測定学特殊研究Ⅰ ※注1			2
（他）心理測定学特殊研究Ⅱ ※注1			2
（他）認知心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
（他）認知心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2
（他）生理心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
（他）生理心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2
（他）発達心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
（他）発達心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2

３．履修上の注意

1）必修科目の３科目と，選択必修科目のうち，どちらか１科目を含む，30 単位以上を履修すること。言語聴覚士国家試験の受験資格の取得を希望する場合は，在籍期間中に，厚生労働大臣の指定する科目（平成 10 年８月厚生省告示 227 号）を履修すること。なお，言語聴覚士の国家試験受験資格を得るためには２年半の在籍が必要となる。

2）１年次終了までに指導教員を決め，履修計画及び，修士論文の作成に対する指導を受けること。

3）「研究指導」を２年次以降に毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

4）２年次春学期に「修士論文計画書」を提出し，論文審査委員（主査1名，副査2名以上）による面接を受けること。その結果を受けて，論文の作成にかかり，所定の期限に提出後，学位論文審査を受けること。

■学部開講関連科目一覧（参考）

	授業科目名	担当者 ＊：非常勤教員	開講学科等
	言語学概論1	＊成田広樹	外国語学部
	言語学概論2	＊成田広樹	外国語学部
	言語聴覚障害学概論	コ）原・吉畑	外国語学部
	言語聴覚障害学特殊講義Ａ（失語症）	吉畑博代	外国語学部
	言語聴覚障害学特殊講義Ｂ（言語発達遅滞）	コ)原　惠子	外国語学部
	学習・言語心理学	廣瀬英子	心理学科
	発達心理学	齋藤慈子	心理学科
	認知心理学Ⅰ（知覚・認知心理学）	道又　爾	心理学科
	認知心理学Ⅱ	道又　爾	心理学科
	感情・人格心理学	吉村　聡	心理学科
	心理的アセスメント	吉村　聡	心理学科
	認知行動療法概論	毛利伊吹	心理学科
	心理学的支援法	毛利伊吹	心理学科
	臨床心理学概論	＊香月菜々子	心理学科
休	臨床心理学	未定	心理学科
休	社会福祉概論	未定	社会福祉学科
	社会福祉原論	栃本一三郎	社会福祉学科
	社会保障論Ⅰ	＊矢野　聡	社会福祉学科
休	精神保健福祉論	未定	社会福祉学科
	障害者福祉論Ⅰ	笠原千絵	社会福祉学科
休	障害者福祉論Ⅱ	未定	社会福祉学科

※科目の詳細（開講期，曜日，時限等）については，学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。
※上記の科目は，履修することは可能だが，修了要件に算入することはできない。
※履修希望者は，p. 13を参照。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MFLC1010	春	言語聴覚障害学特論	LGC501-61j00	2	原　惠　子		M1対象
MFLC6010	春	コミュニケーション科学研究法Ａ	LGC605-61j00	2	吉　畑　博　代		M2対象
MFLC6020	春	コミュニケーション科学研究法Ｂ	LGC606-61j00	2	原　惠　子		M2対象
MFLC7010	春	失語・高次脳機能障害学特論Ａ	LGC502-61j00	2	吉　畑　博　代		M1対象
MFLC7030	春	聴覚障害学特論Ａ	LGC504-61j00	2	＊廣　田　栄　子		隔年開講
MFLC7090	春	言語聴覚障害研究法Ｃ（データ分析）	LGC603-61j00	2	＊山　本　崇　博		M2対象
MFLC7120	春	言語障害研究特殊講義Ａ（機能性構音障害）	LGC511-61j00	2	＊浅　野　和　海		一部集中
MFLC7142	春	言語障害研究特殊講義Ｆ（学習障害）	LGC532-61j00	2	原　惠　子		隔年開講
MFLC7170	春	高次脳機能障害学演習Ａ	LGC514-61j00	2	吉　畑　博　代		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M1対象
MFLC7190	春	言語発達障害学演習Ａ	LGC604-61j00	2	原　惠　子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M2対象，集中実習を含む
MFLC7210	春	聴覚障害学演習Ａ	LGC517-61j00	2	＊伊　原　素　子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M1対象，集中実習を含む
MFLC7230	春	発声発語障害学演習Ａ	LGC619-61j00	2	＊関　谷　麻美子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M2対象，集中実習を含む
MFLC7250	春	発声発語障害学演習Ｃ	LGC521-61j00	2	＊西　脇　恵　子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M1対象
MFLC7131	春	言語障害研究特殊講義Ｃ（発声発語の生理学）	LGC530-61j00	2	＊倉　智　雅　子		春学期集中，隔年開講
MFLC7132	春	言語障害研究特殊講義Ｄ（音声障害）	LGC531-61j00	2	＊石　毛　美代子		春学期集中，隔年開講
MFLC7150	春	言語障害研究特殊講義Ｇ（成人の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）	LGC513-61j00	2	＊長谷川　和　子		春学期集中，隔年開講
MFLC7152	春	臨床医学特論Ａ（神経内科学）	LGC533-61j00	2	＊清　水　優　子		春学期集中，隔年開講
MFLC7153	春	臨床医学特論Ｂ（精神医学・リハビリテーション医学・コミュニケーション障害と心理臨床）	LGC534-61j00	2	＊宮　田　久　嗣 ＊菅　原　英　和 ＊田　中　　哲		春学期集中，輪講，隔年開講
MFLC1020	秋	言語聴覚障害研究法Ｂ（実験計画法）	LGC507-61j00	2	＊板　口　典　弘		M1対象
MFLC1030	秋	言語聴覚障害研究法Ｄ（文献講読）	LGC508-61j00	2	原　惠　子		隔年開講
MFLC7060	秋	言語聴覚学特論Ａ（成人のコミュニケーション障害）	LGC601-61j00	2	吉　畑　博　代		M2対象
MFLC7070	秋	言語聴覚学特論Ｂ（小児のコミュニケーション障害）	LGC602-61j00	2	原　惠　子		M2対象
MFLC7080	秋	言語聴覚障害研究法Ａ（心理統計）	LGC506-61j00	2	＊山　本　崇　博		M1対象
MFLC7110	秋	コミュニケーション障害分析法Ｂ（治療診断学・小児）	LGC510-61j00	2	原　惠　子		M1対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MFLC7020	秋	失語・高次脳機能障害学特論Ｂ	LGC503-61j00	2	＊鈴　木　孝　治 ＊中　野　尚　子 ＊橋　本　圭　司 ＊吉　澤　浩　志 ＊荻　野　　恵		秋学期集中，輪講，M1対象
MFLC7051	秋	聴覚障害学特論Ｄ（人工内耳）	LGC528-61j00	2	＊城　間　将　江		秋学期集中，隔年開講
MFLC7130	秋	言語障害研究特殊講義Ｂ （器質性構音障害）	LGC512-61j00	2	＊浅　野　和　海 ＊山　下　夕香里		一部集中，輪講，M1対象
MFLC7180	秋	高次脳機能障害学演習Ｂ	LGC515-61j00	2	＊原　　和　江		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M1対象
MFLC7200	秋	言語発達障害学演習Ｂ	LGC516-61j00	2	原　　惠　子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M1対象，集中実習を含む
MFLC7220	秋	聴覚障害学演習Ｂ	LGC518-61j00	2	＊伊　原　素　子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M1対象，集中実習を含む
MFLC7240	秋	発声発語障害学演習Ｂ	LGC520-61j00	2	＊関　谷　麻美子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M1対象，集中実習を含む
MFLC7260	秋	発声発語障害学演習Ｄ	LGC522-61j00	2	＊西　脇　恵　子		言語聴覚研究コースの学生のみ履修可，M1対象
MFLC7040	休講	聴覚障害学特論Ｂ	LGC505-61j00	2			隔年開講
MFLC7041	休講	聴覚障害学特論Ｃ（補聴器）	LGC523-61j00	2			隔年開講
MFLC7052	休講	小児言語発達学特論	LGC529-61j00	2			隔年開講
MFLC7100	休講	コミュニケーション障害分析法Ａ （治療診断学・成人）	LGC509-61j00	2			M1対象
MFLC7141	休講	言語障害研究特殊講義Ｅ（吃音）	LGC524-61j00	2			隔年開講
MFLC7151	休講	言語障害研究特殊講義Ｈ（小児の 運動性構音障害・摂食・嚥下障害）	LGC525-61j00	2			隔年開講
MFLC7161	休講	臨床医学特論Ｃ（耳科学・形成外科学・歯科口腔外科学）	LGC526-61j00	2			輪講，隔年開講
MFLC7165	休講	臨床医学特論Ｄ（神経系の基礎と病態・内科学）	LGC535-61j00	2			輪講，隔年開講
MFLC7166	休講	臨床医学特論Ｅ （発達障害医学・脳性麻痺）	LGC536-61j00	2			輪講，隔年開講
MFLC7164	休講	言語聴覚病理学特論（医学概論・ 解剖学・生理学・病理学）	LGC527-61j00	2			輪講，隔年開講

※備考欄で特に記載がない場合は前期課程の学生を対象。
※修士論文についてはp. 19～20参照。
※研究指導一覧表についてはp. 234参照。

言語学専攻　博士前期課程　英語教授法コース（TESOL）

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択必修科目（必修）	8		
┗Introduction to Linguistics	2		
┗Introduction to TEFL in Japan	2		
┗Second Language Acquisition (English)	4		
‣選択科目	22		
┗自専攻自コース科目	12		
┗Core Courses	4		
┗Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)	4		
┗Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)	4		
┗Special Topics in Linguistics			
┗自専攻他コース科目			
研究指導(必修)		2	単位なし，2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【16 年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択必修科目（必修）	8		
┗Introduction to Linguistics	2		
┗Introduction to TEFL in Japan	2		
┗Second Language Acquisition (English)	4		
‣選択科目	22		
┗自専攻自コース科目	12		
┗Core Courses	4		
┗Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)	4		
┗Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)	4		
┗Special Topics in Linguistics			
┗自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし，2年次以降に毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

1） 研究の内容が言語研究に寄与し，独創性を有すること。
2） 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
3） 先行研究を踏まえ，十分な論証がなされていること。
4） 論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜Core Courses＞			
Introduction to Linguistics		2	
Introduction to TEFL in Japan		2	
Second Language Acquisition (English)		4	
Teaching Pronunciation			2
Listening and Speaking			2
Reading and Writing			2
Classroom Research			2
Affective Factors in TESOL			2
Curriculum and Syllabus Design			2
Materials Development			2
Principles and Practice of CLIL			2
Thesis Writing			2
＜Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)＞			
Applied Linguistics (Focus on Form)			4
Action Research			4
TEFL Methodology			4
言語テスティング 1 ※注1			2
言語テスティング 2 ※注1			2
Classroom Discourse			2
＜Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)＞			
Bilingual Education			4
Intercultural Interaction			2
Analyzing Spoken Data			2
Psycholinguistics			4
Sociolinguistics			2
Sociocultural Theory & SLA			2
Qualitative Research Methods			2
Language and Power			2
実験統計法1 ※注1			2
実験統計法2 ※注1			2
フランス語教授法1 ※注1			2
フランス語教授法2 ※注1			2
Theories of Teaching English to Young Children			2
Practicum in Teaching English to Children 1			2
Practicum in Teaching English to Children 2			2

※注１：言語学専攻開講科目。
※注２：日本語教育学コース開講科目。

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
日本語教育文法Ⅰ ※注2			2
日本語教育文法Ⅱ ※注2			2
第二言語習得Ⅰ ※注2			2
第二言語習得Ⅱ ※注2			2
言語・文化・社会 ※注2			2
日本語教授法概論 ※注2			2
日本語教育文法演習 ※注2			2
日本語教授法特講 ※注2			2
第二言語習得演習 ※注2			2
中間言語語用論概論 ※注2			2
中間言語語用論演習 ※注2			2
談話分析 ※注2			2
日本語評価法 ※注2			2
日本語教授法（初級） ※注2			2
日本語教授法（中上級） ※注2			2
日本語音声学 ※注2			2
日本語教材・教具論 ※注2			2
日本語社会言語学 ※注2			2
バイリンガル教育と多文化共生 ※注2			2
研究法入門 ※注2			2
異文化コミュニケーション ※注2			2
日本語研究Ⅰ ※注2			2
日本語研究Ⅱ ※注2			2
社会言語学特講 ※注2			2
日本語教授法演習 ※注2			2
応用心理言語学 ※注2			2
＜Special Topics in Linguistics＞			
World Englishes			2
音声学・音韻論基礎 ※注1			4
統辞論基礎 ※注1			4
意味論基礎 ※注1			4
コーパス言語学1 ※注1			2
コーパス言語学2 ※注1			2

３．履修上の注意

１）30 単位以上を履修すること。

なお，上記 30 単位の中には，次の選択必修科目が含まれていなければいけない。

Introduction to Linguistics，Introduction to TEFL in Japan，Second Language Acquisition (English)，これら 3 科目は，修了要件上の必修科目であり，1 年次に履修することが望ましい。

また，Core Courses から少なくとも 12 単位，Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)から少なくとも 4 単位，Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)から少なくとも 4 単位履修すること。

２）1 年次終了までに指導教員を決め，履修計画及び，修士論文・プロジェクトの作成に対する指導を受けること。

３）「研究指導」を 2 年次以降に毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

４）2 年次春学期に「修士論文計画書」を提出し，論文審査委員（主査1名，副査2名以上）による面接を受けること。その結果を受けて，論文の作成にかかり，所定の期限に提出後，学位論文審査を受けること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※（他）：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MFLT6010	春	INTRODUCTION TO LINGUISTICS	LGE502-61e00	2	藤　田　　保	○	M1対象
MFLT6020	春	INTRODUCTION TO TEFL IN JAPAN	LGE503-61e00	2	渡　部　良　典	○	M1対象
MFLT6041	春	SECOND LANGUAGE ACQUISITION (ENGLISH)	LGE510-61e00	4	和　泉　伸　一	○	M1対象
MFLT7020	春	LISTENING AND SPEAKING	LGE505-61e00	2	佐　藤　敬　典	○	
MFLT7040	春	CLASSROOM RESEARCH	LGE507-61e00	2	渡　部　良　典	○	
MFLT7050	春	AFFECTIVE FACTORS IN TESOL	LGE508-61e00	2	逸見 シャンタール	○	
MFLT7080	春	THESIS WRITING	LGE526-61e00	2	MACINTYRE Robert	○	
MFLT7140	春	TEFL METHODOLOGY	LGE513-61e00	4	吉　田　研　作	○	
MFLT7160	春	BILINGUAL EDUCATION	LGE514-61e00	4	吉　田　研　作	○	隔年開講
MFLT7230	春	QUALITATIVE RESEARCH METHODS	LGE517-61e00	2	坂　本　光　代	○	
MFLT7270	春	WORLD ENGLISHES	LGE521-61e00	2	FURUKAWA Gavin	○	隔年開講
MFLT7010	秋	TEACHING PRONUNCIATION	LGE504-61e00	2	佐　藤　敬　典	○	
MFLT7070	秋	CURRICULUM AND SYLLABUS DESIGN	LGE509-61e00	2	渡　部　良　典	○	
MFLT7100	秋	APPLIED LINGUISTICS (FOCUS ON FORM)	LGE511-61e00	4	和　泉　伸　一	○	
MFLT7130	秋	ACTION RESEARCH	LGE512-61e00	4	渡　部　良　典	○	
MFLT7200	秋	SOCIOCULTURAL THEORY & SLA	LGE601-61e00	2	坂　本　光　代	○	
MFLT7250	秋	MATERIALS DEVELOPMENT	LGE518-61e00	2	PINNER Richard	○	
MFLT7260	秋	PRINCIPLES AND PRACTICE OF CLIL	LGE519-61e00	2	(他)池 田　　真	○	
MFLT7330	秋	THEORIES OF TEACHING ENGLISH TO YOUNG CHILDREN	LGE523-61e00	2	藤　田　　保	○	
MFLT7340	3Q	PRACTICUM IN TEACHING ENGLISH TO CHILDREN 1	LGE524-61e00	2	*狩　野　晶　子	○	
MFLT7350	4Q	PRACTICUM IN TEACHING ENGLISH TO CHILDREN 2	LGE525-61e00	2	*狩　野　晶　子	○	
MFLT7030	休講	READING AND WRITING	LGE506-61e00	2		○	
MFLT7150	休講	CLASSROOM DISCOURSE	LGE516-61e00	2		○	隔年開講
MFLT7170	休講	INTERCULTURAL INTERACTION	LGE522-61e00	2		○	
MFLT7120	休講	ANALYZING SPOKEN DATA	LGE520-61e00	2		○	隔年開講
MFLT7180	休講	PSYCHOLINGUISTICS	LGE515-61e00	4		○	隔年開講
MFLT7190	休講	SOCIOLINGUISTICS	LGE501-61e00	2		○	隔年開講
MFLT7240	休講	LANGUAGE AND POWER	LGE602-61e00	2		○	隔年開講

※修士論文についてはp. 19～20参照。
※研究指導一覧表についてはp. 234参照。

言語学専攻　博士前期課程　日本語教育学コース

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択必修科目（必修）	8		
┗日本語教育文法Ⅰ	2		
┗第二言語習得Ⅰ	2		
┗言語・文化・社会	2		
┗日本語教授法概論	2		
‣（B）選択必修科目群	16		（B）選択必修科目群から16単位を超えて履修をした場合，その単位は選択科目として取り扱う
‣選択科目	6		
┗自専攻自コース科目			
┗自専攻他コース科目			
研究指導(必修)		2	単位なし，2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

1）　研究の内容が言語研究に寄与し，独創性を有すること。
2）　研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
3）　先行研究を踏まえ，十分な論証がなされていること。
4）　論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜（Ａ）必修科目群＞			
日本語教育文法Ⅰ		2	
第二言語習得Ⅰ		2	
言語・文化・社会		2	
日本語教授法概論		2	
＜（Ｂ）選択必修科目群＞			
日本語教育文法Ⅱ			2
第二言語習得Ⅱ			2
日本語教育文法演習			2
日本語教授法特講			2
第二言語習得演習			2
中間言語語用論概論			2
中間言語語用論演習			2
談話分析			2
日本語評価法			2
日本語教授法（初級）			2
日本語教授法（中上級）			2
日本語音声学			2
日本語教材・教具論			2
日本語社会言語学			2
バイリンガル教育と多文化共生			2
研究法入門			2
異文化コミュニケーション			2
日本語研究Ⅰ			2
日本語研究Ⅱ			2
社会言語学特講			2
日本語教授法演習			2
応用心理言語学			2
＜（Ｃ）選択科目群＞			
Introduction to Linguistics ※注2			2
Introduction to TEFL in Japan ※注2			2
Second Language Acquisition (English) ※注2			4
Teaching Pronunciation ※注2			2
Listening and Speaking ※注2			2
Reading and Writing ※注2			2

※注１：言語学専攻開講科目。
※注２：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
Classroom Research ※注2			2
Affective Factors in TESOL ※注2			2
Curriculum and Syllabus Design ※注2			2
Materials Development ※注2			2
Principles and Practice of CLIL ※注2			2
Thesis Writing ※注2			2
Applied Linguistics (Focus on Form) ※注2			4
Action Research ※注2			4
TEFL Methodology ※注2			4
Classroom Discourse ※注2			2
Bilingual Education ※注2			4
Intercultural Interaction ※注2			2
Analyzing Spoken Data ※注2			2
Psycholinguistics ※注2			4
Sociolinguistics ※注2			2
Sociocultural Theory & SLA ※注2			2
Qualitative Research Methods ※注2			2
Language and Power ※注2			2
Theories of Teaching English to Young Children ※注2			2
Practicum in Teaching English to Children 1 ※注2			2
Practicum in Teaching English to Children 2 ※注2			2
World Englishes ※注2			2
統辞論基礎 ※注1			4
意味論基礎 ※注1			4
音声学・音韻論基礎 ※注1			4
実験統計法１ ※注1			2
実験統計法２ ※注1			2
言語テスティング１ ※注1			2
言語テスティング２ ※注1			2

３．履修上の注意

1）30 単位以上を履修すること。
なお，上記 30 単位の中には，（A）履修群の 8 単位，（B）履修群の 16 単位以上が含まれていなければいけない。
また，学部での日本語教育の知識が不十分な学生については，必要に応じて学部の日本語教育関連コースの科目の履修を義務付ける場合がある。

2）1 年次終了までに指導教員を決め，履修計画及び，修士論文の作成に対する指導を受けること。

3）「研究指導」を 2 年次以降に毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

4）2 年次春学期に「修士論文計画書」を提出し，論文審査委員（主査1名，副査2名以上）による面接を受けること。その結果を受けて，論文の作成にかかり，所定の期限に提出後，学位論文審査を受けること。

■学部開講関連科目一覧（参考）

授業科目名		担当者	開講学科等
	日本語教育入門1	清水崇文	外国語学部
	日本語教育入門2	清水崇文	外国語学部
	日本語教育学A（文法）1	村田水恵	外国語学部
	日本語教育学A（文法）2	村田水恵	外国語学部
休	日本語教育学B（言語習得）1	小柳かおる	外国語学部
	日本語教育学B（言語習得）2	小柳かおる	外国語学部
	日本語教育学C（社会言語学）1	清水崇文	外国語学部
	日本語教育学C（社会言語学）2	清水崇文	外国語学部
	日本語教授法A（初級）1	峯布由紀	外国語学部
	日本語教授法A（初級）2	峯布由紀	外国語学部
	日本語教授法B（中上級）1	峯布由紀	外国語学部
	日本語教授法B（中上級）2	峯布由紀	外国語学部
休	日本語教授法C（技能別）1	小柳かおる	外国語学部
	日本語教授法C（技能別）2	小柳かおる	外国語学部

※科目の詳細（開講期，曜日，時限等）については，学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。
※上記の科目は，履修することは可能だが，修了要件に算入することは出来ない。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※＊：非常勤教員	外国語	備考
MFLJ6010	春	日本語教育文法Ⅰ	LGJ512-61j00	2	峯　布由紀		
MFLJ6030	春	言語・文化・社会	LGJ503-61j00	2	清水崇文		
MFLJ6040	春	日本語教授法概論	LGJ504-61j00	2	峯　布由紀		
MFLJ7140	春	日本語社会言語学	LGJ509-61j00	2	*齋藤純子		
MFLJ7150	春	バイリンガル教育と多文化共生	LGJ510-61j00	2	坂本光代		隔年開講
MFLJ7160	春	研究法入門	LGJ511-61j00	2	*向山陽子		
MFLJ7220	春	社会言語学特講	LGJ609-61j00	2	清水崇文		
MFLJ7100	春	日本語教授法（初級）	LGJ507-61j00	2	*ペレラ 柴田 奈津子		春学期集中
MFLJ7130	春	日本語教材・教具論	LGJ508-61j00	2	*ペレラ 柴田 奈津子		春学期集中，隔年開講
MFLJ7010	秋	日本語教育文法Ⅱ	LGJ513-61j00	2	峯　布由紀		
MFLJ7020	秋	第二言語習得Ⅱ	LGJ502-61j00	2	小柳かおる		
MFLJ7030	秋	日本語教育文法演習	LGJ602-61j00	2	峯　布由紀		隔年開講
MFLJ7050	秋	第二言語習得演習	LGJ603-61j00	2	小柳かおる		
MFLJ7060	秋	中間言語語用論概論	LGJ505-61j00	2	清水崇文		
MFLJ7080	秋	談話分析	LGJ506-61j00	2	清水崇文		
MFLJ7090	秋	日本語評価法	LGJ515-61j00	2	小柳かおる		隔年開講
MFLJ7120	秋	日本語音声学	LGJ514-61j00	2	*大久保雅子		
MFLJ7190	秋	日本語研究Ⅱ	LGJ606-61j00	2	峯　布由紀		隔年開講
MFLJ6020	休講	第二言語習得Ⅰ	LGJ501-61j00	2			
MFLJ7040	休講	日本語教授法特講	LGJ601-61j00	2			隔年開講
MFLJ7070	休講	中間言語語用論演習	LGJ604-61j00	2			
MFLJ7110	休講	日本語教授法（中上級）	LGJ516-61j00	2			隔年開講
MFLJ7170	休講	異文化コミュニケーション	LGJ517-61j00	2			
MFLJ7180	休講	日本語研究Ⅰ	LGJ605-61j00	2			隔年開講
MFLJ7200	休講	日本語教授法演習	LGJ607-61j00	2			隔年開講
MFLJ7210	休講	応用心理言語学	LGJ608-61j00	2			隔年開講

※修士論文についてはp. 19～20参照。
※研究指導一覧表についてはp. 234参照。

言語学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
‣必修科目			
┗言語学特殊研究Ⅰ	2		
┗言語学特殊研究Ⅱ	2		
┗言語学特殊研究Ⅲ	2		
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【17 年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【16 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，11年次生以降は在学中毎学期登録される 10年次生以前は3年次までに計2回，履修すること ※10年度までは「論文指導（単位なし）」
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）　研究の内容が言語研究に寄与し，独創性を有すること。
2）　研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
3）　国内外の先行研究を踏まえ，十分な論証がなされていること。
4）　論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。
5）　自立した研究者として研究活動を遂行するに足る能力と学識が示されたものであること。

２．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
言語学特殊研究Ⅰ	2		
言語学特殊研究Ⅱ	2		
言語学特殊研究Ⅲ	2		
コミュニケーション障害特殊講義			2
コミュニケーション障害分析法（治療診断学）			2

３．履修上の注意

1）17 年次生以前：修了に必要な履修単位数の条件はない。
　18 年次生以降：必修科目「言語学特殊研究Ⅰ」「言語学特殊研究Ⅱ」「言語学特殊研究Ⅲ」の３科目，計６単位を履修すること。

2）1 年次に指導教員を決め，研究上の指導を受けること。
　2 年次に博士論文資格試験を受験すること。詳細は言語学専攻事務室に問い合わせること。

3）「研究指導」について
・10 年次生以前については必ず同一教員の「研究指導」を春学期，秋学期の 1 回ずつ計 2 回，3 年次までに履修すること。
・11 年次生以降については「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

4）博士論文提出前に，合計 2 編以上の論文をしかるべき学術雑誌（査読付き）に発表すること。そのうち少なくとも 1 編は単著であること。

5）博士論文（課程博士）の作成，提出について
　(a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり，適当な時期に，論文審査委員会（主査 1 名，副査 2 名以上）を構成する。
　(b) 在学中に論文を提出し，審査を受け，最終試験（公開試問）を受ける。
　なお，2001～2013 年度の入学者については，満期退学後 3 年以内に論文を提出した場合には，課程博士として学位論文審査および最終試験を受けることができる特例の適用を受けることができる。本特例の適用を受けようとする者は，「満期退学願」提出時に「課程博士学位論文提出申請書」を提出すること。
　本特例の詳細については，学事センター（学籍・証明書）窓口に問い合わせること。
　また，「論文博士」の提出手続きについても学事センター（学籍・証明書）窓口に問い合わせること。

6）本修了要件（上記１）～５)）は，2003 年度入学者から施行する。

7）課程博士の取得を希望する者は専攻事務室で手順書を入手すること。

言語聴覚障害学を専攻する者は以下を参照すること。

1）必修科目「言語学特殊研究Ⅰ」「言語学特殊研究Ⅱ」「言語学特殊研究Ⅲ」の３科目，計６単位を履修すること。

2）1 年次に指導教員を決め，研究上の指導を受けること。
　2 年次に博士論文資格試験を受験すること。詳細は言語学専攻事務室に問い合わせること。

3）「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

4）博士論文の提出前に，合計 2 編以上の論文（査読付き。そのうち 1 編以上は英語で書かれたもの）をしかるべき学術雑誌に発表すること。また，2 編ともに筆頭著者であること。

5）博士論文（課程博士）の作成・提出について
　(a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり，適当な時期に，論文審査委員会（主査 1 名，副査 2 名以上）を構成

する。

(b) 在学中に論文を提出し，2回の論文審査に合格した後，最終試験（公開試問）を受ける。

「論文博士」の提出手続きについては学事センター（学籍・証明書）窓口に問い合わせること。

6）課程博士の取得を希望する者は専攻事務室で手順書を入手すること。

4．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DFLG1000	春	言語学特殊研究Ⅰ	LNG801-61m00	2	言語学専攻指導教員		D１対象
DFLG2000	春	言語学特殊研究Ⅱ	LNG802-61m00	2	言語学専攻指導教員		D２対象
DFLG3000	春	言語学特殊研究Ⅲ	LNG803-61m00	2	言語学専攻指導教員		D３対象
DFLG7010	春	コミュニケーション障害特殊講義	LGC801-61j00	2	吉　畑　博　代		後期課程の学生で，言語聴覚障害学を専攻する者のみ履修可
DFLG7020	休講	コミュニケーション障害分析法（治療診断学）	LGC802-61j00	2			後期課程の学生で，言語聴覚障害学を専攻する者のみ履修可

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LNG804-61m00	吉　田　研　作	
	髙　橋　由美子	
	福　井　直　樹	
	渡　部　良　典	
	市之瀬　　敦	
	原　田　早　苗	
	和　泉　伸　一	
	小　柳　かおる	
	NEVES Mauro	
	西　村　君　代	
	坂　本　光　代	
	清　水　崇　文	
	TOIDA Helena	
	村　田　真　一	
	COUCHOT Hervé	
	FAIRBROTHER Lisa	
	TUCHAIS Simon	
	LIPSKY Angela	
	原　　惠　子	
	原　　求　作	
	福　崎　裕　子	
	高　橋　亮　介	
	吉　畑　博　代	
	加　藤　孝　臣	
	峯　　布由紀	
	秋　山　真　一	
	北　原　真　冬	
	AROZ Aingeru	

※「研究指導」の履修年次は後期課程の1～3年次である。

グローバル・スタディーズ研究科

＊ グローバル社会専攻のカリキュラムについては、
English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2019-2020」を参照

国際関係論専攻

地域研究専攻

グローバル社会専攻

1．グローバル・スタディーズ研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

国際関係の諸側面とそれらをめぐる諸問題を多角的に研究する国際関係論，アジア・中東・アフリカ・ラテンアメリカ・ヨーロッパ地域等の内在的な理解を重視する地域研究，グローバル・イシューに多面的にアプローチするグローバル社会専攻のそれぞれの方法論を活かし，相互に連関してグローバル化する現代世界を総合的に理解することのできる専門研究者及び高度専門職業人を育成する。

2．各専攻のディプロマ・ポリシー

国際関係論専攻

【博士前期課程】

本課程では，世界平和と世界正義問題に積極的に取り組み，戦争を防止し，多様で自由な国際社会を築けるような問題関心を持ち，今日の国際社会が直面する諸問題の解決に積極的に貢献できるような研究者や専門家を養成することを目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 安全保障・紛争，貧困・開発，移民・難民，国際協力の在り方など国際社会が直面する諸問題に関する問題意識が明確かつテーマ設定が適切で，国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与する力
2. 国際関係論およびその関連領域の知識を理解し，現代の国際関係の事象またはグローバル・イシューを鋭利な問題意識と批判的精神で分析し，問題解決に向けて提言する力
3. 地球環境・国際社会について幅広い問題関心を持ち，国際関係の理解に，国際政治学，国際経済学，国際社会学・比較社会学，国際協力論といった学際的な視点と，国家や社会や地域に関する比較の視点からアプローチする力

【博士後期課程】

本課程では，世界における平和と正義の問題に積極的に取り組み，戦争を防止し，多様で自由なグローバル社会を築けるような問題関心を持ち，今日の国際社会が直面する諸問題の解決に積極的に貢献できるような研究者や専門家を養成することを目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 問題意識が明確で，テーマ設定が適切であり，対象分野に関する新しい知見の発見，ないしは既存の知見に対する新しい解釈が提示する力
2. 自ら選んだ専攻分野における独創的かつ先端的な研究であり，自立的研究者として研究を遂行することができる能力
3. 論文の主要部分が学術雑誌などに出版，あるいは提出されている能力

地域研究専攻

【博士前期課程】

本課程では，現場の視点を重視した地域立脚型のアプローチに基づき，歴史的文化的背景に配慮しながら，グローバル・イシューの原点解明と解決をめざすフィールド・ワーカー養成を目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 東南アジア，南アジア，中東，アフリカ，ラテンアメリカ，ヨーロッパの各地域の言語を用い，フィールド・ワークに基づいた方法論を確立する力
2. 国単位ではない地域社会からの発想，及び複数の学問による共同研究によって既存の学問ではとらえきれない問題へ挑み，分析・理解する力

3. グローバルな諸現象の解明に地域の視点とアプローチから学術的・社会的に貢献し，次世代地域研究者としてグローバルな市民社会とローカルな多様性を支える力

【博士後期課程】

本課程では，研究課題解明のための適切且つ独創的な地域へのアプローチと方法論に基づき，関連学問分野の発展に貢献する地域研究の高度な学術水準を満たすことを目的とし，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 今日的課題解決のための適切なアプローチを，学問上の貢献と合わせて開発・確立し，さらに研究課題の解明に必要十分な言語能力を運用したうえで，フィールド・ワークを遂行し独自の資料入手と分析をする力
2. 将来の学際的な共同研究も視野に入れた，研究課題の設定及び学術的貢献の可能性を洞察する力

グローバル社会専攻

【博士前期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 専門的知識，世界に通用する文化的対応能力
2. グローバル社会研究領域では，グローバルな諸事象の研究のための基本的な概念や方法論
3. 国際経営開発領域では，特に日本とアジアに着目し，現代社会でのグローバルなビジネスおよび開発における多様な問題に対応するための分析をする力
4. 比較日本研究領域では，日本の歴史，文学，宗教，美術史，社会，文化について，総合的，学際的に理解する力

【博士後期課程】

本課程では，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 高度専門職にふさわしい専門知識
2. グローバル社会研究領域では，関連する基本的な概念に精通し，方法論を用いて達成された，グローバル社会研究領域における独創的な貢献をする力
3. 比較日本研究領域では，博士学位は，関連する基本的な概念に精通し，方法論を用いて達成された，比較日本研究領域における独創的な貢献をする力

３．各専攻のカリキュラム・ポリシー

国際関係論専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーの達成を目的とした二つの科目群により，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 本課程では，学際的視点と比較の視点を修得すべく，国際政治・比較政治系と国際社会・国際協力系の履修群を二本柱とし，各群から一定の単位を修得し，国際関係論を体系的かつ幅広く研究することを目指している。
2. 国際政治・比較政治系では，国際関係論，国際政治学，比較政治学，平和研究，安全保障など国民国家の安全保障に関連する研究を行う。国際社会・国際協力系では国際経済学，国際社会学・比較社会学，国際協力論など国民国家の枠を超えて，人の安全保障に関連する研究を行う。
3. 国際関係論の理論や先行研究理解を踏まえ，独自の問題関心にしたがい，国際社会が直面する諸問題に関する問

題意識が明確かつテーマ設定が適切で，国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与できるような修士論文の作成に取り組ませる。

4. 修士課程での研究の発展を促すために，1人の学生を主指導教員と副指導教員の複数指導体制によって研究指導を行う。複数の教員の指導によって幅広い知識と視野を得て，学生が独自の研究を円滑に進めることが出来る指導体制とする。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，個別研究の独創性と学術的貢献についての認識を深め，学術上の研究成果をあげるよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員と作成した独自のカリキュラムによって研究を進め，学会での発表や学術誌への投稿を行う。そのことで専門的な知識をえるだけでなく，高度な独創性をもった独自の研究を深めていく。
2. 本課程では，学際的な研究を遂行できるように複数の専門領域を学ぶことを学生に期待しており，博士論文の第一段階は，国際関係論で開設されている二科目を選択して受験する「博士論文資格試験」に合格することにより，この試験を経ることによって，複数の専門科目に関する幅広い知識と視野を得ることを目指す。
3. 博士論文の第二段階は，「博士論文計画書」を作成する。指導教員の指導によって独自に計画書の作成を進め学会での報告や学会誌への投稿を行うが，それらの研究成果に基づく具体的で体系的な博士論文の執筆計画を提出し審査される。「博士論文計画書」によって，博士論文作成は最終執筆の段階に至る。

地域研究専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーの実現を目的として，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 必修の基礎科目により，地域研究の基礎と多様で総合的な方法と地域立脚型の視点を修得させる。
2. 地域間比較科目により，研究対象とする地域及び主として用いる方法論の相対化を促し，また比較の視野を培うことによって個別研究の学術的貢献について客観的に把握する力をつける。
3. 地域研究専門科目により，研究対象に適切な方法論及び専攻研究成果を踏まえた，整合性のある論理展開が出来るように訓練する。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーの実現を目的として，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. フィールド・ワークによる独創的な資料入手及びアプローチの開発を促すために，指導教員との個別論文指導を行う。
2. 指導教員及び専攻内で開設されている科目への積極的な参加を通じて，他分野，他地域の学生と幅広く議論する。
3. 博士論文提出資格試験により，言語能力，論理的思考も含めた学術水準の到達度を審査する。
4. 博士論文提出資格試験に合格したのち，博士論文計画書審査と博士論文計画セミナーの実施を経て博士論文完成へと導く。

グローバル社会専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 多国籍・多文化な社会において，英語または他の言語により活躍できる人材を育成する。
2. グローバル社会研究領域では，国際的な組織，政府，NGO，マスメディア，教育機関その他の組織に十分に参画し，指導的な役割を果たす能力を身に付けさせる。
3. 国際経営開発学領域では，先進国・発展途上国の経済状況を深く理解し，国際的な組織・政府・ビジネスで必要な専門的な経営管理能力を身に付けさせる。
4. 比較日本研究領域では，教育機関その他の，日本に関する専門的な知識を必要とする組織において必要な日本語力と学術的知識を修得させる。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 特定の領域で深い専門知識を修得し，かつ国際的なキャリアに必要な文化的対応能力を備える者を育成する。
2. グローバル社会研究領域では，高等教育機関における教育研究職や，グローバルな諸事象に対する専門的な理解と分析を必要とする組織での職務に就くに十分な，グローバル社会研究領域に対する理論と方法の専門的知識を身に付けさせる。
3. 比較日本研究領域では，日本研究領域の特定分野において高等教育機関における教育研究職に就くに十分な専門性を身につけ，また，自らの専門分野において高度・革新的なレベルの研究を続けてゆく能力を身に付けさせる。

国際関係論専攻　博士前期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択必修科目	30		
┗自専攻科目	18		国際政治・比較政治系から12単位・国際社会・国際協力系から6単位，国際社会・国際協力系から12単位・国際政治・比較政治系から6単位，いずれかの組み合わせで履修すること
┗国際政治・比較政治系	12または6		
┗国際社会・国際協力系	6または12		
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

1）　問題意識が明確で，テーマ設定が適切であり，国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与していること。
2）　先行研究が十分に検討・吟味されており，出典記載や引用が適切になされていること。
3）　論文構成が的確で，論理展開に整合性と一貫性があること。
4）　論文の言語表現が的確で，目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。

２．授業科目の編成・単位

【18年次生以降】

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜（国際政治・比較政治系）履修群＞			
対外政策研究1		2	
対外政策研究2		2	
比較政治学研究1		2	
比較政治学研究2		2	
国際関係論特殊講義		2	
国際関係論演習		2	
現代ロシア政治研究1		2	
現代ロシア政治研究2		2	
ロシア政治史研究1		2	
ロシア政治史研究2		2	
国際政治史研究1（基礎）		2	
国際政治史研究2（応用）		2	
日本外交研究1		2	
日本外交研究2		2	
中国政治外交研究1		2	
中国政治外交研究2		2	
ヨーロッパ比較政治研究1		2	
ヨーロッパ比較政治研究2		2	
アメリカ政治外交研究1		2	
アメリカ政治外交研究2		2	
グローバル・ガバナンス論研究1		2	
グローバル・ガバナンス論研究2		2	
国際政治経済論研究1(政治学的アプローチ)		2	
国際政治経済論研究2(政治学的アプローチ)		2	
国連研究1		2	
国連研究2		2	
国連研究演習1		2	
国連研究演習2		2	
国連の役割と機能(国連集中研修プログラム)		2	
ジュネーブ国際機関集中研修プログラム		2	

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
（他）政治学研究Ⅰ※注1		2	
（他）政治学研究Ⅱ※注1		2	
（他）政治学研究Ⅴ※注1		2	
（他）政治学研究Ⅵ※注1		2	
＜（国際社会・国際協力系）履修群＞			
開発経済学研究1		2	
開発経済学研究2		2	
国際協力論研究演習1		2	
国際協力論研究演習2		2	
国際社会学研究1（基礎）		2	
国際社会学研究2（応用）		2	
グローバル市民社会論研究1（基礎）		2	
グローバル市民社会論研究2（応用）		2	
現代ロシア経済研究1		2	
現代ロシア経済研究2		2	
体制移行経済研究1		2	
体制移行経済研究2		2	
言語社会学研究1		2	
言語社会学研究2		2	
国際教育開発論研究演習1		2	
国際教育開発論研究演習2		2	
国際経済学研究1		2	
国際経済学研究2		2	
国際政治経済論研究1(経済学的アプローチ)		2	
国際政治経済論研究2(経済学的アプローチ)		2	
環太平洋移民史研究1		2	
環太平洋移民史研究2		2	
社会科学の方法論1（基礎）		2	
社会科学の方法論2（応用）		2	

※注1：法律学専攻開講科目

上記注1科目の詳細については各専攻の履修要綱を確認すること。

【17年次生以前】

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜（A/国際政治・比較政治系）履修群＞			
国際政治史研究1（基礎）		2	
国際政治史研究2（応用）		2	
日本外交研究1		2	
日本外交研究2		2	
グローバル市民社会論研究1（基礎）		2	
グローバル市民社会論研究2（応用）		2	
中国政治外交研究1		2	
中国政治外交研究2		2	
国際協力論研究演習1		2	
国際協力論研究演習2		2	
アメリカ政治外交研究1		2	
アメリカ政治外交研究2		2	
グローバル・ガバナンス論研究1		2	
グローバル・ガバナンス論研究2		2	
国際政治経済論研究1（政治学的アプローチ）		2	
国際政治経済論研究2（政治学的アプローチ）		2	
国連の役割と機能（国連集中研修プログラム）		2	
ジュネーブ国際機関集中研修プログラム		2	
国連研究1		2	
国連研究2		2	
国連研究演習1		2	
国連研究演習2		2	
国際関係論特殊講義		2	
国際関係論演習		2	
（他）政治学研究Ⅰ※注1		2	
（他）政治学研究Ⅱ※注1		2	
（他）政治学研究Ⅴ※注1		2	
（他）政治学研究Ⅵ※注1		2	

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜（B/国際社会・国際協力系）履修群＞			
対外政策研究1		2	
対外政策研究2		2	
開発経済学研究1		2	
開発経済学研究2		2	
比較政治学研究1		2	
比較政治学研究2		2	
社会科学の方法論1（基礎）※注2		2	
社会科学の方法論2（応用）※注3		2	
国際社会学研究1（基礎）		2	
国際社会学研究2（応用）		2	
現代ロシア政治研究1		2	
現代ロシア政治研究2		2	
ロシア政治史研究1		2	
ロシア政治史研究2		2	
ヨーロッパ比較政治研究1		2	
ヨーロッパ比較政治研究2		2	
現代ロシア経済研究1		2	
現代ロシア経済研究2		2	
体制移行経済研究1		2	
体制移行経済研究2		2	
言語社会学研究1		2	
言語社会学研究2		2	
国際教育開発論研究演習1		2	
国際教育開発論研究演習2		2	
国際経済学研究1 ※注4		2	
国際経済学研究2 ※注5		2	
国際政治経済論研究1（経済学的アプローチ）※注6		2	
国際政治経済論研究2（経済学的アプローチ）※注7		2	
環太平洋移民史研究1		2	
環太平洋移民史研究2		2	

※注１：法律学専攻開講科目
※注２：旧統計学と国際社会研究１（基礎）
※注３：旧統計学と国際社会研究２（応用）
※注４：旧国際経済学研究１（理論）
※注５：旧国際経済学研究２（ケース・スタディ）
※注６：旧国際政治経済論研究１（理論）
※注７：旧国際政治経済論研究２（ケース・スタディ）

上記注 2.3 科目の詳細については各専攻の履修要綱を確認すること。

3.　履修上の注意

1）前期課程学生は，［国際政治・比較政治系］履修群および［国際社会・国際協力系］履修群のいずれかから 12 単位以上，もう一方から6単位以上を修得しなければならない。各履修群の分類については「2. 授業科目の編成・単位」を参照すること。
なお，博士前期課程修了要件において，入学年次に応じて履修群の科目編成が異なるので注意すること。また，同一科目を二回以上履修した場合，修了単位に含まれるのは一回分に限られるので注意すること。

2）前期課程学生は，１年次入学とともに，なるべく早く修士論文の指導教員（本学国際関係論専攻担当専任教員）を決定し，必要な科目を履修すること。

3）前期課程学生は，ガイダンスにて配布される「指導教員届」を専攻事務室に提出しなければならない。

4）年度初めに行う専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文」について説明を行うので，必ず出席すること。

5）前期課程学生は，「研究指導」を在学中，毎学期履修し，必要な科目数を合格しなくてはならない。必要な合格科目数は「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

6）科目選択にあたっては指導教員と相談の上，決定することとする。

7）前期課程修了条件は，上記１）～４）にしたがった上で，30 単位以上の単位を修得し，定められた手続きにより修士論文を提出して，口述試験に合格することである。

8）前期課程において，大学院学則の規定に従い，本専攻入学以前に国内外の大学院で既に修得した単位を，本専攻修了に必要な単位として認定を受けることができる（入学前既修得単位認定）。また本専攻在学中に留学先大学院等で修得した単位を，本専攻修了に必要な単位として換算することを申請できる（単位換算）。いずれの場合も，学事センターへ申請が提出された後，本専攻にて審議し，認定の可否を判断する。単位数は，本学の基準により計算する。認定・換算できる総単位数は 10 単位を上限とする。

9）18 年度に履修した科目を確認する場合は，18 年度の履修要綱を確認すること。

10）その他，不明な点は，上智大学大学院学則，上智大学学位規定を熟読し，専攻事務室，指導教員，専攻主任などと相談すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MFIR6200	春	対外政策研究1	IRS503-66j00	2	樋　渡　由　美		「対外政策専門研究１」と合併，博士前期課程対象
MFIR6220	秋	対外政策研究2	IRS504-66j00	2	樋　渡　由　美		「対外政策専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6920	休講	国際経済学研究1	IRS553-66j00	2			旧「国際経済学研究１（理論）」 隔年開講，「国際経済学専門研究１」と合併，博士前期課程対象
MFIR6930	休講	国際経済学研究2	IRS554-66j00	2			旧「国際経済学研究2（ケース・スタディ）」 隔年開講，「国際経済学専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6900	春	国際政治経済論研究1 (経済学的アプローチ)	IRS551-66j00	2	下　川　雅　嗣		隔年開講，「国際政治経済論専門研究1(経済学的アプローチ)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6910	休講	国際政治経済論研究2 (経済学的アプローチ)	IRS552-66j00	2			隔年開講，「国際政治経済論専門研究2(経済学的アプローチ)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6141	休講	国際政治史研究1（基礎）	IRS531-66j00	2			隔年開講，「国際政治史専門研究1(基礎)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6142	秋	国際政治史研究2（応用）	IRS532-66j00	2	宮　城　大　蔵		隔年開講，「国際政治史専門研究2（応用）と合併，博士前期課程対象
MFIR6143	休講	日本外交研究1	IRS533-66j00	2			隔年開講，旧「日本外交史研究１」 「日本外交専門研究１」と合併，博士前期課程対象
MFIR6144	休講	日本外交研究2	IRS534-66j00	2			隔年開講，旧「日本外交史研究２」 「日本外交専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6180	春	グローバル市民社会論研究1(基礎)	IRS501-66j00	2	稲　葉　奈々子		「グローバル市民社会論専門研究1（基礎）」と合併，博士前期課程対象
MFIR6190	秋	グローバル市民社会論研究2(応用)	IRS502-66j00	2	稲　葉　奈々子		「グローバル市民社会論専門研究2（応用）」と合併，博士前期課程対象
MFIR6580	春	中国政治外交研究1	IRS521-66j00	2	渡　辺　紫　乃		「中国政治外交専門研究1」 と合併，博士前期課程対象
MFIR6590	秋	中国政治外交研究2	IRS522-66j00	2	渡　辺　紫　乃		「中国政治外交専門研究2」 と合併，博士前期課程対象
MFIR6940	春	国際協力論研究演習1	IRS523-66j00	2	丸　山　英　樹		「国際協力論研究専門演習1」 と合併，博士前期課程対象
MFIR6950	秋	国際協力論研究演習2	IRS524-66j00	2	丸　山　英　樹		「国際協力論研究専門演習2」 と合併，博士前期課程対象
MFIR6740	春	アメリカ政治外交研究1	IRS527-66j00	2	前　嶋　和　弘		「アメリカ政治外交専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6750	秋	アメリカ政治外交研究2	IRS528-66j00	2	前　嶋　和　弘		「アメリカ政治外交専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6030	春	グローバル・ガバナンス論研究1	IRS529-66j00	2	都　留　康　子		「グローバル・ガバナンス論専門研究1」 と合併，博士前期課程対象
MFIR6040	秋	グローバル・ガバナンス論研究2	IRS530-66j00	2	都　留　康　子		「グローバル・ガバナンス論専門研究2」 と合併，博士前期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MFIR6570	秋	国連の役割と機能 (国連集中研修プログラム)	IRS520-66j00	2	植　木　安　弘		秋学期集中科目，注1
MFIR6980	春	ジュネーブ国際機関 集中研修プログラム	IRS515-66j00	2	植　木　安　弘		春学期集中科目
MFIR6510	休講	国連研究1	IRS543-66j00	2			隔年開講,「国連専門研究1」と合併,博士前期課程対象
MFIR6520	休講	国連研究2	IRS544-66j00	2			隔年開講,「国連専門研究2」と合併,博士前期課程対象
MFIR6530	春	国連研究演習1	IRS545-66j00	2	植　木　安　弘		隔年開講,「国連研究専門演習1」と合併,博士前期課程対象
MFIR6540	秋	国連研究演習2	IRS546-66j00	2	植　木　安　弘		隔年開講,「国連研究専門演習2」と合併,博士前期課程対象
MFIR6010	休講	開発経済学研究1	IRS535-66e00	2		○	「開発経済学専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6020	秋	開発経済学研究2	IRS536-66e00	2	高　島　　亮	○	「開発経済学専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6300	春	比較政治学研究1	IRS505-66j00	2	岸　川　　毅		「比較政治学専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6310	休講	比較政治学研究2	IRS506-66j00	2			「比較政治学専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6860	1Q	社会科学の方法論1（基礎）	IRS549-66j00	2	＊小　林　誉　明		旧「統計学と国際社会研究１（基礎)」，博士前期課程対象，注2
MFIR6870	2Q	社会科学の方法論2（応用）	IRS550-66j00	2	＊小　林　誉　明		旧「統計学と国際社会研究2（応用)」，博士前期課程対象，注2
MFIR6370	春	国際社会学研究1（基礎）	IRS507-66j00	2	蘭　　信　三		「国際社会学専門研究1（基礎)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6380	秋	国際社会学研究2（応用）	IRS508-66j00	2	蘭　　信　三		「国際社会学専門研究2（応用)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6990	春	現代ロシア政治研究1	IRS509-66j00	2	湯　浅　　剛		隔年開講，「現代ロシア政治専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6340	秋	現代ロシア政治研究2	IRS510-66j00	2	湯　浅　　剛		隔年開講，「現代ロシア政治専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6350	休講	ロシア政治史研究1	IRS511-66j00	2			隔年開講，「ロシア政治史専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6360	休講	ロシア政治史研究2	IRS512-66j00	2			隔年開講，「ロシア政治史専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6483	休講	ヨーロッパ比較政治研究1	IRS537-66j00	2			「ヨーロッパ比較政治専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6484	休講	ヨーロッパ比較政治研究2	IRS538-66j00	2			「ヨーロッパ比較政治専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6490	休講	現代ロシア経済研究1	IRS516-66j00	2			隔年開講，「現代ロシア経済専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6491	休講	現代ロシア経済研究2	IRS539-66j00	2			隔年開講，「現代ロシア経済専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6500	春	体制移行経済研究1	IRS517-66j00	2	安　達　祐　子		隔年開講，「体制移行経済専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6501	秋	体制移行経済研究2	IRS540-66j00	2	安　達　祐　子		隔年開講，「体制移行経済専門研究2」と合併，博士前期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MFIR6780	春	言語社会学研究1	IRS518-66j00	2	木村　護郎クリストフ		「言語社会学専門研究 1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6790	秋	言語社会学研究2	IRS519-66j00	2	木村　護郎クリストフ		「言語社会学専門研究 2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6720	春	国際教育開発論研究演習1	IRS525-66e00	2	廣　里　恭　史	○	「国際教育開発論研究専門演習1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6730	秋	国際教育開発論研究演習2	IRS526-66j00	2	廣　里　恭　史		「国際教育開発論研究専門演習2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6840	春	環太平洋移民史研究1	IRS541-66m00	2	飯　島　真里子		授業は日本語と英語で行う 「環太平洋移民史専門研究1」と合併，博士前期課程対象
MFIR6850	秋	環太平洋移民史研究2	IRS542-66m00	2	飯　島　真里子		授業は日本語と英語で行う 「環太平洋移民史専門研究2」と合併，博士前期課程対象
MFIR6550	春	国際政治経済論研究1 (政治学的アプローチ)	IRS547-66j00	2	鈴　木　一　敏		「国際政治経済論専門研究 1（政治学的アプローチ)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6560	秋	国際政治経済論研究2 (政治学的アプローチ)	IRS548-66j00	2	鈴　木　一　敏		「国際政治経済論専門研究 2（政治学的アプローチ)」と合併，博士前期課程対象
MFIR6960	春	国際関係論特殊講義	IRS513-66j00	2	＊藤　重　博　美		「国際関係論演習」と合併，M1対象 春学期集中科目
MFIR6970	春	国際関係論演習	IRS614-66j00	2	*藤　重　博　美		「国際関係論特殊講義」と合併，M2対象 春学期集中科目
MFIR9011	春	修士論文	IRS699-66j00	0	国際関係論専攻各指導教員		M2対象（9月修了対象）
MFIR9010	秋	修士論文	IRS699-66j00	0	国際関係論専攻各指導教員		M2対象
MFIR6050	休講	国際政治学研究 1	IRS466-66j00	2			
MFIR6060	休講	国際政治学研究 2	IRS467-66j00	2			
MFIR6320	休講	比較社会学研究 1（基礎）	IRS468-66j00	2			
MFIR6330	休講	比較社会学研究 2（応用）	IRS469-66j00	2			
MFIR6210	休講	対外政策論文演習 1	IRS470-66j00	2			
MFIR6230	休講	対外政策論文演習 2	IRS471-66j00	2			
MFIR6271	休講	開発経済論研究 1	IRS472-66j00	2			
MFIR6272	休講	開発経済論研究 2	IRS473-66j00	2			
MFIR6260	休講	発展途上国政治経済研究 1	IRS474-66j00	2			
MFIR6270	休講	発展途上国政治経済研究 2	IRS475-66j00	2			
MFIR6280	休講	政治社会論研究 1	IRS476-66j00	2			
MFIR6290	休講	政治社会論研究 2	IRS477-66j00	2			
MFIR6390	休講	国際人口移動研究 1（基礎）	IRS478-66j00	2			
MFIR6400	休講	国際人口移動研究 2（応用）	IRS479-66j00	2			
MFIR6481	休講	ヨーロッパ政治社会論研究 1	IRS480-66j00	2			
MFIR6482	休講	ヨーロッパ政治社会論研究 2	IRS481-66j00	2			
MFIR6800	休講	言語社会学研究演習 1	IRS482-66j00	2			
MFIR6810	休講	言語社会学研究演習 2	IRS483-66j00	2			
MFIR6600	休講	国際協力研究 1	IRS484-66j00	2			
MFIR6610	休講	国際協力研究 2	IRS485-66j00	2			
MFIR6700	休講	国際協力研究演習 1	IRS486-66j00	2			
MFIR6710	休講	国際協力研究演習 2	IRS487-66j00	2			
MFIR6620	休講	国際教育開発論研究 1 (理論と方法)	IRS488-66j00	2			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MFIR6630	休講	国際教育開発論研究２ (実践と評価)	IRS489-66j00	2			
MFIR6680	休講	中国政治外交演習１	IRS490-66j00	2			
MFIR6690	休講	中国政治外交演習２	IRS491-66j00	2			
MFIR6640	休講	アメリカ政治外交演習１	IRS492-66j00	2			
MFIR6650	休講	アメリカ政治外交演習２	IRS493-66j00	2			
MFIR6660	休講	国際制度論演習１	IRS494-66j00	2			
MFIR6670	休講	国際制度論演習２	IRS495-66j00	2			
MFIR6760	休講	国際制度論研究１	IRS496-66j00	2			
MFIR6770	休講	国際制度論研究２	IRS497-66j00	2			
MFIR6820	休講	アジア太平洋日本人移民史研究１	IRS498-66j00	2			
MFIR6830	休講	アジア太平洋日本人移民史研究２	IRS499-66j00	2			

注１　秋学期後半にニューヨーク国連本部で集中的に行われる。本科目の評価には，Ｐ（合格）・Ｘ（不合格）を使用する。
単位認定が翌年度に行われるため，2020 年３月修了予定者はプログラムには参加可能だが，単位は認められない。

注２　クォーター科目のため，学期科目と授業期間が異なる。
４月の履修登録期間に「1」「2」両方の科目を履修登録すること。1Q の講義終了後，単位取得の可否を担当教員に確認し，修得できれば「2」に進み，修得できなかった場合は６月の「2Q 科目追加履修登録期間」に「2」の科目を削除すること。

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS599-66j00	下　川　雅　嗣	
	樋　渡　由　美	
	岸　川　　毅	
	稲　葉　奈々子	
	湯　浅　　剛	
	蘭　　信　三	
	宮　城　大　蔵	
	河　﨑　　健	
	高　島　　亮	
	安　達　祐　子	
	木村　護郎クリストフ	
	渡　辺　紫　乃	
	前　嶋　和　弘	
	都　留　康　子	
	廣　里　恭　史	
	飯　島　真里子	
	植　木　安　弘	
	鈴　木　一　敏	

国際関係論専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
‣選択科目			
┗博士後期課程演習科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【16 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）　問題意識が明確で，テーマ設定が適切であり，対象分野に関する新しい知見の発見，ないしは既存の知見に対する新しい解釈が提示されていること。
2）　先行研究が網羅的に検討・吟味されており，出典記載や引用が適切になされていること。
3）　論文構成が的確で，論理展開に整合性と一貫性があること。
4）　論文の言語表現が的確で，目次・註・付録（図表・資料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。
5）　論文の主要部分が学術雑誌などに出版されているか，あるいは掲載される水準であること。
6）　当該分野における独創的かつ先端的な研究であり，執筆者が自立的研究者として研究を遂行する能力があることを証明する研究であること。
なお，博士論文の提出については，「博士の学位授与に関する国際関係論専攻内規」を参照すること。

２．履修上の注意

1)　後期課程の学生（2017 年度生以降）は，研究指導科目の必要合格科目数が定められているため，「1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」に従って履修すること。

2)　後期課程の学生（2018 年度生以降）は，博士後期課程演習科目から 6 単位以上を修得しなくてはならない。

3)　科目選択にあたっては指導教員と相談の上，決定することとする。

4)　後期課程の学生は，専攻事務室に指導教員の届出をしなければならない。

5)　後期課程の学生は，「博士論文計画書」の審査に合格し，かつ修業年限 3 年を満たすまでは，指導教員の研究指導科目を毎学期履修しなければならない。

6)　後期課程の「博士論文計画書」及び「博士論文資格試験」については，「博士論文資格試験，博士論文計画書および博士論文についての内規」に定められている。

7)　18 年度に履修した科目を確認する場合は，18 年度の履修要綱を確認すること。

8)　その他，不明な点は，上智大学大学院学則，上智大学学位規程を熟読し，専攻事務室，指導教員，専攻主任などと相談すること。

３．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜国際政治・比較政治系＞			
対外政策専門研究1			2
対外政策専門研究2			2
現代ロシア政治専門研究1			2
現代ロシア政治専門研究2			2
ロシア政治史専門研究1			2
ロシア政治史専門研究2			2
国際政治史専門研究1（基礎）			2
国際政治史専門研究2（応用）			2
日本外交専門研究1			2
日本外交専門研究2			2
中国政治外交専門研究1			2
中国政治外交専門研究2			2
ヨーロッパ比較政治専門研究1			2
ヨーロッパ比較政治専門研究2			2
アメリカ政治外交専門研究1			2
アメリカ政治外交専門研究2			2
グローバル・ガバナンス論専門研究1			2
グローバル・ガバナンス論専門研究2			2
国際政治経済論専門研究1 (政治学的アプローチ)			2
国際政治経済論専門研究2 (政治学的アプローチ)			2
国連専門研究1			2
国連専門研究2			2
国連研究専門演習１			2
国連研究専門演習2			2

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
＜国際社会・国際協力系＞			
開発経済学専門研究1			2
開発経済学専門研究2			2
国際協力論研究専門演習1			2
国際協力論研究専門演習2			2
国際社会学専門研究1（基礎）			2
国際社会学専門研究2（応用）			2
グローバル市民社会論専門研究1（基礎）			2
グローバル市民社会論専門研究2（応用）			2
現代ロシア経済専門研究1			2
現代ロシア経済専門研究2			2
体制移行経済専門研究1			2
体制移行経済専門研究2			2
言語社会学専門研究1			2
言語社会学専門研究2			2
国際教育開発論研究専門演習1			2
国際教育開発論研究専門演習2			2
国際経済学専門研究1			2
国際経済学専門研究2			2
国際政治経済論専門研究1 (経済学的アプローチ)			2
国際政治経済論専門研究2 (経済学的アプローチ)			2
環太平洋移民史専門研究1			2
環太平洋移民史専門研究2			2

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DFIR7000	春	対外政策専門研究1	IRS802-66j00	2	樋　渡　由　美		「対外政策研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7010	秋	対外政策専門研究2	IRS803-66j00	2	樋　渡　由　美		「対外政策研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7020	休講	国際経済学専門研究1	IRS804-66j00	2			隔年開講，「国際経済学研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7030	休講	国際経済学専門研究2	IRS805-66j00	2			隔年開講，「国際経済学研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7040	春	国際政治経済論専門研究1（経済学的アプローチ）	IRS806-66j00	2	下　川　雅　嗣		隔年開講，「国際政治経済論研究1（経済学的アプローチ）」と合併，博士後期課程対象
DFIR7050	休講	国際政治経済論専門研究2（経済学的アプローチ）	IRS807-66j00	2			隔年開講，「国際政治経済論研究2（経済学的アプローチ）」と合併，博士後期課程対象
DFIR7060	休講	国際政治史専門研究1（基礎）	IRS808-66j00	2			隔年開講，「国際政治史研究1（基礎）」と合併，博士後期課程対象
DFIR7070	秋	国際政治史専門研究2（応用）	IRS809-66j00	2	宮　城　大　蔵		隔年開講，「国際政治史研究2（応用）」と合併，博士後期課程対象
DFIR7080	休講	日本外交専門研究1	IRS810-66j00	2			隔年開講，「日本外交研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7090	休講	日本外交専門研究2	IRS811-66j00	2			隔年開講，「日本外交研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7100	春	グローバル市民社会論専門研究1（基礎）	IRS812-66j00	2	稲　葉　奈々子		「グローバル市民社会論研究1（基礎）」と合併，博士後期課程対象
DFIR7110	秋	グローバル市民社会論専門研究2(応用)	IRS813-66j00	2	稲　葉　奈々子		「グローバル市民社会論研究2（応用）」と合併，博士後期課程対象
DFIR7140	春	中国政治外交専門研究1	IRS814-66j00	2	渡　辺　紫　乃		「中国政治外交研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7150	秋	中国政治外交専門研究2	IRS815-66j00	2	渡　辺　紫　乃		「中国政治外交研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7740	春	国際協力論研究専門演習1	IRS816-66j00	2	丸　山　英　樹		「国際協力論研究演習1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7750	秋	国際協力論研究専門演習2	IRS817-66j00	2	丸　山　英　樹		「国際協力論研究演習2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7220	春	アメリカ政治外交専門研究1	IRS818-66j00	2	前　嶋　和　弘		「アメリカ政治外交研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7230	秋	アメリカ政治外交専門研究2	IRS819-66j00	2	前　嶋　和　弘		「アメリカ政治外交研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7820	春	グローバル・ガバナンス論専門研究1	IRS820-66j00	2	都　留　康　子		「グローバル・ガバナンス論研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7830	秋	グローバル・ガバナンス論専門研究2	IRS821-66j00	2	都　留　康　子		「グローバル・ガバナンス論研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7300	休講	国連専門研究1	IRS822-66j00	2			隔年開講，「国連研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7310	休講	国連専門研究2	IRS823-66j00	2			隔年開講，「国連研究2」と合併，博士後期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DFIR7320	春	国連研究専門演習1	IRS824-66j00	2	植　木　安　弘		隔年開講，「国連研究演習1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7330	秋	国連研究専門演習2	IRS825-66j00	2	植　木　安　弘		隔年開講，「国連研究演習2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7800	休講	開発経済学専門研究1	IRS826-66e00	2		○	「開発経済学研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7810	秋	開発経済学専門研究2	IRS827-66e00	2	高　島　　亮	○	「開発経済学研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7400	春	比較政治学専門研究1	IRS828-66j00	2	岸　川　　毅		「比較政治学研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7410	休講	比較政治学専門研究2	IRS829-66j00	2			「比較政治学研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7420	春	国際社会学専門研究1（基礎）	IRS830-66j00	2	蘭　　信　三		「国際社会学研究1（基礎）」と合併，博士後期課程対象
DFIR7430	秋	国際社会学専門研究2（応用）	IRS831-66j00	2	蘭　　信　三		「国際社会学研究2（応用）」と合併，博士後期課程対象
DFIR7760	春	現代ロシア政治専門研究1	IRS832-66j00	2	湯　浅　　剛		隔年開講，「現代ロシア政治研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7770	秋	現代ロシア政治専門研究2	IRS833-66j00	2	湯　浅　　剛		隔年開講，「現代ロシア政治研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7780	休講	ロシア政治史専門研究1	IRS834-66j00	2			隔年開講，「ロシア政治史研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7790	休講	ロシア政治史専門研究2	IRS835-66j00	2			隔年開講，「ロシア政治史研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7520	休講	ヨーロッパ比較政治専門研究1	IRS836-66j00	2			「ヨーロッパ比較政治研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7530	休講	ヨーロッパ比較政治専門研究2	IRS801-66j00	2			「ヨーロッパ比較政治研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7540	休講	現代ロシア経済専門研究1	IRS837-66j00	2			隔年開講，「現代ロシア経済研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7550	休講	現代ロシア経済専門研究2	IRS838-66j00	2			隔年開講，「現代ロシア経済研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7560	春	体制移行経済専門研究1	IRS839-66j00	2	安　達　祐　子		隔年開講，「体制移行経済研究1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7570	秋	体制移行経済専門研究2	IRS840-66j00	2	安　達　祐　子		隔年開講，「体制移行経済研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7580	春	言語社会学専門研究1	IRS841-66j00	2	木村 護郎 クリストフ		「言語社会学研究 1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7590	秋	言語社会学専門研究2	IRS842-66j00	2	木村 護郎 クリストフ		「言語社会学研究 2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7640	春	国際教育開発論研究専門演習1	IRS843-66e00	2	廣　里　恭　史	○	「国際教育開発論研究演習1」と合併，博士後期課程対象
DFIR7650	秋	国際教育開発論研究専門演習2	IRS844-66j00	2	廣　里　恭　史		「国際教育開発論研究演習2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7680	春	環太平洋移民史専門研究1	IRS845-66m00	2	飯　島　真里子		授業は日本語と英語で行う「環太平洋移民史研究1」と合併，博士後期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DFIR7690	秋	環太平洋移民史専門研究2	IRS846-66m00	2	飯　島　真里子		授業は日本語と英語で行う 「環太平洋移民史研究2」と合併，博士後期課程対象
DFIR7720	春	国際政治経済論専門研究1 (政治学的アプローチ)	IRS847-66j00	2	鈴　木　一　敏		「国際政治経済論研究1 (政治学的アプローチ)」と合併，博士後期課程対象
DFIR7730	秋	国際政治経済論専門研究2 (政治学的アプローチ)	IRS848-66j00	2	鈴　木　一　敏		「国際政治経済論研究2 (政治学的アプローチ)」と合併，博士後期課程対象

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS899-66j00	下　川　雅　嗣	
	樋　渡　由　美	
	岸　川　　毅	
	稲　葉　奈々子	
	湯　浅　　剛	
	蘭　　信　三	
	宮　城　大　蔵	
	河　﨑　　健	
	高　島　　亮	
	安　達　祐　子	
	木村 護郎 クリストフ	
	渡　辺　紫　乃	
	前　嶋　和　弘	
	都　留　康　子	
	廣　里　恭　史	
	飯　島　真里子	
	植　木　安　弘	
	鈴　木　一　敏	

地域研究専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣必修科目	6		
┗地域研究方法論	2		
┗地域調査方法論	2		
┗生態人類学	2		
‣選択科目	24		
┗自専攻科目			
┗（A）履修群：選択科目			
┗（B）履修群：地域研究専門科目	12		
┗（C）履修群：地域間比較科目	6		
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			４単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣必修科目	6		
┗地域研究方法論	2		
┗地域調査方法論	2		
┗生態人類学	2		
‣選択科目	24		
┗自専攻科目			
┗（A）履修群：選択科目			
┗（B）履修群：地域研究専門科目	12		
┗（C）履修群：地域間比較科目	6		
┗自研究科他専攻科目			
┗委託聴講科目			４単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

地域研究専攻　博士前期課程における研究指導について

書式や提出期限詳細は専攻ハンドブックを参照のこと

Loyola に掲出する通知で提出期限を再確認し，書式をダウンロードして提出すること

M1 春学期　7 月上旬　　修士論文想定題（研究テーマおよび概要）提出

↓

M1（修士論文を執筆する前年度の）2 月末日までに
指導教員に修士論文についての指導を受ける

↓

【9 月修了希望者は春学期履修登録期間中に修士論文登録を行う】

＊9 月修了希望者については，修士論文計画書等や修士論文の提出期限を別途指定するので，履修登録前に必ず事前に指導教員に連絡を取り，相談すること

↓

M2（修士論文を提出する年度の）5 月上旬　　修士論文計画書提出

↓

【3 月修了希望者は秋学期履修登録期間中に修士論文登録を行う】

↓

M2（修士論文を提出する年度の）12 月上旬
修士論文タイトル（和英）（論文の正式なタイトル）提出

↓

【修士論文提出票兼採点票の配付を受ける（12 月上旬から学事局学事センターで配付）】

↓

M2（修士論文を提出する年度の）1 月下旬
修士論文提出期限（履修要綱該当ページ参照）までに提出票と論文本体を
学事センターに提出

↓

M2（修士論文を提出する年度の）2 月上旬　　論文要旨提出

↓

M2（修士論文を提出する年度の）2 月中旬　　論文審査，口述試験実施

【修士論文審査基準】

1）　研究対象に対して適切な方法論及び先行研究成果を踏まえていること。
2）　グローバルな諸現象の解明に貢献する水準に達していること。
3）　地域に立脚した視座を有し，且つ社会的・学術的な意義が認められること。
4）　論文構成が的確で，論理展開に整合性と一貫性があること。
5）　出典記載や引用が適切になされているなど，論文の体裁が整っていること（これについての詳細は「修士論文に関する地域研究専攻内規」を参照すること）。

2．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
＜（A）履修群：基礎科目＞			
地域研究方法論	2		
地域調査方法論	2		
生態人類学	2		
フィールドワーク1			1
フィールドワーク2			1
＜（B）履修群：地域研究専門科目＞			
東南アジア社会文化研究1			2
東南アジア社会文化研究2			2
東南アジア国際協力研究1			2
東南アジア国際協力研究2			2
東南アジア宗教文化研究1			2
東南アジア宗教文化研究2			2
東南アジア政治文化研究1			2
東南アジア政治文化研究2			2
東南アジア政治史研究1			2
東南アジア政治史研究2			2
南アジア社会政治研究1			2
南アジア社会政治研究2			2
南アジア社会開発研究1			2
南アジア社会開発研究2			2
中東社会文化研究1			2
中東社会文化研究2			2
中東政治史研究1			2
中東政治史研究2			2
中東文化研究1			2
中東文化研究2			2
中東社会開発研究1			2
中東社会開発研究2			2
中東政治社会研究1			2
中東政治社会研究2			2
ラテンアメリカ国際関係研究1			2
ラテンアメリカ国際関係研究2			2
ラテンアメリカ社会開発研究1			2
ラテンアメリカ社会開発研究2			2
ラテンアメリカ社会研究1			2
ラテンアメリカ社会研究2			2
ラテンアメリカ文化研究1			2
ラテンアメリカ文化研究2			2
ラテンアメリカ経済研究1			2
ラテンアメリカ経済研究2			2
ヨーロッパ文化研究1			2
ヨーロッパ文化研究2			2
ヨーロッパ政治文化研究1			2
ヨーロッパ政治文化研究2			2

科　目　名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数 必修	選必	選択
ヨーロッパ政治社会研究1			2
ヨーロッパ政治社会研究2			2
アフリカ政治研究1			2
アフリカ政治研究2			2
アフリカ政治社会研究1			2
アフリカ政治社会研究2			2
＜（C）履修群：地域間比較科目＞			
グローバル化の諸問題：政治と経済			2
グローバル化の諸問題：歴史と文化			2
国際関係研究：中東			2
国際協力基礎研究1			2
国際協力基礎研究2			2
国際開発協力研究：東南アジア（1）			2
国際開発協力研究：東南アジア（2）			2
国際開発協力研究：中東			2
国際開発協力研究：ラテンアメリカ			2
(他) 開発経済学研究1 ※注1			2
(他) 開発経済学研究2 ※注1			2
(他) 比較政治学研究1 ※注1			2
(他) 比較政治学研究2 ※注1			2
(他) 国際経済学研究1 ※注1			2
(他) 国際経済学研究2 ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究1 ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究2 ※注1			2
(他) ＜西洋史学＞中世演習Ⅰ ※注2			2
(他) ＜西洋史学＞中世演習Ⅱ ※注2			2
(他) ＜西洋史学＞近世演習Ⅰ ※注2			2
(他) ＜西洋史学＞近世演習Ⅱ ※注2			2
(他) ＜西洋史学＞近・現代演習Ⅰ ※注2			2
(他) ＜西洋史学＞近・現代演習Ⅱ ※注2			2

※注1：国際関係論専攻開講科目。
※注2：文学研究科史学専攻開講科目。

３．履修上の注意

1）前期課程の必修科目は，1．地域研究方法論，2．地域調査方法論，3．生態人類学の 3 科目で，この 3 科目は在学中（1，2 年次）に必ず選択し単位を修得しなければならない。できれば，入学年次に上記 3 科目中 2 科目まで履修しておくことが望ましい。

2）前期課程学生は，1年次入学とともに専攻主任と相談の上，なるべく早く修士論文の指導教員（本学地域研究専攻担当専任教員）を決定し，その指導教員の地域研究専門科目を指定年次において履修し，単位を修得しなくてはならない。

3）前期課程学生は，上記指導教員の地域研究専門科目を含めて，（B）履修群：地域研究専門科目（全科目重複履修可とする）から12単位以上を修得しなくてはならない。（B）履修群：地域研究専門科目は，履修する際，1年次・2年次でそれぞれ到達目標が異なるため，必ずシラバスで確認すること。

4）前期課程学生は，（C）履修群：地域間比較科目から6単位以上を修得しなくてはならない。

5）上記以外の科目の選択は自由だが，科目選択にあたっては指導教員，専攻主任と相談の上，決定することとする。

6）前期課程学生は，「研究指導」を在学中毎学期履修しなくてはならない。また，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数が 4 科目と定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

7）前期課程修了の条件は，上記１）～６）にしたがった上で，30単位以上の科目単位を修得し，定められた手続きにより修士論文を提出して，口述試験に合格することである。前期課程学生は，第1年次に20単位以上を修得することが望ましい。

8）前期課程において学生の研究上必要と認められるときは，国際連合大学サスティナビリティ高等研究所の講座を受講させ，4 単位まで必要単位として認定する。

9）その他，不明な点は，上智大学大学院学則，上智大学学位規程を熟読し，専攻主任と相談すること。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ＊：非常勤教員	外国語	備考
（A）履修群：基礎科目							
MFAS1010	春	地域研究方法論	ARS508-67j00	2	コ)根 本 敬		(A)輪講
MFAS1020	秋	地域調査方法論	ARS509-67j00	2	コ)幡 谷 則 子		(A)輪講
MFAS1030	春	生態人類学	ARS507-67j00	2	＊赤 嶺 淳		(A)
MFAS7995	春	フィールドワーク1	ARS503-67j00	1	眞城・赤堀・田中		
MFAS7996	秋	フィールドワーク2	ARS504-67j00	1	眞城・赤堀・田中		
※注：フィールドワークは，履修年次・履修の順序を問わないが，連続する２学期において履修することが望ましい。（1と2，2と1というように，どちらでも履修可とする）							
（B）履修群：地域研究専門科目							
MFAS7040	春	東南アジア社会文化研究1	ASA505-67j00	2	丸 井 雅 子		(B)博士後期課程「東南アジア社会文化研究（上級）1」と合併
MFAS7050	休講	東南アジア社会文化研究2	ASA506-67j00	2			(B) 博士後期課程「東南アジア社会文化研究（上級）2」と合併
MFAS7081	休講	東南アジア国際協力研究1	ASA503-67j00	2			(B) 博士後期課程「東南アジア国際協力研究（上級）1」と合併
MFAS7091	秋	東南アジア国際協力研究2	ASA504-67j00	2	福 武 慎太郎		(B) 博士後期課程「東南アジア国際協力研究（上級）2」と合併
MFAS7260	春	東南アジア宗教文化研究1	ASA507-67j00	2	久志本 裕 子		(B) 博士後期課程「東南アジア宗教文化研究（上級）1」と合併
MFAS7270	秋	東南アジア宗教文化研究2	ASA508-67j00	2	久志本 裕 子		(B) 博士後期課程「東南アジア宗教文化研究（上級）2」と合併
MFAS7200	休講	東南アジア政治文化研究1	ASA511-67j00	2			(B) 博士後期課程「東南アジア政治文化研究（上級）1」と合併
MFAS7210	休講	東南アジア政治文化研究2	ASA512-67j00	2			(B) 博士後期課程「東南アジア政治文化研究（上級）2」と合併
MFAS7240	春	東南アジア政治史研究1	ASA509-67j00	2	根 本 敬		(B) 博士後期課程「東南アジア政治史研究（上級）1」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MFAS7250	秋	東南アジア政治史研究2	ASA510-67j00	2	根本　敬		(B) 博士後期課程「東南アジア政治史研究（上級）2」と合併
MFAS7300	春	南アジア社会政治研究1	ASA515-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	(B) 博士後期課程「南アジア社会政治研究（上級）1」と合併
MFAS7310	秋	南アジア社会政治研究2	ASA516-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	(B) 博士後期課程「南アジア社会政治研究（上級）2」と合併
MFAS7320	春	南アジア社会開発研究1	ASA513-67j00	2	田中雅子		(B) 博士後期課程「南アジア社会開発研究（上級）1」と合併
MFAS7330	秋	南アジア社会開発研究2	ASA514-67j00	2	田中雅子		(B) 博士後期課程「南アジア社会開発研究（上級）2」と合併
MFAS7100	春	中東社会文化研究1	AME505-67j00	2	辻上奈美江		(B) 博士後期課程「中東社会文化研究（上級）1」と合併
MFAS7110	秋	中東社会文化研究2	AME506-67j00	2	辻上奈美江		(B) 博士後期課程「中東社会文化研究（上級）2」と合併
MFAS7360	休講	中東政治史研究1	AME507-67j00	2			(B) 博士後期課程「中東政治史研究（上級）1」と合併
MFAS7370	休講	中東政治史研究2	AME508-67j00	2			(B) 博士後期課程「中東政治史研究（上級）2」と合併
MFAS7400	春	中東文化研究1	AME511-67j00	2	赤堀雅幸		(B) 博士後期課程「中東文化研究（上級）1」と合併
MFAS7410	秋	中東文化研究2	AME512-67j00	2	赤堀雅幸		(B) 博士後期課程「中東文化研究（上級）2」と合併
MFAS7120	休講	中東社会開発研究1	AME503-67j00	2			(B) 博士後期課程「中東社会開発研究（上級）1」と合併
MFAS7130	休講	中東社会開発研究2	AME504-67j00	2			(B) 博士後期課程「中東社会開発研究（上級）2」と合併
MFAS7530	春	中東政治社会研究1	AME509-67j00	2	澤江史子		(B) 博士後期課程「中東政治社会研究（上級）1」と合併
MFAS7540	秋	中東政治社会研究2	AME510-67j00	2	澤江史子		(B) 博士後期課程「中東政治社会研究（上級）2」と合併
MFAS7490	春	ラテンアメリカ国際関係研究1	ALA503-67j00	2	子安昭子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ国際関係研究（上級）1」と合併
MFAS7500	秋	ラテンアメリカ国際関係研究2	ALA504-67j00	2	子安昭子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ国際関係研究（上級）2」と合併
MFAS7450	休講	ラテンアメリカ社会開発研究1	ALA505-67j00	2			(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会開発研究（上級）1」と合併
MFAS7460	休講	ラテンアメリカ社会開発研究2	ALA506-67j00	2			(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会開発研究（上級）2」と合併
MFAS7570	春	ラテンアメリカ社会研究1	ALA507-67j00	2	幡谷則子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会研究（上級）1」と合併
MFAS7580	秋	ラテンアメリカ社会研究2	ALA508-67j00	2	幡谷則子		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ社会研究（上級）2」と合併
MFAS7610	休講	ラテンアメリカ文化研究1	ALA509-67h00	2		○	(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ文化研究（上級）1」と合併
MFAS7620	休講	ラテンアメリカ文化研究2	ALA510-67h00	2		○	(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ文化研究（上級）2」と合併
MFAS7650	春	ラテンアメリカ経済研究1	ALA501-67j00	2	谷　洋之		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ経済研究（上級）1」と合併
MFAS7660	秋	ラテンアメリカ経済研究2	ALA502-67j00	2	谷　洋之		(B) 博士後期課程「ラテンアメリカ経済研究（上級）2」と合併
MFAS7940	春	ヨーロッパ文化研究1	AEU505-67j00	2	松原典子		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ文化研究（上級）1」と合併
MFAS7950	秋	ヨーロッパ文化研究2	AEU506-67j00	2	松原典子		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ文化研究（上級）2」と合併
MFAS7000	春	ヨーロッパ政治文化研究1	AEU503-67j00	2	高橋暁生		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治文化研究（上級）1」と合併
MFAS7010	秋	ヨーロッパ政治文化研究2	AEU504-67j00	2	高橋暁生		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治文化研究（上級）2」と合併
MFAS7020	春	ヨーロッパ政治社会研究1	AEU501-67j00	2	内村俊太		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治社会研究（上級）1」と合併
MFAS7030	秋	ヨーロッパ政治社会研究2	AEU502-67j00	2	内村俊太		(B) 博士後期課程「ヨーロッパ政治社会研究（上級）2」と合併
MFAS7980	春	アフリカ政治研究1	AAF501-67j00	2	矢澤達宏		(B) 博士後期課程「アフリカ政治研究（上級）1」と合併
MFAS7990	秋	アフリカ政治研究2	AAF502-67j00	2	矢澤達宏		(B) 博士後期課程「アフリカ政治研究（上級）2」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MFAS7993	春	アフリカ政治社会研究1	AAF503-67j00	2	眞　城　百　華		(B) 博士後期課程「アフリカ政治社会研究（上級）1」と合併
MFAS7994	秋	アフリカ政治社会研究2	AAF504-67j00	2	眞　城　百　華		(B) 博士後期課程「アフリカ政治社会研究（上級）2」と合併
（C）履修群：地域間比較科目							
MFAS7840	秋	グローバル化の諸問題：政治と経済	ARS501-67j00	2	コ)子 安　昭 子		(C)輪講
MFAS7850	春	グローバル化の諸問題：歴史と文化	ARS502-67j00	2	コ)丸 井　雅 子		(C)輪講
MFAS7440	秋	国際関係研究：中東	AME502-67j00	2	＊臼　杵　　陽		(C)
MFAS7710	休講	国際協力基礎研究1	ARS505-67j00	2			(C)
MFAS7720	休講	国際協力基礎研究2	ARS506-67j00	2			(C)
MFAS7740	休講	国際開発協力研究：東南アジア（1）	ASA501-67j00	2			(C)
MFAS7750	秋	国際開発協力研究：東南アジア（2）	ASA502-67j00	2	＊長　瀬　理　英		(C)
MFAS7760	秋	国際開発協力研究：中東	AME501-67j00	2	＊長　澤　榮　治		(C)
MFAS7770	秋	国際開発協力研究：ラテンアメリカ	ALA511-67j00	2	＊受　田　宏　之		(C)
その他							
MFAS9010	秋	修士論文	ARS699-67j00	0	地域研究専攻 各指導教員		
MFAS9020	春	修士論文	ARS699-67j00	0	地域研究専攻 各指導教員		

注１：備考欄の（A）（B）（C）は履修群を示す。
注２：担当教員名欄の コ）はコーディネータを示す。

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS599-67j00	赤　堀　雅　幸	
	岩　﨑　えり奈	
	内　村　俊　太	
	久志本　裕　子	
	子　安　昭　子	
	澤　江　史　子	
	高　橋　暁　生	
	田　中　雅　子	
	谷　　洋　之	
	田　村　梨　花	
	辻　上　奈美江	
	根　本　　敬	
	長谷川　ニ　ナ	
	幡　谷　則　子	
	福　武　慎太郎	
	眞　城　百　華	
	松　原　典　子	
	丸　井　雅　子	
	矢　澤　達　宏	
	AUGUSTINE Sali	

地域研究専攻　博士後期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
‣選択科目			
┗博士後期課程演習科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【17 年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
‣選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1）　自身の方法論を確立した上で，学術的独創性を備え且つ地域研究全体の学問分野の引き上げに貢献する水準に達していること。
2）　研究対象地域の言語を駆使した調査・研究に基づき，新たな知見によって社会的・学術的な意義が認められること。
3）　先行研究と自身の研究課題との関係が，学界での十分な議論を経て検討・吟味されており，出典記載や引用が適切になされていること。
4）　論文構成が的確で，論理展開に整合性と一貫性があること。
5）　論文の体裁が整っていること。
6）　地域研究に必要とされる，研究対象及び地域に対する研究活動規範即ちコンプライアンスが遵守されていること。

２．履修上の注意

1）後期課程学生の修了要件は，30単位以上の科目単位を修得し（博士前期課程において修得した単位を含む），博士論文提出資格試験に合格，博士論文計画書の受理を経た上で，定められた手続きにより博士論文を提出し，審査および試験に合格することである。

2）後期課程学生（2018 年次生以降）は，指導教員の博士後期課程演習科目を含めて，博士後期課程演習科目から6単位以上を修得しなくてはならない。

3）後期課程学生は，在学期間中の 6 学期間，指導教員担当の研究指導を履修しなくてはならない。ただし，大学院学則第 4 章第21条の 2 の規程に基づき，在学期間の短縮を認められた者に関しては，短縮された在学期間中，指導教員の研究指導を履修すればよいものとする。

4）その他，不明な点は，上智大学大学院学則，上智大学学位規程を熟読し，専攻主任と相談すること。

地域研究専攻　博士後期課程における研究指導について

書式や提出期限詳細は専攻ハンドブックを参照のこと

Loyola に掲出する通知で提出期限を再確認し，書式をダウンロードして提出すること

D2 以上（受験資格は原則として博士後期課程に 1 年以上在籍していること）
受験の 6 か月以上前に(受験年度前年の 11 月末日あるいは受験年度の 5 月末日までに)
＊受験時期により提出期限が異なる＊
博士論文提出資格試験受験申請書（課題論文と口述試験・外国語試験）提出

↓

博士論文提出資格試験論文課題（地域・学問分野）提示後 1 ヶ月以内に
2 科目の課題論文（地域・学問分野）提出

↓

博士論文提出資格試験（課題論文と口述試験・外国語試験）実施
＊原則として 5 月と 11 月の年 2 回実施し，不合格者の再受験は 1 回だけ認める

↓

博士論文提出資格試験合格後半年以内に
博士論文計画書提出
博士論文計画書提出に前後して，専攻主催の博士論文計画セミナーを開催し，
研究計画を発表
＊3 月，8 月，9 月は教員・学生の多くが不在のため，この時期の開催は避ける

↓

＊博士論文計画書を受理すると判定された者は博士論文を提出することができる＊

↓

博士の学位授与を申請しようとする者は，博士学位申請の手続きに入る半年前＊に
学位論文を指導教員に提出し，事前審査を受ける
＊学位授与希望日の 1 年前

↓

博士の学位授与を申請しようとする者は，課程を修了する年度の 9 月末日以前に
博士学位申請の手続きを完了する
＊学位規程第 5 条による学位申請の場合，その期限は原則として毎年 3 月末
および 9 月末とする

↓

博士論文審査委員会の開催（2 回以上），公開試験実施

３．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
東南アジア社会文化研究（上級）1			2
東南アジア社会文化研究（上級）2			2
東南アジア国際協力研究（上級）1			2
東南アジア国際協力研究（上級）2			2
東南アジア宗教文化研究（上級）1			2
東南アジア宗教文化研究（上級）2			2
東南アジア政治文化研究（上級）1			2
東南アジア政治文化研究（上級）2			2
東南アジア政治史研究（上級）1			2
東南アジア政治史研究（上級）2			2
南アジア社会政治研究（上級）1			2
南アジア社会政治研究（上級）2			2
南アジア社会開発研究（上級）1			2
南アジア社会開発研究（上級）2			2
中東社会文化研究（上級）1			2
中東社会文化研究（上級）2			2
中東政治史研究（上級）1			2
中東政治史研究（上級）2			2
中東文化研究（上級）1			2
中東文化研究（上級）2			2
中東社会開発研究（上級）1			2
中東社会開発研究（上級）2			2
中東政治社会研究（上級）1			2
中東政治社会研究（上級）2			2
ラテンアメリカ国際関係研究(上級)1			2
ラテンアメリカ国際関係研究(上級)2			2
ラテンアメリカ社会開発研究(上級)1			2
ラテンアメリカ社会開発研究(上級)2			2
ラテンアメリカ社会研究（上級）1			2
ラテンアメリカ社会研究（上級）2			2
ラテンアメリカ文化研究（上級）1			2
ラテンアメリカ文化研究（上級）2			2
ラテンアメリカ経済研究（上級）1			2
ラテンアメリカ経済研究（上級）2			2
ヨーロッパ文化研究（上級）1			2
ヨーロッパ文化研究（上級）2			2
ヨーロッパ政治文化研究（上級）1			2
ヨーロッパ政治文化研究（上級）2			2

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
ヨーロッパ政治社会研究（上級）1			2
ヨーロッパ政治社会研究（上級）2			2
アフリカ政治研究（上級）1			2
アフリカ政治研究（上級）2			2
アフリカ政治社会研究（上級）1			2
アフリカ政治社会研究（上級）2			2

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ＊：非常勤教員	外国語	備考
博士後期課程演習科目							
DFAS7000	春	東南アジア社会文化研究（上級）1	ASA805-67j00	2	丸　井　雅　子		博士前期課程「東南アジア社会文化研究1」と合併
DFAS7010	休講	東南アジア社会文化研究（上級）2	ASA806-67j00	2			博士前期課程「東南アジア社会文化研究2」と合併
DFAS7020	休講	東南アジア国際協力研究（上級）1	ASA807-67j00	2			博士前期課程「東南アジア国際協力研究1」と合併
DFAS7030	秋	東南アジア国際協力研究（上級）2	ASA808-67j00	2	福　武　慎太郎		博士前期課程「東南アジア国際協力研究2」と合併
DFAS7460	春	東南アジア宗教文化研究（上級）1	ASA809-67j00	2	久志本　裕　子		博士前期課程「東南アジア宗教文化研究1」と合併
DFAS7470	秋	東南アジア宗教文化研究（上級）2	ASA810-67j00	2	久志本　裕　子		博士前期課程「東南アジア宗教文化研究2」と合併
DFAS7060	休講	東南アジア政治文化研究（上級）1	ASA811-67j00	2			博士前期課程「東南アジア政治文化研究1」と合併
DFAS7070	休講	東南アジア政治文化研究（上級）2	ASA812-67j00	2			博士前期課程「東南アジア政治文化研究2」と合併
DFAS7080	春	東南アジア政治史研究（上級）1	ASA813-67j00	2	根　本　　敬		博士前期課程「東南アジア政治史研究1」と合併
DFAS7090	秋	東南アジア政治史研究（上級）2	ASA814-67j00	2	根　本　　敬		博士前期課程「東南アジア政治史研究2」と合併
DFAS7420	春	南アジア社会政治研究（上級）1	ASA801-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	博士前期課程「南アジア社会政治研究1」と合併
DFAS7430	秋	南アジア社会政治研究（上級）2	ASA802-67e00	2	AUGUSTINE Sali	○	博士前期課程「南アジア社会政治研究2」と合併
DFAS7440	春	南アジア社会開発研究（上級）1	ASA803-67j00	2	田　中　雅　子		博士前期課程「南アジア社会開発研究1」と合併
DFAS7450	秋	南アジア社会開発研究（上級）2	ASA804-67j00	2	田　中　雅　子		博士前期課程「南アジア社会開発研究2」と合併
DFAS7120	春	中東社会文化研究（上級）1	AME803-67j00	2	辻　上　奈美江		博士前期課程「中東社会文化研究1」と合併
DFAS7130	秋	中東社会文化研究（上級）2	AME804-67j00	2	辻　上　奈美江		博士前期課程「中東社会文化研究2」と合併
DFAS7140	休講	中東政治史研究（上級）1	AME805-67j00	2			博士前期課程「中東政治史研究1」と合併
DFAS7150	休講	中東政治史研究（上級）2	AME806-67j00	2			博士前期課程「中東政治史研究2」と合併
DFAS7160	春	中東文化研究（上級）1	AME807-67j00	2	赤　堀　雅　幸		博士前期課程「中東文化研究1」と合併
DFAS7170	秋	中東文化研究（上級）2	AME808-67j00	2	赤　堀　雅　幸		博士前期課程「中東文化研究2」と合併
DFAS7180	休講	中東社会開発研究（上級）1	AME801-67j00	2			博士前期課程「中東社会開発研究1」と合併
DFAS7190	休講	中東社会開発研究（上級）2	AME802-67j00	2			博士前期課程「中東社会開発研究2」と合併
DFAS7200	春	中東政治社会研究（上級）1	AME809-67j00	2	澤　江　史　子		博士前期課程「中東政治社会研究1」と合併
DFAS7210	秋	中東政治社会研究（上級）2	AME810-67j00	2	澤　江　史　子		博士前期課程「中東政治社会研究2」と合併
DFAS7220	春	ラテンアメリカ国際関係研究（上級）1	ALA803-67j00	2	子　安　昭　子		博士前期課程「ラテンアメリカ国際関係研究1」と合併
DFAS7230	秋	ラテンアメリカ国際関係研究（上級）2	ALA804-67j00	2	子　安　昭　子		博士前期課程「ラテンアメリカ国際関係研究2」と合併
DFAS7240	休講	ラテンアメリカ社会開発研究（上級）1	ALA801-67j00	2			博士前期課程「ラテンアメリカ社会開発研究1」と合併
DFAS7250	休講	ラテンアメリカ社会開発研究（上級）2	ALA802-67j00	2			博士前期課程「ラテンアメリカ社会開発研究2」と合併
DFAS7260	春	ラテンアメリカ社会研究（上級）1	ALA805-67j00	2	幡　谷　則　子		博士前期課程「ラテンアメリカ社会研究1」と合併
DFAS7270	秋	ラテンアメリカ社会研究（上級）2	ALA806-67j00	2	幡　谷　則　子		博士前期課程「ラテンアメリカ社会研究2」と合併
DFAS7280	休講	ラテンアメリカ文化研究（上級）1	ALA807-67h00	2		○	博士前期課程「ラテンアメリカ文化研究1」と合併
DFAS7290	休講	ラテンアメリカ文化研究（上級）2	ALA808-67h00	2		○	博士前期課程「ラテンアメリカ文化研究2」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DFAS7300	春	ラテンアメリカ経済研究（上級）1	ALA809-67j00	2	谷　洋之		博士前期課程「ラテンアメリカ経済研究1」と合併
DFAS7310	秋	ラテンアメリカ経済研究（上級）2	ALA810-67j00	2	谷　洋之		博士前期課程「ラテンアメリカ経済研究2」と合併
DFAS7320	春	ヨーロッパ文化研究（上級）1	AEU801-67j00	2	松原典子		博士前期課程「ヨーロッパ文化研究1」と合併
DFAS7330	秋	ヨーロッパ文化研究（上級）2	AEU802-67j00	2	松原典子		博士前期課程「ヨーロッパ文化研究2」と合併
DFAS7340	春	ヨーロッパ政治文化研究（上級）1	AEU803-67j00	2	高橋暁生		博士前期課程「ヨーロッパ政治文化研究1」と合併
DFAS7350	秋	ヨーロッパ政治文化研究（上級）2	AEU804-67j00	2	高橋暁生		博士前期課程「ヨーロッパ政治文化研究2」と合併
DFAS7360	春	ヨーロッパ政治社会研究（上級）1	AEU805-67j00	2	内村俊太		博士前期課程「ヨーロッパ政治社会研究1」と合併
DFAS7370	秋	ヨーロッパ政治社会研究（上級）2	AEU806-67j00	2	内村俊太		博士前期課程「ヨーロッパ政治社会研究2」と合併
DFAS7380	春	アフリカ政治研究（上級）1	AAF801-67j00	2	矢澤達宏		博士前期課程「アフリカ政治研究1」と合併
DFAS7390	秋	アフリカ政治研究（上級）2	AAF802-67j00	2	矢澤達宏		博士前期課程「アフリカ政治研究2」と合併
DFAS7400	春	アフリカ政治社会研究（上級）1	AAF803-67j00	2	眞城百華		博士前期課程「アフリカ政治社会研究1」と合併
DFAS7410	秋	アフリカ政治社会研究（上級）2	AAF804-67j00	2	眞城百華		博士前期課程「アフリカ政治社会研究2」と合併

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS899-67j00	赤堀雅幸	
	岩﨑えり奈	
	内村俊太	
	久志本裕子	
	子安昭子	
	澤江史子	
	高橋暁生	
	田中雅子	
	谷　洋之	
	田村梨花	
	辻上奈美江	
	根本　敬	
	長谷川ニナ	
	幡谷則子	
	福武慎太郎	
	眞城百華	
	松原典子	
	丸井雅子	
	矢澤達宏	
	AUGUSTINE Sali	

理 工 学 研 究 科

理工学専攻

１．理工学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と，人間社会や地球環境に与える影響を総合的に捉える学際性とを併せ持つ，特色ある研究科を目指す。前期課程では学部教育との一貫性に配慮しながら，複合知と専門性を兼ね備えた知的能力を持ち，人間社会に貢献できる知的人材を育成する。後期課程では各専門分野で自立して研究を遂行できる研究者の養成を目的とする。

２．各専攻のディプロマ・ポリシー

理工学専攻

【博士前期課程】

本課程では，現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と，人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性をもち，人間社会に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより，技術が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 理工学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに，新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本課程では，現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と，人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性をもち，各専門分野で自立して研究・開発を遂行できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより，技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 理工学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに，人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

機械工学領域

【博士前期課程】

本領域では，機械工学および関連分野の発展に寄与し，専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより，技術が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 機械工学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに，新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では，機械工学における高度な専門性を身に着け，人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち，自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより，技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 機械工学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに，人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

電気・電子工学領域

【博士前期課程】

本領域では，電気・電子工学および関連分野の発展に寄与し，専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより，技術が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 電気・電子工学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに，新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では，電気・電子工学における高度な専門性を身に着け，人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち，自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより，技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 電気・電子工学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに，人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

応用化学領域

【博士前期課程】

本領域では，応用化学および関連分野の発展に寄与し，専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより修得される，化学技術や化学物質が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 応用化学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識，及び，持続可能な人類の発展に資する新しい化学製品・化学技術の開発や新しい化学工業分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では，応用化学における高度な専門性を身につけ，人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち，自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，関連する学際分野なども含め広範に学ぶことによって修得される，化学技術が人

間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力

2. 応用化学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識，及び，持続可能な人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

化学領域

【博士前期課程】

本領域では，化学および関連分野の発展に寄与し，専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより修得される，基礎科学が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 化学および伝統的学問体系に応じた関連分野（物理化学，無機化学，分析化学，有機化学，環境科学）において最先端で活躍できる専門知識，真理の探究および人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では，化学における高度な専門性を身に着け，人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち，自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，関連する学際分野なども含め広範に学ぶことによって修得される，自然科学における基礎科学が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 化学および伝統的学問体系に応じた関連分野（物理化学，無機化学，分析化学，有機化学，環境科学）において最先端で自立的に活躍できる専門知識，真理の探究および人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

数学領域

【博士前期課程】

本領域では，数学の発展とその応用に寄与し，その専門知識を社会や次世代に伝えることで人間社会の発展に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 数学の基礎知識に加え，それ以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより，数学の基礎およびその社会への応用について多面的にとらえる力
2. 数学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに，真理の探究・理論の発展およびそれを広く社会や次世代に伝えることのできる力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では，数学の発展とその応用に寄与する高度な専門性を身につけ，社会や次世代に伝えるとともに，その及ぼす影響を総合的にとらえる学際性を持ち，自立して研究を遂行できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより，数学とその応用が社会に及ぼす影響を多面的にとらえる力
2. 数学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけて創造的な研究を行うとともに，それを広く社会や次世代に伝えて人類の発展や幸福に寄与できる力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

物理学領域

【博士前期課程】

本領域では，物理学および関連分野の発展に寄与し，専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより，科学が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 物理学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに，新分野の開拓や新技術の開発をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では，物理学における高度な専門性を身に着け，人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち，自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより，科学が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 物理学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに，人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

生物科学領域

【博士前期課程】

本領域では，多彩な生物現象を広く理解し，生物科学の進歩に寄与する専門性と，学際的研究分野への応用可能な知識を持ち，人間社会に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 学際分野も含めた自分の専門分野以外の自然科学分野，あるいは生命倫理などの問題を広範に学ぶことにより，人間社会への貢献や生物環境の保全などを多面的にとらえる力
2. 大学院生はさまざまな研究技術を修得し，専門分野を深く掘り下げるとともに，多様な講義を受けることにより，生命という未知の分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では，生物科学における高度な研究能力と幅広く応用可能な専門知識を兼ね備え，生物科学の基礎研究を力強く推進できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，他の自然科学分野あるいは生命倫理などの学際分野も含め広範に学ぶことにより，バランスのとれた知識
2. 自分の研究分野において自立的に活躍できる最先端の専門知識を身につけるとともに，生命科学の発展に寄与する創造的な研究を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

情報学領域

【博士前期課程】

本領域では，情報学および関連分野の発展に寄与し，専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより，技術が

人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力

2. 情報学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに，新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力

【博士後期課程】

本領域では，情報学における高度な専門性を身に着け，人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち，自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより，技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 情報学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに，人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの英語力

グリーンサイエンス・エンジニアリング領域

【博士前期課程】

本領域では，地球環境科学，工学および関連分野の発展に寄与し，専門知識を用いて人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野以外の自然科学分野あるいは社会科学分野との学際分野も含め広範に学ぶことにより，技術が人間社会や地球環境に与える影響などを多面的にとらえる力
2. 地球環境科学，工学および関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに，新技術の開発や新分野の開拓をできる力
3. グローバル化の進展に対応するため，社会で活躍できるレベルの英語力と地域及び社会とのつながりを理解する能力

【博士後期課程】

本領域では，地球環境科学，工学における高度な専門性を身に着け，人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち，自立して研究開発を遂行できる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 自分の専門分野だけでなく，関連する学際分野なども含め広範に学ぶことにより，技術が人間社会や地球環境に与える影響を多面的にとらえる力
2. 地球環境科学，工学および関連分野において最先端で自立的に活躍できる専門知識を身につけるとともに，人類の発展や幸福に寄与する創造的な研究開発を行う力
3. グローバル化の進展の先頭に立ち，国際社会にて独立して活躍できるレベルの研究力とコミュニケーションスキル

３．各専攻のカリキュラム・ポリシー

理工学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，伝統的学問体系に応じた「領域」ごとのカリキュラム体制をとり，学部教育との一貫性にも配慮しながら，複合知を兼ね備えた専門能力を養成するよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 自領域以外の領域，および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 自領域が提供する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。
   また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，研究成果の英語発表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上させる。
4. 「領域」として，次の 9 領域を設けている。機械工学領域，電気・電子工学領域，応用化学領域，化学領域，数学領域，物理学領域，生物科学領域，情報学領域，グリーンサイエンス・エンジニアリング領域。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，指導教員による日々の研究指導に加えて，週 1 回以上の専門分野に関する英語の輪講・演習を設け，国際的に活躍できる高度な専門能力を養成するよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 各領域における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。
2. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
3. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
4. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，こられにより英語力を積極的に向上させる。
5. 「領域」として，次の 9 領域を設け，専門性にも配慮したカリキュラム構成としている。機械工学領域，電気・電子工学領域，応用化学領域，化学領域，数学領域，物理学領域，生物科学領域，情報学領域，グリーンサイエンス・エンジニアリング領域。

機械工学領域

【博士前期課程】

機械工学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため，機械工学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 機械工学領域以外の領域，および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 機械工学領域が提供する材料力学，機械力学，熱工学，流体工学，精密工学，制御工学，材料科学，物理学，数学などに関する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。また，それらを基礎とした特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，研究成果の英語発表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上

させる。

【博士後期課程】

機械工学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらにより英語力を積極的に向上させる。

電気・電子工学領域

【博士前期課程】

電気・電子工学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため，電気・電子工学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 電気・電子工学領域以外の領域，および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 電気・電子工学領域が提供する半導体，電力，情報通信などに関する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。
   また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，研究成果の英語発表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上させる。

【博士後期課程】

電気・電子工学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらにより英語力を積極的に向上させる。

応用化学領域

【博士前期課程】

応用化学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため，応用化学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 応用化学領域以外の領域，および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 応用化学領域が提供する有機合成化学，高分子化学，無機工業化学，工業物理化学および環境化学工学などに関する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。
   また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，研究成果の英語発表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上

させる。

【博士後期課程】

応用化学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらにより英語力を積極的に向上させる。

化学領域

【博士前期課程】

化学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため，化学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 化学領域以外の領域，および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 化学領域が提供する物理化学，無機化学，分析化学，有機化学，錯体化学，環境科学などに関する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。
   また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，研究成果の英語発表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上させる。

【博士後期課程】

化学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらにより英語力を積極的に向上させる。

数学領域

【博士前期課程】

高度に発展した数学の理解と新たな真理の探究のため，体系的に専門的知識を学び，自ら思考して新しい数学的知見を創造し，数学の研究とは何かを学ぶとともに，それを広く社会や次世代に伝えて人間社会の発展に貢献できる力を涵養するため，数学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 数学領域の科目の受講を通じて基礎的知識を得るとともに，他領域および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野についても広く知識を得させる。
2. 数学領域が提供する解析学・代数学・幾何学・数理統計などに関する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，英語文献の講読，英語による学術講演の聴講，研究成果の英語発

表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上させる。

【博士後期課程】

数学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野を中心に数学の基礎的な学術論文や解説書などを精読することに加え，学際分野を含むその他の分野との関連・応用についても広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらにより英語力を積極的に向上させる。

物理学領域

【博士前期課程】

物理学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため，物理学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 物理学領域以外の領域，および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 物理学領域が提供する物性物理，光物性，原子・分子などに関する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。
   また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，研究成果の英語発表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上させる。

【博士後期課程】

物理学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらにより英語力を積極的に向上させる。

生物科学領域

【博士前期課程】

生物科学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や生物環境の保全に貢献できる力を滋養するため，生物科学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 理工共通領域の科目，および生物科学領域以外の専門領域の科目を受講することにより，自然科学一般の基礎知識を得させる。
2. 生物科学領域が提供する分子，細胞，個体レベルの科目を受講し，生命に関する最先端の専門知識を得させる。
   また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，英語論文の熟読や輪読などにより，英語力を向上させる。

【博士後期課程】

生物科学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる能力を得るため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野に精通するだけでなく，学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，生命科学の分野において広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して精力的に研究を遂行し，研究の技術の修得，論文の掲載などを行ない，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行う。これらにより英語力を積極的に向上させる。

情報学領域

【博士前期課程】

情報学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため，情報学領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. 情報学領域以外の領域，および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. 情報学領域が提供する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 科学技術英語や英語で行われる科目の受講，研究成果の英語発表，英語論文の執筆などにより，英語力を向上させる。

【博士後期課程】

情報学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 自分の専門分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
2. 自分の専門分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらにより英語力を積極的に向上させる。

グリーンサイエンス・エンジニアリング領域

【博士前期課程】

地球環境科学，工学および関連分野の発展に寄与し，人間社会の発展や地球環境の保全に貢献できる力を涵養するため，グリーンサイエンス，グリーンエンジニアリング領域や他領域の科目を受講し，研究指導を受けさせる。

1. グリーンサイエンス，グリーンエンジニアリング領域以外の領域，および理工共通領域の科目を受講することにより，自分の専門領域以外の分野について広く知識を得させる。
2. グリーンサイエンス，グリーンエンジニアリング領域が提供する科目を受講し，これらについて専門知識を得させる。

   また，特定のテーマについて研究を行い，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学ばせる。
3. 受講する授業はすべて英語で行われ，研究成果の発表，論文の執筆などにより，科学における英語力を向上させる。

【博士後期課程】

地球環境科学，工学における高度な専門性と関連分野の広範な知識を有し，自立して研究開発を遂行できる力を涵養するため，演習を受講し研究指導を受けさせる。

1. 地球環境科学，工学分野以外の学際分野などの学術論文や解説書などを精読することにより，これらの分野について広く知識を得させる。
2. 地球環境科学，工学分野において教員の研究指導を受けながら集中して研究を遂行し，このテーマと周辺について深い専門知識を得るとともに，研究の進め方，まとめ方，研究倫理などを学び，研究の集大成として博士論文を提出させる。
3. 得られた研究成果を国内外にて英語で発表し，また英語論文を執筆投稿し，必要に応じて海外の研究機関にて研究を行い，これらによりコミュニケーションスキルを積極的に向上させる。

理工学研究科の履修登録について

理工学研究科では学生が各分野から幅広く知識を吸収するように，各領域の科目を履修出来るようになっています。また大学院が高度な専門教育・研究の場である事を考慮し，機械工学領域，電気・電子工学領域，応用化学領域，化学領域，数学領域，物理学領域，生物科学領域，情報学領域，グリーンサイエンス・エンジニアリング領域（英語コース・2013年秋開設）の9領域よりなる1専攻として専門性にも配慮しています。

卒業研究で行ったテーマを大学院でも引き続き研究できるようになっていますし，新しい分野を開拓したい学生は新しい指導教員のもとで研究を開始することも可能になっています。

指導教員の指導のもとに履修計画を立ててから登録してください。毎年度，領域で定める「研究計画書」を指導教員の指導のもとに作成し，提出してください。書式・提出期限等は各領域の指導に従ってください。

理工学研究科学生の法文系科目の履修について

指導教員が教育研究上有益と認めた場合，他研究科の授業科目を8単位まで修得し，これを所定の単位に算入できることは，大学院学則に示されていて，この中には法文系の科目（キリスト教的世界観に関する科目を含む）も入っています。それは，最近の科学・技術の急速な発達が，人間生活の広い面で大きな影響を及ぼすことになったため，科学・技術者としても，その専門にとどまらず，広い関心と知識を持つべきであるという観点からです。

入学年次による授業科目の編成・単位の違いについて

入学年次により，修了に要する科目，単位数の要件が異なります。

自分の対象の年次・項目をよく確認すること。

理工学専攻　博士前期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		※注
‣選択必修科目	2		
┗大学院演習ＩＡ	1		
┗大学院演習ＩＢ	1		
┗大学院演習ⅡＡ	1		
┗大学院演習ⅡＢ	1		
‣選択科目	28		
┗自研究科自領域科目	18		※注
┗自研究科他領域科目	4		理工基本領域を除く，理工共通領域は含む
┗自研究科全領域	6		理工基本領域と理工共通領域を含む全ての領域
┗委託聴講科目			※注　（領域毎に取扱が異なる）
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けたうえ，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		※注
‣選択必修科目	2		
┗大学院演習ＩＡ	1		
┗大学院演習ＩＢ	1		
┗大学院演習ⅡＡ	1		
┗大学院演習ⅡＢ	1		
‣選択科目	28		
┗自研究科自領域科目	18		※注
┗自研究科他領域科目	4		理工基本領域を除く，理工共通領域は含む
┗自研究科全領域	6		理工基本領域と理工共通領域を含む全ての領域
┗委託聴講科目			※注　（領域毎に取扱が異なる）
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けたうえ，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

※注　「履修上の注意」を参照のこと。（p. 304）

【修士論文審査基準】

1）　審査は，提出された論文について行い，申請者が専攻分野における研究能力を有するか否かについて考査する。
2）　審査に当たっては，論文の内容及び構成・表現に留意する。特に，先行研究が十分に参照され明記されているか，引用が正確になされているか，データが適切に処理されているかを考査する。

3） 試験は，論文を中心として広く関連した科目について口述によって行い，申請者が広い視野に立って精深な学識を修めたか否かについて考査する。
4） 外国語については１か国語を課し，筆記試験を課すことができる。ただし，申請者が学位を受けるにふさわしい外国語の能力を備えていると認定された場合は，外国語の試験の一部又は全部を免除することができる。免除の基準は，所属する領域に確認すること。

２．授業科目の編成・単位

＜理工基本領域＞

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
大学院演習ⅠA		1	
大学院演習ⅠB		1	
大学院演習ⅡA		1	
大学院演習ⅡB		1	

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
科学技術英語A ※注1			2
科学技術英語B			2

※注１　2014年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2015年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2014年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
科学技術英語A　(2)	科学技術英語Ⅱ（1）　(2)

＜理工共通領域＞

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
物理学序論			2
経済数学特論Ⅰ			2
経済数学特論Ⅱ			2

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
ADVANCED DIGITAL TOOLS AND CONCEPTS FOR TEACHING AND LEARNING			2
ADVANCED CLASS ACTIVITY DESIGN			2
（他）エネルギーと環境 ※注1			2

※注１　地球環境研究科開講科目だが，自研究科科目扱いとなる。詳細はp. 353～を参照。

＜機械工学領域＞

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
材料力学特論			2
構造力学特論			2
固体力学特論			2
機械力学特論			2
マルチボディ・ダイナミクス			2
熱エネルギー変換工学特論			2
環境材料学			2
伝熱工学特論			2
流体工学特論A			2
流体工学特論B			2
流体エネルギー変換工学特論			2
機械工学応用			2

科目名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
精密加工学特論			2
計測工学特論			2
制御工学特論A			2
制御工学特論B			2
アドバンスト制御			2
材料工学特論			2
機械設計法特論			2
燃焼工学特論			2
機械工学ゼミナールⅠA			2
機械工学ゼミナールⅠB			2
機械工学ゼミナールⅡA			2
機械工学ゼミナールⅡB			2

＜電気・電子工学領域＞

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
通信用光回路工学			2
光導波工学			2
量子物性工学			2
電気エネルギー管理と制御			2
超伝導工学			2
電気エネルギー工学特論			2
集積回路工学			2
光デバイス工学			2
光伝送工学			2
先端電子デバイス工学			2
医用光工学			2
ワイヤレス通信工学			2

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
情報工学Ⅰ			2
情報工学Ⅱ			2
半導体デバイス工学			2
先端超伝導応用			2
電力ネットワーク工学			2
センサネットワーク特論			2
情報ネットワーク特論　※注1			2
情報理論特論　※注1			2
電気・電子工学ゼミナールⅠA			2
電気・電子工学ゼミナールⅠB			2
電気・電子工学ゼミナールⅡA			2
電気・電子工学ゼミナールⅡB			2

※注１　情報学領域開講科目だが，電気・電子工学領域の自領域扱いとなる。詳細はp. 324～を参照。

＜応用化学領域＞

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
有機合成化学特論（立体選択的合成）			2
高分子合成特論			2
応用化学特論			2
電離気体反応論			2
環境化学特論			2
高分子解析特論			2
無機製造工学特論　※注2			2
工業材料化学特論			2

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
有機合成化学特論（機器構造解析）　※注1			2
高分子物性特論			2
有機金属化学特論			2
電磁波化学特論			2
応用化学ゼミナールⅠA			2
応用化学ゼミナールⅠB			2
応用化学ゼミナールⅡA			2
応用化学ゼミナールⅡB			2

※注1　2016年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2017年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2016年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
有機合成化学特論（機器構造解析）　(2)	有機合成化学特論（触媒有機合成）(2)

※注２　グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目（重複履修不可）

応用化学領域科目名　※（　）内は単位数	ｸﾞﾘｰﾝｻｲｴﾝｽ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ領域科目名　※（　）内は単位数
無機製造工学特論　(2)	Advanced Materials　(2)

＜化学領域＞

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
物理化学特論（構造化学）			2
物理化学特論（理論化学）　※注2			2
物理化学特論（環境科学）　※注1			2
分析化学特論（電気化学分析）			2
有機化学特論（医薬品設計・合成化学）			2
無機化学特論（地球化学）			2
有機化学特論（有機化学演習）			2
分析化学特論（超分子化学）　※注2			2

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
分析化学特論（先端分析化学）			2
無機化学特論（無機反応化学）			2
無機化学特論（錯体化学）			2
有機化学特論（天然物化学）			2
化学ゼミナールＩＡ			2
化学ゼミナールＩＢ			2
化学ゼミナールⅡＡ			2
化学ゼミナールⅡＢ			2

※注１　2015 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2016年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2015年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
物理化学特論（環境科学）　(2)	物理化学特論（環境科学Ａ）　(2)

※注２　グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目（重複履修不可）

化学領域科目名　※（　）内は単位数	ｸﾞﾘｰﾝｻｲｴﾝｽ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ領域科目名　※（　）内は単位数
物理化学特論（理論化学）　(2)	Theoretical Chemistry　(2)（～2018）
分析化学特論（超分子化学）　(2)	Environmental Analytical Chemistry (2)

＜数学領域＞

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
代数学特論Ⅰ			2
代数学特論Ⅱ			2
代数学特論Ⅲ			2
代数学特論Ⅳ			2
幾何学特論Ⅰ			2
幾何学特論Ⅱ			2
幾何学特論Ⅲ			2
幾何学特論Ⅳ			2
解析学特論Ⅰ			2

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
解析学特論Ⅱ			2
解析学特論Ⅲ			2
解析学特論Ⅳ			2
計算数学特論			2
数学ゼミナールＩＡ			2
数学ゼミナールＩＢ			2
数学ゼミナールⅡＡ			2
数学ゼミナールⅡＢ			2

＜物理学領域＞

科　目　名	単位数 必修	単位数 選択
光物性		2
物性物理Ａ		2
物性物理Ｂ		2
物性物理Ｃ		2
量子多体問題		2
デバイスの物理　※注3		2
低温物性		2
実験物理特論Ａ		2
実験物理特論Ｂ		2
原子分子分光特論　※注1		2
原子衝突物理特論　※注1		2

科　目　名	単位数 必修	単位数 選択
放射光原子分子科学　※注2		2
物理汎論Ａ		2
物理汎論Ｂ		2
物理汎論Ｃ		2
相転移の物理　※注4		2
理論物理特論　※注4		2
原子過程科学		2
物理学ゼミナールⅠＡ		2
物理学ゼミナールⅠＢ		2
物理学ゼミナールⅡＡ		2
物理学ゼミナールⅡＢ		2

※注１　2017 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2018年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2017年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
原子分子分光特論　(2)	原子・分子A　(2)
原子衝突物理特論　(2)	原子・分子B　(2)

※注２　2016 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2017年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2016年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
放射光原子分子科学　(2)	放射光科学　(2)

※注３　2015 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2016年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2015年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
デバイスの物理　(2)	ナノスケールの物理　(2)

※注4　2014年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2015年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2014年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
相転移の物理　(2)	計算物理　(2)
理論物理特論　(2)	理論物理特論Ａ　(2)

＜生物科学領域＞

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
分子進化学特論			2
生体運動特論			2
細胞神経科学特論			2
環境適応の生物学			2
細胞内情報伝達論			2
植物分子応答学特論			2
脳生理学特論			2
神経発生学特論			2
発生生物学特論			2
バイオインフォマティクス			2
ゲノム細胞生物学			2

科　目　名	単位数 必修	単位数 選必	単位数 選択
創薬インフォマティクス			2
環境分子生物学特論			2
植物機能科学特論			2
生物物理特論			2
海洋生物学特論			2
微生物生態学特論			2
生物科学ゼミナールⅠＡ			2
生物科学ゼミナールⅠＢ			2
生物科学ゼミナールⅡＡ			2
生物科学ゼミナールⅡＢ			2

＜情報学領域＞

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
システム工学特論			2
シミュレーション工学特論			2
数理最適化特論			2
経営情報分析特論			2
ソフトウェア特論			2
教育情報工学特論			2
音声・音響・聴覚情報処理			2
コンピュータグラフィックスとバーチャル・リアリティ			2
医用画像工学			2
センシングシステム工学			2
脳ネットワーク特論			2
人工知能特論			2
パターン認識特論			2

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
マシンインテリジェンス			2
情報理論特論			2
情報科学特論			2
情報ネットワーク特論			2
ワイヤレス通信工学　※注1			2
センサネットワーク特論　※注1			2
データサイエンス特論			2
情報学ゼミナールⅠA			2
情報学ゼミナールⅠB			2
情報学ゼミナールⅡA			2
情報学ゼミナールⅡB			2

※注１　電気・電子工学領域開講科目だが，情報学領域の自領域扱いとなる。詳細はp. 316～を参照。

＜グリーンサイエンス・エンジニアリング領域＞

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
Green Science and Engineering 1			2
Green Science and Engineering 2			2
Green Science and Engineering 3			2
Green Science and Engineering 4			2
Artificial Intelligence　※注２			2
Advanced Mechanical Engineering 1			2
Advanced Mechanical Engineering 2			2
Advanced Electrical and Electronics Engineering 1			2
Advanced Electrical and Electronics Engineering 2			2
Environmental Chemistry			2
Advanced Materials　※注１			2

科　目　名	単位数 必修	選必	選択
Computational Chemistry			2
Environmental Analytical Chemistry ※注１			2
Differential Equations for Natural Phenomena			2
Statistical Data Analysis			2
Environmental Atomic and Molecular Physics			2
Introduction to Superconductivity			2
Environmental Basic Biology			2
Environmental Life Science			2
Computer Science			2
Applied Computer Science			2

※注１　各領域との同内容科目（重複履修不可）

ｸﾞﾘｰﾝｻｲｴﾝｽ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ領域開講科目名　※	各領域開講科目名　※（　）内は単位数	備考
Advanced Materials　(2)	無機製造工学特論　(2)	応用化学領域
Theoretical Chemistry　(2)（～2018）	物理化学特論（理論化学）　(2)	化学領域
Environmental Analytical Chemistry　(2)	分析化学特論（超分子化学）(2)	化学領域

注２)　2016 年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2017年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2016年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
Artificial Intelligence　(2)	Introduction To Artificial Intelligence　(2)

３．履修上の注意

1）30 単位以上を修得し，修士論文を提出し，その審査および最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。単位の内訳については，以下のとおりとする。

・選択必修 2 単位

・選択 28 単位

ただし，選択 28 単位については，以下のとおりとする。

①自領域の科目を 18 単位

②他領域（自領域以外の領域）および理工共通領域から 4 単位（理工基本領域は除く）

③自領域，他領域，理工基本領域，理工共通領域から 6 単位

・「大学院演習（選択必修）」を，2 単位を超えて修得した場合は，③の 6 単位に含めることができる。
原則として履修すること。

・指導教員が認める「他研究科の授業科目（上限 8 単位）」（p. 13 参照）については，①の 18 単位に含めることができる。

・大学院演習および各領域のゼミナールは原則としてⅠA，ⅠB，ⅡA，ⅡB の順に履修すること。

・指導教員の担当科目に限り，所定の手続きを経て他領域の各ゼミナールを自領域科目扱いとすることができる。
手続きの詳細は専攻事務室に問い合わせること。

④委託聴講科目の取り扱いは次のとおりとする。

領域	修了要件に算入できる単位数	備考
機械工学領域	10	自研究科他領域科目算入可
電気・電子工学領域	4	自研究科他領域科目算入可
応用化学領域	4	自研究科他領域科目算入可
化学領域	4	自研究科自領域科目算入可
数学領域	10	数学連絡協議会科目は 自研究科自領域科目算入可
		その他の委託聴講科目は 自研究科他領域科目算入可
物理学領域	10	自研究科他領域科目算入可
生物科学領域	10	自研究科他領域科目算入可
情報学領域	10	自研究科他領域科目算入可
グリーンサイエンス・エンジニアリング領域	10	自研究科自領域科目算入可

※なお，修了要件に算入できる単位数は，入学前単位認定（先取り履修を含む），委託聴講による修得単位，留学による単位認定等の合計 10 単位を上限とする。

2）「研究指導（必修）」は，在学中毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。

3）その他

【機械工学領域】

1）「機械工学領域 ガイダンス 配布資料」（4 月初旬に開催するガイダンスにて配布）に従って履修すること。

2）毎年 4 月に各年度の研究計画書を機械工学領域主任へ提出すること。

3）機械工学領域で定める英語資格を満たすこと。

4）修士論文の審査を受けるためには，審査を受ける学期の履修登録期間中に「修士論文」を履修登録し，修士 2 年次の秋頃までに中間審査を受け，修士論文の作成，および 2 月の修士論文審査会にて発表すること。

【電気・電子工学領域】
1）毎年４月初旬に開催されるガイダンス（新入生・在校生共通）で配布する「電気・電子工学領域ガイダンス 配布資料」に従って履修すること。
2）毎年４月に指導教員と相談のうえで各年度の研究計画書を作成し，計画書に記載された期限までに電気・電子工学領域事務室に提出すること。
3）上記配布資料に記載された，電気・電子工学領域で定める英語資格を満たすこと。
4）修士論文の審査を受けるためには，審査を受ける学期の履修登録期間中に「修士論文」を履修登録し，修士論文を作成し，修士論文を指導教員に提出後，２月の修士論文審査会で発表を行う必要がある。
5）その他，詳細事項は上記配布資料に記載する。

【応用化学領域】
1）春学期４月初旬に新入生・在校生に対し，領域主任によるガイダンスを行い，修士論文のスケジュール・履修科目などについて指導する。ガイダンスの開催についてはLoyolaに掲示する。
2）学生は，毎年度４月末までに研究計画書を作成・提出する。研究計画書には講義科目の履修計画・修士論文の計画を記載し，指導教員の承認後，領域主任へ提出する。研究計画書の書式は４月上旬に指導教員から配布する。
3）領域が定める英語資格を満たすこと。毎年12月に領域が実施する外国語資格試験を受験する，または既定の外部英語試験のスコアを提出することによって判定する。資格試験・スコア提出については 10 月に出される掲示を参照のこと。

【化学領域】
1）春学期４月初旬に新入生・在校生に対し，領域主任によるガイダンスを行い，修士論文のスケジュール・履修科目などについて指導する。ガイダンスの開催についてはLoyolaに掲示する。
2）学生は，毎年度４月末までに研究計画書を作成・提出する。研究計画書には講義科目の履修計画・修士論文の計画を記載し，指導教員の承認後，領域主任へ提出する。研究計画書の書式は４月上旬に指導教員から配布する。
3）領域が定める英語資格を満たすこと。毎年12月に領域が実施する外国語資格試験を受験する，または既定の外部英語試験のスコアを提出することによって判定する。資格試験・スコア提出については 10 月に出される掲示を参照のこと。

【数学領域】
研究指導計画やスケジュールの詳細は，年度初めに行うガイダンスにて周知される。

【物理学領域】
1）「物理学領域履修上の注意」（４月領域別ガイダンスで配布予定）にしたがって履修すること。
2）毎年度，４月に領域の定める「研究計画書」を，３月に「研究報告書」を提出し，自発的に研究を進められるように努力すること。

【生物科学領域】
1）４月に行われる領域別ガイダンスにて配布される「生物科学領域履修のてびき」を参照して履修計画を作成すること。
2）毎年度，「研究計画書」を指導教員と相談して作成し，領域主任に提出すること。
3）修士論文審査基準第４項に記載の外国語筆記試験については，４月に行われる領域別ガイダンスにて配布される「生物科学領域，修士のための英語試験に関して」を参照すること。

【情報学領域】
1）「情報学領域履修上の注意」（４月に実施される領域別ガイダンスで配布）に従って履修すること。
2）毎年度，専攻の定める「研究計画書」を提出すること。計画書の書式や提出期限・提出先は領域別ガイダンスでの指示に従うこと。

【各入学年次共通】

４．開講科目一覧表

＜理工基本領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3041	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	築地徹浩	機械工学		注1
MSCT3042	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3043	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3044	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3051	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	曄道佳明	機械工学		注1
MSCT3052	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3053	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3054	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3071	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	鈴木隆	機械工学		注1
MSCT3072	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3073	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3074	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3081	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	申鉄龍	機械工学		注1
MSCT3082	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3083	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3084	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3091	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	長嶋利夫	機械工学		注1
MSCT3092	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3093	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3094	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3111	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	高井健一	機械工学		注1
MSCT3112	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3113	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3114	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3121	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	久森紀之	機械工学		注1
MSCT3122	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3123	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3124	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3851	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	渡邉摩理子	機械工学		
MSCT3852	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3853	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3854	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3951	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	一柳満久	機械工学		注1
MSCT3952	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3953	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3954	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3971	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	竹原昭一郎	機械工学		注1
MSCT3972	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3973	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3974	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3361	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	DZIEMIŃSKA,Edyta	機械工学		注1
MSCT3362	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3363	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3364	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3011	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	田中秀岳	機械工学		注1
MSCT3012	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3013	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3014	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT4041	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	張月琳	機械工学		
MSCT4042	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT4043	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT4044	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT4011	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	曹文静	機械工学		
MSCT4012	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT4013	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT4014	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3861	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	菊池昭彦	電気・電子工学		注1
MSCT3862	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3863	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3864	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3871	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	野村一郎	電気・電子工学		注1
MSCT3872	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3873	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3874	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3161	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	下村和彦	電気・電子工学		
MSCT3162	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3163	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3164	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3171	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	髙尾智明	電気・電子工学		注1
MSCT3172	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3173	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3174	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT4031	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	中村一也	電気・電子工学		注1
MSCT4032	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT4033	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT4034	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3891	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	坂本織江	電気・電子工学		注1
MSCT3892	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3893	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3894	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3181	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	宮武昌史	電気・電子工学		注1
MSCT3182	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3183	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3184	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3191	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	谷貝剛	電気・電子工学		注1
MSCT3192	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3193	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3194	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3201	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	中岡俊裕	電気・電子工学		注1
MSCT3202	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3203	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3204	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3701	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	藤井麻美子	電気・電子工学		
MSCT3702	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3703	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3704	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3821	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	小川将克	電気・電子工学		注1
MSCT3822	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3823	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3824	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3881	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	林等	電気・電子工学		注1
MSCT3882	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3883	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3884	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3981	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	高橋浩	電気・電子工学		注1
MSCT3982	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3983	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3984	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3211	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	有機合成化学グループ（鈴木（教））	応用化学		注1
MSCT3212	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3213	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3214	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3221	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	高分子化学グループ（陸川・竹岡・藤田）	応用化学		注1
MSCT3222	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3223	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3224	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3231	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	無機工業化学グループ（内田）	応用化学		注1
MSCT3232	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3233	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3234	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3241	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	工業物理化学グループ（髙橋・田中（邦））	応用化学		注1
MSCT3242	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3243	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3244	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3901	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	環境化学工学グループ（堀越）	応用化学		注1
MSCT3902	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3903	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3904	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3251	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	無機化学グループ（木川田）	化学		注1
MSCT3252	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3253	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3254	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3261	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	理論分子設計・物理化学グループ（南部・久世）	化学		注1
MSCT3262	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3263	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3264	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT4021	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	環境科学グループ（DANIELACHE）	化学		注1
MSCT4022	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT4023	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT4024	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3271	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	錯体化学グループ（長尾）	化学		注1
MSCT3272	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3273	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3274	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3281	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	分析化学グループ（早下・橋本）	化学		注1
MSCT3282	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3283	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3284	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3301	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	有機化学グループ（臼杵）	化学		注1
MSCT3302	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3303	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3304	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3911	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	有機化学グループ（鈴木（由））	化学		注1
MSCT3912	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3913	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3914	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3921	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	大城佳奈子	数学		
MSCT3922	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3923	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3924	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3321	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	辻元	数学		
MSCT3322	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3323	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3324	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3331	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	中島俊樹	数学		
MSCT3332	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3333	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3334	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3931	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	中筋麻貴	数学		注1
MSCT3932	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3933	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3934	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3831	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	加藤剛	数学		注1
MSCT3832	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3833	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3834	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3371	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	角皆宏	数学		
MSCT3372	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3373	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3374	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3381	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	都築正男	数学		
MSCT3382	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3383	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3384	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3391	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	平田均	数学		
MSCT3392	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3393	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3394	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3401	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	五味靖	数学		
MSCT3402	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3403	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3404	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3411	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	後藤聡史	数学		
MSCT3412	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3413	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3414	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3431	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	化学物理グループ（東）	物理学		
MSCT3432	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3433	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3434	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3441	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	電子物性グループ（星野）	物理学		
MSCT3442	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3443	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3444	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3451	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	固体物理グループ（黒江）	物理学		
MSCT3452	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3453	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3454	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3461	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	凝縮系物理グループ（高柳（和））	物理学		
MSCT3462	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3463	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3464	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3471	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	光物理グループ（江馬・欅田）	物理学		注1
MSCT3472	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3473	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3474	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3481	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	物性理論グループ（大槻）	物理学		
MSCT3482	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3483	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3484	春	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3491	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	薄膜グループ（坂間）	物理学		注1
MSCT3492	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3493	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3494	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3501	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	低温物理グループ（後藤（貴））	物理学		
MSCT3502	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3503	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3504	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3511	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	物質科学グループ（桑原）	物理学		注1
MSCT3512	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3513	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3514	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3521	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	原子物理グループ（岡田（邦））	物理学		
MSCT3522	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3523	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3524	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3531	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	ハドロン物理学グループ（平野）	物理学		
MSCT3532	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3533	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3534	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3841	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	原子分子分光グループ（小田切）	物理学		
MSCT3842	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3843	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3844	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3941	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	低温・超伝導物性グループ（足立）	物理学		
MSCT3942	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3943	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3944	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3541	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	笹川展幸	生物科学		注1
MSCT3542	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3543	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3544	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3551	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	林謙介	生物科学		注1
MSCT3552	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3553	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3554	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3561	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	安増茂樹	生物科学		注1
MSCT3562	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3563	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3564	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3581	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	千葉篤彦	生物科学		注1
MSCT3582	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3583	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3584	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT4001	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	鈴木伸洋	生物科学		注1
MSCT4002	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT4003	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT4004	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3611	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	神澤信行	生物科学		注1
MSCT3612	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3613	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3614	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3621	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	齊藤玉緒	生物科学		注1
MSCT3622	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3623	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3624	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3631	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	藤原誠	生物科学		
MSCT3632	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3633	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3634	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3811	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	新倉貴子	生物科学		注1
MSCT3812	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3813	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3814	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3641	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	近藤次郎	生物科学		注1
MSCT3642	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3643	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3644	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3801	休講	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	川口眞理	生物科学		
MSCT3802	休講	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				
MSCT3803	休講	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				
MSCT3804	休講	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				
MSCT3651	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	荒井隆行	情報学		注1
MSCT3652	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3653	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3654	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3661	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	川端亮	情報学		注1
MSCT3662	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3663	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3664	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3711	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	伊呂原隆	情報学		注1
MSCT3712	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3713	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3714	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3671	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	川中彰	情報学		注1
MSCT3672	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3673	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3674	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3681	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	田中昌司	情報学		注1
MSCT3682	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3683	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3684	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3761	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	澁谷智治	情報学		注1
MSCT3762	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3763	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3764	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3721	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	炭親良	情報学		注1
MSCT3722	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3723	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3724	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3771	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	高岡詠子	情報学		注1
MSCT3772	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3773	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3774	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3731	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	田村恭久	情報学		注1
MSCT3732	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3733	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3734	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3961	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	ゴンサルベス タッド	情報学		注1
MSCT3962	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3963	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3964	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	外国語	備考
MSCT3781	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	萬　代　雅　希	情報学		注1
MSCT3782	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3783	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3784	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3791	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	宮　本　裕一郎	情報学		注1
MSCT3792	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3793	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3794	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3751	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	矢　入　郁　子	情報学		注1
MSCT3752	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3753	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3754	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT3741	春	大学院演習ＩＡ	SCT501-75j00	1	山　中　高　夫	情報学		注1
MSCT3742	秋	大学院演習ＩＢ	SCT502-75j00	1				注1
MSCT3743	春	大学院演習ⅡＡ	SCT601-75j00	1				注1
MSCT3744	秋	大学院演習ⅡＢ	SCT602-75j00	1				注1
MSCT7025	春	科学技術英語Ａ	SCT513-75e00	2	DZIEMIŃSKA, Edyta	注2	○	
MSCT7045	秋	科学技術英語Ｂ	SCT514-75e00	2	TRIHAN, Fabien		○	
MSCT9000	秋	修士論文	SCT604-75j00	0	理工学専攻各指導教員			

注１）同教員の「大学院演習ＩＡ」と「大学院演習ⅡＡ」は合併。
　　同教員の「大学院演習ＩＢ」と「大学院演習ⅡＢ」は合併。
注２）2014 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2015年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2014年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
科学技術英語Ａ　(2)	科学技術英語Ⅱ (1)　(2)

＜理工共通領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSCT7130	春	経済数学特論Ⅰ	MTH503-75j00	2	＊横　内　大　介		
MSCT7300	春	ADVANCED DIGITAL TOOLS AND CONCEPTS FOR TEACHING AND LEARNING	INF503-75e00	2	AUGERI, John	○	注1
MSCT7310	秋	ADVANCED CLASS ACTIVITY DESIGN	INF504-75e00	2	AUGERI, John	○	注1
MSCT7140	秋	経済数学特論Ⅱ	MTH504-75j00	2	＊横　内　大　介		
MSCT7100	秋	物理学序論	PHY503-75j00	2	物理学領域教員		輪講

注１）海外招聘客員教員担当科目（講義は全て英語で行う）

＜機械工学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSME1461	休講	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	渡　邉　摩理子		
MSME1472	休講	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			
MSME2463	休講	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			
MSME2474	休講	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			
MSME1441	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	一　柳　満　久		注1
MSME1452	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2443	休講	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2454	休講	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSME1261	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	築地徹浩		注1
MSME1272	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2263	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2274	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1281	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	曄道佳明		注1
MSME1292	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2283	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2294	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1321	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	鈴木隆		注1
MSME1332	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2323	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2334	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1341	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	申鉄龍		注1
MSME1352	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2343	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2354	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1361	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	長嶋利夫		注1
MSME1372	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2363	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2374	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1401	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	高井健一		注1
MSME1412	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2403	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2414	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1421	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	久森紀之		注1
MSME1432	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2423	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2434	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1481	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	竹原昭一郎		注1
MSME1492	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2483	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2494	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1501	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	DZIEMIŃSKA, Edyta		注1
MSME1512	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2503	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2514	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1521	春	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	田中秀岳		注1
MSME1532	秋	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			注1
MSME2523	春	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			注1
MSME2534	秋	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			注1
MSME1511	休講	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	張月琳		
MSME1522	休講	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			
MSME2583	休講	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			
MSME2594	休講	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			
MSME1561	休講	機械工学ゼミナールＩＡ	MEC501-75j00	2	曹文静		
MSME1572	休講	機械工学ゼミナールＩＢ	MEC502-75j00	2			
MSME2563	休講	機械工学ゼミナールⅡＡ	MEC601-75j00	2			
MSME2574	休講	機械工学ゼミナールⅡＢ	MEC602-75j00	2			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSME7020	春	構造力学特論	MEC506-75j00	2	＊青　木　隆　平		
MSME7040	春	機械力学特論	MEC508-75j00	2	竹　原　昭一郎		
MSME7080	秋	伝熱工学特論	MEC511-75j00	2	一　柳　満　久		
MSME7100	春	流体工学特論Ａ	MEC513-75j00	2	築　地　徹　浩		
MSME7170	春	制御工学特論Ｂ	MEC519-75j00	2	申　　鉄　龍		
MSME7190	春	材料工学特論	MEC521-75j00	2	高　井　健　一		
MSME7210	春	機械設計法特論	MEC522-75j00	2	＊飯　野　謙　次		
MSME7010	春	材料力学特論	MEC505-75j00	2	張　　月　琳		
MSME7030	春	固体力学特論	MEC507-75j00	2	長　嶋　利　夫		
MSME7050	秋	マルチボディ・ダイナミクス	MEC509-75j00	2	竹　原　昭一郎		
MSME7070	秋	熱エネルギー変換工学特論	MEC510-75j00	2	鈴　木　　隆		
MSME7140	秋	精密加工学特論	MEC516-75j00	2	田　中　秀　岳		隔年開講
MSME7150	休講	計測工学特論	MEC517-75j00	2			隔年開講
MSME7180	休講	アドバンスト制御	MEC520-75j00	2			
MSME7110	秋	流体工学特論Ｂ	MEC514-75j00	2	築　地　徹　浩		
MSME7160	秋	制御工学特論Ａ	MEC518-75j00	2	曹　　文　静		
MSME7220	秋	環境材料学	MEC523-75j00	2	久　森　紀　之		
MSME7120	秋	流体エネルギー変換工学特論	MEC515-75j00	2	渡　邉　摩理子		
MSME7090	春	燃焼工学特論	MEC512-75j00	2	鈴　木　　隆		
MSME7230	2Q	機械工学応用	MEC524-75j00	2	DZIEMIŃSKA,Edyta	○	※夏期集中（海外短期研修）

注１）同教員の「機械工学ゼミナールＩＡ」と「機械工学ゼミナールⅡＡ」は合併。
　　同教員の「機械工学ゼミナールＩＢ」と「機械工学ゼミナールⅡＢ」は合併。
※　この科目は海外短期研修プログラムである。日程・内容・手続き等詳細は機械工学領域主任に確認すること。
　　なお，Loyola での履修登録はできない。

＜電気・電子工学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSEE1211	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	菊　池　昭　彦		注1
MSEE1222	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2213	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2224	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1231	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	野　村　一　郎		注1
MSEE1242	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2233	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2244	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1071	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	下　村　和　彦		注1
MSEE1082	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2073	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2084	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1091	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	髙　尾　智　明		注1
MSEE1102	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2093	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2104	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1311	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	中　村　一　也		注1
MSEE1322	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2313	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2324	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSEE1271	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	坂本織江		注1
MSEE1282	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2273	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2284	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1111	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	宮武昌史		注1
MSEE1122	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2113	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2124	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1131	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	谷貝剛		注1
MSEE1142	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2133	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2144	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1151	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	中岡俊裕		注1
MSEE1162	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2153	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2164	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1171	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	藤井麻美子		
MSEE1182	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			
MSEE2173	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			
MSEE2184	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			
MSEE1191	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	小川将克		注1
MSEE1202	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2193	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2204	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1251	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	林等		注1
MSEE1262	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2253	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2264	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE1291	春	電気・電子工学ゼミナールＩＡ	EEE501-75j00	2	高橋浩		注1
MSEE1302	秋	電気・電子工学ゼミナールＩＢ	EEE502-75j00	2			注1
MSEE2293	春	電気・電子工学ゼミナールⅡＡ	EEE601-75j00	2			注1
MSEE2304	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡＢ	EEE602-75j00	2			注1
MSEE7080	春	光デバイス工学	EEE545-75j00	2	菊池昭彦		
MSEE7100	春	医用光工学	EEE566-75j00	2	藤井麻美子		
MSEE7120	春	情報工学Ｉ	EEE561-75j00	2	＊中山泰一		
MSEE7140	春	半導体デバイス工学	EEE542-75j00	2	＊中島史人		
MSEE7150	春	先端電子デバイス工学	EEE544-75j00	2	中岡俊裕		
MSEE7170	春	超伝導工学	EEE524-75j00	2	髙尾智明		
MSEE7200	春	ワイヤレス通信工学	EEE563-75j00	2	小川将克		
MSEE7211	春	電力ネットワーク工学	EEE522-75j00	2	坂本織江		
MSEE7220	春	センサネットワーク特論	EEE565-75j00	2	林等		
MSEE7230	春	電気エネルギー管理と制御	EEE523-75j00	2	宮武昌史		
MSEE7020	秋	光導波工学	EEE547-75j00	2	下村和彦		
MSEE7030	秋	量子物性工学	EEE541-75j00	2	野村一郎		
MSEE7060	秋	電気エネルギー工学特論	EEE521-75j00	2	中村一也		
MSEE7070	秋	集積回路工学	EEE543-75j00	2	林等		
MSEE7090	春	光伝送工学	EEE546-75j00	2	富樫理恵		
MSEE7130	春	情報工学Ⅱ	EEE562-75j00	2	＊坂田祐司		
MSEE7180	秋	先端超伝導応用	EEE525-75j00	2	谷貝剛		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSEE7240	秋	通信用光回路工学	EEE564-75j00	2	高　橋　　浩		

注 1）同教員の「電気・電子工学ゼミナールＩＡ」と「電気・電子工学ゼミナールⅡＡ」は合併。
同教員の「電気・電子工学ゼミナールＩＢ」と「電気・電子工学ゼミナールⅡＢ」は合併。

＜応用化学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSAC1031	春	応用化学ゼミナールＩＡ	ACH501-75j00	2	有機合成化学グループ（鈴木（教））		注1
MSAC1042	秋	応用化学ゼミナールＩＢ	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2033	春	応用化学ゼミナールⅡＡ	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2044	秋	応用化学ゼミナールⅡＢ	ACH602-75j00	2			注1
MSAC1051	春	応用化学ゼミナールＩＡ	ACH501-75j00	2	高分子化学グループ（陸川・竹岡・藤田）		注1
MSAC1062	秋	応用化学ゼミナールＩＢ	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2053	春	応用化学ゼミナールⅡＡ	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2064	秋	応用化学ゼミナールⅡＢ	ACH602-75j00	2			注1
MSAC1071	春	応用化学ゼミナールＩＡ	ACH501-75j00	2	無機工業化学グループ（内田）		注1
MSAC1082	秋	応用化学ゼミナールＩＢ	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2073	春	応用化学ゼミナールⅡＡ	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2084	秋	応用化学ゼミナールⅡＢ	ACH602-75j00	2			注1
MSAC1091	春	応用化学ゼミナールＩＡ	ACH501-75j00	2	工業物理化学グループ（高橋・田中（邦））		注1
MSAC1102	秋	応用化学ゼミナールＩＢ	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2093	春	応用化学ゼミナールⅡＡ	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2104	秋	応用化学ゼミナールⅡＢ	ACH602-75j00	2			注1
MSAC1111	春	応用化学ゼミナールＩＡ	ACH501-75j00	2	環境化学工学グループ（堀越）		注1
MSAC1122	秋	応用化学ゼミナールＩＢ	ACH502-75j00	2			注1
MSAC2113	春	応用化学ゼミナールⅡＡ	ACH601-75j00	2			注1
MSAC2124	秋	応用化学ゼミナールⅡＢ	ACH602-75j00	2			注1
MSAC7130	休講	有機合成化学特論（立体選択的合成）	ACH510-75j00	2			
MSAC7140	春	環境化学特論	ACH511-75j00	2	高　橋　和　夫		隔年開講
MSAC7070	春	無機製造工学特論	ACH506-75j00	2	板　谷　清　司		隔年開講，注3
MSAC7080	春	工業材料化学特論	ACH507-75j00	2	内　田　　寛		
MSAC7100	休講	高分子物性特論	ACH508-75j00	2			隔年開講
MSAC7160	春	有機金属化学特論	ACH512-75j00	2	鈴　木　教　之		
MSAC7020	秋	高分子合成特論	ACH503-75j00	2	竹　岡　裕　子		
MSAC7170	休講	応用化学特論	ACH513-75j00	2			隔年開講
MSAC7040	秋	電離気体反応論	ACH504-75j00	2	田　中　邦　翁		
MSAC7060	秋	高分子解析特論	ACH505-75j00	2	藤　田　正　博		
MSAC7180	春	有機合成化学特論（機器構造解析）	ACH514-75j00	2	陸　川・鈴　木（教）		輪講，隔年開講，注2
MSAC7120	休講	電磁波化学特論	ACH509-75j00	2			隔年開講

注 1）同教員の「応用化学ゼミナールＩＡ」と「応用化学ゼミナールⅡＡ」は合併。
同教員の「応用化学ゼミナールＩＢ」と「応用化学ゼミナールⅡＢ」は合併。
注 2）2016 年以前開講科目名変更（重複履修不可）

2017年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2016年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
有機合成化学特論（機器構造解析）　(2)	有機合成化学特論（触媒的有機合成）(2)

注 3）グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目（重複履修不可）

応用化学領域科目名　※（　）内は単位数	ｸﾞﾘｰﾝｻｲｴﾝｽ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ領域科目名　※（　）内は単位数
無機製造工学特論　(2)	Advanced Materials　(2)

＜化学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSCH1031	春	化学ゼミナールＩＡ	CHM501-75j00	2	理論分子設計・物理化学グループ（南部・久世）		注1
MSCH1042	秋	化学ゼミナールＩＢ	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2033	春	化学ゼミナールⅡＡ	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2044	秋	化学ゼミナールⅡＢ	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1171	春	化学ゼミナールＩＡ	CHM501-75j00	2	環境科学グループ（DANIELACHE）		注1
MSCH1182	秋	化学ゼミナールＩＢ	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2173	春	化学ゼミナールⅡＡ	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2184	秋	化学ゼミナールⅡＢ	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1051	春	化学ゼミナールＩＡ	CHM501-75j00	2	無機化学グループ（木川田）		注1
MSCH1062	秋	化学ゼミナールＩＢ	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2053	春	化学ゼミナールⅡＡ	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2064	秋	化学ゼミナールⅡＢ	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1071	春	化学ゼミナールＩＡ	CHM501-75j00	2	錯体化学グループ（長尾）		注1
MSCH1082	秋	化学ゼミナールＩＢ	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2073	春	化学ゼミナールⅡＡ	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2084	秋	化学ゼミナールⅡＢ	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1091	春	化学ゼミナールＩＡ	CHM501-75j00	2	分析化学グループ（早下・橋本）		注1
MSCH1102	秋	化学ゼミナールＩＢ	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2093	春	化学ゼミナールⅡＡ	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2104	秋	化学ゼミナールⅡＢ	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1131	春	化学ゼミナールＩＡ	CHM501-75j00	2	有機化学グループ（臼杵）		注1
MSCH1142	秋	化学ゼミナールＩＢ	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2133	春	化学ゼミナールⅡＡ	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2144	秋	化学ゼミナールⅡＢ	CHM602-75j00	2			注1
MSCH1151	春	化学ゼミナールＩＡ	CHM501-75j00	2	有機化学グループ（鈴木(由)）		注1
MSCH1162	秋	化学ゼミナールＩＢ	CHM502-75j00	2			注1
MSCH2153	春	化学ゼミナールⅡＡ	CHM601-75j00	2			注1
MSCH2164	秋	化学ゼミナールⅡＢ	CHM602-75j00	2			注1
MSCH7010	春	物理化学特論（構造化学）	CHM503-75j00	2	久世信彦		
MSCH7021	秋	分析化学特論（電気化学分析）	CHM504-75j00	2	橋本剛		
MSCH7031	春	有機化学特論（医薬品設計・合成化学）	CHM505-75j00	2	鈴木由美子		
MSCH7040	春	無機化学特論（地球化学）	CHM506-75j00	2	木川田喜一		
MSCH7055	休講	有機化学特論（有機化学演習）	CHM507-75j00	2			輪講
MSCH7061	春	分析化学特論（超分子化学）	CHM508-75j00	2	早下隆士	○	注3 隔年開講
MSCH7070	休講	分析化学特論（先端分析化学）	CHM509-75j00	2			
MSCH7130	秋	無機化学特論（無機反応化学）	CHM514-75j00	2	三澤智世		
MSCH7090	秋	無機化学特論（錯体化学）	CHM510-75j00	2	長尾宏隆		
MSCH7101	秋	有機化学特論（天然物化学）	CHM511-75j00	2	臼杵豊展		
MSCH7110	休講	物理化学特論（理論化学）	CHM512-75j00	2		○	注3 隔年開講
MSCH7120	秋	物理化学特論（環境科学）	CHM513-75j00	2	DANIELACHE, Sebastian	○	注2

注 1）同教員の「化学ゼミナールＩＡ」と「化学ゼミナールⅡＡ」は合併。
　　同教員の「化学ゼミナールＩＢ」と「化学ゼミナールⅡＢ」は合併。
注 2）2015 年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2016年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2015年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
物理化学特論（環境科学）　(2)	物理化学特論（環境科学Ａ）　(2)

注 3）グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目（重複履修不可）

化学領域科目名　※（　）内は単位数	ｸﾞﾘｰﾝｻｲｴﾝｽ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ領域科目名　※（　）内は単位数
物理化学特論（理論化学）　(2)	Theoretical Chemistry　(2)（～2018）
分析化学特論（超分子化学）　(2)	Environmental Analytical Chemistry (2)

＜数学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSMT1291	休講	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	大城佳奈子		
MSMT1302	休講	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			
MSMT2293	休講	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			
MSMT2304	休講	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			
MSMT1071	春	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	辻元		
MSMT1082	秋	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			
MSMT2073	休講	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			
MSMT2084	休講	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			
MSMT1311	休講	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	中筋麻貴		
MSMT1322	休講	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			
MSMT2313	春	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			
MSMT2324	秋	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			
MSMT1111	休講	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	中島俊樹		
MSMT1122	休講	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			
MSMT2113	休講	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			
MSMT2124	休講	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			
MSMT1131	休講	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	角皆宏		
MSMT1142	休講	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			
MSMT2133	休講	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			
MSMT2144	休講	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			
MSMT1151	休講	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	都築正男		
MSMT1162	休講	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			
MSMT2153	休講	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			
MSMT2164	休講	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			
MSMT1191	休講	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	平田均		
MSMT1202	休講	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			
MSMT2193	休講	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			
MSMT2204	休講	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			
MSMT1211	休講	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	五味靖		
MSMT1222	休講	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			
MSMT2213	休講	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			
MSMT2224	休講	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			
MSMT1231	休講	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	後藤聡史		
MSMT1242	休講	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			
MSMT2233	休講	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			
MSMT2244	休講	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			
MSMT1271	春	数学ゼミナールＩＡ	MTH501-75j00	2	加藤剛		注1
MSMT1282	秋	数学ゼミナールＩＢ	MTH502-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSMT2273	春	数学ゼミナールⅡＡ	MTH601-75j00	2			注1
MSMT2284	秋	数学ゼミナールⅡＢ	MTH602-75j00	2			注1
MSMT7010	休講	代数学特論Ⅰ	MTH507-75j00	2			
MSMT7030	休講	代数学特論Ⅲ	MTH509-75j00	2			
MSMT7050	春	幾何学特論Ⅰ	MTH511-75j00	2	Ｔｒｉｈａｎ　Ｆａｂｉｅｎ		
MSMT7070	休講	幾何学特論Ⅲ	MTH513-75j00	2			
MSMT7090	休講	解析学特論Ⅰ	MTH515-75j00	2			
MSMT7110	休講	解析学特論Ⅲ	MTH517-75j00	2			
MSMT7160	休講	計算数学特論	MTH519-75j00	2			夏期集中,隔年開講
MSMT7020	春	代数学特論Ⅱ	MTH508-75j00	2	中筋麻貴		
MSMT7040	休講	代数学特論Ⅳ	MTH510-75j00	2			
MSMT7060	休講	幾何学特論Ⅱ	MTH512-75j00	2			
MSMT7080	秋	幾何学特論Ⅳ	MTH514-75j00	2	大城佳奈子		
MSMT7100	秋	解析学特論Ⅱ	MTH516-75j00	2	加藤剛		
MSMT7120	休講	解析学特論Ⅳ	MTH518-75j00	2			

注1）同教員の「数学ゼミナールＩＡ」と「数学ゼミナールⅡＡ」は合併。
　　同教員の「数学ゼミナールＩＢ」と「数学ゼミナールⅡＢ」は合併。

＜物理学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSPY1031	休講	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	化学物理グループ（東）		
MSPY1042	休講	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			
MSPY2033	春	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			
MSPY2044	秋	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			
MSPY1051	春	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	電子物性グループ（星野）		
MSPY1062	秋	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			
MSPY2053	休講	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			
MSPY2064	休講	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			
MSPY1071	休講	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	原子物理グループ（岡田（邦））		
MSPY1082	休講	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			
MSPY2073	休講	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			
MSPY2084	休講	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			
MSPY1091	休講	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	固体物理グループ（黒江）		
MSPY1102	休講	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			
MSPY2093	休講	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			
MSPY2104	休講	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			
MSPY1111	春	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	凝縮系物理グループ（高柳（和））		
MSPY1122	秋	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			
MSPY2113	休講	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			
MSPY2124	休講	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			
MSPY1131	春	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	光物理グループ（江馬・欅田）		注1
MSPY1142	秋	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			注1
MSPY2133	春	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			注1
MSPY2144	秋	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSPY1151	休講	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	物性理論グループ （大槻）		注1
MSPY1162	休講	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			注1
MSPY2153	春	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			注1
MSPY2164	春	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			注1
MSPY1171	春	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	薄膜グループ （坂間）		注1
MSPY1182	秋	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			注1
MSPY2173	春	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			注1
MSPY2184	秋	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			注1
MSPY1191	春	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	低温物理グループ （後藤（貴））		
MSPY1202	秋	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			
MSPY2193	春	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			
MSPY2204	秋	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			
MSPY1211	春	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	物質科学グループ （桑原）		注1
MSPY1222	秋	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			注1
MSPY2213	春	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			注1
MSPY2224	秋	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			注1
MSPY1231	春	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	ハドロン物理学グループ （平野）		
MSPY1242	秋	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			
MSPY2233	春	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			
MSPY2244	秋	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			
MSPY1251	休講	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	原子分子分光グループ （小田切）		
MSPY1262	休講	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			
MSPY2253	休講	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			
MSPY2264	休講	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			
MSPY1271	春	物理学ゼミナールＩＡ	PHY501-75j00	2	低温・超伝導物性グループ （足立）		
MSPY1282	秋	物理学ゼミナールＩＢ	PHY502-75j00	2			
MSPY2273	春	物理学ゼミナールⅡＡ	PHY601-75j00	2			
MSPY2284	秋	物理学ゼミナールⅡＢ	PHY602-75j00	2			
MSPY7010	春	光物性	PHY603-75j00	2	欅田英之		
MSPY7055	秋	デバイスの物理	PHY608-75j00	2	坂間弘		注4
MSPY7060	春	低温物性	PHY609-75j00	2	後藤貴行		
MSPY7110	春	実験物理特論Ｂ	PHY612-75j00	2	欅田英之		
MSPY7135	春	原子衝突物理特論	PHY614-75j00	2	星野正光		注2
MSPY7180	2Q	物理汎論Ｃ	PHY619-75j00	2	＊遠山貴巳		※夏期集中，隔年開講
MSPY7020	春	物性物理Ａ	PHY604-75j00	2	足立匡		
MSPY7030	秋	物性物理Ｂ	PHY605-75j00	2	桑原英樹		
MSPY7035	春	物性物理Ｃ	PHY606-75j00	2	黒江晴彦		
MSPY7040	春	量子多体問題	PHY607-75j00	2	高柳和雄		
MSPY7100	秋	実験物理特論Ａ	PHY611-75j00	2	岡田邦宏		
MSPY7125	秋	原子分子分光特論	PHY613-75j00	2	小田切丈		注2
MSPY7140	休講	物理汎論Ａ	PHY615-75j00	2			※夏期集中，隔年開講
MSPY7150	2Q	物理汎論Ｂ	PHY616-75j00	2	＊長谷正司		※夏期集中
MSPY7165	休講	相転移の物理	PHY617-75j00	2			注5
MSPY7085	秋	理論物理特論	PHY610-75j00	2	平野哲文		注5
MSPY7190	春	原子過程科学	PHY620-75j00	2	＊市村淳		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSPY7175	春	放射光原子分子科学	PHY618-75j00	2	東　善郎		注3

注 1）同教員の物理学ゼミナールＩＡ・物理学ゼミナールⅡＡは合併。
　　同教員の物理学ゼミナールＩＢ・物理学ゼミナールⅡＢは合併。

注 2）2017 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2018年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2017年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
原子分子分光特論　(2)	原子・分子A　(2)
原子衝突物理特論　(2)	原子・分子B　(2)

注 3）2016 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2017年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2016年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
放射光原子分子科学　(2)	放射光科学　(2)

注 4）2015 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2016年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2015年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
デバイスの物理　(2)	ナノスケールの物理　(2)

注 5）2014 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2015年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2014年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
相転移の物理　(2)	計算物理　(2)
理論物理特論　(2)	理論物理特論A　(2)

※　集中講義については，別途掲示で日時および教室を必ず確認すること。

＜生物科学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSBS1031	春	生物科学ゼミナールＩＡ	BI0501-75j00	2	生命科学グループ（林（謙））		注1
MSBS1042	秋	生物科学ゼミナールＩＢ	BI0502-75j00	2			注1
MSBS2033	春	生物科学ゼミナールⅡＡ	BI0601-75j00	2			注1
MSBS2044	秋	生物科学ゼミナールⅡＢ	BI0602-75j00	2			注1
MSBS7190	春	分子進化学特論	BI0514-75j00	2	川口眞理		
MSBS7200	秋	細胞神経科学特論	BI0515-75j00	2	新倉貴子		
MSBS7040	休講	環境適応の生物学	BI0506-75j00	2			
MSBS7050	春	細胞内情報伝達論	BI0507-75j00	2	笹川展幸		
MSBS7240	秋	植物分子応答学特論	BI0518-75j00	2	鈴木伸洋		
MSBS7070	春	脳生理学特論	BI0508-75j00	2	千葉篤彦		
MSBS7120	春	バイオインフォマティクス	BI0511-75j00	2	＊池尾一穂		※春学期集中
MSBS7210	2Q	創薬インフォマティクス	BI0516-75j00	2	＊広川貴次		※春学期集中
MSBS7620	春	植物機能科学特論	BI0520-75j00	2	藤原誠		
MSBS7630	春	生物物理特論	BI0521-75j00	2	近藤次郎		
MSBS7020	秋	生体運動特論	BI0505-75j00	2	神澤信行		
MSBS7090	秋	神経発生学特論	BI0509-75j00	2	林謙介		
MSBS7110	秋	発生生物学特論	BI0510-75j00	2	安増茂樹		
MSBS7130	休講	ゲノム細胞生物学	BI0512-75j00	2			※春学期集中，隔年開講
MSBS7160	秋	環境分子生物学特論	BI0513-75j00	2	齊藤玉緒		
MSBS7250	春	海洋生物学特論	BI0519-75j00	2	＊赤坂甲治 ＊兵藤晋 ＊猿渡敏郎		※春学期集中，輪講
MSBS7225	2Q	微生物生態学特論	BI0517-75j00	2	＊鎌形洋一		※春学期集中，隔年開講

注 1）同教員の「生物科学ゼミナールＩＡ」と「生物科学ゼミナールⅡＡ」は合併。
　　同教員の「生物科学ゼミナールＩＢ」と「生物科学ゼミナールⅡＢ」は合併。
※　集中講義については，別途掲示で日時および教室を必ず確認すること。

＜情報学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSIS1031	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	荒井隆行		注1
MSIS1042	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2033	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2044	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1051	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	川端亮		注1
MSIS1062	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2053	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2064	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1151	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	伊呂原隆		注1
MSIS1162	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2153	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2164	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1071	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	川中彰		注1
MSIS1082	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2073	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2084	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1091	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	田中昌司		注1
MSIS1102	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2093	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2104	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1251	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	澁谷智治		注1
MSIS1262	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2253	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2264	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1171	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	炭親良		注1
MSIS1182	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2173	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2184	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1271	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	高岡詠子		注1
MSIS1282	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2273	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2284	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1191	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	田村恭久		注1
MSIS1202	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2193	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2204	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSIS1331	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	ゴンサルベス　タッド		注1
MSIS1342	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2333	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2344	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1311	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	萬代雅希		注1
MSIS1322	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2313	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2324	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1291	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	宮本裕一郎		注1
MSIS1302	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2293	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2304	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1231	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	矢入郁子		注1
MSIS1242	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2233	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2244	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS1211	春	情報学ゼミナールＩＡ	INF501-75j00	2	山中高夫		注1
MSIS1222	秋	情報学ゼミナールＩＢ	INF502-75j00	2			注1
MSIS2213	春	情報学ゼミナールⅡＡ	INF601-75j00	2			注1
MSIS2224	秋	情報学ゼミナールⅡＢ	INF602-75j00	2			注1
MSIS7010	春	システム工学特論	INF508-75j00	2	伊呂原隆		
MSIS7020	休講	シミュレーション工学特論	INF509-75j00	2			
MSIS7270	春	経営情報分析特論	INF523-75j00	2	山下遥		
MSIS7050	春	ソフトウェア特論	INF510-75j00	2	川端亮		
MSIS7080	春	音声・音響・聴覚情報処理	INF512-75j00	2	荒井隆行		
MSIS7140	春	パターン認識特論	INF515-75j00	2	川中彰		
MSIS7170	秋	データサイエンス特論	INF516-75j00	2	田村・山中・山下		
MSIS7250	春	脳ネットワーク特論	INF517-75j00	2	田中昌司		
MSIS7200	春	マシンインテリジェンス	INF518-75j00	2	矢入郁子		
MSIS7060	秋	教育情報工学特論	INF511-75j00	2	田村恭久		
MSIS7230	春	コンピュータグラフィックスとバーチャルリアリティ	INF521-75j00	2	＊牧野光則		
MSIS7110	秋	医用画像工学	INF513-75j00	2	炭親良		
MSIS7120	秋	センシングシステム工学	INF514-75j00	2	山中高夫		
MSIS7970	休講	情報科学特論	INF525-75j00	2			
MSIS7910	秋	情報理論特論	INF524-75j00	2	澁谷智治		
MSIS7210	秋	数理最適化特論	INF519-75j00	2	宮本裕一郎		
MSIS7220	春	情報ネットワーク特論	INF520-75j00	2	萬代雅希		
MSIS7260	秋	人工知能特論	INF522-75j00	2	ゴンサルベス　タッド		

注 1）同教員の「情報学ゼミナールＩＡ」と「情報学ゼミナールⅡＡ」は合併。
　　同教員の「情報学ゼミナールＩＢ」と「情報学ゼミナールⅡＢ」は合併。
※　集中講義については，別途掲示で日時および教室を必ず確認すること。

＜グリーンサイエンス・エンジニアリング領域＞　*講義はすべて英語で行われる。

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ ＊：非常勤教員	外国語	備考
MSGR7010	秋	Green Science and Engineering 1	GSE503-75e00	2	鈴木　隆・他	○	隔年開講
MSGR7020	休講	Green Science and Engineering 2	GSE504-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7030	休講	Green Science and Engineering 3	GSE505-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7040	春	Green Science and Engineering 4	GSE506-75e00	2	大城　佳奈子・李　寧	○	隔年開講
MSGR7046	休講	Artificial Intelligence	INF505-75e00	2		○	隔年開講，注2
MSGR7050	秋	Advanced Mechanical Engineering 1	MEC503-75e00	2	長嶋利夫・他	○	隔年開講
MSGR7060	休講	Advanced Mechanical Engineering 2	MEC504-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7070	秋	Advanced Electrical and Electronics Engineering 1	EEE511-75e00	2	李　寧	○	隔年開講
MSGR7080	休講	Advanced Electrical and Electronics Engineering 2	EEE512-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7090	秋	Environmental Chemistry	ACH503-75e00	2	堀越　智	○	隔年開講
MSGR7100	休講	Advanced Materials	ACH504-75e00	2		○	隔年開講，注1
MSGR7220	秋	Computational Chemistry	GSE509-75e00	2	南部伸孝	○	隔年開講
MSGR7120	休講	Environmental Analytical Chemistry	GSE510-75e00	2		○	隔年開講，注1
MSGR7130	秋	Differential Equations for Natural Phenomena	MTH505-75e00	2	中筋麻貴	○	隔年開講
MSGR7140	休講	Statistical Data Analysis	MTH506-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7150	秋	Environmental Atomic and Molecular Physics	GRS619-75e00	2	東　善郎	○	隔年開講
MSGR7210	秋	Introduction to Superconductivity	GRE620-75e00	2	ZHANG, Weilu	○	
MSGR7170	休講	Environmental Basic Biology	BIO503-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7180	春	Environmental Life Science	BIO504-75e00	2	荒木　剛	○	隔年開講
MSGR7190	休講	Computer Science	INF506-75e00	2		○	隔年開講
MSGR7200	春	Applied Computer Science	INF507-75e00	2	田村恭久・他	○	隔年開講

注 1）各領域との同内容科目（重複履修不可）

ｸﾞﾘｰﾝｻｲｴﾝｽ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ領域開講科目名　※	各領域開講科目名　※（　）内は単位数	備考
Advanced Materials　(2)	無機製造工学特論　(2)	応用化学領域
Theoretical Chemistry　(2) (～2018)	物理化学特論（理論化学）　(2)	化学領域
Environmental Analytical Chemistry　(2)	分析化学特論（超分子化学）(2)	化学領域

注 2）　2016 年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2017年度以降開講科目名　※（　）内は単位数	2016年度以前開講科目名　※（　）内は単位数
Artificial Intelligence　(2)	Introduction To Artificial Intelligence　(2)

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	領域	備考
SCT603-75j00	築地・DZIEMIŃSKA	機械工学	
	曄　道　佳　明	機械工学	
	鈴　木　　隆	機械工学	
	申　　鉄　龍	機械工学	
	長　嶋　利　夫	機械工学	
	高　井　健　一	機械工学	
	久　森　紀　之	機械工学	
	渡　邉　摩理子	機械工学	休講（春・秋）
	竹　原　昭一郎	機械工学	
	一　柳　満　久	機械工学	
	田　中　秀　岳	機械工学	
	菊　池　昭　彦	電気・電子工学	
	野　村　一　郎	電気・電子工学	
	下　村　和　彦	電気・電子工学	
	髙　尾　智　明	電気・電子工学	
	中　村　一　也	電気・電子工学	
	宮　武　昌　史	電気・電子工学	
	谷　貝　　剛	電気・電子工学	
	中　岡　俊　裕	電気・電子工学	
	藤　井　麻美子	電気・電子工学	
	小　川　将　克	電気・電子工学	
	林　　等	電気・電子工学	
	高　橋　　浩	電気・電子工学	
	坂　本　織　江	電気・電子工学	
	有機合成化学グループ（鈴木（教））	応用化学	
	高分子化学グループ（陸川・竹岡・藤田）	応用化学	
	無機工業化学グループ（内田）	応用化学	
	工業物理化学グループ（高橋・田中(邦)）	応用化学	
	環境化学工学グループ（堀越）	応用化学	
	無機化学グループ（木川田）	化学	
	物理化学グループ（久世）	化学	
	理論分子設計グループ（南部）	化学	
	錯体化学グループ（長尾）	化学	
	分析化学グループ（早下・橋本）	化学	
	有機化学グループ（臼杵）	化学	

ナンバリング	担当教員名	領域	備考
SCT603-75j00	有機化学グループ（鈴木（由））	化学	
	環境科学グループ（DANIELACHE）	化学	
	辻　元	数学	
	中島俊樹	数学	休講（春・秋）
	中筋麻貴	数学	
	加藤剛	数学	
	角皆宏	数学	休講（春・秋）
	都築正男	数学	
	五味靖	数学	休講（春・秋）
	大城佳奈子	数学	休講（春・秋）
	化学物理グループ（東）	物理学	
	電子物性グループ（星野）	物理学	
	固体物理グループ（黒江）	物理学	休講（春・秋）
	凝縮系物理グループ（高柳（和））	物理学	
	光物理グループ（江馬）	物理学	
	光物理グループ（欅田）	物理学	
	物性理論グループ（大槻）	物理学	
	薄膜グループ（坂間）	物理学	
	低温物理グループ（後藤（貴））	物理学	
	物質科学グループ（桑原）	物理学	
	原子物理グループ（岡田（邦））	物理学	休講（春・秋）
	ハドロン物理学グループ（平野）	物理学	
	原子分子分光グループ（小田切）	物理学	
	低温・超伝導物性グループ（足立）	物理学	
	笹川展幸	生物科学	
	近藤次郎	生物科学	
	林謙介	生物科学	
	安増茂樹	生物科学	
	千葉篤彦	生物科学	
	神澤信行	生物科学	
	齊藤玉緒	生物科学	
	藤原誠	生物科学	
	新倉貴子	生物科学	
	川口眞理	生物科学	
	鈴木伸洋	生物科学	

ナンバリング	担当教員名	領域	備考
SCT603-75j00	荒　井　隆　行	情報学	
	伊呂原　　隆	情報学	
	川　中　　彰	情報学	
	田　中　昌　司	情報学	
	澁　谷　智　治	情報学	
	炭　　親　良	情報学	
	高　岡　詠　子	情報学	
	田　村　恭　久	情報学	
	萬　代　雅　希	情報学	
	宮　本　裕一郎	情報学	
	矢　入　郁　子	情報学	
	山　中　高　夫	情報学	
	川　端　　亮	情報学	
	ゴンサルベス　タッド	情報学	

理工学専攻　博士後期課程

1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
‣必修科目	6		
┗大学院演習ⅢＡ	1		
┗大学院演習ⅢＢ	1		
┗大学院演習ⅣＡ	1		
┗大学院演習ⅣＢ	1		
┗大学院演習ＶＡ	1		
┗大学院演習ＶＢ	1		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【17年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	2		
‣選択必修科目	2		
┗大学院演習ⅢＡ	1		
┗大学院演習ⅢＢ	1		
┗大学院演習ⅣＡ	1		
┗大学院演習ⅣＢ	1		
┗大学院演習ＶＡ	1		
┗大学院演習ＶＢ	1		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【14～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	2		
‣選択必修科目	2		
┗大学院演習ⅢＡ	1		
┗大学院演習ⅢＢ	1		
┗大学院演習ⅣＡ	1		
┗大学院演習ⅣＢ	1		
┗大学院演習ＶＡ	1		
┗大学院演習ＶＢ	1		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【13年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
‣必修科目	6		
┗大学院演習ⅢＡ	1		
┗大学院演習ⅢＢ	1		
┗大学院演習ⅣＡ	1		
┗大学院演習ⅣＢ	1		
┗大学院演習ＶＡ	1		
┗大学院演習ＶＢ	1		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

1） 審査は，提出された論文について行い，申請者が専攻分野について自立して研究活動を行い，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力を有するか否かについて考査する。
2） 審査に当たっては，次の点に留意する。
①論文の内容（独創性，知見の新規性，有用性等の十分な学術的な価値を有するか否か）
②論文の体裁（構成および表現が適切であるか否か）
3） 試験は，論文を中心として広く関連した科目について口述によって行い，申請者が専攻分野について自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力の基礎となる豊かな学識を有するか否かについて考査する。
4） 外国語については１か国語を課し，筆記試験を課すことができる。ただし，申請者が学位を受けるにふさわしい外国語の能力を備えていると認定された場合は，外国語の試験の一部又は全部を免除することができる。免除の基準は，所属する領域に確認すること。

２．授業科目の編成・単位

【18年次生以降】

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
大学院演習ⅢＡ	1		
大学院演習ⅢＢ	1		
大学院演習ⅣＡ	1		
大学院演習ⅣＢ	1		
大学院演習ＶＡ	1		
大学院演習ＶＢ	1		

【14～17年次生】

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
大学院演習ⅢＡ		1	
大学院演習ⅢＢ		1	
大学院演習ⅣＡ		1	
大学院演習ⅣＢ		1	
大学院演習ＶＡ		1	
大学院演習ＶＢ		1	

【13年次生以前】

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
大学院演習ⅢA	1		
大学院演習ⅢB	1		
大学院演習ⅣA	1		
大学院演習ⅣB	1		
大学院演習ⅤA	1		
大学院演習ⅤB	1		

３．履修上の注意

【18 年次生以降】

6 単位を修得し，指導教員の研究指導を受け，博士論文を提出し，その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。なお，早期修了の場合，在学しない学期分の必修科目の単位数は免除される。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は毎学期受け，6 科目以上合格すること。

【17 年次生】

2 単位を修得し，指導教員の研究指導を受け，博士論文を提出し，その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は毎学期受け，6 科目以上合格すること。

【14～16 年次生】

2 単位を修得し，指導教員の研究指導を受け，博士論文を提出し，その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は，毎学期受けること。

【13 年次生以前】

6 単位を修得し，指導教員の研究指導を受け，博士論文を提出し，その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は，毎学期受けること。

（その他）

【機械工学領域】

1)「機械工学領域ガイダンス配布資料」（4 月初旬に開催するガイダンスにて配布）に従って履修すること。

2) 毎年 4 月に各年度の研究計画書を機械工学領域主任へ提出すること。

【電気・電子工学領域】

1) 毎年 4 月初旬に開催されるガイダンス（新入生・在校生共通）で配布する「電気・電子工学領域ガイダンス 配布資料」に従って履修すること。

2) 毎年 4 月に指導教員と相談のうえで各年度の研究計画書を作成し，計画書に記載された期限までに電気・電子工学領域事務室に提出すること。

3) 博士論文審査に関わる諸手続は，上記配布資料を参考に，指導教員とも相談しながら行うこと。

4) その他，詳細事項は上記配布資料に記載する。

【応用化学領域】

1) 4 月に新入生・在校生に対し，領域主任によるガイダンスを行い，博士論文のスケジュールについて指導する。

2) 学生は，毎年度 4 月末までに研究計画書を作成・提出する。研究計画書には博士論文の計画を記載し，指導教員の承認後，領域主任へ提出する。研究計画書の書式は 4 月上旬に指導教員から配布する。

3) 領域が定める英語資格を満たすこと。毎年 12 月に領域が実施する外国語資格試験を受験することによって判定する。資格試験については 10 月に出される掲示を参照のこと。

【化学領域】

1) 4 月に新入生・在校生に対し，領域主任によるガイダンスを行い，博士論文のスケジュールについて指導する。

2) 学生は，毎年度 4 月末までに研究計画書を作成・提出する。研究計画書には博士論文の計画を記載し，指導教員の承認後，領域主任へ提出する。研究計画書の書式は 4 月上旬に指導教員から配布する。

3) 領域が定める英語資格を満たすこと。毎年 12 月に領域が実施する外国語資格試験を受験することによって判定する。資格試験については 10 月に出される掲示を参照のこと。

【数学領域】

研究指導計画やスケジュールの詳細は，年度初めに行うガイダンスにて周知される。

【物理学領域】

1) 「物理学領域履修上の注意」（4 月領域別ガイダンスで配布予定）に従って履修すること。

2) 毎年度，4 月に領域の定める「研究計画書」を，3 月に「研究報告書」を提出し，自発的に研究を進められるように努力すること。

【生物科学領域】

1) 4 月に行われる領域別ガイダンスにて配布される「生物科学領域　後期課程　履修のてびき」を参照して履修計画を作成すること。

2) 毎年度，「研究計画書」を指導教員と相談して作成し，領域主任に提出すること。

【情報学領域】

1) 「情報学領域履修上の注意」（4 月に実施される領域別ガイダンスで配布）に従って履修すること。

2) 毎年度，専攻の定める「研究計画書」を提出すること。研究計画書の書式や提出期限・提出先は領域別ガイダンスでの指示に従うこと。

４．開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1370	春	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	曄　道　佳　明		
DSCT1380	秋	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			注1
DSCT1390	春	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			
DSCT1400	秋	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			注1
DSCT1410	春	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			
DSCT1420	秋	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			
DSCT1490	春	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	申　鉄　龍		注1
DSCT1500	秋	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			注1
DSCT1510	春	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			注1
DSCT1520	秋	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			注1
DSCT1530	春	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			注1
DSCT1540	秋	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			注1
DSCT1730	休講	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	長　嶋　利　夫		
DSCT1740	休講	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			
DSCT1750	休講	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			
DSCT1760	休講	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			
DSCT1770	休講	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			
DSCT1780	休講	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			
DSCT1091	休講	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	高　井　健　一		
DSCT1092	休講	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			
DSCT1093	休講	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			
DSCT1094	休講	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			
DSCT1095	春	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			
DSCT1096	秋	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			
DSCT1181	休講	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	久　森　紀　之		
DSCT1162	休講	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			
DSCT1163	休講	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			
DSCT1164	休講	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			
DSCT1165	休講	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			
DSCT1166	休講	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			
DSCT1371	春	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	鈴　木　隆		
DSCT1352	秋	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			
DSCT1343	休講	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			
DSCT1344	休講	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			
DSCT1345	休講	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			
DSCT1346	休講	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			
DSCT2810	休講	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	下　村　和　彦		
DSCT2820	休講	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			
DSCT2830	春	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			
DSCT2840	秋	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			
DSCT2850	休講	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			
DSCT2860	休講	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1550	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	髙尾智明		
DSCT1560	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1570	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1580	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1590	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1600	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1131	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	菊池昭彦		
DSCT1132	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1133	春	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1134	秋	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1135	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1136	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1331	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	野村一郎		
DSCT1312	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1303	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1304	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1305	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1306	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1191	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	宮武昌史		
DSCT1172	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1173	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1174	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1175	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1176	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1271	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	谷貝剛		
DSCT1252	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1243	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1244	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1245	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1246	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1291	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	中岡俊裕		
DSCT1272	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1263	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1264	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1265	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1266	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1241	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	小川将克		
DSCT1222	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1213	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1214	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1215	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1216	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1351	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	林等		
DSCT1332	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1323	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1324	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1325	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1326	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1221	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	高橋浩		
DSCT1192	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1193	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1194	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1195	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1196	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1361	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	鈴木教之		
DSCT1342	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1333	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1334	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1335	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1336	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1610	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	陸川政弘		
DSCT1620	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1630	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1640	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1650	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1660	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1281	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	竹岡裕子		
DSCT1262	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1253	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1254	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1255	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1256	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1311	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	内田寛		
DSCT1292	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1283	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1284	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1285	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1286	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1231	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	高橋和夫		
DSCT1202	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1203	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1204	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1205	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1206	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1081	春	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	堀越智		
DSCT1082	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1083	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1084	秋	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1085	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1086	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2750	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	南部伸孝		
DSCT2760	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2770	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2780	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2790	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2800	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1021	春	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	長尾宏隆		
DSCT1022	秋	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1023	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1024	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1025	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1026	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1111	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	久世信彦		
DSCT1112	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1113	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1114	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1115	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1116	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1321	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	木川田喜一		
DSCT1302	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1293	春	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1294	秋	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1295	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1296	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1251	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	早下隆士		
DSCT1232	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1223	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1224	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1225	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1226	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2870	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	中島俊樹		
DSCT2880	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2890	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2900	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2910	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2920	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1910	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	辻元		
DSCT1920	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1930	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1940	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1950	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1960	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1301	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	都築正男		
DSCT1282	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1273	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1274	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1275	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1276	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1171	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	角皆宏		
DSCT1012	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1013	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1014	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1015	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1016	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1261	春	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	足立　匡		
DSCT1242	秋	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1233	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1234	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1235	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1236	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1970	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	東　善郎		
DSCT1980	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1990	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2000	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2010	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2020	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2030	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	桑原　英樹		
DSCT2040	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2050	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2060	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2070	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2080	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2090	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	大槻　東巳		
DSCT2100	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2110	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2120	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2130	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2140	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2150	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	江馬　一弘		
DSCT2160	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2170	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2180	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2190	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2200	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2930	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	高柳　和雄		
DSCT2940	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2950	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2960	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2970	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2980	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2630	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	坂間　弘		
DSCT2640	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2650	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2660	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2670	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2680	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1041	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	後藤　貴行		
DSCT1042	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1043	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1044	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1045	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1046	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1071	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	岡田邦宏		
DSCT1072	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1073	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1074	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1075	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1076	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1101	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	平野哲文		
DSCT1102	秋	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1103	春	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1104	秋	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1105	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1106	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2210	春	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	安増茂樹		
DSCT2220	秋	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2230	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2240	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2250	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2260	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2570	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	齊藤玉緒		
DSCT2580	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2590	春	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2600	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2610	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2620	秋	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1031	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	千葉篤彦		
DSCT1032	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1033	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1034	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1035	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1036	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1061	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	笹川展幸		
DSCT1062	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1063	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1064	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1065	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1066	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2270	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	神澤信行		
DSCT2280	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2290	春	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2300	秋	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2310	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2320	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1121	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	新倉貴子		
DSCT1122	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1123	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1124	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1125	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1126	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1341	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	林　謙　介		
DSCT1322	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1313	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1314	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1315	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1316	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2330	春	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	荒　井　隆　行		注1
DSCT2340	秋	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			注1
DSCT2350	春	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			注1
DSCT2360	秋	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			注1
DSCT2370	春	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			注1
DSCT2380	秋	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			注1
DSCT2510	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	伊　呂　原　隆		
DSCT2520	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2530	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2540	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2550	春	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2560	秋	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT2450	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	川　中　彰		
DSCT2460	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT2470	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT2480	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT2490	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT2500	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1051	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	澁　谷　智　治		
DSCT1052	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1053	休講	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1054	休講	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1055	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1056	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1141	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	田　村　恭　久		
DSCT1142	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1143	春	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1144	秋	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1145	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1146	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			
DSCT1151	休講	大学院演習ⅢA	SCT801-75j00	1	田　中　昌　司		
DSCT1152	休講	大学院演習ⅢB	SCT802-75j00	1			
DSCT1153	春	大学院演習ⅣA	SCT803-75j00	1			
DSCT1154	秋	大学院演習ⅣB	SCT804-75j00	1			
DSCT1155	休講	大学院演習ⅤA	SCT805-75j00	1			
DSCT1156	休講	大学院演習ⅤB	SCT806-75j00	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DSCT1161	春	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	ゴンサルベス　タッド		
DSCT1002	秋	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			
DSCT1003	休講	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			
DSCT1004	休講	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			
DSCT1005	休講	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			
DSCT1006	休講	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			
DSCT1201	休講	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	高岡　詠子		
DSCT1182	休講	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			
DSCT1183	休講	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			
DSCT1184	休講	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			
DSCT1185	休講	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			
DSCT1186	休講	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			
DSCT1381	休講	大学院演習ⅢＡ	SCT801-75j00	1	萬代　雅希		
DSCT1362	休講	大学院演習ⅢＢ	SCT802-75j00	1			
DSCT1353	休講	大学院演習ⅣＡ	SCT803-75j00	1			
DSCT1354	休講	大学院演習ⅣＢ	SCT804-75j00	1			
DSCT1355	休講	大学院演習ＶＡ	SCT805-75j00	1			
DSCT1356	休講	大学院演習ＶＢ	SCT806-75j00	1			

注１）　同教員の「大学院演習ⅢＡ」「大学院演習ⅣＡ」「大学院演習ＶＡ」は合併科目。
　　同教員の「大学院演習ⅢＢ」「大学院演習ⅣＢ」「大学院演習ＶＢ」は合併科目。

５．研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SCT807-75j00	曄道　佳明	
	申　鉄龍	
	長嶋　利夫	休講（春・秋）
	高井　健一	
	鈴木　隆	
	久森　紀之	休講（春・秋）
	下村　和彦	
	髙尾　智明	休講（春・秋）
	菊池　昭彦	
	野村　一郎	休講（春・秋）
	宮武　昌史	休講（春・秋）
	谷貝　剛	休講（春・秋）
	中岡　俊裕	休講（春・秋）
	小川　将克	休講（春・秋）
	林　等	休講（春・秋）
	高橋　浩	休講（春・秋）
	鈴木　教之	休講（春・秋）
	陸川　政弘	休講（春・秋）
	竹岡　裕子	休講（春・秋）
	内田　寛	休講（春・秋）
	高橋　和夫	休講（春・秋）
	堀越　智	
	南部　伸孝	
	長尾　宏隆	
	久世　信彦	休講（春・秋）

ナンバリング	担当教員名	備考
SCT807-75j00	木川田　喜　一	
	早　下　隆　士	休講（春・秋）
	中　島　俊　樹	休講（春・秋）
	辻　　元	休講（春・秋）
	都　築　正　男	休講（春・秋）
	角　皆　　宏	休講（春・秋）
	足　立　　匡	
	東　　善　郎	休講（春・秋）
	桑　原　英　樹	休講（春・秋）
	大　槻　東　巳	
	江　馬　一　弘	休講（春・秋）
	高　柳　和　雄	休講（春・秋）
	坂　間　　弘	休講（春・秋）
	後　藤　貴　行	休講（春・秋）
	岡　田　邦　宏	休講（春・秋）
	平　野　哲　文	
	安　増　茂　樹	
	齊　藤　玉　緒	
	千　葉　篤　彦	休講（春・秋）
	笹　川　展　幸	休講（春・秋）
	神　澤　信　行	
	新　倉　貴　子	休講（春・秋）
	林　　謙　介	休講（春・秋）
	荒　井　隆　行	
	伊呂原　　隆	
	川　中　　彰	休講（春・秋）
	澁　谷　智　治	休講（春・秋）
	田　村　恭　久	
	田　中　昌　司	
	ｺﾞﾝｻﾙﾍﾞｽ　ﾀｯﾄﾞ	
	高　岡　詠　子	休講（春・秋）
	萬　代　雅　希	休講（春・秋）

地球環境学研究科

＊ 国際環境コースのカリキュラムについては,
English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2019-2020」を参照

地球環境学専攻

１．地球環境学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

地球環境問題の解決にむけ，高い使命感をもち，社会科学と自然科学の知識を総合し，理論と実践を結び付ける優れた知力・学力を有する人材の育成を目指す。前期課程においては，高度専門的な職業を担う人材と知的素養に優れた人材を，後期課程においては，国際的な水準の地球環境学の教育・研究を目指す人材を養成する。

２．各専攻のディプロマ・ポリシー

地球環境学専攻

【博士前期課程】

本課程では，地球環境問題や環境学の専門家として，環境関連の社会科学と自然科学についての幅広い専門知識と様々な理論と実践を体得し，持続可能な社会の実現に貢献できると見なされる人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 地球環境問題や環境学についての幅広い専門的知見
2. 地球環境問題や環境学についての幅広い実践的知識
3. 地球環境問題や環境学の解明すべき研究課題に対して，社会科学と自然科学の知識の総合化や理論と実践の結合などによる適切な研究方法及び分析手法を提案できる力。また，自らの主張を論理的に記述し，口頭で伝達することができ，社会に情報を発信する力
4. グローバルな視点と対応能力

【博士後期課程】

本課程では，地球環境学に関する国際レベルの研究能力を有していると認められ，また，自立して研究・開発が遂行でき，持続可能な社会の実現に貢献できると見なされる専門的人材の養成を目的に，学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 地球環境問題や環境学についての幅広く，かつ特定の分野・課題についての深い専門的知見
2. 地球環境問題や環境学についての幅広く，かつ特定の分野・課題についての深い実践的知識
3. 地球環境学の解明すべき研究課題に対して，社会科学と自然科学の知識の総合化や理論と実践の結合などによるオリジナリティーのある研究能力を身に付け，自立して研究・開発を行うことができる力。また，自らの主張を論理的に記述し，口頭で伝達することができ，社会に情報を発信することができる力
4. グローバルな視点と対応能力

３．各専攻のカリキュラム・ポリシー

地球環境学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，地球環境問題や環境学に関する，広範な分野についての専門知識と様々な理論と実践を効果的に体得するよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 地球環境問題や環境学が提起する課題が常に自然科学的側面と人文・社会科学的側面をもっていることを踏まえた文理融合型の広範かつコンパクトな見通しの良いカリキュラムとするため，環境法律・政策・社会学，環境経済・経営，環境理工の３つの科目群をバランスよく配置する。
2. 問題を適切に認識するための知的枠組み（ディシプリン）の修得と同時に，問題を解決するための実践的あるいは実務的知識をバランスよく身に付けることが可能なカリキュラムとするため，講義科目や演習・セミナー科目等において，最先端の取り組みや現場における知見を学ぶことができる機会を積極的に取り入れる。
3. 本学の教育の特色である小人数教育による教員と学生の多彩なコミュニケーションが可能なきめ細かな教育が可能なカリキュラムとするため，講義科目や演習・セミナー科目等において，研究・分析方法の修得や発表・意見交換を行う機会を取り入れる。また，修士論文執筆と口頭報告の能力の修得のため，第４学期目の始めに論文構想発表会を配置する。
4. 地球環境問題の解決のための国際協力の必要性が高まる中で，積極的に留学生を受け入れ，国際的に活躍する人材を育成するために，英語のみを用いた講義と指導によるカリキュラムの英語コースを設置するとともに，日本語コースと英語コースの講義科目の枠を越えた相互乗り入れを可能とし，演習・セミナー科目等において様々な国籍の学生が交流しつつ学ぶことができる機会を積極的に提供する。また，社会人が学びやすいように，夜間，土曜日に講義科目を配置し，働きながら必要な単位を履修できるように配慮を行う。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，地球環境問題や環境学に関する，広範な分野についての専門知識と様々な理論と実践を効果的に体得するよう，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 地球環境問題や環境学が提起する課題が常に自然科学的側面と人文・社会科学的側面をもっていることを踏まえた文理融合型の広範かつコンパクトな見通しの良いカリキュラムとするため，環境法律・政策・社会学，環境経済・経営，環境理工の３つの科目群からコースワーク科目をバランスよく配置する。
2. 問題を適切に認識するための知的枠組み（ディシプリン）の修得と同時に，問題を解決するための実践的あるいは実務的知識をバランスよく身につけることが可能なカリキュラムとするため，コースワーク科目や研究指導等において，最先端の取り組みや現場における知見を学ぶことができる機会を積極的に取り入れる。
3. 本学の教育の特色である小人数教育による教員と学生の多彩なコミュニケーションが可能なきめ細かな教育が可能なカリキュラムとするため，コースワーク科目や研究指導等において，研究・分析方法の修得や学会発表等を積極的に取り入れる。また，論文構想発表や資格論文審査などにより，博士論文執筆と口頭報告の能力の修得と提出資格の測定を適切に行う。
4. 地球環境問題の解決のための国際協力の必要性が高まる中で，積極的に留学生を受け入れ，国際的に活躍する人材を育成するために，英語のみを用いた講義と指導によるカリキュラムの英語コースを設置するとともに，日本語コースと英語コースの講義科目の枠を越えた相互乗り入れを可能とし，様々な国籍の学生が交流しつつ学ぶことができる機会を積極的に提供する。また，社会人が学びやすいように，働きながら必要な単位を履修できるように配慮を行う。

地球環境学専攻　博士前期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

＜修士論文トラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択必修科目 └演習／SEMINAR A，B，C，D	8		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
‣選択科目	22		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。 ただし，早期修了者については，在学しない学期分は免除される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。

＜修士プロジェクトトラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
‣選択必修科目 └演習／SEMINAR A，B，C，D	4		8単位までは修了単位として修了要件に算入可能
‣選択科目	30		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。 ただし，早期修了者については，在学しない学期分は免除される
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

【16 年次生】

＜修士論文トラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣選択必修科目 └演習 A，B，C，D	8		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
‣選択科目	22		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。

＜修士プロジェクトトラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
‣選択必修科目 └演習A，B，C，D	4		8単位までは修了単位として修了要件に算入可能
‣選択科目	30		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

【15 年次生】

＜修士論文トラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
‣必修科目 └演習 A，B，C，D	8		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
‣選択科目	22		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。

＜修士プロジェクトトラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
‣必修科目 └演習 A，B，C，D	4		8単位までは修了単位として修了要件に算入可能
‣選択科目	30		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

【修士論文審査基準】

1．問題設定：問題意識が明確で，今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2．先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績，学術研究の到達点を適切に把握している。
3．独創性：問題にアプローチするための前提としてのオリジナルな仮説を適切に設定することができること，あるいは，独創的な，新しい，ユニークな着想や発想をすることができる。
4．研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ，新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として，社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
5．論文構成：論文の構成，章立て，立証方法などをわかりやすく構成され整理され，説得力のある論理展開ができ，問題提起，途中の推論，結論を整合させ，自己の分析を総合的に記述することができる。
6．倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに，各種学会，大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
7．形式面：関連する多くの資料を網羅し，出展を明示し，正確な引用ができる。また，優れた文章表現ができ，指定するフォーマットの成果物を得る。
8．語学力：必要な外国語の知識が身についている。

【リサーチ・ペーパー審査基準】

1．問題設定：問題意識が明確で，今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2．先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績，学術研究の到達点を適切に把握している。
3．研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ，新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として，社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
4．リサーチペーパー構成：リサーチペーパーの構成，章立て，立証方法などをわかりやすく構成され整理され，説得力のある論理展開ができ，問題提起，途中の推論，結論を整合させ，自己の分析を総合的に記述することに成功する。
5．倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに，各種学会，大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
6．形式面：関連する多くの資料を網羅し，出展を明示し，正確な引用ができる。また，優れた文章表現ができ，指定するフォーマットの成果物を得る。
7．語学力：必要な外国語の知識が身についている。

２．授業科目の編成・単位　【各入学年次共通】

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
演習／SEMINAR A　※注1	(2)	2	
演習／SEMINAR B　※注1	(2)	2	
演習／SEMINAR C　※注1	(2)	2	
演習／SEMINAR D　※注1	(2)	2	
日本の環境法			2
環境リスクマネジメント			2
環境経済学Ⅰ			2
環境経済学Ⅱ			2
森林環境政策			2
環境政策論			2
環境工学			2
環境汚染の生態リスク			2
環境生態学			2
環境金融論			2
国際環境法			2
環境経営学			2
環境と経済制度			2
地球温暖化対策論			2
地球環境工学論			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
環境研究のための統計学			2
ジェンダーと環境			2
環境社会学			2
途上国の環境と開発			2
エネルギーと環境			2
環境行政論			2
環境と消費			2
環境倫理			2
環境教育			2
環境史			2
環境研究のフロンティア			2
環境計画・リスクマネジメント論			2
リサイクル工学			2
人健康の環境科学			2
公衆衛生と環境			2
インターンシップⅠ			2
インターンシップⅡ			2
（他）環境法政策　※注2			2
（他）比較環境法　※注2			2

注1：2015年次生以前は必修科目

注2：法科大学院開講科目

英語で実施されている科目

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ENVIRONMENTAL ECONOMICS			2
STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT			2
ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES			2
CLIMATE CHANGE POLICY			2
ENVIRONMENTAL ADMINISTRATION			2
ENVIRONMENTAL POLICY:ANALYSIS AND PRACTICE			2
FRONTIER OF ENVIRONMENTAL STUDIES			2
ENVIRONMENTAL HISTORY			2
JAPANESE ENVIRONMENTAL LAW			2
BASIC OCEANOGRAPHY AND GLOBAL ENVIRONMENTAL SCIENCE			2
ENVIRONMENT AND SUSTAINABLE LIFESTYLES			2
ENVIRONMENTAL ECOLOGY			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS			2
ENVIRONMENTAL ASSESSMENT			2
ENVIRONMENTAL PLANNING			2
GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK			2
JAPANESE EXPERIENCES IN ENVIRONMENTAL MANAGEMENT			2
CLIMATE, OCEAN AND ENVIRONMENT			2
MARINE ENVIRONMENTAL POLICY			2
ASIAN ENVIRONMENTAL STUDIES			4
BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY			2
ENVIRONMENTAL RESOURCE MANAGEMENT POLICY			2
GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY			2
INTRODUCTION TO ENVIRONMENTAL ACCOUNTING			2
WASTE MANAGEMENT IN ASIA			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ENERGY AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY			2
ENERGY AND ENVIRONMENT: SCIENCE AND POLICY LINKAGES			2
LANDSCAPE MANAGEMENT AND SUSTAINABLE TOURISM			2
ENVIRONMENTAL SCIENCE OF HUMAN HEALTH			2
PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT			2
演習／SEMINAR A　*1	(2)	2	
演習／SEMINAR B　*1	(2)	2	
演習／SEMINAR C　*1	(2)	2	
演習／SEMINAR D　*1	(2)	2	
CORPORATE FINANCE *2			4
ENGLISH FOR SCIENCE ／ ENGINEERING A*3			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ENGLISH FOR SCIENCE ／ ENGINEERING B*3			2
ENVIRONMENTAL CHEMISTRY *3			2
ENVIRONMENTAL LIFE SCIENCE *3			2
ENVIRONMENTAL BASIC BIOLOGY *3			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 1 *3			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 2 *3			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 3 *3			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 4 *3			2

*1：2015年次生以前は必修科目
*2：経済学専攻開講科目
*3：理工学専攻開講科目

３．履修上の注意

各学期の履修計画については，入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

【17年次生以降】

１）修了要件

入学当初は修士論文トラックに登録されている。修士プロジェクトトラックへの変更を希望する場合は所定の期間に所定の書式で希望する指導教員に申し出ること。

A.修士論文トラック

① 「演習／SEMINAR」を計 8 単位修得すること（選択必修）。履修の順番は問わないが，最低 4 単位は指導教員の「演習／SEMINAR」を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合，12 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし，4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお，同一担当者の同一科目の重複履修分については，特別な事情が認められない限り，修了要件への算入不可とする。

② 選択科目 22 単位を修得すること。

③ 「研究指導」（必修）を在学中毎学期受けること。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し，必要な研究指導を受けた上で，修士論文の審査および試験に合格すること。

B.修士プロジェクトトラック

① 指導教員の「演習／SEMINAR」を計４単位履修すること（選択必修）。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合，8 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし，4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお，同一担当者の同一科目の重複履修分については，特別な事情が認められない限り，修了要件への算入を不可とする。

② 選択科目 30 単位を修得すること。

③ 「研究指導」（必修）を在学中毎学期受けること。「１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。

④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し，リサーチペーパーを提出すること。

【16 年次生】

1）修了要件

入学当初は修士論文トラックに登録されている。修士プロジェクトトラックへの変更を希望する場合は所定の期間に所定の書式で希望する指導教員に申し出ること。

A.修士論文トラック

① 「演習」もしくは Seminar を計 8 単位修得すること（選択必修）※。履修の順番は問わないが，最低 4 単位は指導教員の演習もしくは Seminar を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合，12 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし，4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお，同一担当者の同一科目の重複履修分については，特別な事情が認められない限り，修了要件への算入不可とする。

※2017 年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は「２）履修にあたっての注意」を参照すること。

② 選択科目 22 単位を修得すること。

③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。

④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し，必要な研究指導を受けた上で，修士論文の審査および試験に合格すること。

B.修士プロジェクトトラック

① 指導教員の「演習」もしくは Seminar を計４単位履修すること（選択必修）※。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合，8 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし，4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお，同一担当者の同一科目の重複履修分については，特別な事情が認められない限り，修了要件への算入を不可とする。

※2017 年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は「２）履修にあたっての注意」を参照すること。

② 選択科目 30 単位を修得すること。

③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。

④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し，リサーチペーパーを提出すること。

【15 年次生】

1）修了要件

入学当初は修士論文トラックに登録されている。修士プロジェクトトラックへの変更を希望する場合は所定の期間に所定の書式で希望する指導教員に申し出ること。

A.修士論文トラック

① 「演習」もしくは Seminar を計 8 単位修得すること（必修）※。履修の順番は問わないが，最低 4 単位は指導教員の演習もしくは Seminar を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合，12 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし，4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお，同一担当者の同一科目の重複履修分については，特別な事情が認められない限り，修了要件への算入不可とする。

※2017 年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は「２）履修にあたっての注意」を参照すること。

② 選択科目 22 単位を修得すること。

③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。

④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し，必要な研究指導を受けた上で，修士論文の審査および試験に合格すること。

B.修士プロジェクトトラック

① 指導教員の「演習」もしくは Seminar を計４単位履修すること（必修）※。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合，8 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし，4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお，同一担当者の同一科目の重複履修分については，特別な事情が認められない限り，修了要件への算入を不可とする。

※2017 年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は「２）履修にあたっての注意」を参照すること。

② 選択科目 30 単位を修得すること。

③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。

④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し，リサーチペーパーを提出すること。

２）履修にあたっての注意

① 2017 年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。

② 2015 年度～2016 年度の入学者は「演習 A, B, C, D」,「SEMINAR Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」を未履修の場合，代わりに「演習/SEMINAR A, B, C, D」を履修する。ただし，同一担当者の同一科目の重複履修分については修了要件への算入不可とする。

③ 同じ名称の科目は担当者が異なる場合でも，再度履修することはできない。

④ 下記の科目は名称変更を行ったが，内容は同じであるので，再度履修することはできない。

2017 年度以降	2016 年度以前
Waste Management in Asia	Recycling Systems in Asia
Environmental Ecology	Ecology and the Environment
Ecological Risk Assessment of Pollutants	Chemical Substances and the Environment
Climate, Ocean and Environment	Ocean and Environment
環境生態学	生物と環境
環境汚染の生態リスク	化学物質と環境

⑤ 「インターンシップⅠ」及び「同Ⅱ」を履修する場合，必ず履修登録期間中に登録を行う。希望者は，まず担当教員に事前に相談すること。また，専攻が別途指定する期日までに実習を修了し，報告書を提出すること。それができないことが明らかになった場合，速やかに学事センターにて登録削除の手続きを行うこと。尚，評価は P 又はＸとする。

⑥ 2015 年度以前の入学者は演習が「必修科目」のため，原則履修中止は認められない。ただし，演習／SEMINAR を「選択科目」として履修している場合のみ，履修中止することが可能。履修中止を希望する場合は，履修中止期間中に，申請をすること。

４．開講科目一覧表　【各入学年次共通】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MGGE8011	春	演習／SEMINAR A	ENV501-94e00	2	PUTHENKALAM John Joseph	○	
MGGE8012	春	演習／SEMINAR B	ENV502-94j00	2	プテンカラム ジョンジョセフ		
MGGE8021	春	演習／SEMINAR A	ENV505-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE8022	春	演習／SEMINAR B	ENV506-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE8031	春	演習／SEMINAR A	ENV509-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE8032	春	演習／SEMINAR B	ENV510-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE8041	春	演習／SEMINAR A	ENV537-94j00	2	井上直己		
MGGE8042	春	演習／SEMINAR B	ENV538-94e00	2	INOUE Naomi	○	
MGGE8051	春	演習／SEMINAR A	ENV513-94e00	2	SHIBATA Shingo	○	
MGGE8052	春	演習／SEMINAR B	ENV514-94j00	2	柴田晋吾		
MGGE8061	春	演習／SEMINAR A	ENV517-94j00	2	織朱實		
MGGE8062	春	演習／SEMINAR B	ENV518-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE8071	春	演習／SEMINAR A	ENV521-94j00	2	田中嘉成		
MGGE8072	春	演習／SEMINAR B	ENV522-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE8081	春	演習／SEMINAR A	ENV525-94e00	2	HIRAO Keiko	○	
MGGE8082	春	演習／SEMINAR B	ENV526-94j00	2	平尾桂子		
MGGE8091	春	演習／SEMINAR A	ENV529-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE8092	春	演習／SEMINAR B	ENV530-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE8101	春	演習／SEMINAR A	ENV533-94j00	2	鷲田豊明		
MGGE8102	春	演習／SEMINAR B	ENV534-94e00	2	WASHIDA Toyoaki	○	
MGGE8111	春	演習／SEMINAR A	ENV541-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE8112	春	演習／SEMINAR B	ENV542-94j00	2	安納住子		
MGGE6000	春	日本の環境法	ENV623-94j00	2	織朱實		隔週開講
MGGE6002	春	環境行政論	ENV627-94j00	2	井上直己		
MGGE6030	春	環境経済学Ⅰ	ENV601-94j00	2	鷲田豊明		
MGGE6045	春	環境政策論	ENV626-94j00	2	柴田晋吾		
MGGE6060	春	環境工学	ENV603-94j00	2	＊大坪國順		隔年開講
MGGE6080	春	環境経営学	ENV622-94j00	2	鈴木政史		
MGGE7210	春	エネルギーと環境	ENV604-94j00	2	＊木村浩		隔週開講
MGGE7240	春	環境と消費	ENV617-94j00	2	＊中原秀樹		
MGGE7270	春	環境倫理	ENV605-94j00	2	＊鬼頭秀一		
MGGE7290	春	環境教育	ENV611-94j00	2	(他)吉川まみ		
MGGE7370	休講	地球環境工学論	ENV612-94j00	2			隔年開講
MGGE7390	春	環境研究のための統計学	ENV613-94j00	2	平尾桂子		
MGGE7550	春	環境金融論	ENV615-94j00	2	＊藤井良広		
MGGE7570	春	環境生態学	ENV629-94j00	2	田中嘉成		
MGGE7610	春	インターンシップⅠ	ENV619-94j00	2	田中嘉成		春学期集中　※
MGGE7630	春	環境計画・ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	ENV616-94j00	2	黄光偉		
MGGE7700	春	人健康の環境科学	ENV630-94j00	2	安納住子		
MGGE9010	春	修士論文	ENV668-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
MGGE9550	春	修士プロジェクト	ENV665-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
MGGE801A	秋	演習／SEMINAR C	ENV503-94e00	2	PUTHENKALAM John Joseph	○	
MGGE801B	秋	演習／SEMINAR D	ENV504-94j00	2	プテンカラム ジョンジョセフ		
MGGE802A	秋	演習／SEMINAR C	ENV507-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE802B	秋	演習／SEMINAR D	ENV508-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE803A	秋	演習／SEMINAR C	ENV511-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE803B	秋	演習／SEMINAR D	ENV512-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE804A	秋	演習／SEMINAR C	ENV539-94j00	2	井　上　直　己		
MGGE804B	秋	演習／SEMINAR D	ENV540-94e00	2	INOUE Naomi	○	
MGGE805A	休講	演習／SEMINAR C	ENV515-94j00	2		○	
MGGE805B	休講	演習／SEMINAR D	ENV516-94j00	2			
MGGE806A	秋	演習／SEMINAR C	ENV519-94j00	2	織　　朱　實		
MGGE806B	秋	演習／SEMINAR D	ENV520-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE807A	秋	演習／SEMINAR C	ENV523-94j00	2	田　中　嘉　成		
MGGE807B	秋	演習／SEMINAR D	ENV524-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE808A	秋	演習／SEMINAR C	ENV527-94e00	2	HIRAO Keiko	○	
MGGE808B	秋	演習／SEMINAR D	ENV528-94j00	2	平　尾　桂　子		
MGGE809A	秋	演習／SEMINAR C	ENV531-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE809B	秋	演習／SEMINAR D	ENV532-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE810A	秋	演習／SEMINAR C	ENV535-94j00	2	鷲　田　豊　明		
MGGE810B	秋	演習／SEMINAR D	ENV536-94e00	2	WASHIDA Toyoaki	○	
MGGE811A	秋	演習／SEMINAR C	ENV543-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE811B	秋	演習／SEMINAR D	ENV544-94j00	2	安　納　住　子		
MGGE6025	秋	環境リスクマネジメント	ENV624-94j00	2	織　　朱　實		
MGGE6035	秋	国際環境法	ENV625-94j00	2	＊磯　崎　博　司		隔週開講
MGGE6040	秋	環境経済学Ⅱ	ENV602-94j00	2	鷲　田　豊　明		
MGGE6070	休講	森林環境政策	ENV621-94j00	2			
MGGE7070	秋	環境と経済制度	ENV608-94j00	2	鷲　田　豊　明		
MGGE7120	秋	地球温暖化対策論	ENV610-94j00	2	井　上　直　己		
MGGE7180	休講	環境社会学	ENV606-94j00	2			隔年開講
MGGE7200	休講	途上国の環境と開発	ENV609-94j00	2			隔年開講
MGGE7300	休講	環境研究のフロンティア	ENV607-94j00	2			輪講，隔年開講
MGGE7410	秋	ジェンダーと環境	ENV614-94j00	2	平　尾　桂　子		隔年開講
MGGE7420	秋	環境史	ENV618-94j00	2	まくどなるど・あん		
MGGE7560	秋	環境汚染の生態リスク	ENV628-94j00	2	田　中　嘉　成		隔週開講
MGGE7620	秋	インターンシップⅡ	ENV620-94j00	2	田　中　嘉　成		秋学期集中　※
MGGE7640	秋	リサイクル工学	ENV659-94j00	2	コーディネータ 織　　朱　實		輪講
MGGE7705	秋	公衆衛生と環境	ENV631-94j00	2	安　納　住　子		
MGGE9020	秋	修士論文	ENV668-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
MGGE9560	秋	修士プロジェクト	ENV665-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
LWS54100	秋	環境法政策	ENL702-10j00	2	(他)北村喜宣		(他) 法科大学院
LWS54600	春	比較環境法	ENL707-10j00	2	(他)及川敬貴		(他) 法科大学院　隔年開講

※集中講義については，別途掲示で日時・教室を必ず確認すること。

英語で実施されている科目一覧

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員 Co)：coordinator	外国語	備考
MGGE7641	SPR	ENVIRONMENTAL ADMINISTRATION	ENV650-94e00	2	INOUE Naomi	○	
MGGE7655	SPR	JAPANESE ENVIRONMENTAL LAW	ENV648-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE7660	SPR	LANDSCAPE MANAGEMENT AND SUSTAINBLE TOURISM	ENV660-94e00	2	*POGGENDORF Lorenz	○	
MGGE7670	SPR	ENVIRONMENTAL SCIENCE OF HUMAN HEALTH	ENV662-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE7690	SPR	INTRODUCTION TO ENVIRONMENTAL ACCOUNTING	ENV643-94e00	2	*MURAI Hideki	○	
MGGE7695	SPR	ASIAN ENVIRONMENTAL STUDIES *1	ENV661-94e00	4	HUANG Guangwei	○	Intensive course *2
MGGE7720	SPR	ENVIRONMENTAL ECONOMICS	ENV638-94e00	2	WASHIDA Toyoaki	○	
MGGE7770	SPR	ENVIRONMENTAL ASSESSMENT	ENV641-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE7795	SPR	MARINE ENVIRONMENTAL POLICY	ENV646-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE7810	SPR	ENVIRONMENTAL HISTORY	ENV633-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE7820	SPR	ENVIRONMENTAL ECOLOGY	ENV651-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE7865	SPR	BASIC OCEANOGRAPHY AND GLOBAL ENVIRONMENTAL SCIENCE	ENV654-94e00	2	Co) McDONALD Anne	○	Team-taught course
MGGE7890	SPR	CLIMATE, OCEAN AND ENVIRONMENT	ENV658-94e00	2	*BEHERA Swadhin	○	Every other week
MGGE7980	SPR	BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY	ENV645-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE7990	SPR	ENVIRONMENTAL RESOURCE MANAGEMENT POLICY	ENV644-94e00	2	SHIBATA Shingo	○	
MSCT7025	SPR	ENGLISH FOR SCIENCE ／ ENGINEERING A	SCT513-75e00	2	DZIEMINSKA Edyta	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7170	Not offered	ENVIRONMENTAL BASIC BIOLOGY	BIO503-75e00	2		○	(other) Grad. Program in Science and Technology Team-taught course
MSGR7180	SPR	ENVIRONMENTAL LIFE SCIENCE	BIO504-75e00	2	ARAKI Tsuyoshi	○	(other) Grad. Program in Science and Technology Team-taught course
MSGR7020	Not offered	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 2	GSE504-75e00	2		○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7040	SPR	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 4	GSE506-75e00	2	OOSHIRO Kanako/ LI Ning	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MGGE7650	Not Offered	GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK	ENV634-94e00	2		○	Every other year
MGGE7680	AUT	ENVIRONMENT AND SUSTAINABLE LIFESTYLES	ENV635-94e00	2	HIRAO Keiko	○	
MGGE7685	AUT	ENERGY AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY	ENV647-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE7710	AUT	JAPANESE EXPERIENCES IN ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	ENV637-94e00	2	*ASAEDA Takashi	○	
MGGE7730	Not Offered	ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	ENV639-94e00	2		○	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員 Co) : coordinator	外国語	備考
MGGE7740	AUT	PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT	ENV663-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE7750	AUT	ENVIRONMENTAL PLANNING	ENV640-94e00	2	HUANG Guangwei	○	Every other year
MGGE7800	Not Offered	GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY	ENV636-94e00	2		○	
MGGE7830	AUT	ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS	ENV652-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE7835	AUT	ENVIRONMENTAL POLICY : ANALYSIS AND PRACTICE	ENV653-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE7855	AUT	WASTE MANAGEMENT IN ASIA	ENV657-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE7875	AUT	FRONTIER OF ENVIRONMENTAL STUDIES	ENV655-94e00	2	Co)TANAKA Yoshinari	○	Every other year Team-taught course
MGGE7880	AUT	ENERGY AND ENVIRONMENT: SCIENCE AND POLICY LINKAGES	ENV656-94e00	2	*YAMAGATA Yoshiki	○	Every other week
MGGE7940	AUT	CLIMATE CHANGE POLICY	ENV649-94e00	2	INOUE Naomi	○	
MGGE7960	AUT	STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	ENV642-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MEEC7190	AUT	CORPORATE FINANCE	ECN537-55e00	4	KAWANISHI Satoshi	○	(other) Grad. Program in Economics
MSGR7090	AUT	ENVIRONMENTAL CHEMISTRY	ACH503-75e00	2	HORIKOSHI Satoshi	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSCT7045	AUT	ENGLISH FOR SCIENCE ／ ENGINEERING B	SCT514-75e00	2	TRIHAN Fabien	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7010	AUT	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 1	GSE503-75e00	2	SUZUKI Takashi / Others	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7030	Not offered	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 3	GSE505-75e00	2		○	(other) Grad. Program in Science and Technology

*1: Course registration for “Asian Environmental Studies” is accepted during the course registration period. However, if the numbers of students who register for the course exceed the course capacity, the instructor will select the students who can take the course. Students who were not selected must withdraw from the course during the withdrawal period. This course is offered for second- and third- semester students in the M.A. Program and graded either P or X.

*2: For Intensive Courses, you must check the schedule and classroom on Loyola Bulletin Board (Academic Service).

５．研究指導一覧表　【各入学年次共通】

ナンバリング	担当教員名	備考
ENV664-94j00	織　　朱　實	
	鷲　田　豊　明	
	田　中　嘉　成	
	柴　田　晋　吾	
	平　尾　桂　子	
	まくどなるど・あん	
	黄　　光　偉	
	プテンカラム ジョンジョセフ	
	鈴　木　政　史	
	井　上　直　己	
	安　納　住　子	

６．早期修了制度

1）早期修了制度は修士論文トラックにのみ適用される。

2）早期修了希望時期の遅くとも１年前に研究科委員長に申し出て，早期修了希望者として登録すること。

3）修了に必要な単位をすべて修得することとし，かつＧＰＡが 3.8 以上あること。

4）修士論文の評価がＡであること。

地球環境学専攻　博士後期課程

１．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし，**在学中毎学期登録される。6科目以上合格すること。**
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【17年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，**在学中毎学期登録される。6科目以上合格すること。**
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，**在学中毎学期登録される。**
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

自立した研究者として研究を継続続行し，当該分野・領域の研究において，将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有することが認められ，以下の基準を高い水準で満たしていること。

１．問題設定：問題意識が明確で，今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。

２．先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績，学術研究の到達点を適切に把握している。

３．独創性：問題にアプローチするための前提としてのオリジナルな仮説を適切に設定することができること，あるいは，独創的な，新しい，ユニークな着想や発想をすることができる。

４．研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ，新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として，社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。

5．論文構成：論文の構成，章立て，立証方法などをわかりやすく構成され整理され，説得力のある論理展開ができ，問題提起，途中の推論，結論を整合させ，自己の分析を総合的に記述することに成功する。
6．倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに，各種学会，大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
7．形式面：関連する多くの資料を網羅し，出展を明示し，正確な引用ができる。また，優れた文章表現ができ，指定するフォーマットの成果物を得る。
8．語学力：必要な外国語の知識が身についている。

2．授業科目の編成・単位

科　目　名	単位数		
	必修	選必	選択
研究指導　※	0		
環境経済学特論			2
環境生態学特論			2
日本の環境法特論			2
森林環境政策特論			2
環境社会学特論			2
人健康の環境科学特論			2
ADVANCED BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL POLICY: ANALYSIS AND PRACTICE			2
ADVANCED GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK			2
ADVANCED ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL ECONOMICS			2
ADVANCED ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS			2
ADVANCED WASTE MANAGEMENT IN ASIA			2
GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY Ⅱ			2
ADVANCED STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT			2
ADVANCED MARINE ENVIRONMENTAL POLICY			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL ASSESSMENT			2
ADVANCED PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT			2

3．履修上の注意

各学期の研究計画及び論文要件については，入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

① 学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」を毎学期受けること。なお，2017 年次生以降の学生については，必要な合格科目数も定められている。「1．修了に要する科目，単位数，科目数などの要件」を参照すること。
② 博士論文提出資格論文の審査に合格した上で，定められた手続きにより博士論文を提出し，審査および試験に合格しなければならない。

【18 年次生以降】
① 在学期間中は指導教員の科目を含め，6 単位以上取得すること。

４．開講科目一覧表　【各入学年次共通】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 ＊：非常勤教員	外国語	備考
DGGE7000	春	環境経済学特論	ENV801-94j00	2	鷲　田　豊　明		
DGGE7010	春	環境生態学特論	ENV802-94j00	2	田　中　嘉　成		
DGGE7030	春	日本の環境法特論	ENV803-94j00	2	織　　朱　實		隔週開講
DGGE7050	休講	森林環境政策特論	ENV804-94j00	2			
DGGE7060	休講	環境社会学特論	ENV805-94j00	2			隔年開講
DGGE7190	春	人健康の環境科学特論	ENV817-94j00	2	安　納　住　子		
DGGE7070	SPR	ADVANCED BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY	ENV806-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
DGGE7080	SPR	ADVANCED MARINE ENVIRONMENTAL POLICY	ENV807-94e00	2	McDONALD Anne	○	
DGGE7090	SPR	ADVANCED ENVIRONMENTAL ASSESSMENT	ENV808-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
DGGE7150	SPR	ADVANCED ENVIRONMENTAL ECONOMICS	ENV813-94e00	2	WASHIDA Toyoaki	○	
DGGE7110	AUT	ADVANCED STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	ENV809-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
DGGE7120	AUT	ADVANCED ENVIRONMENTAL POLICY : ANALYSIS AND PRACTICE	ENV810-94e00	2	McDONALD Anne	○	
DGGE7130	Not Offered	GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY Ⅱ	ENV811-94e00	2		○	
DGGE7140	Not Offered	ADVANCED GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK	ENV812-94e00	2		○	Every other year
DGGE7160	AUT	ADVANCED WASTE MANAGEMENT IN ASIA	ENV814-94e00	2	ORI Akemi	○	
DGGE7170	Not Offered	ADVANCED ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	ENV815-94e00	2		○	
DGGE7180	AUT	ADVANCED ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS	ENV816-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
DGGE7200	AUT	ADVANCED PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT	ENV818-94e00	2	ANNO Sumiko	○	

５．研究指導一覧表　【各入学年次共通】

ナンバリング	担当教員名	備考
ENV819-94j00	織　　朱　實	
	鷲　田　豊　明	
	田　中　嘉　成	
	柴　田　晋　吾	
	平　尾　桂　子	
	井　上　直　己	
	まくどなるど・あん	
	プテンカラム ジョンジョセフ	
	黄　　光　偉	
	鈴　木　政　史	
	安　納　住　子	

年　　譜

13. 年　　譜

1911 年（明治 44 年）　財団法人上智学院設立。

1913 年（大正 2 年）　専門学校令による上智大学開設。

1928 年（昭和 3 年）　大学令による上智大学開設。

1951 年（昭和 26 年）　新制大学院神学研究科（神学専攻），哲学研究科（哲学専攻），西洋文化研究科（西洋文化専攻），経済学研究科（経済学専攻）の修士課程を開設。

1955 年（昭和 30 年）　神学研究科（組織神学専攻），哲学研究科（哲学専攻），西洋文化研究科（英米文学専攻及びドイツ文学専攻），経済学研究科（経済制度・組織専攻）の博士課程を開設。

1966 年（昭和 41 年）　文学研究科（教育学専攻），法学研究科（法律学専攻），理工学研究科（機械工学専攻，電気・電子工学専攻，応用化学専攻，化学専攻及び物理学専攻）の修士課程を開設。
西洋文化研究科（西洋文化専攻）の修士課程を文学研究科（史学専攻，英米文学専攻及びドイツ文学専攻）の修士課程に改組。
西洋文化研究科（英米文学専攻及びドイツ文学専攻）の博士課程を文学研究科（英米文学専攻及びドイツ文学専攻）の博士課程に改組

1968 年（昭和 43 年）　文学研究科に教育学専攻及び日本史学専攻の博士課程を増設。
文学研究科に国文学専攻及びフランス文学専攻の修士課程を増設。
法学研究科（法律学専攻）及び理工学研究科（機械工学専攻，電気・電子工学専攻，応用化学専攻，化学専攻及び物理学専攻）の博士課程を開設。

1969 年（昭和 44 年）　理工学研究科に数学専攻の修士課程を増設。

1970 年（昭和 45 年）　文学研究科に国文学専攻の博士課程を増設。
外国語学研究科（言語学専攻）の修士課程を開設。

1971 年（昭和 46 年）　文学研究科にフランス文学専攻及び史学専攻（日本史学専攻を改組）の博士課程を増設。
文学研究科に新聞学専攻の修士課程を，外国語学研究科に国際関係論専攻の修士課程を増設。

1972 年（昭和 47 年）　文学研究科に社会学専攻の修士課程を，理工学研究科に数学専攻の博士課程を増設。

1973 年（昭和 48 年）　外国語学研究科に言語学専攻及び国際関係論専攻の博士課程を開設。

1974 年（昭和 49 年）　文学研究科に新聞学専攻及び社会学専攻の博士課程を増設。

1976 年（昭和 51 年）　大学院学則を改正し，博士前期，後期課程に変更。

1978 年（昭和 53 年）　理工学研究科に生物科学専攻の修士課程を増設。

1979 年（昭和 54 年）　外国語学研究科に比較文化専攻の修士課程を増設。

1981 年（昭和 56 年）　理工学研究科に生物科学専攻の博士後期課程を増設。

1992 年（平成 4 年）　文学研究科に心理学専攻の修士課程を増設。

1994 年（平成 6 年）　文学研究科に心理学専攻の博士後期課程を増設。

1997 年（平成 9 年）　外国語学研究科に地域研究専攻の博士課程（前期・後期）を増設。

2001 年（平成 13 年）　文学研究科心理学専攻博士前期課程に臨床心理学コースを設置。

2004 年（平成 16 年）　法学研究科に法曹養成専攻（法科大学院）専門職学位課程を増設。

2005 年（平成 17 年）　文学研究科（教育学専攻，心理学専攻及び社会学専攻）の博士課程（前期・後期）を総合人間科学研究科（教育学専攻，心理学専攻，社会学専攻及び社会福祉学専攻）の博士課程（前期・後期）に改組。
地球環境学研究科（地球環境学専攻）の博士課程（前期・後期）を開設。

2006 年（平成 18 年）　外国語学研究科（国際関係論専攻及び地域研究専攻）の博士課程（前期・後期）をグローバル・スタディーズ研究科（国際関係論専攻及び地域研究専攻）の博士課程（前期・後期）に改組。
外国語学研究科比較文化専攻修士課程をグローバル･スタディーズ研究科グローバル社会専攻の博士前期課程に改組。
グローバル・スタディーズ研究科にグローバル社会専攻の博士後期課程を増設。

2007 年（平成 19 年）　経済学研究科に経済学専攻の博士後期課程及び経営学専攻の博士課程（前期・後期）を増設。
文学研究科教育学専攻及び社会学専攻の博士前期課程を廃止。

2008 年（平成 20 年）　理工学研究科（機械工学専攻，電気・電子工学専攻，応用化学専攻，化学専攻，数学専攻，物理学専攻及び生物科学専攻）の博士課程（前期・後期）を理工学研究科（理工学専攻）の博士課程（前期・後期）に改組。
文学研究科心理学専攻の博士前期課程を廃止。
外国語学研究科国際関係論専攻及び地域研究専攻の博士前期課程を廃止。
外国語学研究科比較文化専攻を廃止。

2009 年（平成 21 年）　理工学研究科機械工学専攻，電気・電子工学専攻，物理学専攻，応用化学専攻及び化学専攻の博士前期課程を廃止。

2010 年（平成 22 年）　理工学研究科数学専攻博士前期課程を廃止。

2011 年（平成 23 年）　総合人間科学研究科に看護学専攻の修士課程を増設。
文学研究科に文化交渉学専攻の博士課程（前期・後期）を増設。
理工学研究科生物科学専攻の博士前期課程，応用化学専攻，化学専攻，物理学専攻の博士後期課程を廃止。
地球環境学研究科地球環境学専攻の博士課程（前期・後期）に国際環境コースを設置。

2012 年（平成 24 年）　理工学研究科数学専攻の博士後期課程を廃止。

2013 年（平成 25 年）　外国語学研究科国際関係論専攻の博士後期課程を廃止。理工学研究科電気・電子工学専攻，生物科学専攻，機械工学専攻の博士後期課程を廃止。

2014 年（平成 26 年）　文学研究科社会学専攻の博士後期課程の廃止。

2015 年（平成 27 年）　文学研究科教育学専攻，経済学研究科経済制度・組織専攻，外国語学研究科地域研究専攻の博士後期課程を廃止。

2016 年（平成 28 年）　文学研究科に哲学専攻博士課程（前期・後期）を増設。
実践宗教学研究科死生学専攻修士課程を開設。
外国語学研究科を言語科学研究科に名称変更。

2017 年（平成 29 年）　文学研究科心理学専攻の博士後期課程を廃止。

2018 年（平成 30 年）　実践宗教学研究科死生学専攻の修士課程を博士前期課程に変更。
実践宗教学研究科死生学専攻に博士後期課程を増設。

本　学　の　施　設

14. 本学の施設

研究所・センター等および事務所関係一覧

電話番号は内線番号です。外線からかける場合は 03-3238-××××（内線番号）としてください。

キリスト教文化研究所	Ｌ号館－８Ｆ	内線　3540
中世思想研究所	Ｌ号館－８Ｆ	3822
イベロアメリカ研究所	Ｌ号館－６Ｆ	3530
国際言語情報研究所	Ｌ号館－５Ｆ	3493
グローバル・コンサーン研究所	Ｌ号館－７Ｆ	3023
比較文化研究所	１０号館－３Ｆ	4082
ヨーロッパ研究所	Ｌ号館－７Ｆ	3902
アジア文化研究所	Ｌ号館－６Ｆ	3697
アメリカ・カナダ研究所	Ｌ号館－７Ｆ	3908
地球環境研究所	Ｌ号館－４Ｆ	4410
メディア・ジャーナリズム研究所	Ｌ号館－４Ｆ	4154
キリシタン文庫	Ｌ号館－８Ｆ	3538
モニュメンタ・ニポニカ	Ｌ号館－２Ｆ	3543
アジア人材養成研究センター	２号館－１６Ｆ	4136
半導体研究所	パワーステーション１ Ｂ１Ｆ	3336
生命倫理研究所	市谷キャンパス 研究棟４Ｆ	4050
グリーフケア研究所	１０号館－３Ｆ	3776

事務関係　※電話番号は内線番号です。外線からかける場合は「03-3238-××××（内線番号）」としてください。

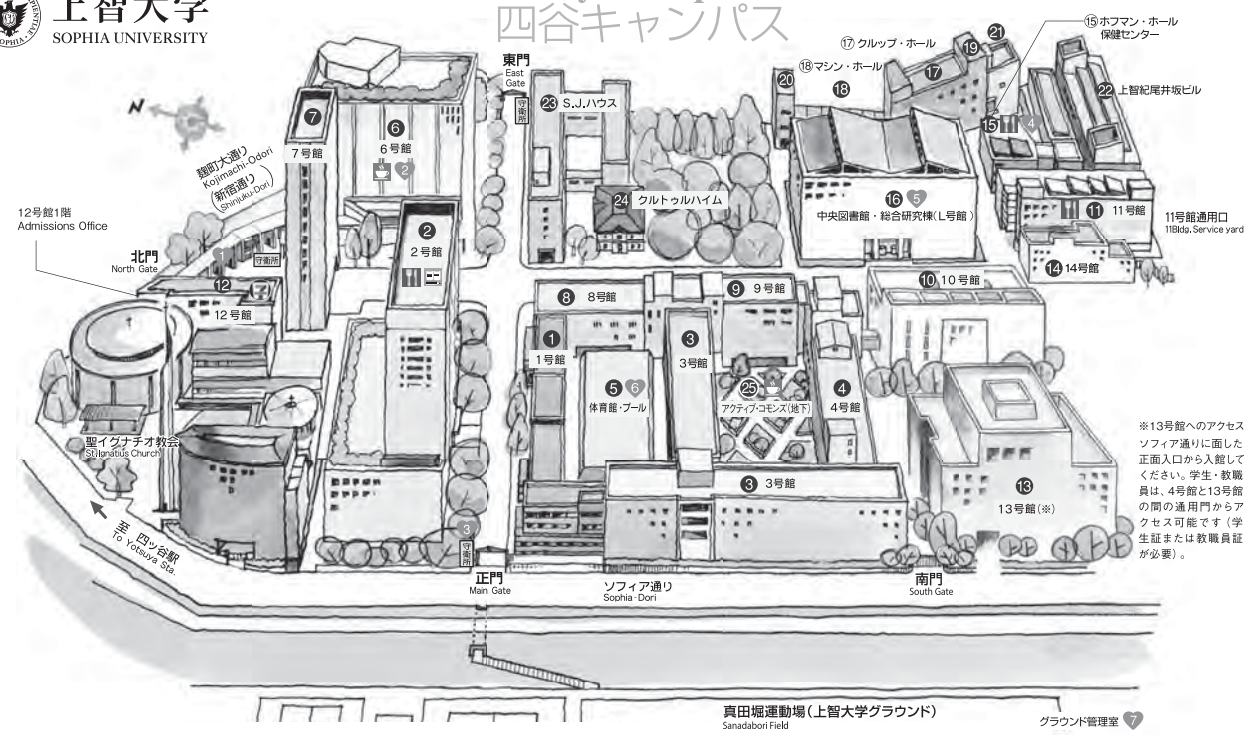
学事センター	［教務］履修登録，時間割，試験，成績管理，「Loyola」についての問い合わせ等	２号館－１Ｆ	内線　3515
	［学籍・証明書］各種証明書，学生証再発行，住所変更，氏名変更，保証人変更，休学，退学，復学等	２号館－１Ｆ	3519
	［大学院］修士論文，博士論文，委託聴講等	２号館－１Ｆ	3519
	学費	２号館－１Ｆ	3195
課程センター	教職課程，学芸員課程等	２号館－２Ｆ	3520
入学センター	学部入試（一般入試，推薦入試，編入学試験等）	12 号館－１Ｆ アドミッションズオフィス	3167
	大学院入試		3517
グローバル教育センター	交換留学の派遣・受入，海外短期研修，インターンシップ科目，海外留学保険，国費留学生等	２号館－１Ｆ	3521
学生センター	奨学金	２号館－１Ｆ	3523
	課外活動，学生教育研究災害傷害保険，アルバイト，ボランティア・ビューロー，実習定期，託児室，障がい学生支援等		3525
	寮		4621
保健センター	健康診断・健康診断証明書・健康についての相談，応急処置	ホフマン・ホール２Ｆ	3394
カウンセリングセンター	学生生活に関する相談・リーフレットの配布	10 号館－３Ｆ	3559
キャリアセンター	就職・インターンシップに関する情報提供，個別相談	２号館－１Ｆ	3581
図書館	閲覧・貸出	Ｌ号館－１Ｆ	3510
	レファレンス		3507
情報システム室 （総合メディアセンター）	コンピュータ利用，e-Learning，メール，ネットワーク等の利用相談，各種申請 https://ccweb.cc.sophia.ac.jp の「利用ガイド」を参照	２号館－３Ｆ	3101
管財グループ（2 号館 1 階）	物品貸出，遺失物，会議室の申込等	２号館－１Ｆ	3112
	清掃，廃棄物処理等		3141
	施設管理，防犯防災等		
資金グループ	出納	13 号館－４Ｆ	3186
ダイバーシティ推進室	ダイバーシティ推進に関わる業務全般	10 号館－３Ｆ	4052
イエズス会教育推進センター	イエズス会教育に関する活動及び情報発信	13 号館－６Ｆ	3408
カトリックセンター	ミサ，聖書講座，講演会などキリスト教に関する活動及び相談	２号館－１Ｆ	4161
石神井キャンパス	石神井分館（神学部図書館）業務，その他		03 (5991) 0343

そ　の　他

正門守衛所		正門前	3000
(株)ソフィアキャンパスサポート	学生・教職員支援全般	13 号館 2 階	4259
紀伊國屋書店	書籍等の販売	２号館－Ｂ１Ｆ	3092
パティネ・スポーツ	スポーツ・ウエア等の販売	２号館－Ｂ１Ｆ	4103

上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

Yotsuya Campus
四谷キャンパス



※13号館へのアクセス
ソフィア通りに面した正面入口から入館してください。学生・教職員は、4号館と13号館の間の通用門からアクセス可能です（学生証または教職員証が必要）。

❶ 1号館	Bldg. No.1	❼ 7号館	Bldg. No.7	⑭ 14号館	Bldg. No.14	⑲ パワーステーションⅠ	Power Station Ⅰ
❷ 2号館	Bldg. No.2	❽ 8号館	Bldg. No.8	⑮ ホフマン・ホール 保健センター	Hoffmann Hall Health Center	⑳ パワーステーションⅡ	Power Station Ⅱ
❸ 3号館	Bldg. No.3	❾ 9号館	Bldg. No.9	⑯ 中央図書館・総合研究棟(L号館)	Central Library and Research Institutes	㉑ パワーステーションⅢ	Power Station Ⅲ
❹ 4号館	Bldg. No.4	❿ 10号館	Bldg. No.10	⑰ クルップ・ホール	Krupp Hall	㉒ 上智紀尾井坂ビル	Jochi Kioizaka Bldg.
❺ 体育館プール	Gymnasium Swimming Pool	⓫ 11号館	Bldg. No.11	⑱ マシン・ホール	Machine Hall	㉓ S.J.ハウス	S.J. House
❻ 6号館	Bldg. No.6	⓬ 12号館	Bldg. No.12			㉔ クルトゥルハイム	Kulturheim
		⓭ 13号館	Bldg. No.13			㉕ アクティブ・コモンズ	Active Commons

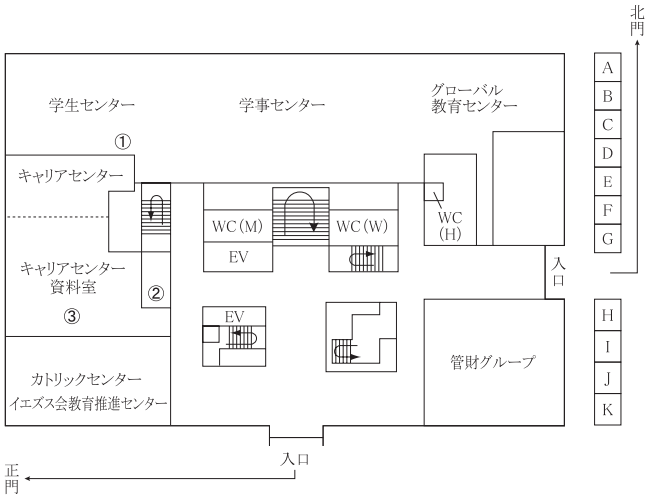
購買 紀伊國屋書店 上智大学店 ❷地下(basement)
食堂 Restaurant ❷5階(5F) ⓫地下(basement) ⑮4階(4F)
喫茶 Cafe ❻1階(1F) ㉕地下(basement)
AED(自動体外式除細動器)：学内7カ所 Automated External Defibrillator
北門 North Gate　6号館防災センター Bldg.6 Disaster Prevention Center　正門 Main Gate
保健センター The Health Center　図書館受付 Library Entrance　体育館プール(地下1階) Swimming Pool (basement)　真田堀グラウンド グラウンド管理室 Sports Field Maintenance Room
コンビニエンスストア Convenience Store　⓬地下(basement)

目白聖母キャンパス

・西武新宿線「下落合」駅より徒歩８分
・西武池袋線「椎名町」駅より徒歩 10 分
・JR「目白」駅より徒歩 15 分
・JR「目白」駅より、都バス［練馬車庫前 白 61 または池 65］行きで５分「聖母病院入口」下車。
・JR「新宿」駅西口より、関東バス［丸山営業所 宿 02］行きで 25 分「聖母病院前」下車。

四谷キャンパス

掲示板（2 号館 1 階）



① 学生センター
② キャリアセンター入口
③ キャリアセンター資料室内

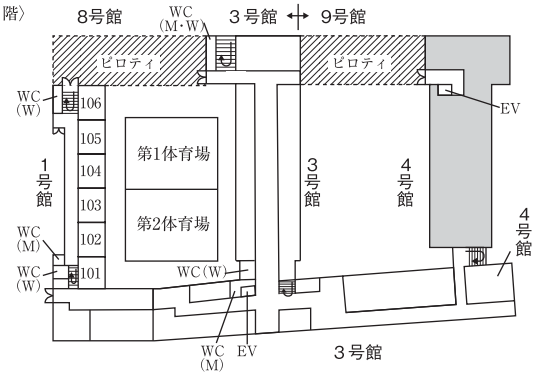
A 入学センター
B 言語教育研究センター
C グローバル教育センター
D カトリックセンター
E
F
G
学事センター

H
I
学生センター

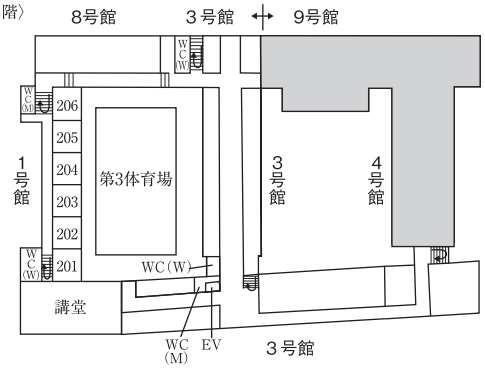
J キャリアセンター
K ソフィア連携室
（美術館・博物館情報）

1・3・4・8・9号館

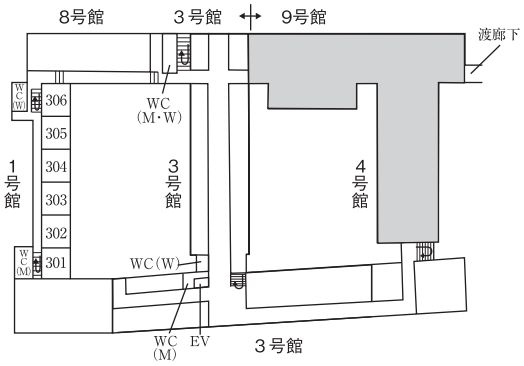
〈1階〉



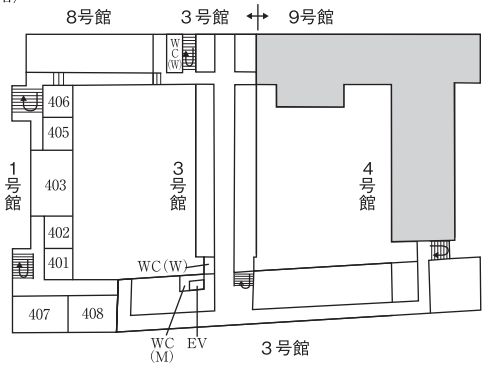
〈2階〉



〈3階〉

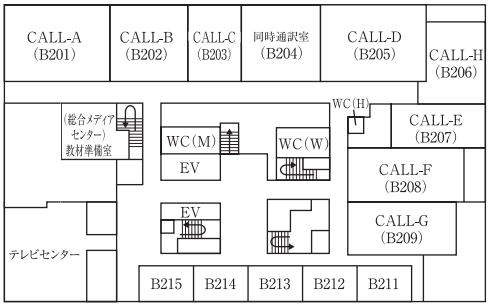


〈4階〉

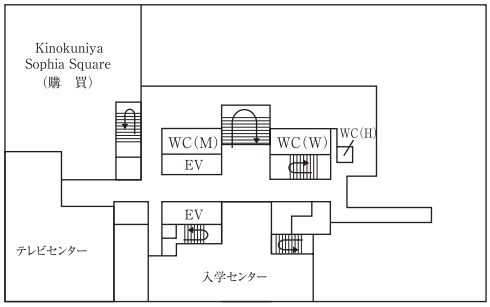


２号館

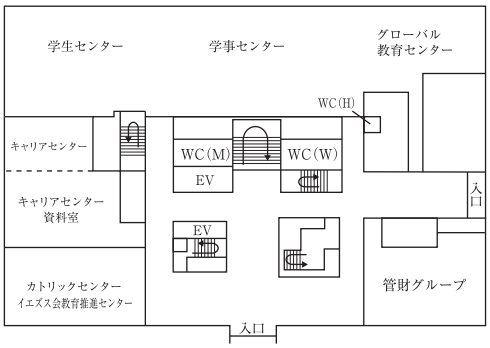
〈B2階〉



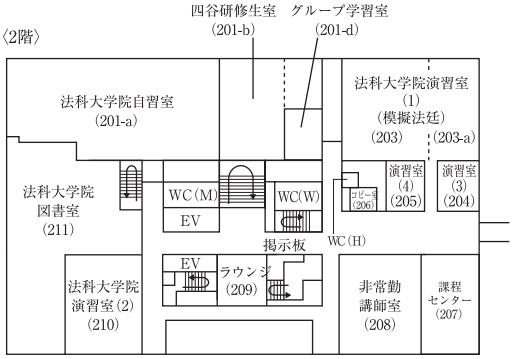
〈B1階〉



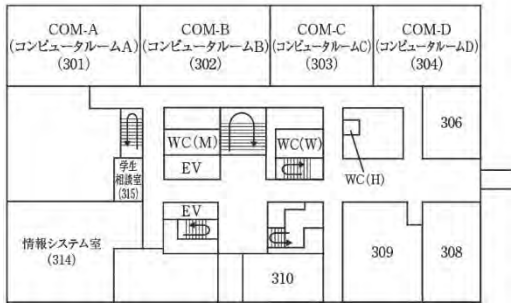
〈１階〉



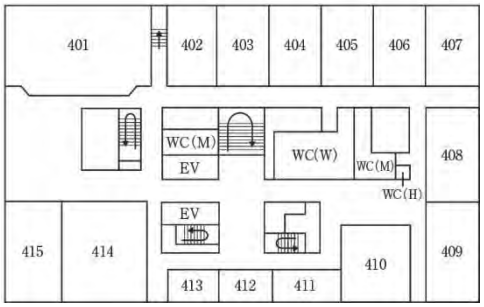
〈2階〉



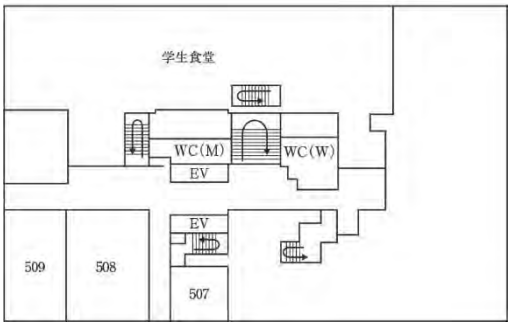
〈3階〉



〈4階〉

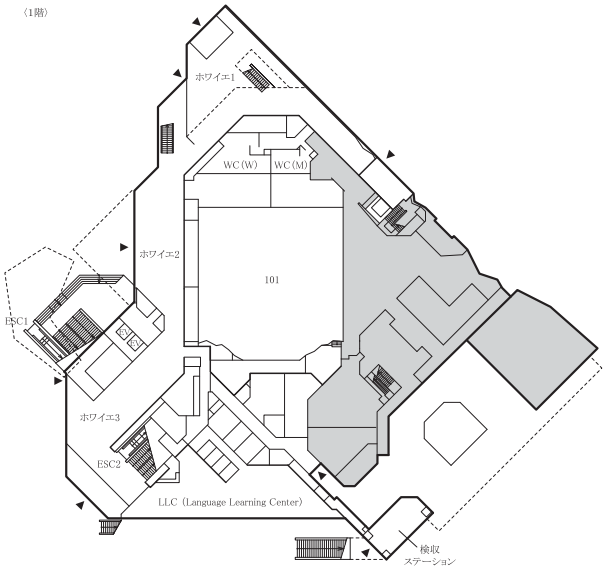


〈5階〉

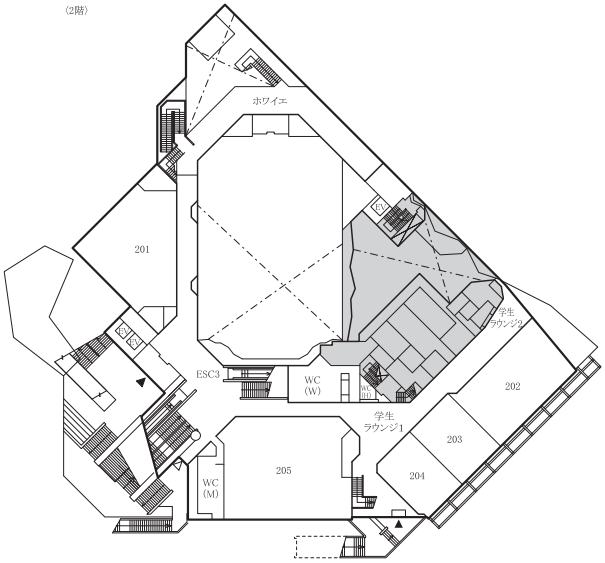


６号館

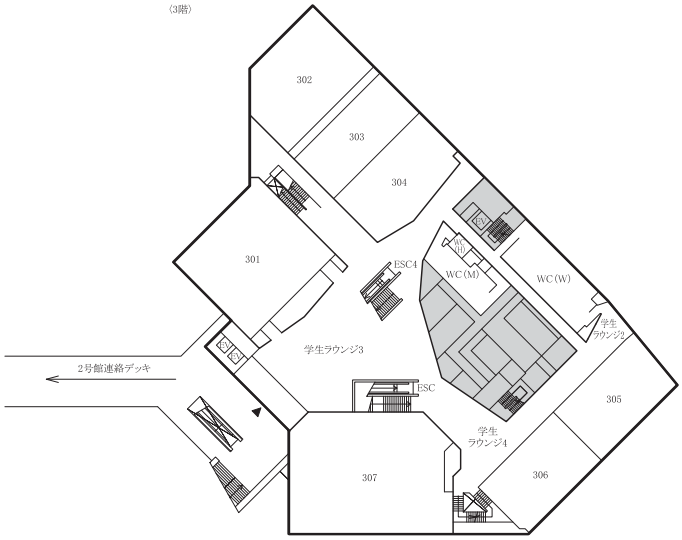
〈1階〉



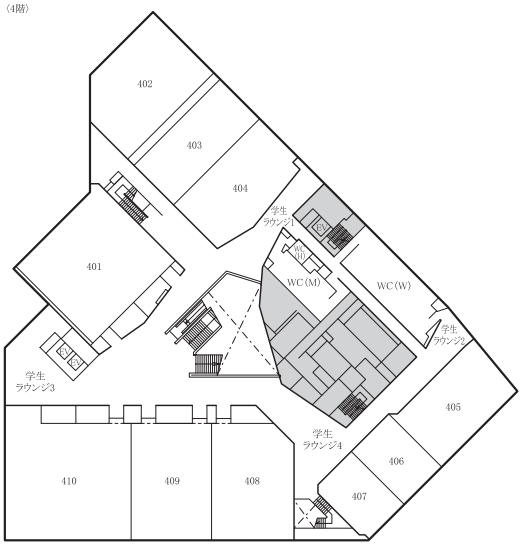
〈2階〉



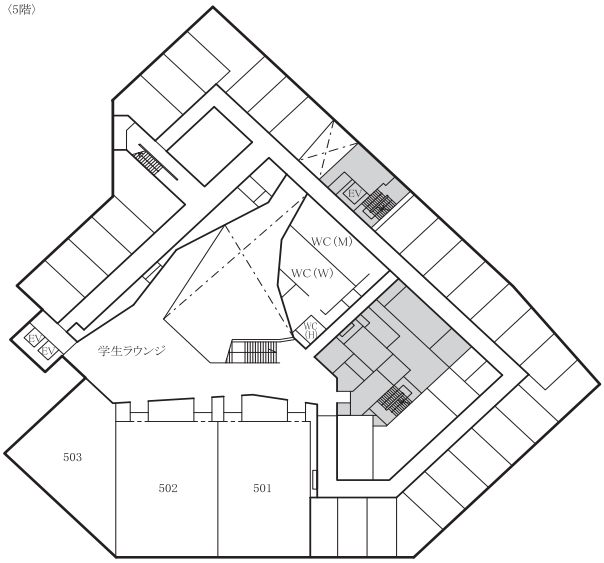
〈3階〉



〈4階〉



〈5階〉

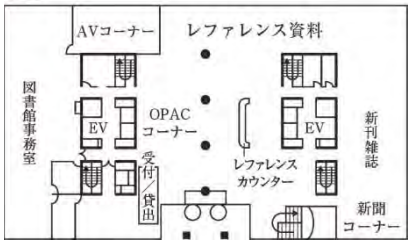


中央図書館・総合研究棟（Ｌ号館）

フロア案内

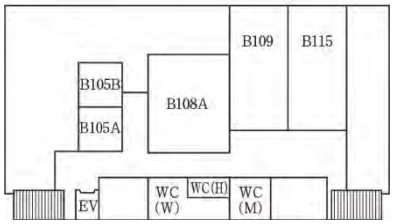
9階	中央書庫・閲覧席
8階	中央書庫・閲覧席
7階	中央書庫・閲覧席
6階	中央書庫・閲覧席
5階	中央書庫・閲覧席
4階	中央書庫・閲覧席
3階	雑誌・新聞・紀要・閲覧席
2階	館長室・理工系資料・コンピュータルームL1・L2・情報検索室・閲覧席
1階	新刊雑誌・新聞コーナー・レファレンス資料・レファレンスカウンター・貸出・返却・AVコーナー・図書館事務室・閲覧席
地下1階	学部学生用図書・ラーニングコモンズ・閲覧席・グループ学習室
地下2階	学部学生用図書・閲覧席

〈1階〉

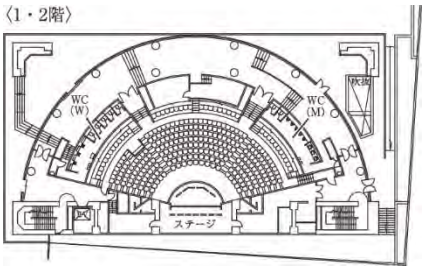


１０号館

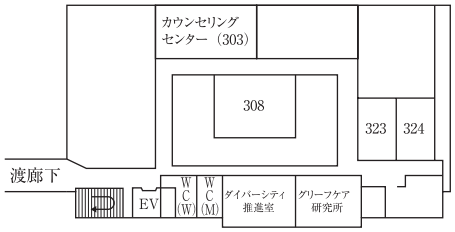
〈B1階〉



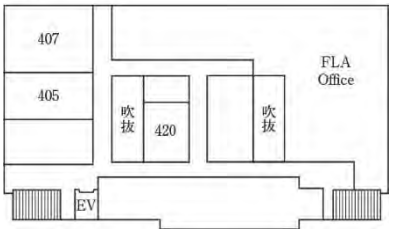
〈1・2階〉



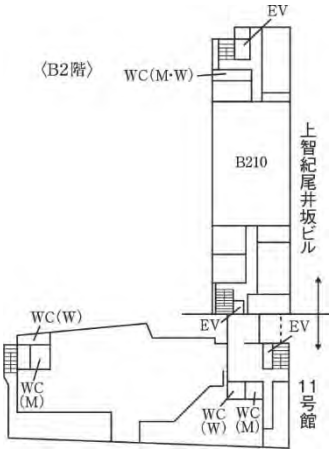
〈3階〉

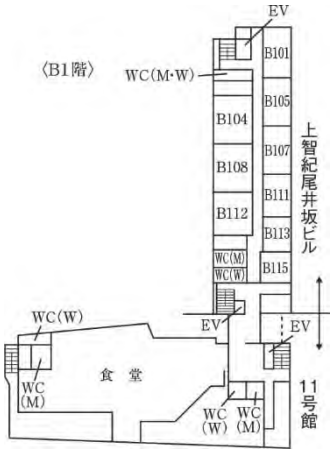


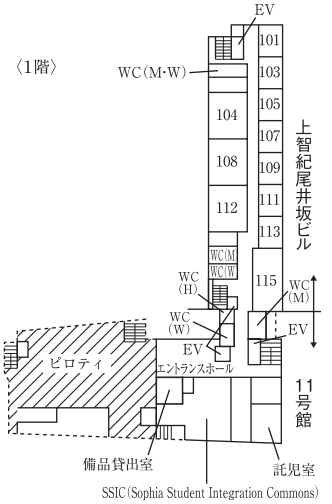
〈4階〉

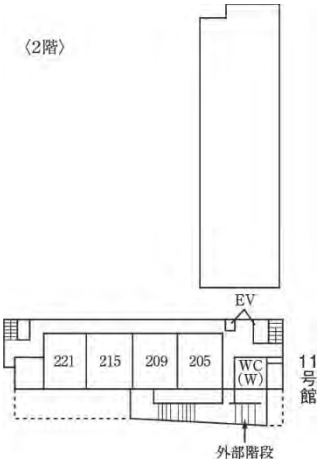


１１号館・上智紀尾井坂ビル

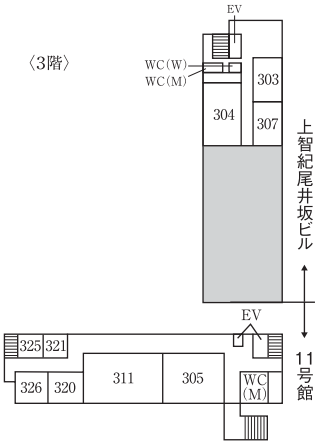


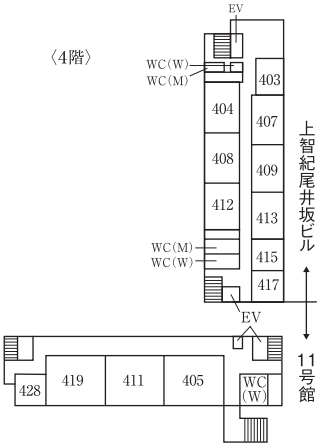


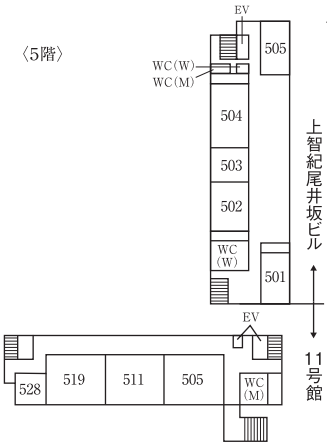


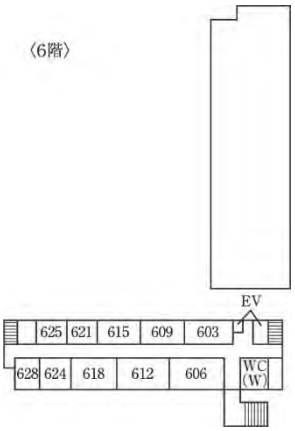


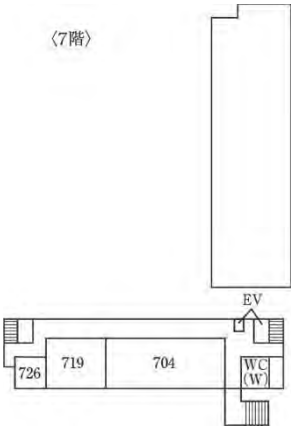
１１号館


〈3階〉
EV
WC(W)
WC(M)
303
304
307
上智紀尾井坂ビル
EV
325
321
326
320
311
305
WC(M)
11号館


〈4階〉
EV
WC(W)
WC(M)
403
404
407
408
409
412
413
WC(M)
WC(W)
415
417
上智紀尾井坂ビル
EV
428
419
411
405
WC(W)
11号館

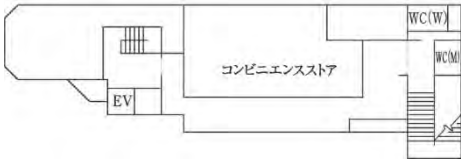

〈5階〉
EV
WC(W)
WC(M)
505
504
503
502
WC(W)
501
上智紀尾井坂ビル
EV
528
519
511
505
WC(M)
11号館


〈6階〉
EV
625
621
615
609
603
628
624
618
612
606
WC(W)

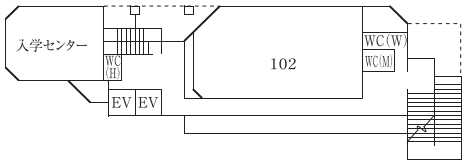

〈7階〉
EV
726
719
704
WC(W)

１２号館

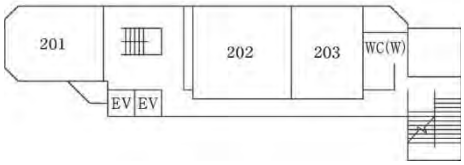
〈B1階〉



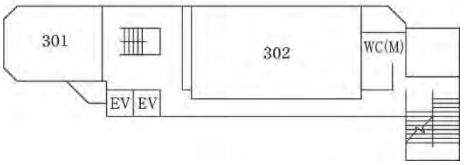
〈1階〉



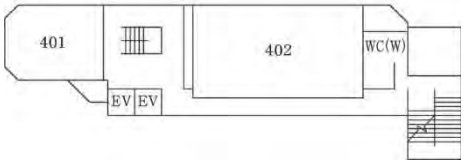
〈2階〉



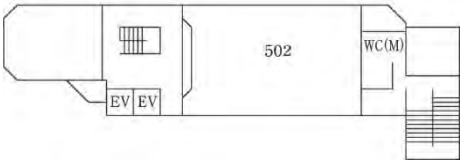
〈3階〉



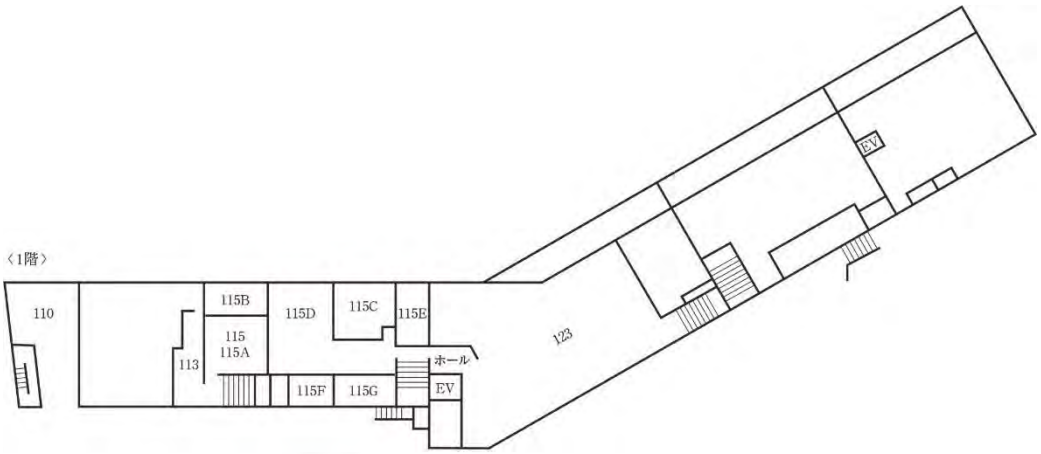
〈4階〉



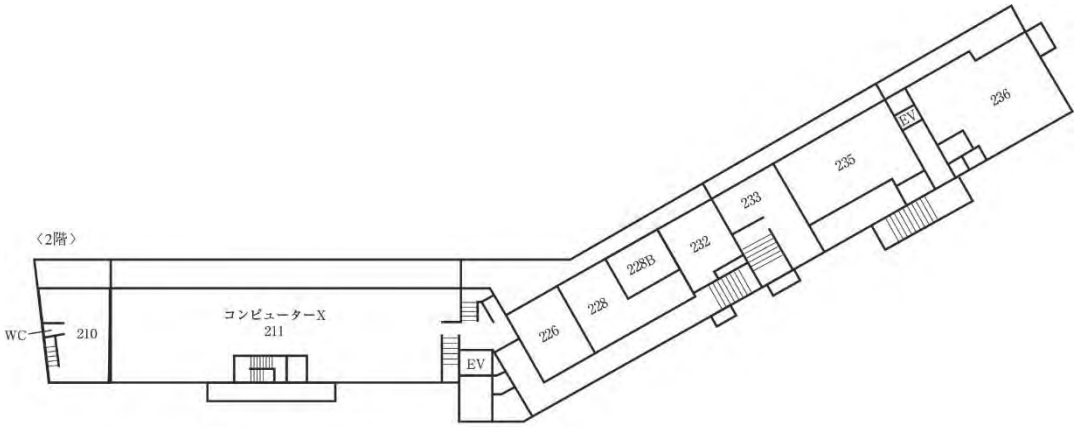
〈5階〉



クルップホール・マシンホール



1階平面図



2階平面図

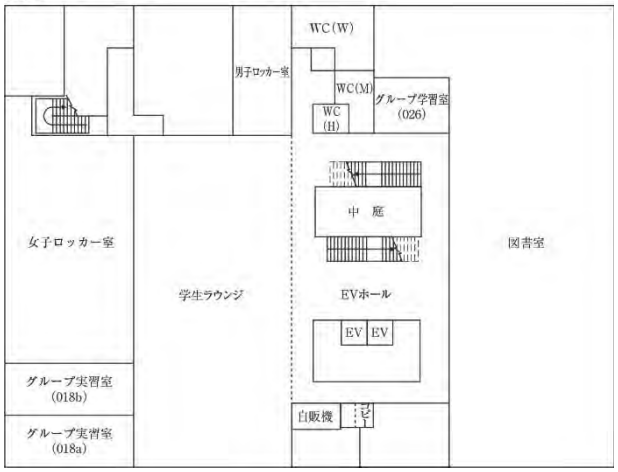
中央図書館・総合研究棟

９Ｆ	中央書庫（専門・研究図書，大型本，ピーター・ミルワードコレクション），閲覧席
	実践宗教学研究科研究室，上智大学史資料室，会議室
８Ｆ	中央書庫（専門・研究図書，研究所所蔵図書），閲覧席
	中世思想研究所，キリスト教文化研究所，キリシタン文庫，会議室，研究個室
７Ｆ	中央書庫（専門・研究図書，和装本，EU情報センター資料，研究所所蔵図書），閲覧席
	フランス文学研究室，フランス語研究室，アメリカ・カナダ研究所，グローバル・コンサーン研究所，哲学研究室，英米文学研究室，英語研究室，ヨーロッパ研究所，EU情報センター，神学研究科研究室，対面朗読室，研究個室
６Ｆ	中央書庫（専門・研究図書，研究所所蔵図書），閲覧席
	イベロアメリカ研究所，国文学研究室，教育学研究室，グローバル社会専攻研究室，ドイツ文学研究室，アジア文化研究所，会議室
５Ｆ	中央書庫（専門・研究図書），閲覧席
	社会学研究室，社会福祉研究室，言語学研究室，国際言語情報研究所，史学研究室，経済学研究室，看護学専攻院生用研究室，複写サービス室，会議室，研究個室，スタッフ用印刷室
４Ｆ	中央書庫（専門・研究図書），閲覧席
	法学研究室，国際関係論研究室，ロシア語研究室，新聞学研究室，文化交渉学研究室，看護学研究室，地球環境研究所，地域研究専攻研究室，メディア・ジャーナリズム研究所，準貴重資料室，会議室，研究個室
３Ｆ	雑誌書庫（人文・社会系雑誌バックナンバー），新聞書庫（新聞バックナンバー），大学紀要，閲覧席，共同研究室
	地球環境学研究科研究室，研究個室，職員ラウンジ
２Ｆ	専門・研究図書（理工系），雑誌書庫（理工系雑誌バックナンバー），理工系新着雑誌，レファレンス資料（理工系），閲覧席，コンピュータールーム L1・L2，OPAC コーナー
	言語学研究室，地球環境学研究科研究室，図書館事務室（館長室），モニュメンタ・ニポニカ
１Ｆ	OPACコーナー，カード目録，レファレンス資料（人文・社会系），新着図書展示書架，人文・社会系新着雑誌，新聞コーナー，閲覧席，貸出カウンター，レファレンスカウンター，AVコーナー，展示コーナー
	図書館事務室（総務・雑誌・選書・図書・レファレンス・閲覧）
Ｂ１	学部学生用図書，閲覧席，ラーニング・コモンズ，グループ学習室，学生ラウンジ，拡大読書機室，貸しロッカー，電話ボックス
Ｂ２	学部学生用図書，閲覧席
	図書館事務室（システム室），集密書庫

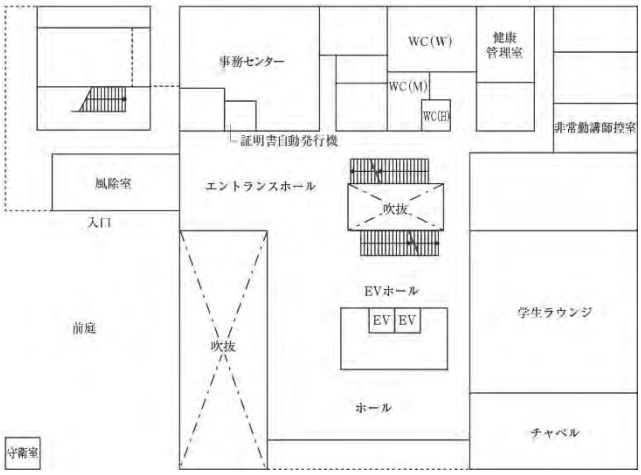
目白聖母キャンパス教室

１号館

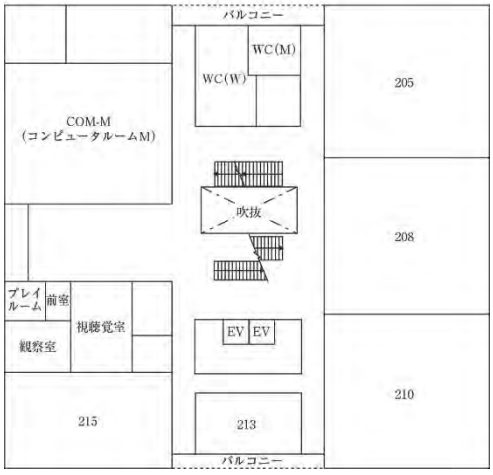
〈B1階〉



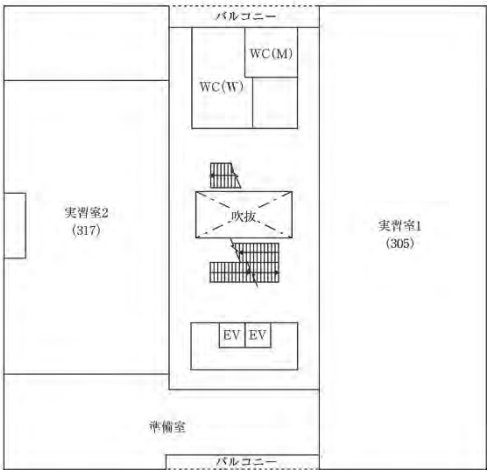
〈1階〉



〈2階〉

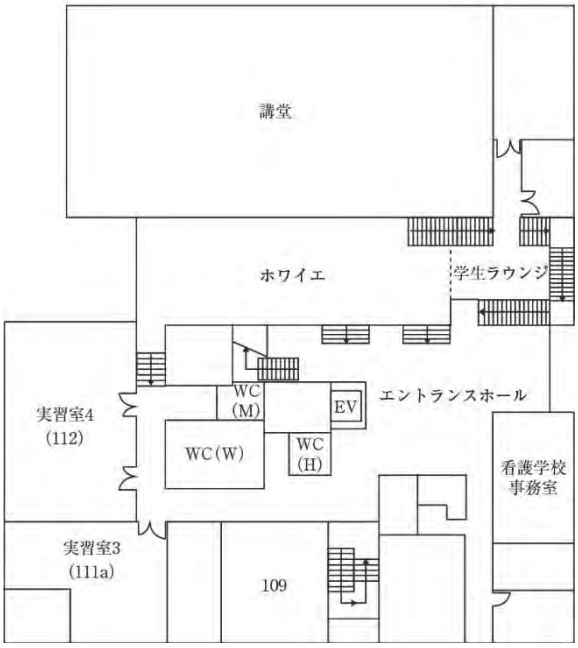


〈3階〉

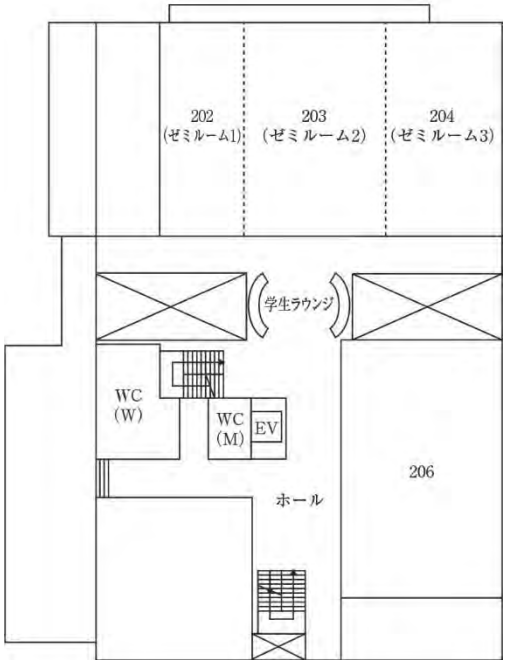


２号館

〈1階〉


講堂
ホワイエ
学生ラウンジ
実習室4
(112)
WC
(M)
EV
エントランスホール
WC(W)
WC
(H)
看護学校
事務室
実習室3
(111a)
109

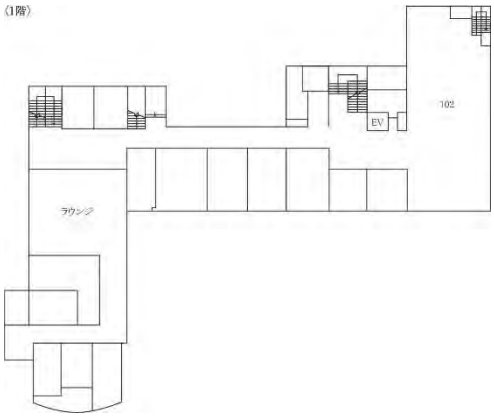
〈2階〉


202
(ゼミルーム1)
203
(ゼミルーム2)
204
(ゼミルーム3)
学生ラウンジ
WC
(W)
WC
(M)
EV
206
ホール

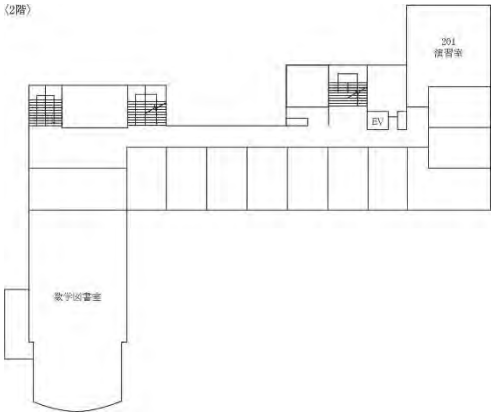
市谷キャンパス教室

本館

〈1 階〉

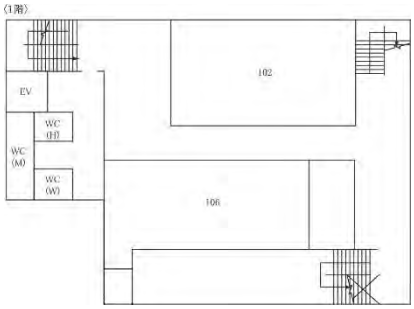


〈2 階〉



研究棟

〈1 階〉



資　　料

教員研究室・専攻事務室およびオフィスアワー一覧

研究室等略号

1:　1号館
2:　2号館
3:　3号館
4:　4号館
6:　6号館
7:　7号館
8:　8号館
9:　9号館
10: 10号館

紀　:上智紀尾井坂ビル
L　:L号館（中央図書館・総合研究棟）
KH:クルップホール
M　:マシンホール
市本:市谷キャンパス本館
市研:市谷キャンパス研究棟

＊外線から電話をかける場合は 03 － 3238 －××××（内線番号）としてください。

神学研究科

神学専攻

専攻事務室　7－1315A（内線 3207）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
FIRMANSYAH Antonius	講　師	7－1215	水 15:15～16:15	事前にメールで連絡
HAIDAR Juan	教　授	7－1213	月・水・木 9:15～10:30	その他の時間はメールによる予約で可
原　　敬　子	准教授	7－1316B	(春) 火 15:15～17:15 (秋) 木 15:15～17:15	その他の時間はメールによる予約で可
片　山　はるひ	教　授	7－1218	(春) サバティカル (秋) 金 11:00～12:00	その他の時間はメールによる予約で可
川　中　　仁	教　授	7－1214	月～金 11:00～12:00	事前にメールで予約必要
具　　正　謨	教　授	7－1311A	水 10:00～15:00	その他の時間はメールによる予約で可
小　山　英　之	教　授	7－1212	木 12:35～13:30	その他の時間はメールによる予約で可
光　延　一　郎	教　授	7－1312	金 13:00～15:00	事前にメールで予約必要
森　　裕　子	教　授	7－1316A	月 14:30～16:00	その他の時間はメールによる予約で可
佐久間　　勤	教　授	7－1317	火 11:00～12:30	事前にメールで予約必要
瀬　本　正　之	教　授	7－1223	月 17:20～19:00	その他の時間は予約で可
竹　内　修　一	教　授	7－1318B	(春) 木 15:25～17:05 (秋) サバティカル	その他の時間はメールによる予約で可
月　本　昭　男	教　授	7－1315B	火 13:30～14:30	その他の時間はメールによる予約で可
角　田　佑　一	講　師	7－1311B	(春) 火・金 11:00～12:00	その他の時間はメールによる予約で可

文学研究科

研究科事務室　7－1023（内線 3928）

哲学専攻

専攻事務室　7－324（内線 3801）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
長　町　裕　司	教　授	7－320	(春) 月 15:30～16:30, 木 15:15～16:30 (秋) 金 13:30～15:00	その他の時間はメールによる予約で可
荻　野　弘　之	教　授	7－325	月・金 13:30～14:30	その他メール予約可
大　橋　容一郎	教　授	7－326	火・金 12:30～13:30	その他の時間はメールによる予約で可
佐　藤　直　子	教　授	7－316	月 11:00～12:30	事前にメールで予約必要。アドレスは哲学科事務室に聞くこと
鈴　木　伸　国	准教授	7－315	木 11:00～12:30, 13:30～15:00	その他メール予約可
寺　田　俊　郎	教　授	7－317	サバティカル	

史学専攻

専攻事務室　7－922（内線 3590）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
藤　崎　　衛	准教授	7－919B	火・木 15:15～16:45	その他の時間は予約で可
北　條　勝　貴	教　授	7－919A	火 17:00～18:30，水 13:30～15:00	
井　上　茂　子	教　授	7－917	火・金 昼休み	その他の時間は予約で可
川　村　信　三	教　授	7－915	金 13:30～15:30	事前に予約必要
長　田　彰　文	教　授	7－912	水 11:00～12:30	事前に予約必要，その他の時間は予約で可
中　川　亜　希	准教授	7－913	火・水 昼休み	事前に予約必要
中　澤　克　昭	教　授	7－918	水 13:30～15:00	
坂　野　正　則	准教授	7－916	火 13:30～14:30	
笹　川　裕　史	教　授	7－911	サバティカル	事前に予約必要

国文学専攻

専攻事務室　7－824（内線 3637）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
福　井　辰　彦	准教授	7－813	水 10:50～11:50	
服　部　　隆	教　授	7－815	月 12:35～13:30	
木　村　　洋	准教授	7－816	月 12:35～13:30	
本　廣　陽　子	准教授	7－817	火 12:35～13:30	
長　尾　直　茂	教　授	7－818	月 12:35～13:30	
西　澤　美　仁	教　授	7－814	木 12:35～13:30	
瀬　間　正　之	教　授	7－821	木 12:35～13:30	
豊　島　正　之	教　授	7－823	木 15:15～16:15	

英米文学専攻

専攻事務室　7－519（内線 3601）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
舟　川　一　彦	教　授	7－1016	水 13:30～15:00	
飯　野　友　幸	教　授	7－1017	木 13:30～15:00	
池　田　　真	教　授	7－518	月～金 昼休み	
増　井　志津代	教　授	7－1015	（春）サバティカル （秋）火 13:30～15:00	
松　本　　朗	教　授	7－524	火 14:00～15:00	
永　富　友　海	教　授	7－515	水 13:30～15:00	
西　　能　史	准教授	7－516	水 11:00～12:30	
大　塚　寿　郎	教　授	7－514	火 13:30～15:00	
山　口　和　彦	準教授	7－513	火 13:30～15:00	
LOCKE　Brian	助　教	7－522	月 13:30～15:00	

ドイツ文学専攻

専攻事務室　7－619（内線 3680）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
中　村　朝　子	教　授	7－613	月 12:30～13:00，水 12:30～15:00（但し第3水曜除く），金 12:30～15:00	
佐　藤　朋　之	教　授	7－611	水 12:30～13:30，木 12:30～13:30，金 12:30～13:30	
髙　橋　明　彦	教　授	7－614A	火 17:00～，	事前に予約必要
DUPPEL Mechthild	教　授	7－614C	火 12:30～13:30，水 12:30～13:30	
中　井　真　之	准教授	7－622	月 15:15～16:45，木 13:30～15:00	
ZEMSAUER Christian	准教授	7－612	水 13:30～14:30，木 12:00～13:00	

フランス文学専攻

専攻事務室　7－717（内線 3621）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
福　田　耕　介	教　授	7－722	木 15:30～16:30，金 15:30～16:30	
DESPREZ Michaël	教　授	7－720	月 15:25～17:00，水 9:00～10:30	
永　井　敦　子	教　授	7－713	（春）木 11:00～11:45，金 12:50～13:20 （秋）木 13:00～13:30，金 12:50～13:20	
小　倉　博　孝	教　授	7－721	月 15:15～16:15，木 13:30～14:30	
PEYRON Bruno	教　授	7－716	月 13:30～15:00，火 13:30～15:00	
吉　村　和　明	教　授	7－718	火 13:30～15:00，木 15:25～16:25	

新聞学専攻

専攻事務室　7－1123（内線 3631）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
阿　部　る　り	准教授	7－1117	木 12:40～13:20	
碓　井　広　義	教　授	7－1120	火 12:40～13:20，水 12:40～13:20	
小此木　　潔	教　授	7－1118	月 12:40～13:20，火 12:40～13:20	
音　　好　宏	教　授	7－1115	火 12:40～13:20，木 12:40～13:20	
柴　野　京　子	准教授	7－1124	サバティカル	
鈴　木　雄　雅	教　授	7－1119	火 12:40～13:20，木 12:40～13:20	HP参照
水　島　宏　明	教　授	7－1113	水 12:40～13:20，木 12:40～13:20	
渡　邊　久　哲	教　授	7－1116	月 12:40～13:20，水 12:40～13:20	事前メール予約，左記以外でも可の場合有
国　枝　智　樹	准教授	7－1019	水 12:35～13:20，木 12:35～13:20	事前メール予約必要，左記以外でも可の場合有

文化交渉学専攻

専攻事務室　7－1023（内線 3932）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
小　林　幸　夫	教　授	7－822	水 12:35～13:30	
三　輪　玲　子	教　授	7－615	火・水・金 12:40～13:20	事前に予約必要
山　内　弘　一	教　授	7－923	水 14:00～15:00	
CHEETHAM Dominic	教　授	7－523	（春）木 11:00～12:00 （秋）水 13:30～14:30，木 11:00～12:00	
博　多　かおる	教　授	7－715	（春）木 15:15～16:15，金 12:35～13:25 （秋）木 14:20～15:20，金 12:35～13:25	

実践宗教学研究科

死生学専攻

専攻事務室　10－321（内線 4699）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
島　薗　　進	教　授	10－611	金 17:00～18:00	by appointment
伊　藤　高　章	教　授	10－609	水 16:00～17:00	by appointment
寺　尾　寿　芳	教　授	10－605	木 14:00～15:00	その他の時間はメールによる予約で可
髙　山　貞　美	教　授	7－1211	金 14:30～15:30	その他の時間はメールによる予約で可
浅　見　昇　吾	教　授	2－1012	金 15:00～16:00	by appointment
武　田　なほみ	教　授	7－1217	木 11:00～12:00	その他の時間はメールによる予約で可
塚　本　尚　子	教　授	2－1602	木 12:30～14:30	事前にメールで予約必要
吉　田　美和子	准教授	7－217	火・金 15:30～16:30	その他の時間はメールによる予約で可

総合人間科学研究科

研究科事務室　2－1430a（内線 4434）

教育学専攻

専攻事務室　2－1430a（内線 3650）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
上　野　正　道	教　授	2－1417	月 12:30～13:30	
加　藤　守　通	教　授	2－1416	火 14:00～15:00	
奈　須　正　裕	教　授	2－1422	火 15:15～16:45	事前にメールで予約必要
杉　村　美　紀	教　授	2－1420	火 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
小　松　太　郎	教　授	2－1421	水 13:30～15:00	
湯　川　嘉津美	教　授	2－1419	水 13:30～15:00	
酒　井　　朗	教　授	2－1423	水 12:30～13:30	
相　澤　真　一	准教授	2－1418	金 11:00～12:00	

心理学専攻

専攻事務室　6－632（内線 3926）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
道　又　　爾	教　授	6－622	水 13:30～14:30	面談希望の場合，必ず事前にメールで予約必要 メールアドレスは事務室に尋ねること
横　山　恭　子	教　授	6－627	木 12:30～13:20	
久　田　　満	教　授	6－624	水・木 12:30～13:30	
廣　瀬　英　子	教　授	6－626	金 12:40～13:30	
岡　田　　隆	教　授	6－630	金 12:30～13:30	
樋　口　匡　貴	教　授	6－623	火 12:30～13:15	
松　田　　修	教　授	6－625	月 12:30～13:20	
吉　村　　聡	教　授	6－621	火 12:35～13:25	
毛　利　伊　吹	准教授	6－628	火 12:30～13:30	
齋　藤　慈　子	准教授	6－629	木 12:30～13:15	
吾　妻　　壮	教　授	6－620	水 12:40～13:30	
山　下　竜　一	特任助教	6－616	火・木 12:30～13:30	
長　堀　加奈子	特任助教	6－616	月 12:45～13:30	

社会学専攻

専攻事務室　2－1430a（内線 3549）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
藤　村　正　之	教　授	2－1424	火 11:30～12:30	
芳　賀　　学	教　授	2－1401	金 11:00～12:30	
今　井　　順	教　授	2－1427	火 4限	
渡　辺　　深	教　授	2－1404	(春) 火 13:30～15:10 (秋) 木 15:25～17:00	
田　渕　六　郎	教　授	2－1402	火・木 昼休み	
植　田　今日子	教授	2－1425	木 15:25～17:00	
猿　谷　弘　江	准教授	2－1426	サバティカル	
HOMMERICH Carola	准教授	2－1408	(秋) 木 4限	事前にメールで予約必要 他の時間も随時メールで相談可。
細木 一十稔 ラルフ	助教	2－1403	水 12:40～13:40	その他の時間帯は，事前に予約すること

社会福祉学専攻

専攻事務室　2－1430a（内線 3849）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
伊　藤　冨士江	教　授	2－1508	(春) 月 12:30～13:30 (秋) 火 12:30～13:30	他の時間は随時メールで連絡すること
藤　井　賢一郎	准教授	2－1510	水 13:00～15:00	事前にメールで予約必要，他の時間も随時メールで相談可。
岡　　知　史	教　授	2－1504	(春) 火・金 17:20～19:00 (秋) 月 13:30～15:10, 金 13:30～15:10　17:20～19:00	その他の時間帯は，メール(t-oka @sophia.ac.jp) で事前に予約してください。
髙　山　惠理子	准教授	2－1503	(春) 月 12:35～13:25 (3Q) 火 12:35～13:25 (4Q) 金 15:00～16:00	
栃　本　一三郎	教　授	2－1509	水 13:00～15:00	その他研究室ホワイトボートに掲示
笠　原　千　絵	准教授	2－1507	(春) 火 12:35～13:25 (秋) 木 12:35～13:25	
新　藤　こずえ	准教授	2－1512	(春) 金 10:55～12:35 (秋) 火 10:55～12:35	可能な限り，事前にメール等でアポイントメントをとること。

看護学専攻

専攻事務室　2－1430a（内線 3278）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
石　川　ふみよ	教　授	(四谷)2-1623	(春) 火 9:00～17:05 (秋) 火 9:00～12:35	事前に予約が必要
		(目白)1-416	(春) 金 13:30～19:00 (秋) 月 15:25～19:00	
草　柳　浩　子	教　授	(四谷)2-1628	火 12:30～13:30	事前に予約が必要
		(目白)1-409	月 12:30～13:30	
小長谷　百　絵	教　授	(四谷)2-1601	水 12:30～13:30	事前にメールで予約が必要
		(目白)1-418	木 12:30～13:30	
西　山　悦　子	教　授	(四谷)2-1627	水 10:00～14:00	事前にメールで予約が必要
		(目白)1-411	金 12:30～13:30	
島　田　真理恵	教　授	(四谷)2-1624	水 12:30～13:30	事前に予約が必要
		(目白)2-313	木 12:30～13:30	

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
塚　本　尚　子	教　授	(四谷)2-1602	木 12:30～14:30	事前にメールで予約が必要
		(目白)1-410	月 15:00～17:00	
舩　木　由　香	准教授	(四谷)2-1617	木 12:30～13:30	事前にメールで予約が必要
		(目白)1-401	火 12:30～13:30	
礒　山　あけみ	准教授	(四谷)2-1622	水 12:30～13:30	事前にメールで予約が必要
		(目白)2-314	木 12:30～13:30	
小　髙　恵　実	准教授	(四谷)2-1626	火 15:00～17:00	事前にメールで予約が必要
		(目白)1-406	金 10:00～12:00	
岡　本　菜穂子	准教授	(四谷)2-1625	水 12:30～13:30	事前にメールで予約が必要
		(目白)1-407	木 12:30～13:30	
渡　邊　知　映	准教授	(四谷)2-1621	水 10:00～12:00	事前にメールで予約が必要
		(目白)1-417	月 12:30～13:30	
山　口　淑　恵	准教授	(四谷)2-1603	水 12:30～13:30	事前に予約が必要
		(目白)1-402	金 12:30～13:30	
吉　野　八　重	准教授	(四谷)2-1629	(春) 火 12:35～13:30 (秋) 木 12:35～13:30	事前にメールで予約が必要
		(目白)1-408	(春) 木 12:35～13:30 (秋) 金 12:35～13:30	

法学研究科

法律学専攻

専攻事務室　2－1230a（内線 3231）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
甘　利　公　人	教　授	2－1216	月 15:15～16:45, 火 11:00～12:30	(k-amari@sophia.ac.jp)
安　西　明　子	教　授	2－1208	木 15:30～16:30	メールアドレス非公開
筑　紫　圭　一	准教授	2－1303	水 12:40～13:30	事前に用件を記してメールで予約すること
出　口　耕　自	教　授	2－1413	(春) 火・木 12:35～13:30 (秋) サバティカル	メールアドレス非公開
江　藤　淳　一	教　授	2－1328	火 15:00～16:30	事前に用件を記してメールで予約すること
江　藤　祥　平	准教授	2－1209	火 12:40～13:30	メールアドレスは初回の講義で周知する。
羽　生　香　織	教　授	2－1307	水 12:30～13:30	事前に用件を記してメールで予約すること
原　　強	教　授	2－1318	(春) 木 12:30～13:30 15:00～16:00 (秋) 月 12:30～13:30	その他事前予約を条件に随時面会可能
堀　口　健　夫	教　授	2－1324	木 13:00～14:30	前日までに必ずメール予約のこと
伊　藤　栄　寿	教　授	2－1314	月 12:35～13:30	事前に用件を記してメールで予約すること。メールは授業時に確認してください。
伊　藤　　渉	教　授	2－1310	水 11:00～12:30	事前に予約必要。メールアドレス非公開
伊　藤　雄　司	教　授	2－1301	月 15:15～16:45	事前に予約必要。メールは授業時に確認してください。
岩　田　　太	教　授	2－1414	月 12:00～13:00	事前に用件を記してメールで予約すること
兼　原　敦　子	教　授	2－1219	月 17:00～18:00	１週間前までにメールで質問事項を含めて連絡すること

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
加藤浩三	教授	2－1302	火 14:30～15:30	事前に用件を記してメールで予約すること。メールアドレスは初回授業で周知する。
川瀬剛志	教授	2－1326	(春) 木 13:00～14:30 (秋) 水 13:30～15:00	但し他の公務でやむを得ず在室できない場合があるので，事前に用件を記してメールで予約すること（随時他の曜日・時間帯に変更することもある）
北村喜宣	教授	2－1214	金 15:15～16:00	それ以外はメールで個別アポイント
駒田泰土	教授	2－1409	金 11:00～12:30	事前に用件を記してメールで予約すること
小山泰史	教授	2－1316	木 15:15～16:45	左記の時間内であれば事前の予約は不要，他はメールで予約すること
楠　茂樹	教授	2－1207	水 13:30～15:00	事前に用件を記してメールで予約すること
桑原勇進	教授	2－1223	(春) 月 14:00～15:00 (秋) 金 10:55～12:35	メールアドレス非公開
巻美矢紀	教授	2－1201	(秋) 火 11:00～12:30	メールアドレス非公開
松井智予	教授	2－1323	月 12:30～13:30	事前に用件を記してメールで予約すること
松本尚子	教授	2－1410	水 11:00～13:00	事前に用件を記してメールで予約すること
三浦まり	教授	2－1308	火 15:15～16:45	メールで予約してください。 (miura-m@sophia.ac.jp)
森下哲朗	教授	2－1202	火 13:30～15:00	事前に用件を記してメールで予約すること（tetsu-mo@sophia.ac.jp）
長沼範良	教授	2－1317	月 13:00～14:30，木 15:00～16:30	
永野仁美	教授	2－1407	サバティカル	
小幡純子	教授	2－1210	金 15:15～15:45	メールアドレス非公開，事前に予約必要
越智敏裕	教授	2－1325	木 12:30～13:30	メールアドレス非公開
大橋真由美	教授	2－1218	水 12:35～13:30	事前に用件を記してメールで予約すること
岡部みどり	教授	2－1217	火 13:30～15:10	事前に用件を記してメールで予約すること
奥田純一郎	教授	2－1412	火 13:30～15:00，木 13:30～15:00	事前に用件を記してメールで予約すること（j-okuda@sophia.ac.jp）
奥冨　晃	教授	2－1329	火 15:30～16:30	メールアドレス非公開
大塚智見	准教授	2－1322	火 13:30～15:00	事前に予約が必要 (t-otsuka@sophia.ac.jp)
佐藤岩昭	教授	2－1220	火 15:15～16:15	講義時間の前後に教室で予約すること，メールアドレス非公開
佐藤結美	准教授	2－1327	火 15:15～16:45	事前に用件を記してメールで予約すること（メールアドレスは事務室で確認すること）
田頭章一	教授	2－1320	月 12:00～13:00	メールで予約することが望ましい，メールアドレス非公開
照沼亮介	教授	2－1312	火 14:00～15:00	左記の時間帯はあくまで一例であり，いずれの場合も事前に用件を記してメールで予約すること。

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
富　永　晃　一	教　授	2－1304	水 12:30～13:30	左記以外の時間帯も調整して対応できる場合がある。いずれの場合も事前に用件を記してメールで予約すること（メールアドレスは初回授業で告知する）
梅　村　　悠	教　授	2－1311	水 11:00～13:20	事前に用件を記してメールで予約すること。メールアドレスは初回の授業で周知する。
矢　島　基　美	教　授	2－1222	サバティカル	

経済学研究科

経済学専攻

専攻事務室　2－1115a（内線 3203）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
青　木　　研	教　授	2－1121	(春) 金 11:30～13:30 (秋) サバティカル	
出　島　敬　久	教　授	2－1007	水 13:00～13:30	
本　田　文　子	准教授	2－1019	金 15:30～17:00	その他の時間は事前メールで予約必要
堀　江　哲　也	准教授	2－1103	水　9:30～12:15	
釜　賀　浩　平	准教授	2－1021	(春) サバティカル (秋) 水 12:40～13:25	
川　西　　諭	教　授	2－1128	月 12:45～13:45	
近　藤　広　紀	教　授	2－1119	木 13:30～15:00	
倉　田　正　充	准教授	2－1122	水 12:30～13:20	事前にメールで予約必要
來　島　愛　子	教　授	2－1009	水 9:30～11:00	事前にメールで予約必要
南　橋　尚　明	准教授	2－1127	(春) 金 14:00～15:00 (秋) 火 14:00～15:00	その他の時間は事前メールで予約必要
中　里　　透	准教授	2－1120	金 12:50～13:20	
SCHLEGL Matthias	助　教	未定	月 15:30～17:00	
竹　田　陽　介	教　授	2－1118	木 13:00～13:30	事前にメールで予約必要
竹　内　明　香	准教授	2－1024	(春) サバティカル (秋) 水 12:30～13:15	前日までに予約必要
蓬　田　守　弘	教　授	2－1102	火 14:00～15:00	

経営学専攻

専攻事務室　2－1115a（内線 3203）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
網　倉　久　永	教　授	2－1109	水 13:30～15:00	
新　井　範　子	教　授	2－1117	木 13:30～14:30	事前にメールで予約必要
細　萱　伸　子	准教授	2－1022	水 12:30～13:15	事前にメールで予約必要
石　井　昌　宏	教　授	2－1025	サバティカル	事前にメールで予約必要
JOHNS　Adam	准教授	2－1124	水 12:30～13:20	事前にメールで予約必要
小　阪　玄次郎	准教授	2－1023	月 11:30～12:30	
関　　廷　媛	准教授	2－1125	水 14:30～15:30	事前にメールで予約必要
西　澤　　茂	教　授	2－1126	(春) 木 12:30～13:30 (秋) サバティカル	事前にメールで予約必要
杉　本　徹　雄	教　授	2－1110	(春) サバティカル (秋) 火 12:40～13:30	
杉　谷　陽　子	教　授	2－1108	水 12:30～13:30	
竹之内　秀　行	教　授	2－1116	火 12:40～13:30	

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
王　　志	准教授	2－1104	水 15:30～16:30	事前にメールで予約必要
若林利明	助　教	2－1008	火 14:00～15:00	
山田幸三	教　授	2－1101	火 12:40～13:20	事前に予約必要
河合憲史	准教授	未定	(秋) 火 11:00～14:00	

言語科学研究科

言語学専攻

専攻事務室　L－514 (内線 4160)

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
秋山真一	准教授	2－713	サバティカル	
COUCHOT Hervé	教　授	2－728	月 13:00～17:00, 木 15:00～18:00	事前に予約必要
AROZ Aingeru	准教授	2－811	月 11:00～12:00	その他の時間は予約で可
FAIRBROTHER Lisa	教　授	2－914	サバティカル	
福井直樹	教　授	2－709	火 17:00～18:00	事前にメールで予約必要
福崎裕子	教　授	2－727	金 13:30～15:00	事前に予約必要
原　　惠子	准教授	2－724	水 13:30～14:30	事前にメールで予約必要
原　　求作	教　授	2－718	水 11:00～13:00	
原田早苗	教　授	2－726	月 14:00～15:25	事前に予約必要
市之瀬　　敦	教　授	2－1029	水・金 12:45～13:20	事前に予約必要
和泉伸一	教　授	2－916	(春) 月 17:20～19:00 (秋) 水 15:25～17:05	事前にメールで予約必要
加藤孝臣	准教授	2－710	サバティカル	事前に予約必要
北原真冬	教　授	2－904	火・水 12:45～13:30	事前にメールで予約必要
小柳かおる	教　授	6－524	(春) サバティカル (秋) 金 13:30～15:00	事前に予約必要
LIPSKY Angela	教　授	2－1014	水 14:00～15:30	or by appointment
峯　　布由紀	准教授	6－514	火 13:30～15:10	事前に予約必要
村田真一	教　授	2－711	木 14:30～16:00	事前に予約必要
NEVES Mauro	教　授	2－1003	金 15:25～17:05	事前にメールで予約必要
西村君代	教　授	2－816	水 13:30～15:10	その他の時間は予約で可
坂本光代	教　授	2－922	木 12:35～13:30	by appointment
清水崇文	教　授	6－519	水 17:20～18:20	事前にメールで予約必要
高橋亮介	教　授	2－1013	木 13:30～15:10	下記に事前予約要 (ry-takah@sophia.ac.jp)
髙橋由美子	教　授	2－1018	火 13:00～14:00	下記に事前予約要 (y_takaha@sophia.ac.jp)
TOIDA Helena	教　授	2－1028	月・水 12:00～13:00	その他の時間は予約で可
TUCHAIS Simon	教　授	2－702	水・木 15:00～16:00	事前に予約必要
渡部良典	教　授	2－723	木 13:30～14:30	事前にメールで予約必要
吉田研作	教　授	6－530	水 11:00～12:30	事前にメールで予約必要
吉畑博代	教　授	2－722	火 17:00～18:30	事前に予約必要

グローバル・スタディーズ研究科

研究科事務室　10－435（内線 4075）

国際関係論専攻

専攻事務室　2－830（内線 3562）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
下　川　雅　嗣	教　授	2－611	（春）木 15:00～16:45 （秋）サバティカル	その他の時間は予約で可
蘭　　信　三	教　授	2－622	水 17:30～19:00	その他の時間は予約で可
樋　渡　由　美	教　授	2－614	木 11:30～12:30	その他の時間は予約で可
鈴　木　一　敏	教　授	2－619	水 15:30～17:00	その他の時間は予約で可
岸　川　　毅	教　授	2－621	（春）水 13:30～15:10 （秋）サバティカル	その他の時間は予約で可
都　留　康　子	教　授	2－824	水 10:55～12:35	その他の時間はメールで予約可
廣　里　恭　史	教　授	2－610	木 13:30～15:00	その他の時間は予約で可
前　嶋　和　弘	教　授	2－809	月 17:00～18:30	その他の時間は予約で可
木村　護郎ｸﾘｽﾄﾌ	教　授	2－1010	月 12:30～13:30	その他の時間はメールで予約可 (g-kimura@sophia.ac.jp)
河　﨑　　健	教　授	2－1016	サバティカル	
湯　浅　　剛	教　授	2－712	未定	未定
宮　城　大　蔵	教　授	2－618	（春）サバティカル （秋）木 15:30～16:30	その他の時間は予約で可
稲　葉　奈々子	教　授	2－612	水 11:00～12:30	その他の時間は予約で可
渡　辺　紫　乃	教　授	2－617	木 13:30～14:30	その他の時間は予約で可
高　島　　亮	准教授	2－620	（春）サバティカル （秋）金 10:55～12:35	その他の時間は予約で可
安　達　祐　子	教　授	2－716	水 12:30～13:30	その他の時間は予約で可
飯　島　真里子	准教授	2－911	水 13:30～15:00	その他の時間は予約で可
植　木　安　弘	教　授	2－823	水 15:25～16:25	その他の時間は予約で可

地域研究専攻

専攻事務室　2 － 830　（内線 4431）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
赤　堀　雅　幸	教　授	2－628	月 13:30～15:00	その他の時間は予約で可
岩　崎　えり奈	教　授	2－703	サバティカル	
澤　江　史　子	教　授	2－608	水 15:15～16:45	その他の時間は予約で可
辻　上　奈美江	准教授	2－629	水 10:55～12:35	要事前予約
久志本　裕　子	准教授	2－627	火 12:30～14:00	その他の時間は予約で可
根　本　　敬	教　授	2－625	火 12:30～13:30，木 12:30～13:30	その他の時間は予約で可
福　武　慎太郎	教　授	2－616	（春）サバティカル （秋）火 12:45～13:30，水 12:45～13:30	その他の時間は予約で可
丸　井　雅　子	教　授	2－626	（春）水 13:30～15:00 （秋）サバティカル	その他の時間は予約で可
田　中　雅　子	教　授	2－810	木 12:30～13:30	その他の時間も含め，要事前予約
AUGUSTINE Sali	教　授	2－609	月 12:00～13:00	メールによる調整可
子　安　昭　子	教　授	2－1004	月 12:00～13:30	
谷　　洋　之	教　授	2－812	金 13:10～15:10	
田　村　梨　花	教　授	2－1001	サバティカル	
長谷川　ニ　ナ	教　授	2－814	サバティカル	
幡　谷　則　子	教　授	2－818	木 13:00～14:00，金 12:30～13:30	いずれも事前にアポイントメント必要
眞　城　百　華	准教授	2－607	月 15:25～17:05	その他の時間は予約で可

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
矢　澤　達　宏	教　授	2－1002	火 12:45～13:20，木 12:45～13:20	その他の時間は予約で可
内　村　俊　太	准教授	2－817	水 10:55～12:35	その他の時間は予約で可
高　橋　暁　生	教　授	2－725	月 13:30～15:10	要事前予約
松　原　典　子	教　授	2－821	火 10:55～12:35	その他の時間は予約で可

グローバル社会専攻

専攻事務室　10－441（内線 4004）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
安　野　正　士	准教授	10－525	火・金 13:30～14:30	その他の時間は予約で可
浅　野　哲　人	准教授	10－555	月・木 14:00～15:00	その他の時間は予約で可
BURRETT Tina	准教授	10－522	木 10:00～10:45	その他の時間は予約で可
CHOO Kukhee	助　教	10－632	(春) 火 15:15～16:30	
出　口　真紀子	准教授	2－924	月 10:55～12:35，木 12:35～13:30	その他の時間は予約で可
DE MAEYER Peter	准教授	10－533	金 13:30～15:10	その他の時間は予約で可
DROTT Edward	准教授	10－653	(春) 月 13:30～15:10，木 12:40～13:30 (秋) 月 12:40～13:25，木 15:25～17:05	その他の時間は予約で可
FAHY Sandra	准教授	10－505	(春) 火 14:00～15:00，(秋) サバティカル	
FARRER James	教　授	10－503	サバティカル	
FUENTES CORDOBA Gabriel	助　教	未定	火・金 14:30～15:30	その他の時間は予約で可
GRAMLICH-OKA Bettina	教　授	L－223	金 12:35～13:25	その他の時間は予約で可
HAGHIRIAN Parissa	教　授	10－535	(春) サバティカル，(秋) 月 12:30～13:30	
長谷部　拓　也	准教授	10－553	月・木 12:40～13:25	その他の時間は予約で可
林　　道　郎	教　授	10－628	月・木 13:00～15:00	
HESS Christian	准教授	10－518	(春) サバティカル，(秋) 木 11:00～13:00	その他の時間は予約で可
井　坂　直　人	准教授	10－543	(春) 金 13:00～14:00 (秋) 火・金 12:50～13:20	その他の時間は予約で可
伊　藤　　毅	准教授	10－530	(春) サバティカル，(秋) 月 12:35～13:25	その他の時間は予約で可
KHOJASTEH Yacob	准教授	10－549	(春) 火・金 15:20～16:30 (秋) 火・金 10:00～10:50	その他の時間は予約で可
河　野　至　恩	准教授	10－637	(春) 金 15:15～16:00，(秋) サバティカル	その他の時間は予約で可
村　井　則　子	准教授	10－634	火 14:00～15:00	その他の時間は予約で可
村　上　辰　雄	准教授	10－655	火・金 15:15～16:00	その他の時間は予約で可
中　野　晃　一	教　授	国際教養学部長室	月 13:30～14:30	その他の時間は予約で可
置　田　清　和	助　教	10－649	火 13:30～14:30	その他の時間は予約で可
SAALER Sven	教　授	10－516	月 12:45～13:30	その他の時間は予約で可
坂　根　みちる	准教授	10－541	(春) 火・金 12:15～13:15 (秋) 火・金 15:25～16:25	その他の時間は予約で可
SLATER David	教　授	10－509	サバティカル	
STRECHER Matthew	教　授	10－642	火 11:00～12:00	その他の時間は予約で可
菅　原　友　香	准教授	10－501	月・木 12:40～13:25	
THOMPSON Mathew	准教授	10－644	火 13:30～15:10	
上　西　順　子	准教授	10－557	(春) 金 17:10～18:10 (秋) 金 10:50～11:50	その他の時間は予約で可
WANK David	教　授	10－512	木 14:15～15:15	その他の時間は予約で可
渡　辺　剛　弘	准教授	10－514	火・金 10:00～10:40	その他の時間は予約で可

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
YIU Angela	教　授	国際教養 学科長室	(春) 火・木 13:00～15:00 (秋) 火・金 15:30～17:00	面会はすべて専攻事務室を通して予約すること

理工学研究科

研究科事務室　3－547A (内線 3300)

理工学専攻

機械工学領域

事務室　3－317A (内線 3310)

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
長　嶋　利　夫	教　授	3-234B	火 12:35～13:30	他の時間帯は随時メールで予約
曄　道　佳　明	教　授	3-235A	水 12:35～13:30	事前にメールで予約。他の時間帯は随時メールで予約 (y-terumi@sophia.ac.jp)
竹　原　昭一郎	准教授	KH－326	月・火・水 12:35～15:00	講義・会議以外，事前に予約必要
鈴　木　　隆	教　授	8－203B	月～金 9:00～18:00	事前にメールで予約必要
一　柳　満　久	准教授	8－204B	月～金 11:00～17:00	事前にメールで予約必要
築　地　徹　浩	教　授	8－206B	水 12:35～13:30	他の時間帯も含めて随時メールで予約
渡　邉　摩理子	准教授	8－206A	木 16:00～17:00	事前に予約必要
DZIEMIŃSKA Edyta	准教授	8－205B	月～金 9:30～17:00	事前にメールで予約必要
田　中　秀　岳	准教授	KH－329	月～金 13:30～17:00	事前予約必要
申　　鉄　龍	教　授	8－201B	月～金 11:00～17:00	
高　井　健　一	教　授	KH－428	月～金 10:00～18:00	
久　森　紀　之	教　授	KH－426	月～金 11:00～17:00	事前にメールで予約必要
曹　　文　静	助　教	8－202B	月～金 11:00～17:00	事前にメールで予約必要
張　　月　琳	助　教	3-234A	月～金 9:30～17:00	事前にメールで予約必要

電気・電子工学領域

事務室　3－317A (内線 3310)

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
藤　井　麻美子	准教授	市本－120A	月 12:00～13:30	メールで予約必要
林　　等	教　授	市本－118A	金 12:40～13:10	事前にMoodleで予約必要
菊　池　昭　彦	教　授	3－245B	火・水・木 12:35～13:30	他の時間帯も含め事前にメールで予約必要
宮　武　昌　史	教　授	3－241A	火 14:00～15:20，木 12:15～13:15	その他の時間はメールでの予約で可
中　村　一　也	准教授	3－246A	月～金 11:00～17:00	事前にメールで予約
中　岡　俊　裕	教　授	4－175D	月～金 10:00～17:00	事前にメールで予約必要
野　村　一　郎	教　授	3－136A	月～金 10:00～12:30，13:30～17:00	事前にメールで予約必要
小　川　将　克	教　授	市本－307B	金 12:35～13:30	事前にメールで予約必要
坂　本　織　江	准教授	3－235B	水 11:00～12:30	その他の時間は予約で可
下　村　和　彦	教　授	3－143A	月～金 10:00～17:00	
高　橋　　浩	教　授	市本－110	月・火・水 11:00～15:00	他の時間帯はメールで予約必要
高　尾　智　明	教　授	3－238B	月～金 12:35～13:30	事前にメールで予約必要
谷　貝　　剛	教　授	3－220	月～金 11:00～17:00	事前にメールで予約必要
富　樫　理　恵	助　教	8－401B	月～金 11:00～17:00	事前にメールで予約必要
李　　寧	助　教	9－758B	月～水 14:00～17:00	事前にメールで予約必要

応用化学領域

事務室　3－443A（内線 3360）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
藤　田　正　博	教　授	4－373A	月～金 10:00～17:00	事前にメールで予約必要 (masahi-f@sophia.ac.jp)
堀　越　　智	准教授	8－402A	月～金 12:30～13:30	要予約
板　谷　清　司	教　授	3－545A	月～金 10:00～17:00	事前にメールで予約必要
陸　川　政　弘	教　授	4－575C	月～金 10:00～17:00	事前にメールで予約必要 (m-rikuka@sophia.ac.jp)
鈴　木　教　之	教　授	3－536B	月～金 10:00～17:00	事前にメール等で確認すること
髙　橋　和　夫	教　授	3－537	月～金 10:00～17:00	事前に予約必要
竹　岡　裕　子	教　授	4－575A	月～金 10:00～17:00	事前にメールで予約必要
田　中　邦　翁	准教授	3－539A	月～金 10:00～17:00	その他の時間は予約で可
内　田　　寛	教　授	3－538	月～金 10:00～17:00	事前にメールで予約必要

化学領域

事務室　3－443A（内線 3360）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
DANIELACHE Sebastian Oscar	准教授	3－226	月～金 10:00～18:00	事前にメールで連絡が望ましい。その他の時間は事前にメールで予約必要 (sebastian.d@sophia.ac.jp)
橋　本　　剛	准教授	9－651A	水 11:00～12:00, 木 15:30～17:00	その他の時間はメールで予約必要 (t-hasimo@sophia.ac.jp)
早　下　隆　士	教　授	9－652B	月～金 10:00～18:00	事前にメールで予約必要
木川田　喜　一	教　授	3－433A	金 12:30～13:30	その他の時間は事前にメールで予約必要
久　世　信　彦	教　授	3－437	月・水～金 12:40～13:20	その他の時間は予約で可
三　澤　智　世	助　教	4－571C	月～金 10:00～17:00	事前に予約必要
長　尾　宏　隆	教　授	4－571D	月～金 10:00～17:00	事前に予約必要
南　部　伸　孝	教　授	8－401A	金 11:00～18:00	その他の時間は予約で可
鈴　木　由美子	准教授	4－371A	月～金 10:00～18:00	事前にメールで予約必要
臼　杵　豊　展	准教授	4－474A	火 13:30～15:00	事前に予約必要

数学領域

事務室　市本－107A（内線 3320）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
五　味　　靖	准教授	市本－407	(春) 金 12:30～13:30, (秋) 月 12:30～13:00	事前に予約必要
後　藤　聡　史	助　教	市本－401B	火 10:00～11:00	事前にメールで予約必要
平　田　　均	助　教	市本－403	金 13:30～15:00	他の時間も含めて調整可能。事前にメールで予約必要
加　藤　　剛	准教授	市本－412	木 17:00～18:30	事前に予約必要
中　島　俊　樹	教　授	市本－410	火 12:30～13:30	事前に予約必要
中　筋　麻　貴	准教授	市本－414	金 10:00～11:00	他の時間帯はメールで予約必要
大　城　佳奈子	准教授	市本－416	月 9:15～12:30	事前にメールで予約必要
TRIHAN Fabien	准教授	市本－418	金 12:30～13:30	ただし事前にメールで連絡をすること
辻　　元	教　授	市本－409	火 12:30～13:30	事前に予約必要
角　皆　　宏	教　授	市本－406	(春) 金 12:30～13:30, (秋) 火 14:00～15:00	ただし事前にメール連絡すること
都　築　正　男	教　授	市本－411	金 12:30～13:30	事前に予約必要

物理学領域

事務室　3－317A（内線 3310）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
東　　善　郎	教　授	3－411C	月～金 17:00～18:00	予約不要
江　馬　一　弘	教　授	8－306B	火・金 12:35～13:30	事前に予約必要。他の時間帯も随時メールで予約可能
後　藤　貴　行	教　授	8－303B	月～金 16:00～18:00	講義・会議以外（メール予約不要）
星　野　正　光	准教授	3－442	月～金 11:00～18:00	事前にメールで予約必要
欅　田　英　之	准教授	8－305B	水 13:30～14:30	事前にメール等で予約。他の時間帯は応相談
黒　江　晴　彦	准教授	8―302B	月～金 11:00～12:30，13:30～15:00	講義・会議以外，事前にメールで予約必要（kuroe@sophia.ac.jp）
桑　原　英　樹	教　授	3－143B	金 17:00～18:00	他の時間帯は随時メールで予約
大　槻　東　巳	教　授	3－311B	金 11:00～13:30	事前にメールで予約
岡　田　邦　宏	教　授	3－417A	月～金 12:40～13:20	要予約
坂　間　　弘	教　授	3－233B	月～金 12:35～13:30	事前に予約必要
高　柳　和　雄	教　授	3－313A	月～金 13:30～17:00	講義・会議以外，事前に予約必要
平　野　哲　文	教　授	3－315A	月 9:15～10:45	他の時間帯も含め事前にメールで予約
小田切　　丈	准教授	3－446A	月～金 10:00～17:00	事前に予約必要（odagiri.t@sophia.ac.jp）
足　立　　匡	教　授	3－136B	木 17:00～18:00	他の時間帯も随時メールで予約可能
ZHANG　Weilu	助　教	9－758A	月～金 13:30～18:00	事前にメールで予約必要

生物科学領域

事務室　3－443A（内線 3360）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
川　口　眞　理	准教授	9－754B	月～金 10:00～17:00	事前にメールで予約必要
神　澤　信　行	教　授	8－304B	月～金 10:00～17:00	授業・会議以外
近　藤　次　郎	准教授	3－342B	月～金 10:00～17:00	その他の時間は予約で可
齊　藤　玉　緒	教　授	8－403A	月～金 10:00～17:00	事前にメールで予約必要（tasaito@sophia.ac.jp）
笹　川　展　幸	教　授	8－405A	金 12:30～13:30	他の時間帯は事前にメールで予約必要
鈴　木　伸　洋	准教授	3－342A	火 13:30～15:00 水・木 11:00～12:30	事前にメール等で予約すること
千　葉　篤　彦	教　授	8－403B	月～金 10:00～17:00	事前に予約必要
新　倉　貴　子	教　授	8－405B	金 12:30～13:30	他の時間帯は事前にメールで予約必要
林　　謙　介	教　授	8－404B	月 12:30～13:20	その他の時間は予約で可
藤　原　　誠	准教授	3－337	月～金 10:00～17:00	その他の時間は予約で可
安　増　茂　樹	教　授	9－755	月～金 10:00～17:00	事前に予約必要

情報学領域

事務室　市本－107A（内線 3320）

※2019年秋学期より，研究室等の変更が予定されています。

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
荒　井　隆　行	教　授	3-350B	月 11:00～12:00	事前にメールで予約必要
萬　代　雅　希	教　授	市本－301B	金 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
ゴンサルベス タッド	教　授	市本－209B	月～金 13:00～13:30	事前に予約必要
伊呂原　　隆	教　授	KH－528	火 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
川　端　　亮	准教授	市本－208B	(春) 月 13:30～14:30, (秋) 月 15:45～16:30	事前にMoodleまたは，メールで予約必要，他の時間帯も調整可
川　中　　彰	教　授	市本－310	月，水～金 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
宮　本　裕一郎	准教授	市本－308B	金 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
澁　谷　智　治	教　授	市本－405	金 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
炭　　親　良	准教授	市本－017C	月～金 13:00～13:30	事前にメールで予約必要
高　岡　詠　子	教　授	市研－303	サバティカル	
田　村　恭　久	教　授	市本－309B	木・金 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
田　中　昌　司	教　授	市本－302	月～金 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
矢　入　郁　子	准教授	市本－401C	月 13:30～16:45	事前に予約必要
山　中　高　夫	准教授	市本－202	月～金 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
山　下　　遥	助　教	市本－207B	月～金 12:30～13:30	事前にメールで予約必要

地球環境学研究科

地球環境学専攻

事務室　2－1522（内線 4176，3550）

氏　　名	職名	研究室	オフィスアワー	備　　考
安　納　住　子	教　授	2－1520	月 13:00～14:00	事前にメールで予約必要
井　上　直　己	准教授	2－1620	金 13:30～15:00	事前にメールで予約必要
織　　朱　實	教　授	2－1518	水 12:30～13:30	事前にメールで予約必要 (akemi-o@pb3.so-net.ne.jp)
柴　田　晋　吾	教　授	2－1516	(春) 火 14:00～15:00 (秋) サバティカル	事前にメールで予約必要
鈴　木　政　史	教　授	2－1526	月 12:30～13:30	事前にメールで予約必要
田　中　嘉　成	教　授	2－1517	木 13:00～14:30	
平　尾　桂　子	教　授	2－1527	木 13:30～15:00	事前にメールで予約必要
黄　　光　偉	教　授	2－1619	月 15:00～16:30	
プテンカラム ジョン ジョセフ	教　授	2－1129	サバティカル	
まくどなるど あん	教　授	2－1618	月 15:30～16:30，火 13:00～14:00	
鷲　田　豊　明	教　授	2－1519	金 13:00～15:00	事前にメールで予約必要

上智大学大学院学則

上智大学大学院国外留学に関する細則（抄）

上智大学大学院研究指導に関する細則

上智大学学位規程（抄）

課程博士の学位申請に関する特例（内規）

上智大学学則（抄）

16. 上智大学大学院学則

（平成 31 年 4 月 1 日改正施行予定）

第１章　総則

（設置）

第１条　上智大学学則第５条に基づき，上智大学に大学院を置き，これを「上智大学大学院」（以下「本大学院」という。）と称する。

（課程）

第２条　本大学院の課程は，修士課程，博士課程及び専門職学位課程とする。

（標準修業年限）

第３条　博士課程の標準修業年限を５年，修士課程の標準修業年限を２年とする。

２　博士課程は，これを前期２年及び後期３年の課程に区分し，前期２年の課程を博士前期課程，後期３年の課程を博士後期課程（以下それぞれ「前期課程」「後期課程」という。）という。

３　第２項の規定にかかわらず，実践宗教学研究科死生学専攻，総合人間科学研究科社会福祉学専攻及び看護学専攻については，職業を有していることにより，標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に本大学院の教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出た者に対しては，学長の決定により，その履修を博士前期課程では「長期履修学生」として３年まで認めることができる。

４　第３項の長期履修学生に関する事項は，別に定める。

５　前期課程は，これを修士課程として取り扱う。

６　法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）の標準修業年限は３年とする。ただし，法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）において，必要とされる法律学の基礎的な学識を有すると認められる者（法学既修者）については，３０単位を超えない範囲の単位を修得したものとみなし，１年を超えない範囲で当該単位の数に相当する期間，在学期間を短縮できることとする。

（在学期間の上限）

第３条の２　本大学院の在学期間は，休学期間を除き９年を限度とし，前期課程及び修士課程においては４年，後期課程においては５年の期間を，それぞれ超えることができない。

２　前項にかかわらず，次の各号の全てに該当する者の本学に在学する期間は，前期課程及び修士課程においては４年３ヶ月，後期課程においては５年３ヶ月を超えることができない。

(1) 第 33 条の２に定める学期（セメスター）末の時点において在学年数が，前期課程及び修士課程においては３年９ヶ月，後期課程においては４年９ヶ月である者。

(2) 第 21 条及び第 21 条の２に定める修了に必要な要件を満たしていない者。

３　専門職学位課程については，別に定める。

（クォーターの計算方法）

第３条の３　第３条の修業年限，前条の在学期間及び第２８条の休学期間を算定するにあたっては，クォーターは３ヶ月と計算する。

（課程の目的）

第４条　博士課程は，キリスト教精神を基盤とし，専攻分野についての研究者として，自立して研究活動を行い，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

２　前期課程及び修士課程は，キリスト教精神を基盤とし，広い視野に立って精深な学識を授け，専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な，高度の能力を養うことを目的とする。

３　専門職学位課程は，キリスト教精神を基盤とし，高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。

（自己評価等）

第４条の２　本大学院は，教育研究水準の向上を図り，その目的及び社会的使命を達成するため，教育研究活動の状況について自己点検及び評価を実施するものとする。

２　自己点検及び評価の実施体制並びに方法については，別に定める。

３　前２項に基づき，第三者評価機関による評価を受けるものとする。

(ファカルティ・ディベロップメント)

第４条の３　本大学院は，課程の目的，教育内容・方法についての組織的な研究・研修に努めるとともに，教員の教育・研究指導能力の向上を期し，個々の教育研究活動の評価を行うものとする。

２　ファカルティ・ディベロップメント活動の実施及び個々の教育研究活動の評価方法については，別に定める。

(研究科及び専攻)

第５条　本大学院に次の表の左欄に掲げる研究科を置き，それぞれの研究科に同表の中欄に掲げる専攻を置く。

研究科名	専攻名	課程の区分
神学研究科	神学専攻	前期課程
	組織神学専攻	後期課程
哲学研究科	哲学専攻	
文学研究科	哲学専攻	
	史学専攻	
	国文学専攻	
	英米文学専攻	
	ドイツ文学専攻	
	フランス文学専攻	
	新聞学専攻	
	文化交渉学専攻	
実践宗教学研究科	死生学専攻	
総合人間科学研究科	教育学専攻	
	心理学専攻	
	社会学専攻	
	社会福祉学専攻	
	看護学専攻	修士課程
法学研究科	法律学専攻	
	法曹養成専攻（法科大学院）	専門職学位課程
経済学研究科	経済学専攻	
	経営学専攻	
言語科学研究科	言語学専攻	
グローバル・スタディーズ研究科	国際関係論専攻	
	地域研究専攻	
	グローバル社会専攻	
理工学研究科	理工学専攻	
地球環境学研究科	地球環境学専攻	

ただし，哲学研究科哲学専攻については，第２６条に定める入学者の募集を停止する。

２　前項により置かれる研究科ごとの教育研究上の目的及び人材の養成に関する目的については，第４条に定める各研究科共通の目的のほか，各研究科の設置趣旨に基づき，別表第１において個別に定める。

３　前項に規定する以外の事項については，各研究科の定める細則及び内規によるものとする。

(収容定員)

第６条　各研究科の収容定員は，次の表のとおりとする。

研究科	専攻名	前期課程		後期課程		専門職学位課程		収容定員
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	合計
神学研究科	神学専攻	20	40					40
	組織神学専攻			4	12			12

	計	20	40	4	12			52
哲学研究科	哲学専攻	—	—	—	—			—
文学研究科	哲学専攻	10	20	3	9			29
	史学専攻	10	20	3	9			29
	国文学専攻	10	20	3	9			29
	英米文学専攻	10	20	3	9			29
	ドイツ文学専攻	10	20	3	9			29
	フランス文学専攻	10	20	3	9			29
	新聞学専攻	10	20	3	9			29
	文化交渉学専攻	16	32	3	9			41
	計	86	172	24	72			244
実践宗教学研究科	死生学専攻	10	20	3	6			26
総合人間科学研究科	教育学専攻	10	20	5	15			35
	心理学専攻	20	40	5	15			55
	社会学専攻	10	20	3	9			29
	社会福祉学専攻	10	20	3	9			29
	看護学専攻	9	18					18
	計	59	118	16	48			166
法学研究科	法律学専攻	20	40	4	12			52
	法曹養成専攻（法科大学院）					40	120	120
	計	20	40	4	12	40	120	172
経済学研究科	経済学専攻	15	30	2	6			36
	経営学専攻	15	30	2	6			36
	計	30	60	4	12			72
言語科学研究科	言語学専攻	33	66	5	15			81
グローバル・スタディーズ研究科	国際関係論専攻	15	30	6	18			48
	地域研究専攻	15	30	5	15			45
	グローバル社会専攻	30	60	3	9			69
	計	60	120	14	42			162
理工学研究科	理工学専攻	250	500	20	60			560
地球環境学研究科	地球環境学専攻	60	120	10	30			150
合	計	628	1,256	104	309	40	120	1,685

第２章　大学院委員会及び研究科委員会

（大学院委員会）

第７条　本大学院に，大学院委員会を置く。

２　本学則に別段の定めがあるものを除き，大学院委員会の開催に必要な事項については，別に定める。

第８条　（削除）

第９条　（削除）

（大学院委員会の意見具申事項）

第１０条　大学院委員会は，次に掲げる大学院全般にわたる事項について，学長が決定を行うにあたり，意見を述べるものとする。

(1) 学位の授与

(2) その他学長が必要なものとして定めるもの

（研究科委員会）

第１１条　各研究科に研究科委員会を置き，別に定める「大学院担当教員選考基準及び審査手続」により任用された教員をもって組織する。

２　研究科委員会の議長は，研究科委員長がこれにあたる。
３　（削除）
４　研究科委員会は，学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり，意見を述べるものとする。
(1) 学生の入学及び課程の修了
(2) 学位の授与
(3) 前２号に掲げるもののほか，教育研究に関する重要な事項で，研究科委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
５　研究科委員会は，前項に規定するもののほか，各研究科の教育研究に関する事項について審議し，及び学長の求めに応じ，意見を述べることができる。
６　各研究科委員会に関する事項は，当該研究科が別に定める。
(専攻)
第１２条　研究科は，それぞれの専攻分野の教育研究を行うために専攻を置き，各専攻に，専攻主任を置く。
２　各専攻に関する事項は，当該専攻が別に定める。
(事務組織)
第１３条　本大学院に，大学院の事務を処理するため，必要な事務組織を置く。

第３章　教育方法等

(教育方法等)
第１４条　本大学院の教育は，授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行う。授業は，講義，演習，実験，実習若しくは実技のいずれかにより，又はこれらの併用により行う。ただし，法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）については，学位論文の作成に対する指導を除く。
２　研究科において教育上の必要があると認められる場合には，夜間その他の特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。
３　授業科目の編成は，別に定める。
４　研究指導に関する細目は，別に定める。
５　第１項の授業は，文部科学大臣が別に定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
６　第１項の授業（第２項の規定により，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合を含む）を，外国において履修させることができる。
(単位の計算基準)
第１５条　各研究科の授業科目の単位の計算基準については，上智大学学則の規定を準用する。
(指導教員)
第１６条　各専攻は，所属する学生に対し，授業科目の履修に関する指導及び研究指導を行う専任教員１名を指導教員として定める。ただし，法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）については，この限りではない。
２　指導教員は，当該専攻に所属する専任教員のうち，「大学院担当教員選考基準及び審査手続」に定める指導教員の資格を有する教員をもってこれを充てる。
(授業科目の履修)
第１７条　各研究科において，指導教員が教育研究上有益と認めたときは，他の研究科又は学部の授業科目を履修させることができる。
２　前項の規定により修得した単位は，学部の授業科目を除き，８単位を超えない範囲で，当該研究科において修得したものとみなすことができる。
(単位認定)
第１８条　各研究科において教育研究上有益と認めたときは，他の大学の大学院等（国外の大学の大学院等を含む。）の授業科目を履修させ，１０単位を超えない範囲で，本大学院において修得したものとみなすことができる。
２　各研究科において教育研究上有益と認めたときは，本大学院入学以前に本大学院を含む大学院において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を１０単位を超えない範囲で本大学院において修得したものとみなすことができる。

３　前２項の規定により修得した単位は，合計１０単位を超えない範囲で当該研究科において修得したものとみなすことができる。
４　前項にかかわらず，法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）については，３０単位を超えない範囲で当該研究科において履修したものとみなすことができる。
（委託又は共同による研究指導の委託）
第１９条　各研究科において教育研究上有益と認めたときは，他の大学院又は研究所等（国外の大学の大学院又は国外の研究所等を含む。）とあらかじめ協議の上，当該他大学院又は研究所等において，又は博士課程に限り当該他大学院又は研究所等と共同で，必要な研究指導を受けさせることができる。ただし，前期課程の学生については，研究指導をうける期間は，１年を超えないものとする。
２　前条第１項及び第２項に定める国外の大学の大学院又は国外の研究所等への留学に関する事項は，別に定める。
（教育職員免許）
第２０条　教員の資格を得ようとする者は，教育職員免許法（昭和２４年法律第１４７号）及び教育職員免許法施行規則（昭和２９年文部省令第２６号）にのっとり所定の科目及び単位を修得しなければならない。
２　本大学院の専攻において取得できる教育職員免許状の種類及び教科は別表第２に定めるところによる。

第４章　課程の修了要件

（修士課程及び前期課程の修了要件）
第２１条　修士課程及び前期課程の修了の要件は，本大学院に２年以上在学し，３０単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，本大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。この場合の研究指導に関しては，第１９条で定めた委託による研究指導も含めることができる。
２　前項の場合において，当該課程の目的に応じ適当と認められるときは，特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。
３　第１項にかかわらず，優れた業績を上げた者の在学期間については，大学院に１年以上在学すれば足りるものとする。
（博士課程の修了要件）
第２１条の２　本大学院における博士課程の修了は，次の各号の全てを満たすことを要件とする。
(1) 大学院に５年（修士課程，前期課程又は専門職学位課程に２年以上在学し，当該課程を修了した者にあっては，当該課程における標準修業年限期間を含む。）以上在学すること。
(2) ３０単位以上（修士課程，前期課程又は専門職学位課程において修得した単位を含む。）を修得すること。
(3) 必要な研究指導を受けた上，本大学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。この場合の研究指導に関しては，第１９条で定めた委託又は共同による研究指導も含めることができる。
２　前項第１号にかかわらず，優れた研究業績を上げた者については，本大学院に３年（修士課程，前期課程又は専門職学位課程に２年以上在学し，当該課程を修了した者にあっては，当該課程における２年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。
３　第１項第１号にかかわらず，前条第３項により修士課程又は前期課程を修了した者については，大学院に，修士課程又は前期課程における在学期間に３年を加えた期間以上在学すれば足りるものとする。ただし，優れた研究業績を上げた者については，大学院に２年を加えた期間以上在学すれば足りるものとする。
４　第１項第１号及び第２号にかかわらず，学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第７０条の２の規定により，大学院への入学資格に関し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者については，大学院に３年以上在学し，所属する研究科が指定する科目（以下「指定科目」という。）の単位を修得することを要件とする。ただし，優れた研究業績を上げた者については，指定科目の単位を修得した場合には，大学院に１年以上在学すれば足りるものとする。
（専門職学位課程の修了要件）
第２１条の３　法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）の修了の要件は，３年以上在学し，各年次で所定の成績を修め，１０１単位以上を修得することとする。ただし，必要とされる法律学の基礎的な学識を有すると認められた者（法学既修者）については，２年以上在学し，各年次で所定の成績を修め，６７単位以上を修得することとする。
２　各年次で修得すべき単位及び所定の成績については，別に定める。
（修了認定）
第２１条の４　学長は，前三条に規定する要件を満たした者について，課程の修了を認定する。

第２２条　学位論文の審査方法等については，別に定める。
第２３条　学位に関する試験の方法等については，別に定める。

第５章　学位

(学位の授与)
第２４条　学長は，課程を修了した者に対し，課程に応じて博士，修士又は法務博士（専門職）の学位を授与する。
２　学位に関する細目は，上智大学学位規程の定めるところによる。
(学位に付記する専攻分野の名称)
第２５条　学位には研究科専攻別に次の専攻分野の名称を付記する。

研究科名	専攻名	修士専攻分野	博士専攻分野
神学研究科	神学専攻	神学	
	組織神学専攻		神学
哲学研究科	哲学専攻	哲学	哲学
文学研究科	哲学専攻	哲学	哲学
	史学専攻	史学	史学
	国文学専攻	文学	文学
	英米文学専攻	文学	文学
	ドイツ文学専攻	文学	文学
	フランス文学専攻	文学	文学
	新聞学専攻	新聞学	新聞学
	文化交渉学専攻	文学	文学
実践宗教学研究科	死生学専攻	文学	文学
総合人間科学研究科	教育学専攻	教育学	教育学
	心理学専攻	心理学	心理学
	社会学専攻	社会学	社会学
	社会福祉学専攻	社会福祉学	社会福祉学
	看護学専攻	看護学	
法学研究科	法律学専攻	法学	法学
	法曹養成専攻（法科大学院）	法務博士（専門職）	
経済学研究科	経済学専攻	経済学	経済学
	経営学専攻	経営学	経営学
言語科学研究科	言語学専攻	言語学	言語学
グローバル・スタディーズ研究科	国際関係論専攻	国際関係論	国際関係論
	地域研究専攻	地域研究	地域研究
	グローバル社会専攻	比較日本研究	比較日本研究
		国際経営開発学	
		グローバル社会研究	グローバル社会研究
理工学研究科	理工学専攻	理学	理学
		工学	工学
地球環境学研究科	地球環境学専攻	環境学	環境学

2　前項の規定にかかわらず研究科において必要と認めた場合は，前項に規定された博士専攻分野の名称に代えて「学術」の名称を付記することができる。

第６章　入学，進学，編入学，休学，退学及び再入学

（入学資格）

第２６条　本大学院の前期課程，修士課程及び専門職学位課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する者とする。

（１）大学を卒業した者

（２）学士の学位を授与された者

（３）外国において学校教育における１６年の課程を修了した者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者

（５）我が国において，外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者

（６）外国の大学等において，修業年限が３年以上の課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者

（７）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

（８）文部科学大臣の指定した者

（９）大学に３年以上在学し，本大学院において，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

（10）その他本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達した者

2　後期課程に進学又は編入学することのできる者は，修士の学位，専門職学位を有する者又は修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者と認められる者とする。

3　前項の場合において，修士の学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められる者は，次の各号の一に該当する者とする。

（１）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（２）外国の学校が行う通信教育における授業科目を履修することにより修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（３）我が国において，外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（４）国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者

（５）大学等を卒業し，大学，研究所等において２年以上研究に従事した者で，本大学院において，修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者

（６）文部科学大臣の指定した者

（７）その他本大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達した者

4　第１項及び第２項に規定する入学，進学及び編入学の許可は，学長がこれを決定する。

（選抜試験）

第２７条　前期課程，修士課程及び専門職学位課程への入学，後期課程への進学又は編入学を志願する者に対しては，それぞれ各研究科の定めるところに従って選抜試験を行う。

2　外国人留学生に対しては，特別に選考の上，入学を許可することができる。

（休学，復学及び退学の願い出）

第２８条　休学又は退学しようとする者は，それぞれ所定の願い書を提出し，学長の許可を受けなければならない。

2　休学の期間は，第３３条の２条２項に定める１クォーターを単位とし博士課程通算５年を超えることができない。ただし，修士課程及び専門職学位課程においては，２年を限度とする。

3　許可された休学期間が満了した場合は，復学となる。ただし，病気によって休学の許可を受けた者は，医師の診断書を添えた所定の復学届を提出しなければならない。

４　休学期間中に休学の事由がやみ，復学しようとする者は，所定の復学届を提出しなければならない。

(留年)

第２８条の２　法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）において，各年次の所定の単位を修得できない場合又は各年次で所定の成績を修めることができない場合には，当該年次に留まる。この場合における各年次の所定の単位及び所定の成績については，別に定める。

(退学及び懲戒処分)

第２９条　次の各号の一に該当する者は，学長の決定により退学させる。

(1) 授業料その他，学費を納入しない者

(2) 第３条の２に定める在学期間の上限を超えた者

(3) 成業の見込みがないと認められる者。ただし，認定事由は，各研究科において，別に定める。

第２９条の２　本学学生にしてその本分に反した行為があったと認められたときは，その軽重に従い，退学，停学又は訓告処分とする。

２　次の各号の一に該当する者は，退学させる。

(1) 著しく性行不良で改善の見込みがないと認められた者

(2) 学内の秩序を乱した者

(3) 大学の名誉を著しく毀損した者

(4) その他本学に在学させることが不適当と認められた者

３　前二項の処分は，学長が行う。

４　前三項に定めるもののほか，学生の処分に必要な事項は別に定める。

(再入学)

第３０条　本大学院を退学し，再入学をしようとする者は，所定の願い書を提出し，学長の許可を受けなければならない。

２　再入学の願いが出た場合は，学長はこれを許可することができる。

(入学時期)

第３１条　本大学院の入学時期は，学期（セメスター）の初めとする。

(在学期間)

第３２条　　削除

第７章　学年，学期及び休業日

(学年，学期及び休業日)

第３３条　学年は，４月１日に始まり翌年３月３１日に終わる。

第３３条の２　学期（セメスター）は，学年を分けて，春学期及び秋学期とし，それぞれの始期及び終期は次のとおりとする。

春学期　　４月１日から９月２０日まで

秋学期　　９月２１日から翌年３月３１日まで

２　前項に定める各学期（セメスター）を二つの期間（以下「クォーター」という。）に分け，春学期のクォーターを第１クォーター及び第２クォーターとし，並びに秋学期のクォーターを第３クォーター及び第４クォーターとする。

３　前項のクォーターの始期及び終期については，第１項に定めるものを除き，学長が定める。

第３３条の３　授業休業日は，次のとおりとする。

ただし，第５号から第７号の授業休業期間の始期及び終期は，年度により別に定める。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日

(3) 創立記念日（１１月１日）

(4) 聖ザビエルの祝日（１２月３日）

(5) 春期休業

(6) 夏期休業

(7) 冬期休業

２　学長は必要に応じ，前項各号以外の日を臨時に授業休業日とすることができる。

３　学長は必要に応じ，第１項各号に定める授業休業日を，授業日(補講日及び集中講義期間を含む)とすることができる。

第８章　交換留学生，委託聴講生，聴講生及び研究生

（交換留学生）
第３４条　本大学院は国外大学大学院との交換留学協定に基づき，交換留学生の受け入れを許可することができる。
（委託聴講生）
第３５条　本大学院は国内大学院との単位互換協定に基づき，委託聴講生の受け入れを許可することができる。
（聴講生）
第３６条　本大学院の特定の授業科目について聴講を願い出る者に対しては，選考の上，聴講生として聴講を許可することができる。
２　聴講生に関する事項は，別に定める。
（科目等履修生）
第３６条の２　本大学院は学位取得を目的としないで一又は複数の授業科目を履修する者（以下「科目等履修生」という。）に対し単位を与えることができる。
２　科目等履修生に関する事項は，別に定める。
（研究生）
第３７条　本大学院において特定事項の研究を願い出る者に対しては，選考の上，研究生としてこれを許可することができる。
２　研究生に関する事項は，別に定める。

第９章　入学納付金及び授業料等納付金

（入学手続）
第３８条　本大学院に入学，進学又は編入学を許可された者は，所定の期限内に，所定の書類を提出し，別表第３で定める入学に必要な納付金を納付しなければならない。
（授業料等納付金）
第３９条　本大学院在学生は，別表第３の授業料等納付金を所定の期限内に全納しなければならない。ただし，所定の手続きにより各学期（セメスター）の初めに分納することができる。
２　休学，留学等の授業料等納付金については，別表第３のとおりとする。

第１０章　その他

（規定の準用）
第４０条　本学則に規定していない事項については，上智大学学則の規定（第１９条の２第３項を除く）を準用する。

附　則

１　この学則は，2019 年（平成 31 年）４月１日から改正，施行する。
２　この改正前の学生に係わる第２１条の３の適用については，なお従前の例による。
〔在学年数の変更〕
〔収容定員の変更〕
〔授業方法の追加〕
〔共同による研究指導の追加〕
〔修了要件の変更〕
〔セメスター・クォーター併用制導入に伴う条文の整理及び一部改正〕
〔学費改定〕

別表第１　研究科ごとの教育研究上の目的及び人材養成の目的

研究科名	専攻名	研究科の目的
神学研究科	神学専攻 組織神学専攻	前期課程には，修士に加えてカトリック教会の教授資格（STL）を与える組織神学コース，聖書研究の方法論を身につける聖書神学コース（M.Bib を授与），宣教や司牧の実践について学ぶキリスト教教育コース(M.Div を授与)及び教会での奉仕の現場にたずさわる人々を養成する宣教実務者コースを設けるが，いずれも神学全般についての知識と理解を重視する。また研究者養成を主目的とする後期課程（条件を満たせばカトリック教会の学位 STD を授与）においては，研究のみでなく教育訓練を課程に組み込む。 カトリック司祭・修道者とカトリック学校での宗教科教員の養成，及び自己のキリスト教信仰を客観的・批判的に省察することにより教会に貢献できる人材養成を主目的とする。
哲学研究科	哲学専攻	古代から中世を経て現代へ至る西洋哲学の伝統を研究する。また芸術・文化・宗教のあり方を根本から考え，現代社会が直面する多様な倫理的問題に対して，原理的な仕方で掘り下げる。 前期課程では，原典テクストの読解を中心に思想史研究の基本を学ぶ。後期課程は主として専門研究者の育成を目標とする。
文学研究科	哲学専攻 史学専攻 国文学専攻 英米文学専攻 ドイツ文学専攻 フランス文学専攻 新聞学専攻 文化交渉学専攻	幅広い教養と柔軟な思考力を持ち，世界と未来に開かれた新しい知を創造する力を伸ばすために，文化の総体の探究，現代社会との連結，語学能力の重視に重点を置いた実践教育を行い，社会，文化の発展に貢献しうる人材を養成する。 前期課程では，研究者の養成を目指すとともに，高度な専門知識によって職業的能力を向上させる。後期課程では，国際的な水準で広く活躍し，将来，各々の分野で研究・教育に携わる人材の育成を期する。
実践宗教学研究科	死生学専攻	現代社会の宗教的思想的基盤を研究するとともに，新たな取り組みが求められる現代の死生学的課題について，価値多元化社会における宗教の社会的役割，死生観及び生命倫理，臨床スピリチュアルケアの三視点から研究・教育を行う。また，スピリチュアリティを基盤にしたケアの実践的対応能力の修得を目指す。これらを通じて実践力のある研究者，臨床家，コミュニティケア人材，ケア指導者等を養成する。
総合人間科学研究科	教育学専攻 心理学専攻 社会学専攻 社会福祉学専攻 看護学専攻	人間の尊厳を基盤とし，科学の知，臨床の知，政策・運営の知にかかわる学際的教育・研究を行い，理論と実践・臨床を両輪として社会に貢献しうる人材を育成する。前期課程では，実践・臨床の場で活躍できる高度専門職業人及びこれらの場を視野にいれた研究者の養成を目指し，後期課程では，実践・臨床的知見を踏まえ学問的に貢献しうる人材育成を目指す。
法学研究科	法律学専攻	本専攻は法学・政治学の研究者の養成，並びに，この素養を身につけた社会人を送り出すことを目的とする。 現代社会では，研究者は自分の専門領域に特化しているだけで足りるものでなく，社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し，より高度な問題を処理できる実務能力を身につけていなければならない。社会人を積極的に受け入れ，研究者養成とともに，法学・政治学の素養を身につけた人材の養成を目指す。
	法曹養成専攻	将来法曹（裁判官・検察官・弁護士）の専門家として活躍する人材を養成する。キリスト教的ヒューマニズム基づく人間教育を，法曹倫理，隣接科学，基礎法学科目にも充実させることで，広い視野で社会に貢献する法律家を養成することを主眼とするが，国際問題や環境法政策に対して多角的なアプローチをすることにより，21 世紀に必要とされる法曹を養成することも本専攻の特長とする。

経済学研究科	経済学専攻 経営学専攻	経済学・経営学に関する深い学識を基礎に，実際的な応用能力を有する 職業専門家，深い洞察力を備えた高い水準の研究者を育成する。 前期課程修了者には，専門知識を活かして，研究やコンサルティングに従事したり，企業実務の第一線で活躍する高度専門職業人となることが期待される。 後期課程修了者には，学術・研究機関において教育・研究に従事することが期待される。
言語科学研究科	言語学専攻	理論言語学，個別言語学，及び応用言語学に関して国際的視野で独創的研究を行える研究者を養成する。また，言語聴覚障害学の基礎および臨床における研究者を養成し，さらに，英語による授業を通じて，英語教育に携わる教師を養成する。理論と実践が伴った国内外で活躍できる日本語教師も養成する。
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ｽﾀﾃﾞｨｰｽﾞ研究科	国際関係論専攻 地域研究専攻 グローバル社会専攻	国際関係の諸側面とそれらをめぐる諸問題を多角的に研究する国際関係論，アジア・中東・ラテンアメリカ地域等の内在的な理解を重視する地域研究，グローバル・イッシューに多面的にアプローチするグローバル社会専攻のそれぞれの方法論を活かし，相互に連関してグローバル化する現代世界を総合的に理解することのできる専門研究者及び高度専門職業人を育成する。
理工学研究科	理工学専攻	現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と，人間社会や地球環境に与える影響を総合的に捉える学際性とを併せ持つ，特色ある研究科を目指す。前期課程では学部教育との一貫性に配慮しながら，複合知と専門性を兼ね備えた知的能力を持ち，人間社会に貢献できる知的人材を育成する。後期課程では各専門分野で自立して研究を遂行できる研究者の養成を目的とする。
地球環境学研究科	地球環境学専攻	地球環境問題の解決にむけ，高い使命感をもち，社会科学と自然科学の知識を総合し，理論と実践を結び付ける優れた知力・学力を有する人材の育成を目指す。前期課程においては，高度専門的な職業を担う人材と知的素養に優れた人材を，後期課程においては，国際的な水準の地球環境学の教育・研究を目指す人材を養成する。

別表第２～第３（略）

17. 上智大学大学院国外留学に関する細則（抄）

制定　平成元年 10 月 1 日
改正　平成 31 年 4 月 1 日

（趣旨）

第 1 条　この細則は，上智大学大学院学則第 19 条第 3 項に基づき，上智大学（以下，「本学」という。）大学院学生の国外への留学に関し，必要な事項を定める。

（留学の定義）

第 2 条　この細則の留学とは，次の各号のいずれかに該当するものをいう。

(1) 研究又は学修の必要から学長の許可を得て，外国の大学又はこれに相当する高等教育研究機関で，研究に従事し，又は正規の授業を受けるとき。

(2) 外国の大学等との協定に基づき，学長の許可を得て留学するとき。

2　前項第 1 号による留学を一般留学といい，第 2 号による留学を交換留学という。

（大学等との協定）

第 3 条　前条の大学等との協定には，次に定める事項を記載しなければならない。

(1) 協定期間

(2) 交換についての条件

(3) 履修可能な授業科目の範囲

(4) 交換学生数

(5) 学費及び納付方法

(6) 奨学制度の有無

(7) その他協定の実施に必要な事項

（留学の資格者）

第 4 条　留学の資格者は，次の基準に該当する者とする。

(1) 本学の大学院に 1 か年以上在学していること

(2) 前期課程の場合には，本学において修得すべき授業科目 10 単位以上を修得していること

2　前項にかかわらず，専攻主任及び指導教員は，学生の研究指導上，留学することにより，研究又は学修の効果があがるものと判断した場合は，当該学生について，本学大学院に 1 学期在学していること及び授業科目を 10 単位以上履修登録をすることを条件に留学の資格者とすることができる。

（出願の手続）

第 5 条　出願者は，必要な文書を添付した所定の留学願を提出しなければならない。

2　前項の留学願には，留学先大学名，滞在予定地，留学期間及び留学の目的等を明記し，かつ留学願を提出する前に所属の専攻主任（以下，「所属専攻主任」という。）又は指導教員の指導により，留学先大学等で履修する科目・単位数又は研究内容等をあらかじめ検討し，これを文書として留学願に添付しなければならない。

（留学の許可）

第 6 条　前条の留学願は，学長が決裁する。

2　留学を許可された者は，出国までに留学先大学等の受入の許可書（写し）又は聴講の許可書（写し）を提出しなければならない。

（留学期間）

第 7 条　留学期間は，次の各号に定める留学種別に応じて当該各号に定める期間を単位とする。ただし，研究及び教育上特に必要と認められた場合には，最長２年を限度とする。

(1) 一般留学　　１クォーター単位

(2) 交換留学　　１学期又は１学年

2　交換留学の留学期間は，次の各号の全てに該当する場合には，当該期間を１クォーター分短縮することができる。

(1) 留学期間が１学年の場合

(2) 留学先大学等における学年の始期および終期との違いにより，上智大学院学則第 33 条の２に定める第２クォーター又は第４クォーター開始前に，留学先大学等のプログラムが終了する場合

(3) 本学が定める期限までに所定の手続きを完了した場合

3　留学期間の延長を希望する者は，許可された留学期間終了の 1 か月前までに，継続留学願を提出し，学長の許可を受けなければならない。

4　留学期間の始期及び終期は，大学院学則第 33 条の 2 に定める春学期，秋学期の始期又は終期とし，これらの日付の前後に出国又は帰国した場合，学籍上は状況に応じていずれかの日付に読み替えるものとする。

5　留学期間は在学期間に算入し，修業年限に算入することのできる期間は，1 か年を限度とする。

6　留学期間中も学生は本学指導教員と連絡を密に取り，勉学の進捗状況及び生活状況等を随時，報告しなければならない。

(留学終了の手続)

第 8 条　留学期間の満了した者は，帰国の日から 1 か月以内に，所定の帰国届に履修期間及び単位取得証明等（写し）又は受けた研究指導の報告書等を添付し，提出しなければならない。

(修得単位の換算)

第 9 条　留学期間中に留学先大学等で修得した授業科目の単位を，本学において修得したものとして換算することを希望する者は，所属専攻主任又は指導教員の指導を経て単位換算願を提出しなければならない。

2　単位換算及び認定手続きについては，別に定める。

(留学許可の取消し)

第 10 条　学長は，次の各号のいずれかに該当する留学生について，留学先大学等の長と協議し，所属する研究科委員会の意見を徴し，留学の許可を取消すことができる。

(1) 研究又は学修の実があがらないと認められる者

(2) 学生査証が取得できない者

(3) その他学生としての本分に反した者

(学費の扱い)

第 11 条　留学期間中に本学に納める学費については，別にこれを定める。

(事務の所管)

学生の国外留学に関する事務は，学事局学事センター及び学事局グローバル教育推進室が所管する。

(規程の改廃)

第 12 条　この細則の改廃は，本学院の定める手続きにより行う。

附　則

この細則は，2019 年（平成 31 年）４月１日から改正，施行する。

18. 上智大学大学院研究指導に関する細則

制定　平成 23 年 4 月 1 日
改正　平成 29 年 4 月 1 日

（目　　的）

第 1 条　この細則は，上智大学大学院学則（以下，「大学院学則」という。）第 14 条第 4 項の規定に基づき，上智大学大学院における研究指導に関し，必要な事項を定める。

（定　　義）

第 2 条　この細則における研究指導とは，大学院学則第 14 条第 1 項に規定する研究指導（学位論文の作成等に対する指導）のことをいい，次に掲げるものを内容とする。

(1) 学位論文の構想，準備，執筆等の学位論文作成に関する指導
(2) 専攻ごとの学位論文提出資格要件を満たすための指導
(3) 学会報告や学会誌投稿に関する指導
(4) その他，学位論文などの作成に関連する指導

（研究指導の担当教員）

第 3 条　研究指導は大学院学則第 16 条に定める指導教員が行うものとする。

2　指導教員は学生の入学後 1 学期目に決定し，専攻から学事センターに届け出るものとする。ただし，専攻によっては任意の学期に決定することができる。

3　指導教員は学期単位で定めることとし，指導教員を変更する場合には，専攻から学事センターに届け出るものとする。

（研究指導登録）

第 4 条　研究指導登録は，研究指導の成果を評価するため，学生の在学中毎学期行うものとする。その手続は，前条第 2 項及び第 3 項に定める指導教員の届出に基づき学事センターが行うものとする。ただし，交換留学又は一般留学をする場合には，当該研究指導登録を免除するものとする。

2　学生は，研究指導登録に基づき指導を受けなくてはならない。

3　研究指導にかかる修得単位数は，0 単位とする。

4　研究指導の曜日及び時限等については，研究指導を行う教員とこれを受ける学生が個別に相談のうえ，決定するものとする。

（修了要件上の取扱）

第 5 条　研究指導については，修士課程及び前期課程においては 4 学期，後期課程においては 6 学期の合格を修了要件とする。ただし，合格しなければならない学期数については，前条第 1 項但書により履修登録が免除された場合，研究科及び専攻が学長の承認を得た上で定めた場合，又は早期修了若しくは長期履修の場合はこの限りではない。

（研究科及び専攻における取扱い）

第 6 条　研究科及び専攻は，この細則に定めるほか，研究指導に関連する事項について，必要に応じて個別に規定することができる。

（事務の所管）

第 7 条　研究指導に関する事務は，学事局学事センターが所管する。

（細則の改廃）

第 8 条　この細則の改廃は，大学院委員会の意見を徴し，本学院の定める手続により行う。

附　則

1　この細則は，2017 年（平成 29 年）4 月 1 日から改正，施行する。

2　改正後の第 5 条については，2017 年度以降の入学者に適用する。

19. 上智大学学位規程（抄）

制定　昭和 43 年４月１日
改正　平成 31 年４月１日

（目　　的）

第１条　この規程は，学位規則（昭和28年文部省令第9号），上智大学大学院学則及び上智大学学則に基づき，上智大学（以下「本学」という。）が授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

（学位の種類）

第２条　本学において，学長が授与する学位は，博士，修士，専門職学位及び学士とする。

（博　　士）

第３条　博士の学位は，専攻分野について，研究者として自立して研究活動を行い，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる学識を有する者に授与する。

（修　　士）

第４条　修士の学位は，広い視野に立って精深な学識を修め，専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を有する者に授与する。

（専門職学位）

第４条の２　専門職学位は，高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を有する者に授与する。

（博士の学位授与の要件）

第５条　博士の学位は，本学大学院学則第21条の２により，博士課程を修了した者に授与する。

第６条　前条に定める者のほか，博士の学位は，本学大学院の行う博士論文の審査に合格し，かつ，本学大学院を修了した者と同等以上の学力を有することを試問により確認された者に授与する。

（修士の学位授与の要件）

第７条　修士の学位は，本学大学院学則第21条により，修士課程及び博士前期課程を修了した者に授与する。

（学士の学位授与の要件）

第７条の２　学士の学位は，本学学則第57条により，本学を卒業した者に授与する。

（専門職学位の授与要件）

第７条の３　法務博士（専門職）の学位は，本学大学院学則第21条の３により，専門職学位課程を修了した者に授与する。

（学位論文の提出）

第８条　第5条の規定により博士論文の審査を申請し得る者は，研究科委員会が本学大学院学則で定める修了の期日に修了し得ると認めた者で，かつ修了の期日まで在籍し得る者。

第９条　第7条の規定により修士論文の審査を申請し得る者は，研究科委員会が本学大学院学則で定める修了の期日に修了し得ると認めた者で，かつ修了の期日まで在籍し得る者。

（申請方法及び申請書類）

第10条　博士後期課程（以下「後期課程」という。）に在学する者が博士の学位を受けようとするときは，論文審査願に論文目録，論文，論文要旨及び履歴書各3部を添え，学長に提出するものとする。

２　第６条の規定により博士の学位を申請しようとする者は，学位申請書に論文目録，論文，論文要旨，履歴書各３部を添え，その申請する学位の専攻分野の名称を指定して，学長に提出するものとする。

３　修士の学位を受けようとする者は，所定の学位論文提出票に論文を添え，学長に提出するものとする。この場合，論文の部数及び提出期限は，各研究科の定めるところによる。

４　前３項の規定により提出する論文は，主論文１篇に限る。ただし，参考として他の論文を添付することができる。

（申請の受理）

第11条　学位論文の申請に関する事務は，学事局学事センターがこれを取り扱う。

２　第６条の規定による学位申請の受理は，学長が決定する。

３　前項により学位論文の受理を決定したとき，学位申請者は，別に定める審査料を納付しなければならない。

4　前項の定めにかかわらず，学位申請者が次の各号の一つに該当する場合は，審査料を免除する。

(1) 上智学院が設置する学校の専任教職員

(2) 本学大学院の後期課程に3年以上在学し，所定の単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けて退学したときから1年以内に学位申請のあった者

5　受理の決定した学位論文及び納付された審査料は返還しない。

(論文審査委員会)

第 12 条　学位論文が受理された場合，研究科委員会は論文審査委員会を設ける。

2　論文審査委員会は，主査1名および2名以上の副査により構成する。

3　主査は，当該研究科に所属する大学院担当教員のうち指導教員の資格要件を備えるものと認められる者から選出し，論文審査委員会の委員長となる。

4　副査は，当該研究科に所属する大学院担当教員から選出する。

5　前項の規程にかかわらず，当該研究科委員会が論文審査のために必要があると認めたときは，当該研究科委員会の議により，本学の他研究科又は学部の教員もしくは他の大学院又は研究所等の教員等を副査として招聘することができる。

6　前五項に関わらず，研究科委員会は，大学院学則第 19 条により国外の大学院，研究所等（以下「国外大学院等」という。）と共同で研究指導を行った場合には，国外大学院等との共同で論文審査委員会を設ける。この場合の論文審査委員会の構成，並びに主査及び副査の選出方法は，国外大学院等との博士論文共同指導制度に係る協定の定めるところによる。

(論文の審査)

第 12 条の 2　論文審査委員会は，本学大学院学則第21条及び第21条の2に規定する論文の審査及び試験並びに第 6 条に規定する論文の審査及び学力の確認（以下，「試問」という。）を行う。

2　論文審査委員会は，論文審査のために必要があると認めたときは，模型又は標本その他を提出させることができる。

(試　　験)

第 13 条　本学大学院学則第21条及び第21条の 2 に規定する試験は，専攻学術と外国語について行う。

2　前項に定める試験は，博士の場合，公開により行い，学位申請者，申請学位名，論文題目，日時，場所及び論文審査委員名を大学掲示板に公示する。

3　専攻学術についての試験は，学位論文を中心として広く関連した科目につき口述により行う。

4　外国語についての試験は，修士の場合は 1 か国語，博士の場合は 2 か国語を課する。

5　前項の規程にかかわらず，博士の場合，研究科委員会が認めた場合は，1 か国語にすることができる。

6　第 4 項の規程にかかわらず，学位申請者の学位の種類や学位論文の性格に応じ，外国語試験を行う必要がないと研究科委員会が認めた場合は，これを免除することができる。

(試　　問)

第 14 条　第 6 条に規定する学力の確認（試問）は，専攻学術と外国語について行う。

2　前項に定める試問は，博士の場合，公開により行い，学位申請者，申請学位名，論文題目，日時，場所及び論文審査委員名を大学掲示板に公示する。

3　専攻学術についての試問は，本学大学院の後期課程を修了して博士の学位を授与される者と同等以上の学力を有するか否かについて行う。

4　外国語についての試問は，2 か国語を課する。

5　前項の規定にかかわらず，研究科委員会が認めた場合は，1 か国語にすることができる。

6　第 6 条の規定により博士の学位を申請した者が，本学大学院の後期課程に 3 年以上在学し，所定の単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けて退学した者であるときは，研究科委員会の議により学力の確認を免除することができる。

(審査期間)

第 15 条　博士論文の審査及び試験又は学力の確認は，学位申請を受理したときから 1 年以内に終了しなければならない。ただし，特別の理由があるときは，研究科委員会の議を経て，その期間を延長することができる。

2　第 5 条の規定により博士の学位を申請した者は，審査期間中休学又は留学することはできない。

3　第 7 条の規定による修士の学位についても，第 1 項及び第 2 項の規定を準用する。

(研究科委員会の審査及び報告)

第 16 条　研究科委員会は，論文審査及び試験又は学力の確認の終了後，論文審査委員会からの文書による報告に基づいて，学位授与の可否を審査し，可決のものについては，その結果を大学院委員会に報告する。

2　前項に定める審査は，研究科委員の 3 分の 2 以上が出席し，出席者の 3 分の 2 以上の同意を要する。ただし，公務又は出張のため研究科委員会に出席することができない委員については，委員の数に算入しない。

(意見具申)

第 17 条　大学院委員会は，研究科委員会の報告に基づいて，学位授与につき学長に意見を述べる。

2　大学院委員会が前項により意見を述べるにあたっては，委員の 3 分の 2 以上の出席及び出席者の 3 分の 2 以上の同意を必要とし，本学大学院学則で定める修了の期日以前にこれを行う。

(学位の授与)

第 18 条　学長は，大学院委員会の意見を徴し，学位の授与を決裁の上，学位の授与及び学位記の交付を行う。

2　第 5 条，第 7 条で定める学位の授与日は，本学大学院学則で定める修了の期日とする。

(論文要旨等の公表)

第 19 条　本学は，博士の学位を授与したときは，博士の学位を授与した日から 3 か月以内に，その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表する。

(学位論文の公表)

第 20 条　博士の学位を授与された者は，博士の学位を授与された日から 1 年以内に，当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表しなければならない。ただし，当該博士の学位を授与される前にすでに公表したときは，この限りでない。

2　前項の規定にかかわらず，やむを得ない事由がある場合は，本学の承認を得て，当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において，本学は当該論文の全文を求めに応じて閲覧に供する。

3　第 2 項の規定により論文を公表する場合には，上智大学審査学位論文である旨を明記しなければならない。

(学位の名称)

第 21 条　学位を授与された者が学位の名称を用いるときは，「上智大学」と付記しなければならない。

2　学位の名称は，上智大学学則第58条 2 項に基づき別表 1（略）のとおりとする。

3　学位の名称は，上智大学大学院学則第25条第 1 項により別表 2（略）のとおりとする。

4　前項にかかわらず上智大学大学院学則第25条第 2 項により，「学術」の名称を付記することができる。

(学位授与の取消し)

第 22 条　学長は，次の各号に該当する場合，大学院委員会の意見を徴し，学位の授与を取り消し，学位記を返還させ，かつ，その旨を公表する。

(1) 学位を授与された者が不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき。

(2) 学位を授与された者が，その名誉を汚辱する行為をしたとき。

2　大学院委員会が前項により意見を述べるにあたっては，委員の 3 分の 2 以上の出席及び出席者の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。この場合，第 16 条第 2 項ただし書きの規定を準用する。

(学位授与の報告)

第 23 条　博士の学位を授与したときは，学長は，学位規則第 12 条の定めるところにより，文部科学大臣に報告する。

(学位記及び書類の様式)

第 24 条　学位記及び学位申請関係書類の様式は，別記様式のとおりとする。

附　則

この規程は，2019年（平成31年）4月1日から改正，施行する。

別記様式

一の一（第5条による場合①・進学者）

甲第　　号

学位記

氏名○○○○
○○○○年○○月○○日生

本学大学院○○研究科○○専攻の博士課程を修了したので博士（専攻名）の学位を授与する

○○○○年○○月○○日
上智大学長　○○　○○　㊞

SOPHIA UNIVERSITY
Tokyo, Japan
Confers the academic degree of
DOCTOR OF ○○○○○
Upon
JOCHI TARO
Who has satisfied all the
University's requirements
GIVEN UNDER THE SEAL OF THE UNIVERSITY
this ○○ th day of ○○20○○
signature
President　○○　○○

一の二（第5条による場合①・進学者・外国の大学院等との博士論文共同指導により授与する場合）

甲第　　号

学位記

氏名○○○○
○○○○年○○月○○日生

本学大学院○○研究科○○専攻の博士後期課程を修了したので博士（専攻名）の学位を授与する
この学位は○○○○との博士論文共同指導により授与するものである

○○○○年○○月○○日
上智大学長　○○　○○　㊞

SOPHIA UNIVERSITY
Tokyo, Japan
Confers the academic degree of
DOCTOR OF ○○○○○
Upon
JOCHI TARO
Who has satisfied all the
University's requirements
GIVEN UNDER THE SEAL OF THE UNIVERSITY
this ○○ th day of ○○20○○
This degree is conferred under the co-mentorship program with ○○○○
signature
President　○○　○○

二の一（第5条による場合②・編入者）

甲第　　号

学位記

氏名○○○○
○○○○年○○月○○日生

本学大学院○○研究科○○専攻の博士後期課程を修了したので博士（専攻名）の学位を授与する

○○○○年○○月○○日
上智大学長　○○　○○　㊞

SOPHIA UNIVERSITY
Tokyo, Japan
Confers the academic degree of
DOCTOR OF ○○○○○
Upon
JOCHI TARO
Who has satisfied all the
University's requirements
GIVEN UNDER THE SEAL OF THE UNIVERSITY
this ○○ th day of ○○20○○
signature
President　○○　○○

二の二（第5条による場合②・編入者・外国の大学院等との博士論文共同指導により授与する場合）

甲第　　号

学位記

氏名○○○○
○○○○年○○月○○日生

本学大学院○○研究科○○専攻の博士後期課程を修了したので博士（専攻名）の学位を授与する
この学位は○○○○との博士論文共同指導により授与するものである

○○○○年○○月○○日
上智大学長　○○　○○　㊞

SOPHIA UNIVERSITY
Tokyo, Japan
Confers the academic degree of
DOCTOR OF ○○○○○
Upon
JOCHI TARO
Who has satisfied all the
University's requirements
GIVEN UNDER THE SEAL OF THE UNIVERSITY
this ○○ th day of ○○20○○
This degree is conferred under the co-mentorship program with ○○○○
signature
President　○○　○○

三（第6条による場合）

乙第　　号

学位記

氏名○○○○
○○○○年○○月○○日生

本学に学位論文を提出しその審査に合格し，かつ，所定の学力を有するものと認められるので，博士（専攻名）の学位を授与する

○○○○年○○月○○日
上智大学長　○○　○○　㊞

SOPHIA UNIVERSITY
Tokyo, Japan
Confers the academic degree of
DOCTOR OF ○○○○○
Upon
JOCHI TARO
Who has submitted a dissertation and passed
The required examinations
GIVEN UNDER THE SEAL OF THE UNIVERSITY
this ○○ th day of ○○20○○
signature
President　○○　○○

四（第7条の1による場合）

第　　号

学位記

氏名○○○○
○○○○年○○月○○日生

本学大学院○○研究科○○専攻の博士前期課程を修了したので修士（専攻名）の学位を授与する

○○○○年○○月○○日
上智大学長　○○　○○　㊞

SOPHIA UNIVERSITY
Tokyo, Japan
Confers the academic degree of
MASTER OF ○○○○○
Upon
JOCHI TARO
Who has satisfied all the
University's requirements
GIVEN UNDER THE SEAL OF
THE UNIVERSITY
this ○○th day of ○○20○○
signature
President　○○　○○

五（第7条の2による場合）

第　　号

学位記

氏名○○○○
○○○○年○○月○○日生

本学○○学部○○学科所定の課程を修め本学を卒業したので学士（専攻名）の学位を授与する

○○○○年○○月○○日
上智大学長　○○　○○　㊞

SOPHIA UNIVERSITY
Tokyo, Japan
Confers the academic degree of
BACHELOR OF ○○○○○
Upon
JOCHI TARO
Who has satisfied all the
University's requirements
GIVEN UNDER THE SEAL OF THE UNIVERSITY
this ○○ th day of ○○20○○
signature
President　○○　○○

六（第7条の3による場合）

第　　号

学位記

氏名○○○○
○○○○年○○月○○日生

本学大学院法学研究科法曹養成専攻の専門職学位課程（法科大学院の課程）を修了したので法務博士（専門職）の学位を授与する

○○○○年○○月○○日
上智大学長　○○　○○　㊞

SOPHIA UNIVERSITY
Tokyo, Japan
Confers the academic degree of
JURIS DOCTOR
Upon
JOCHI TARO
Who has satisfied all the
University's requirements
GIVEN UNDER THE SEAL OF THE UNIVERSITY
this ○○th day of ○○20○○
signature
President　○○　○○

七（課程博士）

年　　月　　日
上智大学長
氏　名殿

氏　名㊞

論文審査願

学位規程第 10 条の規定により，博士（○○）論文の審査をお願いいたします。

八（論文博士）

年　　月　　日
上智大学長
氏　名殿

氏　名㊞

学位申請書

学位規程第 10 条の規定により，博士（○○）の学位授与を申請いたします。

九

論　文　目　録

学位申請者　氏　名㊞

論　　文
　1　題　　目
　2　公表の方法および時期
　3　部　　数

（参考論文）
　1　題　　目
　2　公表の方法および時期
　3　部　　数

年　　月　　日

十

履　歴　書

氏　名㊞
年　　月　　日生

本　籍
現住所

学　　歴
年　　月　　日

職　　歴
年　　月　　日

研究歴および研究業績
年　　月　　日

20. 課程博士の学位申請に関する特例（内規）

制定　平成 16 年 4 月 1 日
改正　平成 26 年 4 月 1 日

第 1 条　この内規は上智大学学位規程第５条に規定する博士の学位授与に関する特例について定める。

第 2 条　次の各号のいずれにも該当する者が退学後３年以内に学位論文を提出した場合には，課程博士の学位論文審査及び最終試験を受けることができるものとする。

(1) 本学大学院の博士後期課程に在籍し，休学期間を除き３年以上在学し，学位を授与されずに退学した者

(2) 専攻の定める修了要件により所定の単位を修得し，かつ必要な研究指導を受けた者，又は専攻の定める修了要件により必要な研究指導を受けた者

第 3 条　この特例の適用を受けようとする者は，所定の「満期退学願」を，原則として，退学日の１か月前までに専攻主任に提出し，学長の決裁を受けなければならない。

第 4 条　第２条の取扱いを受けようとする者は，所定の期日までに「課程博士学位論文提出申請書」を提出し，専攻主任，研究科委員長の審査を経て学長の決裁を受けなければならない。

第 5 条　この特例の適用を受ける者に係る学位論文審査手数料等，学位請求に必要な費用については別に定める。

本内規に規定していない事項については，上智大学学位規程の定めるとおりとする。
また，本内規は，平成 13 年度（2001 年度）から平成 25 年度（2013 年度）の入学者に適用する。

附　則

1　この内規は，平成 16 年 4 月 1 日から施行する。ただし，平成 13 年度以降の入学者に適用する。

2　前項にかかわらず，この内規の運用に際しては施行日より 3 年間（平成 19 年 3 月 31 日まで），次の者を適用対象者に加える経過措置をとるものとする。ただし，この措置をとる場合には当該専攻教授会の議を経なければならない。
［本内規第２条の各号のいずれにも該当する者であって，平成 12 年 4 月 1 日以後に退学した者］

附　則

1　この内規は，平成 26 年（2014 年）4 月 1 日から，改正，施行する。

21. 上智大学学則（抄）

（平成３１年４月１日改正施行予定）

上智大学学則全文は，公式ホームページに公開しています。

第１章　設立目的及び使命

第１条　上智大学（以下「本学」という。）は，イエズス会の設立にかかり，その法的設置者は学校法人上智学院である。

第２条　本学は，カトリシズムの精神にのっとり，学術の中心として，真理を探求し，広い知識と深い専門の学芸を教授し，知的，道徳的及び応用的能力の展開による人間形成につとめ，有能な社会の先導者を育成するとともに，文化の発展と人類の福祉に寄与することを目的とする。

第３条　本学は，教育研究水準の向上を図り，その目的及び社会的使命を達成するため，教育研究活動の状況について自己点検及び評価を実施するものとする。

２　自己点検及び評価の実施体制並びに方法については，別に定める。

３　本学は，教授法や授業運営などの改善や教育活動にかかる知識・技能・能力の獲得又は向上を組織的に支援するためにファカルティ・ディベロップメント活動を実施するものとする。

４　ファカルティ・ディベロップメント活動の実施体制並びに方法については，別に定める。

第２章　大学の組織

第４条　教育研究上の基本組織として，本学に次の学部学科を置く。

神学部	神学科
文学部	哲学科，史学科，国文学科，英文学科，ドイツ文学科，フランス文学科，新聞学科
総合人間科学部	教育学科，心理学科，社会学科，社会福祉学科，看護学科
法学部	法律学科，国際関係法学科，地球環境法学科
経済学部	経済学科，経営学科
外国語学部	英語学科，ドイツ語学科，フランス語学科，イスパニア語学科，ロシア語学科，ポルトガル語学科
総合グローバル学部	総合グローバル学科
国際教養学部	国際教養学科
理工学部	物質生命理工学科，機能創造理工学科，情報理工学科

２　学生の履修上の区分に応じて，副専攻及び研究室等を置くことができる。これに関する事項については，別に定める。

３　各学部に共通する言語教育を行うために，言語教育研究センターを置く。言語教育研究センターに関する事項については，別に定める。

４　本学の教育のグローバル化を促進するため，グローバル教育センターを置く。グローバル教育センターに関する事項については，別に定める。

５　第１項に定める学部及び学科ごとの教育研究上の目的及び人材の養成に関する目的については，第２条に定める各学部共通の目的のほか，各学部の設置趣旨に基づき，別に定める。

第５条　本学に大学院を置く。

２　大学院の学則は，別に定める。

第６条　本学に図書館，研究機構，センターその他の附属教育研究機関を置く。これに関する事項については，別に定める。

第６章　修業年限，学年，学期及び休業日

第１３条　本学の修業年限は，本規程に特別の定めのある場合を除いては４年とする。

第１４条　学年は，４月１日に始まり翌年３月３１日に終わる。

第１５条　学期（セメスター）は，学年を分けて，春学期及び秋学期とし，それぞれの始期及び終期は次のとおりとする。

春学期　　４月１日から９月２０日まで

秋学期　　９月２１日から翌年３月３１日まで

２　前項に定める各学期（セメスター）を二つの期間（以下「クォーター」という。）に分け，春学期のクォーターを第１クォーター及び第２クォーターとし，並びに秋学期のクォーターを第３クォーター及び第４クォーターとする。

３　前項のクォーターの始期及び終期については，第１項に定めるものを除き，学長が定める。

第１７条　授業休業日は，次のとおりとする。

ただし，第６号から第８号の授業休業期間の始期及び終期は，年度により別に定める。

(1) 土曜日

(2) 日曜日

(3) 国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日

(4) 創立記念日（１１月１日）

(5) 聖ザビエルの祝日（１２月３日）

(6) 春期休業

(7) 夏期休業

(8) 冬期休業

２　学長は必要に応じ，前項各号以外の日を臨時に授業休業日とすることができる。

３　学長は必要に応じ，第１項各号に定める授業休業日を，授業日（補講日及び集中講義期間を含む）とすることができる。

第７章　授業科目及び単位

第１９条　授業科目の種類は，全学共通科目，語学科目及び学科科目とし，各々を必修科目，選択科目及び自由科目に区分する。

２　授業科目の編成は，別に定める。

３　前項で定めるもののほか，学長は臨時に授業科目を開設することができる。

第１９条の２　授業は，講義，演習，実験，実習若しくは実技のいずれかにより，又はこれらの併用により行う。

２　前項の授業は，文部科学大臣が別に定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

３　前項の授業方法により修得する単位数は，６０単位を超えないものとする。

４　第１項の授業（第２項の規定により，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合を含む）を，外国において履修させることができる。

第２０条　授業科目を履修する場合，その授業に出席し，かつ，試験に合格した者には，その授業科目所定の単位を与える。

２　授業科目の単位は，別に定めるところによる。

第２２条　授業科目の単位数は，１単位履修に４５時間の学修を要することを標準とし，次の基準によって授業時間に対応した単位数を計算する。

(1) 講義及び演習については，１５時間から３０時間の授業をもって１単位とする。

(2) 実験，実習及び実技については，３０時間から４５時間の授業をもって１単位とする。

２　前項の規定にかかわらず，卒業論文，卒業研究等については，これらの学修の成果を評価し，単位を付与することが適切と認められた場合にはこれらに必要な学修等を考慮して，単位数を定めることができる。

３　１単位の計算基礎となる授業時間については，学長がこれを決定する。

第８章　入学，編入学，転部科，休学，留学，退学及び再入学

第２３条　入学時期は，学期の初めとする。

第２４条　本学は，次の各号の一に該当する者につき選考の上，入学を許可する。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者

(3) 外国において学校教育における１２年の課程を修了した者，又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者

(7) その他相当の年齢に達し，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

２　入学の許可は，学長がこれを決定する。

第２５条　本学への入学を志願する者は，所定の入学検定料を納入し，入学願書に次の書類を添えて，指定の期日までに願い出なければならない。

(1) 出身高等学校長から提出される調査書又は成績証明書，認定試験合格者はその合格証明書及び合格成績証明書，国際バカロレア資格を有する者は，ＩＢディプロマ及び成績評価証明書

(2) その他必要書類

２　既納の入学検定料は，返還しない。

第２６条　前条の入学志願者については，別に定めるところにより，選考を行う。

第２７条　前条に基づき入学を許可された者は，次の書類に入学納付金を添えて，指定の期日までに提出しなければならない。

(1) 保証人連署の誓約書

(2) 地方自治体の発行する「住民票の写し」（日本国籍以外の国籍を有する者は，「住民票の写し」及び在留カードの写し）

(3) 出身高等学校等の卒業（修了）証明書

(4) その他必要書類

第２８条　保証人は，日本国内に居住し，一家計を立てる成年者で，入学者の学費と一身上に関する一切の責任を負うことができる者で，原則として父母とする。ただし，日本国籍を有さない者については，国外に居住する者でも許可する。

第２９条　本学を卒業又は中途退学し，再び入学しようとする者については，別に定める。

第３０条　他の大学等（外国の大学，短期大学等を含む。）から本学に編入学を希望する者については，選考によって入学を許可することができる。

２　編入学者に関する事項については，別に定める。

第３１条　他学部，他学科への転部科を希望する者については，選考によって許可することができる。

２　転部科に関する事項は別に定める。

第３２条　病気その他のやむを得ない理由で休学しようとする者は，その理由を詳記した休学願を提出し，学長の許可を受けなければならない。この場合において，病気のために休学する者は，医師の診断書を添えなければならない。

２　休学の期間は，１クォーターを単位とし，連続２年，通算４年を超えることができない。

３　許可された休学期間が満了した場合は，復学となる。ただし，病気によって休学の許可を受けた者は，医師の診断書を添えた所定の復学届を提出しなければならない。

４　休学期間中に休学の事由がやみ，復学しようとする者は，所定の復学届を提出しなければならない。

第３３条　本学との間に協定がある国外大学か，又は学長が許可した学位授与権をもつ国外大学に留学を希望する者がある場合，審査の上，本人の教育上有益であると認められたときは，これを許可することができる。

２　留学に関する事項は別に定める。

３　留学期間中に修得した単位の換算及び認定については別に定める。

第３４条　本学が教育上有益と認めるときは，在学中に他の大学若しくは短期大学において履修した授業科目について修得した単位（留学中に修得した単位を含む。）及び文部科学大臣が別に定める学修のうち，本学の授業科目に相当すると認められる単位を，４０単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。

２　本学が教育上有益と認めるときは，本学へ入学前に大学若しくは短期大学等において履修した授業科目について修得した単位及び文部科学大臣が別に定める学修のうち，本学の授業科目に相当すると認められる単位を，編入学の場合を除き，３０単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。

３　前２項により，本学において修得したものとみなすことができる単位は，６０単位を超えないものとする。

４　第１項及び第２項において，上智社会福祉専門学校において修得した単位を本学において修得したものとみなすことができる。

５　他の大学及び短期大学等並びに上智社会福祉専門学校での履修及び修得した単位の認定については別に定める。

第３８条　本学に在学する期間は，休学期間を除き８年を超えることができない。

２　前項にかかわらず，次の各号の全てに該当する者の本学に在学する期間は，８年３ヶ月を超えることができない。

(1) 第 15 条に定める学期（セメスター）末の時点において，在学年数が７年９ヶ月である者

(2) 第 13 条及び第 57 条に定める卒業に必要な要件を満たしていない者

第３８条の２　第 13 条の修業年限，第 32 条の休学期間及び前条の在学期間を算定するにあたっては，第 15 条第２項に定めるクォーターは，３ヶ月と計算する。

第３９条　退学しようとする者は，所定の様式による退学願を学生証とともに提出し，学長の許可を受けなければならない。

２　退学を願い出る者は，その時期までの授業料等を完納しなければならない。

第４０条　連続する２か年において，学部学科が指定する授業科目を含む３２単位以上を修得できない者については，学長が退学を決定する。

第９章　履修及び登録

第４１条　全学共通科目については，体育２単位を必修とし，合計２６単位を修得しなければならない。

２　削除

３　第１項にかかわらず，文学部英文学科，外国語学部英語学科及び国際教養学部にあっては，体育２単位を必修とし，合計２２単位を修得しなければならない。

４　全学共通科目は，必修単位を除き，学科により教育上必要があるときは，学長の決定により，学科科目の単位に充当することができる。ただし，国際教養学部を除く学部にあっては，充当できる単位の上限を１２単位とする。

５　学科科目のうち，所定の学科科目については，全学共通科目（必修を除く）の単位に充当することができる。ただし，国際教養学部を除く学部にあっては，充当できる単位の上限を４単位とする。

第４１条の２　語学科目は，外国語（英語）４単位を必修とする。ただし，文学部英文学科，外国語学部英語学科及び国際教養学部にあっては，外国語８単位を必修とする。

２　語学科目は，必修単位を除き，全学共通科目（必修を除く）の単位に充当することができる。ただし，国際教養学部を除く学部にあっては，充当できる単位の上限を８単位とする。

３　語学科目は，必修単位を除き，学科により教育上必要があるときは，学長の決定により，学科科目の単位に充当することができる。

４　削除

第４１条の３　学科により教育上必要があるときは，大学院研究科が指定した科目の範囲内で，別に定めるところにより大学院開設科目の履修を認めることがある。この場合において，当該科目の修得単位は卒業に必要な単位としては算入できないものとする。

第４２条　学科科目については，各学科所定の最低基準以上の単位を修得しなければならない。

２　前項の最低基準は，必修科目及び選択科目をあわせて９４単位以上でなければならない。

３　前項の科目のうち，各学科所定の範囲内における単位を，他学科で開講される学科科目の単位で代えることができる。

第４５条　教員の資格を得ようとする者は，教育職員免許法（昭和２４年法律第１４７号）及び教育職員免許法施行規則（昭和２９年文部省令第２６号）にのっとり，別に定める教職課程所定の科目を履修し，その単位を修得しなければならない。

２　本学の学部，学科において取得できる教育職員免許状の種類は，別表第２(略)の定めるところによる。

第４６条　教職に関する科目の単位（ただし，教育実習を除く。）は，あらかじめ各学部学科の定めるところに従い，学科科目における選択科目の単位として計算することができる。

第４７条　学芸員の資格を得ようとする者は，別に定める学芸員課程所定の科目を履修し，その単位を修得しなければならない。

２　学芸員に関する科目の単位（ただし，博物館実習を除く。）は，あらかじめ各学部学科の定めるところに従い，学科科目における選択科目の単位として計算することができる。

第４９条　卒業論文については，あらかじめ各学部学科の定めるところに従い，期日までに提出しなければならない。

第５０条　履修しようとする授業科目は，所定の期間に登録しなければならない。

第１０章　試験及び卒業

第５２条　定期試験は大学が定める期間に行う。

第５４条　病気その他やむをえない事情で定期試験を受けることができなかったと認められる者は，別に定める追試験料を納付の上，追試験を受けることができる。

第５５条　授業科目の成績評価は，上位よりＡ（１００～９０点），Ｂ（８９～８０点），Ｃ（７９～７０点），Ｄ（６９～６０点），Ｆ（５９点以下），Ｐ，Ｘ，Ｉの評語をもって表示し，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｐを合格，Ｆ及びＸを不合格，Ｉを評価保留とする。

２　前項にかかわらず，履修中止科目をW，認定科目をＮと表示する。

３　第１項の成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として，総合平均点（いわゆるＧｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅに相当するもの。以下「ＧＰＡ」という。）を用いる。

４　前項に定めるＧＰＡは，成績評価のうち，Ａにつき４．０，Ｂにつき３．０，Ｃにつき２．０，Ｄにつき１．０，Ｆにつき０をそれぞれ評価点として与え，各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を，登録科目（W，Ｎ，Ｐ，Ｘ，Ｉとして表示された科目を除く）の総単位数で除して算出する。

第５７条　第１３条に定める修業年限を満たし，卒業に必要な所定の授業科目の単位を修得した者については，学長が卒業を認定する。

２　卒業の期日は，毎年３月３１日又は９月２０日とする。

３　卒業に必要な単位は，１２４単位を下限として，学部学科別に次のとおりとする。(略)

第５７条の２　本学に３年以上在学し，前条第１項に定める単位を修得し，かつ当該単位を優秀な成績をもって修得した者が第１３条に定める修業年限に満たない卒業（以下，「早期卒業」という）を希望する場合は，学長が卒業を認定することができる。

２　早期卒業の有無及び早期卒業に関し必要な事項は，学部ないし学科ごとに別に定める。

３　前条第２項は，早期卒業についてもこれを準用する。

第５８条　学長は，前２条の規定により卒業を認定した者に対し，学士の学位を授与する。

２　学位には学部学科別に次の専攻分野(略)の名称を付記する。

第１１章　賞罰

第５９条　人物及び学術優秀な学生は，選考によって学長が授賞する。

第６０条　本学学生としてその本分に反した行為があったと認められたときは，その軽重に従い，退学，停学又は訓告処分とする。

２　前項の処分は，学長が行う。

第６１条　次の各号のいずれかに該当する者は，学長の決定により退学させる。

(1) 著しく性行不良で改善の見込みがないと認められた者
(2) 学内の秩序を乱した者
(3) 大学の名誉を著しく毀損した者
(4) その他本学に在学させることが不適当と認められた者

第１２章　納付金及び授業料等

第６２条　第２７条に定める入学に必要な納付金は，別表第３(略)のとおりとする。
第６３条　学生は，別表第３(略)の授業料等納付金を所定の期限内に全納しなければならない。ただし，所定の手続きによって分納することができる。
第６４条　前条の授業料等納付金を所定の期日までに納付しない者は，退学させる。
第６５条　休学，留学等の授業料等納付金については，別表第３(略)のとおりとする。
第６６条　既納の授業料等諸納付金は，返還しない。

第１３章　奨学

第６７条　本学は，学資金を給与又は貸与し，若しくは授業料の全額又は一部を免除することがある。
２　奨学制度に関する事項は，別に定める。
第６８条　在学生及び卒業生から選抜した者を奨学生として海外に留学させることがある。

第１４章　交換留学生，交流学生，科目等履修生及び聴講生

第６９条　本学は，国外大学との学生交流協定に基づき，交換留学生の受入を許可することができる。
第７０条　本学は，国内大学との単位互換協定に基づき，交流学生の受入を許可することができる。
第７１条　本学は，本学に在学する者以外で一又は複数の授業科目を履修する者（以下「科目等履修生」という。）の受入を許可し，単位を与えることができる。
２　科目等履修生の受入許可及び単位の付与については，別に定める。
第７２条　本学所定の授業科目中一又は複数の授業科目の聴講を願い出る者があるときは，一般の授業に支障のない場合に限り選考の上，聴講生として聴講を許可することができる。
２　聴講に関する事項は，別に定める。

第１６章　学生の生活指導と課程外教育及び健康管理

第７７条　本学は，学生の個人及び集団の生活指導と課程外の教育とのための諸機関を設ける。
第７８条　本学は，学生及び教職員の健康を管理するため保健センターを置く。
２　保健センターに関する事項は，別に定める。
第７９条　学生は，学年ごとに保健センターにおいて健康診断を受けなければならない。
第８０条　学生は，傷病の際，保健センターを利用することができる。

第１７章　学生寮

第８１条　本学は，本学の教育理念にのっとり，共同生活を通じ学生を訓育するため，附属学生寮を置く。
２　学生寮に関する事項は，別に定める。

第１８章　公開講座及び各種講習会等

第８２条　本学は，文化向上，成人教育その他の諸研究教育活動のために，公開講座，講習会等を開設することができる。
２　前項に関する事項は，別に定める。

第１９章　助産学専攻科

（設置）
第８３条　本学に，助産学専攻科（以下「専攻科」という。）を置く。
（目的･資格）
第８４条　専攻科は，本学教育理念のもと，４年制大学における看護基礎教育の上に，助産に関する最新の知識と技術を教授，研究し，もって母子保健の発展向上に寄与することのできる助産師を育成することを目的とする。
２　専攻科において取得できる資格は次のとおりとする。
助産師国家試験受験資格
（学生定員）
第８５条　専攻科の学生定員は，次のとおりとする。
　入学定員　１０名
　収容定員　１０名
（専攻科主任）
第８６条　専攻科に専攻科主任を置く。
（修業年限）
第８７条　専攻科の修業年限は，１年とする。
（在学年限）
第８８条　専攻科学生は，２年を超えて在学することはできない。
（入学資格）
第８９条　専攻科に入学することができる者は，看護師資格を有するまたは看護師国家試験受験資格を有する者で，次の各号の一に該当する者とする。
（１）大学を卒業した者
（２）学士の学位を授与された者
（３）外国において，学校教育における１６年の課程を修了した者
（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者
（５）我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
（６）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
（７）文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号）
（入学の出願）
第９０条　入学を志願する者は，指定の期日までに入学検定料を納付し，本学所定の書類を提出しなければならない。提出の時期，方法，提出すべき書類等については別に定める。
２　既納の入学検定料は，返還しない。
（入学手続き及び入学許可）
第９１条　前条の選考に基づき合格の通知を受けた者は所定の期日までに誓約書その他本学所定の書類を提出するとともに，入学に必要な所定の納付金を納めなければならない。

（教育課程及び履修方法）
第９２条　専攻科の授業科目及びその単位数並びに履修方法については，別に定める。
（休学期間）
第９３条　専攻科の休学期間は，１年を超えることはできない。
２　休学期間は，第８８条の在学年限に算入しない。
（修了）
第９４条　本学の専攻科に１年以上在学し，別に定めるところにより３４単位以上を修得した学生については，教授会の議を経て，学長が修了を認定する。
２　学長は，前項の規定により修了を認定された者に，修了証書を授与する。
３　修了の期日は，毎年３月３１日とする。
（専攻科の入学金，授業料その他の費用）
第９５条　第９１条に定める入学に必要な納付金は学則別表第３（略）のとおりとする。
（規定の準用）
第９６条　専攻科に関し本章に定めるもののほか次の規定を準用する。
１４条，１５条，１７条，２０条，２２条，第２３条，第２８条，第３２条１項，３項，４項，第３９条，５０条から５５条，第１１章，６３条から６７条，１６章，１７章。

第２０章　雑則

第９７条　本学則に掲げる諸条項を実施するに当たり，必要ある場合は，細則を別に定めることができる。

附　　則
１　本学則は，2019 年（平成 31 年）４月１日から改正，施行する。
２　この改正前の学生に係わる第 57 条については，なお従前の例による。
〔収容定員の変更〕
〔大学評議会廃止に伴う改正〕
〔学部長会議の明示〕
〔セメスター・クォーター併用制導入に伴う条文の整理及び一部改正〕
〔授業方法の追加〕
〔在学年数の変更〕
〔学部学科別卒業所要単位表改正〕
〔学部，学科において取得できる教育職員免許状の種類の改正〕
〔学費改定〕

別表第１～第３（略）

△上智大学キャンパス所在地△

○四谷キャンパス

学事センター

〒102-8554　東京都千代田区紀尾井町 7 番 1 号

☎　03-3238-3515（教務担当）

☎　03-3238-3519（学籍・証明書担当）

☎　03-3238-3195（学費担当）

○市谷キャンパス

〒102-0081　東京都千代田区四番町 4

☎　03-3238-4019

○石神井キャンパス

〒177-0044　東京都練馬区上石神井 4 丁目 32 番 11 号

☎　03-5991-0343

○目白聖母キャンパス

〒161-8550　東京都新宿区下落合 4 丁目 16 番 11 号

☎　03-3950-0171

○秦野キャンパス 上智大学短期大学部

〒257-0005　神奈川県秦野市上大槻山王台 999

☎　0463-83-9331

2019 年度　上智大学大学院履修要綱

2019 年 4 月 1 日発行

編集・発行　上智大学学事センター
東京都千代田区紀尾井町 7 番 1 号
〒102-8554　電話 03(3238)3515

印　　刷　株式会社精興社